

共通教育

開設科目一覽

前期 - 主題系列

系列 主題

分野 思想と文化

科目類型 包括

開設科目	比較文化心理学	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全(工除く)	単位	2 単位	曜時間	月曜日 3・4 時限
担当教官	武本 Timothy				
<p>授業概要 経済学部観光政策学科の「文化心理学」を履修していない、また履修するつもりがない学生のための授業です。文化が心理に対して及ぼす影響の大きさは、次第に理解されつつある。あなたは、自分が「上手」だといわれると頑張るか、それとも「下手」だといわれるともっと頑張るか。ホラー映画に出てくる《恐い人》は女性が男性か？これらの問いはどれも文化差があることが最近の研究によって証明されている。</p> <p>授業一般目標 この授業の目的は、文化と心理の関わりを学習することである。</p> <p>成績評価方法(総合) 授業の参加・小レポートと試験を評価の対象にします。</p> <p>教科書・参考書 参考書：自己と感情、北山忍、共立出版、1997年；木を見る西洋人 森を見る東洋人、R・E・ニスベット、ダイヤモンド社、2004年；文化心理学、柏木恵子他編、東京大学、1997年；心でっかちな日本人 集団主義文化という幻想、山岸俊男、日本経済新聞社、2002年；社会心理学：アジア的視点から、山口勤、放送大学教育振興会、1998年</p> <p>メッセージ いつでも質問してください。</p> <p>教官連絡先 コースホームページは YUFOE.com から入れます。メール tim@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

系列 主題

分野 思想と文化

科目類型 包括

開設科目	外の世界を聞く・知る・見る	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全(工除く)	単位	2 単位	曜時間	火曜日 5・6 時限
担当教官	今井新悟ほか				
<p>授業概要 2名の授業担当者の海外における生活体験や仕事上の体験を通して見た国々の事情を聞き、そこに住む人たちがどのような生き方をしているかを知り、その国・その人たちの現在の姿を見、山口大学の若い学生達が日本の外の世界に目を向ける機会を提供します。</p> <p>授業一般目標 担当者がそれぞれに長期生活経験・留学経験・勤務経験を持つラテン文化圏の国々(メキシコ・コロンビア)、ヒンズー教文化圏の国(インド)、仏教・儒教文化圏の国々(中国・韓国)、キリスト教文化圏の国々(アメリカ合衆国、カナダ)の(1)文化・宗教・社会習慣、(2)歴史的概要、(3)社会・政治・教育制度、(4)日本との関わり等について、担当者が交代で授業を行なう。前期は、ラテン文化圏とヒンズー教文化圏を扱う。</p> <p>成績評価方法(総合) それぞれの講義毎に課されるレポートの成績と、出席等を総合的に判断して学期の成績とします。授業での発表などの貢献度に応じて評価点に加算される場合があります。</p> <p>教科書・参考書 参考書：授業の中で担当者が紹介します。</p> <p>教官連絡先 中溝朋子：w_junichi@hotmail.com 学内内線：5984 今井新悟：imai.shingo@gmail.com 学内内線：5088</p>					

系列 主題

分野 思想と文化

科目類型 包括

開設科目	漱石の思想	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全(工除く)	単位	2 単位	曜時限	水曜日 3・4 時限
担当教官	村上 林造				
<p>授業概要 夏目漱石の生涯をたどり、彼の思想展開の過程を追跡する。</p> <p>授業一般目標 近代社会の問題点とその課題に対して、漱石の思想がどのような意味を持つのかを理解する。</p> <p>成績評価方法(総合) 授業レポートと期末レポートを総合的に評価する。出席重視。</p> <p>教科書・参考書 教科書：授業の中で指示する。</p>					

系列 主題

分野 思想と文化

科目類型 包括

開設科目	東洋思想の諸相	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全(工除く)	単位	2 単位	曜時限	水曜日 3・4 時限
担当教官	豊澤 一				
<p>授業概要 儒学思想の諸相 東アジアの文化の形成に大きな影響力を有していたのは、仏教と儒教とであった、と言っても過言ではないでしょう。今回は、そのうちの儒教の概説を試みます。孔子、孟子、朱子、そして日本の儒学者たちを扱います。儒学思想は、封建思想で過去の遺物だ、とみなす人が多いですが、しかしよく見てみると、わたしたちのもの感じ方、考え方に、かなり残っています。また、古い思想を思い出すのも、なかなかのどかな気分になって、いいものです。</p> <p>授業一般目標 儒学思想を学ぶことによって、それとの対比で、自己認識を深めることが目標です。</p> <p>成績評価方法(総合) 毎回の授業内小レポートと期末試験。また、授業外レポートを1回提出してください。</p> <p>教科書・参考書 教科書：講義の際に指定します。/ 参考書：『弟子』、中島敦、；『中国の文化心理構造』、李沢厚、平凡社；『朱子学と陽明学』、島田虔次、岩波新書；『道徳を基礎づける 孟子 vs. カント、ルソー、ニーチェ』、フランソワ・ジュリアン、講談社現代新書；『現代人の論語』、呉智英、文春文庫、2006年；講義の際により詳細な「参考文献表」を配付します。</p> <p>メッセージ 儒教は、現代人の苦手なテーマです。まず出席して、基礎知識を獲得してください。知識無しでは批判も単なる偏見、負の信仰に過ぎません。</p> <p>教官連絡先 研究室：人文学部棟 409 号研究室 オフィスアワー：金曜日 12:50～14:20 toyosawa@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

系列 主題

分野 思想と文化

科目類型 包括

開設科目	日常の価値を再考する	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全(工除く)	単位	2単位	曜時間	金曜日3・4時限
担当教官	山本真弓、荒木一視、石井由理、斎藤完				
<p>授業概要 高校までの学校教育のなかで教えられていることは、時代と社会によって異なる。われわれの父母や祖父母の頃は教えられていたのに、今では教えられていないこと、日本では教えられているのに、外国では教えられていないこと…などである。この授業では、特に、現在の日本の学校教育のなかで教えられてこなかったこと(教えるまでもなく「あたりまえ」とされてきたこと)について、複数の教員が、地理、国際理解、音楽、ことば、歴史などの観点から捉え直していく。つまり、本当に「それ」は「あたりまえ」なのか?「それ」はどこでも「あたりまえ」なのか?いつから「あたりまえ」になったのか?いつか「あたりまえ」ではなくなるときが来るのか? 各教員がそれぞれ独自の題材を使う。</p> <p>授業一般目標 (1) 高校までの教育の中身を相対化し、大学での諸学問と向き合う基本的姿勢を身につける。(2) 自分が生きてきた時代と社会の価値を相対化し、国際的な視野を獲得する。</p> <p>教官連絡先 mayumi@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

系列 主題

分野 芸術と表現

科目類型 包括

開設科目	メディアコンテンツ概論	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全(工・生資除く)	単位	2単位	曜時間	水曜日3・4時限
担当教官	熊谷武洋				
<p>授業概要 メディアコンテンツの中でもエンターテインメント分野を中心事例として技術、産業、教育といった多角的な観点からメディアコンテンツに関する理解を深める。講義はインターネットや視聴覚教材を多用する。なお学生によるグループディスカッションや企画プレゼンテーションを講義中に行う。なお、端末台数以上に受講者希望者がいる場合は、選抜を行う。選抜の方法については第一回目の講義内にて説明、実施を行う。</p> <p>授業一般目標 本講義は受講者がメディアコンテンツにおける定義とその可能性について理解し、基本的な企画立案を行えることを目標としている。</p> <p>成績評価方法(総合) グループ制作による企画案のプレゼンテーション、および内容について総合的に評価する</p> <p>教科書・参考書 教科書: 講義中において指示する / 参考書: 講義中において指示する</p> <p>メッセージ 漫画、アニメ、ゲーム、映画などに興味があり、単なるマニアの視点ではなく多角的に分析できる客観性を持っていることが望ましい。</p> <p>教官連絡先 E-Mail:kumagai@yamaguchi-u.ac.jp 電話: 083-933-5403</p>					

系列 主題

分野 社会と組織

科目類型 包括

開設科目	戦争はどうして起きるのか	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全(工除く)	単位	2 単位	曜時限	月曜日 5・6 時限
担当教官	纈纈厚				
<p>教科書・参考書 参考書：侵略戦争, 纈纈厚, 筑摩書房, 1999 年; 文民統制, 纈纈厚, 岩波書店, 2005 年; いまに問う 憲法 9 条と日本の臨戦体制, 纈纈厚, 凱風社, 2006 年</p>					

系列 主題

分野 社会と組織

科目類型 包括

開設科目	グローバリズムの終焉と経済学	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全(工除く)	単位	2 単位	曜時限	火曜日 3・4 時限
担当教官	田淵太一				
<p>授業概要 今日、グローバリゼーションという流行語が示すように、経済とはすなわち世界経済そのものを表しています。そして世界経済を動かしている主役は、米国のような巨大な権力と、グローバルに展開する巨大企業です。しかし、主流派経済学の理論はこの現実を捉えきれません。この講義は、経済学を専門としない学生諸君をも対象とする授業ですが、通りいっぺんの入門編とせず、あえて主流派経済学の失敗を明らかにし、その反省に立って、現実の世界経済を捉えるにはどのように考えればよいのかを問いかけます。</p> <p>授業一般目標 主流派経済学の失敗を明らかにし、その理論にもとづいて展開されるグローバリゼーションがいかなる災禍をもたらしているのかを解説し、どのようにすれば現実の世界経済を把握し改善できるかを示すことを目標とします。</p> <p>成績評価方法(総合) 期末試験(70%)、授業内レポート(30%)、出席は欠格条件とする(3分の2以上の出席を単位要件とする)。</p> <p>教科書・参考書 教科書：貿易・貨幣・権力, 田淵 太一, 法政大学出版局, 2006 年 / 参考書：世界経済論, 本山美彦編著, ミネルヴァ書房, 2006 年</p> <p>メッセージ 専門外の学生にとっても平易な授業を心がけます。教科書は必ず用意してください。</p> <p>教官連絡先 学期開始後に公表します</p>					

系列 主題

分野 社会と組織

科目類型 包括

開設科目	経済犯罪	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全(工除く)	単位	2 単位	曜時限	火曜日 3・4 時限
担当教官	安里全勝				
<p>授業概要 経済犯罪とはどのような犯罪であるかを理解して貰う。そして、現代型犯罪としての経済犯罪にはどのような類型があるかを理解して貰う。</p> <p>授業一般目標 経済犯罪の具体的問題を考察していく中から、現代型犯罪としての経済犯罪の特徴を理解して貰う。</p> <p>成績評価方法(総合) 学期末試験とミニテスト、出席状況を総合して行う。</p> <p>教科書・参考書 教科書：日本の経済犯罪, 神山敏雄, 日本評論社, 1996 年</p>					

系列 主題

分野 社会と組織

科目類型 包括

開設科目	大衆と観光	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全(工除く)	単位	2 単位	曜時限	火曜日 5・6 時限
担当教官	河村誠治				
<p>授業概要 「観国之光」(「易経」という「観光」の語源からも明らかのように、観光は光り輝くものを観る・観せることとして古代から存在してきた。しかし、その観光は、産業革命以降とくに 20 世紀後半からの交通手段の発達、資本主義の下での所得水準の上昇、およびそれによる勤労者・大衆の余暇時間の増加、そして大衆の余暇活動を観光活動に向かわせる観光産業の発達などにより、一部の特権階級の観光から大衆観光に、質的にも量的にも異なったものになった。本講義では、まず産業革命が観光に果たした歴史的背景を述べ、観光の定義や概念把握が時代や場所により異なることを示し、次に今日の大衆観光の主体・客体・媒体の関係、国際観光と国内観光の関係、観光および観光産業の効果を原理的に説明する。</p> <p>授業一般目標 (1) 大衆観光の基本概念が説明できる。(2) 大衆観光の意義について説明できる。</p> <p>成績評価方法(総合) 期末試験=100%。3分の1以上(5回以上)の欠席・欠格条件。出席カードは授業途中に配布。配布後に遅刻してきた学生には出席カードを与えない。</p> <p>教科書・参考書 参考書：観光経済学の原理と応用, 河村誠治, 九州大学出版会, 2004 年; 観光概論, , 交通公社教育開発, 1999 年</p>					

系列 主題

分野 社会と組織

科目類型 包括

開設科目	企業経営と組織	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全(工除く)	単位	2 単位	曜時間	水曜日 3・4 時限
担当教官	内田泰彦				
<p>授業概要 19世紀後半から今日までの大きな社会変化のなかで、企業経営と組織のあり方はどのように変わってきたのかを俯瞰します。その上で今日の企業組織の問題点とあるべき方向を考えます。具体的には第1回から第6回までは19世紀後半から20世紀中頃までの後期産業資本主義といわれる時代の経営と組織について考えます。第7回から第11回までは企業が競合と異なる特徴ある製品・サービスの提供の必要性とそのための組織のあり方について考えていきます。12回から15回ではポスト産業資本主義あるいは知識の時代における日本企業の経営と組織のあり方を考えます。いずれも興味深い企業事例を数多く紹介しながら興味深くみなさんと考えていきたいと思っています。</p> <p>授業一般目標 この授業は以下の2つのことについての理解を深め、関心を強めてもらうことを目標としています。第1は経営における組織と社会との関係についてです。社会における企業経営と組織のあり方についての大局観を掴んで欲しいと考えています。第2は世間で流行している粗雑な考え方に惑わされず、日本企業の経営と組織についての考え方をしっかりと理解して欲しいと考えています。</p> <p>成績評価方法(総合) (1)授業中に小テストを3回程度行う。(2)期末試験を行う。</p> <p>教科書・参考書 参考書: 会社はこれからどうなるのか, 岩井克人, 平凡社, 2003年</p> <p>メッセージ 皆さんにとって単なる知識獲得だけではなく、これからの社会と企業経営を考える際の視点を掴み、実践に役立てられる能力を習得できるようにしていきたいと考えています。</p> <p>教官連絡先 y.uchida@yamaguchi-u.ac.jp 質問などがある人は上記メールアドレスにより、アポイントを取って下さい。</p>					

系列 主題

分野 社会と組織

科目類型 包括

開設科目	子どもと社会科学	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全(工除く)	単位	2 単位	曜時間	水曜日 3・4 時限
担当教官	吉川幸男				
<p>授業概要 小・中学校の社会科教科書を題材に、「なぜ社会のことを学ぶのか」「どういことをすることが社会のことを学ぶことになるのか」など、社会のことを学ぶ目的と方法を原理的に追求する。</p> <p>授業一般目標 これまで経験的に形成してきた自分の「社会の見方」「社会の学び方」を社会探究史の中に位置付け、社会を学ぶより広い視座を獲得する。また、このことを通して少年期における社会科教育のあり方に関する関心を深める。</p> <p>成績評価方法(総合) 毎時課す小レポート(出席を兼ねる)と、全回終了後の最終レポートによって評価する。割合は、前者が30%、後者が70%で行う。</p> <p>教科書・参考書 教科書: テキストは指定しないが参考書は随時紹介する。</p> <p>メッセージ 受講者は最大90名程度までに制限します。</p> <p>教官連絡先 933-5329</p>					

系列 主題

分野 社会と組織

科目類型 包括

開設科目	知の広場 - 人と学問 -	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時限	水曜日 7・8 時限
担当教官	岩部浩三ほか				
<p>授業概要 山口大学に入学したばかりの学生が、本学およびそれぞれの部局の設立の経緯、発展の過程、現状、およびそれぞれの学問分野の概要を知ることにより、本学の学生としての自覚を持ち、自己の将来像を描きながら学習する動機付けを得る。</p> <p>授業一般目標 本学における学問分野の概要を知り、必要に応じてその分野の専門家や文献にアクセスできる能力を養う。また、講師自身の教育者および研究者としての体験から、それぞれの専門領域の社会的位置づけや将来への展望、さらには人間としての生き方を学ぶこと。この授業を契機として、学生が学問や社会や人間について問題意識を持つようになることが望まれる。</p> <p>成績評価方法 (総合) 受講者には毎回小レポートを提出してもらおう。講師により最後の講義の後半で試験またはレポートを課すこともある。</p>					

系列 主題

分野 社会と組織

科目類型 包括

開設科目	情報社会と人間	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全 (工除く)	単位	2 単位	曜時限	木曜日 1・2 時限
担当教官	林徳治				
<p>授業概要 現代の高度情報通新社会において、人間はコンピュータなど情報機器を使い単に情報を機械的に処理する能力だけが求められているのではなく、社会を生き抜く情報社会人として個の確立による主体性、判断力、コミュニケーション能力が求められる。本科目では、現代の社会を振り返り、情報・社会・コミュニケーション活動についての教養を身につけ、実社会で役立つ内容にしたい。</p> <p>授業一般目標 高度情報通信社会を生き抜く人間としての教養を身につける。具体的な項目は以下の通りである。1. 情報とデータ表現について説明できる 2. 情報活用能力を学び、実践できる 3. コミュニケーション活動について学び、自己改善ができる 4. IT社会の光と影を学び、生活に還元できる 5. 情報倫理について学び、生活に還元できる 6. 企業で求められる人材について学び、自己学修について改善できる 7. 社会を生きる人間の心について学び、生活に還元できる 8. 国際協力と国際理解教育について学び、グローバルな視野からものごとを見ることが出来る 9. これからの社会について考えることができる</p> <p>成績評価方法 (総合) 定期試験 (中間試験と期末試験)、小テスト / 授業内レポート、宿題 / 授業外レポート、出席等を総合して評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：情報教育の理論と実践、林徳治、実教出版、2000年 / 参考書：情報社会を生き抜くプレゼンテーション技術、林徳治、ぎょうせい、2000年</p> <p>教官連絡先 E-mail hayashi9@yamaguchi-u.ac.jp, 電話 933-5461, 研究室 センター 1 階</p>					

系列 主題

分野 環境と人間

科目類型 包括

開設科目	命と場	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全(工除く)	単位	2 単位	曜時限	月曜日 5・6 時限
担当教官	中村和行ほか				
<p>授業概要 ヒトは生物界の中で単独に存在するわけではなく、それを取り巻く環境の中で相互依存の関係をもちながら生存している。その環境には、生物学的側面に加えて、ヒトが作り出した社会的側面も密接に関連している。こうした生命と環境としての場との相互関係のなかで人間自身の問題を生物医学的観点から考えていく。</p> <p>授業一般目標 ヒトの生物学的側面と環境との関係を理解し、実際の医療現場と最先端の医学研究や医療を概観し、生命と環境としての場との相互関係の中におかれている人間自身の問題を主体的に考える。</p> <p>成績評価方法(総合) 各回の授業内終了前 15 分から 20 分くらいで、学生はその日の講義に関するレポートを書き、それぞれについて採点が行われる。試験は行わず、毎回のレポート評価と出席・授業態度の評価が 60 点以上を合格とする。なお、授業態度が悪いもの、出席が所定の回数に満たない者には単位を与えない。</p> <p>メッセージ 1. 授業中は私語をしない。携帯電話の電源を切っておく。授業妨害に相当する場合には退室をさせ単位を与えない場合もあるので、よく留意すること。 2. 質疑応答や質問など、積極的に授業に参加すること。</p>					

系列 主題

分野 環境と人間

科目類型 包括

開設科目	科学の中の動物	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全(工除く)	単位	2 単位	曜時限	火曜日 3・4 時限
担当教官	林、甲斐、井上、前田、加藤				
<p>授業概要 病気には多くの種類があり、またその原因も様々である。一方病気の予防や治療には実験動物を用いて病態の解明がなされてきた。そこで実験動物が科学の中で果たしてきた役割について述べるとともに、遺伝子・細胞・組織・個体レベルでの解説を平易にそれぞれの立場から講義する。</p> <p>授業一般目標 病気という視点から科学的なものの見方、考え方について講義する。</p> <p>成績評価方法(総合) 出席点とレポート</p> <p>メッセージ 学生のほとんどが一年生であること、学部も異なっていること、専門知識をほとんどが持ちあわせて無いことから、生命現象に対する興味や科学的思考法を学んで欲しい。</p>					

系列 主題

分野 環境と人間

科目類型 包括

開設科目	環境と植物	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全(工除く)	単位	2 単位	曜時間	水曜日 3・4 時限
担当教官	田中秀平・竹松葉・藤井克彦				
<p>授業概要 植物は地球環境の保全や食料生産に極めて重要な役割を果たしている。しかし、その植物もまた、周囲の環境から様々な影響を受けており、微生物や昆虫も植物に重要な影響を与えている。微生物は有機物をはじめ各種物質の分解や土壌生態系の重要な担い手として、昆虫は花粉の運搬者として植物の生活に役立っている。しかし微生物や昆虫の中には病原菌や害虫として植物の生育に悪影響を及ぼすものもいる。即ち植物と環境の関係は実に多様であり、バランスのとれた生態系を守り育てることが地球環境の保全に不可欠である。一方、食料生産を目的とする農業は、植物の生育や植物と微生物・昆虫の関係を人間の都合に合わせてようとする行為であり、環境保全や食料の安全性の面で様々な問題を抱えている。農業の場にも地球環境問題の一面が見える。講義では、自然生態系および農業生態系における植物と微生物・昆虫の関わり方の現状と課題について解説する。</p> <p>授業一般目標 生態系における植物、微生物、昆虫の多様性とその役割、ならびに農業や工業など人の営みが植物、微生物、昆虫などがつくる生態系に及ぼす影響について解説し、生態系が植物をはじめとするあらゆる生物の連鎖的關係によって成り立っていることを理解させることを目標とする。</p> <p>成績評価方法(総合) 試験を行うほか、適宜レポートを課す。成績は出席30%、レポート30%、試験40%の比率で評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：毎回プリントを配付する。/ 参考書：微生物ってなに、日本微生物生態学会教育研究部会編著、日科技連出版社、2006年；参考図書は、最初の講義の時に一括紹介する。</p> <p>教官連絡先 研究室：田中秀平(農学部 3F 331号室) 竹松葉子(農学部 3F 327号室) 藤井克彦(農学部 4F 418号室)</p>					

系列 主題

分野 環境と人間

科目類型 包括

開設科目	環境と農業	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全(工除く)	単位	2 単位	曜時間	木曜日 1・2 時限
担当教官	藤間充				
<p>授業概要 今や世界の人口は60億を越え、21世紀の半ばには120億人に達するとみられている。世界の耕地面積はほぼ限界に達し、単位面積あたりの収量も期待できないなか、はたして地球はこれだけの人口を養っていけるのだろうか。科学技術の発達により食料・環境問題をどこまで克服できるのだろうか。先進国のなかで、もっとも食料自給率が低いわが国の農業・農村の将来をどうしたらいいのか。持続的農業の本質および科学技術の発達と環境とのかかわりについて講述する。</p> <p>授業一般目標 現状を認識することによって、受講生に危機感をもってもらえば本講義は成功である。何らかの具体策が提言できるようになれば大成功である。</p> <p>成績評価方法(総合) 授業後半時間に小テストを課す。その内容と、出席で成績を評価する。</p> <p>教官連絡先 農学部附属農場</p>					

系列 主題

分野 自然と科学

科目類型 包括

開設科目	生命現象のいろいろ	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全(工除く)	単位	2 単位	曜時限	月曜日 5・6 時限
担当教官	小林誠ほか				
<p>授業概要 いろいろな医学の分野の専門の担当者が、基礎医学的あるいは臨床医学的な立場から最近の話題をまじえて生命現象の解説を行う。</p> <p>授業一般目標 生命現象の新しい知識を得ることで、生命現象についていろいろな疑問と興味を持ってさらに自学自習するきっかけを持つ。</p> <p>成績評価方法(総合) 各講義分担教員は提出されたレポートの内容を5点満点(5~0点)で評価する。コーディネータが、レポートの成績および出席などの授業態度を総合的に判断して評価を行う。</p>					

系列 主題

分野 自然と科学

科目類型 包括

開設科目	地球と人間	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全(工除く)	単位	2 単位	曜時限	火曜日 9・10 時限
担当教官	金折裕司				
<p>授業概要 46億年におよび地球史や地球で起きている様々な現象が、人間によってどのように理解されてきたのか、地球科学の礎を築いた人たちのエピソードを交えながら、地球環境問題や自然災害と人間の関わり方を講義する。</p> <p>授業一般目標 1.地球史の中で人類誕生が持つ意味を理解する。2.地球環境変化と人間の営みとの関係を理解する。3.自然災害の発生メカニズムとその防災対策を理解する。</p> <p>成績評価方法(総合) (1)授業の中で、5回ほど小テストを行う。(2)自分に関わるもしくは関心を抱いている地球科学的な現象についてレポートを作成する。(3)最後に試験を実施する。以上について、下記の観点・割合で評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：なし。毎回授業内容に関連したプリントを配布する。/参考書：山口県の活断層, 金折裕司, 近未来社, 2005年; 初回の授業で副読本を紹介する。</p> <p>メッセージ 講義内容に関して、自発的に学習する習慣を身につけて欲しい。</p> <p>教官連絡先 kanaori@yamaguchi-u.ac.jp 研究室：理学部南棟3階344室 オフィスアワー 火曜日 15:00~16:00</p>					

系列 主題

分野 自然と科学

科目類型 包括

開設科目	環境とバイオテクノロジー	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全(工除く)	単位	2 単位	曜時間	水曜日 3・4 時限
担当教官	古賀大三、藤井克彦、加藤昭夫				
<p>授業概要 20 世紀細大の技術といわれている遺伝子工学、バイオテクノロジーとは何かを明らかにし、この技術が現在人間、社会にどのような影響を与えており、将来与えようとしているかを考えてゆく。バイオテクノロジーとは生物のもつ機能を利用して、有用なものを作り出す技術であり、古代より酒、チーズ、醤油などの身近な食品作りに利用されてきた。1980 年代に遺伝子工学の目覚ましい発展により、インシュリン、インターフェロンなどの医薬品の開発が進み、また植物の新しい品種や品質の良い作物が作成できるようになり、さらに、バイオテクノロジーを利用した排水、排ガス処理など環境を守る技術が広く使われており、また、環境にやさしい食料生産方法や製品の開発が進められている。このような人類の健康、食料、環境問題の解決に大きな力を発揮しているバイオテクノロジーの現状と課題について講義で述べる。</p> <p>授業一般目標 生命科学の一般教養として、環境と生物の関わりと農学分野におけるバイオテクノロジーの役割について学んで欲しい。</p> <p>メッセージ ようこそバイオテクノロジーワールドへ</p> <p>教官連絡先 古賀大三(総合研究棟 6 06)、藤井克彦(農学部)、加藤昭夫(総合研究等 105)</p>					

系列 主題

分野 自然と科学

科目類型 包括

開設科目	歴史の中の動物	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全(工除く)	単位	2 単位	曜時間	木曜日 1・2 時限
担当教官	田浦保穂・中尾敏彦・佐藤宏				
<p>授業概要 歴史の中で育まれた特殊な関係(寄生虫という生物)、私たちが作り出した新たな動物分布(外来種問題)、海外での外来種問題、大陸を渡った動物とその感染症、私たちが作り出す動物(自然環境)との新たな関係、次に身近な動物と人間のかかわりあいについて述べる。人間が出現して以来、環境の大きな変化を起こさせた要因の一つに人間による動物の家畜化がある。この歴史を理解することによって、我々と環境とのかかわり合いを理解することが出来るようになるだろう。最後に、中世から現代に至る動物との関係から、家畜や動物が如何に我々の生活と係わり合い、その増殖に腐心してきたかが分かるであろう。</p> <p>授業一般目標 1. 歴史の中で育まれた特殊な関係(寄生虫という生物、外来種問題、自然環境など) 2. 馬・象・犬・猫など身近な動物とヒトとの関係を環境や歴史との観点から考察する。 3. 家畜の管理・生産にヒトが如何に腐心してきたかを考察する。</p> <p>成績評価方法(総合) 出席率及びレポートの成績により総合的に評価する。</p> <p>教科書・参考書 参考書: 脊椎動物のからだ: その比較解剖学, "A.S. ローマー, T.S. パーソンズ著; 平光 司訳", 法政大学出版局, 1983 年; 動物に観る人の歴史, 江口保暢著, 日本図書刊行会, 1998 年; 1. 脊椎動物のからだ(ローマン & パーソンズ, 法政大学出版, 1993) 2. 動物に見る人の歴史(江口保暢, 日本図書刊行会, 1998) 3. 最新「乳牛の繁殖管理指針」(中尾敏彦, 酪総研, 2000)</p> <p>メッセージ 総合評価では、講義への出席を重視する。</p> <p>教官連絡先 田浦保穂: 研究室: 農学部家畜病院 在室中は何時でも可。TEL:933-5928、e-mail:ytaura@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

系列 主題

分野 自然と科学

科目類型 包括

開設科目	火山と地震	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全(工除く)	単位	2 単位	曜時限	金曜日 1・2 時限
担当教官	今岡 照喜				
<p>授業概要 日本列島は火山列島でもあり、地震列島でもある。日本列島は昔から繰り返しこのような火山噴火、地震や津波に襲われてきた。大陸縁辺の変動する大地に住んでいる以上、我々は宿命的にこうした火山噴火や地震による災害から完全にのびられることはできそうにもない。一方で、火山と隣り合わせに住む我々は観光、温泉や地熱資源など火山の恩恵に浴している。この講義では、火山や地震がどのような場所でどのような活動をするのか、火山の噴火や地震はなぜ起こるのか、両現象に因果関係があるのかないのか、火山の噴火や地震は予知できるのか、また予知のための戦略はどのようなものか、について具体例をあげながら詳述する。</p> <p>授業一般目標 1. 日本や世界の火山の発生場所、火山噴火のメカニズムについての理解を深める。 2. 巨大地震、直下型地震にの発生機構についての理解を深める。 3. 火山や地震による被害の現状を知り、防災について考える。</p> <p>成績評価方法(総合) 小テスト、レポートおよび期末試験の結果を下記の観点・割合で評価する。</p> <p>教科書・参考書 参考書: 基礎地球科学, 西村祐二郎編著, 朝倉書店, 2002 年; 基礎地球科学, 西村祐二郎ほか著, 朝倉書店, 2002 年出版</p> <p>教官連絡先 総合研究棟、701 号室 オフィスアワー 金曜日 15:00~17:00</p>					

系列 主題

分野 健康とスポーツ

科目類型 包括

開設科目	加齢と健康	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全(看護・検査・工除く)	単位	2 単位	曜時限	月曜日 5・6 時限
担当教官	濱野公一ほか				
<p>授業概要 加齢は人の一生の中で避けることのできないプロセスである。小児期の発達から老年期まで健全に年をとっていくことができるかは人生の重要な課題の一つである。このシリーズでは、各臨床医学部門のエキスパートが講師となり、加齢の持つ医学的意味について学ぶ。また、身体活動と健康についても学ぶ。</p> <p>授業一般目標 (1) 加齢が各臓器に与える影響について学ぶ。</p> <p>成績評価方法(総合) 成績評価は最終日に行う試験で行う</p>					

開設科目	健康とアニマル・セラピー	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全(看護・検査・工除く)	単位	2 単位	曜時限	水曜日 3・4 時限
担当教官	早崎峯夫				
<p>授業概要 この授業は、動物を介在させた障害者のケアのための活動の実際について解説する。単なる動物のおもしろい仕草により癒されるという視点ではなく、ともに生活してくれる動物のお陰で心の底から癒されて自分の人生に生き甲斐と活力が生じ、障害を持ちながらも心豊かに生き生きと生活している障害者とご主人(障害者)の愛情に包まれて生き生きと介助活動をしている補助犬という視点から、人と動物の相互信頼関係や命あるものへの思いやりと愛情といったものを学ぶ。</p> <p>授業一般目標 盲導犬、聴導犬、介助犬を中心に、活動の実際とその効果を、講演、各種資料、ビデオ資料によって講義する。</p> <p>成績評価方法(総合) 自らの力で知識を広げている事を確認するために、頻繁にレポートの提出を求める。それを以て理解度を採点する。</p> <p>教科書・参考書 参考書：幸せになる犬との暮らし、林 義博監修、幻冬社、2003 年</p> <p>メッセージ 単なるテレビ番組に見るような動物おもしろ授業ではありません。厳しい訓練を乗り越えて立派な補助犬に成長する動物たちの気持と必死に生きていこうとする障害者の方々の気持を理解することによって、人の幸せとは何かを学び、動物への慈しみの心を育てて行くことが、この授業の主体ですので、そのことを十分に考えて、興味半分の気持では選択しないことを望みます。</p>					

前期 - 人文科学系列

開設科目	哲学	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時間	火曜日 5・6 時限
担当教官	波多江忠彦				
<p>授業概要 人間や事物など「世界」の本質を追求するとされる哲学をその思考方法の観点から概観する。すなわち、既成の知識/情報の収集ではなく、それらの根拠や限界(効用を含む)を批判的に検討/論及する。具体的な事例として生命倫理の諸問題(たとえば、クローン、生殖補助医療、ターミナルケアなど)を採り上げる。</p> <p>授業一般目標 「世界」に対する自分自身の信念なり確信は何処に、また何に根ざしているのか、を検討することを通じて、問題自体を発見し、あるいは提起し、できることならそれらにかんする「問題解決的思考法」を習得すること。</p> <p>成績評価方法(総合) 主としてペーパーテストの結果で行う(75%)が、講義中に提示するテーマに関するレポート(15%)や抜き打ち的な出席調査(10%)を併せて総合的に判断する。なお、云うまでもなく講義中の私語は厳禁で、注意喚起にも応じない場合は退席を願うこともあり得ます。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 倫理学をはじめよう: 論理学からおむつ体験まで, 波多江忠彦, 波多江伸子, 林大悟著, 木星社, 2003年; 倫理学をはじめよう-論理学からおむつ体験まで, 波多江/林他編著, 木星舎, 2003年/ 参考書: 『生命医学倫理』, ビーチャム・チルドレス 永安・立木訳, 成文社; 『生命倫理学を学ぶ人のために』, 加藤・加茂編, 世界思想社; 生命倫理学の基礎, R.M. ヴィーチ, メディカ出版, 2004年</p> <p>メッセージ 出席/レポートは抜き打ち的な2回で評価 講義中の私語厳禁</p> <p>教官連絡先 E-メール t.hatae158@jcom.home.ne.jp</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	哲学	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時間	火曜日 7・8 時限
担当教官	波多江忠彦				
<p>授業概要 人間や事物など「世界」の本質を追求する学問とされる哲学をその思考方法の観点から概観する。すなわち、既成の知識/情報の収集ではなく、それらの根拠や限界(効用をふくむ)を批判的に検討/論及する。具体例として生命倫理の諸問題(たとえば、クローン、生殖補助医療、ターミナルケア)などを採り上げる。</p> <p>授業一般目標 「世界」に対する自分自身の信念なり確信は何処に、また何にねざしているのか、を検討することを通じて、問題自体を発見し、あるいは提起し、出来ることならそれらに関する「問題解決的思考法」を習得すること。</p> <p>成績評価方法(総合) 主としてペーパーテストの結果で行う(75%)が、講義中に提示するテーマに関するレポート(15%)や抜き打ち的な出席調査(10%)を併せて総合的に判定する。なお、云うまでもなく講義中の私語は厳禁で、注意を喚起しても応じない場合は退席を願うこともあり得ます。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 倫理学をはじめよう-論理学からおむつ体験まで, 波多江/林他編著, 木星舎, 2003年/ 参考書: 『生命医学倫理』, ビーチャム・チルドレス 永安・立木訳, 成文社; 『生命倫理学を学ぶ人のために』, 加藤・加茂編, 世界思想社; 生命倫理学の基礎, R.M. ヴィーチ, メディカ出版, 2004年</p> <p>メッセージ 講義中の私語厳禁</p> <p>教官連絡先 E-メール t.hatae158@jcom.home.ne.jp</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 人文科学

分野 哲学

科目類型 総説

開設科目	哲学	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時限	水曜日 7・8 時限
担当教官	青山拓央				
<p>授業概要 講義の前半では時間、後半では心(意識)についての哲学的問題を扱います。哲学に関心のある学生はもちろん、哲学に不信感をもっている学生も歓迎します。特別な知識や語学力も前提としていません。ただし、自分の頭で考える「体力」をもたない学生には、受講を勧めません。また、提出レポートには一定以上の水準が求められます。扱われるトピックは、タイムトラベル、ゼノンのパラドックス、他者の心、心と身体、などです。</p> <p>授業一般目標 時間と心についての哲学的問題を知り、そこから学生自身で考えを進めることを目標としています。小論文(レポート)執筆のための、簡単なアドバイスも行ないます。</p> <p>成績評価方法(総合) 前半の授業で一回、後半の授業で一回、レポートを実施し、これをもとに評価を行ないます。レポートの具体的な提出方法については、初回の授業で説明しますので、受講者はかならず出席してください。</p> <p>教科書・参考書 参考書：哲学の謎(新書)、野矢 茂樹、講談社、1996年；翔太と猫のインサイトの夏休み、永井 均、ナカニシヤ出版、1995年；論文の教室 レポートから卒論まで、戸田山 和久、日本放送出版協会、2002年；教科書ではありませんが、興味のある学生には一読を勧めます。三冊とも対話形式で書かれており、読みやすいです。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 人文科学

分野 倫理学

科目類型 総説

開設科目	倫理学	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全(生資除く)	単位	2 単位	曜時限	火曜日 3・4 時限
担当教官	脇條靖弘				
<p>授業概要 この授業では、西洋哲学の一つの分野として倫理学を扱います。規範倫理学のさまざまな立場、さらに、メタ倫理学のさまざまな立場を概観し、現代の倫理学で焦点となる問題が何かを理解することを目指します。</p> <p>授業一般目標 規範倫理学、メタ倫理学のさまざまな立場を区別できる。</p> <p>成績評価方法(総合) 試験による。</p> <p>教科書・参考書 教科書：プリントを配付します。</p>					

開設科目	倫理学	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全(生資除く)	単位	2 単位	曜時限	木曜日 3・4 時限
担当教官	古荘真敬				
<p>授業概要 「倫理」とは何なのか。「道徳的な善悪」とはそもそも何なのか。所詮は、私たちの利己的な欲望の数々が相互に葛藤するなかで、その都度、暫定的な「勝ち負け」や「優劣」あるいは「美醜」のようなものが儻々移ろいゆくだけなのではないか。本当は「死んでしまえば皆同じ」なのであるが、そうやってしまっただけでは身も蓋もなく、また、あまりに切ないので、あたかも「人生の意味」や「人間として在るべき姿」などが存在するかのよう振りをして、誰もが「とりあえずは平穏無事に」「できるだけ周囲から孤立しないように」生きていこうとしているだけのこと、ではないのか？ 「倫理」をめぐるこうした問いのうちには、自分の命が有限であることに何らかの仕方では気づかざるをえない私たち各人のうちに潜む、ある種の不安が顔を覗かせている。その不安と今一度、冷静に向き合ってみよう。そして、私たち各人の魂の救いについて考えてみよう。</p> <p>授業一般目標 「倫理」「善悪」「幸福」「自由」「人生の意味」等々をめぐる私たちの日常的な理解の根本前提をあらためて問いなおし、生きて、死に逝く私たち自身の在り方についての理解を掘り下げる。</p> <p>成績評価方法(総合) 授業内レポートと期末レポートで評価します。</p> <p>教科書・参考書 教科書：教科書は特にありません。参考書を、随時、紹介します。</p> <p>メッセージ 履修希望者が150名を超えた場合は、初回の授業時間中にレポートを書いてもらい、その成績で履修者を決定します。したがって、初回には必ず出席してください。</p> <p>教官連絡先 furusho@yamaguchi-u.ac.jp 毎週水曜日 12:50～14:20</p>					

開設科目	生命倫理学	区分	講義	開設期	前期
対象学生	工2年	単位	2 単位	曜時限	水曜日 3・4 時限
担当教官	谷田憲俊				
<p>授業概要 医療には医学で解決できない諸問題が存在することを理解し、自らが考えて判断できる基礎を築くことを目的とする。そのため、授業では医療に関する様々な課題を提供し、多様な視点からの議論を紹介する。学生には、それぞれについて意見を求め、議論をしながら授業を進めていく。さらに、課題についてのレポートを求め、自己の考えを整理しながら生命倫理に関する素養を修得できるようにする。</p> <p>授業一般目標 医療について自らが考え・判断する能力を養い、真に人間的な幸福・豊かさを探求するための「礎」を築く。</p> <p>成績評価方法(総合) 出席点40%、レポート点40%、試験結果20%</p> <p>教科書・参考書 教科書：インフォームド・コンセント その誤解・曲解・正解、谷田憲俊、NPO 医薬ビジランスセンター、2006年 / 参考書：幸せをよぶコミュニケーション、ジャック・サロメ、行路社、2004年；講義資料はプリントとしては用意しないが、PowerPoint ファイルとして予め学生にeメールで送付することができる。</p> <p>メッセージ PowerPoint ファイル講義資料を希望する学生は、tanida@yamaguchi-u.ac.jp までメールすること。なお、ファイルが大きいので、2Mほどの容量を要する。また、さかのぼっての送付はしないし、講義終了とともに、この受付は停止するので留意すること。</p> <p>教官連絡先 tanida@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	生命倫理学	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時限	木曜日 3・4 時限
担当教官	谷田憲俊				
<p>授業概要 医療には医学で解決できない諸問題が存在することを理解し、自らが考えて判断できる基礎を築くことを目的とする。そのため、授業では生命倫理・医療倫理に関する様々な課題を提供し、多様な視点からの議論を紹介する。学生には、それぞれについて意見を求め、討論をしながら授業を進めていく。さらに、課題についてのレポートを求め、自己の考えを整理しながら生命倫理に関する素養を修得できるようにする。</p> <p>授業一般目標 生命倫理の諸問題について自らが考え・判断する能力を養い、真に人間的な幸福・豊かさを探求するための「礎」を築く。</p> <p>成績評価方法 (総合) 出席点 40 %、レポート点 40 %、試験結果 20 %</p> <p>教科書・参考書 教科書：インフォームド・コンセント その誤解・曲解・正解、谷田憲俊、NPO 医薬ビジランスセンター、2006 年 / 参考書：幸せをよぶコミュニケーション、ジャック・サロメ、行路社、2004 年；講義資料はプリントとしては用意しないが、PowerPoint ファイルとして予め学生に e メールで送付することができる。</p> <p>メッセージ PowerPoint ファイル講義資料を希望する学生は、tanida@yamaguchi-u.ac.jp までメールすること。なお、ファイルが大きいので、大学のアドレス以外には送れない。また、さかのぼっての送付はしないし、講義終了とともに、この受付は停止するので、試験前になってから得ることはできないので留意すること。</p> <p>教官連絡先 tanida@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	生命倫理学	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時限	木曜日 7・8 時限
担当教官	村瀬 ひろみ				
<p>授業概要 近年、科学技術の発展とともに、医療をめぐる技術にも大きな変化があります。また、病気の種類や治療に対する考え方も変化してきました。従来の「おまかせ医療」では、解決できない問題が出てきています。本授業では、脳死・臓器移植や、高度生殖医療などの最先端技術について倫理問題としての側面からアプローチします。医療者としてではなく、一般の医療サービスを受ける人としての立場から、技術内容、問題点を理解できるようにします。(もちろん、医療関係者の卵の方も大歓迎です)</p> <p>授業一般目標 近年、激動の医療現場では、さまざまな利害が衝突し、また、価値を伴う判断を迫られることになってきました。そのような場合に、判断の根拠となるものが「倫理」です。本講では、生命や医療にまつわる生命倫理学の立場から、さまざまな医療環境における問題を考える力を養うことを目的とします。</p> <p>成績評価方法 (総合) 基本的に、ペーパー試験のみとする。</p> <p>教科書・参考書 教科書：講義中に指示。プリントも使用予定。 / 参考書：医療倫理 I・II, グレゴリー・E・ペンス, みすず書房, 2000 年；医の倫理, H・プロディ, 東京大学出版局, 1983 年；私的所有論, 立岩真也, 勁草書房, 1997 年；毎回、参考書を指示する。</p> <p>メッセージ 意欲的な取り組みを期待しています。</p>					

開設科目	日本史	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全(獣医除く)	単位	2 単位	曜時限	月曜日 3・4 時限
担当教官	木部和昭				
<p>授業概要 テーマ：近代山口県産業史 本講義では、近代(明治～昭和戦前期)における山口県の諸産業の歴史について取り扱う。明治維新以後、日本が国を挙げて殖産興業政策を推し進め、産業革命を達成するなど近代化・工業化に成功したことは周知の事実である。では、明治維新発祥の地の一つである長州、すなわち山口県地域においては、それはどのような形で進行していったのであろうか。本講義では、江戸時代以来の在来産業から、洋式技術導入によって成立した近代工業までを視野に入れつつ、近代化・工業化が地域経済に及ぼした影響について言及し、あわせて山口県産業・工業の現状を規定する歴史的要因に関しても考察を加えてみたい。</p> <p>授業一般目標 ・近代における日本史の流れを復習しつつ、より踏み込んだ大学レベルの日本史について学ぶ。・山口という地域に対する理解を深める。・歴史が現在の我々の生活と深く関わっている事を認識させる。</p> <p>成績評価方法(総合) 学期末試験は論述形式。講義中、数回程度のレポートを課す。期末試験 65%、小レポート 20%、出席 15%</p> <p>教科書・参考書 教科書：テキストは特に指定しない。資料プリントを毎回配布する。/ 参考書：参考文献については、講義の中で適宜紹介する。</p> <p>メッセージ 山口県の土地勘のない人は、適当な山口県地図などを入手した方が、講義を理解する上で役立つと思われる(特に1年生)</p> <p>教官連絡先 経済学部 C207 研究室 内線 5566 E-mail ; kibe@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	日本史	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全(獣医除く)	単位	2 単位	曜時限	火曜日 7・8 時限
担当教官	村田裕一				
<p>授業概要 本講義では、主に日本の弥生・古墳時代以前の技術発達史を取り扱う。石器・金属器・ガラス等の考古遺物を対象として、それらの製作技術を解説することで考古学的な手法による歴史学へのアプローチについて紹介する。技術の歴史自体は、必ずしも歴史学の主要な研究テーマではないが、考古学的な歴史研究では最も基本となる部分である。なぜならば、遺物の個別研究は考古学的研究法の基礎であり、遺物をよく観察することでその本質を見極め、これを論理的に意味づけることは、研究の出発点となるからである。そして個々の遺物の重要な観察項目の一つが「それがどのようにして作られたのか」という技術的な側面なのである。その意味で本講義は考古学入門的な内容となる。いわば「もの作りの考古学」が本講義の主要なテーマである。</p> <p>授業一般目標 1. 考古遺物の研究方法についての知識を習得する。 2. 考古学の基本知識を獲得する。 3. 考古学の方法論への理解を深める。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験 80%、授業外レポート 20%</p> <p>教科書・参考書 教科書：使用しない。講義プリントを配布する。/ 参考書：講義の中で文献を紹介する。</p> <p>メッセージ 毎回の授業の終わりに感想カードを書いてもらいますが成績評価の材料とはしません。</p> <p>教官連絡先 E-mail : h-murata@yamaguchi-u.ac.jp , オフィスアワー : 水曜日 7・8 時限</p> <p>備考 隔年開講</p>					

開設科目	東洋史	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全(獣医除く)	単位	2 単位	曜時限	月曜日 7・8 時限
担当教官	滝野正二郎				
<p>授業概要 前近代の東アジア世界を律する秩序であった冊封体制を理解し、「中世」におけるその変質と、近代における西洋出自の世界システムとの齟齬、それへの併呑に言及する。</p> <p>授業一般目標 東アジア世界伝統の秩序体系を理解することによって、現代の国家観・国際体系を相対化する。</p> <p>成績評価方法(総合) 期末試験によって評価する。出席は欠格条件とする。</p> <p>教科書・参考書 教科書：なし。授業中に適宜プリントを配付する。/ 参考書：中国古代国家と東アジア世界、西嶋定生、東京大学出版会、1983年；中国と古代東アジア世界、堀敏一、岩波書店、1993年；隋唐の国際秩序と東アジア、金子修一、名著刊行会、2001年；アジアの中の日本史1～6、荒野・石井・村井編、東京大学出版会、1992年；朝貢システムと近代アジア、濱下武志、岩波書店、1997年；現代中国の構図、諏訪哲郎編、古今書院、1987年 アジア工業圏と日本工業化 1500-1900、濱下・川勝編、リプロポート、1991年 近世日本と東アジア、荒野泰典、東京大学出版会、1988 近代中国の国際的契機、浜下武志、東京大学出版会、1990 アジアから考える〔2〕地域システム、溝口・浜下・平石・宮嶋編、東京大学出版会、1993 アジアから考える〔3〕周縁からの歴史、溝口・浜下・平石・宮嶋編、東京大学出版会、1994 日本の中世 9 モンゴル襲来の衝撃、佐伯弘次、中央公論新社、20</p> <p>メッセージ 第一回目授業の受講者が200人を超過した場合は抽選によって受講を制限する。</p> <p>教官連絡先 研究室：人文学部 517号室、電話：内線 5229、メール：stakino@yamaguchi-u.ac.jp オフィスアワー：木曜日 5/6 時限</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	西洋史	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全(獣医除く)	単位	2 単位	曜時限	月曜日 9・10 時限
担当教官	松永和生				
<p>授業概要 西洋近現代史について、ドイツを中心に講義する。もちろん、ドイツばかりでなく他のヨーロッパ諸国やアメリカについても触れる。扱う時期は14世紀からであるが、重点は19世紀から20世紀前半に置く。歴史は暗記というイメージが強いが、そうではない。講義の中では、歴史を学ぶ意義も示していきたい。</p> <p>授業一般目標 (1) 西洋近現代史の流れを把握する。(2) 歴史の見方は多様であることに気づく。(3) 「歴史は暗記」のイメージを払拭する。</p> <p>成績評価方法(総合) 講義中に行う3回程度の小テストと期末試験で評価を行う。</p> <p>教科書・参考書 教科書：西洋の歴史 近現代編、大下尚一他、ミネルヴァ書房、1998年</p> <p>メッセージ 受講に際して、高校で世界史を履修したかどうかは関係ありません。年代や人名をたくさん暗記していることも必須ではありません。大事なのは、積極的に学ぼうとする姿勢です。</p> <p>教官連絡先 メールアドレス：chikenkikou@hkr.jrnet.ne.jp</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	西洋史	区分	講義	開設期	前期
対象学生	工2年	単位	2単位	曜時間	水曜日3・4時限
担当教官	眞木利江				
<p>授業概要 近代建築の史的展開を概観し、各時代の建築が成立した背景、建築家の設計理念、建築理論、および空間構成の手法を解説する。</p> <p>授業一般目標 (1)近代建築の史的展開を理解する。(2)各時代の建築が成立した背景、建築理論、空間意味を理解する。(3)建築家の設計理念、空間構成の手法を理解する。(4)空間デザインに対する認識を深める。</p> <p>成績評価方法(総合) 期末試験により評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：プリント配布。/参考書：近代建築史図集,日本建築学会編,彰国社,1976年;近代建築史,桐敷真次郎,共立出版,2001年</p> <p>メッセージ 建築に関心を持つ学生の受講を希望する。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	西洋史	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全(獣医除く)	単位	2単位	曜時間	木曜日7・8時限
担当教官	古賀大介				
<p>授業概要 みなさんは高校生時代、教科書に書かれている「歴史」は絶対的に正しいと習ってきたと思います。しかも、みなさんにとっての「歴史」は、暗記科目であったと思います。本講義では、こうした「常識」を突き崩すことから始めます。そして、西洋史・経済史をベースとしながら、歴史的な発想・考え方を養う訓練をしていきます。最終的には、今を、そしてこれからを生きる私たちに「歴史」(歴史的考え方)が、いかなる意味を持つのか、一緒に考えてみたいと思います。</p> <p>授業一般目標 1.高校までに習った「歴史」に対するイメージを転換する。2.西洋史・経済史をベースとしながら現代社会・経済の様々な問題を相対化する眼を養う。</p> <p>成績評価方法(総合) 出席(コメント票に対する評価)と、定期試験の総合評価となります。</p> <p>教科書・参考書 教科書：毎回オリジナル・レジュメを配布する/参考書：あなたが歴史と出会うとき,堺憲一,名古屋大学出版会,1989年</p> <p>メッセージ 本講義は、ある一つのテーマ・専門領域を深く追求するといったスタイルの講義と異なります。テーマ追求型の講義スタイルを期待する方はご遠慮ください。また、歴史が嫌いな人もご遠慮ください。頭が固い人、講義はこうあるべきだという固定観念がある人にもお勧めできません。ただ、ほんとに歴史が好きな人、世の中の仕組みを真剣に知りたい人は、ぜひ受講してみてください。本講義では、史実の紹介よりも「歴史的」考え方の紹介に力点が置かれます。応募者多数の場合、やる気と1.人文学部・教育学部理学部・医学部・他大学生>2.経済学部>3.工学部・その他の学部の順での選抜となります。</p> <p>教官連絡先 経済学部 A208(古賀研究室)</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 人文科学

分野 宗教学

科目類型 総説

開設科目	宗教学	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全(獣医除く)	単位	2 単位	曜時限	月曜日 5・6 時限
担当教官	岡村康夫				
<p>授業概要 世界の宗教、主に世界三大宗教の歴史およびその教えについて学ぶ。</p> <p>授業一般目標 世界の宗教、特に仏教、キリスト教、イスラーム教について紹介し、宗教学的観点から「宗教とは何か」を学ぶ。</p> <p>成績評価方法(総合) 毎回の授業についての理解度を見るレポートと最終試験によって評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：日本の仏教, 渡辺照宏, 岩波新書</p>					

系列 人文科学

分野 心理学

科目類型 総説

開設科目	心理学(子どもを科学する)	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全(生資除く)	単位	2 単位	曜時限	火曜日 7・8 時限
担当教官	白石敏行				
<p>授業概要 心理学とはどのような学問であるのかを概説する。</p> <p>授業一般目標 心理学に関する基礎的事項について理解する。</p> <p>成績評価方法(総合) 出席、授業への参加、および学期末のテストをもとに総合的に評価する。特別な理由を除き、3回以上欠席した場合には、評価対象外とします。</p> <p>メッセージ 人数制限(上限 100 名程度)を設けますので、初回には必ず出席してください(特別な理由がない限り、初回の欠席者の履修は認めません)。受講態度等他の受講者の迷惑となるような行為を行った場合は、それ以降の受講を認めません。子どもの心理発達に関心のある方の受講を望みます。</p> <p>教官連絡先 連絡先：(083)933-5330 t-shira@yamaguchi-u.ac.jp 研究室：教育学部 4 階 白石研究室(404 室) オフィスアワー：随時</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	心理学	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全(生資除く)	単位	2単位	曜時限	水曜日 3・4時限
担当教官	恒吉徹三・福田廣				
<p>授業概要 ここを理解するための学問である心理学の諸領域の中から、いくつかのトピックスを取り上げて講義します。</p> <p>授業一般目標 (1) 人の意識体験や行動の背景となっている心を理解することが、どれほど日常の暮らしの中での行為であるかを知ること。(2) 心理学とはどのような学問であるのか、心の解明についての研究方法、心への実証的・了解的アプローチの特徴をとらえること。(3) 心をその機能別に区分し、そうした領域の研究成果を示し、様々な現象についての基本的説明概念の理解を深めること。</p> <p>成績評価方法(総合) 成績は、小テスト(第1週から第6週までの講義の小テスト10点、第7週から第13週までの講義の小テスト10点。合計20点)及び期末試験(80点)で評価します。なお、合計12回以上の出席をもって期末試験の受験資格とします。私語など講義の進行の妨げとなるような行為があつて3回の注意を行った場合を欠格条件とします。また、10分以上の遅刻は理由を問わず入室を一切認めません。</p> <p>教科書・参考書 教科書： はじめて出会う心理学, 長谷川寿一・東條正城・大島尚・丹野義彦, 有斐閣, 2000年 / 参考書： あなたの心理学, 吉岡一郎編, 北大路書房, 1985年</p> <p>メッセージ 120名を超える場合は、初回の講義で抽選を行うので必ず本人が出席すること。抽選終了後にはいかなる理由であっても追加受講は一切認めないので留意すること。自らのことについても日常生活の中で振り返ってみてほしい。</p> <p>教官連絡先 恒吉：392号室(933 - 5446) 福田：378号室(933 - 5455)</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	心理学	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全(生資除く)	単位	2単位	曜時限	水曜日 3・4時限
担当教官	福田廣・恒吉徹三				
<p>授業概要 ここを理解するための学問である心理学の諸領域の中から、いくつかのトピックスを取り上げて講義します。</p> <p>授業一般目標 (1) 人の意識体験や行動の背景となっている心を理解することが、どれほど日常の暮らしの中での行為であるかを知ること。(2) 心理学とはどのような学問であるのか、心の解明についての研究方法、心への実証的・了解的アプローチの特徴をとらえること。(3) 心をその機能別に区分し、そうした領域の研究成果を示し、様々な現象についての基本的説明概念の理解を深めること。</p> <p>成績評価方法(総合) 成績は、小テスト(第1週から第6週までの講義の小テスト10点、第7週から第13週までの講義の小テスト10点。合計20点)及び期末試験(80点)で評価します。なお、合計12回以上の出席をもって期末試験の受験資格とします。私語など講義の進行の妨げとなるような行為があつて3回の注意を行った場合を欠格条件とします。また、10分以上の遅刻は理由を問わず入室を一切認めません。</p> <p>教科書・参考書 教科書： はじめて出会う心理学, 長谷川寿一・東條正城・大島尚・丹野義彦, 有斐閣, 2000年 / 参考書： あなたの心理学, 吉岡一郎編, 北大路書房, 1985年</p> <p>メッセージ 120名を超える場合は、初回の講義で抽選を行うので必ず本人が出席すること。抽選終了後にはいかなる理由であっても追加受講は一切認めないので留意すること。自らのことについても日常生活の中で振り返ってみてほしい。</p> <p>教官連絡先 福田：378号室(933 - 5455) 恒吉：392号室(933 - 5446)</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	心理学	区分	講義	開設期	前期
対象学生	看護・検査	単位	2 単位	曜時間	木曜日 9・10 時限
担当教官	清 俊夫				
<p>授業概要 ある人の行動を理解しようとする場合、その人の客観的な人柄と、その行動が起こった時の客観的な環境が理解できれば、おのずからその行動が理解できるというものではない。客観的な人柄や環境と並んで、その人が環境や自らをどう認知していたかが重要な要因となる。加えて、青年期後期にある皆さんには、自分を知り、自分を確立していくことが重要な課題である。そのことによって初めて、私たちは安定し、自分の目標を持って生き生きと生活できるからである。この授業は、他者の理解や援助、自己の理解や形成の基礎となる心理学の基礎知識を学ぶ。</p> <p>授業一般目標 私たちの知(知覚, 学習, 思考など)、情(感情, 動機付け, 態度など)、人柄(パーソナリティと自己)について、心理学がこれまで明らかにしてきたものを理解し、加えて自らを振り返り、理解し、自分の人生の目標を少しでも明確にすることを目指す。</p> <p>成績評価方法(総合) 期末試験 50%、小テスト 40%、出席 10%(ただし 4 回以上欠席したものは出席点はない。遅刻は 1 回につき-1 点)。出席を確認してから、断りなく、教室を抜け出したものは、1 回であっても、出席点はなくなる。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 心理学, 岡堂哲雄, 金子書房, 1985 年</p> <p>メッセージ 再試験はしませんので、日々の授業、小試験、定期試験に真剣に取り組んでください。</p> <p>教官連絡先 seitoshi-ygc@umin.ac.jp office phone:(0836)22-2802 授業矢会議等の時間を除き随時 office hour:随時(授業・会議等のないときはいつでも)</p>					

開設科目	日本文学	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全(獣医除く)	単位	2 単位	曜時間	木曜日 5・6 時限
担当教官	藤原マリ子				
<p>授業概要 「俳句」の源流である近世の「俳諧」の代表的作品を読んでゆく。俳諧の歴史をたどり、日本の伝統詩の土壌を理解するとともに、芭蕉や蕪村などの代表的俳人の作品に触れ、その文学的特質や作品の魅力を知る。</p> <p>授業一般目標 (1) 俳諧を歴史を知り、日本の韻文学の伝統について理解を深める。(2) 代表的な俳諧作品を読み、古典文学作品の魅力に触れる。(3) 生涯にわたって伝統的韻文学を楽しむ態度を培う。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期考査の結果、授業の終わりに毎回提出してもらうシートの状況、出席状況を総合的に判断して評価する。出席が所定の回数に満たない場合は、単位は取得できない。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 毎回、プリントを用意する。/ 参考書: 授業中に随時、紹介する。</p> <p>メッセージ 主体的な問題意識をもって授業に参加することを望む。</p> <p>教官連絡先 mf260923@yamaguchi-u.ac.jp</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	言語学	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全(獣医除く)	単位	2単位	曜時間	木曜日 1・2時限
担当教官	添田建治郎				
<p>授業概要 日本語の、「音声・アクセントの特徴と働き」「方言の意義」「文字の成立」などについて述べる。</p> <p>授業一般目標 日本語とは何かについて、深い理解を得る。</p> <p>成績評価方法(総合) 筆記試験、出席、質問カードの内容</p> <p>教科書・参考書 教科書：愉快的日本語講座，添田建治郎，小学館，2005年</p> <p>メッセージ 日本語はかけがえのないことば</p> <p>教官連絡先 研究室：人文学部5階(083-933-5249) オフィスアワー：火曜日 13:00～14:30</p>					

開設科目	芸術史(美術史)	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全(獣医除く)	単位	2単位	曜時間	火曜日 1・2時限
担当教官	吉田貴富				
<p>授業概要 【内容】造形表現を絵画作品を中心として美術史的に概観する。必ずしも通史的な扱いはしない。【留意事項】第2週からの受講はお断りします。シラバスをよく読んでこの授業が自分に合っていないと思う方は受講しないで下さい。楽しくかつ厳しく授業を進め、お互いが不快な思いをしないようにしようと思っています。高校までの美術の経験や知識は問いません。それよりも現時点での美術に関する興味・関心・意欲を求めます。遅刻をしないという基本的な生活習慣も必要です。受動的に講義を聴くだけではありません。こちらが提示する作品について「あなたの考え」を話してもらいます。できるだけ対話的に進めて行こうと思っています。ほぼ毎回課題を出します。教室の容量に応じて受講者数を制限します(方法はくじ引き)。初心者(?)向けの授業です。人文学部や教育学部で美術を専攻している方には物足りないと思います。したがって、人数制限をする場合には、まずその専攻の方からご遠慮いただきます。受講態度について具体的に指摘しなければ分からない学生が多いので、ここに一部記しておきます。飲食・私語・携帯電話は厳禁。教室内では原則として帽子は脱ぎなさい。人と話す際にはオーディオのイヤフォンを外しなさい。遅れて教室に入る場合は静かに歩くこと。授業が始まってから教卓前(授業者と受講者の間)を通らないこと。眠かたり体調が優れなかつたりして机に伏せなければいけないような状態ならば、欠席して自宅でご寝下さい(退出してもらいます)。課題等提出物は、所定の形式を守れない物は受け取りません。出席確認や課題提出に不正があった場合には、不正を依頼した側と依頼されて実行した側の双方の受講資格と受験資格が失われます。</p> <p>授業一般目標 造形表現を美術的に理解する。</p> <p>成績評価方法(総合) 一応、下記のような評価方法を考えているが、授業の状況に応じて変更もあり得る。授業は生き物である。変更も含めて、最終的な評価の割合については、最終回の授業で説明する。遅刻は10分までは認める。それ以降の入室はお断りする(=欠席)。欠席は理由を問わず3回までは認める。4回以上欠席すると受験資格を失う。出席状況は「欠格条件」でもあるが、当然のことながら「授業態度・授業参加度」としても勘案する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：『図説 名画の歴史』，西岡文彦，河出書房新社，2001年； 定価1890円 / 参考書：必要に応じて授業の中で適宜紹介する。</p> <p>教官連絡先 研究室：教育学部南棟2階 電話&FAX：083-933-5372 E-mail：takatomi@yamaguchi-u.ac.jp メール送付の際「件名」に「授業科目名」か「自分の所属・氏名」を明記すること。見知らぬアドレスからの件名の無いメールは開かないことにしています。 オフィスアワーは設けません。連絡を取ってから訪ねてくれるのが確実ですが、通りすがりにノックしてくれても構いません。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	芸術実践(美術)	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全(生資・獣医除く)	単位	2 単位	曜時限	金曜日 7・8 時限
担当教官	河野令二、中野良寿				
<p>授業概要 美術の分野の中で、絵画、工芸の制作と、鑑賞をとおして、美術分野の一端を理解する。絵画の分野では描写や彩色の実技をとおして絵画表現の手法を習得する。工芸の分野では竹による工芸制作をとおして、その手法を習得するとともに竹の造形文化について学ぶ。</p> <p>授業一般目標 (1) 絵画の分野では描写や彩色の実技をとおして絵画表現の手法を習得する。(2) 工芸の分野では竹によるものづくりと竹の造形文化について理解を深める。</p> <p>成績評価方法(総合) (1) 授業態度、授業への参加度 30% (2) 受講者の制作作品 30% (3) 出席 40%</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

前期 - 社会科学系列

系列 社会科学

分野 法学

科目類型 総説

開設科目	法学	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全(経除く)	単位	2 単位	曜時限	火曜日 7・8 時限
担当教官	柳澤旭				
<p>授業概要 この講義は、法律に関する基本的な用語・概念を理解すると共に、社会においてどのような法律が存在し機能しているかを説明することにより、教養としての法学(経済社会における法的問題に対する処理能力)の基礎を学習する。</p> <p>授業一般目標 法学の基本的な考え方、概念、実定法の体系等について理解することを目標とする。</p> <p>成績評価方法(総合) 期末試験(短答式)による。各回の講義内容から必ず1問以上出題する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：現代法学入門(第4版)、伊藤正巳他、有斐閣、2005年</p> <p>メッセージ 法学は無味乾燥であり、最初は知識を習得することから始まります。授業に出席し真面目に講義を聴くこと。全てはそこから出発です。</p> <p>教官連絡先 aoyagi@yamaguchi-u.ac.jp</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 社会科学

分野 法学

科目類型 総説

開設科目	法学	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全(経除く)	単位	2 単位	曜時限	水曜日 3・4 時限
担当教官	平中貫一				
<p>授業概要 法学の基礎として民法を学ぶ。</p> <p>授業一般目標 民法の基礎的知識の修得</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	日本国憲法	区分	講義	開設期	前期
対象学生	工(機械・社建・応化)・看護・検査	単位	2 単位	曜時限	火曜日 9・10 時限
担当教官	上杉信敬				
<p>授業概要 国の基本法である日本国憲法の内容について考えていく。その際、国民主権、基本的人権の保障、権力分立、平和主義、などの主要原則について考えていく。そして、国民が主権者であることを基本として大切なことを理解しつつ、人権について主に見ていく。</p> <p>授業一般目標 最高法規について重要なこと、さらに前期はそのうちで主に人権の大切さを理解する。</p> <p>成績評価方法 (総合) 定期試験 (中間試験と期末試験) = 60~80 % 小テスト / 授業内レポート = 20 % 未満 出席 = 20 % 未満</p> <p>教科書・参考書 教科書: 開講時に指示する。 / 参考書: 開講時に指示する。</p> <p>メッセージ 最高法規に関して、権力分立、人権保障、平和主義などについて考えよう。</p> <p>教官連絡先 内線 5 5 8 8</p>					

開設科目	日本国憲法	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人	単位	2 単位	曜時限	木曜日 5・6 時限
担当教官	立山紘毅				
<p>授業概要 2005 年秋の衆議院選挙圧勝の勢に乗って、自由民主党は日本国憲法の改正試案を発表した。もちろん、こうした出来事は今に始まったことではなく、日本国憲法は常に政権与党の改憲圧力にさらされ続けてきた、という異様な過去をもつ。もちろん、憲法の基本性格が政権担当者を法の下に拘束する、というものである以上、権力者にとっては「めの上のこぶ」に等しい存在であることは古今東西を問わない。ただ、そこには一つに政治・社会風土における日本的な特質が検出され、もう一つに戦後史の影が大きく反映されている。この講義では、昨年発表された自民党憲法改正試案を出発点として、その基本性格を分析する中から、日本国憲法の本来もつべき価値を抽出し、さらに過去へ遡って憲法改正論の推移をたどろうとするものである。</p> <p>授業一般目標 上述したとおり、憲法は生きた政治を相手にする法であるとともに、きわめて原理的な(哲学的とさえいえる)考察を必要とする法である。したがって、講義は多面的な性格をもたざるをえないが、「憲法改正論」を手がかりとして、その全貌に及ぼうとするものである。したがって、間違っても中学・高校の延長上にはない、と頭を切り替えて臨んでほしい。</p> <p>成績評価方法 (総合) 私の講義では、基本的に定期試験での成績をほぼ 100 % として評価する。講義外でのレポートなども加味することはありうるが、夏期休業前に講義を全部終える、との制度「改変」のため、一冊分厚い書物を読んで、長いレポートをみっちり書いてもらう、という手法は事実上不可能となった(それに拍車をかけているのが「ハッピー・マンデー」とやらである。これも「法律上の制度」である)。また、実社会では、おおむね「結果すべての一発勝負」が「評価」であることや、「多面的な観点からの評価」のごときは「学校」の中での甘い言い訳に過ぎないことも十分承知しておかれない。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 特に指定しない / 参考書: 講義の展開に応じて指示する</p> <p>教官連絡先 オフィス・アワーは設定していないが、種々の理由から、在室は不定時なので、事前に e-mail でアポイントメントを取っていただきたい。</p>					

開設科目	日本国憲法	区分	講義	開設期	前期
対象学生	工2年	単位	2単位	曜時限	木曜日 5・6時限
担当教官	立山紘毅				

開設科目	日本国憲法	区分	講義	開設期	前期
対象学生	学教	単位	2単位	曜時限	木曜日 7・8時限
担当教官	川野祐司				
<p>授業概要 日本国憲法の基本事項について、なるべく身近な事例に関連づけて、講義する。日本国憲法の基礎的な知識のみならず、法律学に固有の思考方法（法的思考）の概略にも触れる。</p> <p>授業一般目標 高度化、複雑化する現代社会において、日本国憲法の基礎的な知識や法的思考の概要は、専門家以外にも求められる基本的な素養となっている。日本国憲法は、しばしば、難解で取っつきにくく、価値や理念が先行する抽象的なものといった印象を与える。しかし、実際には、身のまわりに起こっている出来事に具体的に關わっており、それらを筋道立てて説明するのに役立つ。日本国憲法を学ぶということは、同時に、近代、社会、個人、国家、政治、法、人権といった諸概念をより深く理解し、獲得することを目指す営みでもある。これによって、われわれの生きる社会をより深く理解することができるようになることが、本講義の目標である。</p> <p>成績評価方法（総合） 期末試験によって評価する。ただし、レポート課題等を課したときには、それも評価対象に加える。</p> <p>教科書・参考書 教科書：現代憲法概論，土井靖美・網中政機編著，嵯峨野書院，2006年 / 参考書：憲法（第3版），芦部信喜、高橋和之補訂，岩波書店，2002年；憲法フォーラム（増補版），畑博行・阪本昌成編，有信堂高文社，2005年；憲法はまだか，ジェームス三木，角川書店，2002年；憲法とは何か，長谷部恭男，岩波書店，2006年；憲法判例百選Ⅰ、Ⅱ（第4版），芦部信喜、高橋和之、長谷部恭男編，有斐閣，2000年；その他、講義中に指示する。</p> <p>メッセージ 新聞・雑誌・テレビなどでの政治や憲法・法律にかかわるニュースに、意識して注目してみてください。そして、疑問に思ったことを調べましょう。そして、調べてもよく分からないことについては、質問してください。何気ない日常のニュースの中にも、多少の知識と興味をもって見れば、興味深いものが転がっています。</p>					

系列 社会科学

分野 政治学

科目類型 総説

開設科目	政治学	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全(経・獣医除く)	単位	2単位	曜時間	金曜日 5・6時限
担当教官	渡邊幹雄				
<p>授業概要 本講義では、政治学の基本的な問題について、さまざまな観点から考察する。物事の善悪を問う規範的な視点、事象に即してその分析を試みる実証的な視点を織り交ぜながら、政治学(国際関係を含む)のメイン・トピックスについて、複合的なアプローチを試みる。政治学は本来総合的な学問であるから、取り上げる問題に応じて、広く他の学問領域にも言及する。</p> <p>授業一般目標 第一に、さまざまな出来事の中で、それをとくに「政治的」にしている要因は何なのか、すなわち、政治学とは何を扱う学問であるのかを明らかにし、そこに現れるいろいろな概念(キーワード)の意味を理解した上で、それを現実の政治現象に適用できる能力を養う。最終的には、さまざまな政治概念の由来、変容、意義をふまえて、みずからの政治的アイデンティティを問えるようにする。</p> <p>成績評価方法(総合) 期末に行われる試験によって、さまざまな観点から総合的に判定する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：とくに指定しない。/ 参考書：講義中に適宜指示する。</p> <p>メッセージ 自分自身の頭で考えることを心がけてください。</p> <p>教官連絡先 研究室：経済学部3階、オフィスアワー：授業終了後</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 社会科学

分野 経済学

科目類型 総説

開設科目	経済学	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全(経除く)	単位	2単位	曜時間	木曜日 1・2時限
担当教官	馬田哲次				
<p>授業概要 資本主義経済の基本的な仕組みについて説明します。</p> <p>授業一般目標 1.資本の運動について理解する。2.需要曲線について理解する。3.供給の決定について理解する。4.勘定表の仕組みについて理解する。5.経済循環について理解する。6.金融市場について理解する。</p> <p>成績評価方法(総合) 成績評価は基本的に、出席(10%)と期末試験(90%)で行う。</p> <p>教官連絡先 umada@yamaguchi-u.ac.jp</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	社会学	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全(獣医除く)	単位	2 単位	曜時間	火曜日 3・4 時限
担当教官	鍋山祥子				
<p>授業概要 人間は社会的動物である。この世に生まれ落ちた瞬間、いやそれ以前より、私たちは「関係性」の中で生きている。「わたくし個人」という存在は「自分ひとり」のことを指すようでもあり、しかしその個人を存在せしめているものは「関係性」以外の何ものでもない。この関係性を基本的な視点として、講義では毎回異なる身近なテーマを設定する。 私たちがこれまで「当たり前」のこととして受け容れてきた事象を社会的に考察すると、そこにはどのような意味世界が広がっているのだろうか。 テーマは、社会学とは何か・自分とは何か・家族とは何か・ジェンダーとは何か・労働とは何か・恋愛とは何か・共存(依存症)とは何か・感情とは何か・消費とは何か・高齢社会とは何か他である。</p> <p>授業一般目標 日常生活場面を社会的に考察することを通じて、「自分」というものがいかに環境によって定義されており、また「常識」だと思われてきたものがいかに「可变的」なものであるのかということに意識的になることを目標とする。</p> <p>成績評価方法(総合) 出席と課題提出、学期末試験(授業内容を網羅した内容・論述あり・持ち込み不可)による総合評価。テキストを使用しない講義のため、出席を欠格条件とする。配点は、授業内外レポート 30%・定期試験 70%とする。</p> <p>教科書・参考書 教科書：教科書は用いず、テーマの理解を深めるために必要なデータ・資料については、プリントを配付する。/参考書：テーマの理解を深めるための参考文献については、授業中適宜提示する。</p> <p>メッセージ 講義内容を自分の生活に結びつけて思考する想像力が不可欠です。</p> <p>教官連絡先 E-mail : nabeyama@yamaguchi-u.ac.jp オフィスアワー : 水曜日 10:00 - 11:00</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	社会学	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全(獣医除く)	単位	2 単位	曜時間	火曜日 9・10 時限
担当教官	横田尚俊				
<p>授業概要 社会学という学問の概略を説明しながら、私たちが否応なく巻き込まれつつ当事者としてその動向を左右している現代社会の諸相にアプローチしていきます。おもに、都市や農村といった地域社会の変貌と諸問題に焦点を合わせて、できるだけ多くの資料を参照しながら講義します。</p> <p>授業一般目標 (1) 都市や農村といった現代の地域社会のしくみや変化の趨勢について理解するとともに、現代社会に対する関心の幅を広げる。(2) 社会学の分析視角に触れることによって、受講生各自が、それまで自明だと考えていた社会現象に対する見方を相対化したり、それらを眺める視点を深められるようにする。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験 50% 出席 40% 小テスト 10%(2~3回、簡単な小テストを実施します。詳細は、授業の中で説明します)</p> <p>教科書・参考書 教科書：地域社会へのまなざし、大久保武・中西典子ほか、文化書房博文社、2006年 / 参考書：資料として、授業内容にかかわるプリントを配付します。また、参考文献に関しては、授業のなかで適宜紹介します。</p> <p>メッセージ (1) 授業の形式にかかわる相談は、直接口頭でしてください。内容にかかわる質問は、毎回配付する所定の用紙に記入しても構いません。コミュニケーションの基本は対面的接触だという方針で、授業を進めたいと思います。(2) 定期試験は、基本的に、括弧内に用語や人名、数字などを記入してもらう方式で行います(教科書、ノート等すべて持ち込み不可)(3) 受講希望者が200名を越える場合には、抽選とする場合があります(但し、一つの学部の受講生が全受講生の半数を越えないように調整します)。初回の授業に必ず出席して下さい。</p> <p>教官連絡先 メール・アドレス n.y@yamaguchi-u.ac.jp 研究室は人文棟3階307室です。来室する場合は、できれば事前にメール、電話等で連絡して下さい。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 社会科学

分野 社会学

科目類型 総説

開設科目	社会学	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全(獣医除く)	単位	2 単位	曜時限	水曜日 3・4 時限
担当教官	辻 正二				
<p>授業概要 現代の社会を理解するために社会学の基本的考え方を身につけるために、社会学の基本的な理論と現代社会が抱える諸問題を学ぶ。</p> <p>授業一般目標 (1)社会学の基本的な考え方を身につける (2)社会学の理論や概念について学び、それを使って社会現象を説明・理解できるようにする (3)現代社会が抱えている諸問題を学び、理解できるようにする</p> <p>教科書・参考書 教科書：現代の社会的解読, 山本努・辻正二・稲月正, 学文社, 2006 年 / 参考書：プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神(岩波文庫; 白(34)-209-3)改訳, マックス・ヴェーバー著; 大塚久雄訳, 岩波書店, 1989 年; 社会理論と社会構造, ロバート.K. マートン [著]; 森東吾 [ほか] 訳, みすず書房, 1961 年; ゲマインシャフトとゲゼルシャフト: 純粋社会学の基本概念(岩波文庫), テンニエス著; 杉之原寿一訳, 岩波書店, 1957 年; 社会学概論(改版), 高田保馬著, 岩波書店, 1971 年; M・ウェーバー「プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神」(岩波文庫) E・デュルケーム『自殺論』(中央公論文庫) G・ジンメル『社会学』(上・下)(白水社) R・K・マートン『社会理論と社会構造』(みすず書房) ミルズ『社会学的想像力』(紀伊國屋書房) C・H・クーリー『社会組織論』(青木書店) F・テンニエス『ゲマインシャフトとゲゼルシャフト』(岩波文庫) マッキーバー『コミュニティ』(ミネルヴァ書房) 高田保馬『社会学概論』(岩波書店)</p> <p>メッセージ 新聞を読む習慣をつけてください。そして、なぜそういう現象が起きたかを考える 習慣も身につけてください。</p> <p>教官連絡先 人文学部辻研究室(309室)</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 社会科学

分野 地理学

科目類型 総説

開設科目	地理学	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全(獣医除く)	単位	2 単位	曜時限	火曜日 7・8 時限
担当教官	荒木一視				
<p>授業概要 近年、食に対する関心が高まっています。しかし、はたして私たちはどのくらい実際に食べているものについての情報を持っているのでしょうか?あなたが夕べ食べた食材はどこで作られたものなのでしょうか。おそらく答えられる人は1人もいません。しかし、その背景には近年急速に成長しつつある食料供給システムが存在しているのです。本講義ではその一端を紹介します。</p> <p>授業一般目標 野菜や果樹,あるいは肉や魚,さらに米や小麦などの穀物類,私たちが日常的に食べている食物をとりあげて,今日の食料供給体系を理解するとともに,それが孕む問題点や課題,またその体系を構築してきた背景について検討する。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験あるいはレポートに加えて,授業時間中の質疑,討論の内容も評価に加える。</p> <p>教官連絡先 教育学部 4F arakih@yamaguchi-u.ac.jp</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	地理学	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全(獣医除く)	単位	2 単位	曜時間	木曜日 7・8 時限
担当教官	Mikhova, Dimitrina				
<p>授業概要 THIS COURSE IS TAUGHT IN ENGLISH. It focuses on Human Geography. Starts with the origins of humanity and its diffusion over the earth. Discusses agriculture and the emergence of civilizations. Special attention is given to Europe and the rise of today's global culture. The current global geography is discussed, considering some of the problems associated with it. Finally, landscapes around the world are examined, using the cultural-historical approach.</p> <p>授業一般目標 To learn to understand the processes that create the current human mozaic around the world.</p> <p>成績評価方法 (総合) Attendance: 10 % Oral presentation in English: 30 % (Oral presentation is possible only if the number of students in a class is no more than 40). Final test: 60 %. (If oral presentation is not possible, the final test will make 90 % of the total score).</p> <p>教科書・参考書 教科書: Study materials will be deposited online, accessible with the respective password. http://web.cc.yamaguchi-u.ac.jp/didi/</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	民俗学	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全(獣医除く)	単位	2 単位	曜時間	水曜日 1・2 時限
担当教官	湯川洋司				
<p>授業概要 この授業では、民俗学とはどのような学問であり、民俗学から何が分かるのか、ということを中心テーマとします。今年度のテーマは、「『新日本紀行』で知る日本」です。『新日本紀行』は NHK が昭和 40 年代を中心に放送した 30 分のテレビ番組で、当時の日本各地の暮らしや風土を扱って、人々の暮らしの様子や興行きをよく伝えていきます。このビデオを毎回 1 作品ずつ視聴し、その内容について民俗学的見地から解説します。受講者は今の日本を作り上げた転換期(高度成長期)の日本の状況を示す映像から今の時代との共通点や相違点を捉えます。そして日本が決して単一で均一な社会や国ではなかったことを実感的に理解し、これからの日本のあり方について、自分なりの見方や希望をもつことをめざします。</p> <p>授業一般目標 1. どのようなものを民俗といい、それはどのような性質をもっているのかを理解する。2. 民俗学とはどのようなことを考えようとする学問なのかを理解する。3. 民俗と自分との関係について考えてみる。</p> <p>成績評価方法 (総合) 1. 出席は、毎回の授業終了時に提出する感想等を記載する用紙で確認します。2. 出席は 70% なければ期末試験の受験資格がありません。やむをえない欠席は届け出により認めます。3. 成績は毎回の感想文を中心にみます。とくに授業中の受講態度・授業への参加態度を重視します。全体の 70% の評価。4. 期末試験は、全体の 30% の評価。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 用いない。必要な資料はプリントして配付する。/ 参考書: その他の参考書は、授業中に随時紹介します。</p> <p>メッセージ 受講生が多数の場合はやむを得ず選抜します。</p> <p>教官連絡先 yukawa@yamaguchi-u.ac.jp 研究室: 人文学部棟 2 階 210 号室。用事があるときは、いつでも随時訪ねてください</p>					

開設科目	文化人類学	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時限	火曜日 3・4 時限
担当教官	北西功一				
<p>授業概要 文化人類学の基本概念である文化相対主義を具体例を交えながら学ぶ。具体例として取り上げるのは、アフリカ熱帯雨林地域に居住する狩猟採集民アカである。彼らの生業活動、社会組織、結婚、自然観など社会・文化全般にわたって説明する。</p> <p>授業一般目標 文化相対主義的な考え方で異文化を見ることができるようになる。また、社会においてさまざまな部分が相互に関係を持っていることを理解する。アフリカの人々に対する認識を深める。</p> <p>成績評価方法(総合) 期末レポートと毎回課す宿題の小レポート、授業中に課す小テストをあわせて評価する。特別な理由もなく5回以上欠席した学生は失格とする。</p> <p>教科書・参考書 教科書：授業ではプリントを用いる。 http://ds.cc.yamaguchi-u.ac.jp/kitanisi/culture04/preface.html が教科書となっている。 / 参考書：講座生態人類学2 森と人の共存世界、市川光雄・佐藤弘明、京都大学学術出版会、2001年；ヒトの自然誌、田中二郎・掛谷誠編、平凡社、1991年；平等と不平等をめぐる人類学的研究、寺嶋秀明、ナカニシヤ出版、2004年；自然社会の人類学、伊谷純一郎・田中二郎、アカデミア出版会、1986年</p> <p>教官連絡先 kitanisi@yamaguchi-u.ac.jp 研究室 教育学部 2階 266号室 オフィスアワー 随時</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	文化人類学	区分	講義	開設期	前期
対象学生	工2年	単位	2 単位	曜時限	火曜日 7・8 時限
担当教官	星野 晋				
<p>授業概要 文化人類学は、「文化」を手がかりに人間についての理解を深めようとする学問分野である。国際化が進む現在にあって、私たちはグローバルかつ普遍的な論理と民族的・地域的固有性の折り合いをいかにつけるかという大問題に直面している。文化人類学的な視点と方法は、文化的多様性とどのように付き合っていくかを考える際の一つの手がかりとなると思われる。本講義では、ある意味で普遍的、ある意味で多様な「病気と医療」というテーマについて検討することを通して、文化人類学的な「ものの見方」とは何かなるものかを学ぶことを目標とする。また本講義は、文化人類学入門であると同時に、その下位分野である医療人類学入門として聞くこともできる。</p> <p>授業一般目標 人間を総合的に捉えようとするという文化人類学の基本的なものの見方とアプローチを理解する。文化的多様性に対する視点と態度を学び、加えて自分や身近な人の経験を文化人類学的アプローチを用いて考察できるようになる。</p> <p>成績評価方法(総合) 出欠をかねた小レポート、定期試験</p> <p>教官連絡先 hoshino@yamaguchi-u.ac.jp オフィスアワー：授業後(小串では水曜日午後)</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	教育学	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全(獣医除く)	単位	2単位	曜時間	月曜日 5・6時限
担当教官	田中均				
<p>授業概要 授業全体を通して「高校教育」をテーマに講義と演習を行う。講義では、戦後の高校教育の変遷と現代の高校教育を取り巻く問題を取り上げる。戦後の高校教育の変遷では、「指導要領の変遷と教育内容」、「高校教育制度の変遷」、「高校生の気質の変化」などを年代ごとに考察する予定である。現代の高校教育問題では「高校生の学力問題」、「進路指導・進学指導と高校生のキャリア形成」、「高校生の問題行動と生活指導」などについて考察する予定である。演習では、高校での学習経験や生活経験を振り返り、高校生活と大学生活の連続性と不連続性の両面を自己形成の課題として考えるための資料収集や調査研究、ディスカッション、プレゼンテーション等を通して、自己のキャリアを考える。</p> <p>授業一般目標 現代社会のなかでの高校教育の機能を理解するとともに、「教育」を学ぶことによって自己形成に資することができる。</p> <p>成績評価方法(総合) (1)一人一人が作成するレポート(2回)及び講義の内容や活動の内容をまとめたポートフォリオ(学習活動の記録)によって個人を評価する(レポート20点×2=40点、ポートフォリオ40点)なお、ポートフォリオのまとめ方については、オリエンテーションで説明する。(2)グループ研究の内容や方法について評価する。(20点)</p> <p>メッセージ ただ、聴くだけの講義科目ではない。グループで議論し、制作する過程で、自ら考える態度を養ってほしい。</p> <p>教官連絡先 田中均 (ac.tnk@yamaguchi-u.ac.jp)</p>					

開設科目	教育学	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全(獣医除く)	単位	2単位	曜時間	火曜日 1・2時限
担当教官	小川勤				
<p>授業概要 私たちは大学に入学するまでに小学校から高校まで最低12年間に渡って学校教育の恩恵を受けてきました。しかし、教育が人間の発達に果たす役割や教育のやり方、学校のしくみ、教育委員会のしくみ、教育課程の編成方法、教師の仕事などについて意外に知らないことが多いことに気がつきます。学校を取り巻く状況は今まさに混沌の時を向かえています。高校における必修科目の未履修問題やADHDやアスペルガーなどさまざまな学習支援が必要な生徒の増加、少子化の中の大学入学試験の激化などの課題が山積みです。そこで本授業では、教育を初めて学ぶ学生のための「入門」授業として教育の各領域や教育の今日的な課題について、授業担当者の教員や指導主事の実践経験を交えて受講生にわかりやすく具体的に概説する。</p> <p>授業一般目標 (1)教育の各領域の基本的事項を理解する。(2)今日的な教育問題について関心を持ち、教育のあり方について主体的に考え、自分の意見を論理的に整理し、まとめることができる</p> <p>成績評価方法(総合) 1.コメントカードを毎回提出(30%)、2.テーマごとにレポート提出(10%) 3.最終日に試験を実施(60%)。</p> <p>教科書・参考書 教科書：『教育の原理-教育学入門』、田代直人・佐々木司編、ミネルヴァ書房、2006年；教科書は必ず購入すること。授業の初回到教室で配布予定。/ 参考書：参考図書は授業中に随時紹介する。</p> <p>メッセージ 「教育」というものに少しでも関心のある人は積極的に履修してみてください。なお、本授業は教職科目ではありませんが、教職に関心のある人の履修を大いに歓迎します。教職科目の「入門編」の位置づけになります。</p> <p>教官連絡先 ogawa-t@yamaguchi-u.ac.jp(メールアドレス) 研究室：共通教育棟3階 オフィスアワー金曜日 13:00~16:00</p>					

開設科目	教育学	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全(獣医除く)	単位	2単位	曜時限	金曜日 3・4時限
担当教官	吉田香奈				
<p>授業概要 今日、私たちは様々な機会に様々な場所で学習を行っている。小学校・中学校では9年間の義務教育を受け、義務教育終了後には高等学校、専修学校、大学・短大等で学ぶことができる。また、図書館、博物館、公民館、体育施設といった社会教育施設が整備され、子どもから大人まで誰でも利用することができる。このように私たちにとって教育は身近な存在であるが、皆さんはこれまで教育そのものについてじっくりと考えたことがあるだろうか？本授業では、教育学を初めて学ぶ学生のための「入門」授業として教育の各領域について概説する。</p> <p>授業一般目標 (1) 教育の各領域の基本的事項を理解する。(2) 教育問題について関心を持ち、教育のあり方について主体的に考えることができる</p> <p>成績評価方法(総合) 1. コメントカードを毎回提出(40%)、2. 最終日に試験を実施(60%)。</p> <p>教科書・参考書 教科書：『教育の原理-教育学入門』、田代直人・佐々木司編、ミネルヴァ書房、2006年；教科書は必ず購入すること。授業の初回に教室で配布予定。/ 参考書：参考図書は授業中に紹介する</p> <p>メッセージ 「教育」について考えてみたい人の受講を歓迎します。</p> <p>教官連絡先 大学教育センター吉田研究室(共通教育棟3階) Email: ykana@yamaguchi-u.ac.jp オフィスアワー火曜日 13:00～16:00</p>					

開設科目	産業倫理	区分	講義	開設期	前期
対象学生	社建4年	単位	2単位	曜時限	火曜日 7・8時限
担当教官	濱田純夫 ほか				
<p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	産業倫理	区分	講義	開設期	前期
対象学生	電気2年	単位	2単位	曜時限	水曜日 3・4時限
担当教官	只友 一行				
<p>授業概要 我々は今まで育った家庭環境や社会生活の中で通常の倫理(常識)あるいはモラルは身に付けている。ここでは、社会における企業などの組織の持つ倫理および職業人としての倫理の基本を学習する。</p> <p>授業一般目標 複雑で激動している社会における組織とそこで働くエンジニア・科学者の倫理を対象にしているので、単純に目標が設定できるものではない。事例研究を通して考え、習得して頂きたい。強いて一般化すると以下のように例示できる。(1) 自分で責任を持って行動できる誇り高きエンジニア・科学者になること。(2) 法令違反は絶対に許さない。(3) 常に正直であること。</p> <p>成績評価方法(総合) 課題に対するレポートを各テーマに対して提出する。レポートと授業中の発表により評価する。特に出席を取らないが、発表に対する評価の中で間接的に出席が評価されることがある。</p> <p>教科書・参考書 教科書：技術者の倫理, 杉本泰治他, 丸善株式会社, 2002年</p> <p>メッセージ 眠くならない熱気に溢れる倫理の授業にします。レポートは簡潔に丁寧に自分で考えて作成しましょう。</p> <p>教官連絡先 tadatomo@yamaguchi-u.ac.jp</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	産業倫理	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全(医学・工・獣医除く)	単位	2単位	曜時限	木曜日 9・10時限
担当教官	永崎研宣				
<p>授業概要 リコールやトラブルの隠蔽、杜撰な品質管理、甘い見通しに頼ったシステム統合のトラブルや不正な会計処理など、現在の産業社会は、様々な倫理的問題を内に抱え込んでいる。多くのケースは技術的問題と密接に関連しており、技術者にとっての工学倫理という観点から捉えられる必要がある。しかしながら、こうした問題は、同時に、政治的・経済的、その他の様々な要因を含んだものであり、しばしばそうした様々なものが複雑にからみあっている。したがってそれは、技術者のみならず、そうした問題に関わるすべての人が倫理的問題として理解していく必要がある。本講義では、産業社会におけるこうした倫理的問題について、具体的な事例をとりあげながら考えていきたい。</p> <p>授業一般目標 講義における様々な事例の検討を通じて、倫理的問題に対して用意されている様々な基準や規制、制度等についての基本的な知識を身につけ、将来直面するであろう問題に対処していける力をつけてもらう。</p> <p>成績評価方法(総合) 授業の中でレポートを課す。また、最後にも、理解度を確認するためのレポートを課す。なお、出席が所定の回数に満たない者は単位を与えない。</p> <p>教科書・参考書 教科書：はじめての工学倫理第2版, 齋藤文, 坂下浩司編, 昭和堂, 2005年; 齋藤文編『はじめての工学倫理』昭和堂</p> <p>メッセージ 混み入った問題をきちんと整理して考えていけるような基礎力を身につけましょう。</p> <p>教官連絡先 nagasaki@yupu.jp</p> <p>備考 理学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	ベンチャービジネス論	区分	講義	開設期	前期
対象学生	工2年	単位	2単位	曜時間	火曜日5・6時限
担当教官	向山尚志				
<p>授業概要 一般の理工系大学生を主な対象に、技術を生かして独立した経営を行なうベンチャービジネスについての理解をもち、あわせて企業経営についての基礎的な知識を身につけるような内容の講義を行う。</p> <p>授業一般目標 ベンチャービジネスとはどのような企業か、なぜ今日それが注目されているかを理解し、技術を企業経営にどのように活用すべきかを学習するとともに、自らの進路選択の中で選択肢の一つとして考えてみるようにする。</p> <p>成績評価方法(総合) 中間で外部講師の講義に関するレポートを提出する。期末試験は1,500字程度の論述式筆記試験とする。なお、出席が所定の回数に満たない者には単位を与えない。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 適宜、プリント等を配布する。/ 参考書: 企業家とは何か、シュンペーター(清成忠雄・訳), 東洋経済新報社, 1998年; ベンチャー企業(日経文庫), 松田修一, 日本経済新聞社, 2001年; ウェブ進化論, 梅田望夫, 筑摩書房, 2006年; 中小企業白書 2006年版, 中小企業庁, ぎょうせい, 2006年; 社長失格, 板倉雄一郎, 日経BP, 1998年</p> <p>メッセージ ベンチャービジネスの基礎を学ぶことは、企業の中で実際にどのように技術を活用しようとしているのかといった知識や方法論を知ることになり、皆さんが携わっていらっしゃる研究の社会とのかかわりや方向性を考える上でのよい機会になります。また、実際にベンチャービジネスの経営者の方にも講義を担当してもらっており、企業経営のダイナミックな魅力にも触れる機会としていただきたいと思います。</p> <p>教官連絡先 大学院技術経営研究科(D講義棟4F)</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	ベンチャービジネス論	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全(経・医学・獣医除く)	単位	2単位	曜時間	金曜日5・6時限
担当教官	稲葉和也				
<p>授業概要 ベンチャー企業とは「リスクを恐れず新しい領域に挑戦する若い企業」のことを指します。従来の新規開業企業と異なるのは、高い志や目標を持ち、起業家自身が高度な専門能力と困難に耐え抜く忍耐力を持ち、創造的かつ才能のある人を集める事業を創業し、高収益で高成長する企業を作り出すという点にあります。バブルが崩壊した後、グローバル化が進展し、情報ネットワーク化の本格的な展開によって産業構造が変わり、新しい競争の段階を迎えています。このようなベンチャー企業に対する存立条件をどのように活用して、新しいビジネスチャンスを生み出していけばよいのでしょうか。日本経済が元気を取り戻すためには、国内・国外を問わず通用する高付加価値商品を生み出し、グローバルに新市場の開拓を図ることが必要とされます。独創性・多様性・柔軟性・即応性に富んだ、旺盛な起業家精神を持つ人材を生み出す、多くのベンチャー企業が生まれることが期待されます。</p> <p>授業一般目標 日本企業では経営者の能力を持った人材が不足しています。企業が多角化、リストラをはかり、これまで経験したことのない新分野に出て行く時に求められるのはリーダーとしての経営能力です。この講義では経営者の人材の育成を目標としています。</p> <p>成績評価方法(総合) 受講生の理解度、意欲を高めるために事業計画の提出、レポートを課すことがあります。試験の結果、及び出席状況、レポートを加味して評価します。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 『ベンチャー企業』日経文庫1069, 松田修一, 日本経済新聞社, 2005年</p> <p>メッセージ 何か分からないことがありましたら遠慮なく聞きに来てください。</p> <p>教官連絡先 E-mail: inaba@tokuyama-u.ac.jp</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

前期 - 自然科学系列

開設科目	数学 I	区分	講義	開設期	前期
対象学生	数理・物情	単位	2 単位	曜時限	月曜日 3・4 時限
担当教官	内藤博夫				
<p>授業概要 理工系学問の基礎である微分積分学，特に一変数関数の微分法と積分法を講義する。</p> <p>授業一般目標 一変数微分積分学の基本的概念を理解し，その計算法を習得する。微分法・積分法，合成関数の微分公式，部分積分の公式など，微分積分学における様々な概念や手法を理解し，習熟する。さらに，それらの理解と習熟のもとに，理系分野における様々な問題への数学的解決能力を養う。</p> <p>成績評価方法（総合） 中間・期末 2 回の筆記試験（60%）とレポート・宿題（40%）により判定する。なお，出席が所定の回数（初回時に注意）に満たない者には単位を与えない（欠格条件）。</p> <p>教科書・参考書 教科書：入門微分積分，三宅敏恒，培風館，2000 年</p> <p>メッセージ 宿題は原則として毎回あります。地道に取り組むことを期待します。</p> <p>教官連絡先 理学部 137 号室</p> <p>備考 理学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	数学 I	区分	講義	開設期	前期
対象学生	生化・地球	単位	2 単位	曜時限	月曜日 3・4 時限
担当教官	木内功				
<p>授業概要 理工系学問の基礎である微分積分学において，一変数関数の微分と積分を理解させ，計算方法を習得させる。</p> <p>授業一般目標 一変数の微分積分学の基本的な概念を理解し，計算方法を習得する。微分法・積分法，合成関数の微分法，部分積分の公式など，微分積分学における様々な概念や手法を理解し，習熟する。さらに，それらの概念の理解のもとに，理系分野における様々な分野の問題を解決できるような応用力を養う。この科目は以下の理学系の学習・教育目標に対応します。（A）確かな基礎力を有する技術者を目指して以下の能力を身につける。A-1 数学、自然科学、情報処理の基礎力</p> <p>成績評価方法（総合） 原則として中間試験と定期試験だけで評価する。出席については欠格条件とする。</p> <p>教科書・参考書 教科書：微分積分概論，高橋泰嗣・加藤幹雄，サイエンス社，1998 年；教科書は，文栄堂（山口大学前店）に注文してありますから，購入してください。</p> <p>メッセージ 毎回授業は講義中心で行うので，必ず予習をしてくること。その日に習った内容はその日のうちに理解できるように努力すること。</p> <p>教官連絡先 研究室：理学部本館 139 号室 オフィスアワー：特に設けていないので</p> <p>備考 理学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	数学 I	区分	講義	開設期	前期
対象学生	医学科 (1-43)	単位	2 単位	曜時限	月曜日 3・4 時限
担当教官	柏木 孝夫				
<p>授業概要 理工系学問の基礎である微分積分学において、一変数関数と二変数関数の微分を理解させ、計算方法を習得させる。</p> <p>授業一般目標 一変数および二変数関数の微分学の基本的な概念を理解し、計算方法を習得する。合成関数の微分法など、微分積分学における様々な概念や、手法を理解し、習熟する。さらに、それらの概念の理解のもとに、理系分野における様々な分野の分野の問題を解決できるような応用力を養う。</p> <p>成績評価方法 (総合) 期末試験と講義中に適宜行う問題演習の取り組み状況により、以下の割合で総合的に判定する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：工学・理学を学ぶための微分積分学, 三好哲彦・加藤崇雄・菊政勲, 共立出版, 2005 年; 取扱店(大学生協) / 参考書：微分積分学についての各種演習書</p> <p>メッセージ わからないことは遠慮なく質問すること。</p>					

開設科目	数学 I	区分	講義	開設期	前期
対象学生	医学科 (44-)	単位	2 単位	曜時限	月曜日 3・4 時限
担当教官	三好 哲彦				
<p>授業概要 多くの自然科学が数学、とくに微分積分学を用いて記述され、それをもとにして現象の理解や工学的な応用が行われている。微分積分学の初歩はほとんどの学生が高校で学んでいるが、それだけでは大学での自然科学や工学を学ぶには不十分である。この授業では高校で学んだ微分積分学の復習から始めて、学部専門授業の要求に耐え得る程度の微分積分学を身に付けることを目標にする。数学 I では微分学に重点を置く。</p> <p>授業一般目標 一変数、多変数の関数の微分法について学ぶ。初等関数の微分、合成関数の微分に習熟する。多変数関数の微分法を学び、そのテイラー展開の公式が自在に応用できることを目指す。</p> <p>成績評価方法 (総合) 主として定期試験により評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：教科書 工学・理学を学ぶための 微分積分学, 三好哲彦・加藤崇雄・菊政勲, 共立出版, 2000 年</p> <p>メッセージ (教科書序文より) 大学で学ぶ数学は、理解し覚えるべき内容が質、量において高校までの数学とは決定的に異なっている。すなわち、質においては格段と精緻、量においては圧倒的である。… 初学者はこのようなことを十分念頭において勉学に取り組んでほしい。</p>					

開設科目	数学 I	区分	講義	開設期	前期
対象学生	教	単位	2 単位	曜時限	水曜日 5・6 時限
担当教官	佐藤好久				
<p>授業概要 微分積分学は、理工系の分野で基本となる数学である。微分積分学にはその根底に厳密な基礎理論があり、専門の微分積分学ではその基礎理論を論じながら講義をすることになる。この科目では、専門の微分積分学を学ぶための準備とその入門的な内容を解説するために、高等学校の微分積分学を復習しながら、微分積分の基本的な考え方を理解させる。また、簡単な極限の計算や微分の計算が正確にできるように指導する。</p> <p>授業一般目標 関数の概念を正しく理解し、極限や微分の基本的な考え方を説明することができる。また、簡単な極限の計算や微分の計算が正確にできるように指導する。</p> <p>成績評価方法 (総合) レポートや授業中の小テスト (基本的に毎回実施します)、中間試験・期末試験などにより、総合的に評価します。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 微分と積分 (岡本和夫の基礎数学シリーズ), 岡本和夫著, 実教出版, 1998 年 教官連絡先 sato@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	数学 I	区分	講義	開設期	前期
対象学生	A の 1 クラス	単位	2 単位	曜時限	水曜日 5・6・7・8 時限
担当教官	柏木 孝夫				
<p>授業概要 この数学 I では、微分積分学の学習をします。微分積分学は理工系学問の基礎であり、内容は多岐にわたりますが、この数学 I の講義では、特に一変数関数の微分と積分や関連する概念の理解と、様々な計算方法を習得しましょう。</p> <p>授業一般目標 一変数の微分積分学の基本的な概念の理解と、計算方法を習得すること。確かな基礎力を有する技術者を目指して、数学の基礎力を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) 原則として中間試験と期末試験だけで評価するが、レポート等も加味することがある。出席については欠格条件とする。また再試験等はいりません。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 微分積分概論, 高橋泰嗣・加藤幹雄, サイエンス社, 1998 年; 取扱店: 山口大学生協 / 参考書: 微分積分学についての各種演習書</p> <p>メッセージ わからないことなど遠慮なく質問等してください</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 自然科学

分野 数学

科目類型 総説

開設科目	数学 I	区分	講義	開設期	前期
対象学生	A の 2 クラス	単位	2 単位	曜時限	水曜日 5・6・7・8 時 限
担当教官	三好 哲彦				
<p>授業概要 この数学 I では、微分積分学の学習をします。微分積分学は理工系学問の基礎であり、内容は多岐にわたりますが、この数学 I の講義では、特に一変数関数の微分と積分や関連する概念の理解と、様々な計算方法を習得しましょう。</p> <p>授業一般目標 一変数の微分積分学の基本的な概念の理解と、計算方法を習得すること。確かな基礎力を有する技術者を目指して、数学の基礎力を身につける。</p> <p>成績評価方法(総合) 原則として中間試験と期末試験だけで評価するが、レポート等も加味することがある。出席については欠格条件とする。また再試験も必要ならば行う。</p> <p>教科書・参考書 教科書：微分積分概論, 高橋泰嗣・加藤幹雄, サイエンス社, 1998 年; 取扱店: 山口大学生協 / 参考書: 受講生の理解度に応じて副読本を指定することがある。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 自然科学

分野 数学

科目類型 総説

開設科目	数学 I	区分	講義	開設期	前期
対象学生	A の 3 クラス	単位	2 単位	曜時限	水曜日 5・6・7・8 時 限
担当教官	笹井理恵				
<p>授業概要 この数学 I では、微分積分学の学習をします。微分積分学は理工系学問の基礎であり、内容は多岐にわたりますが、この数学 I の講義では、特に一変数関数の微分と積分や関連する概念の理解と、様々な計算方法を習得しましょう。</p> <p>授業一般目標 一変数の微分積分学の基本的な概念の理解と、計算方法を習得すること。確かな基礎力を有する技術者を目指して、数学の基礎力を身につける。</p> <p>成績評価方法(総合) 原則として中間試験と期末試験だけで評価するが、レポート等も加味することがある。出席については欠格条件とする。また再試験も必要ならば行う。</p> <p>教科書・参考書 教科書：微分積分概論, 高橋泰嗣・加藤幹雄, サイエンス社, 1998 年; 取扱店: 山口大学生協 / 参考書: 受講生の理解度に応じて副読本を指定することがある。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 自然科学

分野 数学

科目類型 総説

開設科目	数学 I	区分	講義	開設期	前期
対象学生	A の 4 クラス	単位	2 単位	曜時限	水曜日 5・6・7・8 時 限
担当教官	大城 紀代市				
<p>授業概要 この数学 I では、微分積分学の学習をします。微分積分学は理工系学問の基礎であり、内容は多岐にわたりますが、この数学 I の講義では、特に一変数関数の微分と積分や関連する概念の理解と、様々な計算方法を習得しましょう。</p> <p>授業一般目標 一変数の微分積分学の基本的な概念の理解と、計算方法を習得すること。確かな基礎力を有する技術者を目指して、数学の基礎力を身につける。</p> <p>成績評価方法（総合） 原則として中間試験と期末試験だけで評価するが、レポート等も加味することがある。出席については欠格条件とする。また再試験も必要ならば行う。</p> <p>教科書・参考書 教科書：微分積分概論、高橋泰嗣・加藤幹雄、サイエンス社、1998 年；取扱店：山口大学生協 / 参考書：受講生の理解度に応じて副読本を指定することがある。</p> <p>教官連絡先 oshiro@yamaguchi-u.ac.jp</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 自然科学

分野 数学

科目類型 総説

開設科目	数学 I	区分	講義	開設期	前期
対象学生	A の再履修クラス	単位	2 単位	曜時限	
担当教官	柳原 宏				
<p>授業概要 この数学 I では、微分積分学の学習をします。微分積分学は理工系学問の基礎であり、内容は多岐にわたりますが、この数学 I の講義では、特に一変数関数の微分と積分や関連する概念の理解と、様々な計算方法を習得しましょう。</p> <p>授業一般目標 一変数の微分積分学の基本的な概念の理解と、計算方法を習得すること。確かな基礎力を有する技術者を目指して、数学の基礎力を身につける。</p> <p>成績評価方法（総合） 原則として中間試験と期末試験だけで評価するが、レポート等も加味することがある。出席については欠格条件とする。また再試験も必要ならば行う。</p> <p>教科書・参考書 教科書：微分積分概論、高橋泰嗣・加藤幹雄、サイエンス社、1998 年；この講義は再履修用ですから、上記の教科書を持っていなくても、昨年度使用した別の教科書があれば構いません。 / 参考書：受講生の理解度に応じて副読本を指定することがある。</p> <p>教官連絡先 hiroschi@yamaguchi-u.ac.jp</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 自然科学

分野 数学

科目類型 総説

開設科目	数学 I	区分	講義	開設期	前期
対象学生	B の 1 クラス	単位	2 単位	曜時限	水曜日 5・6 時限
担当教官	壽恵村 泰生				
<p>授業概要 この数学 I では、微分積分学の学習をします。微分積分学は理工系学問の基礎であり、内容は多岐にわたりますが、この数学 I の講義では、特に一変数関数の微分と積分や関連する概念の理解と、さまざまな計算方法を習得すること。</p> <p>授業一般目標 一変数の微分積分学の基本概念の理解と計算方法を習得すること。</p> <p>成績評価方法 (総合) 主に中間試験と定期試験で評価するが、レポート提出、出欠状況等も考慮する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：微分積分、矢野健太郎、しょう華房、1997 年</p> <p>メッセージ レポートを多く課すので心してください。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 自然科学

分野 数学

科目類型 総説

開設科目	数学 I	区分	講義	開設期	前期
対象学生	B の 2 クラス	単位	2 単位	曜時限	水曜日 5・6 時限
担当教官	重永 和男				
<p>授業概要 この数学 I では、微分積分学の学習をします。微分積分学は理工系学問の基礎であり、内容は多岐にわたりますが、この数学 I の講義では、特に一変数関数の微分と積分や関連する概念の理解と、様々な計算方法を習得しましょう。</p> <p>授業一般目標 一変数の微分積分学の基本的な概念の理解と、計算方法を習得すること。この科目は確かな基礎力を有する技術者を指して、数学、自然科学、情報処理の基礎力を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) 原則として中間試験と期末試験だけで評価するが、レポート等も加味することがある。出席については欠格条件とする。また再試験も必要ならば行う。</p> <p>教科書・参考書 教科書：微分積分概論、高橋泰嗣・加藤幹雄、サイエンス社、1998 年；取扱店：山口大学生協 / 参考書：受講生の理解度に応じて副読本を指定することがある。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 自然科学

分野 数学

科目類型 総説

開設科目	数学 I	区分	講義	開設期	前期
対象学生	B の 3 クラス	単位	2 単位	曜時間	水曜日 5・6 時限
担当教官	安藤良文				
<p>授業概要 この数学 I では、微分積分学の学習をします。微分積分学は理工系学問の基礎であり、内容は多岐にわたりますが、この数学 I の講義では、特に一変数関数の微分と積分や関連する概念の理解と、様々な計算方法を習得しましょう。</p> <p>授業一般目標 一変数の微分積分学の基本的な概念の理解と、計算方法を習得すること。確かな基礎力を有する技術者を目指して、数学の基礎力を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) 原則として中間試験と期末試験だけで評価するが、レポート等も加味することがある。出席については欠格条件とする。</p> <p>教科書・参考書 教科書：微分積分概論, 高橋泰嗣・加藤幹雄, サイエンス社, 1998 年; 取扱店: 山口大学生協 / 参考書: 受講生の理解度に応じて副読本を指定することがある。</p> <p>教官連絡先 理学部 1 3 1 室</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 自然科学

分野 数学

科目類型 総説

開設科目	数学 I	区分	講義	開設期	前期
対象学生	B の 4 クラス	単位	2 単位	曜時間	水曜日 5・6 時限
担当教官	吉村浩				
<p>授業概要 この数学 I では、微分積分学の学習をします。微分積分学は理工系学問の基礎であり、内容は多岐にわたりますが、この数学 I の講義では、特に一変数関数の微分と積分や関連する概念の理解と、様々な計算方法を習得しましょう。</p> <p>授業一般目標 一変数の微分積分学の基本的な概念の理解と、計算方法を習得すること。確かな基礎力を有する技術者を目指して、数学の基礎力を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) 小テスト・宿題、中間試験、期末試験の得点の合計で評価する。なお、出席が所定の回数に満たない者は欠格となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書：微分積分概論, 高橋泰嗣・加藤幹雄, サイエンス社; 取扱店: 山口大学生協 / 参考書: 受講生の理解度に応じて副読本を指定することがある。</p> <p>メッセージ 数学は、「講義の受けっぱなし」ではなかなか身につかない学問です。ともかく手を動かして数多くの計算問題を繰り返し解くことが肝要です。</p> <p>教官連絡先 理学部 1 4 3 号室</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	数学 I	区分	講義	開設期	前期
対象学生	B の 5 クラス	単位	2 単位	曜時限	水曜日 5・6 時限
担当教官	宮澤康行				
<p>授業概要 この数学 I では、微分積分学の学習をします。微分積分学は理工系学問の基礎であり、内容は多岐にわたりますが、この数学 I の講義では、特に一変数関数の微分と積分や関連する概念の理解と、様々な計算方法を習得しましょう。</p> <p>授業一般目標 一変数の微分積分学の基本的な概念の理解と、計算方法を習得すること。確かな基礎力を有する技術者を目指して、数学の基礎力を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) 原則として中間試験と期末試験だけで評価するが、レポート等も加味することがある。出席については欠格条件とする。また再試験も必要ならば行う。</p> <p>教科書・参考書 教科書：微分積分概論、高橋泰嗣・加藤幹雄、サイエンス社、1998 年；取扱店：山口大学生協 / 参考書：受講生の理解度に応じて副読本を指定することがある。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	数学 I	区分	講義	開設期	前期
対象学生	B の再履修クラス	単位	2 単位	曜時限	月曜日 11・12 時限
担当教官	西山高弘				
<p>授業概要 高校で学んだ 1 変数の微分と積分を復習しながら発展させる。</p> <p>授業一般目標 微分、積分の計算が自在にできるようになること。テイラー展開や広義積分など、微分や積分の応用面についての知識を身に付けること。</p> <p>成績評価方法 (総合) 中間テスト：30%、期末テスト：70% 欠席が多い場合は「不可」となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書：特に指定しない。 / 参考書：1 年次に使用したテキスト。</p> <p>メッセージ 授業中の演習では、問題を自ら考えて解き、できなかった箇所は後日に再度解いてみるなど、積極的に授業に参加することが望ましい。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 自然科学

分野 物理学

科目類型 基礎

開設科目	物理学入門1	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	工(昼)2年	単位	1単位	曜時限	火曜日9・10時限
担当教官	末岡 修				
<p>授業概要 高校での物理学の学習やその理解が不十分であることを考慮して、高校物理の要点と大学での物理はどのように理解すればよいのかを中心に講義を進める。身近にある現象や器物から物理を考えることに努め、できるだけ例に挙げて取り上げていく。毎時間、理解に必要な所について小テストを行う。また、簡単な宿題も課す。微分と積分の簡単なものは出来るものとする。毎時間、理解できたことと理解できなかったことを1人1人に具体的に把握さす。</p> <p>授業一般目標 位置・速度・加速度の関係を式で表し、簡単な例題が解けるようになる。放物運動が解けるようになる。これらの過程で、ベクトルとその成分の関係を理解し、各成分の運動が独立であることを理解する。正規の講義「物理学」が理解できるようになる。</p> <p>成績評価方法(総合) 小テストなど(50%程度)と試験との総合評価</p> <p>教科書・参考書 参考書: 基礎物理学(改訂版), 原康夫著, 学術図書出版, 1996年; 「新物理学」, シップマン著, 学術図書出版社, 2002年</p> <p>メッセージ 基本的に出席しないと単位は取れない。出席できない人への対応は特別に指示するので、学期の初めに相談すること</p> <p>教官連絡先 非常勤のため E-mail mqpbm353@yahoo.co.jp にて対応する</p>					

系列 自然科学

分野 物理学

科目類型 基礎

開設科目	物理学入門2	区分	講義	開設期	前期後半期
対象学生	工(昼)2年	単位	1単位	曜時限	火曜日9・10時限
担当教官	末岡 修				
<p>授業概要 高校での物理学の学習やその理解が不十分であることを考慮して、高校物理の要点と大学での物理はどのように理解すればよいのかを中心に講義を進める。身近にある現象や器物から物理を考えることに努め、できるだけ例に挙げて取り上げていく。毎時間、理解に必要な所について小テストを行う。また、簡単な宿題も課す。微分と積分の簡単なものは出来るものとする。毎時間、理解できたことと理解できなかったことを1人1人に具体的に把握さす。</p> <p>授業一般目標 電気力・電場・電位・電気的エネルギーの関係を学ぶ。オームの法則が自由に使えるようになる。</p> <p>成績評価方法(総合) 小テストなど(50%程度)と試験との総合評価</p> <p>教科書・参考書 参考書: 基礎物理学(改訂版), 原康夫著, 学術図書出版, 1996年; 「新物理学」, シップマン著, 学術図書出版社, 2002年</p> <p>教官連絡先 非常勤のため E-mail mqpbm353@yahoo.co.jp にて対応する</p>					

開設科目	物理学 I	区分	講義	開設期	前期
対象学生	社建	単位	2 単位	曜時限	月曜日 3・4 時限
担当教官	松野好雅				
<p>授業概要 古典力学(ニュートン)力学の基礎を学ぶ。具体例をあげながら運動の3法則を説明する。講義は初歩的な事柄から始め、身近な物理現象を多く取り上げるにより、高校での物理を不得意とした学生諸君に対しても十分内容が理解できるよう努める。</p> <p>授業一般目標 1. 運動の3法則、及びその使い方を理解する。 2. 等速円運動、放物運動、単振動等の基本的な運動を理解する。 3. 運動量保存則、角運動量保存則、エネルギー保存則、及びその使い方を理解する。 4. 剛体運動の基礎を理解する。この科目は以下の社会建設工学科の学習・教育目標に対応します。(A) 確かな基礎力を有する技術者を目指して以下の能力を身に付ける。 A-1 数学、自然科学、情報処理の基礎力</p> <p>成績評価方法(総合) 中間、及び学期末試験の2回の試験で総合的に評価する。配点は各50%とする。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 第3版 基礎物理学, 原 康夫, 学術図書出版, 2006年</p> <p>メッセージ 予習、復習をきちんとやること。講義ノートをとること。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	物理学 I	区分	講義	開設期	前期
対象学生	工2年	単位	2 単位	曜時限	水曜日 11・12 時限
担当教官	宮本 政英				
<p>授業概要 物理学中の古典力学について、その基礎を学習する。力、質量、運動の表し方や考え方、ニュートンの運動の法則、エネルギーや運動量の保存則などを学び、単純化された実際の運動に適用し定式化する、解析する、得られた数学的な結果を具体的に理解する、ことができる能力を養う。授業中の演習や宿題により、理解を確かなものにする。</p> <p>授業一般目標 1) 力、質量、運動の表し方を習得する。 2) ニュートンの運動法則を理解する。 3) 等速円運動、放物運動、単振動などの基本的で単純化された運動の定式化、解析、結果の具体的な理解ができる。 4) エネルギー、運動量、角運動量の保存則を理解し、応用する能力を養う。 5) 剛体のつり合い、回転運動の取り扱い方を学ぶ。</p> <p>成績評価方法(総合) 日常の小テストや宿題等の得点を20%、試験(中間と期末)の得点を80%として総合評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 改訂版基礎物理学, 原康夫, 学術図書出版社, 1996年 / 参考書: 物理の基礎, 長岡洋介, 東京数学社; 基礎力学, 永田一清編, サイエンス社</p> <p>メッセージ 授業中に理解を助けるため演習を行うので関数キー付き電卓を常に持参すること。ほぼ毎週いずれかが行われる小テスト、授業内レポート、宿題をきちんとこなして、授業内容の理解を確認する。分からないときには質問する。</p> <p>教官連絡先 E-mail address: miyamoto@yamaguchi-u.ac.jp</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 自然科学

分野 物理学

科目類型 総説

開設科目	物理学 I	区分	講義	開設期	前期
対象学生	電気	単位	2 単位	曜時限	木曜日 1・2 時限
担当教官	仙田康浩				
<p>授業概要 力学は物理学の中で最も基礎的な学問の一つであり、広い範囲の関連分野に力学の手法や結果が応用されている。講義では力学を中心とし、重要な概念と法則を丁寧に説明する。例を豊富に使って法則とその使い方の理解を深め、法則・現象に適切なイメージが描けるようにする。</p> <p>授業一般目標 1)運動の表し方を学ぶ。2)運動法則を理解する。3)円運動・放物線運動・抵抗力がある場合の運動の定式化ができる。4)振動現象の解析を学ぶ。5)エネルギー・運動量・角運動量の保存則を理解する。6)剛体の釣り合い・回転運動の取り扱いを学ぶ。</p> <p>教科書・参考書 教科書：改訂版基礎物理学, 原康夫, 学術図書出版社, 1996 年 備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 自然科学

分野 物理学

科目類型 総説

開設科目	物理学 I	区分	講義	開設期	前期
対象学生	感性	単位	2 単位	曜時限	木曜日 1・2 時限
担当教官	原 哲彦				
<p>授業概要 物理学の基礎である古典力学を学びます。中心となる内容は次の3つです。(1)位置、速度、加速度が微分・積分によって互いに結ばれていること。(2)運動方程式(微分方程式)を解くことによって物体がどのように運動するかがわかること。(3)運動量、運動エネルギー、仕事、位置エネルギー、角運動量などの重要な物理量についての法則が運動の3法則から自然に導き出せること。</p> <p>授業一般目標 運動の記述、運動の法則、基礎的な物理量について、初等的な微分・積分を使って論理的に見通しよく理解することが目標です。</p> <p>教科書・参考書 教科書：物理の基礎, 長岡洋介, 東京教学社, 2000 年 メッセージ 予習・復習をし、練習問題を自分で解く努力をするようにしてください。質問は歓迎します。 教官連絡先 tetuhara @ c-able.ne.jp 備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 自然科学

分野 物理学

科目類型 総説

開設科目	物理学 I	区分	講義	開設期	前期
対象学生	循環	単位	2 単位	曜時限	木曜日 3・4 時限
担当教官	原 哲彦				
<p>授業概要 物理学の基礎である古典力学を学びます。中心となる内容は次の3つです。(1)位置、速度、加速度が微分・積分によって互いに結ばれていること。(2)運動方程式(微分方程式)を解くことによって物体がどのように運動するかがわかること。(3)運動量、運動エネルギー、仕事、位置エネルギー、角運動量などの重要な物理量についての法則が運動の3法則から自然に導き出せること。</p> <p>授業一般目標 運動の記述、運動の法則、基礎的な物理量について、初等的な微分・積分を使って論理的に見通しよく理解することが目標です。</p> <p>教科書・参考書 教科書：物理の基礎, 長岡洋介, 東京教学社, 2000 年</p> <p>メッセージ 予習・復習をし、練習問題を自分で解く努力をするようにしてください。質問は歓迎します</p> <p>教官連絡先 tetuhara @ c-able.ne.jp</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 自然科学

分野 物理学

科目類型 総説

開設科目	物理学 I	区分	講義	開設期	前期
対象学生	応化	単位	2 単位	曜時限	木曜日 3・4 時限
担当教官	山本惺史				
<p>授業概要 古典力学(ニュートン力学)の基本的な事柄を概説する。</p> <p>授業一般目標 物理学の基礎である古典力学(ニュートン力学)を学ぶ。運動の記述、運動の法則などについて、微分・積分やベクトルなどの数学的手段を活用して理解する。また、日常生活の中の現象や自然現象を古典力学の立場から理解する態度を養う。</p> <p>成績評価方法(総合) 1. 授業の中で小テストを随時行う。 2. レポートを1回課す。これは欠格条件とする。 3. 期末試験を実施する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：改訂版基礎物理学, 原康夫, 学術図書出版社, 1996 年</p> <p>メッセージ 質問や意見など遠慮無く。</p> <p>教官連絡先 E-mail: seiy@haginet.ne.jp</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	物理学 I	区分	講義	開設期	前期
対象学生	機械	単位	2 単位	曜時限	木曜日 3・4 時限
担当教官	田之上健一郎				
<p>授業概要 物理学の中でも最も基礎的な古典力学について説明する。高校までの物理と違い、微分・積分を使って、論理的に見通し良く、基本原理からさまざまな法則が導けることを示す。また、具体的な問題に法則を適用して自分で解く力を養う。</p> <p>授業一般目標 機械工学の理系基礎および工学基礎分野において、特に物理学 I に関する専門知識、問題解決に活用できる能力を身につけることを目標とする。物理学の中でも最も基礎的な古典力学を学習する。ニュートンの運動方程式を自分でたてることができ、微分・積分を使って、具体的な問題を論理的に自分で解く力を養う。</p> <p>成績評価方法 (総合) 期試験の結果およびレポートをもとに力学の知識・理解および解析に必要な数学力を評価する。また、小テストによる予習確認により意欲を、レポートにより思考・判断の評価を行う。4 回以上欠席した学生には単位を与えない。</p> <p>教科書・参考書 参考書: 使用するテキストについては、掲示板をよく見ること。参考となるホームページ・物理のための数学 http://doraneco.pos.to/physics/column/column.html # butsurikougi・微積を使って力学の世界を見る http://doraneco.pos.to/physics/column/bisekir.html</p> <p>メッセージ 使用するテキストについては、掲示板をよく見ること。シラバスを参考に教科書の関連箇所の予習をして講義に臨むこと。また、講義後は講義内容の理解度を自己評価し、復習のうえ次回の講義に臨むこと。機械工学の基礎 = (1) 熱力学, (2) 材料力学, (3) 流体工学, (4) 機械力学, (5) 制御工学, これらのさらに基礎となるのが力学である。専門科目受講までしっかり基礎を身に付けておくこと。</p> <p>教官連絡先 tano@yamaguchi-u.ac.jp 備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	物理学 I	区分	講義	開設期	前期
対象学生	物情	単位	2 単位	曜時限	金曜日 3・4 時限
担当教官	鍋木修				
<p>授業概要 物理学の基礎である古典力学を学びます。特に、物理現象を数式で表現し、数学的演算によって論理思考を展開する方法を身につけてもらいます。中心となる内容は次の3つです。1) 位置、速度、加速度が、互いに微分・積分によって結ばれていること。2) 運動方程式(微分方程式)を解くことによって、物体の運動を決めること。3) 保存力場に対するポテンシャルの導入と位置エネルギーとしての意味。4) 運動量、運動エネルギー、仕事、位置エネルギー、角運動量などの重要な物理量に関する法則が、運動の3法則から自然に導きだせること。</p> <p>授業一般目標 古典力学の基礎をしっかりと身に付け、物理学の他の分野を学ぶための足場を固めること。</p> <p>成績評価方法 (総合) 中間と期末の2回のテストを中心に評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 物理の基礎, 長岡洋介, 東京教学社, 2000年; 販売店: 生協</p> <p>教官連絡先 理学部棟 201号室、内線(5671)</p>					

系列 自然科学

分野 物理学

科目類型 総説

開設科目	物理学 I	区分	講義	開設期	前期
対象学生	学教(教科(数・理))・情報・理(物理・情報除く)・生機・獣医	単位	2 単位	曜時限	金曜日 3・4 時限
担当教官	西井淳				
<p>授業概要 古典力学(ニュートン力学)は目に見える大きさの物体の運動を扱います。そこには、位置、速度、加速度、運動エネルギー、位置エネルギー、運動量、角運動量といった物理に不可欠な概念が現れます。また、いくつかの基本法則から、いろいろな物理量の間になり立つ関係を導く過程は、物理の議論の進め方のお手本となるものです。ただ、話を聞くだけでは身につかないので、演習問題を自分で解くことが大事です。</p> <p>授業一般目標 物理学の基礎である古典力学(ニュートン力学)を学ぶ。運動の記述、運動の法則などについて、微分積分やベクトルなどの数学的手段を活用して、論理的に見通し良く理解する。</p> <p>成績評価方法(総合) ほぼ毎回小テストを行い、総点が80%以上のものを「A」、70%以上80%未満を「B」とする。70%以上のものは期末試験を免除し、小テストによる評点を成績とする。期末試験を受けた者については「小テスト30点満点+期末試験70点満点」の総点が60点以上のものを合格とする。ただし、小テストを7割以上受けていることを単位認定の欠格条件とする。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 教科書は講義初回に指定する。/ 参考書: 物理学はいかに創られたか 上巻, A. アインシュタイン, I. インフェルト, 岩波文庫, 1939年; 物理法則はいかにして発見されたか, R. P. ファインマン, ダイヤモンド社, 1968年; ファインマンさん, 力学を語る, D. L. グッドステイン, J. R. グッドステイン, 岩波書店, 1996年</p> <p>メッセージ 第1回は、同じ時間帯に開かれる物理学I(繁岡先生担当)のクラスとの間で人数調整をします。</p> <p>教官連絡先 居室; 総合研究棟 303号室, E-mail; nishii@yamaguchi-u.ac.jp</p> <p>備考 理学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 自然科学

分野 物理学

科目類型 総説

開設科目	物理学 I	区分	講義	開設期	前期
対象学生	学教(教科(数・理))・情報・理(物理・情報除く)・生機・獣医	単位	2 単位	曜時限	金曜日 3・4 時限
担当教官	繁岡透				
<p>授業概要 物理学の基礎である古典力学を学びます。特に、物理現象を数式で表現し、数学的演算によって論理思考を展開する方法を身につけてもらいます。中心となる内容は次の3つです。1)位置、速度、加速度が、互いに微分・積分によって結ばれていること。2)運動方程式(微分方程式)を解くことによって、物体の運動を決めること。3)運動量、運動エネルギー、仕事、位置エネルギー、角運動量などの重要な物理量についての法則が、運動の3法則から自然に導きだせること。</p> <p>授業一般目標 古典力学の基礎をしっかりと身に付け、物理学の他の分野を学ぶための足場を固めること。</p> <p>成績評価方法(総合) 中間と期末の2回のテストを中心に評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 物理の基礎, 長岡洋介, 東京教学社, 2000年; 販売店: 生協</p> <p>教官連絡先 理学部 228号室、内線(5674)</p> <p>備考 理学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 自然科学

分野 物理学

科目類型 総説

開設科目	物理学 I	区分	講義	開設期	前期
対象学生	知能	単位	2 単位	曜時限	金曜日 3・4 時限
担当教官	平林晃				
<p>授業概要 前半は高校物理で学んだ力学の問題を論じていきますが、そのために微分方程式を用います。後半ではビデオ教材を用いながら、(特殊)相対性理論の導入を口述し、日常では考えられない現象の世界をのぞいてみることにします。</p> <p>授業一般目標 1. 微分方程式を用いて力学系の問題を解決できるようになること。 2. 特殊相対性理論で現れる現象を理解すること。</p> <p>成績評価方法(総合) 中間試験40点+期末試験60点=合計100点</p> <p>教科書・参考書 教科書: プリントを適宜配布する。</p> <p>メッセージ 1. 高校時代は使わなかった微分・積分を力学の解析に用いることの有用性を理解してください。 2. 今年は相対論の発表からちょうど100周年にあたります。タイムリーなこのときに、日常ではありえない現象を説明するこの理論に興味をもってもらえればと思います。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 自然科学

分野 物理学

科目類型 総説

開設科目	物理学 I	区分	講義	開設期	前期
対象学生	医学	単位	2 単位	曜時限	金曜日 3・4 時限
担当教官	山本隆				
<p>授業概要 物理学の中でも、最も早く完成した古典力学(ニュートン力学)の基礎的な概念とその取り扱いを、例題を通して教授する。</p> <p>授業一般目標 古典力学は、自然科学の雛形で、もっとも美しく数学的に纏め上げられている。この講義では、古典力学が如何に豊富な内容を有し、自然界の森羅万象をうまく説明しているかを理解する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 力学, 川村清, 裳華房, 1998年</p> <p>教官連絡先 理学部本館 335 室 オフィスアワー 月曜 13:00 - 15:00</p>					

系列 自然科学

分野 物理学

科目類型 総説

開設科目	物理学 I	区分	講義	開設期	前期
対象学生	看護・検査	単位	2 単位	曜時限	金曜日 3・4 時限
担当教官	石川敏三、篠原紀幸				
<p>授業概要 物理学の中でも最も基礎的な力、電気、波（音波、電磁気）、熱などについて、生活や医療の中で見られる物理現象を関連させながら、解説する。基本原理からさまざまな法則が導けることを示す。また、具体的な問題に法則を適用して自分で解く力を養う。</p> <p>授業一般目標 近年、臨床の領域では、その機械化や新しいセンサおよび人体機能を模倣した様々な機器・装置が、目がぐるしく開発されている。そこで、講義で物理的基本知識の医療における応用の原理や実際の習得に加え、開発能力も身につけるさせることが重要である。</p> <p>成績評価方法（総合） 期試験の結果およびレポートをもとに力学の知識・理解および解析に必要な数学力を評価する。また、小テストによる予習確認により意欲を、レポートにより思考・判断の評価を行う。4 回以上欠席した学生には単位を与えない。</p> <p>教科書・参考書 教科書：物理学（臨床検査学講座）、島津秀昭、石川敏三、医歯薬出版、2007 年</p> <p>メッセージ シラバスを参考に教科書の関連箇所の予習をして講義に臨むこと。また、講義後は講義内容の理解度を自己評価し、復習のうえ次の講義に臨むこと。</p> <p>教官連絡先 medlibn@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

系列 自然科学

分野 化学

科目類型 基礎

開設科目	化学入門 1	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	工（夜）2 年，工（昼）2 年	単位	1 単位	曜時限	月曜日 9・10 時限
担当教官	松 浩司				
<p>授業概要 工学を学ぶ学生を対象として、化学に関しての理解が不十分な学生に対して、工学を学ぶ学生にその専門にかかわらず化学の基礎知識の重要性を認識させるとともに将来的に化学について関係しなければならなくなった時に勉強するための初歩の知識について、身のまわりの現象などと関連付けながらやさしく解説する。</p> <p>授業一般目標 大学で工学を学ぶ者にとって、化学の基礎知識の重要性を認識すること。化学を勉強するに当たって特に化学 I を学ぶ前提としての導入的な初歩の知識を理解すること。</p> <p>成績評価方法（総合） 定期試験および講義中の演習レポートにより総合的に評価する。演習を重視するので、必然的に出席が非常に重要になる。</p> <p>教科書・参考書 教科書：化学入門、大野幸一、妹尾 学、今任稔彦、高木 誠、福田 豊、池田 功、共立出版、1997 年 / 参考書：やりなおし高校の化学、斎藤勝裕、ナツメ社、2005 年</p> <p>メッセージ よく復習をすること。</p> <p>教官連絡先 ko-matsu@c-able.ne.jp</p>					

系列 自然科学

分野 化学

科目類型 基礎

開設科目	化学入門2	区分	講義	開設期	前期後半期
対象学生	工(夜)2年,工(昼)2年	単位	1単位	曜時限	月曜日9・10時限
担当教官	松 浩司				
<p>授業概要 工学を学ぶ学生を対象として、化学に関しての理解が不十分な学生に対して、工学を学ぶ学生にその専門にかかわらず化学の基礎知識の重要性を認識させるとともに将来的に化学について関係しなければならなくなった時に勉強するための初歩の知識について、身のまわりの現象などと関連付けながらやさしく解説する。</p> <p>授業一般目標 大学で工学を学ぶ者にとって、化学の基礎知識の重要性を認識すること。化学を勉強するに当たって特に化学IIを学ぶ前提としての導入的な初歩の知識を理解すること。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験および講義中の演習レポートにより総合的に評価する。演習を重視するので、必然的に出席が非常に重要になる。</p> <p>教科書・参考書 教科書：視覚でとらえるフォトサイエンス化学図録(新課程用)、数研出版編集部、数研出版、2003年；化学入門、大野幸一、妹尾学、今任稔彦、高木誠、福田豊、池田功、立出版、1997年 / 参考書：やりなおし高校の化学、斎藤勝裕、ナツメ社、2005年</p> <p>メッセージ よく復習をすること。</p> <p>教官連絡先 ko-matsu@c-able.ne.jp</p>					

系列 自然科学

分野 化学

科目類型 総説

開設科目	化学I	区分	講義	開設期	前期
対象学生	知能	単位	2単位	曜時限	月曜日3・4時限
担当教官	川俣純				
<p>授業概要 化学は生体をも含めた全ての物質の成り立ちと状態、物質の変化や新しい物質の創製を研究する学問です。この講義では、反応熱、およびその温度・圧力との関係、化学平衡、物質の三態など身近なことを話題とします。</p> <p>授業一般目標 高校の化学で学習した「物質の状態」、「化学反応と熱」、「反応の早さと平衡」などの概念を系統立てて習得し、日常体験する様々な現象に化学がどのように関与しているのかを理解する。</p> <p>成績評価方法(総合) 1. 中間試験・期末試験の成績を重視する。2. 小テスト・授業内レポートに現れた思考力や関心・学習態度も評価に加味する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：入門 化学熱力学、松永義夫、朝倉書店、2001年 / 参考書：相律と状態図、吉岡甲子郎、共立出版、1984年；現代の物理化学、松永義夫、三共出版、1990年</p> <p>メッセージ 単に知識を覚えるのではなく、化学という学問の根底を流れる考え方を学ぶ姿勢で授業に参加して下さい。</p> <p>教官連絡先 理学部本館434号室 j_kawa@yamaguchi-u.ac.jp</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 自然科学

分野 化学

科目類型 総説

開設科目	化学 I	区分	講義	開設期	前期
対象学生	循環	単位	2 単位	曜時限	月曜日 3・4 時限
担当教官	松 浩司				
<p>授業概要 モルの概念、原子の構造、電子配置、化学結合、分子の形、化学平衡、酸・塩基、酸化・還元など物理化学の初歩の内容である。高校での化学とのつながりに注意を払い、専門科目に必要な基本的事項について講述する。配布演習問題や小テストなどを通じて、自学を促しながら進める。</p> <p>授業一般目標 無機化学や物理化学の基礎を習熟し、実際の身の回りの現象を化学的(科学的)に説明できることを目標とする。また専門科目への橋渡しとしての必要な概念も習得させる。</p> <p>成績評価方法(総合) 期末試験と出席状況で総合評価する。毎回小テストを行うが、これは講義内容の理解度を把握するとともに、学生への自学を促すものである。よって評価の対象とはしないが、出席状況の判断に用いる。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 大学生の化学(第2版), 大野惇吉, 三共出版, 2005年; (文栄堂大学前店で販売)/ 参考書: 物質化学の基礎, 多賀光彦・中村博・吉田登, 三共出版, 1993年; 化学の基礎, 竹内敬人, 岩波書店, 1996年; 化学が見えてくる, 岩本悦郎、江頭直義、柿並孝明、日色和夫、三苫好治, 三共出版, 2005年; 演習問題を配布する。</p> <p>メッセージ 化学は循環環境工学科の学生にとっては専門科目の基礎として重要な科目であり、高校での履修から専門科目への橋渡しの役割をしています。よって、単なる暗記ではなく、内容をよく理解し物の本質が見抜けるような態度で取り組んでもらいたい。</p> <p>教官連絡先 ko-matsu@c-able.ne.jp</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 自然科学

分野 化学

科目類型 総説

開設科目	化学 I	区分	講義	開設期	前期
対象学生	感性	単位	2 単位	曜時限	月曜日 3・4 時限
担当教官	和泉研二, 村上清文				
<p>授業概要 授業の前半は、原子の構造、電子配置、化学結合、分子の形、中和反応や酸化還元反応などの溶液内反応、無機化合物の性質など、無機化学分野を中心とした基礎的な講義を行う。後半は、化学および種々の化学現象をより深く理解するために不可欠であり、あらゆる発展領域にとって重要な化学平衡概念を、具体的事例を交えて講義する。</p> <p>授業一般目標 化学を学ぶための基礎を身につけた上で、物質の性質やその変化を物理化学的な観点から理解し、より発展的な学習への導入を図ることを目標とする。基本的概念の把握に力点を置く。</p> <p>成績評価方法(総合) 中間試験、期末試験、出席およびレポートを総合的に判断して評価する。ただし、欠席が多い場合は不可とする。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 基礎化学熱力学, E.B.Smith, 化学同人, 1992年/ 参考書: 適宜、プリント等を配布する。図書館には他にも多くの関連する参考書があるので、各自で自分にあった本を探すこと。また、授業の前半は高校で習う内容も多いので、高校の教科書や参考書も利用するとよい。</p> <p>メッセージ 前半は基礎的な事項を中心に行いますが、後半からは基礎を踏まえた上で、さらに段階的な理解が必要になります。どのような勉強でも積み重ねが重要です。受身にならず自主的、積極的に取り組んで下さい。</p> <p>教官連絡先 教育学部 120号室(村上)、122号室(和泉) kmura@yamaguchi-u.ac.jp(村上)、bec20@yamaguchi-ac.jp(和泉) オフィスアワー: 会議などの用事がなければ、いつでも対応します。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 自然科学

分野 化学

科目類型 総説

開設科目	化学 I	区分	講義	開設期	前期
対象学生	生機・獣医	単位	2 単位	曜時間	月曜日 5・6 時限
担当教官	右田たい子				
<p>授業概要 化学は物質そのものを対象とする学問であり、あらゆる物質についてその本性を統一的に理解することを目的としている。この講義では化学の基本的な事項について学び、物質の成り立ちと性質の関係、変化の仕方を決める要因などについて考え、物質を科学の原理に立って理解する、とはどういうことなのかを学ぶ。</p> <p>授業一般目標 無機系化学(無機化学、物理化学、分析化学等に関係する分野)の基礎を理解する。</p> <p>成績評価方法(総合) 知識・理解を測る定期試験、中間試験、小テストを主とし、思考・判断を測る演習・レポートを従とする。</p> <p>教科書・参考書 教科書: ライフサイエンス基礎化学, 青島均・右田たい子, 化学同人, 2000年; 熟読すること。欄外には、高校で物理学を履修しなかった学生のために、理解に必要な事項(単位系等)を解説して有るので、参考にすること。例題をしっかりと理解し、章末問題が自力で解答できれば十分合格点に達している。/ 参考書: 生命科学のための基礎化学、無機物理化学編, M. M. Bloomfield, 丸善, 1995年; カステラン物理化学, G. W. Castellan 目黒・田中・今村訳, 東京化学同人, 1986年; 物理化学(下)第6版, P. W. Atkins, 東京化学同人, 2003年</p> <p>メッセージ 化学 I は、化学の基礎部分に当たるので、生命科学を学ぶすべての学生にとって、必修の内容を含んでいる。高年次のさまざまな専門科目の履修の基礎となるので、まじめに取り組むこと。</p> <p>教官連絡先 ctmigita@yamaguchi-u.ac.jp 研究室: 農学部本館南 4 階 420 オフィスアワー: 月曜日 15:00-17:00</p>					

系列 自然科学

分野 化学

科目類型 総説

開設科目	化学 I	区分	講義	開設期	前期
対象学生	学教(教科(理))・情報・数理・物 情・地球・生資	単位	2 単位	曜時間	水曜日 3・4 時限
担当教官	青島均				
<p>授業概要 原子の電子配置を説明した上で、原子が集まってどのように分子が作られるか述べる。次に分子の間の平衡、酸化還元、反応速度などについても述べる。</p> <p>授業一般目標 私たちを取り巻く物質を物理化学的法則に基づいて、新しい観点からより深く理解することを旨とする。</p> <p>成績評価方法(総合) 下記の方法で評価します。小テストにより出席をとります。欠席が多い場合は不可とします。</p> <p>教科書・参考書 教科書: ライフサイエンス基礎化学, 青島均・右田たい子, 化学同人, 2000年 / 参考書: 図書館に多くの参考書があるから利用すること。</p> <p>メッセージ 大学は自分で勉強するところです。受身にならず自主的、積極的に取り組んでください。</p> <p>教官連絡先 理学部北棟 403号室、電話: 5762、e-mail:aoshima@yamaguchi-u.ac.jp オフィスアワー: 会議などの用事がなければいつでも対応します。できれば前もって電話、メールでご連絡ください。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 自然科学

分野 化学

科目類型 総説

開設科目	化学 I	区分	講義	開設期	前期
対象学生	応化	単位	2 単位	曜時限	水曜日 3・4 時限
担当教官	江頭 港				
<p>授業概要 原子の構造, 化学結合, 化学平衡, 気体や溶液などについて, 高校化学の復習および物理化学系専門科目との橋渡しを行う。演習を交えて理解を深める。</p> <p>授業一般目標 物質の構造, 状態, 反応に関わる基礎的なことがらについて理解する。理想気体の振る舞いおよび実際の気体との違いについて理解する。</p> <p>成績評価方法 (総合) 中間試験, 期末試験, 授業中の演習により評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 化学入門, 下井 守, 村田 滋, 東京化学同人, 2005 年; ムーア基礎物理化学(上), W. J. Moore, 東京化学同人; 高校で使用した教科書は復習のため必要です。/ 参考書: 適宜紹介する。</p> <p>教官連絡先 minato@yamaguchi-u.ac.jp</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 自然科学

分野 化学

科目類型 総説

開設科目	化学 I	区分	講義	開設期	前期
対象学生	社建	単位	2 単位	曜時限	木曜日 3・4 時限
担当教官	中野 昭夫				
<p>授業概要 化学の基礎原理(化学基礎及び物理化学分野)を中心に学ぶ。分子の成り立ちを原子のレベルから学ぶ。さらに化学物質の状態や、変化(反応)を理解する。又、健康や環境と化学の関わりについて講義する。</p> <p>授業一般目標 この世の中の全ての物が、化学物質であることを再認識し、身の回りのさまざまな現象を分子レベルで理解して戴く。そのため専門知識として必要となる基礎化学を、化学 I と化学 II を通じて理解して戴くことを最終目標とするが、本講義(化学 I)では、分子理解の基礎になる原子構造と化学の基礎原理を理解して戴く。より健康的でかつ地球に優しい生き方を志して戴く為、化学へ興味を持って戴くことを主目標とする。</p> <p>成績評価方法 (総合) 出席点(出席回数)、平常点(毎回の試験結果)、レポート(数回分)及び期末試験を総合的に評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 生活の基礎化学 増補訂正, 神谷功著者代表, 東京教学社, 2000 年 / 参考書: 図表で学ぶ化学, "大城芳樹, 平嶋恒亮著", 化学同人, 1999 年</p> <p>メッセージ 出席を重視します。最終講義でノートチェックを行います。期末試験にノート、テキスト持ち込み可とします。</p> <p>教官連絡先 Email:a-nakano@toua-u.ac.jp</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 自然科学

分野 化学

科目類型 総説

開設科目	化学 I	区分	講義	開設期	前期
対象学生	機械	単位	2 単位	曜時限	金曜日 3・4 時限
担当教官	本多 謙介				
<p>授業概要 化学は、物質の構造や性質、およびその変化を研究することを目的とした学問であり、無機化学、有機化学、物理化学の三分野に分けられる。本講では、化学の基本概念を総括して学習する。</p> <p>授業一般目標 物質の性質、構造、反応性を支配する基本法則を系統的に理解することを目指す。このため、小テスト・演習をまじえながら講義を行なう。</p> <p>教科書・参考書 教科書：わかりやすい基礎化学 材料・環境・生体へのアプローチ，神戸 哲，講談社サイエンティフィック，1998 年</p> <p>メッセージ 講義内容を理解するためには、予習・復習を欠かさず行うこと。特に、教科書の章末問題を解くことによって化学の基本知識の理解を深めて欲しい。</p> <p>教官連絡先 理学部本館 4 階 441 号室</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 自然科学

分野 化学

科目類型 総説

開設科目	化学 I	区分	講義	開設期	前期
対象学生	電気	単位	2 単位	曜時限	金曜日 3・4 時限
担当教官	伊原 靖二				
<p>授業概要 (1) 化学の基礎: 化学の歴史、原子、周期律、化学結合の基礎概念及び物質の状態と物理的性質を学ぶ。(2) 化学反応: 反応速度、平衡状態及び電離平衡の概念を質量作用の法則及び速度論から学び、物質の化学現象を理解する。(3) 物質の性質: 熱力学的性質、化学結合、酸・塩基の概念及び電気化学の基礎を学ぶ。</p> <p>授業一般目標 化学は特に物質の変化すなわち現象を理解する学問であり、我々の身近な現象は化学と深くかかわりをもっている。この化学 I においてはこれらの化学現象を理解するための基礎的概念及び理論について、物理化学の立場から体系的に学習する。</p> <p>成績評価方法 (総合) (1) 授業の終わりに、10 回程度講義の理解度の判定のため、小テストを行う。(2) 期末試験の実施、(3) 出席点の重視、以上を下記の観点・割合で成績を総合的に判定する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：理工系一般化学，篠崎 開 他，東京化学社，2006 年</p> <p>メッセージ 再試験は実施しませんので、きちんと試験の準備をしてください。</p> <p>教官連絡先 ihara@yamaguchi-pu.ac.jp</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	化学 I	区分	講義	開設期	前期
対象学生	医学	単位	2 単位	曜時限	金曜日 5・6 時限
担当教官	小崎 紳一				
<p>授業概要 化学では物質を主な研究対象とするので、化学は物質科学の中心となる学問分野といえる。この講義では、大学で学ぶ理 科系学生にとり共通して必要と考えられる現代化学の基礎をとりあげていく。各回の講義内容は、物質の構造、性質（物性）、変化（反 応）を理解するうえで基礎となる概念や理論について、おおむね教科書の順序にしたがって下記のようにする予定である。</p> <p>授業一般目標 物質の構造・性質・変化についての基礎的な理解を深める。</p> <p>成績評価方法（総合） 中間試験と期末試験で評価する。中間試験の日程などについては授業時に連絡する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：ライフサイエンス基礎化学, 青島均・右田たい子, 化学同人, 2000 年；山口大学生協ブックセンターにて販売 教官連絡先 金曜 午後</p>					

開設科目	化学 I	区分	講義	開設期	前期
対象学生	工 2 年	単位	2 単位	曜時限	金曜日 11・12 時限
担当教官	竹中俊介				
<p>授業概要 身の回りの事象を化学の立場から理解するために 1. 原子の構造と性質、周期律表 2. 化学結合と物質の性質 3. 原子、 分子の状態と熱力学 4. 有機化学、無機化学の基礎 5. 原子、分子の性質と機能性 を講義する</p> <p>授業一般目標 本講義は化学のみならず、様々な専門分野を目指す学生諸君が将来の技術者として必要な化学知識を習得しするこ とを目的として・原子・分子の概念・化学結合における電子の役割、物質の化学式、化学反応の表現・物質の状態と熱力学の関係・無 機化合物、有機化合物の機能性発現と原子、分子の性質・身近な物質、機能性材料の原子、分子レベルでの考察等を習得する。</p> <p>成績評価方法（総合） 中間試験と定期試験、及びレポートを以下の観点・割合で評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：現代化学の基礎 - 物質科学へのアプローチ, 渡辺 啓, サイエンス社, 1995 年 メッセージ 本講義から身の周り事象を論理的に考察出来るような化学的基礎知識の習得を目指してほしい 教官連絡先 e-mail:y-morita@yamaguchi-u.ac.jp (森田由紀) 電話：0836-85-9642 研究室： 備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 自然科学

分野 化学

科目類型 総説

開設科目	化学 II	区分	講義	開設期	前期
対象学生	看護	単位	2 単位	曜時間	金曜日 1・2 時限
担当教官	田中経彦				
<p>授業概要 医学部保健学科看護学専攻学生を対象に有機化学を主に講義する。有機化学とは、炭素を含んだ物質の性質を調べる化学である。生物を構成する物質の大半は炭素を成分とする有機化合物である。生命活動のエネルギーは糖、脂肪、たんぱく質などの有機化合物を酸化することで得ている。生命活動は多種の有機化学反応の組み合わせによって構成されている。人間も同じである。人間が病気になるのは体の有機物質の質的または量的異常のせいである。健康状態を維持するには栄養素である有機化合物の理解が必要である。有機化学の知識がなければ現代医学は理解できない。</p> <p>授業一般目標 講義目標 医学の基本である生化学や、薬理学で出てくる多数の有機化合物の名前や構造式にパニックにならないように、事前に顔見知りになることを目的にします。生化学は、時間数が少なく消化不良に陥りがちですが、この化学の授業で準備をします。また身の回りの化学物質について知識を深めることは、意義があるでしょう。</p> <p>教科書・参考書 教科書：コ・メディカル領域の化学：健康・医療と化学のかかわり、津波古充朝 [ほか] 共著、三共出版、1989年；コ・メディカル領域の化学（三共出版）</p> <p>教官連絡先 http://ds.cc.yamaguchi-u.ac.jp/tatehiko/po-login/index.html ここから質問とその回答を掲載したページへ行けるようにします。授業の終わりに質問を受け付けるつもりですが、不足であれば金曜日の昼休みに後日連絡する教室に質問受付のためにいます。メール連絡先：tatehiko@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

系列 自然科学

分野 生物学

科目類型 総説

開設科目	生物学 I	区分	講義	開設期	前期
対象学生	検査・工	単位	2 単位	曜時間	木曜日 1・2 時限
担当教官	渡部省二				
<p>授業概要 主に高等学校で生物学を履修していない学生を対象として、生物学の全体像を把握することを目的とする。</p> <p>授業一般目標 生物の多様性について学び、この多様な生物をいかにして整理、分類するか、それぞれの生物の構造がどうなっているのか、どのような機能をもっているのか、について習得する。そして、この多様な生物が、その基本的な営みにおいて驚くべき共通性をもっていることを理解し、生命の神秘を感じ取る。</p> <p>成績評価方法 (総合) *期末試験を行う。*授業外レポート(宿題)を課すが、評価には加えず、欠格条件とする(未提出の場合は単位を与えない)ただし、提出した場合でも課題にまじめに取り組んでいないレポートは未提出と判定することもあり得る。また、全く同じレポートが二人から提出された場合は双方とも未提出とする。*出席が所定の回数に満たない者には単位を与えない。</p> <p>教科書・参考書 教科書：生きものからくり - 分子から生命へ 改訂版, 中村和行他編, 培風館, 2006年 / 参考書：視覚でとらえるフォトサイエンス 生物図録, 鈴木孝仁, 数研出版</p> <p>メッセージ 講義の資料はホームページに掲載されているので参照すること。URLは、http://ds.cc.yamaguchi-u.ac.jp/shwatabe/po-login/menus/biology.htm わからないことをわからないままにしておかず、すぐに質問すること。メールによる質問も可。</p> <p>教官連絡先 shwatabe@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	生物学 II	区分	講義	開設期	前期
対象学生	生資・生機 2 年	単位	2 単位	曜時間	水曜日 5・6 時限
担当教官	真野純一				
<p>授業概要 生物が「生きている」状態とは、それ以外の状態とどのように違うのだろうか？生命の維持のために細胞は絶えず周囲（環境）からエネルギーと物質を取り込み、老廃物を排泄している。これを代謝という。取り込まれたエネルギーは細胞の中でアデノシン三リン酸（ATP）の形で蓄えられ、さまざまな生命活動に利用される。この授業では、細胞が ATP を作るしくみの解説を中心として、化学的な観点から、生物が地球環境の中で生きている状態を理解することをめざす。</p> <p>授業一般目標 生物とは何か、を「生きている状態とは？」という問いとして考えていく。生物個体と環境との間のエネルギーと物質の流れをもとに「生きている状態」を理解することをめざす。内容は主として生化学であり、細胞がエネルギー通貨である ATP をどのように栄養分から作り出すか、を学ぶ。また、生命が環境とつながり、他の生命や宇宙によって支えられていることを学ぶ。</p> <p>成績評価方法（総合） 期末試験により評価する。出席数 6 割以下は欠格（成績評価を行わない）とする。</p> <p>教科書・参考書 教科書：教科書は指定しない。授業のウェブページと配布プリントによる予習・復習を求める。/ 参考書：Essential 細胞生物学 原書第 2 版、中村桂子・松原謙一、南江堂、2005 年；Biochemistry, 6th edition, Berg 他、Freeman, 2006 年；生物機能科学科 2 年生は上記 Biochemistry（英語）を後期の授業から使います。</p> <p>メッセージ 授業の最初に毎時間小テストをしますので、必ず前回の授業の復習をしてきて下さい。高校レベルの化学の知識があることが望ましいが、わからない点は説明するので授業をさえぎってでも積極的に質問すること。</p> <p>教官連絡先 mano@yamaguchi-u.ac.jp 平日午後 1 時半～5 時</p>					

開設科目	地球科学 I	区分	講義	開設期	前期
対象学生	工 2 年	単位	2 単位	曜時間	月曜日 1・2 時限
担当教官	溝田忠人				
<p>授業概要 最初に、化石と地球の歴史、地震波の伝播と地球の内部構造、地球の重力や大気圏外の状態、マグマから生成する岩石とその風化、堆積過程、造岩鉱物の種類と同定法等について知識を深める。その後、人間の生活に不可欠な金属やエネルギーの塊である地下資源の産状や採掘法、岩盤の力学や掘削、地球環境の問題について解説する。さらに、地震によって発生する自然災害の本質、さらに人間社会との係わり、およびその軽減対策について、特に新しい事例を取り上げることで理解を深める</p> <p>授業一般目標 1. 人類が生活している地球の表面および地球の中心から宇宙への広がりを理解する。2. 人類と地球・宇宙等の環境との関わりを理解できる。</p> <p>成績評価方法（総合） 講義の後に小レポート（50%）と課題レポート（50%）で評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：基礎地球科学、西村祐二郎ほか、朝倉書店、2002 年 / 参考書：生命と地球の歴史、丸山茂徳・磯崎行雄、岩波新書、1998 年</p> <p>メッセージ 我々人類は地球上で生存していますが、地球がどのように進化し、人類と係わりでどのような問題が生じているかを学びます。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 自然科学

分野 地球科学

科目類型 総説

開設科目	地球科学 I	区分	講義	開設期	前期
対象学生	教・農	単位	2 単位	曜時限	木曜日 1・2 時限
担当教官	早川誠而・深田三夫				
<p>授業概要 地球科学は実に幅広く面白い学問である。この講義では、地球の生い立ち、地球の内部構造、変動する大地、プレートの離合集散、日本列島の生い立ち、天変地異と環境破壊について講義し、生きている地球を実感し、そしてダイナミックな地球科学の醍醐味を味わってもらいたいと思っている。</p> <p>授業一般目標 宇宙の中に存在する太陽系の第 3 惑星である地球を概観し、人間活動によって地域的・局所的であった自然環境の悪化が地球規模の広がりを見せ、さまざまな悪影響をもたらしていることを講義を通じて理解し、地球を大切にす気持ちを抱く。新たな知見や今日的なテーマを含めて解説し、テレビや新聞・雑誌の地球に関するニュースに関心を持つ。</p> <p>成績評価方法 (総合) 成績は中間試験、期末試験およびコメント票の内容で判定します。出席は授業の終わりに小テストあるいはコメント票を提出してもらって確認します。3 回以上無届で欠席した場合は単位はありません。遅刻を 3 回以上した場合は 1 回欠席とみなします。</p> <p>教科書・参考書 参考書：授業の中で紹介する。</p> <p>メッセージ 私語は厳重に注意する。質問にはできるだけ答えるようにする。講義内容についてメールによる質問に答えませんが、出席状況や成績についてはメールではお答えできません。</p> <p>教官連絡先 hayakawa@yamaguchi-u.ac.jp、内 5861、総合研究棟 205 号室、オフィスアワー：随時 mfukada@yamaguchi-u.ac.jp、内 5830、オフィスアワー：</p>					

系列 自然科学

分野 地球科学

科目類型 総説

開設科目	地球科学 I	区分	講義	開設期	前期
対象学生	理・看護・検査	単位	2 単位	曜時限	金曜日 5・6 時限
担当教官	三浦 保範				
<p>授業概要 地球惑星の成り立ちを循環システムとして広く理解するために、宇宙・銀河・太陽系天体 (地球・月・火星・小惑星など) の基礎的で最新知識情報と自然科学的な思考方法によって、これまでと現在そしてこれからの地球の自然科学的な世界を学ぶ。</p> <p>授業一般目標 地球の成り立ちを科学的に広い循環システムとして理解することを目標とする。そのために、宇宙・銀河・太陽系天体 (地球・月・火星・小惑星など) の基礎科学的思考による知識情報を広く学ぶ。</p> <p>成績評価方法 (総合) 定期試験で主な評価 (70 %) をし、講義期間中の小テスト・レポートの評価を加味する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：教材は、プリントで毎回配布する。 / 参考書：地球・環境・惑星系 (パリティブックス ポップサイエンス), Richard Fifield [編]; 土井恒成訳, 丸善, 1991 年; 地球のしくみ, 浜野洋三, 日本実業出版社, 1995 年; 宇宙のしくみ, 磯部秀三, 日本実業出版社, 1999 年; 基礎地球科学, 西村祐二郎ほか, 朝倉書店, 2004 年; 参考書資料として、「スペースアトラス」(図書出版、河島信樹監)、「図説 地球科学」(岩波書店、杉村新ほか) などがある。</p> <p>メッセージ 定期試験が主な評価であるが、毎回の小テスト演習のまとめが学期末の定期試験に反映されるので、継続的な勉強の仕方をすること。</p> <p>教官連絡先 連絡先：理学部 1 号館北棟 343 号室; Tel/Fax:(083)933-5746; E-mail:yasmiura@yamaguchi-u.ac.jp オフィスアワー：金曜日 15:00~17:00</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	数学概論	区分	講義	開設期	前期
対象学生	生資	単位	2 単位	曜時限	月曜日 3・4 時限
担当教官	西山壮一				
<p>授業概要 農学における実際の課題を、数学を用いて解決しようとするときその手法の序説を講義する。手法はプログラムを作りコンピュータを使って解く方法である。</p> <p>授業一般目標 授業の例題程度が参考書でも見ながらアルゴリズムができ、実際の農学の課題について、解決しようとする意欲が持てる程度までぐらいを目標としている。簡単な問題は参考書なしでプログラムが書けること。</p> <p>成績評価方法(総合) 計算機を用いて、数学の課題を解く手法を講義している。コンピュータによる解析に習熟は実技である。したがって、出席は重要である。試験も重要である。出席率が75%以下のものは、試験ができて単位を認めない。理由があって、欠席が多いものは補講を行なうことを考えている。したがって、単位を落とすことは極めて少ないと思う。</p> <p>メッセージ 初歩的なことから講義します。割とゆっくり進みます。ほとんどの学生がついてこれると思います。</p>					

開設科目	数学概論	区分	講義	開設期	前期
対象学生	生機・獣医	単位	2 単位	曜時限	月曜日 3・4 時限
担当教官	深田・荊木・早川				
<p>授業概要 農学は物理学、化学、生物学などを基礎とする応用学問ですが、様々な現象を数式で記述しその変化の傾向をとらえる事が重要になってくる場合が多くあります。また、いろいろな観測、調査に基づいたデータや、実験室でとったデータを整理して解析し、定量的な評価をする場合などに数学は重要になってきます。この講義では数学を通して自然の成り立ち、自然の奥深さを理解することを目的としています。</p> <p>授業一般目標 自然界に生起する現象は場所や時間に依存して変化するので2つの変数や3つの変数で表されるのがほとんどで、現象の時間的変化や場所的变化を記述する数学的手法が必要となってきます。また、最近では解析にコンピュータは不可欠な道具であり、コンピュータによる分析や解析を念頭においた講義を行います。物質やエネルギー輸送、化学反応などを記述する手法としての微分方程式、多変数をもつ物理量の演算を扱う「行列と行列式」、取得したデータの傾向をみる微分方程式や乱数発生による「シミュレーションの基礎」等の講義を行います。</p> <p>成績評価方法(総合) 小テスト/授業内レポート=40 宿題/授業外レポート=20 出席=40</p> <p>教科書・参考書 教科書：シラバス入力時点(2月5日)で未定、決まり次第通知する。/参考書：科学技術者のための基礎数学(新版)、矢野健太郎、石原繁共著、裳華房、1982年；参考書：科学技術者のための基礎数学、矢野健太郎・石原繁、裳華房、2000年</p> <p>メッセージ 入学時に購入したPCを用いて演習を行う。使用する日はあらかじめ連絡する。</p> <p>教官連絡先 深田：E-mail mfukada@yamaguchi-u.ac.jp 荊木：E-mail ibaraki@yamaguchi-u.ac.jp 早川：E-mail hayakawa@yamaguchi-u.ac.jp ご用件はメールで問い合わせください。</p>					

開設科目	現代化学総説	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教・経	単位	2 単位	曜時限	水曜日 7・8 時限
担当教官	西口 毅				
<p>授業概要 本講では、大競争時代を生きるのに有効性を持つと同時に、「自然について学ぶことの面白さ」が伝わる授業をめざしたい。それができるためには、高いレベルを保ちつつも、高校で化学を履修していない人でも理解できる分かりやすさと、新しい発見とが必要であろう。日常的現象、生命現象、環境問題、社会的諸問題などを、「それはなぜ起こるのか」という観点から解説する。最も身近な化学反応である燃焼については、毎回行う演示実験によって学ぶ。最も身近な化学反応である燃焼については、毎回行う演示実験によって学ぶ。すべての授業はパソコンからスクリーンに出力しながら行う。授業で使ったスライドは、全て Web ページ (http://chem.cge.yamaguchi-u.ac.jp) からダウンロードできるので、予習、復習に役立てて欲しい。学生諸君の質問(日頃の疑問など)にもできるだけ答えたい。電子メールによる質問にも答える。メール画面は、Web ページに付いている。</p> <p>授業一般目標 多くの人にとって、これからの時代に必要なものは、できるだけ広い範囲の職務内容に適応できる幅広い知識と常識であろう。いま必要だと言われる「生きる力」とは何か。私は「豊かな常識+行動力」だと思う。この講義の目的も、自然科学的常識を豊かにすることである。そして、その目的を達成するには、自然科学的常識の必要性を学生諸君に納得してもらわなければならない。授業では、授業内容に関連する練習問題を提示するので、それらを解いてみるのが望ましい。授業の終了時には、問題を出し、その答を紙に書いてもらう。授業中に理解できなかったことを、その解答用紙に書いておくと、次回の授業開始時にそれについての解説が行われるであろう。この授業では、疑問を残さないようにしてもらいたい。また、学生諸君が、社会人になったときに自信をもって生きられるようにすること、つまり、自信をもって生きるために必要な能力と価値観の習得の手助けをすることが、教育でめざすべきものであると思うので、授業に時間的余裕があれば、これに関連することからについての個人的意見も話す。それらも批判的に検討してもらいたい。</p> <p>成績評価方法(総合) 成績は、主として、期末テストの点数に基づいて評価する。希望者が過半数を超えれば中間テストも行う。中間テストを行った場合には、期末テストと中間テストの比重は1:1である。テストの成績が合否のボーダーラインに近い人には、出席点を考慮することもある。</p> <p>教科書・参考書 教科書：現代の生活と物質、西口 毅、化学同人、1996年；プリントを数種類配布する。</p> <p>メッセージ 学生諸君にとって重要なことは、単位を取るのではなく、将来に備えることであろう。このような観点から、時間的余裕があれば、諸君が生きる時代についての私見を話すこともある。</p>					

開設科目	現代生物学総説	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教・経	単位	2 単位	曜時限	火曜日 7・8 時限
担当教官	阿部弘和・北沢千里				
<p>授業概要 身近に存在する生命現象を題材に、生物とはどのようなものかについて解説する。</p> <p>授業一般目標 近年、関心の高まる環境問題や、クローン動物、遺伝子組み換え食品などに加え、生命の誕生から生命の形作りについて、最近の話題とともに解説し、生命現象について関心を持つとともに、生物学の基礎知識を身につける。</p> <p>成績評価方法(総合) 出席、テストあるいはレポートを総合的に判断し評価する。</p> <p>教科書・参考書 参考書：ダイナミックワイド図説生物、東京書籍、2005年</p> <p>教官連絡先 連絡先：阿部弘和(教育学部理科教育教室) E-mail: habe@yamaguchi-u.ac.jp 北沢千里(教育学部理科教育教室) E-mail: chisak@yamaguchi-u.ac.jp 水曜日 13:00-14:30</p>					

開設科目	現代生物学総説	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教・経	単位	2 単位	曜時限	金曜日 7・8 時限
担当教官	祐村稔子				
<p>授業概要 ヒトを含めすべての生物は、「細胞」という共通の基本単位から構成されています。一方、「細胞」を構成する部品：細胞小器官は生体分子の集合体であり、すでに生きてはいません。このように「細胞」は、「生命」と「物質」の境界をなす「生命の最小単位」といえます。本講義ではこのような「細胞」の構造と機能について、分子レベルでの解説を行います。加えて、近年驚くべき進歩をみせるバイオテクノロジーの基礎知識についても、身近な話題を中心に紹介し解説します。</p> <p>授業一般目標 「細胞」に関する分子レベルの知識は、生命を理解する上で必要不可欠な基礎知識です。加えて今日、医療、農業、工業とさまざまな分野にわたり、日常生活の隅々にまで浸透しつつある多くのバイオ関連技術およびマスコミ等に氾濫するバイオ関連情報を、正しく理解し評価するためのにも必須のものです。本講義では、正しい知識に基づいて、何が有益で何が危険なのかを自ら考え判断し、生命科学の進歩をいたずらに恐れる事なく未来を見極める知識、能力を身につけることを目標とします。</p> <p>成績評価方法 (総合) 期末試験 (テキスト、ノート、プリント参照可) 80% 宿題レポート 20%</p> <p>教科書・参考書 教科書：生きもののからくり (改訂版), 中村和行、山本芳実、祐村恵彦 共著, 培風館, 2006 年</p> <p>メッセージ 古典的生物学にとどまらず、物理学、化学、地球科学まで含む自然科学全般の知識に基づいて生命を理解することをめざします。広い興味と知的好奇心、そして意欲的に学んで下さるみなさんの受講をお待ちしております。</p> <p>教官連絡先 メールアドレス: discoideum@yahoo.co.jp</p>					

開設科目	現代地球科学総説	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教	単位	2 単位	曜時限	月曜日 3・4 時限
担当教官	永尾隆志				
<p>授業概要 私たちは、半径 6400km の地球の上に住んでいる。しかし、そのことを実感することはあまりない。この授業では、私たちが体験したりマスコミで報道される地震や火山噴火をとおして地球の構造や運動のしくみについて学習する。</p> <p>授業一般目標 日ごろ接する情報から地球のダイナミクスを理解するための基礎的な力を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) (1) 授業の内容に関するレポートの提出をもとめそれを評価する。(2) 試験。以上を下記の観点・割合で評価する。なお、出席が所定の回数に満たないものは単位をあたえない。</p> <p>教科書・参考書 教科書：特に指定しない。/ 参考書：授業の中で紹介する。</p> <p>教官連絡先 理学部 340 号室, e-mail: tnagao@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	現代地球科学総説	区分	講義	開設期	前期
対象学生	経	単位	2 単位	曜時限	金曜日 7・8 時限
担当教官	君波和雄				
<p>授業概要 地球は生きた天体であり、地球内部や太陽からのエネルギーを源として様々な変動を繰り返しながら進化してきた。地球科学は、こういった地球の表面や内部における変動を解析し、地球の発展過程を明らかにすることを目的としている。この講義では、地球上部の主要な変動を説明するための理論であるプレートテクトニクスの基本的骨格やプレートテクトニクスと地質との関連などについて解説する。</p> <p>授業一般目標 この講義をとおして、地球科学における時間の感覚を把握するとともに、プレートテクトニクスの基本骨格を理解し、ダイナミックに変動する地球についての理解を深めることを目標とする。</p> <p>成績評価方法(総合) 成績評価は、期末試験 80%、小テスト・レポート 20%とする。</p> <p>教科書・参考書 教科書：なし。適宜プリントを配布する。</p> <p>教官連絡先 kimik@yamaguchi-u.ac.jp 研究室：理学部 4 階 445 室 オフィスアワー：時間があるときはいつでも。</p>					

開設科目	物理学通説	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教・経・生資	単位	2 単位	曜時限	金曜日 3・4 時限
担当教官	増山博行				
<p>授業概要 17世紀のガリレオやニュートンの時代から19世紀にかけて、自然に対する科学的認識は飛躍的に深まり、物理学の基礎が確立した。これは、力学、熱力学、振動・波動論、光学、電磁気学と呼ばれている古典物理学の分野である。さらに20世紀にはいと原子などの微視的世界を記述する量子論が誕生した。授業では古典物理学の基礎を中心に講義し、量子論の誕生についてもふれる予定。</p> <p>授業一般目標 (1) 古典物理学の基礎を理解する。(2) 物理学の発展過程を知るとともに、他の学問との関わりを理解する。(3) 量子論の見方を知る。(4) 物理学の課題や社会との関わりについて考察する。</p> <p>成績評価方法(総合) 下記の観点別評価割合は目安であり、試験結果をもとに総合的判断を加える。なお、欠席回数が多い者は単位を与えない。</p> <p>教科書・参考書 教科書：2「新物理学」、シッフマン著、学術図書出版社、2002年 / 参考書：物理学入門、原康夫、学術図書出版社、2005年</p> <p>メッセージ 初修の人は、特に予習・復習を行ってください。既習の人は数学力を伸ばしてください。3年生以上には現代物理学総説の読替科目となります。</p> <p>教官連絡先 増山：理学部本館南棟 238 室 e-mail: mashi@yamaguchi-u.ac.jp URL http://web.cc.yamaguchi-u.ac.jp/mashi/</p>					

系列 自然科学

分野 自然科学実験

科目類型 総説

開設科目	物理学実験 A	区分	実験・実習	開設期	前期
対象学生	物情・生化・地・獣医	単位	2 単位	曜時限	火曜日 7・8・9・10 時限
担当教官	朝日孝尚, 長谷部勝彦				
<p>授業概要 力学、光学、熱力学、電磁気学等の分野に渡って設定された基礎的な実験テーマについて、自らの手で実験を行い、測定結果の処理、解析をし、その結果について考察を加え、実験レポートを作成する力を養うことを目指している。実験は原則として二人一組で行い、また、実験は授業計画の所に記した A～M の 13 テーマをローテーション表(ガイダンス後に掲示)に従い、毎回 1 テーマずつ行うという形で実施する。</p> <p>授業一般目標 ・様々な物理現象を実験的に検証することを通して、物理学に対する基礎知識を習得し、深く物理現象を理解する。 ・実験に必要な基礎的な技術や解析方法を修得し、レポートにまとめて報告する力を養う。</p> <p>成績評価方法(総合) 単位の認定は、出席率が 80% 以上であること、実施したテーマの全レポートが提出されていること。出席していてもレポートが提出されなければ、そのテーマは欠席と見なす。授業態度・授業への参加度は、実験中の見回り及び当日の実験結果の報告等を通して判断する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：実験テキストを販売する。販売方法は学期初めに掲示するので、ガイダンスまでに必ず購入しておくこと。 メッセージ 次回のテーマについての予習を必ずしておき、手際よく実験を行うこと。</p> <p>教官連絡先 朝日孝尚；理学部 242 号室, hcc30@yamaguchi-u.ac.jp</p> <p>備考 理学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 自然科学

分野 自然科学実験

科目類型 総説

開設科目	物理学実験 B	区分	実験・実習	開設期	前期
対象学生	機械・応化・社建	単位	1 単位	曜時限	金曜日 5・6・7・8 時限
担当教官	佐藤克也、安田利貴、松尾栄治、村田卓也、藤澤健太、増山和子、岸本祐子				
<p>授業概要 物理学実験では、力学・熱力学・光学・電磁気学などの物理学基礎分野から選択される 6 テーマについて実験を行う。測定データの解析と検討に基づき、レポートフォームを完成する。</p> <p>授業一般目標 基本的な物理現象の原理と検証手段となる測定手順を説明できるようにすることを目的とする。また、初歩的な技術作文の手法を身につけることを目標とする。</p> <p>成績評価方法(総合) 成績は実験への出席とレポートで評価する。単位修得の必要条件是、全ての実験に出席し、全てのレポートを提出し、受理されることである。病気などの事情により欠席せざるを得ない場合は、事前にその旨を担当教員に相談すること。無断欠席した場合は、不合格とする。</p> <p>教科書・参考書 教科書：物理学実験テキスト：オリエンテーション時に説明を行う... / 参考書：理科年表, 物理学テキスト,, メッセージ 物理学実験ホームページ http://w-phys.liberal.yamaguchi-u.ac.jp/</p> <p>教官連絡先 連絡先は、共通教育係事務室まで</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 自然科学

分野 自然科学実験

科目類型 総説

開設科目	化学実験A	区分	実験・実習	開設期	前期
対象学生	物情・地球・生機・獣医	単位	2 単位	曜時間	木曜日 5・6・7・8 時 限
担当教官	村上良子, 梶原忠彦, 西口 毅, 中野昭夫, 外山博英				
<p>授業概要 本実験では、有機化学実験、分析化学実験 I、II、物理化学実験、および総合実験の五つの実験から指定された四つを行う。一つの実験は各々三日間で行う。有機化学実験では化粧石けん、色素、ピニロン等の合成を、分析化学実験ではセミクロ定性分析法による金属陽イオンの分析を、物理化学実験ではコンピュータを用いた計算とグラフや分子構造の図形表示を行う。総合実験では身のまわりにある物質の化学的性質や反応を調べる。</p> <p>授業一般目標 これらの実験を行う過程で、試薬や器具の扱い方を体験し、実験操作の意味や化学反応の背後にある化学の考え方に触れるとともに、実験開始までに準備しておくべきこと（フローチャートの作成や問いの答えの記入など）、実験中の心がまえ、実験報告書の書き方を学ぶ。文献調査も必須である。</p> <p>成績評価方法（総合） 宿題/授業外レポート = 40~60% 授業態度や授業への参加度 = 20% 未満 受講者の発表（プレゼン）や授業内での製作作業（作品） = 20% 未満 出席 = 40~60%</p> <p>教科書・参考書 教科書：化学実験テキスト 2004 年度 販売店：共通教育講義棟売店 / 参考書：現代の生活と物質（4 刷）、西口毅著、化学同人、2000 年；ライフサイエンス基礎化学，“青島均、右田たい子著”，化学同人、2000 年；セミクロ無機定性分析，“林謙次郎、中間碩一郎、鈴木光泰 著”，東京教学社、1981 年；無機半微量分析（分析ライブラリー / 日本分析化学会編；1）第 2 版，“松浦二郎、西川勝、栗村芳実著”，東京化学同人、1978 年；現代の生活と物質、西口 毅、化学同人、1996 年 ライフサイエンス基礎化学、青島均・右田たい子、化学同人、2000 年 セミクロ無機化学定性分析、林・中間・鈴木、東京教学社、1981 年 無機半微量分析第 2 版、松浦・西川・栗村、東京化学同人、1978 年</p> <p>メッセージ 参考書の貸し出しを行っているので、活用して欲しい。毎回予習をして実験に臨み、期限までにレポートや課題を提出すること。提出しなければ欠席として処理する。理由のいかんを問わず、3 回以上欠席すると成績は不可とする。</p> <p>教官連絡先 理学部 4 3 7 号室 内 5 7 3 6 オフィスアワーは特別設けていません。随時質問に来てください。</p> <p>備考 理学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 自然科学

分野 自然科学実験

科目類型 総説

開設科目	化学実験B	区分	実験・実習	開設期	前期
対象学生	機械・応化・社建	単位	1 単位	曜時間	金曜日 5・6・7・8 時 限
担当教官	上村明男、江頭 港、星田尚志、藤井寛之、山崎鈴子、松崎浩司				
<p>授業概要 本実験では、有機化学実験、分析化学実験 I、II、物理化学実験および総合実験の 5 つの実験から指定された 2 つを行う。1 つの実験は各々 3 日間で行う。有機化学実験では化粧石けん、色素、ピニロン等の合成、分析化学実験ではセミクロ定性分析法による金属陽イオン分析を、物理化学実験ではコンピュータを用いた計算とグラフや分子構造の図形表示を行う。また、総合実験では身の回りにある物質の化学的性質や反応を調べる。</p> <p>授業一般目標 これらの実験を行う過程で、試薬や器具の扱い方を体験し、実験操作の意味や化学反応の背後にある化学の考え方に触れるとともに、実験開始前までに準備しておくべきこと（フローチャートの作成や予習問題の解答など）、実験中の心がまえ、実験報告書の書き方を学ぶ。文献調査も必須である。</p> <p>成績評価方法（総合） 予習（フローチャートの作成）、実験、レポートにより評価する。なお 2 回以上の欠席で不可とする。課題やレポートは次週火曜日の 13 時までに化学実験室入り口の提出ボックスに提出すること。</p> <p>教科書・参考書 教科書：化学実験テキスト（2005 年度版）を共通教育売店で販売します。なお毎年更新しますのでガイダンス時までに必ず購入して下さい。 / 参考書：セミクロ無機化学定性分析、林・中間・鈴木、東京教学社、1981 年；現代の生活と物質、西口毅、化学同人、1996 年；物理化学の基礎、柴田茂雄、共立出版、1999 年；ライフサイエンス基礎化学、青島均・右田たい子、化学同人、2000 年；毎回、予習問題や課題を課しますので、図書館で調べて解答してください。</p> <p>メッセージ 他人のレポートを写した場合は、両者とも不可にします。実験には多くの労力とお金をかけています。実験は社会で働くときと同じように、準備、作業、調査、報告を含んでいます。自分でやることにより、社会に出たときの力となります。毎回、何かひとつでも喜び（楽しみ）を見出しながら実験をしてください。</p> <p>教官連絡先 複数の教員で分担して実験を行いますので、実験に関する質問は担当となった教員に直接質問するか、事務室の実験担当の方を通して質問してください。レポートの提出などの事務的なことは、事務室の実験担当の方に聞いてください。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 自然科学

分野 自然科学実験

科目類型 総説

開設科目	生物学実験	区分	実験・実習	開設期	前期
対象学生	理(生物・化学、物理・情報)	単位	2 単位	曜時限	月曜日 7・8・9・10 時限
担当教官	渡辺雅夫、上野秀一、岩楯昭博、原田裕美子				
<p>授業概要 いろいろな方法で生命現象を科学的に研究していく態度や基礎的な知識の修得を目指し、解剖学、細胞組織学、生理学、生化学、生態学などの分野にわたる実験実習を行い、毎回レポート作成する。毎回の実験の目的、方法については、プリントを配布して説明を行うほか、視聴覚機器を通じて資料を提示して経験密度を高めてもらう予定である。</p> <p>授業一般目標 これらの実験を行うなかで機器や器具の基本的な扱い方、観察・研究の姿勢、実験結果のまとめ方、レポート作成の仕方を修得することを目的とする。</p> <p>成績評価方法(総合) 毎回のスケッチ、レポートの評価(宿題、学習課題を含む)および定期試験(理解度テスト)の成績を下記のような割合で合計し、総合評価とする。遅刻や欠席は減点対象とする。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 資料プリントを配付する予定。/ 参考書: 授業時間に紹介する</p> <p>教官連絡先 渡辺雅夫 E-mail: masao.w@yamaguchi-u.ac.jp, 内線 5767, オフィスアワー: 月曜 14:30~16:00</p>					

系列 自然科学

分野 自然科学実験

科目類型 総説

開設科目	生物学実験	区分	実験・実習	開設期	前期
対象学生	生資	単位	2 単位	曜時限	火曜日 7・8・9・10 時限
担当教官	竹松葉子				
<p>授業概要 生物に関わる学問分野では様々な生き物を教育研究に用い、それを通じて地球上の生命全体に関わる学問の進展に寄与しています。新入生諸君は今それらの入り口にいます。諸君がこれから教育を受けていく学問分野の多くは、実験を行い確かめ新たな問題を発見していく実証の科学です。ここで言う実験は、これから農業教育を受けていくに当たって、あらかじめ触れておくことと良いと思われることがあります。</p> <p>授業一般目標 本実験は、生物の形態、発育、体内成分、代謝生理および分子遺伝の教育を受けるのに必要な基本的実験手法を修得し、これらの実験を通じて生命現象の科学的アプローチの仕方を会得することを目的としています。実験は微生物、昆虫、植物について行います。</p> <p>成績評価方法(総合) 出席回数、レポート、実験中の態度などを総合して評価する。</p> <p>メッセージ 白衣着用のこと。携帯電話の電源を OFF にしておくこと。実験中は携帯電話を使用しないこと。最初に説明をするので遅刻しないこと。実験終了後は実験に使用した物や消しゴムのかすなどを残さないこと。丸イスを実験台にのせること。</p> <p>教官連絡先 竹松葉子 takematu@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	地球科学実験	区分	実験・実習	開設期	前期
対象学生	物情・獣医	単位	2 単位	曜時限	木曜日 5・6・7・8 時 限
担当教官	鎌田祥仁				
<p>授業概要 地球科学は、地球上で発生する現在および過去の自然現象を解明する分野であることから、地層・岩石、化石などを扱いながら、これらの観察の基礎実習を行う。本実験では室内作業だけでなく野外実習も行う。</p> <p>授業一般目標 地球科学に関する基礎的な実験・演習を通して、地球科学に対する理解を深めると共に、室内の実験方法および野外での観察方法を取得する。</p> <p>成績評価方法(総合) 毎回提出するレポートにより理解度、技能・表現などを、出席と授業中の参加態度から関心・意欲を評価する。なお、出席が所定の回数に満たないものには単位を与えない。</p> <p>教官連絡先 研究室：理学部 4 階 446 号室</p>					

前期 - 应用科学系列

系列 応用科学

分野 統計学

科目類型 総説

開設科目	社会科学のためのやさしい統計学	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教・平成 17 年度以前入学者の 経	単位	2 単位	曜時間	金曜日 5・6 時限
担当教官	橋本 寛				
<p>授業概要 統計学の初歩的事項について、社会科学分野で必要と思われるものを平易に紹介する。</p> <p>授業一般目標 統計学における基本的な概念や手法について学ぶ。</p> <p>成績評価方法 (総合) 期末試験による。</p> <p>教科書・参考書 教科書：使用しない。 / 参考書：適宜紹介する。</p> <p>教官連絡先 経済学部 A227、オフィスアワーを設定する予定。</p>					

系列 応用科学

分野 統計学

科目類型 総説

開設科目	理工学のための統計学	区分	講義	開設期	前期
対象学生	教・理・農	単位	2 単位	曜時間	水曜日 5・6 時限
担当教官	中村秀明				
<p>授業概要 自然科学、社会科学を問わず、世の中にはさまざまなデータが溢れている。統計学はこのようなデータの中から有用な情報を抽出する手法である。本講義では、初めて統計学の講義を聴く学生が、統計学の基礎を理解し、統計計算の方法が身につけられるように、実例を交えながらわかりやすく説明する。</p> <p>授業一般目標 本講義では、統計に対して正しい理解を得ることを最大の目的とし、統計学の基礎を理解し、統計計算の方法を身につけることを目標とする。</p> <p>成績評価方法 (総合) 定期試験 (中間試験と期末試験) = 75 % 授業内レポート = 20 % 授業外レポート = 15 % 出席 = 欠格条件</p> <p>教科書・参考書 教科書：教科書は、特に指定しない。毎回プリントを配布する。 / 参考書：図解雑学 統計, 今野紀雄, ナツメ社, 1999 年; 図解でわかる統計解析, 前野昌弘, 三國 章, 日本実業出版, 2000 年</p> <p>メッセージ 授業では、パソコンを用いた Excel での演習を行うことがあるので、ノートパソコンを持っていることが望ましい。必要に応じてプリントを配布します。授業に関する情報は、下記の水 - ムペ - ジに掲載します。 http://ds21.cc.yamaguchi-u.ac.jp/nakahide/moodle/</p> <p>教官連絡先 nakahide@yamaguchi-u.ac.jp 電話：0836-85-9531 研究室：常盤キャンパス 工学部総合研究棟 8 階 オフィスアワー：月曜日 13:00 ~ 17:00</p> <p>備考 理学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	理工学のための統計学	区分	講義	開設期	前期
対象学生	教・理・農	単位	2 単位	曜時限	木曜日 1・2 時限
担当教官	糸原義人				
<p>授業概要 自然科学ではただ単なるデータを如何に意味ある情報にするかが大切です。そしてそうした情報を作り、信頼性を与える一つの方法に統計学があります。本講では、統計学の意義と基本的考えを学ぶと共に、データの統計的処理や理論的検討を通じて、実際に利用できる統計学を目指します。そのために、演習・復習を課します。授業には、各自出題を解くことができるように、毎時間電卓、定規、レポート用紙の準備をお願いします。</p> <p>授業一般目標 授業は基本的に次の3つのテーマからなります。1. データ処理と情報作成、2. 確率と確率分布、3. 統計的推定と検定 授業内容を暗記するのではなく、要は統計処理が必要になったとき、どこに何が書いてあって、それをどのように利用すればよいかを学んで頂きたいと思ひます。そのためには、統計とは何か、統計処理は何故必要か、といったところをよく理解することが大切です。</p> <p>成績評価方法 (総合) 成績評価は基本的に毎週出す宿題(演習の続き)を中心とします。100点満点で、宿題のレポートを40%、定期試験を40%、授業内レポートを10%、出席を10%とします。</p> <p>教科書・参考書 教科書：基本統計学(第3版)、宮川公男著、有斐閣、1999年；宮川公男「基本統計学第3版」有斐閣 基本統計学と共に、毎週プリントを配布し、テキストとして利用します。/ 参考書：統計学のはなし(改訂新版)、蓑谷千凰彦著、東京図書、1997年；統計解析のはなし、石村貞夫著、東京図書、1989年；初等統計学(第4版)、P. G. ホーエル著；浅井晃、村上正康共訳、培風館、1981年；蓑谷千凰彦「統計学のはなし」東京図書 石村貞夫「統計解析のはなし」東京図書 P.G. ホーエル著、浅井晃他訳「初等統計学」培風館</p> <p>メッセージ 基本的に毎時間レポート提出を求めます。継続は力です。諦めることなく、最後まで頑張ってください。</p> <p>教官連絡先 gbb50@po.cc.yamaguchi-u.ac.jp 研究室：農学部2階 オフィスアワー：水曜日午後</p> <p>備考 理学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	情報処理概論	区分	講義	開設期	前期
対象学生	教・経・工	単位	2 単位	曜時限	月曜日 3・4 時限
担当教官	杉井 学				
<p>授業概要 コンピュータおよびネットワークの仕組みをはじめ、IT 社会で必要なセキュリティやモラル、マナーについても解説。また、地理情報システムや遺伝情報システム、コンテンツアーカイブシステムなどの研究用システムや e-Learning システムの事例を見ながら、Web システムの活用法や IT 技術をどう使っていくべきかを考える講義。</p> <p>授業一般目標 IT 技術を安全に使いこなす知識と技術を身につける。また、身近な課題の解決策を IT 技術の中から模索できる能力を習得し、専門教育での情報処理技術活用の基盤を作る。</p> <p>成績評価方法 (総合) 中間・期末試験の結果と授業で課す課題を総合的に評価する。期末試験には、身近な課題の設定、IT 技術を用いた課題解決方法、結果などをまとめたレポート提出を加える。</p> <p>教科書・参考書 教科書：ネットワークマナーブック、大学情報機構、大学情報機構、2007年；新入生オリエンテーションで配布される大学情報機構発行の「ネットワークマナーブック」/ 参考書：入門マルチメディア、財団法人画像情報教育振興協会 発行、2006年；プリント配布予定</p> <p>メッセージ 計算機、ネットワークなどの理論だけではなく、「どう使うべきか」「どう使えるのか」を考え、皆さんが提案しながら理解を深める講義にします。</p>					

系列 応用科学

分野 情報処理概論

科目類型 総説

開設科目	情報処理概論	区分	講義	開設期	前期
対象学生	教・経・工	単位	2 単位	曜時限	火曜日 3・4 時限
担当教官	久長穰				

系列 応用科学

分野 医療福祉

科目類型 総説

開設科目	社会福祉学	区分	講義	開設期	前期
対象学生	看護・検査 2 年	単位	2 単位	曜時限	金曜日 1・2 時限
担当教官	三輪直之				
<p>授業概要 社会においては、さまざまな人びとの生活実態やニーズがあり、その生活を支えるしくみや取り組みもまた多様である。この授業では社会福祉の総論について講義するが、社会福祉は世相との関連が強いことから、特に社会福祉の変遷については、当時の世相や時代背景も交えて講義していく。また、わが国においては少子高齢化の一層の進展と共に福祉・医療・保健分野においてもさまざまな改革が行われており、なかでもそれらの統合・連携が注目されているところである。医療職として他の職種とどのような連携をとるべきかについても講義する。</p> <p>授業一般目標 社会福祉の基礎理念・歴史・思想等について学ぶ。現代における社会福祉およびその関連分野の諸問題を自ら発掘し考察していく力を身につけ、それら諸問題を医療職という立場からどのような視点で解決にあたるかについて学ぶ。福祉・医療・保健といった分野からのそれぞれのアプローチとそれらが統合された形での連携のありようについて学ぶ。</p> <p>教科書・参考書 教科書：系統看護学講座 社会保障と生活者の健康 社会福祉, 医学書院, 2003 年</p>					

開設科目	科学史	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時限	月曜日 7・8 時限
担当教官	川崎勝				
<p>授業概要 本講義では、われわれが知る形での「科学技術」が形成されていった歴史を、時代的・国家的文脈を重視しながら概観します。主な舞台となるのは、18世紀末から現代にかけての西洋社会です。それ以前と比較したとき、この時代・地域の最大の特徴は、それまではごく一部の特権層でのみ享受されていた自然に関する知識が公共化かつ制度化し、技術と結びついたことです。これにより、科学は経済的にも軍事的にも現代社会において支配的な力を発揮するようになり、最終的に国家の支柱となっていきます。このプロセスに関して、国別の社会的文脈に留意しながら、なぜそのようなことが生じたのかに重点をおいて授業を進めていきます。</p> <p>授業一般目標 高度科学技術社会（ハイテク社会）で主体的な生活者として生きていくために、現代の科学技術が成立する経緯に関する必須の基本知識を習得し、主体的かつ客観的に考察する態度を涵養する。さらには、歴史に対して「なぜ」という疑問を甦らせることができる能力を養うこと、近未来の科学技術社会への洞察力を養うことが全体を通じての影の大きな目標である。</p> <p>成績評価方法（総合） 学期末に行う論述式の筆記試験がメインとなりますが、「質問・感想カード」の内容を元にして「参加点」を加味します。また、任意提出のレポート課題を出します。</p> <p>教科書・参考書 教科書：科学の社会史（増訂版）、古川安、南窓社、2000年 / 参考書：ハイテク社会を生きる、調麻佐志・川崎勝他、北樹出版、2003年</p> <p>メッセージ 歴史は決して「暗記物」ではありません。むしろ「想像力」の学問です。人工的な文理の壁を越え、歴史好きな方を歓迎します。なお、もし受講希望者が100名を超えた場合には、「受講動機」などの簡単なレポートに基づくセレクションを行いますので、受講希望者は必ず初回に参加してください。授業に関する情報を随時 Web 上の「kawasaki's room」(http://ds.cc.yamaguchi-u.ac.jp/kawasaki/index.html) に掲載します。参照してください。</p> <p>教官連絡先 mailto:kawasaki@yamaguchi-u.ac.jp（上記アドレスにメールを送る際には、できるだけケイタイからのメールは避けてください。また、適切な件名を付けるとともに、自分が誰であるのかを名乗ってください）研究室 医学部（小串キャンパス）時間帯は相談に乗りますので、上記アドレスにメールをお送り下さい。</p>					

開設科目	技術概論	区分	講義	開設期	前期
対象学生	工（昼・夜）4年	単位	2 単位	曜時限	月曜日 1・2 時限（夜間）
担当教官	古川浩平, 田村洋一, 濱田純夫				
<p>授業概要 本講義は、建設技術の基礎を英語で習得するためのものである。</p> <p>授業一般目標 この講義は土木工学の概観ばかりでなく、社会・環境との連繋の有り方を学ぶことを目標とする。</p> <p>(C) 実務への応用力と倫理観のある技術者を目指して以下の能力を身につける。・C-1 実務上の問題点や課題を理解し、適切に対応する能力・C-2 土木技術者の関与するプロジェクトが社会や自然環境に及ぼす影響を理解する能力（技術者倫理・環境倫理）(D) 豊かな教養と多面的な視点を持つ技術者を目指して以下の能力を身につける。・D-1 技術、人類、文明、地域、自然の相互の係わりを理解する能力・D-2 基礎的な国際コミュニケーション能力</p> <p>成績評価方法（総合） 全回出席を条件とする。ただし、やむを得ない事情があった場合には、次回の講義までに必ず担当教官に届け出る。毎回レポートを課すので、必ず全て提出すること。評価は、最終的に課したレポートの内容により判定する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：プリント配布 / 参考書：プリント配布</p> <p>メッセージ 18年度は濱田・関根が講義を行う。テキストはプリントとする。また、文章は英語で記述されている。</p> <p>教官連絡先 濱田純夫：E-mail shamada@yamaguchi-u.ac.jp, 電話 0836-85-9347, 研究室 施設材料工学</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 応用科学

分野 応用科学

科目類型 総説

開設科目	技術概論	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全(工・農除く)	単位	2単位	曜時限	水曜日3・4時限
担当教官	岡村吉永, 森岡弘, 古賀和利				
<p>授業概要 技術とは何だろうか。よく聞く言葉ではあるが、その意味や内容は多様である。本授業では、はじめに「技術」という言葉およびその用法について考察し、その後さまざまな分野における技術の変遷や実例について概説する。主な分野および内容は、身近にある技術、伝統的な技術としての手加工(木材を中心とした加工)と最近の木材利用技術、現代西洋技術の先端であるコンピュータ、メカトロに代表される機械の制御技術などである。</p> <p>授業一般目標 本授業は、人と技術、人間社会と技術、環境と技術など、総合的な関わりの中で技術をとらえる必要を知り、自分なりの技術をみる目すなわち技術論の形成ができるようになることを目的とする。</p> <p>成績評価方法(総合) 各テーマごとに、学習した内容に関するレポートの提出を求める。これと出席をあわせ、総合的に評価を行う。</p> <p>メッセージ 身近な技術に対する関心を高めてもらうため、受講者の興味・関心によって内容を変更する場合があります。前半で三角定規とコンパスを使用します。持参してください。</p> <p>教官連絡先 岡村吉永 (okasun@yamaguchi-u.ac.jp)・金 12:40~14:00 森岡弘 (morioka@yamaguchi-u.ac.jp) 古賀和利 (koga@inf.edu.yamaguchi-u.ac.jp)</p>					

系列 応用科学

分野 応用科学

科目類型 総説

開設科目	生命科学概論	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全(理・看護・検査除く)	単位	2単位	曜時限	木曜日3・4時限
担当教官	和田直己・山本芳実・森本将弘				
<p>授業概要 3人の教官が分担してそれぞれの専門分野から生命科学全般について講義を行う。</p> <p>授業一般目標 進化、DNA、Locomotion、脊椎動物、ウイルスの講義を通して生命とは何かと考える。</p> <p>成績評価方法(総合) 出席とレポートを評価する。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 応用科学

分野 応用科学

科目類型 総説

開設科目	生命科学概論	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全(理・看護・検査除く)	単位	2 単位	曜時限	金曜日 1・2 時限
担当教官	村上柳太郎, 井上慎一				
<p>授業概要 人間は生き物であり、全ての生物がそうであるように、種が有する固有の性質に従って生きている面が意外なほど多い。生物の性質は、設計図である遺伝子が決定しているのだが、そのような遺伝子がどのような経緯で生じたものか、また、人生のさまざまな局面において、生き物としての性質がどのような様相を示すのか、など、生き物としての人間について、現代生命科学の視点から洞察する。</p> <p>授業一般目標 人間の性質や行動、人類として抱えるさまざまな問題を“生物”という観点から理解する。</p> <p>成績評価方法(総合) 出席：2回(井上, 村上)のレポートの評価による。</p> <p>教科書・参考書 参考書：生命科学はこんなにも面白い。柳田充弘著。日本経済出版社(2000) 生命科学と人間、中村桂子著、NHK ブックス (1989) Science as a way of knowing, by John A. Moore, Harvard (1993)</p> <p>教官連絡先 村上柳太郎：ryu@yamaguchi-u.ac.jp 内線 5696 井上慎一：inouye@yamaguchi-u.ac.jp 内線 5711</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 応用科学

分野 応用科学

科目類型 総説

開設科目	生命科学概論	区分	講義	開設期	前期
対象学生	工(昼)2年	単位	2 単位	曜時限	木曜日 1・2 時限(夜間)
担当教官	石原得博 他				
<p>授業概要 クローン人間や遺伝子工学など生命科学の知識はよく耳にするようになりました。21世紀は生命科学の時代といわれ、社会生活を行う上で必須の常識となりつつあります。そこで、生命の誕生から病気や死に至るまでの種々の生命現象を取り上げ、様々な角度から科学的に検討し、学生諸君の新しい視点の構築の助けとなることを目指します。</p> <p>授業一般目標 複雑な生命現象や医学的問題のうちトピックスをとりあげ、科学的にどのようにして解析され、どこまで解明されているかについて理解する。</p> <p>成績評価方法(総合) 出席 40%、授業態度や授業への参加度 10~20%、小テスト 10~20%、課題レポート 20~40%程度で、総合評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：必要に応じて資料の配付を行う。/ 参考書：生きものからくり(改訂版)、中村和行 他、培風館、2006年</p> <p>メッセージ 授業中は携帯電話の電源を切る(又はマナーモード)。自分の頭で考えよう。関連ホームページ：http://web.cc.yamaguchi-u.ac.jp/legal/</p> <p>教官連絡先 大学院医学系研究科情報解析医学系学域、病理形態学分野 石原得博(e-mail:tishiha@yamaguchi-u.ac.jp)</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	環境学	区分	講義	開設期	前期
対象学生	工2年	単位	2単位	曜時間	月曜日1・2時限
担当教官	今井剛、中田幸男、高海克彦				
<p>授業概要 我々は食料、資源・エネルギー、水資源、廃棄物、環境ホルモンなど解決すべき難問を抱えたまま、21世紀を迎えた。人類の持続的生存のために、地球規模での資源・環境制約条件の下で、新しい生活のあり方、社会のあり方、科学技術のあり方が求められている。本講義では、環境問題、社会基盤整備、リサイクルに関わる内容の講義を通して、重要なキーワードを学び、理解する。地球環境を保全し、健全な生活環境を確保しつつ、人類が持続的発展をしていくためには人間として、技術者としてこれから何をすべきかについてともに考える。</p> <p>授業一般目標 1. 環境問題、社会基盤整備、リサイクルに関わる内容の講義を通して、重要なキーワードを学び、理解する。2. 地球環境を保全し、健全な生活環境を確保しつつ、人類が持続的発展をしていくためには人間として、技術者としてこれから何をすべきかについて考える力を養う。</p> <p>成績評価方法(総合) 小テスト・授業内レポート(0~30%)及び宿題・授業外レポート(70~100%)により評価します。</p> <p>教科書・参考書 教科書：基礎環境学, 田中修三 編著, 共立出版, 2003年 / 参考書：必要に応じてプリントを配布する。</p> <p>メッセージ 出席は欠格条件です。やむを得ず欠席する場合は必ず欠席届を提出し、指示(欠席分に相当する課題を課す)を受けること。なお、座席指定があります。</p> <p>教官連絡先 imait@yamaguchi-u.ac.jp 教官室：総合研究棟4F、413号室</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	人間環境論	区分	講義	開設期	前期
対象学生	工2年	単位	2単位	曜時間	月曜日1・2時限
担当教官	中尾勝實				
<p>授業概要 1972年の国連人間環境会議(ストックホルム会議)では、次のような人間環境宣言が採択されている。「環境衛生の考え方は、余りにも人間中心である。人間も地球上に生存する生物の一種であって、自然界は生物と無生物との複雑で、しかも精巧な調和によって成り立っている。人間もその調和の中においてのみ生存を続けることができる。したがって、人間が生存を続けてゆくためには、自然環境を保全してゆかなければならない。」身近な地域の大気汚染、水質汚濁、廃棄物処理から酸性雨、オゾン層破壊、地球温暖化などの地球環境問題に至るまで、様々な環境問題は、工業化、都市化及び人口増、換言すれば大量生産、大量消費、大量廃棄という現在の私達の生活のあり方に起因している。そのため、社会経済システムやライフスタイルのあり方を見直し、持続的発展が可能な環境への負荷の少ない循環型社会を築くことが、今日私達一人ひとりの責務となっている。本講義では、まず地域及び地球環境問題の概要について触れ、ついで持続可能な社会の発展を保障する一つの方策として、自然環境に調和した工業生産システム-すべての物質が大気圏、水圏及び地圏という環境中を、そこに存在するあらゆる生物に何ら影響を及ぼすことなく、太陽をエネルギー源として循環しているシステム-を構築していくことの必要性と可能性について述べる。</p> <p>授業一般目標 私達の日常生活及び産業活動の基盤である自然環境を健全で恵み豊かなものとして保全し、創造することが、持続可能な社会の構築にとって不可欠であることを理解する。そのために、あらゆる人間活動が自然環境(生態系)における生命現象と調和することが極めて重要であることを理解する。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験=70% 宿題/授業外レポート=30% 出席=欠格条件</p> <p>教科書・参考書 教科書：プリント配布 / 参考書：地球温暖化を考える, 宇沢弘文, 岩波新書403, 岩波書店, 1995年; 平成16年版環境白書, 環境省編, ぎょうせい, 2004年; エコトピア-環境調和型社会の提案, 内藤正明, 日刊工業新聞社, 1992年</p> <p>メッセージ 環境の保全と改善のために意識を高め自主的に実践できるようになってほしい。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	運動健康科学	区分	講義	開設期	前期
対象学生	工	単位	2 単位	曜時限	火曜日 3・4 時限
担当教官	曾根涼子				
<p>授業概要 現代社会では省力化、機械化や自動化によって、日常生活の中で十分なエネルギーの消費、体力を維持するだけの運動量を得ることが難しくなっています。日常的な運動不足がもたらす弊害には、体力の低下や肥満症、心筋梗塞、高血圧症、ノイローゼなどの運動不足病があげられます。これらを予防するためには、適度な運動を生活習慣の中にとり入れて定期的を実施することが必要ですが、このような運動の実施に当たっては、正しい理論に基づいた運動の実践が必要です。そこで、この授業では、健康に対する身体活動の意義、健康の維持増進のために運動を実践する際の基本的考え方とその具体的実践方法および実践能力を習得することを目的としています。また、実生活における運動と食事の調査を行い、それをもとに健康にとってより望ましいライフスタイルのあり方を考えるとともに、その確立を促します。</p> <p>授業一般目標 健康に対する身体活動の意義、健康の維持増進のために運動を実践する際の基本的考え方とその具体的実践方法および実践能力を習得する。また、実生活における運動と食事の調査の結果を踏まえて、健康にとってより望ましいライフスタイルの確立を目指す。</p> <p>教科書・参考書 教科書：プリントを配布する。</p> <p>メッセージ 授業開始後 20 分以上して入室した場合は、欠席扱いとします。授業時には、携帯電話の電源は切ってください。電卓を使用することがあります。 単位認定の最低必要条件：2/3 以上出席</p> <p>教官連絡先 連絡先：教育学部 101-1 あるいは 101-2 (083-933-5389) sone@yamaguchi-u.ac.jp オフィスアワー：水曜日 9 時～12 時</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	運動健康科学	区分	講義	開設期	前期
対象学生	工	単位	2 単位	曜時限	火曜日 3・4 時限
担当教官	河合洋祐				
<p>授業概要 機械化、動力化、情報化による急速な生活環境の変化は我々のライフスタイルを変え、日常の身体活動量を大きく減少させた。これは体力を低下させるとともに、食生活の変化と相俟って生活習慣病の危険因子をも招来しやすくしている。一方、適切な運動習慣は体力を向上させ、ある種の病気を予防したり、免疫力を高める可能性も明らかになってきた。今後到来すると予想される高度情報化社会において身体運動の重要性は一層高まるものと考えられる。本講義では運動が身体諸機能に及ぼす影響と健康づくりを可能にする身体運動の意義を概説する。</p> <p>授業一般目標 生活習慣と健康の関わりについて学ぶとともに、運動が身体諸機能に及ぼす影響と健康づくりを可能にする身体運動の意義を理解し、健康にとって望ましいライフスタイルの確立を促すことを目的とする。</p> <p>成績評価方法 (総合) 1. 期末試験を実施する。 2. 授業の進度に応じて小テストを実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。 期末試験の受験資格は欠席回数 4 回以内で小テストを終了した者とする。</p> <p>教科書・参考書 教科書：毎回配布するプリントを使用する。 / 参考書：講義の中で紹介する。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	運動健康科学	区分	講義	開設期	前期
対象学生	工	単位	2 単位	曜時限	水曜日 1・2 時限
担当教官	宮田浩文				
<p>授業概要 近代化に伴う生活様式の省力化・機械化は、運動不足状態を作りだし、その健康への影響が心配されるようになってきている。本講義では、運動生理学、バイオメカニクス等の研究成果を、なるべく学生諸君の健康の保持・増進のための実践的な知識となるよう解説する。</p> <p>授業一般目標 体の基本的構造機能を理解し、それぞれに対する運動や食事の影響を考える。また、どの程度の運動や食事が必要であるかについて、実生活に即して考えられるようにする。</p> <p>成績評価方法(総合) 学期末試験の結果と授業中の小レポートの内容を主な評価の対象とする。</p> <p>教科書・参考書 教科書：複数のテキストから抜粋した資料を毎時間配布する。</p> <p>メッセージ 遅刻、私語、飲食は厳禁。</p> <p>教官連絡先 月曜日午前中</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	スポーツ運動実習(硬式テニス)	区分	実験・実習	開設期	前期
対象学生	学教2年	単位	1 単位	曜時限	火曜日 1・2 時限
担当教官	丹信介				
<p>授業概要 テニスは、生涯を通して楽しめるスポーツの一つである。このようなテニスのゲームを楽しめるようになるためには、最低限の基礎技術の習得が必要となる。この授業では、初心者、初級者を対象の主体とし、テニスのゲームを楽しめるようになるための基礎技術の習得、特にグランドストロークでラリーが行えるようになることを授業の主な目標のひとつとして、授業を進める。授業の後半では、習得した基礎技術実践の場であるゲームを中心に授業を展開する。</p> <p>授業一般目標 テニスのゲームを楽しむために必要な基礎技術の習得、特にグランドストロークでラリーが行えるようになることを授業の主要な目標のひとつとする。また、ダブルス(シングルス)のゲームを楽しめるよう、ゲームの進め方、ルールを理解し、実際に行えることも目標のひとつとする。</p> <p>成績評価方法(総合) 小テスト/授業内レポート = 20~40% 授業態度や授業への参加度 = 60~80% 出席 = 欠格条件</p> <p>教科書・参考書 教科書：必要に応じて、授業時にプリントを配布する。</p> <p>メッセージ テニスシューズを必ず用意して下さい。ラケットは、授業時に貸し出しますが、各自用意したものを使ってもかまいません。</p> <p>教官連絡先 丹信介 Email: tan@po.cc.yamaguchi-u.ac.jp 電話: 933-5388 研究室: 教育学部 436-2 オフィスアワー: 月 12:50~14:20</p>					

系列 応用科学

分野 応用科学

科目類型 総説

開設科目	スポーツ運動実習 (バレーボール)	区分	実験・実習	開設期	前期
対象学生	学教2年	単位	1単位	曜時限	火曜日 1・2時限
担当教官	曾根涼子				
<p>授業概要 この授業では、バレーボールの理論(技術や戦略)について学び、実践する。その中で、体力の向上や仲間づくりも大切な目的としている。</p> <p>授業一般目標 ・バレーボールの理論について学び、実践する。 ・体力を向上させる。 ・仲間づくりを行う。</p> <p>成績評価方法(総合) 実技試験の成績、授業への取組等による総合評価で行う。出席は欠格条件である。</p> <p>教科書・参考書 教科書：授業時に資料を配布する。</p> <p>教官連絡先 メールアドレス：sone@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

系列 応用科学

分野 応用科学

科目類型 総説

開設科目	スポーツ運動実習 (エアロビクス)	区分	実験・実習	開設期	前期
対象学生	学教2年	単位	1単位	曜時限	火曜日 1・2時限
担当教官	矢野道代				
<p>授業概要 エアロビックダンスは、ジョギングや水泳、サイクリングの代わりにダンスの要素を取り入れたリズムカルな有酸素運動である。プログラムは、初級レベルでウォームアップ(準備運動)、ステップ・メインダンス(有酸素運動)、コンディショニング(筋力強化運動)、クーリング・ダウン(整理運動)を含む60分前後で構成される。終始音楽に合わせて展開され、全体学習、グループ学習を取り入れながら基礎的な身体づくりをしていく。</p> <p>授業一般目標 エアロビックダンスの特性を知ること。基本ステップの修得を通して、健康・体力づくりを目的に、全身持久力、筋肉の柔軟性、筋持久力、調整力を高め、リズムにあわせて動くことの楽しさ、喜びを追求する。</p> <p>成績評価方法(総合) 出席、グループ創作、意欲、参加度によって総合的に評価する。欠席4回は欠格とする。</p> <p>メッセージ 共に動くことの楽しさを発見して欲しい。心と身体を解放して、しなやかな表現のできる身体をつくりましょう。</p>					

系列 応用科学

分野 応用科学

科目類型 総説

開設科目	スポーツ運動実習 (バドミントン)	区分	実験・実習	開設期	前期
対象学生	学教	単位	1 単位	曜時限	火曜日 3・4 時限
担当教官	三好洋二				
<p>授業概要 バドミントンというスポーツの楽しさは、その発生から考えてラリーを続けることにある。この授業では、このラリーを続けるという楽しみを味わいながら、ゲームに必要な技術を習得し、バドミントンというスポーツの実践能力を養います。</p> <p>授業一般目標 本授業では、バドミントンの基本的な個人的技能(ストローク、サービス)、ゲームでのフォメーション、基本的ルールを学習・習得するとともに、生涯にわたってスポーツを実践する態度を養う。</p> <p>成績評価方法(総合) 授業態度や授業への出席状況から評価する。なお、欠席が4回以上の者には単位を与えない。</p> <p>メッセージ 授業の性格からして、きちんと出席し実践することが大切です。それによって初めてスポーツの楽しさ、おもしろさを感じ取ることができます。</p> <p>教官連絡先 ymiyoshi@yamaguchi-u.ac.jp 研究室:教育学部162番室 オフィシアワ - 金曜日 15:00~18:00</p>					

系列 応用科学

分野 応用科学

科目類型 総説

開設科目	スポーツ運動実習 (エアロビクス)	区分	実験・実習	開設期	前期
対象学生	学教	単位	1 単位	曜時限	火曜日 3・4 時限
担当教官	矢野道代				
<p>授業概要 エアロビクダンスは、ジョギングや水泳、サイクリングの代わりにダンスの要素を取り入れたリズムカルな有酸素運動である。プログラムは、初級レベルでウォームアップ(準備運動)、ステップ・メインダンス(有酸素運動)、コンディショニング(筋力強化運動)、クーリング・ダウン(整理運動)を含む60分前後で構成される。終始音楽に合わせて展開され、全体学習、グループ学習を取り入れながら基礎的な身体づくりをしていく。</p> <p>授業一般目標 エアロビクダンスの特性を知ること。基本ステップの修得を通して、健康・体力づくりを目的に、全身持久力、筋肉の柔軟性、筋持久力、調整力を高め、リズムにあわせて動くことの楽しさ、喜びを追求する。</p> <p>成績評価方法(総合) 出席、グループ創作、意欲、参加度によって総合的に評価する。欠席4回は欠格とする。</p> <p>メッセージ 共に動くことの楽しさを発見して欲しい。心と身体を解放して、しなやかな表現のできる身体をつくりましょう。</p>					

系列 応用科学

分野 応用科学

科目類型 総説

開設科目	スポーツ運動実習 (ターゲットバードゴルフ)	区分	実験・実習	開設期	前期
対象学生	学教	単位	1 単位	曜時限	火曜日 3・4 時限
担当教官	宮田浩文				
<p>授業概要 ターゲットバードゴルフは、羽根つきのボールを普通のゴルフクラブで打つ、ミニゴルフの一種である。羽根が付いているために、強打しても 20～30m しか飛ばず、狭いコースでもフルスイングができる。そのため、初心者にも、爽快感があり、適度な技術的難度性も有しているレクリエーションスポーツである。ターゲットバードゴルフは運動量があまり多くないので、各時間の最初 20 分ぐらいは、ウォーミングアップを兼ねてランニング、補強運動等を行う。</p> <p>授業一般目標 1) 基本的なルールの理解 2) 基本的なグリップ、スイングの習得 3) 簡易コースでのラウンドに必要な知識と技術の習得</p> <p>成績評価方法 (総合) 授業中の態度と出席状況の総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書: プリントを配布する。</p> <p>メッセージ 時間厳守</p> <p>教官連絡先 月曜日午前中</p>					

系列 応用科学

分野 応用科学

科目類型 総説

開設科目	スポーツ運動実習 (ハンドボール)	区分	実験・実習	開設期	前期
対象学生	全 (教除く)	単位	1 単位	曜時限	水曜日 1・2 時限
担当教官	森田俊介				
<p>授業概要 ヨロッパで盛んに行われているハンドボールは、走・投・跳の運動基本動作を利用して、ボールをパス・キャッチ・ドリブルしながら相手ゴールに投げ込むチームスポーツである。比較的小さなボールを手で扱うため、誰でもが参加して気楽に楽しむことができる反面、個々のメンバーにはコンビネーションプレーに必要なスピード、スタミナが要求される。この授業ではボールを使って体力づくりを行いながら、ハンドボールの基本的な技能を身につけ、それらをチーム戦術の中で生かすことができるようになることを目的とする。</p> <p>授業一般目標 この授業ではボールを使って体力づくりを行いながら、ハンドボールの基本的な技能を身につけ、それらをチーム戦術の中で生かすことができるようになることを目標とする。</p> <p>成績評価方法 (総合) 参加度 (60%)、習熟度 (20%)、意欲度 (20%) などから総合的に評価する。</p> <p>教科書・参考書 参考書: 必要に応じて授業中にプリントを配布する。</p> <p>メッセージ 各自はコンディショニングに最大の配慮をすること。</p> <p>教官連絡先 電話 933-5385 shunsuke@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	スポーツ運動実習 (バレーボール)	区分	実験・実習	開設期	前期
対象学生	全 (教除く)	単位	1 単位	曜時間	水曜日 1・2 時限
担当教官	牧野共明				
<p>授業概要 スポーツは現代に生きる人間にとって教養の一つである。それは、「体力や健康の維持・増進」という面のみでなく、スポーツを「人間として豊かに生きる」という観点から実践することを求めている。そして、そのためにはスポーツの価値をトータルにとらえることが必要となってくる。また、スポーツは授業で行ったり、大学のクラブで行ったりするだけではなく、大学を卒業してからも地域や企業内のクラブ等で続けることが求められる。しかし、現在そこには多くの問題が内包されている。そして、それらが解決できないために、スポーツ教室やクラブを続けられないという状況もたくさん生まれている。この授業では、そのようなことを踏まえ、生涯、スポーツと十分に関わるためにどのような知識や技能・技術が必要なのかということを考えながら、「バレーボールそのものの面白さ」も追求しつつバレーボールの実技を行う。</p> <p>授業一般目標 (1) スポーツをするための必要条件である、「人とかかわる能力」を一層身につけるため、グループ作りやある程度のルール作りを受講者が話し合いながら決めていく。(2) 実技においては、ゲーム中心に行い、バレーボールの戦術・戦略を経験を通して学ぶ。(3) スポーツをするために必要な場作りを実技を通して実際に学習する。</p> <p>成績評価方法 (総合) 出席及び実技試験の成績等による総合評価で行う。</p> <p>教科書・参考書 教科書：授業時に資料を配布する。/ 参考書：授業時に紹介する。</p> <p>メッセージ 授業では討議をする場が設定されている。みんなの前で自分の意見を積極的に言ってほしい。</p> <p>教官連絡先 メールアドレス：makino@yamaguchi-jc.ac.jp</p>					

開設科目	スポーツ運動実習 (エアロビクス)	区分	実験・実習	開設期	前期
対象学生	全 (教除く)	単位	1 単位	曜時間	水曜日 1・2 時限
担当教官	田中富美子				
<p>授業概要 「エアロビクス」は米国のケネス・H・クーバー博士により 1967 年初めて提唱された運動処方理論から発し、1970 年ジャッキー・ソーレンソンによるダンスの要素を加えた「エアロビクス・ダンス」が生まれ、現在では健康スポーツ・生きがいスポーツの性格を持つ生涯スポーツとして、幅広い年齢層に普及している。本授業では、エアロビクス理論の理解を深め、生涯スポーツへつなげる実践を行う。</p> <p>授業一般目標 音楽に合わせて、身体を動かすことによって、呼吸・循環系に適度な刺激を与え、また全身の柔軟性や筋力・筋持久力の向上を目的とする。個々の体力に合わせて、運動強度を自覚するとともに、人との係わりの中でコミュニケーションをとりながら表現する力を高め、創作活動を行う。</p> <p>成績評価方法 (総合) 4 回以上の欠席は、欠格とする。出席と実技への参加度・意欲度を総合的に評価する。</p> <p>メッセージ 仲間とのかかわりを持ちながら自分自身の心と身体をほぐし、動く楽しさを味わいましょう。</p>					

開設科目	スポーツ運動実習 (サッカー)	区分	実験・実習	開設期	前期
対象学生	全 (教除く)	単位	1 単位	曜時限	水曜日 1・2 時限
担当教官	海野勇三				
<p>授業概要 ここでは、サッカーを教材に、チームを編成して共同的な学習を展開していく。リーグ戦を中心として、チームごとに練習計画に沿った活動を進めていき、ゲームを分析しながら、戦術理解とチーム力を高めていきたい。また、スポーツとしてのサッカーの発生と発展の歴史についても学習する。</p> <p>授業一般目標 チームでの役割分担に基づいて、共同的な学習活動を展開することができる。また、練習とゲーム分析を通じて、攻撃と防御の技能を向上させ、戦術理解を深めることができる。</p> <p>成績評価方法 (総合) 出席状況、課題レポート、およびグループでの共同的な取り組みの状況等をもとに総合的に評価する。</p> <p>メッセージ グループで共同しながら、自主的な運営のもとに練習とゲームを進めていきます。スポーツのすばらしさを体感して欲しい。</p> <p>教官連絡先 メールアドレス : yunno@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	スポーツ運動実習 (ショートテニス)	区分	実験・実習	開設期	前期
対象学生	実践・情報・健康・総文2年	単位	1 単位	曜時限	水曜日 3・4 時限
担当教官	池田恵子				
<p>授業概要 本授業では、ニュースポーツのひとつであるショートテニスの実習を行う。ショートテニスとは、グリップの短い硬式用テニスラケット、室内テニス用スポンジボール、軽量かつ固定性に優れたネットポストを用いて行うものである。また本スポーツは、屋内コートで行うスポーツの安全性に留意して開発され、かつパドミントン・コートなどの既存の施設を利用して行うことを特徴としている。また手のひら感覚で打球・返球が容易に行えるので、テニスの初心者に適している。なお、ショートテニスと同様にパドミントン・コートを利用して行うニュースポーツにインディアカがあり、本授業では、受講人数が用具定員数を上回る場合、インディアカの併設コートを準備し、スポーツ運動実習として受講者全員に適度な運動量が保証され、効率的に授業に参加できるよう配慮する。</p> <p>授業一般目標 本授業では、軽スポーツの理念とニュースポーツについて、およびニュースポーツが生まれた歴史的背景を理解し、安全かつ創造的にスポーツに取り組む能力を修得する。同時に将来にわたって、スポーツを楽しむ、硬式テニスなどのより高度なスポーツ実践にも率先して取り組める基礎技術の修得に努める。具体的には、設備の準備・収納、ゲームの実践、審判、観客の役割を実習することにより、基礎技術・戦略の習熟に加え、本スポーツの文化規範を包括的に理解する。</p> <p>成績評価方法 (総合) (1) 毎時、実習記録表を提出。(2) 軽スポーツの理念に関するレポートの提出。(3) 本授業でとりあげたゲームのルールに関する小テストの実施。</p> <p>教科書・参考書 参考書：『やわらかいスポーツへの招待 - 軽スポーツを科学する - 』、奈良女子大学文学部スポーツ科学教室編、同和書院、1998年；ニュースポーツ事典、遊戯社</p> <p>メッセージ 硬式テニスを始めてみたいけれど、テニスに苦手意識のある人、室内テニスに挑戦したい人に最適の授業内容です。</p> <p>教官連絡先 池田恵子：E-mail kikeda@yamaguchi-u.ac.jp, 電話 5381, 研究室 176</p>					

開設科目	スポーツ運動実習 (バレーボール)	区分	実験・実習	開設期	前期
対象学生	実践・情報・健康・総文2年	単位	1 単位	曜時間	水曜日 3・4 時限
担当教官	牧野共明				
<p>授業概要 スポーツは現代に生きる人間にとって教養の一つである。それは、「体力や健康の維持・増進」という面のみでなく、スポーツを「人間として豊かに生きる」という観点から実践することを求めている。そして、そのためにはスポーツの価値をトータルにとらえることが必要となってくる。また、スポーツは授業で行ったり、大学のクラブで行ったりするだけではなく、大学を卒業してからも地域や企業内のクラブ等で続けることが求められる。しかし、現在そこには多くの問題が内包されている。そして、それらが解決できないために、スポーツ教室やクラブを続けられないという状況もたくさん生まれている。この授業では、そのようなことを踏まえ、生涯、スポーツと十分に関わるためにどのような知識や技能・技術が必要なのかということを考えながら、「バレーボールそのものの面白さ」も追求しつつバレーボールの実技を行う。</p> <p>授業一般目標 (1) スポーツをするための必要条件である、「人とかわる能力」を一層身につけるため、グループ作りやある程度のルール作りを受講者が話し合いながら決めていく。(2) 実技においては、ゲーム中心に行い、バレーボールの戦術・戦略を経験を通して学ぶ。(3) スポーツをするために必要な場作りを実技を通して実際的に学習する。</p> <p>成績評価方法 (総合) 出席及び実技試験の成績等による総合評価で行う。</p> <p>教科書・参考書 教科書：授業時に資料を配布する。/ 参考書：授業時に紹介する。</p> <p>メッセージ 授業では討議をする場が設定されている。みんなの前で自分の意見を積極的に言ってほしい。</p> <p>教官連絡先 メールアドレス：makino@yamaguchi-jc.ac.jp</p>					

開設科目	スポーツ運動実習 (エアロビクス)	区分	実験・実習	開設期	前期
対象学生	実践・情報・健康・総文2年	単位	1 単位	曜時間	水曜日 3・4 時限
担当教官	田中富美子				
<p>授業概要 「エアロビクス」は米国のケネス・H・クーバー博士により 1967 年初めて提唱された運動処方理論から発し、1970 年ジャッキー・ソーレンソンによるダンスの要素を加えた「エアロビクス・ダンス」が生まれ、現在では健康スポーツ・生きがいスポーツの性格を持つ生涯スポーツとして、幅広い年齢層に普及している。本授業では、エアロビクス理論の理解を深め、生涯スポーツへつながら実践を行う。</p> <p>授業一般目標 音楽に合わせて、身体を動かすことによって、呼吸・循環系に適度な刺激を与え、また全身の柔軟性や筋力・筋持久力の向上を目的とする。個々の体力に合わせて、運動強度を自覚するとともに、人との係わりの中でコミュニケーションをとりながら表現する力を高め、創作活動を行う。</p> <p>成績評価方法 (総合) 4 回以上の欠席は、欠格とする。出席と実技への参加度・意欲度を総合的に評価する。</p> <p>メッセージ 仲間とのかかわりと持ちながら自分自身の心と身体をほぐし、動く楽しさを味わいましょう。</p>					

系列 応用科学

分野 応用科学

科目類型 総説

開設科目	スポーツ運動実習 (バスケットボール)	区分	実験・実習	開設期	前期
対象学生	全 (教除く)	単位	1 単位	曜時限	木曜日 1・2 時限
担当教官	杉浦崇夫				
<p>授業概要 バスケットボールは、冬期の体育の時間に、室内で楽しく克つ活発に行えることを目的にアメリカの J. A. Naismith によって、1891 年に創案されたスポーツである。その特色は、集団対集団のスポーツであること、ボールを持って自由に動けない中でボールを投げたり捕ったりしなければならないこと、相手の身体には触れないこと、ゴールが小さく高い所にあることなどにより、危険が少なくスリルに富みそのルールの中でプレーヤーの自由で創造的活動の出来るゲームであることなどである。本授業では、ゲームを通してバスケットボールの基本的な個人的技能 (パス・キャッチ・ドリブル・シュートなど) と集団的技能 (ディフェンス・オフフェンスなど) を学習する。</p> <p>授業一般目標 本授業では、バスケットボールの基本的な個人的技能 (パス・キャッチ・ドリブル・シュートなど) 集団的技能 (ディフェンス・オフフェンスなど) 基本的ルールを学習・修得するとともに、バスケットボールに必要な体力要素を向上させることを通して、生涯スポーツにつながる実践を行う。</p> <p>成績評価方法 (総合) 授業態度や授業への出席状況から評価する。 なお、欠席が 4 回以上の者には単位を与えない。</p> <p>メッセージ 自分勝手な行動は、慎む。雨天時には、場所の関係から他の種目を実施することもある。実技のできる服装ならびに体育館履きを各自用意する。</p> <p>教官連絡先 E-mail takahito@yamaguchi-u.ac.jp, 電話 083-933-5387 研究室 教育学部 H484-1 オフィスアワー 在室時は、いつでも</p>					

系列 応用科学

分野 応用科学

科目類型 総説

開設科目	スポーツ運動実習 (エアロビクス)	区分	実験・実習	開設期	前期
対象学生	全 (教除く)	単位	1 単位	曜時限	木曜日 1・2 時限
担当教官	田中恵美子				
<p>授業概要 エアロビックダンスは、ジョギングや水泳、サイクリングのかわりにダンスの要素を取り入れたリズムカルな有酸素運動である。プログラムは、初級レベルでウォームアップ (準備運動) ステップ・メインダンス (有酸素運動) コンディショニング (筋力強化運動) クーリング・ダウン (整理運動) を含む 60 分前後で構成される。終始音楽に合わせて展開され、全体学習、グループ学習を取り入れながら基礎的な身体づくりをしていく。</p> <p>授業一般目標 エアロビックダンスの特性を知ること。基本ステップの修得を通して、健康・体力づくりを目的に、全身持久力、筋肉の柔軟性、筋持久力、調整力を高め、リズムに合わせて動くことの楽しさ、喜びを追求する。そして、体脂肪測定や運動強度心拍測定実験を通してエアロビックダンスの効果を考える。</p> <p>成績評価方法 (総合) 出席、グループ創作、意欲、参加度によって総合的に評価する。欠席 4 回は欠格とする。</p> <p>メッセージ 動くことの楽しさを実感し、心と身体を理解してのびのびとそしてしなやかに表現できる身体を作っていきましょう。</p>					

系列 応用科学

分野 応用科学

科目類型 総説

開設科目	スポーツ運動実習 (フライングディスク)	区分	実験・実習	開設期	前期
対象学生	全 (教除く)	単位	1 単位	曜時限	木曜日 1・2 時限
担当教官	松本耕二				
<p>授業概要 プラスチック製の円盤「フライングディスク (FD)」を使って行う世界公認 10 種目 (+ 日本公認 1 種目) の基本技術・ルールを紹介・学習します。本実習では、フライングディスクの基本技術の習得とルールの理解をとおして、一人でできる個人種目からチーム種目、また運動強度の軽い「ディスクゴルフ」からハードなチーム競技「アルティメット」までが楽しめる技術・能力を身につけ、スポーツライフを豊かにする資質を育てます。</p> <p>授業一般目標 フライングディスクの基本および応用技術の習得と、各競技ルールの理解を図り、プレーヤー個人が、各ライフステージや体力・技術に応じた運動・スポーツ活動実践 (生涯スポーツ) のための視点を養うことを目標とします。</p> <p>成績評価方法 (総合) 出席 (60%)、授業態度や授業への参加度 (20~40%)、レポート (20%未満) 等にて総合的に評価する。</p> <p>教科書・参考書 参考書: 日本フライングディスク協会, 日本フライングディスク協会, タッチダウン; フライングディスクのすすめ, 日本フライングディスク協会, ベースボールマガジン社; 適宜プリントを配布する。</p> <p>メッセージ 実施種目は、施設の状態、天候等により変更することがある。</p> <p>教官連絡先 Email: kmatsu@yamaguchi-pu.ac.jp 研究室: 山口県立大学 (本館 3 F)</p>					

系列 応用科学

分野 応用科学

科目類型 総説

開設科目	スポーツ運動実習 (バレーボール)	区分	実験・実習	開設期	前期
対象学生	全 (教除く)	単位	1 単位	曜時限	木曜日 1・2 時限
担当教官	渡壁 史子				
<p>授業概要 スポーツは文化の一つとして捉えることができるが、中でもバレーボールは近代に入って意図的に作られたスポーツ種目である。本授業では、バレーボールの楽しさを追求していくとともにバレーボールの運営、技術、戦略について理解していく。さらにバレーボールを含めたスポーツを「体力や健康の維持・増進」という面のみでなく、「人間として豊かに生きる」という観点から実践することを求めている。また、今日ではスポーツは授業で行ったり、大学のクラブで行ったりするだけではなく、大学を卒業してからも地域や企業内のクラブ等で続けることが求められる。しかし、現在そこには多くの問題が内包されている。そして、それらが解決できないために、スポーツ教室やクラブを続けられないという状況もたくさん生まれている。この授業では、そのようなことを踏まえ、生涯、スポーツと十分に関わるためにどのような知識や技能・技術が必要なのかということを考えながら実技を行う。</p> <p>授業一般目標 (1) スポーツをするための必要条件である、「人とかかわる能力」を一層身につけるため、運営に必要なグループ作りやある程度のルール作りを受講者が話し合いながら決めていく。(2) ゲームを軸に、バレーボールの戦術・戦略・審判法を経験を通して学ぶ。(3) バレーボールをするために必要な場作りを実技を通して学ぶ。</p> <p>成績評価方法 (総合) 出席及び実技試験の成績等による総合評価で行う。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 授業時に資料を配布する。/ 参考書: 授業時に紹介する。</p> <p>メッセージ 話し合いながら授業を進めていくので、自分の意見が言え、人の意見が聞ける能力を身につけて欲しい。</p> <p>教官連絡先 メールアドレス: watakabe@yamaguchi-jc.ac.jp</p>					

開設科目	スポーツ運動実習 (バドミントン)	区分	実験・実習	開設期	前期
対象学生	実践・情報・健康・総文	単位	1 単位	曜時限	木曜日 3・4 時限
担当教官	上田真寿美				
<p>授業概要 健康を保持・増進するには、継続的な運動の実施は必要不可欠である。本授業では、社会体育でも積極的に活動が行われているバドミントンを実習し、生涯にわたってスポーツを楽しむ方法を学習する。バドミントンのルールはもちろんのこと、バドミントンによって得られる運動生理・心理学的な効果についても学習する。</p> <p>授業一般目標 バドミントンの基礎的技術、具体的にはダブルスのゲームが可能な範囲までを習得する。そしてルールを学び、自主的にゲームの運営が実施できるようになることを目標とする。さらにバドミントンによって得られる運動生理・心理学的な効果についても確認しながら実施することを目標とする。</p> <p>成績評価方法 (総合) 授業態度や授業への出席状況から評価する。なお、出席が 4 回以上の者には単位を与えない。</p> <p>教科書・参考書 教科書：適宜、資料等を配布する。</p> <p>メッセージ 履修者が 50 名を越えた場合は抽選を行うことがあるので、初回は必ず出席のこと。運動のできる服装と上履きを準備すること。グループ学習形式を採っており、遅刻は他学生へも迷惑がかかるため厳禁とする。</p> <p>教官連絡先 メールアドレス：masumi-u@yamaguchi-u.ac.jp、通常は宇部キャンパス(医学部医学科医療環境学講座研究室)にいます。</p>					

開設科目	スポーツ運動実習 (エアロビクス)	区分	実験・実習	開設期	前期
対象学生	実践・情報・健康・総文	単位	1 単位	曜時限	木曜日 3・4 時限
担当教官	田中恵美子				
<p>授業概要 エアロビックダンスは、ジョギングや水泳、サイクリングのかわりにダンスの要素を取り入れたリズムカルな有酸素運動である。プログラムは、初級レベルでウォームアップ (準備運動)、ステップ・メインダンス (有酸素運動)、コンディショニング (筋力強化運動)、クーリング・ダウン (整理運動) を含む 60 分前後で構成される。終始音楽に合わせて展開され、全体学習、グループ学習を取り入れながら基礎的な身体づくりをしていく。</p> <p>授業一般目標 エアロビックダンスの特性を知ること。基本ステップの修得を通して、健康・体力づくりを目的に、全身持久力、筋肉の柔軟性、筋持久力、調整力を高め、リズムに合わせて動くことの楽しさ、喜びを追求する。そして、体脂肪測定や運動強度心拍測定実験を通してエアロビックダンスの効果を考える。</p> <p>成績評価方法 (総合) 出席、グループ創作、意欲、参加度によって総合的に評価する。欠席 4 回は欠格とする。</p> <p>メッセージ 動くことの楽しさを実感し、心と身体を理解してのびのびとそしてしなやかに表現できる身体を作っていきましょう。</p>					

開設科目	スポーツ運動実習 (フィットネストレーニング)	区分	実験・実習	開設期	前期
対象学生	実践・情報・健康・総文	単位	1 単位	曜時限	木曜日 3・4 時限
担当教官	河合洋祐				
<p>授業概要 フィットネスとは健康で活動的に行動できる能力を表す言葉である。適切な身体運動を継続していると運動に対して身体が適応し、フィットネスが向上する。フィットネスを高めるための適切な身体運動は個人の身体的条件によって異なる。本実習ではフィットネスを高め、ゆとりある日常生活を送るために必要なトレーニングの基本的考え方や個人の身体的条件に適した運動の実施方法を実技を通して習得する。また、トレーニング機器を安全かつ効果的に使用する方法を紹介する。</p> <p>授業一般目標 本実習ではフィットネスを高め、ゆとりある日常生活を送るために必要なトレーニングの基本的考え方を理解し、個人の身体的条件に適したトレーニングの実施方法を実技を通して習得するとともに、トレーニング機器の安全かつ効果的な使用方法を学ぶ。</p> <p>成績評価方法 (総合) 欠席3回以内で、トレーニングの記録とレポートを提出することが単位認定の条件である。</p> <p>教科書・参考書 教科書：適宜プリントを配布する。/ 参考書：授業の中で紹介する。</p>					

開設科目	スポーツ運動実習 (ニュースポーツ)	区分	実験・実習	開設期	前期
対象学生	実践・情報・健康・総文	単位	1 単位	曜時限	木曜日 3・4 時限
担当教官	松本耕二				
<p>授業概要 「いつでも・どこでも・だれに(と)でも」楽しめるニュースポーツを紹介する。ニュースポーツは、(1) 近年新しく開発された種目、(2) 既存種目のルール・用具を対象者に応じて改変した種目、(3) これまでわが国において紹介されることが少なかった外国の種目等を総称している。実習では、「ニュースポーツ」と呼ばれる数種目を実践・体験し、基礎技術の習得とルールの理解、そしてスポーツの持つ本来の楽しさを共有し、スポーツの多様性と本質的意味の理解、また各ライフステージに応じた運動・スポーツ活動実践のための視点を養うことを目的としている。</p> <p>授業一般目標 実習では、スポーツの持つ本来の楽しさを共有するために「ニュースポーツ」数種目を積極的に体験・実践する。その中で種目の基礎技術の習得と基本的ルールの把握、さらに種目特性を理解する。そしてスポーツの多様性と本質的意味、さらに各ライフステージに応じた運動・スポーツ活動実践のための視点を養うことを目標とする。</p> <p>成績評価方法 (総合) 出席 (60%)、授業態度や授業への参加度 (20~40%)、レポート (20%未満) 等にて総合的に評価する。</p> <p>教科書・参考書 参考書：ニュー・スポーツ百科, 水良隆 紺野晃, 大修館書店, 1997 生涯スポーツ実践生涯スポーツ論 - 生涯スポーツを学ぶ人たち - 改訂版 川西正志・野川春夫 編著, 市村出版, 2004</p> <p>メッセージ これまでに体験したことのないいろんなゲーム&スポーツを体験したい人、運動・スポーツがちょっと苦手な人、みんなと積極的に交流したい人にお勧め。実施種目は、施設の状況、天候等により変更することがある。</p> <p>教官連絡先 Email : kmatsu@yamaguchi-pu.ac.jp 研究室：山口県立大学 (本館 3 F)</p>					

系列 応用科学

分野 応用科学

科目類型 総説

開設科目	行動科学	区分	講義	開設期	前期
対象学生	医学	単位	2 単位	曜時限	木曜日 5・6 時限
担当教官	上田真寿美				
<p>授業概要 本授業では行動科学とはどのような学問かを概説する。そして医療、保健分野における行動科学について基本事項を説明し、本分野における行動科学の必要性と課題を考える。</p> <p>授業一般目標 1. 行動科学とはどのような学問かを理解する。2. 医療、保健分野における行動科学について理解し、本分野における行動科学の必要性と課題を説明できる。3. 健康、疾病をめぐる人間の行動の理解を深める。</p> <p>成績評価方法(総合) 1. 授業内レポートを数回行う。2. グループディスカッションのまとめのレポートを提出する。3. 関心のある医療問題や行動科学についてレポートを提出する。4. 最後に試験を実施する。以上を以下の観点、割合で評価する。出席が所定の回数に満たない者には単位を与えない。</p> <p>教科書・参考書 参考書：プリント資料を配布する</p> <p>メッセージ グループ学習形式を採っており、遅刻は他学生へも迷惑がかかるため厳禁とする。</p> <p>教官連絡先 メールアドレス：masumi-u@yamaguchi-u.ac.jp、通常は宇部キャンパス(医学部医学科医療環境学講座研究室)にいます。</p>					

系列 応用科学

分野 応用科学

科目類型 展開2

開設科目	生活科学	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全(数理・物情除く)	単位	2 単位	曜時限	月曜日 9・10 時限
担当教官	五島淑子、星野裕之、阿濱茂樹				
<p>授業概要 生活に関わる衣・食・技術・環境をテーマに、身近な生活にある諸問題を例にあげ、生活問題意識の向上と、生活様式の改善への働きかけをする。具体的には、「衣と生活」、「食と生活」、「情報技術の必要性」、「ものづくりの大切さ」について学習する。</p> <p>授業一般目標 身近な生活を科学の視点で捉えられるとともに、よりよい生活行動を考えられる態度を養う。</p> <p>成績評価方法(総合) 出席状況と3回のレポートで評価する。なお、3回のレポートが提出されなければ単位を与えない。</p> <p>教科書・参考書 教科書：適宜プリントを配布する。</p> <p>メッセージ 各週の講義の順番は変更されることがあります。教室の大きさに応じて受講制限をします。</p> <p>教官連絡先 五島研究室 教育学部C棟4階422号室 083 - 933-5410 goto@yamaguchi-u.ac.jp 金曜日 16:10~17:40</p>					

開設科目	生活科学	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全(数理・物情除く)	単位	2 単位	曜時限	水曜日 1・2 時限
担当教官	入江和夫、山本善積、山田次郎、澤本章				
<p>授業概要 この授業では、生活科学の因子の中から、日常生活に極めて関りの深いものとして、「食物」「水・空気」「住生活」を取り上げる。具体的には、「食品の安全性」、「水の汚染と室内空気汚染」、「住生活の環境問題」について学習する。</p> <p>授業一般目標 身近な生活科学を健康、環境、科学の視点から捉え、自分の生活様式の改善に向けた態度を養う。</p> <p>成績評価方法(総合) 授業は3人の教員が担当し、評価は小テスト+レポート提出、レポート提出のみの場合に分かれる。出席が70%未満の場合は単位を与えない。</p> <p>教科書・参考書 教科書：随時プリントを配布する。、 / 参考書：「水の環境戦略」、中西準子、(岩波新書); ・随時プリントを配布する。、</p> <p>メッセージ 授業に参加し、自らの意志で考え、自分の意見や考えを構築すること。</p> <p>教官連絡先 ・山本善積：E-mail: yoshizum@yamaguchi-u.ac.jp 電話 083-933-5411、研究室、教育学部、264号室、オフィスアワー 木曜日 10～12時 ・山田次郎：E-mail: jyamada@yamaguchi-u.ac.jp 電話 083-933-5407、研究室、教育学部、412号室 ・入江和夫：E-mail: kirie@edu.yamaguchi-u.ac.jp 電話 083-933-5412、研究室、教育学部、306号室、オフィスアワー 水曜日 10～12時</p>					

前期 - 初期教育系列

系列 初期教育

分野 初期教育

科目類型 総説

開設科目	基礎セミナー (人文)	区分	演習	開設期	前期
対象学生	人社 A	単位	2 単位	曜時限	金曜日 1・2 時限
担当教官	平野芳信				
<p>授業概要 本授業では、日本語による文章を書くために必要な基礎的な知識を習得することを目指す。日本語に対する感覚や意識を鋭くし、豊かにするために、各自が個性的な生きた表現文体を持つことが出来るようにする。そのための理論的考察と実習を、色々な角度から行う。</p> <p>授業一般目標 物事について根本的に考え、それを文章で表現する方法を習得する。</p> <p>成績評価方法 (総合) 授業内レポート = 100%</p> <p>教科書・参考書 教科書：追って指示する。、 / 参考書：追って指示する。、</p> <p>教官連絡先 研究室電話番号：933-5262 E-mail:y-hirano@yamaguchi-u.ac.jp オフィスアワー：木曜日午後</p>					

系列 初期教育

分野 初期教育

科目類型 総説

開設科目	基礎セミナー (人文)	区分	演習	開設期	前期
対象学生	人社 B	単位	2 単位	曜時限	金曜日 1・2 時限
担当教官	小谷典子				
<p>授業概要 山口大学人文学部の学生として、自分の置かれている社会的立場を認識しつつ、文章表現、意見発表の態度を身につける</p> <p>授業一般目標 社会的問題関心を持ちながら、山口大学で学んでいく意欲を高める。</p> <p>成績評価方法 (総合) 出席、小レポート、意見発表を総合的に判断する</p> <p>教科書・参考書 教科書：必要に応じてプリントを配布する。</p> <p>教官連絡先 otani@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

系列 初期教育

分野 初期教育

科目類型 総説

開設科目	基礎セミナー(人文)	区分	演習	開設期	前期
対象学生	人社C	単位	2単位	曜時限	金曜日 1・2時限
担当教官	纈纈厚				
<p>授業概要 美術史学を通して人文学を考える演習です。1.芸術とは何か 2.歴史とは何か 3.人文学とは何か 美術史的に代表的な作品を紹介します。1～3の問いに対して各自なりの答えを見つけてください。</p> <p>授業一般目標 1.美術史上の代表作に対する理解 2.美術史学の方法論に対する理解 3.芸術論を出発点とした人文学に対する理解</p> <p>成績評価方法(総合) 毎回講義の後半に意見・感想・質問等を記入したオピニオン・シートを提出してもらいます。シートの提出によって出席点、態度点等を積算し、期末試験の点数と合算したものを成績評価とします</p> <p>教科書・参考書 教科書：特にありません / 参考書：適宜、講義の中で紹介します</p> <p>メッセージ 人文学部へようこそ。これから4年間、少しでも多くの読書経験を積んで卒業して欲しいな、と思います。読書だけでなく、美術館へも関心を持って足を運んでもらえるようになると、なお幸いと考えるこの演習を開講します。</p> <p>教官連絡先 E-mail fujikawa@yamaguchi-u.ac.jp, オフィスアワー 人文学部の研究室 417 にて水曜日午後</p>					

系列 初期教育

分野 初期教育

科目類型 総説

開設科目	基礎セミナー(人文)	区分	演習	開設期	前期
対象学生	言語A	単位	2単位	曜時限	金曜日 1・2時限
担当教官	PHILLIPSJOHNDAVID				
<p>授業概要 未定</p> <p>授業一般目標 未定</p> <p>成績評価方法(総合) 未定</p> <p>教科書・参考書 教科書：未定 / 参考書：未定</p>					

系列 初期教育

分野 初期教育

科目類型 総説

開設科目	基礎セミナー (人文)	区分	演習	開設期	前期
対象学生	言語 B	単位	2 単位	曜時間	金曜日 1・2 時限
担当教官	Djumali Alam				
<p>授業概要 全体のテーマ:「表現」と「理解」 概要:人文学(社会科学を含む)は、ひとごとの学問ではありません。われわれ自身について学ぶ学問です。主観と主体性を抜きに、ひたすら客観性を貫いて学ぶ学問ではありません。「心」「個性」「感性」「経験」といった「自身の内面」が何よりのスタート地点であり、そこから展開されてゆく学問です。皆さん、入学したばかりの一年生は、たぶんこのようなスタンスで学問を学んだことは、あまりないと思います。そのために、この授業では、まず皆さんが「心を開く」ことを強く求めます。そしてさまざまな話題に対して、一定の感受性と共感性をもち、それを自由に表現し、また他人の表現を受け入れながら、新たな視点や枠組みを身につけ、ものごとを常に心と知識の両面から理解するという、人文学を学ぶ者にとっての基礎的な姿勢を皆で一緒に養ってゆきます。</p> <p>授業一般目標 「概要」にある通り。</p> <p>成績評価方法 (総合) プレゼンテーション(個人とグループ): 40%。 日ごろのディスカッションの参加と発言・表現: 30%。 最終レポート: 30%。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 使わない。 / 参考書: 必要時に授業中にコピーを配布する。</p> <p>メッセージ 心を開かず、人間関係を避けず、狭い心と知識に固執せず、失敗や恥を恐れず、毎日、大小の夢を抱きながら、楽しく清らかに前向きに、人生を旅してください。</p> <p>教官連絡先 連絡先: djumali@yamaguchi-u.ac.jp オフィスアワー: 人文 413 / 在室時</p>					

系列 初期教育

分野 初期教育

科目類型 総説

開設科目	基礎セミナー (人文)	区分	演習	開設期	前期
対象学生	言語 C	単位	2 単位	曜時間	金曜日 1・2 時限
担当教官	古荘真敬				
<p>授業概要 大学生としてレポートを書いたり、演習形式の授業のなかでプレゼンテーションを行ったりするうえでの必須の能力である「論理的な表現の能力」を培うことを目指す。</p> <p>授業一般目標 自分が調べて考えたことを論理的に表現する力、すなわち、自分の考えを(必ずしもそれを理解し受け入れてくれるとはかぎらない)他者との対話を意識しながら、筋道立てて発表する能力を養う。同時にまた、他者によって表現された思考の筋道を論理的に整理して、批判的に吟味し、議論を深めるための効果的な質問を提起する能力を培う。</p> <p>成績評価方法 (総合) 授業内レポートと期末レポート</p> <p>教科書・参考書 参考書: 論理トレーニング [新版], 野矢茂樹, 産業図書, 2006 年</p> <p>教官連絡先 furusho@yamaguchi-u.ac.jp 毎週水曜日 12:50 ~ 14:20</p>					

系列 初期教育

分野 初期教育

科目類型 総説

開設科目	フレッシュマンセミナー (新入生合宿)	区分	演習	開設期	通年 (前期, 後期)
対象学生	教	単位	0 単位	曜時限	
担当教官	学務厚生部、各教室教員				
<p>授業概要 山口大学教育学部で学生生活を始めるにあたっての心構え、知っておくべきこと、手続きや授業などについてのいろいろな情報の入手方法、各コースにおける授業履修の注意事項などを伝え、新入生がとまどうことなくスタートがきれるように支援する。また、個人情報保護やセクハラ等の問題についても説明する。学部全体に共通する点については学部担当者が、各選修・コースの詳細については各教室担当者が実施する。二日目には、メンタルヘルスや防犯意識のガイダンスをおこなう。</p> <p>授業一般目標 山口大学および山口大学教育学部の教育システムについて、基本的なことを理解する。大学生生活を始めるにあたって自分がなすべきことを理解する。教員や上級生、同級生など、大学生生活を送るための支援を得られる人間関係を築く。個人情報保護やセクハラ、メンタルヘルスの問題に対する認識を深める。防犯意識を向上する。</p> <p>成績評価方法 (総合) プログラムへの出席・参加状況によって可否を評価する。</p>					

系列 初期教育

分野 初期教育

科目類型 総説

開設科目	新入生セミナー	区分	演習	開設期	前期
対象学生	学教 (教科 (英))	単位	2 単位	曜時限	金曜日 1・2 時限
担当教官	高橋俊章他 4 名				
<p>授業概要 英語教育教育選修の学生として、これから専門教育を受ける上での基礎事項、心構え を、各分野の教官よりテーマごとに講義をする。</p> <p>授業一般目標 英語教育教育選修の学生として、これから専門教育を受ける上での基礎事項を確認し、心構えについてのオリエンテーションをおこなう。</p> <p>教官連絡先 bld10@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

系列 初期教育

分野 初期教育

科目類型 総説

開設科目	新入生セミナー	区分	演習	開設期	前期
対象学生	学教(教科(音))	単位	2 単位	曜時限	金曜日 1・2 時限
担当教官	成川ひとみ、西村順子、高橋雅子、林満理子、他				
<p>授業概要 大学生活を始めるにあたって、「履修の手引き」の読みとり方、履修登録のポイント、また、基本的な生活上の注意、専門教育の分野別概要等を解説する。</p> <p>授業一般目標 教員の話の意図を、十分に理解する。</p>					

系列 初期教育

分野 初期教育

科目類型 総説

開設科目	新入生セミナー	区分	演習	開設期	前期
対象学生	学教(教科(家))	単位	2 単位	曜時限	金曜日 1・2 時限
担当教官	友定啓子				
<p>授業概要 家政教育専修の履修内容与方法の理解 家政教育専修の各分野の入門</p> <p>授業一般目標 家政教育の各専門分野についての関心を持ち、学習意欲を高める。 家政教育の一員としてのアイデンティティを持つ。</p>					

系列 初期教育

分野 初期教育

科目類型 総説

開設科目	新入生セミナー	区分	演習	開設期	前期
対象学生	学教(教科(数))	単位	2 単位	曜時限	金曜日 1・2 時限
担当教官	関口靖広、佐藤好久、笠井伸一				
<p>授業概要 新入生のためのガイダンスを行う。</p> <p>授業一般目標 大学において数学等を学ぶためには どうしたらよいかについて学ぶ。</p> <p>成績評価方法(総合) 態度 出席状況</p>					

系列 初期教育

分野 初期教育

科目類型 総説

開設科目	新入生セミナー	区分	演習	開設期	前期
対象学生	学教(教科(美))	単位	2 単位	曜時限	金曜日 1・2 時限
担当教官	福田隆真、吉賀将夫、菊屋吉生、吉田貴富、河野令二、中野良寿				
<p>授業概要 授業の概要 大学教育及び美術教育についての導入に関する授業を行う。 授業の一般目 美術と美術教育に関して大学において学ぶべき内容を考える。</p>					

系列 初期教育

分野 初期教育

科目類型 総説

開設科目	新入生セミナー	区分	演習	開設期	前期
対象学生	学教(教科(保))	単位	2 単位	曜時限	金曜日 1・2 時限
担当教官	海野勇三、池田恵子、上地広昭、友定保博				
<p>授業概要 所属教室のカリキュラムをはじめとして、行事等の年間スケジュール・学生及び教員スタッフ等についての紹介と説明を行い、大学生としての学習と生活になれることをめざす。また、各種の行事を通じてメンバー相互の親睦を図り連帯感を育む。</p> <p>授業一般目標 所属教室のカリキュラム(専門性・系統性・体系性)とこれからの履修の方法について理解する。新入生相互、また在校生・教員との間の親睦を深め、教室メンバーとしての一体感を育む。</p> <p>成績評価方法(総合) セミナーへの参加度を考慮して判定する。</p> <p>メッセージ 大学の履修システムを十分に理解し、また所属教室のスタッフとの交流を深めてください。</p> <p>教官連絡先 メールアドレス: yunno@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

系列 初期教育

分野 初期教育

科目類型 総説

開設科目	新入生セミナー	区分	演習	開設期	前期
対象学生	学教(教科(理))	単位	2 単位	曜時限	金曜日 1・2 時限
担当教官	池田幸夫				

系列 初期教育

分野 初期教育

科目類型 総説

開設科目	新入生セミナー	区分	演習	開設期	前期
対象学生	学教(教科(国))	単位	2 単位	曜時限	金曜日 1・2 時限
担当教官	吉村誠、長崎伸仁、中野伸彦、藤原マリ子、南部英彦				
<p>授業概要 国語教育教室に所属することになった新入生諸君を対象として、大学における知とは何かを、大学生活を始めるに当たって伝達することを目的とする授業である。同時に、学生と教官との相互理解、交流をも目的とする。</p> <p>授業一般目標 それぞれの教官の専門分野における知の伝達を通して、国語教育教室において新入生諸君が自分に適応した知の世界を発見できれば幸いである。</p> <p>成績評価方法(総合) 基本的には、レポートによる評価を行うが、出席度や授業態度も参考にする。</p>					

系列 初期教育

分野 初期教育

科目類型 総説

開設科目	新入生セミナー	区分	演習	開設期	前期
対象学生	学教(教科(社))	単位	2 単位	曜時限	金曜日 1・2 時限
担当教官	貞方昇, 荒木一視, 岩崎好成, 岩本光悦, 外山英昭, 山本薫子, 森下徹, 吉川幸男, 松原幸恵				
<p>授業概要 社会科教育教室教員全員が年度始めに新入生の要望を取り入れながら半期のセミナープログラムを作成し、それに従って研修する。</p> <p>授業一般目標 社会科諸分野の初歩的な学習を学生の活動を取り入れながら実施する。</p> <p>成績評価方法(総合) 本授業の諸活動の全体を総合的に判断して評価する。</p> <p>教官連絡先 社会科教育教室主任: 岩崎好成 (iwasaki@yamaguchi-u.ac.jp) 他 8 名教員</p>					

系列 初期教育

分野 初期教育

科目類型 総説

開設科目	新入生セミナー	区分	演習	開設期	前期
対象学生	学教(教科(技))	単位	2 単位	曜時限	金曜日 1・2 時限
担当教官	澤本章、岡村 吉永、森岡 弘、阿濱 茂樹、古賀和利、糸長雅弘、野村厚志、北本卓也				
<p>授業概要 技術教室では、「技術科教育法」、「木材加工」、「金属加工」、「機械」、「電気」、「栽培」及び「情報とコンピュータ」などを学びます。これらの各分野の概略を説明します。また、ホームページ作成のための演習を行います。</p> <p>授業一般目標 自分の専門とする学問領域の概略を理解し、以後の就学や学生生活に必要な基本的事項を身に付けることを目標とする。また、ホームページを作成できる技術を習得する。</p> <p>成績評価方法(総合) 出席、授業中の態度、レポート、ホームページの作成状況をもとに総合評価します。レポートは必ず締め切り期日までに提出してください。また、作成したホームページも必ず締め切り期日までに提出し、担当教員の評価を受けてください。レポート及びホームページの提出が無い場合は、単位が与えられません。また、提出が遅れると減点されます。</p> <p>教科書・参考書 教科書：必要に応じてプリントを配布します。/ 参考書：なし、</p> <p>メッセージ ホームページ作成には、ノートパソコンが必要です。レポートは必ず締め切り期日までに提出してください。また、作成したホームページも必ず締め切り期日までに提出し、担当教員の評価を受けてください。レポート及びホームページの提出が無い場合は、単位が与えられません。また、提出が遅れると減点されます。</p> <p>教官連絡先 毎週木曜日 10:20～11:50、山口大学教育学部技術教育 澤本章、TEL/FAX 083-933-5395、E-mail sawamoto@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

系列 初期教育

分野 初期教育

科目類型 総説

開設科目	新入生セミナー	区分	演習	開設期	前期
対象学生	学教(国理)	単位	2 単位	曜時限	金曜日 1・2 時限
担当教官	石井由理、小粥良				
<p>授業概要 国際理解教育コースの新入生セミナーは、(1)学部・講座・コース案内、(2)専門研究入門セミナーを中心として、教室教員2名がそれぞれのテーマで分担して実施する。</p> <p>授業一般目標 1)国際理解教育コースの学生たちが、当コースの位置づけ、目標、学習内容・研究方法・将来展望の概略を明確に理解し、当コースの学生としてふさわしい学習態度を早急に身につけ、意欲的な学生生活を歩みだせるように指導し、激励すること。(2)専門的な研究への基礎的な訓練(研究所の読み方、情報の収集や整理法、発表・レポート・討議の仕方等)を実施して、将来の学習や研究の効果を上げること。(3)少人数教育による教師と学生の人間的な触れ合い。</p> <p>成績評価方法(総合) 2人の担当者が与える課題に対する評価と、授業内でのプレゼンテーションに対する評価を総合して出す。欠席は欠格条件としてのみ扱い、3分の2以上の出席がなければ成績評価を出さないものとする。</p> <p>教官連絡先 石井研究室、小粥研究室</p>					

系列 初期教育

分野 初期教育

科目類型 総説

開設科目	新入生セミナー	区分	演習	開設期	前期
対象学生	学教(障害)	単位	2 単位	曜時限	金曜日 1・2 時限
担当教官	吉田一成				
<p>授業概要 視覚障害や肢体不自由等いくつかの障害の「疑似体験」、施設見学等により、さまざまな障害について学習する。そのうえで、今後の課題を見つけ、課題解決のための具体的方法について触れる。</p> <p>授業一般目標 複数の障害について理解する。今後の課題や課題解決のための方法論について検討する。</p>					

系列 初期教育

分野 初期教育

科目類型 総説

開設科目	新入生セミナー	区分	演習	開設期	前期
対象学生	学教(幼児)	単位	2 単位	曜時限	金曜日 1・2 時限
担当教官	白石敏行・ 原昭徳				
<p>授業概要 幼児教育コースの概要を紹介し、履修指導を行う。</p> <p>授業一般目標 幼児教育コースのスタッフと新入生の親睦を図る。</p> <p>成績評価方法(総合) 出席、授業や合宿研修への参加、および授業内での保育参加レポートをもとに総合的に評価する。</p> <p>教科書・参考書 参考書：履修の手引き、シラバス</p> <p>メッセージ 学外研修ならびに保育参加は必ず参加すること。</p> <p>教官連絡先 白石敏行：t-shira@yamaguchi-u.ac.jp 電話 5330 研究室 404 OH 随時 原昭徳：kuwahara@yamaguchi-u.ac.jp 電話 5441 研究室 402 OH 金 11:50-12:40</p>					

系列 初期教育

分野 初期教育

科目類型 総説

開設科目	新入生セミナー	区分	演習	開設期	前期
対象学生	実践(心理)	単位	2 単位	曜時限	金曜日 1・2 時限
担当教官	熊谷信順				
<p>授業概要 このセミナーの目的は、教育心理学コースの学生が、広い視野から心理学を学ぶことによって、心理学に対する関心の幅を広げることにある。さらに、大学生活を送る上で必要なことについても学ぶことを目的としている。具体的には、(1)教育心理学コースのカリキュラムや4年間の学生生活を送るために必要な事柄について説明する。(2)将来、心理学に関連した職業につくことを希望する学生のために、認定心理士、学校心理士、臨床心理士などの資格取得および心理学が生かせる職場についても、その概要を説明する。(3)「心理学と自分」というタイトルのもとに、教育心理学教室の各教官の専門領域や研究内容について講義し、質疑を受ける。(4)夏季研修を実施する。</p> <p>授業一般目標 心理学についての理解の幅を広げ、大学生活において必要な事項について学ぶことが、本セミナーの主な目標である。また、各教官の講義および質疑をめぐるディスカッションを通して、学生のコミュニケーションの活性化を図ることも狙いとしている。</p> <p>成績評価方法(総合) 出席を重視する。講義のうち7回はレポートを翌週までに提出する。さらに、夏季研修への参加により評価する。出席し講義へも積極的に参加すること。この夏季研修への出席が単位取得には必要である。</p> <p>教科書・参考書 教科書：指定しない。必要に応じてプリントを配布する。/ 参考書：適宜紹介する。</p> <p>メッセージ 積極的な講義への参加を期待します。</p>					

系列 初期教育

分野 初期教育

科目類型 総説

開設科目	新入生セミナー	区分	演習	開設期	前期
対象学生	実践(人間)	単位	2 単位	曜時限	金曜日 1・2 時限
担当教官	杉山緑、佐々木司、福田修、西村正登、田中理絵				

系列 初期教育

分野 初期教育

科目類型 総説

開設科目	新入生セミナー	区分	演習	開設期	前期
対象学生	情報(表現)	単位	2 単位	曜時限	金曜日 1・2 時限
担当教官	古賀和利				
<p>授業概要 大学生としての生活態度や学習態度などについて基本的な指針を示すと共に当コースにおけるコンピュータ機器の基本操作について概説を行う</p> <p>授業一般目標 大学生としての責任と将来の目標についての内省機会を与える OS、ワード、エクセル、ペイント等の基本オペレーションを理解する</p> <p>成績評価方法(総合) 課題理解度および出席</p> <p>教官連絡先 kumagai@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

系列 初期教育

分野 初期教育

科目類型 総説

開設科目	新入生セミナー	区分	演習	開設期	前期
対象学生	情報(数情)	単位	2 単位	曜時限	金曜日 1・2 時限
担当教官	糸長雅弘, 渡邊正, 野村厚志, 飯寄信保, 北本卓也, 鷹岡亮				
<p>授業概要 高校生と異なり, 大学生は一人前の大人として扱われる。校則のような細かな制約がない代わりに, 自己責任が問われる。履修の仕方も, 本人に任される。単なる情報の受け手ではなく, 発信者となることが求められる。本授業は, このような違いを認識させ, 高校生から大学生への円滑な移行を手助ける。</p> <p>授業一般目標 大学生としての責任と, 自分が何を学び, 何を指すかを自覚し, 何をすることも必要な自己表現力を身に付ける。</p> <p>成績評価方法(総合) 出席率, 授業外レポート, 公開したホームページの内容を総合的に評価する。出席率 80%未満の場合は, 不合格になる。</p> <p>メッセージ 大学生活のルールを身に付けるということから, 正当な理由なしに欠席しないこと。後半のホームページ作成では, ノートパソコン必携。</p> <p>教官連絡先 E-mail: itonaga@yamaguchi-u.ac.jp, 電話: 083-933-5350, 研究室: 教育学部 224 号室, オフィスアワー: 水曜 10:20-11:50</p>					

系列 初期教育

分野 初期教育

科目類型 総説

開設科目	新入生セミナー	区分	演習	開設期	前期
対象学生	総文(文芸)	単位	2単位	曜時限	金曜日 1・2時限
担当教官	菊屋吉生、有元光彦、前田満、斉藤完、堀家敬嗣				
<p>授業概要 文芸・芸能教室新入生を対象に、当教室で学ぶそれぞれの学問領域についての概説的な講義を行います。</p> <p>授業一般目標 文芸・芸能教室に所属する教官が順番に講義を行います。詳細なスケジュールは開講時に配布します。</p> <p>成績評価方法(総合) 出席回数およびレポートなどで評価を行なう。</p> <p>教科書・参考書 教科書：教科書は使用しません。必要に応じてプリントを配布します。</p> <p>メッセージ 全回数出席を必須とします。成績評価は主に出席回数によって行ないます。出席不足により単位がとれなかった場合、次年度再び全授業に出席しなければなりません。</p> <p>教官連絡先 各教員がオリエンテーション時に伝達します。</p>					

系列 初期教育

分野 初期教育

科目類型 総説

開設科目	新入生セミナー	区分	演習	開設期	前期
対象学生	総文(国際)	単位	2単位	曜時限	金曜日 1・2時限
担当教官	来島浩、岡村康夫、MIKHOVADIMITRINAJORDANOVA、北西功一				
<p>授業概要 大学生として必要な能力に、レポート作成能力とプレゼンテーション能力がある。この授業ではこの二つの能力の基礎的な部分を身につける。</p> <p>授業一般目標 大学生として適切なレベルのレポートを書く能力を身につける。プレゼンテーションの初歩的な能力を身につける。</p> <p>成績評価方法(総合) 各自の作成したレポートと、プレゼンテーションによって評価する。特別な理由なく2回以上欠席したものは失格とする。</p> <p>教官連絡先 kitanisi@yamaguchi-u.ac.jp オフィスアワー 随時</p>					

開設科目	新入生セミナー	区分	演習	開設期	前期
対象学生	健康(生活)	単位	2単位	曜時限	金曜日 1・2時限
担当教官	山田次郎、山本善積、五島淑子、星野裕之				
<p>授業概要 生活健康科学コースの履修プログラムや学生生活の注意事項等を説明するとともに、履修する各分野の入門について述べる。次いで受講生によるグループ演習とその成果のプレゼンを行う。</p> <p>授業一般目標 本コースで履修する諸分野の入門講義のポイントを述べるができる。また、学習への関心を広げて、仲間と協力して調査を行い、結果をまとめることができる。</p> <p>成績評価方法(総合) 成績は、入門講義等に関するレポート、グループ学習の成果発表、出席状況を総合的にみて評価する。</p> <p>メッセージ この授業は、健康科学入門として、受講生の皆さんと教員とでつくる授業です。積極的に参加して、健康科学を学ぶ意義や楽しさをつかんで下さい。なお、授業計画の順番は変更になることがありますので、初回授業時に日程の詳細をお知らせします。</p> <p>教官連絡先 授業に関する問い合わせは星野まで(2007年度の担当) E-mail:hhoshino@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	新入生セミナー	区分	演習	開設期	前期
対象学生	健康(スポ健)	単位	2単位	曜時限	金曜日 1・2時限
担当教官	森田俊介、塩田正俊、杉浦崇夫、丹信介、曾根涼子				
<p>授業概要 この授業は以下の2部門から構成されている。第1部 今後の専門授業の学習効果を高めるために、(1)図書館の利用方法、文献検索の方法、(2)レポートの書き方、(3)コンピュータを用いた統計処理の方法、などを教授する。また(4)運動時の生体反応の実習を通して、実際にレポートの作成を行い、添削・指導を行う。第2部 健康づくりや生きがいづくりを実践している学外スポーツ・健康づくり施設を見学することで、身体運動が健康づくりに果たす役割、各施設における地域住民との関わり、などを解説する。</p> <p>授業一般目標 この授業は以下の2部門から構成されている。第1部 今後の専門授業の学習効果を高めるために、(1)図書館の利用方法、文献検索の方法、(2)レポートの書き方、(3)コンピュータを用いた統計処理の方法、などを学習する。また(4)運動時の生体反応の実習を通して、実際にレポートの作成を行う。第2部 健康づくりや生きがいづくりを実践している学外スポーツ・健康づくり施設を見学することで、身体運動が健康づくりに果たす役割、各施設における地域住民との関わり、などを体験・学習する。</p> <p>成績評価方法(総合) 原則として全出席であること。レポート(70%)と学習意欲(30%)より総合的に判断する。</p> <p>教科書・参考書 参考書：必要に応じて紹介する。</p> <p>教官連絡先 オフィスアワーは教官によって異なるので各教官に問い合わせること。</p>					

開設科目	基礎セミナー(経済)	区分	演習	開設期	前期
対象学生	経	単位	2 単位	曜時限	月曜日 3・4 時限
担当教官	米谷健司				
<p>授業概要 多くの人にとって大学生生活は楽しいものです。しかし大学で学ぶことを楽しいと感じる人は少ないようです。また楽しいと感じる人もそれに気がつくまでかなりの時間がかかります。「私は勉強するために大学に入ったんだ!」と意気込む経済学部の新入生も、1ヵ月経てば「ミクロ経済やらマクロ経済やらを学んでなんか役にたつの?」「簿記を知らなくて、別にいいじゃん!」と言い切ってしまう。こうした新入生のいわゆる 5 月病は、ある理論に従って唯一の解答を導くという高校までの思考パターンから脱却できていないために起こります。5 月病にかかることなく大学で楽しく学ぶためには、高校までの思考パターンとは逆の思考パターン、つまり自分で理論を作り出すという思考パターンを訓練する必要があると私は思っています。この授業では、企業経営(ビジネス)の現場を素朴な目線で観察することによって、そこから浮かび上がる問題を発見し、それを理論化するという思考パターンを練習します。大学で楽しく学ぶためのきっかけを提供できればと思っています。</p> <p>授業一般目標 高校までの思考パターンから、大学で楽しく学ぶための思考パターンに転換することを目標にします。実際の企業活動を分析対象とすることから、アニュアルレポートの内容や日本経済新聞(あるいは日経ビジネスなど)に掲載されている記事の内容をある程度理解できるようにします。また、グループ単位での作業、講義中のディスカッション、パソコン(ワード、エクセル、パワーポイント)の利用など、2 年次から始まるゼミ活動の基礎的能力の習得も目指します。</p> <p>成績評価方法(総合) 報告内容、授業中のディスカッションの貢献度で評価します(出席することが前提です)。試験は実施しません。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 教科書はとくに指定しません。/ 参考書: 講義中に適宜、紹介します。</p>					

開設科目	基礎セミナー(経済)	区分	演習	開設期	前期
対象学生	経	単位	2 単位	曜時限	月曜日 3・4 時限
担当教官	山田正雄				
<p>授業概要 大学に入ってから、自分の考えを発表し、相手に伝えるということが、とても大切になってきます。この授業では、発表をする際の道具である PowerPoint の使い方をマスターし、それを使って発表の練習をしていきます。</p> <p>授業一般目標 PowerPoint をマスターし、プレゼンテーションの技術を身につける。</p> <p>成績評価方法(総合) 発表、参加姿勢、出席により評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: できる PowerPoint 2003, プロジェクト A & できるシリーズ編集部, インプレス, 2004 年 メッセージ PowerPoint がインストールされたノートパソコンを用意してください。</p>					

開設科目	基礎セミナー(経済)	区分	演習	開設期	前期
対象学生	経	単位	2 単位	曜時限	月曜日 3・4 時限
担当教官	古川澄明				
<p>授業概要 授業の概要： 経営とは、何か、経営学とは、何であろうか。この授業では、企業の経営に関わる種々の問題を取り上げます。企業には、多くの人々が組織を形成してその構成員として働き、給与を得ています。その企業は、家族的な小さな企業から、世界各国において事業活動を展開する大企業まであります。事業分野も、金融業から、家電、PC、食品、水産、鉄鋼、商業など、多岐にわたります。国の経済・産業を支えるとともに、自らの存続のために、国内はもとより、国際市場で、日夜、存亡をかけた競争をしています。皆さんは、最近、ニュースで「ライブドア」や、その他の企業問題を知っていると思います。そこには、どのような経営問題があるのでしょうか。授業では、そうした企業の経営に関する基礎知識を学ぶために、「経営理論」、「経営戦略」、「組織」、「イノベーション」、「日本の経営」、「年功システム」、「女性の勤労問題」など、多様な問題を取り上げます。</p> <p>授業一般目標 授業の目標 経営学の基礎知識を学びます。グループ・ディスカッション方式で、賑やかに、楽しく学ぶ方式を採用します。将来、ビジネス社会、あるいは公務員として、活躍するための基礎的な経営学知識を習得できるでしょう。とくに「公認会計士」、「税理士」、「中小企業診断士」など、ビジネスに関わる国家資格を取得したい方に役立つでしょう。そうした資格取得者は、社会的にも、企業に入っても、高い評価を得ています。本授業では、「中小企業診断士」受験者向けのテキストを利用します。そうした資格を取得したいと希望する学生に役立つでしょう。多くの資格取得者が学生時代に資格を得ています。もっとも多くの取得者はビジネスマンです。この資格は、会社で高い評価が得られるからでしょう。成果は自分の努力量に応じて得られません。単なる関心で受講を希望する方は遠慮して頂きたい。真剣に資格でも取ってやろうと意欲と実行力をもつ学生に受講して頂きたい。単なる腰掛的受講者、席を暖めるだけの受講者には、厳しい試練となるでしょう。逆に、勉学に燃える受講者には、その燃え上がる意欲に油を注がれるものとなるでしょう。自分の将来を自覚し、大学卒業後に有力企業に入って活躍したいという夢をもって、大学時代にそのための「自分への投資」をしたいと考える方、ご参加ください。</p> <p>成績評価方法(総合) 3人チームを作り、毎回、1チームがテキストをまとめて報告し、討論をする。報告、討論参加回数、出欠がすべて点数で、毎回、評価され、当該授業日の評価点となる。成績は、毎回の評価点の平均点。試験は、実施しない。</p> <p>教科書・参考書 教科書：『2006年度版 中小企業診断士 スピードテキスト 1 企業経営理論』コード番号：1658、定価 2,310 円(本体価格+税)最初の授業で指示、事前に購入しないこと。/ 参考書：授業開始後に指示します。</p> <p>メッセージ 楽しく、自分を育てる意識で学ぼう。</p> <p>教官連絡先 事前アポで、常に、面談可能。</p>					

開設科目	基礎セミナー(経済)	区分	演習	開設期	前期
対象学生	経	単位	2 単位	曜時限	月曜日 3・4 時限
担当教官	李 海峰				
<p>授業概要 国際経済についての基礎を学習する。いまの世界経済システムや経済状況がどのようなになっているのか、グローバル経済、情報とテクノロジー、戦争と民族、環境破壊と再生、開発と人間などのテーマについて、「世界地図」で全体的に、体系的に勉強する。</p> <p>授業一般目標 世界経済システムや経済状況の変化についての分析、演習を通して、4年間の大学での勉強方法などについて習得させる。</p> <p>成績評価方法(総合) 出席が 50%，授業中の発表が 50%。</p> <p>教科書・参考書 参考書：第一回目の講義の際に指示する</p> <p>メッセージ 「千里の道は一歩から」「大志を抱きましょう」</p> <p>教官連絡先 研究室</p>					

開設科目	基礎セミナー(経済)	区分	演習	開設期	前期
対象学生	経	単位	2 単位	曜時間	月曜日 3・4 時限
担当教官	齊藤匡史				
<p>授業概要 発展目覚しい中国経済、文化・社会の急激な変化、中国の人々の生活や意識について知ることを通じて、中国、日本、世界の関係(時事問題)について認識を深める。テキストの輪読、内容の要約とその発表、質問・討論を中心に授業を進めるが、視聴覚教材などによって一層の問題理解を進める。</p> <p>授業一般目標 ・論述の内容を的確に理解し、その概略を表現・伝達する力を養うことを目標とする。 ・日常的な時事問題、特に中国、中国と世界、日中関係に関心を持つ。</p> <p>成績評価方法(総合) 出席を含む授業への貢献度により、総合的に評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：膨張中国、読売新聞中国取材団著、中公新書、2006年；新聞記事の切り抜き等も使用する。</p>					

開設科目	基礎セミナー(経済)	区分	演習	開設期	前期
対象学生	経	単位	2 単位	曜時間	水曜日 1・2 時限
担当教官	長谷川光圀				
<p>授業概要 本セミナーでは、「経営学をやさしく学ぶ」をテキストに輪読しながら、身近な題材を用いて経営的な問題を取上げます。</p> <p>授業一般目標 本セミナーを経営学入門のまたその入門と位置づけます。体系的・抽象的な学習ではなく、個別事例から学ぶことを目指します。</p> <p>成績評価方法(総合) セミナーの出席度を重視します。また発言・質問を評価します。</p> <p>教科書・参考書 教科書：経営学をやさしく学ぶ、山大経済学部経営学科編、中央経済社、2005年；教材等はその都度配布します。 / 参考書：参考資料等はその都度配布します。</p> <p>メッセージ 1. 大学生生活は最初が肝心。本セミナー半期分を残りの3年半にめいっばい役立ててやる！という積極性を忘れずに。2. 欠席が避けられないときは事前に直接連絡することをルールとします。</p> <p>教官連絡先 研究室:経済学部A棟5542、オフィスアワー水曜日 10:20 11:50。</p>					

系列 初期教育

分野 初期教育

科目類型 総説

開設科目	基礎セミナー(経済)	区分	演習	開設期	前期
対象学生	経	単位	2 単位	曜時限	水曜日 1・2 時限
担当教官	中田範夫				
<p>授業概要 企業会計全般について勉強することを目標とする。会計には家庭で使用されている家計簿のようなものもあれば営利企業で利用されている会計もあれば、また税務申告用の会計もあります。このようにすべての組織では会計が利用されています。具体的には、簿記、財務会計、管理会計、原価計算、税務会計、監査などの基礎を勉強します。</p> <p>授業一般目標 会計が社会の中でどのような役割を果たしているかを理解することが目標です。</p> <p>成績評価方法(総合) 出席・報告および授業への積極的参加度。</p> <p>教科書・参考書 教科書：まなびの入門会計学, 中田信正、徐龍達、小林哲夫, 中央経済社, 2002 年；まなびの入門会計学, 中田信正、徐龍達、小林哲夫, 中央経済社, 2002 年</p> <p>教官連絡先 後に指示する。</p>					

系列 初期教育

分野 初期教育

科目類型 総説

開設科目	基礎セミナー(経済)	区分	演習	開設期	前期
対象学生	経	単位	2 単位	曜時限	水曜日 1・2 時限
担当教官	正宗 聡				
<p>授業概要 「映像」(写真、映画等)の諸問題のあるテキストを材料にして、そこに書かれた事柄を読み、まとめるながら、書かれた内容について著者に投げかけられるような?マーク(=疑問点)を自分で生み出していく作業の時間である。経済学には直接関係はしないものの、「映像」が現代社会に占める大きさを考えると、有意義ではないでしょうか。</p> <p>授業一般目標 「映像」についての基本問題を知ると同時に、新たな問題を身近なところから自分で見つけていく経験をもつこと。</p> <p>成績評価方法(総合) 授業への参加、報告、質疑応答及びレポートによる。</p> <p>教科書・参考書 教科書：講義の中で適宜紹介する。</p> <p>メッセージ 映画あるいは写真に関心があり、積極的に参加できる者を対象とする。</p>					

開設科目	基礎セミナー(経済)	区分	演習	開設期	前期
対象学生	経	単位	2 単位	曜時限	水曜日 1・2 時限
担当教官	澤田正				
<p>授業概要 日常生活におけるさまざまな法の役割について、具体例(談合問題を予定)を素材にして学習する。ゼミ学習を通じて、コミュニケーションの方法と考え方を学び、実践する。</p> <p>授業一般目標 具体例を通じて、社会、経済や日常生活における法の役割、意義、機能などを学ぶ。大学生活を通じて役に立つコミュニケーションの考え方と方法を学ぶ。</p> <p>成績評価方法(総合) 出席、クラスへの参加度、リーダーシップ、研究発表の内容、期末レポート、などを総合的に評価する。</p> <p>メッセージ 「聞くは一時の恥、聞かぬは一生の損」をモットーに積極的な参加を期待します。</p> <p>教官連絡先 電話：083-933-5580 E-mail:sawadat@yamaguchi-u.ac.jp (オフィスアワー)月曜日 10 時 30 分～12 時、水曜日 10 時 30 分～12 時、</p>					

開設科目	基礎セミナー(経済)	区分	演習	開設期	前期
対象学生	経	単位	2 単位	曜時限	水曜日 1・2 時限
担当教官	陳禮俊				
<p>授業概要 今日では、人間の生産力(対自然支配力)はかつてなく巨大な水準に到達している。そのため、自然環境の状態は、自然生態系によって決まるといよりは、人間活動のあり方如何によって大きく規定されるという歴史的段階に突入している。それゆえ、人間活動の設計を一步誤るならば、人間活動の基盤そのものを崩壊させてしまうような環境破壊を招く危険性もかつてなく飛躍的に高まっているといわなければならない。こうした現代の環境破壊をめぐる現実とその危険性の一層の高まりは、実は現代の経済学に対する大きな挑戦でもある。ここに新しい学問としての「環境経済学」が誕生せざるを得ない強い現実的要請がある。</p> <p>授業一般目標 本演習は、環境経済学の分野において、それに関わる文献を輪読し、ゼミ参加者における理解、分析能力を高め、行うべき政策に関して自ら評価できるような水準まで、必要な知識を身に付けることを目標にしている。</p> <p>成績評価方法(総合) 成績評価は基本的に、出席(40%)、課題レポート(30%)と報告(30%)で行う。</p> <p>教科書・参考書 教科書：『環境経済学』、植田和弘、岩波書店、1996年；『アジア環境白書 1997-1998』、日本環境会議「アジア環境白書編集委員会」、東洋経済新報社、2000年</p>					

系列 初期教育

分野 初期教育

科目類型 総説

開設科目	基礎セミナー(経済)	区分	演習	開設期	前期
対象学生	経	単位	2 単位	曜時限	水曜日 3・4 時限
担当教官	寺地伸二				
<p>授業概要 下記の新書版の本を読んで、経済学の考え方を身につけてもらいたいと思います。『経済学的思考のセンス』大竹文雄、中公新書、2005年 いくつかの班に分かれて、割り当てられたところを班で読み、発表内容をまとめてきます。他の班から感想などを出し合ってもらいます。このセミナーを通じて、毎日の新聞やテレビのニュースでとりあつかわれる時事問題に興味をもってもらいたいと思っています。</p> <p>授業一般目標 経済学には独特の考え方があります。経済学的思考のセンスを身につけることで、今私たちの周りにある問題を自分なりに考えられるようになります。たとえば、お金がない人を助けるには、どうやって助ければいいでしょうか?いろいろな方法があると思いますが、経済学を勉強すれば、いままでと違った方法を思いつくかもしれませんよ。</p> <p>成績評価方法(総合) 出席、報告、議論参加を総合します。</p> <p>教科書・参考書 教科書：経済学的思考のセンス、大竹文雄、中公新書、2005年</p> <p>メッセージ 入学おめでとう。これからの大学生活の4年間を大切に過ごしてください。</p>					

系列 初期教育

分野 初期教育

科目類型 総説

開設科目	基礎セミナー(経済)	区分	演習	開設期	前期
対象学生	経	単位	2 単位	曜時限	水曜日 3・4 時限
担当教官	濱島清史				
<p>授業概要 労働経済論、社会政策論の内容を行なう。具体的には、格差問題、若年労働(フリーター、ニート)、女性労働(男女の仕事と家庭の両立、パート労働等)、少子高齢化、年金・介護などのテーマから、グループを作ってもらって、レポート作成、プレゼンテーション(パワーポイントでの発表)、ディスカッション(円陣を組んで議論)、ディベート(賛成反対に分かれて討論)などをやっていきたい。</p> <p>授業一般目標 将来、社会に出てから有益な知識を得て、コミュニケーション能力を向上させること。将来のキャリアビジョンを描けるように、その前に充実した大学生活を送るために、何をなすべきか、獲得していくか、目標を決めて実現していく一助となるセミナーとしたい。(この学年はゆとり教育世代が中心だが、ゆとり教育の総合学習の時間などで、インターンシップや保育実習など様々な経験をし、糧としている学生が意外に多い。授業時間を減らしたために、ペーパー試験には弱い反面、経験知から得られる問題意識や思考力は高い学生も多い。単に学力低下の側面ばかりでなく、こういった余り知られていない長所を伸ばすようにしていきたい。)</p> <p>成績評価方法(総合) レポート、グループ発表で評価。ディスカッション、ディベートなども評価に入る。ただし、結局は期末レポートの比重が最も大きくなるだろう。評価基準は、開講後、改めて明瞭に示す。</p> <p>教科書・参考書 参考書：随時、指示する。</p> <p>メッセージ 知識はどこまでも伸びやかで優しいものです。</p> <p>教官連絡先 hamakiyo @ yamaguchi-u.ac.jp</p>					

系列 初期教育

分野 初期教育

科目類型 総説

開設科目	基礎セミナー(経済)	区分	演習	開設期	前期
対象学生	経	単位	2 単位	曜時限	水曜日 3・4 時限
担当教官	柳田卓爾				
<p>授業概要 企業の価格戦略に関する諸問題を、理論的に把握するための枠組みを検討する。</p> <p>授業一般目標 企業の価格戦略についての諸問題を知り、理論的に捉えるための枠組みを理解する。</p> <p>成績評価方法(総合) 担当箇所(報告(プレゼンテーション))30% クラスへの貢献度 20% 期末試験 50% 出席は欠格条件(80%以上の出席が、期末試験の受験資格である)</p> <p>教科書・参考書 教科書:『ケースで学ぶ価格戦略・入門』, 上田隆穂編, 有斐閣, 2003年 / 参考書:ゼミ中に、適宜、紹介する。</p> <p>メッセージ 初回に、セミナーの進め方等について、詳しく説明します。報告の担当箇所も決めるので、必ず出席して下さい。</p>					

系列 初期教育

分野 初期教育

科目類型 総説

開設科目	基礎セミナー(経済)	区分	演習	開設期	前期
対象学生	経	単位	2 単位	曜時限	水曜日 3・4 時限
担当教官	齋藤英智				
<p>授業概要 大学で専門教育を受け、大学生生活を有意義なものにするための準備を整えることを目的として、次の2点を中心に授業を行う。1. 社会におけるさまざまなトピック(経済現象・経済用語)を取り上げ、その背後にある経済学的側面や用語の理解を通じて、経済学の基礎を学ぶ。2. 発表やディスカッションを通じてレジюме、レポートの作成方法やプレゼンテーションの方法を学ぶ。</p> <p>授業一般目標 経済を学ぶ上での基礎的知識を修得するとともに、自己表現・コミュニケーションの力を身につける。</p> <p>成績評価方法(総合) 授業態度・授業への参加度(発言内容など):50%、発表(プレゼン方法など):50%により総合的に評価する。出席は当然のこととする。</p> <p>教科書・参考書 教科書:教科書は指定しないが、参考書を使用することがある。授業開始時に指示する。/ 参考書:『ビジネス・エコノミクス』, 伊藤元重, 日本経済新聞社, 2004年; 『経済指標のかんどころ』(改訂22版), 富山県統計調査課編, 富山県統計協会, 2002年; 『論文ワークブック』, 浜田麻里・平尾得子・由井紀久子, くろしお出版, 1997年; その他、授業内で適宜紹介する。</p> <p>メッセージ 発表者は報告の際、予めレジюмеを用意してもらいます。ワードやエクセルなどのソフトが利用可能であることが望まれますが、不得手な人のためにも全員が使いこなせるようになるよう適宜利用方法についても学んでいきたいと思ひます。発表が下手でもかまいません。はじめは皆がそうです。授業を通じて少しでも良くなっていければいいと思ひています。そのためにも授業に積極的に臨み、発言する練習をすることが大切です。</p> <p>教官連絡先 hidetomo@yamaguchi-u.ac.jp 研究室:経済学部 A 棟 4 階(407 研究室)</p>					

系列 初期教育

分野 初期教育

科目類型 総説

開設科目	基礎セミナー(経済)	区分	演習	開設期	前期
対象学生	経	単位	2 単位	曜時限	水曜日 3・4 時限
担当教官	豊 嘉哲				
<p>授業概要 ヨーロッパ経済に関するテキストを輪読する。テキスト内容を発表した上で、それに対する自分の意見を述べてもらう。</p> <p>授業一般目標 ヨーロッパ経済に関する基礎知識を身につける。</p> <p>成績評価方法(総合) 発表内容で評価する。欠席は欠格条件。</p> <p>教科書・参考書 教科書：第1回授業でテキストを指示する。</p> <p>メッセージ 自分の意見を積極的に述べてください。</p> <p>教官連絡先 yyutaka@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

系列 初期教育

分野 初期教育

科目類型 総説

開設科目	基礎セミナー(経済)	区分	演習	開設期	前期
対象学生	経	単位	2 単位	曜時限	水曜日 3・4 時限
担当教官	立山紘毅				
<p>授業概要 2005年秋の衆議院選挙圧勝の勢に乗って、自由民主党は日本国憲法の改正試案を発表した。もちろん、こうした出来事は今に始まったことではなく、日本国憲法は常に政権与党の改憲圧力にさらされ続けてきた、という異様な過去をもつ。もちろん、憲法の基本性格が政権担当者を法の下に拘束する、というものである以上、権力者にとっては「めの上のこぶ」に等しい存在であることは古今東西を問わない。ただ、そこには一つに政治・社会風土における日本的な特質が検出され、もう一つに戦後史の影が大きく反映されている。この講義では、昨年発表された自民党憲法改正試案を出発点として、その基本性格を分析する中から、日本国憲法の本来もつべき価値を抽出し、さらに過去へ遡って憲法改正論の推移をたどろうとするものである。</p> <p>授業一般目標 上述したとおり、憲法は生きた政治を相手にする法であるとともに、きわめて原理的な(哲学的とさえいえる)考察を必要とする法である。したがって、講義は多面的な性格をもたざるをえないが、「憲法改正論」を手がかりとして、その全貌に及ぼうとするものである。したがって、間違っても中学・高校の延長上にはない、と頭を切り替えて臨んでほしい。</p> <p>成績評価方法(総合) 私の講義では、基本的に定期試験での成績をほぼ100%として評価する。講義外でのレポートなども加味することはありうるが、夏期休業前に講義を全部終える、との制度「改変」のため、一冊分厚い書物を読んで、長いレポートをみっちり書いてもらう、という手法は事実上不可能となった(それに拍車をかけているのが「ハッピー・マンデー」とやらである。これも「法律上の制度」である)。また、実社会では、おおむね「結果すべての一発勝負」が「評価」であることや、「多面的な観点からの評価」のごときは「学校」の中での甘い言い訳に過ぎないことも十分承知しておかれない。</p> <p>教科書・参考書 教科書：特に指定しない/参考書：講義の展開に応じて指示する</p> <p>教官連絡先 オフィス・アワーは設定していないが、種々の理由から、在室は不特定なので、事前に e-mail でアポイントメントを取っていただきたい。</p>					

系列 初期教育

分野 初期教育

科目類型 総説

開設科目	基礎セミナー(経済)	区分	演習	開設期	前期
対象学生	経	単位	2 単位	曜時限	水曜日 3・4 時限
担当教官	中村 美紀子				
<p>授業概要 本セミナーでは、経済法学科志望フレッシュマンを対象に、身近な題材を用いて法的な問題を扱います。本年はとくにCSR(Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任)を取り扱います。その際、提示されたテーマについて、担当者による報告にもとづき質疑応答を行います。また、ときには学外でのセミナーを企画し、現場の臨場感にも触れる機会をもちたいと考えています。</p> <p>授業一般目標 授業内容の目標としては、プレゼンテーションやディベートの練習を行いつつ、法的な観点に慣れ親しむこと掲げます。他方、大学生活は最初が肝心、それを円滑に進めていくマナーを修得するため、本セミナーでは出欠管理等を厳格にします。</p> <p>成績評価方法(総合) (1) 割り当て箇所の報告をどのように工夫して行ったか、(2) レジユメの作成についての工夫および提出期限の遵守、(3) 討論への参加の度合い、について自主性(各15%×3)と発展性の観点(各15%×3)から評価し、そこにゼミへの貢献度・指示遵守度(10%)を加味します。遅刻は3回で1回欠席とみなし、出席70%以上が単位認定要件です。</p> <p>メッセージ (1) 本セミナー半期分を残りの3年半にめいっばい役立ててやる!という積極性を忘れずに。(2) ゼミは無欠席・無遅刻が当たり前。欠席が避けられない場合は事前に連絡することをルールとします。</p> <p>教官連絡先 研究室C棟 209, オフィスアワー火曜日 10:20 11:50。</p>					

系列 初期教育

分野 初期教育

科目類型 総説

開設科目	基礎セミナー(理)	区分	演習	開設期	前期
対象学生	数理	単位	2 単位	曜時限	月曜日 5・6 時限
担当教官	吉村浩				
<p>授業概要 高校での数学とこれから皆さんが学ぶ大学での数学の大きな違いは、扱う数学的対象がより抽象化され、その数学的内容がより厳密に論理的に表現されることです。その基礎となるのが「集合」と「論理」です。「集合」と「論理」は、大学で数学を学んでいくためには、どうしても必要となるものなのです。この授業では、「論理」と「集合」の基本的事項を学びます。</p> <p>授業一般目標 この授業では、「論理」と「集合」の基本的事項を身につけることを目標とします。また、第一回目の授業では、数理科学科の教育内容、カリキュラム、授業形態、単位の取り方、時間割、数理科学科の授業支援等についての解説も行います。各自、時間割を組むための参考にしてください。</p> <p>成績評価方法(総合) 中間・期末2回の筆記試験(70%)と演習・レポート(30%)により判定します。なお、出席が所定の回数に満たないものは欠格とします。詳細は初回の授業で説明します。</p> <p>教科書・参考書 参考書: プリントを配布する。</p> <p>メッセージ 毎回授業に出て、手を動かし演習・レポートに取り組むことが肝要です。</p> <p>教官連絡先 理学部143号室</p>					

系列 初期教育

分野 初期教育

科目類型 総説

開設科目	基礎セミナー(理)	区分	演習	開設期	前期
対象学生	生化	単位	2 単位	曜時間	火曜日 1・2 時限
担当教官	各担当教員				
<p>授業概要 近年の生命科学の急速な進展により、生物・化学を学ぶために必要な知識量も著しく増大している。常にこれら分野の発展に伴う新しい知識の集積に注意を払いつつ学ぶ必要があるが、大学の授業にその全てを盛り込むことは不可能である。言い換えれば、大学において生物・化学の基礎を学ぶためには、自主的な選択による情報や資料の収集・解析能力、文章表現力や他の人と議論する能力が必要である。</p> <p>授業一般目標 この授業は、最近の生物・化学の先端的研究に触れると同時に、大学での自主的な学習の進め方について理解を深めることを目的としている。授業を通して、各自が科学する面白さを理解し、自主的に学習できるようになることを目指す。</p> <p>成績評価方法(総合) 宿題/授業外レポート = 80 100 %未満 出席 = 20 %未満 出席回数 80 %以上を単位取得の必要条件とする。</p> <p>メッセージ 最初のオリエンテーションにおいて講義計画・到達目標・成績評価について説明する。教官の講義内容、担当日を変更することがある。</p> <p>教官連絡先 村上柳太郎 ryu@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

系列 初期教育

分野 初期教育

科目類型 総説

開設科目	基礎セミナー(理)	区分	演習	開設期	前期
対象学生	地球	単位	2 単位	曜時間	火曜日 1・2 時限
担当教官	各担当教員				
<p>授業概要 地球圏システム科学科の学習・教育目標をわかり易く解説するとともに、野外観察などの実体験を通じて地球科学が対象とすることがらに興味を深め、地球科学の役割を理解できるようにする。さらに、自らの観察と考察に基づいた問題提起やプレゼンテーション、グループ討議を行う。</p> <p>授業一般目標 (1)地球科学が対象とすることがらやそれをどのように人間生活へ貢献するかについて理解する。(2)実体験を通じて野外観察や試料・標本の重要性を理解する。(3)自分で積極的に学問に取り組む姿勢を見につける。(4)自分の頭で考え、問題提起や議論ができるようにする。</p> <p>成績評価方法(総合) 各教官から提示された課題による学習態度とレポートを対象として、以下の観点・割合で評価する。</p> <p>メッセージ 高校教育から大学の教育に早く慣れ、自分で考え自分の判断で行動できるようになってください。</p> <p>教官連絡先 学科長</p> <p>備考 理学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 初期教育

分野 初期教育

科目類型 総説

開設科目	基礎セミナー(理)	区分	演習	開設期	前期
対象学生	物情	単位	2 単位	曜時限	火曜日 1・2 時限
担当教官	各担当教員				
<p>授業概要 日本語による基本的な作文法を学習する。論理的な筋道で物事を説明するための基本作文技術を習得する。与えられたテーマに対して、自分の意見をまとめて作文する。また、与えられたテーマに関してのディスカッションを行い、グループ内の他の人の異なる意見を知るとともに、相互の理解を深める。</p> <p>授業一般目標 ・自分の考えていることを作文することによって、日本語の読み書き能力の向上をはかる。 ・ディスカッションにより、自分の意見を話す能力、特に論理的な筋道で説明する能力を身につける。 ・他人の意見を聞き、理解し、自分の意見と比較分析する能力を身につける。</p> <p>成績評価方法(総合) レポートで評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：例題で学ぶ原稿の書き方、八木和久、米田出版、2001年</p> <p>メッセージ 出席は必須。課題レポートには積極的に取り組むこと。</p> <p>教官連絡先 nozaki@yamaguchi-u.ac.jp 理学部本館南棟 236 オフィスアワー随時</p>					

系列 初期教育

分野 初期教育

科目類型 総説

開設科目	医学入門Ⅰ	区分	演習	開設期	前期
対象学生	医学	単位	2 単位	曜時限	火曜日 5・6 時限
担当教官	川崎勝 他 15 名				
<p>授業概要 医学科全 85 名の入学生は担任教官が所属する基盤系講座に所属し、少人数(5, 6 名)で日本語論述とディスカッション(ディベート)を主体としたセミナーを行う。</p> <p>授業一般目標 今後、医学とコミュニケーション技法を学ぶ上で必須のリテラシー能力を養うために、日本語論述と小グループでのディスカッションを中心に演習を行うことを通じて高度な日本語運用能力と問題探究能力を修得する。</p> <p>成績評価方法(総合) 真にやむを得ない事情がある場合を例外として、原則として全回出席していることを成績評価の前提とし、各自の演習への積極的な参加態度と小レポートの内容を中心に評価する。</p> <p>教科書・参考書 参考書：実践・言語技術入門、言語技術の会、朝日新聞社；日本語の作文技術、木下是雄、中央公論新社、1981年</p> <p>メッセージ 医学入門Ⅰの内容は、前期毎週火曜夕方に設けられた「フレックスタイム」の時間帯に補足されます。</p> <p>教官連絡先 各自、オリエンテーション時に担任教員に確認すること。</p>					

系列 初期教育

分野 初期教育

科目類型 総説

開設科目	基礎セミナー (保健)	区分	演習	開設期	前期
対象学生	看護	単位	2 単位	曜時間	火曜日 7・8 時限
担当教官	野垣宏				
<p>授業概要 人間と医療との関わり、医療の現状、医療の質の変遷と展望、及び医療人としてのあり方を考える。</p> <p>授業一般目標 現代医療の抱えるさまざまな問題について、看護師を目指す者として、自ら問い、考える 基盤を築くことを目標とする。</p> <p>成績評価方法 (総合) レポート、出席率などによる (単位認定の最低条件: 総授業数の 2/3 以上の出席およびレポート提出)。</p> <p>教科書・参考書 参考書: 講義の中で紹介</p> <p>メッセージ 知識の習得ではなく、自分の問題として考えて欲しい。日常の中の医療問題に関心を向けて欲しい。</p> <p>教官連絡先 nogaki@yamaguchi-u.ac.jp ashimizu@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

系列 初期教育

分野 初期教育

科目類型 総説

開設科目	基礎セミナー (保健)	区分	演習	開設期	前期
対象学生	検査	単位	2 単位	曜時間	火曜日 7・8 時限
担当教官	山田治, 服部幸夫				
<p>授業概要 21 世紀になり、日本は今までにない長寿社会を迎えている。そのため現在の医学は、医の倫理、患者の権利、インフォームドコンセント (説明と同意)、病名告知に始まり、遺伝子治療、脳死、臓器移植、終末期医療まで 幅広い領域で多くの問題を抱えている。本講義では、これらのテーマを含めながら、医学の歴史、現代医学の構成、医学検査の役割、現代医学の問題点などを学び、臨床検査技師として他の医療従事者とのチーム医療を行うために必要となる、知識とモラルを学ぶことを目的とする。さらに、自分の考えを人に伝えるための文章表現法、発表方法を紹介する。</p> <p>授業一般目標 日本の医療システムの歴史と現状を知り、その問題点を指摘できる。人のライフスタイルや環境が健康におよぼす影響をの部、その予防・啓発を行うことができる。医療従事者の役割を知りチームワークに必要な事項と問題点を指摘できる。与えられた課題に対して、限られた時間内に正確な言葉で解説、論述および自分の考えを文章で表すことを修得する。</p> <p>成績評価方法 (総合) 【全体】毎回セミナーとタイトルを提示しグループディスカッションを行いますので、その時の参加態度を評価します。また、一部は期末試験で評価します。【観点別】知識の理解度および思考の判断力は発表内容と期末試験で評価します。関心・態度、表現力は発表内容から評価します。</p> <p>教科書・参考書 参考書: 理科系の作文技術, 木下是雄, 中央公論新書 624, 2000 年; 学生のための医療概論, 千代豪昭黒田研二, 医学書院, 1999 年</p> <p>メッセージ 疑問に思ったら、自分の意見を述べながら質問して下さい。</p> <p>教官連絡先 山田治: E-mail は osamuynd@yamaguchi-u.ac.jp、電話は 0836-22-2803。 服部幸夫: E-mail は hattori-ygc@umin.ac.jp、電話は 0836-22-2807</p>					

開設科目	基礎セミナー (工)	区分	演習	開設期	前期
対象学生	応化	単位	2 単位	曜時間	月曜日 3・4 時限
担当教官	上村明男、山本修一、堤 宏守、鬼村謙二郎、今村速夫、小松隆一、笠谷和男、藤森宏高				
<p>授業概要 ・さまざまな方式で大学における学習の意味と目的を理解するためのセミナーです。オリエンテーションとしては、どのように講義・演習を履修して卒業していくのか、あるいは、学科の目標目的、さらには、技術者として社会にどのように貢献していくかなどについても学びます。 ・与えられた課題について調査してレポートを作成し、プレゼンテーションをします。</p> <p>授業一般目標 ・工学部応用化学工学科の学習目的・目標を理解する。 ・技術者として社会にどのように貢献していくかを理解する。 ・与えられた課題について調査してプレゼンテーションとレポートを作成します。 ・工学基礎についての学習もします。</p> <p>教科書・参考書 教科書：教科書は、特に使用しないが、必要に応じてプリント配布などを行う。また、講義時間内に、指示する場合もある。</p> <p>メッセージ 授業に関する連絡などを、共通教育の掲示板などに掲示することもあるので、掲示板を必ず毎日確認するようにして下さい。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	基礎セミナー (工)	区分	演習	開設期	前期
対象学生	知能	単位	2 単位	曜時間	水曜日 3・4 時限
担当教官	村上ひとみ、中村秀明				
<p>授業概要 本講義は当学科に係るあるトピックスを通して、専門分野に対する興味を深めることを目的としている。グループに分かれて環境問題について調査と発表に取り組み、学生間及び教員やTAとのコミュニケーションを高める。さらに提案内容を整理して要点をまとめ、わかりやすく口頭発表する発信力を養う。さらに、情報技術の基礎的な知識を学習し、当学科に入学した動機付けを確固たるものにする共に、今後の専門科目に対する積極的な取り組みの意欲を高める。</p> <p>授業一般目標 地球環境と情報ネットワークの関わりについて自ら調査・整理して、その結果をグループで討議する。さらにグループの提案をまとめて多くの人々の前で発表する訓練を行う。また、今後の専門科目に取り組むために情報技術の基礎的な知識を習得する。本科目は、知能情報システム工学科の学習・教育目標のうち、以下の項目に該当する：(A)の(1)種々の歴史、文化、習慣、価値観、風土、経済などに関する知識を修得し、これらにより幸福・福祉や豊かさなどの概念が多岐にわたることを認識する。(E)の(2)論理的にコミュニケーションし、必要に応じて説明と討論が自由にできる能力を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) 成績の評価はレポート、授業態度、プレゼンテーションと質疑の内容を総合的に判断して決定する。</p> <p>教科書・参考書 参考書：ITが地球環境を救う「情流」がもたらす環境革命、松田晃一監修、天野一哉著、ダイヤモンド社；エコアクションが地球を救う、山本良一、丸善、2005年</p> <p>メッセージ 専門科目に対するよう興味を深めて欲しい。また活発な討論をとおして、論理的思考法やプレゼンテーション能力を身につけて欲しい。</p> <p>教官連絡先 村上 hitomim@yamaguchi-u.ac.jp 火 17:00-19:00 中村 nakahide@yamaguchi-u.ac.jp 水 10:20~11:50</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 初期教育

分野 初期教育

科目類型 総説

開設科目	基礎セミナー(工)	区分	演習	開設期	前期
対象学生	機械	単位	2 単位	曜時間	水曜日 3・4 時限
担当教官	和田憲造、小嶋直哉、田中佐、小河原加久治、斎藤俊、合田公一				
<p>授業概要 授業の概要：本授業は機械工学の導入教育の一環として位置付けられているもので、機械工学における基礎、心構えなどを教える。学生のやる気を喚起し、工学を学ぶに際しての動機付けに主眼を置く。各個人及び、グループごとにテーマを選定させ、調査活動を行う。調査計画書を作成させ、文章力、表現力、まとめる能力を身につけさせる。パワーポイント等によるプレゼンテーション等の手法及び討論に積極的に参加する姿勢を身につける。機械工学を機械エネルギー、機械システム、設計生産の3大分野に分けて解説し、機械工学を構成する学問分野を理解する。</p> <p>授業一般目標 機械工学の入門科目である「基礎セミナー」において、学問としての機械工学を認識させることを目的とする。</p> <p>成績評価方法(総合) 成績は授業への取り組みの姿勢、課題レポート、報告会・発表会における発表及び質疑応答、調査報告書(調査計画書含む)の合計で評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：教科書は使用しない。必要に応じてプリントを配布する</p> <p>メッセージ 自ら興味を持って積極的に取り組んでください</p> <p>教官連絡先 工学部機械・社建棟 5 階 ・月曜日午後 Tel:0836-85-9111 e-mail:n-kojima@yamaguchi-u.ac.jp</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 初期教育

分野 初期教育

科目類型 総説

開設科目	基礎セミナー(工)	区分	演習	開設期	前期
対象学生	社建	単位	2 単位	曜時間	水曜日 3・4 時限
担当教官	関根雅彦、田村洋一、榎原弘之				
<p>授業概要 大学の学習において重要な、日本語による的確な表現力とは何かについて説明し、それを身につけるための実習を実施する。</p> <p>授業一般目標 大学でさまざまな内容を学習していく上で重要な日本語による表現力を身につける。具体的には(1)レポート・レジュメ作成に必要な文章力(2)内容をわかりやすく口頭で説明する表現力を身につける。本科目は、本プログラムの学習・教育目標のうち、以下の目標に対応している。(A)確かな基礎力を有する技術者を目指して以下の能力を身につける A-3 日本語による的確な表現力</p> <p>成績評価方法(総合) 本講義は演習を重視しており、授業内外のレポート及び定期試験の総合演習によって成績を評価する。そのため、出席して演習を実施することが単位認定の前提条件となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書：日本語表現のレッスン 文章技法からイベント・プレゼンの企画と実施まで、”長沼行太郎、入部明子、幸田国広、青島康文、向後千春”，教育出版，2003 年</p> <p>メッセージ 大学では、自発的に学習することが重要です。この講義では、社会建設工学科で4年間学習してゆくための準備を行います。前回出席を原則とします。ただし体調不良などによりやむなく欠席する場合は、必ず教員に連絡してください。</p> <p>教官連絡先 関根：ms@env.civil.yamaguchi-u.ac.jp 田村：ytamura@yamaguchi-u.ac.jp 榎原：sakaki@yamaguchi-u.ac.jp</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 初期教育

分野 初期教育

科目類型 総説

開設科目	基礎セミナー(工)	区分	演習	開設期	前期
対象学生	電気	単位	2 単位	曜時限	木曜日 3・4 時限
担当教官	内藤裕志, 三木俊克, 田中幹也, 三好正毅				
<p>授業概要 ノート・パソコンを活用した文書作成やネットワークを利用した情報検索を基礎として、与えられた課題をまとめ、プレゼンテーションを行う。少人数グループに分かれ、倫理教育、最新技術の紹介、関連事項の調査、発表などを行う。</p> <p>授業一般目標 このセミナーは、電気電子工学の分野を今から学ぼうとする学生を対象としたフレッシュマン・セミナーであって、この分野の学問を学ぶ上で必要となるインセンティブを育てることを目的としている。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験(20%程度)、小テスト・授業内レポート(20%程度)、宿題・授業外レポート(20%程度)、授業態度・授業への参加度(20%程度)、受講者の発表(プレゼン)(20%程度)</p> <p>教科書・参考書 教科書: 必要に応じてプリントを配布する。/ 参考書: 必要に応じて適宜指示する。ノート PC 利用のためのマニュアルは必要に応じて、各自購入すること。</p> <p>メッセージ ・意欲的に授業に参加することを望む。・多くの授業時間外の作業を必要とする。・やむを得ず休む場合は、事前にメールにて担当教官に連絡をすること。</p> <p>教官連絡先 内藤裕志: E-mail naitou1@plasma.eee.yamaguchi-u.ac.jp 田中幹也: E-mail ktanaka@eee.yamaguchi-u.ac.jp</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 初期教育

分野 初期教育

科目類型 総説

開設科目	基礎セミナー(工)	区分	演習	開設期	前期
対象学生	循環	単位	2 単位	曜時限	木曜日 5・6 時限
担当教官	喜多英敏ほか				
<p>授業概要 平成18年度に新設された循環環境工学科は、多角化する環境問題と循環型社会の構築について取り組む幅広い教育を行います。本セミナーでは開講される講義の概要とその関連について説明し、履修の仕方について解説、指導します。また2年次の学士中間論文や知的財産について説明します。</p> <p>授業一般目標 (1) 学科の概要を理解し、目的を持った講義の履修計画をたてる。(2) 循環型社会の構築にどのように関わっていくかを理解する。(3) 知的財産について理解する。</p> <p>成績評価方法(総合) 出席を重視し、レポート(宿題)や授業態度などと共に総合的に評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 適宜資料を配布する。/ 参考書: 適宜講義の中で紹介する。</p> <p>メッセージ これからの勉学の道筋を付けるために非常に重要なセミナーです。目的意識を持って、しかし、一方では広い視野をもって、意欲的に取り組んでください。</p> <p>教官連絡先 4人の循環環境工学科の教官が常盤キャンパスから本セミナーのために吉田キャンパスにやってきます。質問などは授業の終わりか、後日、メールなどで行ってください。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 初期教育

分野 初期教育

科目類型 総説

開設科目	基礎セミナー(工)	区分	演習	開設期	前期
対象学生	感性	単位	2 単位	曜時間	金曜日 5・6 時限
担当教官	李柱国 ほか				
<p>授業概要 前半と後半の2部に分かれる。1回目のオリエンテーション、2回目の文献検索のための図書館案内を序盤におき、前半の6回は主にクラスを3のグループに分けて、与えられたテーマをめぐって、グループ・ディスカッションを行う準備とその実践に割く。後半はレポートの書き方を全般篇と自然科学篇に分けて指導し、最後に進路の指導をする。</p> <p>授業一般目標 高校生から大学生になるために必要なリテラシー(ネットの検索、レポートの書き方)を指導し、また自分の意見を持ち、それを発表する技術を身に付ける。</p> <p>成績評価方法(総合) 5つのユニットごとにレポートを提出してもらい、それぞれ配点を20点ずつとして、$20 \times 5 = 100$点。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 理科系の作文技術, 木下是雄, 中央公論新書 624, 2000年; 論文の書き方, 澤田昭夫, 講談社文庫 153, 2002年; 教科書は文栄堂で購入。/ 参考書: なし。</p> <p>メッセージ 必ず出席して単位を取る。宇部では開港されないで、これを落とすと大変なことになる。</p> <p>教官連絡先 933-5089 河中研究室 共通教育・研究1号館 314号室 金曜 4時半から6時</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 初期教育

分野 初期教育

科目類型 総説

開設科目	基礎セミナー(農)	区分	演習	開設期	前期
対象学生	生機(1-25)	単位	2 単位	曜時間	火曜日 7・8 時限
担当教官	山田守, 内海俊彦				
<p>授業概要 専門教育への自覚ならびに素地づくりをめざし、生命科学および生命環境科学に関連した諸問題について最新のトピックスを中心に討論する。特に、バイオテクノロジーの有効性と技術的な問題点、環境の問題点とその生物を利用した解決策、生命科学に関連した科学技術の功罪について各自で調査し、発表する。</p> <p>授業一般目標 生命科学および生命環境科学に関連した諸問題について理解を深めると同時に、この授業の過程で、資料作成、発表、討論によって、口頭発表の仕方、技術等を身につけさせ、主体性をもって自分で考え研究するスタイルを身につけさせることを目指す。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 適宜紹介するとともに、一部プリントを使用する</p> <p>教官連絡先 山田守: 電話 933-5869, オフィスアワー 17時-18時 内海俊彦: 電話 933-5856, オフィスアワー 17時-18時</p>					

系列 初期教育

分野 初期教育

科目類型 総説

開設科目	基礎セミナー（農）	区分	演習	開設期	前期
対象学生	生機（26-）	単位	2 単位	曜時限	火曜日 7・8 時限
担当教官	松下一信、松富直利				
<p>授業概要 専門教育への自覚ならびに素地づくりをめざし、生命科学および生命環境科学に関連した諸問題について解りやすく解説するとともに、最新のトピックを紹介する。さらに、バイオテクノロジーの有効性と技術的な問題点、環境の問題点とその生物を利用した解決策、生命科学に関連した科学技術の功罪について各自で調査し、発表する。</p> <p>授業一般目標 この授業の過程で、資料作成、発表、討論で議論を深めるとともに、口頭発表の仕方、技術等を身につけさせるとともに、主体性をもって自分で考え研究するスタイルを身に付けさせることを目指す。</p> <p>成績評価方法（総合） 発表の方法、内容、そして討論への参加状況から判断する</p> <p>教科書・参考書 教科書：適宜紹介するとともに、一部プリントを使用する</p> <p>教官連絡先 月～金 10～17 時</p>					

系列 初期教育

分野 初期教育

科目類型 総説

開設科目	基礎セミナー（農）	区分	演習	開設期	前期
対象学生	生資	単位	2 単位	曜時限	木曜日 3・4 時限
担当教官	進藤晴夫, 山本晴彦, 執行正義, 宇佐見晃一他, 学科教員				
<p>授業概要 基礎セミナーでは、新入生が2年次から受講する専門教育への関心を持つようになり、自覚と知的好奇心を持って卒業研究の素材づくりを目指せるように、生物科学や環境科学等を含む、広い意味での総合的応用科学である農学に関連した諸研究について、学科の全教員がそれぞれの専門分野から分かりやすく解説するとともに、最新の研究トピックスを紹介する。</p> <p>授業一般目標 受講者は、講義を通して、まず講義や実験・演習の場で課せられるレポートの書き方の基礎を習得する。あわせて、農学研究の一端に触れるとともに、探究心や知的好奇心を養い、農学にまつわる諸問題に対して主体性を持って自分で考える習慣を体得する。さらには、研究者のプレゼンテーションを体験するだけでなく、プレゼンテーションの技術・技能の基礎を演習を通して習得する。</p> <p>成績評価方法（総合） 出席及びプレゼンテーションに最大限の重点を置く。ただし、出席にはレポート提出が必修条件である。</p> <p>教科書・参考書 教科書：資料配布（学科教員の研究紹介）/ 参考書：（必要に応じて、学科教員の発表時に指示があります。）</p> <p>メッセージ 必ず全出席して、単位を取ることを。</p> <p>教官連絡先 農学部 326 号室（代表 進藤）</p>					

系列 初期教育

分野 初期教育

科目類型 総説

開設科目	基礎セミナー(農)	区分	演習	開設期	前期
対象学生	獣医	単位	2 単位	曜時間	金曜日 5・6 時限
担当教官	岩田祐之・音井威重・利部聡				
<p>授業概要 獣医学一般における基礎的な知識について学び、獣医学倫理を考える。授業形態としては、講義、意見発表、討論、レポート作成などを行い、自分の考えを論理的に発表あるいは論述する訓練も併せて行う。</p> <p>授業一般目標 獣医学を学ぶものとしての自覚を持たせるとともに、論理的思考を習得させることを目的とし、獣医学で学ぶべきこと、獣医師の社会における活動分野、学際領域における獣医学、獣医学と自然・社会・文化・環境保全、人と動物の関係学などについて学ぶ。</p> <p>成績評価方法(総合) 小テスト/授業内レポート 授業態度や授業への参加度 出席</p> <p>教科書・参考書 教科書：一部プリント使用</p> <p>メッセージ 意見発表・討論は積極的に行う。レポートは推敲した文章とする。</p> <p>教官連絡先 岩田祐之 5899, hiwata@yamaguchi-u.ac.jp 音井威重 5904, otoi@yamaguchi-u.ac.jp 利部聡 5910, espero@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

系列 初期教育

分野 情報処理

科目類型 総説

開設科目	情報処理演習	区分	演習	開設期	前期
対象学生	人社	単位	2 単位	曜時間	木曜日 9・10 時限
担当教官	脇條 靖弘				
<p>授業概要 この授業は高度情報化社会に流されずにそれらの利点を活かすため、必要なコンピュータ・リテラシーの修得をめざす。</p> <p>授業一般目標 大学4年間、あるいはその後の将来において必要と思われるコンピュータの知識・操作、および大学でネットワークにつながれたコンピュータを使う場合に守らなければならないルールを身につける。</p> <p>成績評価方法(総合) 宿題・授業外レポート 50% 出席 50%</p> <p>教科書・参考書 教科書：教科書(参考書欄に明記した資料)を使用するかどうかについては、皆さんと相談の上、最初の授業で指示します。/ 参考書：『ノンデザイナーズ・デザインブック [2nd Ed.]』, Robin Williams, 毎日コミュニケーションズ, 2004年; WEB情報処理テキスト。</p> <p>メッセージ 受講生の熟練度などを見た上で、場合によっては、授業計画を変更する場合があります。基本的には初歩から基礎的な操作までを学んでいきますので、パソコンに習熟している人にとっては退屈かもしれませんが、そういう人は班のリーダーとなって、不慣れな人の指導をしてみてください。なお、授業では折に触れて情報化社会への適応だけでなく、情報化社会を批判的に検討する話題にも言及しながら『人文学』部の情報処理演習を目指します。みなさんの意欲ある取り組みと授業への協力を期待します。</p> <p>教官連絡先 メール・アドレス x069ab@yahoo.co.jp 普段学外にいますので、連絡や質問、意見があるときは上記メール・アドレスまでお願いします。</p>					

系列 初期教育

分野 情報処理

科目類型 総説

開設科目	情報処理演習	区分	演習	開設期	前期
対象学生	人社	単位	2 単位	曜時限	木曜日 9・10 時限
担当教官	馬 彪				
<p>授業概要 この授業は高度情報化社会に必要なコンピュータ・リテラシーの修得をめざす。</p> <p>授業一般目標 大学4年間あるいはその後の将来において必要と思われるコンピュータの知識・操作および大学でのネットワークに繋がれたコンピュータを使う場合に守らなければならないルールを身につける。</p> <p>成績評価方法(総合) 宿題/授業外レポート = 40~60% 出席 = 40~60%</p> <p>教科書・参考書 教科書: WEB 情報処理テキスト</p> <p>教官連絡先 djumali@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

系列 初期教育

分野 情報処理

科目類型 総説

開設科目	情報処理演習	区分	演習	開設期	前期
対象学生	人社	単位	2 単位	曜時限	木曜日 9・10 時限
担当教官	真木 隆行				
<p>授業概要 この授業は高度情報化社会に必要なコンピュータ・リテラシーの修得をめざす。</p> <p>授業一般目標 大学4年間あるいはその後の将来において必要と思われるコンピュータの知識・操作および大学でのネットワークに繋がれたコンピュータを使う場合に守らなければならないルールを身につける。</p> <p>成績評価方法(総合) 宿題やレポートなど = 50~70%、出席 = 30~50%</p> <p>教科書・参考書 教科書: WEB 情報処理テキスト(詳細は授業時間中に説明する)</p> <p>教官連絡先 人文学部棟4階 真木研究室(電話:933-5275、E-mail:makit@yamaguchi-u.ac.jp) 但し電子メールでの問い合わせは、文面が軽率になる傾向があるので留意を要する。</p>					

系列 初期教育

分野 情報処理

科目類型 総説

開設科目	情報処理演習	区分	演習	開設期	前期
対象学生	言語	単位	2 単位	曜時限	木曜日 7・8 時限
担当教官	縄田 陽介				
<p>授業概要 この授業は高度情報化社会に必要なコンピュータ・リテラシーの修得をめざす。授業は4～5名のグループごとにわかれて行う。</p> <p>授業一般目標 大学4年間、あるいはその後の将来において必要と思われるコンピュータの知識・操作、および大学でネットワークにつながれたコンピュータを使う場合に守らなければならないルールを身につける。</p> <p>成績評価方法(総合) 宿題・授業外レポート 50% 出席 50%</p> <p>教科書・参考書 教科書：教科書(参考書欄に明記した資料)を使用するかどうかについては、皆さんと相談の上、最初の授業で指示します。/ 参考書：WEB 情報処理テキスト,,</p> <p>メッセージ 受講生の熟練度などを見た上で、場合によっては、授業計画を変更する場合があります。基本的には初歩から基礎的な操作までを学んでいきますので、パソコンに習熟している人にとっては退屈かもしれませんが、そういう人は班のリーダーとなって、不慣れな人の指導をしてあげてください。</p> <p>教官連絡先 メール・アドレス toyosawa@yamaguchi-u.ac.jp 研究室は人文棟4階409号室です。来室する場合には、できれば事前にメール、電話等で連絡して下さい。</p>					

系列 初期教育

分野 情報処理

科目類型 総説

開設科目	情報処理演習	区分	演習	開設期	前期
対象学生	言語	単位	2 単位	曜時限	木曜日 7・8 時限
担当教官	藤永 康政				
<p>授業概要 この授業は高度情報化社会に必要なコンピュータ・リテラシーの修得をめざします。授業は4～5名のグループに分かれて行ないます。</p> <p>授業一般目標 大学4年間、あるいはその後の将来において必要と思われるコンピュータの知識・操作、および大学でネットワークにつながれたコンピュータを使う場合に守らなければならないルールを身につける。</p> <p>教科書・参考書 教科書：web 情報処理テキスト,,</p> <p>教官連絡先 メールアドレス：yfujinag@yamaguchi-u.ac.jp 水：11時50分から12時50分</p>					

系列 初期教育

分野 情報処理

科目類型 総説

開設科目	情報処理演習	区分	演習	開設期	前期
対象学生	言語	単位	2 単位	曜時限	木曜日 7・8 時限
担当教官	高橋 征仁				
<p>授業概要 この授業は、高度情報化社会に必要なコンピュータ・リテラシーの修得をめざす。授業形態は、4～5名のグループごとに分かれて行う。</p> <p>授業一般目標 大学4年間あるはその後の将来において必要と思われるコンピュータの知識・操作および大学でのネットワークに繋がれたコンピュータを使う場合に守らなければならないルールを身につける。</p> <p>成績評価方法(総合) 宿題/授業外レポート=40～60パーセント 出席=40パーセント</p> <p>教科書・参考書 教科書：WEB 情報処理テキスト,,</p>					

系列 初期教育

分野 情報処理

科目類型 総説

開設科目	情報処理演習	区分	演習	開設期	前期
対象学生	学教(教科(数・理))・情報(数理)	単位	2 単位	曜時限	月曜日 9・10 時限
担当教官	野村厚志・林川基治				
<p>授業概要 ノートパソコンの使い方の基礎を学ぶ。さらに、BASIC 言語を用いてプログラミングの基礎的な考え方を学ぶ。</p> <p>授業一般目標 ノートパソコンが自由に使えるようになる。さらに、BASIC 言語を用いて簡単なプログラムを作成することができる。</p> <p>成績評価方法(総合) 出席と課題、期末試験により行う。</p> <p>教科書・参考書 教科書：WEB 上のテキストを用いる。</p> <p>教官連絡先 教育学部 226 号室/anomura@yamaguchi-u.ac.jp/水曜日 13 時～15 時</p>					

系列 初期教育

分野 情報処理

科目類型 総説

開設科目	情報処理演習	区分	演習	開設期	前期
対象学生	学教(教科(保・英)・国理)・実践	単位	2単位	曜時限	月曜日 9・10時限
担当教官	鷹岡亮				
<p>授業概要 電子メール, 情報検索などインターネットの基本的な利用方法と, ワープロおよび表計算について勉強する</p> <p>授業一般目標 電子メール, 情報検索, ワード, エクセルが利用できるようになること.</p> <p>教科書・参考書 教科書: 未定</p> <p>メッセージ 兎に角出席すること</p>					

系列 初期教育

分野 情報処理

科目類型 総説

開設科目	情報処理演習	区分	演習	開設期	前期
対象学生	学教(教科(国・社・音・美))・総文(文芸)	単位	2単位	曜時限	火曜日 7・8時限
担当教官	吉村誠				
<p>授業概要 情報機器の取り扱いに慣れる</p> <p>授業一般目標 ワード、エクセル、パワーポイントの基本を習得する</p>					

系列 初期教育

分野 情報処理

科目類型 総説

開設科目	情報処理演習	区分	演習	開設期	前期
対象学生	学教(教科(技))・健康(スポ健)・総文(国文)	単位	2 単位	曜時限	火曜日 9・10 時限
担当教官	系長雅弘, 林川基治				
<p>授業概要 情報技術の発展により社会の情報化が急速に進展する今日、「情報リテラシー」をできるだけ早い時期に身に付けておくが重要である。情報リテラシーとは、一言で言えば、コンピュータを道具として利用・活用する能力のことである。Windows OS 上で、電子メールの送受信、インターネットを利用した情報検索、情報倫理、文書作成、ホームページ作成、表計算、プレゼンテーションなどの演習を行う。</p> <p>授業一般目標 情報化社会を生きる上で最低限必要となる情報リテラシーと情報伝達力、自己表現力を修得する。</p> <p>成績評価方法(総合) 出席率 80 %未滿を欠格条件とし、授業内レポート、授業外レポート、公開されたホームページ、グループ課題の発表内容を総合的に評価する。</p> <p>メッセージ 受講者のパソコンに対する知識は仮定せず、初めてパソコンを使うものとして授業を行う。ノートパソコンを持参すること。</p> <p>教官連絡先 E-mail: itonaga@yamaguchi-u.ac.jp, 電話: 083-933-5350, 研究室: 教育学部 224 号室, オフィスアワー: 水曜 10:20 - 11:50</p>					

系列 初期教育

分野 情報処理

科目類型 総説

開設科目	情報処理演習	区分	演習	開設期	前期
対象学生	情報(表現)	単位	2 単位	曜時限	水曜日 1・2 時限
担当教官	葛崎偉				
<p>授業概要 コンピュータの基本ソフトウェアの一つであるUNIXの基本コマンド、エディタの使い方、メール等のインターネットの利用法、また種々のアプリケーション・ソフトウェアの使い方を学ぶ。</p> <p>授業一般目標 本講義は高度情報化社会に必要なコンピュータの基本操作法とソフトウェアの利用法を身につけることを目標とする。</p> <p>成績評価方法(総合) 出席状況、履修状況、レポートなどで総合評価する。 = 100 %</p> <p>教科書・参考書 教科書: Linux 演習, 前野譲二 [ほか] 著, オーム社, 2005 年</p>					

系列 初期教育

分野 情報処理

科目類型 総説

開設科目	情報処理演習	区分	演習	開設期	前期
対象学生	学教(教科(家)・幼児・障害)・健康(生活)	単位	2 単位	曜時限	金曜日 9・10 時限
担当教官	中田充				
<p>授業概要 ワード、エクセル、メール、Web 等のコンピュータの基礎演習を行う。</p> <p>授業一般目標 コンピュータ操作に関する基礎知識を身につける。</p> <p>教科書・参考書 教科書：追って指示する。 / 参考書：追って指示する。</p> <p>メッセージ 欠席は原則として認めない。</p> <p>教官連絡先 授業中に通知する。</p>					

系列 初期教育

分野 情報処理

科目類型 総説

開設科目	情報処理演習	区分	演習	開設期	前期
対象学生	経	単位	2 単位	曜時限	月曜日 5・6 時限
担当教官	陳建平				
<p>授業概要 パソコン操作の基本から、日本語ワープロ、表計算、プレゼンテーションなどのソフトの使い方を勉強し、そして電子メールやインターネットの利用の仕方にも慣れ親しんでもらう。</p> <p>授業一般目標 パソコンを利用して、勉強や日常の生活に役立てることが目標。</p> <p>成績評価方法(総合) 出席、宿題、期末試験を総合して評価する。</p>					

開設科目	情報処理演習	区分	演習	開設期	前期
対象学生	経	単位	2 単位	曜時限	火曜日 7・8 時限
担当教官	山根 悟				
<p>授業概要 パソコンの操作を基礎から応用までを修得する。Windowsの基礎、タイプ練習日本語入力、表計算ソフト(Excel)をデータ入力し、関数の使用方法やデータの分析の方法などを基礎から応用まで学習する。また、プレゼンテーション用ソフトを利用し、インターネットからの情報を取り入れ、実際に発表する。検索キーワード パソコンの基礎から応用、タイプ練習、Windows、表計算</p> <p>授業一般目標 表計算ソフト(Excel)を使用した検定試験の模擬試験を行い、受講者全員が情報処理検定2級程度の資格を取れるように演習を行う。学生生活でも社会に入ってから役立つパソコンの操作方法を修得する。</p> <p>成績評価方法(総合) 模擬検定試験を2回行い、この正確性と迅速性で評価する。プレゼンテーションの表現方法や独創性、積極性で評価点を付加する。</p>					

開設科目	情報処理演習	区分	演習	開設期	前期
対象学生	経	単位	2 単位	曜時限	火曜日 9・10 時限
担当教官	木下 真				
<p>授業概要 パソコンの初歩的な使い方からやや応用的な使い方まで、実用面を中心に修得する。</p> <p>授業一般目標 (1) 自分のパソコンを適切に使用・管理できること (2) 基本的なドキュメンテーションやプレゼンテーションに必要なソフトの操作に慣れること (3) コミュニケーションに必要なソフト(メーラ等)に慣れること (4) 簡単なプログラム(マクロ等)を書けるようになること</p> <p>成績評価方法(総合) レポート メッセージ ・毎回出席してください・わからないところはいつでも気軽に質問してください 教官連絡先 随時 mail: kdev@yamaguchi-u.ac.jp 共通教育棟 2F(学務係の真上)</p>					

系列 初期教育

分野 情報処理

科目類型 総説

開設科目	情報処理演習	区分	演習	開設期	前期
対象学生	経	単位	2 単位	曜時限	木曜日 1・2 時限
担当教官	成富敬				
<p>授業概要 講義や演習をとおして、コンピュータの概要やワープロソフト、表計算ソフトの使い方を体得するとともに、個人情報の大切さやネットワークを利用する際のエチケットについても学習する。また、コンピュータを使った手紙のやりとり（電子メール）、インターネットによる情報検索、プレゼンテーションソフトを用いた発表についても体験する。</p> <p>授業一般目標 コンピュータを使って文書作成ができるようになるとともに、インターネットを利用した情報伝達、情報収集ができるようになる。</p> <p>成績評価方法（総合） 定期試験（40%）、レポート（20%）、出席（40%）の割合で成績を評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：資料を配布する。</p>					

系列 初期教育

分野 情報処理

科目類型 総説

開設科目	情報処理演習	区分	演習	開設期	前期
対象学生	経	単位	2 単位	曜時限	金曜日 5・6 時限
担当教官	兵藤 隆				
<p>授業概要 この講義では、情報処理に関する基本的なスキルを身に付けることを目的とする。PCを特別なものと意識することなく、道具として使いこなせるように道筋をたてて説明していく。成績は授業毎回の出席状況と課題報告提出とにより判断する。演習授業のため、欠席は3回を超えると単位を認めない。</p> <p>授業一般目標 大学教育を受ける上で最低限必要となってきた情報リテラシーを身に付け、さらに、経済学部生の専門教育面や社会人になってからも役立つと思われる情報処理能力を習得することを目指している。大学生活や授業で日常的に使える程度に、コミュニケーションや電子情報取得、論文やレポートの作成、簡易なビジネス用表の能力を習得出来たと判断出来る者に単位を認める。</p> <p>成績評価方法（総合） 宿題/授業外レポート = 60% 授業態度や授業への参加度 = 20% 演習 = 20% 未出席 = 欠格条件</p> <p>メッセージ パソコンは便利な道具だが、使いこなすのは学生諸君であるということを忘れないでいただきたい。つまり、「機械がやってくれる」のではなく、「機械をどう使うか」という意識をしっかりとって受講していただきたい。</p> <p>教官連絡先 thyodo@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	情報処理演習	区分	演習	開設期	前期
対象学生	経	単位	2 単位	曜時限	金曜日 7・8 時限
担当教官	藤田 智丈				
<p>授業概要 最近では高校卒業までの間にパソコンの基本的な操作は一通り習っているはずですが、大学では単に文書を作成するだけでなく、表計算ソフトで統計処理をしたり、プレゼンテーションソフトでプレゼンをしたりするなど、多様な使い方を身につける必要があります。この講義では、そのような利用の基礎となる使い方や考え方を身につけてもらうために、各自に演習してもらいながら授業を進めていきます。</p> <p>授業一般目標 2年生以降のゼミで必要となるパソコン処理の基礎を身につける。具体的には、インターネットで必要な情報を収集したり、それを文書としてまとめ、さらに自分の考えをプレゼンテーション資料として作成する。また表計算ソフトを用いて統計的な分析をできるようになる。</p> <p>成績評価方法 (総合) 授業中に提出してもらったミニ課題と、成績評価の中心となるレポート課題(おそらく3回)を考慮して成績評価をします。定期試験は行いません。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 指定無し / 参考書: ソフトの操作ガイドについては多くの書籍が出版されているので、必要であれば参考してください。</p>					

開設科目	情報処理演習	区分	演習	開設期	前期
対象学生	地球	単位	2 単位	曜時限	月曜日 9・10 時限
担当教官	宮田雄一郎				
<p>授業概要 初心者を対象に、コンピュータの基本的操作を学び、Windows およびその上で動作する種々のソフトウェアの使い、文書の作成・表計算ソフトの利用方法・情報社会でのインターネットの利用法などについてパソコンを使った実習を行う。</p> <p>授業一般目標 基本的なパソコンの使い方を身につけ、データの管理、文書や表の作成や、メールの送受信、および簡単な表計算が行えることを目標にする。</p> <p>成績評価方法 (総合) 毎回必ず出席し、全ての課題を達成し、提出を行っていることを単位習得の必要条件とする。受講態度および提出された課題により成績を評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 山口大学情報処理教育研究会編「情報処理入門」</p> <p>メッセージ 初回の授業には、ユーザー ID とパスワードが印刷されたカードを必ず持ってくること。</p> <p>教官連絡先 連絡先: e-mail you@yamaguchi-u.ac.jp, 理学部本館 345 号室 オフィスアワー: 随時</p> <p>備考 理学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 初期教育

分野 情報処理

科目類型 総説

開設科目	情報処理演習	区分	演習	開設期	前期
対象学生	生化	単位	2 単位	曜時限	木曜日 9・10 時限
担当教官	川俣純				
<p>授業概要 コンピュータの基本的操作方法を学び、Windows 上で動作する種々のソフトウェアの使い方、文書の作成、表計算の仕方、情報社会でのインターネットの利用法などについて実習を行う。</p> <p>授業一般目標 基本的なパソコンの使い方を身につけ、文書やプレゼンテーションの作成、表作成、表計算やメールの送受信、簡単なホームページの作成が行えることを目標にする。</p> <p>成績評価方法(総合) 課題や宿題の達成度により評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：適宜プリントを配布する。</p> <p>メッセージ 毎回必ず出席し、まじめに演習に取り組むこと。演習室での携帯電話の電源は必ず切ること。3 回以上欠席した場合は単位を認定しない。初回の授業には、ユーザー ID とパスワードが印刷されたカードを必ず持ってくること。</p> <p>教官連絡先 連絡先：理学部本館 434 号室 オフィスアワー：随時</p>					

系列 初期教育

分野 情報処理

科目類型 総説

開設科目	情報処理演習	区分	演習	開設期	前期
対象学生	数理	単位	2 単位	曜時限	火曜日 1・2 時限
担当教官	菊政 勲				
<p>授業概要 コンピュータに慣れさせ、コンピュータに触れる中で、高年次における情報処理教育や実社会に必要な基礎知識・技能を理解・修得させる。</p> <p>授業一般目標 コンピュータを使う上での基本操作や概念を理解する。コンピュータやネットワークについての基礎的な知識を習得するとともに、実際にソフトウェアを用い、様々な情報処理の技法を修得する。</p> <p>成績評価方法(総合) 出席、小テスト、期末試験、レポート等により総合的に判定する。これらは予定であり変更される可能性がある。なお、一定レベルのタイピングの能力を期末試験の受験資格とするので注意すること。</p> <p>教科書・参考書 教科書：授業時に指示する。</p> <p>メッセージ 毎回出席してコンピュータに触れる機会を多くしましょう。</p> <p>教官連絡先 理学部本館 1 階 1 4 5 号室</p>					

開設科目	情報処理演習	区分	演習	開設期	前期
対象学生	物情	単位	2 単位	曜時限	水曜日 9・10 時限
担当教官	浦上直人				
<p>授業概要 初心者を対象に、コンピュータの基本的操作を習得する。</p> <p>授業一般目標 基本的なパソコンの使い方を身につけ、簡単な文書の作成、WEB ページの作成、メールの設定などを行えるようにする。また、unix の基本コマンドを身につけ、Windows 以外の OS の操作を体験する。</p> <p>成績評価方法 (総合) 授業の出席と課題提出</p> <p>教科書・参考書 教科書：「情報処理入門」山口大学情報処理教育研究会編</p> <p>メッセージ 毎回必ず出席し、まじめに演習に取り組むこと。演習室での携帯電話の電源は必ず切ること。全授業回数のうち3分の2以上出席し、課題の提出を行っていることを単位 習得の必要条件とする。 初回の授業には、ユーザー ID とパスワードが印刷されたカードを必ず持ってくること。</p> <p>教官連絡先 urakami@sci.yamaguchi-u.ac.jp 理学部本館 333 号室</p>					

開設科目	情報処理演習	区分	演習	開設期	前期
対象学生	医学 (1-43)	単位	2 単位	曜時限	火曜日 3・4 時限
担当教官	奥田昌之				
<p>授業概要 高等教育や業務などにおいてパソコン、インターネットの活用が一般的に求められるようになっている。さらにネットワーク上の情報交換は広く日常的になっており、パソコンの基本動作、基本的なソフトの活用は必須となっている。パソコンおよびその上で使われる基本的ソフトの使い方を修得し、情報ネットワークに対応できる知識、およびツールを学び、電子情報の活用の基本を身につける。</p> <p>授業一般目標 パソコンの使用方法、ワープロ、表計算、プレゼンテーションソフトの基本的な使い方、インターネット上で用いる基本ツールの利用方法、ネットワークの仕組みについて修得する。</p> <p>成績評価方法 (総合) 演習中の積極性、態度および、レポート、発表により評価します。演習のため、遅刻するとそれまでの部分がわからなくなりますので注意して下さい。レポートにおいては、他者のコピーとわかるものはいずれも0点と評価します。、演習 = 欠格条件 出席 = 欠格条件</p> <p>教科書・参考書 教科書：演習の内容により、必要に応じて資料を配布する。</p> <p>メッセージ 講義時間を有効に活用して、基本ソフトの使い方をマスターください。また、ネットワーク環境など大学であるからこそ使いやすい機能と危険性を理解してください。出席は必ずしてください。理解度、レポート、作成したものを評価対象とします。</p> <p>教官連絡先 E-mail : okuda@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

系列 初期教育

分野 情報処理

科目類型 総説

開設科目	情報処理演習	区分	演習	開設期	前期
対象学生	医学 (44-)	単位	2 単位	曜時限	火曜日 3・4 時限
担当教官	唐澤肇				
<p>授業概要 現代社会において、パソコンやインターネットを利用できるという能力はもはや特別な ものではなくなり、むしろ全ての人間にとって必要不可欠なものとなってきている。この講義では、学生個人のパソコンをネットワークに接続させ、それを使った実習を通してパソコンやネットワークの基本的な仕組みと利用方法、また、ネットワーク上でのモラルについて説明する。講義と実習の難易度は初級～中級者レベルで行なう。</p> <p>授業一般目標 ネットワークの仕組みを理解し、ネットワークの利用法を修得する。さらに、ネットワーク上のモラルを理解する。また、パソコンの初歩的使用法を修得する。</p> <p>成績評価方法 (総合) 各回の課題・レポートにて実習内容の要素毎の理解度・達成度を判断、最終レポートにて総合的理解度を判断する。遅刻、早退および課題の提出期限遅れは減点する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：必要に応じて資料を配布する。 / 参考書：情報処理入門, 山口大学情報処理研究会, ; WEB 情報処理テキスト</p> <p>メッセージ 授業の際は必ずノートパソコンを持参すること。課題およびレポートは必ず提出すること。期末試験は行なわない。</p> <p>教官連絡先 E-mail:kara@yamaguchi-u.ac.jp URL:http://web.cc.yamaguchi-u.ac.jp/ kara/index.html</p>					

系列 初期教育

分野 情報処理

科目類型 総説

開設科目	情報処理演習	区分	演習	開設期	前期
対象学生	看護 (1-60)	単位	2 単位	曜時限	木曜日 7・8 時限
担当教官	篠原				
<p>授業概要 大学生活はもちろんのこと、実社会、家庭においてもコンピュータを「電子文房具」として扱うことが当然のことのようになっている。ワープロソフトを使った文書作成、表計算ソフトを使ったデータ処理、メールや WWW を通じて情報のやりとり。本授業を通じてこのような能力「情報リテラシー」を身につけてもらいたい。ワードプロセッサ、表計算ソフト、メールソフトの使いかたを解説し、数多くの実践的課題をこなしてもらおう。</p> <p>授業一般目標 1. メールやりとりができる 2. ワープロソフトを使って、文書が作成できる 3. 表計算ソフトを使ってデータの加工、グラフ化ができる 4. インターネットから必要な情報を引出すことができる。またインターネットに自分の考えを発信することができる 5. セキュリティやネチケットに関する問題を指摘することができる</p> <p>教科書・参考書 参考書：参考:web 版情報処理テキスト http://mis.edu.yamaguchi-u.ac.jp/daikyo/gakunai/web_text/ そのほか、市販のワード、エクセルのテキスト 資料は授業中適宜配布</p> <p>教官連絡先 課題: 篠原紀幸 http://ds.cc.yamaguchi-u.ac.jp/nshino (提出先: soarer@yamaguchi-u.ac.jp)</p>					

開設科目	情報処理演習	区分	演習	開設期	前期
対象学生	看護(61-), 検査	単位	2 単位	曜時限	木曜日 5・6 時限
担当教官	篠原				
<p>授業概要 大学生生活はもちろんのこと、実社会、家庭においてもコンピュータを「電子文房具」として扱うことが当然のことのようになっている。ワープロソフトを使った文書作成、表計算ソフトを使ったデータ処理、メールや WWW を通じて情報のやりとり。本授業を通じてこのような能力「情報リテラシー」を身につけてもらいたい。ワードプロセッサ、表計算ソフト、メールソフトの使いかたを解説し、数多くの実践的課題をこなしてもらおう。</p> <p>授業一般目標 1. メールやりとりが出来る 2. ワープロソフトを使って、文書が作成できる 3. 表計算ソフトを使ってデータの加工、グラフ化が出来る 4. インターネットから必要な情報を引出すことが出来る。またインターネットに自分の考えを発信することが出来る 5. セキュリティやネチケットに関する問題を指摘することができる</p> <p>教科書・参考書 参考書：参考:web 版情報処理テキスト http://mis.edu.yamaguchi-u.ac.jp/daikyo/gakunai/web_text/ そのほか、市販のワード、エクセルのテキスト 資料は授業中適宜配布</p> <p>教官連絡先 課題: 篠原紀幸 http://ds.cc.yamaguchi-u.ac.jp/nshino (提出先: soarer@yamaguchi-u.ac.jp)</p>					

開設科目	情報処理演習	区分	演習	開設期	前期
対象学生	機械	単位	2 単位	曜時限	月曜日 5・6 時限
担当教官	渡邊哲陽				
<p>授業概要 インターネットによって雑多な情報が広範囲かつ瞬時に伝わるようになり、必要な情報を探し出す技能や、得た情報を適切に加工し表現する技能を身につけることが求められており、工学分野では道具としてのコンピュータ利用が日常茶飯事である。この授業では、そこで問題となるセキュリティ、ネチケットの理解およびコンピュータ利用技術を身につけることを目的として、WEB ブラウザ、ワードプロセッサ、プレゼンテーションソフト、表計算ソフトの利用法について説明し、実際にその活用法について演習を行う。</p> <p>授業一般目標 コンピュータの基本操作、続いて日本語入力およびワープロ操作について学ぶ。パスワード管理の重要性を認識した上で、電子メールやインターネットの活用法を学び、ネチケット(ネットワーク・エチケット)を習得する。パワーポイントによる自己紹介を実施し、プレゼンテーション法の習得と、プレゼンテーション能力を養う。学習や研究に必要なソフトウェアの利用法を学ぶ。</p> <p>成績評価方法(総合) 小テスト/授業内レポート = 20% , 宿題/授業外レポート = 20% , 授業態度や授業への参加度 = 20% , 受講者の発表(プレゼン)や授業内での製作作業(作品) = 20% , 演習 = 20% で評価する。出席は欠格条件。</p> <p>教科書・参考書 教科書：情報処理テキスト(web 版)を利用する。</p> <p>メッセージ コンピューターは道具であり、その利用法の習得には自分で作業を試みるしかないので、積極的な受講態度で臨むこと</p> <p>教官連絡先 渡邊哲陽 E-mail: t-wata@yamaguchi-u.ac.jp 安田利貴 E-mail: tyasuda@yamaguchi-u.ac.jp</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	情報処理演習	区分	演習	開設期	前期
対象学生	電気	単位	2 単位	曜時間	月曜日 7・8 時限
担当教官	羽野光夫、甲斐綾子				
<p>授業概要 (1) パソコンの基本操作 - コンピュータ初心者を想定したパソコン入門編である。パソコンの立ち上げから始めて、メール、インターネットや、ワープロ (Word) と表計算ソフト (Excel) の演習を行う。(2)UNIX コマンドの体験 - Windows と共に代表的なオペレーティングシステム (コンピュータの基本ソフト) である UNIX を利用する。telnet により UNIX システムにログインし、基本 コマンドを入力する。(3) C 言語プログラミング - 標準的なプログラミング言語である C 言語を用いて、プログラムを作成・コンパイルして実行する。判断と分岐や繰り返しの処理など、ごく基本的な内容をプログラミングする。</p> <p>授業一般目標 本演習の目標は、パソコンを携帯電話と同じように身近な道具として違和感なく利用できるようになることである。本演習を通して、情報処理技術 (ハード・ソフトの操作とプログラム作成) の基礎を身につける。「習うより慣れよ」を肝要とし、課題演習に重点を置いて授業を進める。</p> <p>成績評価方法 (総合) 小テストあるいは授業外レポート (30%)、中間試験 (30%)、期末試験 (40%) による 総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書: ザ・C, 戸川隼人, サイエンス社, 1997 年</p> <p>メッセージ 現在、PC を使わないですむ仕事は殆どありません。これからの自分のために、授業で課されたレポートは、必ず自分で演習して、全部提出すること。ティーチングアシスタントもいるので、わからないところは聞いて、自分のパソコン力を向上させることが一番重要です。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	情報処理演習	区分	演習	開設期	前期
対象学生	感性	単位	2 単位	曜時間	水曜日 3・4 時限
担当教官	水上嘉樹、山本正幸				
<p>授業概要 この講義は、現代の科学技術を支える情報処理の入門として位置付けられています。感性デザイン工学を専門として勉学する皆さんには、建築デザイン、映像情報デザインあるいは感性工学いずれの分野に進んだとしても、コンピュータの基本的な知識や操作方法、種々のソフトウェアを使いこなす力が必要となります。</p> <p>授業一般目標 CAD、CGあるいはプログラミングによる高度なコンピュータ利用への第一段階として、パソコンの構造、基本ソフト (OS) の概念、情報理論の基礎、及びアプリケーションソフトとしてのパワーポイントを用いたプレゼンテーションの基本を学びます。また、世界中に広がったコンピュータネットワーク (WWW) を利用するマナー、電子メールの利用法、そして簡単なプログラミングの考え方について基本を学びます。大切なのは、自分の手で一つ一つ覚えていくことです。各人1台購入するノートパソコンを最大限活用し、皆さんの最大の武器となるよう努力して下さい。</p> <p>成績評価方法 (総合) 中間試験と期末試験により判定する。ただし、出席点を20%考慮する。</p> <p>メッセージ 授業中だけでなく、毎日コンピュータと仲良くして下さい。</p> <p>教官連絡先 長篤志: E-mail osaa@yamaguchi-u.ac.jp</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 初期教育

分野 情報処理

科目類型 総説

開設科目	情報処理演習	区分	演習	開設期	前期
対象学生	循環	単位	2 単位	曜時間	水曜日 3・4 時限
担当教官	田中一宏、小淵茂寿				
<p>授業概要 コンピュータを利用して情報を作成、または取得し、編集して表現する方法を学習する。ここでは「文具としてのコンピュータ」の使用方法を学ぶ。具体的には、日本語入力などのワードプロセッシング、基礎的な科学技術計算に用いる表計算とグラフ表示、電子メール、口頭発表に用いるプレゼンテーションソフトの使い方を学習する。また、情報通信ネットワークやマルチメディアが普及した社会における情報の種類、検索方法、活用方法などを学び、同時に情報倫理を学習する。</p> <p>授業一般目標 コンピュータを利用して情報を作成、または取得し、編集して表現できる。(1)ワープロソフトを使って日本語入力ができる。(2)表計算ソフトを使って基礎的な科学技術計算ができ、グラフ表示もできる。(3)電子メールを送受信できる。(4)プレゼンテーションソフトを使って口頭発表ができる。(5)マルチメディア社会における情報の種類、検索、活用方法などを知る。(6)ネットワーク社会のルールを知ると同時に、その利便と危険を知る。</p> <p>成績評価方法(総合) 小テスト・授業内レポート、宿題・授業外レポート、演習および授業参加度を総合的に評価します。</p> <p>教科書・参考書 教科書：情報処理テキスト WEB 版、情報処理部会、, 2005 年; http://ds0.cc.yamaguchi-u.ac.jp/epc2/gakunai/info_text_2005_full/</p> <p>メッセージ 情報処理技術は大学でも就職後も重要です。しっかり予習・復習して、実力をつけましょう。いろいろな授業の中や授業外の課題でノートパソコンを活用して下さい。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 初期教育

分野 情報処理

科目類型 総説

開設科目	情報処理演習	区分	演習	開設期	前期
対象学生	知能	単位	2 単位	曜時間	木曜日 5・6 時限
担当教官	庄野 逸				
<p>授業概要 コンピュータとインターネットは広く社会や家庭にも普及し、日々の仕事や生活に欠かせないものとなっている。この演習では工学部で共同購入を勧めているノートパソコンと演習室の PC を併用し、学部 4 年間を通じた計算機の使い方を学ぶ。学内ネットワークへの接続、電子メールの使い方、情報検索の方法等をリテラシーとして実践的に学び、講義の後半は Linux システムについての基礎的な使い方に関して学ぶ</p> <p>授業一般目標 ノートパソコンを情報コンセントに接続してメールの送受信、ネットワークの検索ができる。パソコンによる文書作成、図表作成、ファイル管理がスムーズにできる。ネットワークの仕組みの基本を理解し、セキュリティと情報倫理に十分留意した行動がとれる。Linux のファイルシステムを理解し、簡単なコマンドやエディタの操作ができる。</p> <p>成績評価方法(総合) 演習レポート 90%、授業態度など 10%により総合評価する。なお、80%以上の出席が成績評価の必要条件である。</p> <p>教科書・参考書 教科書：WEB 情報処理テキスト 2007 年度版、, 2004 年; はねひでや氏 "Linux Personal Workstation" の PDF ファイルを配布します。</p> <p>メッセージ コンピュータを使い慣れている学生は、WEB テキスト等を活用して、自学自習によりさらに高い知識技術を身につけてほしい。また、クラスには初心者もいるので、助け合って学びましょう。</p> <p>教官連絡先 大学院医学系研究科 庄野 逸 0836-85-9513 shouno@yamaguchi-u.ac.jp</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	情報処理演習	区分	演習	開設期	前期
対象学生	社建	単位	2 単位	曜時限	木曜日 5・6 時限
担当教官	榊原弘之				
<p>授業概要 道具としてのコンピュータおよびネットワーク利用の観点から、ノートパソコンの基本操作、ワードプロセッシング、表計算、プレゼンテーション、ファイル管理、およびネットワークを利用した電子メール、ブラウザを利用した様々な情報入手方法の実習を中心に講義する。</p> <p>授業一般目標 道具としてのコンピュータおよびネットワーク利用の観点から、ノートパソコンの基本操作、ワードプロセッシング、表計算、プレゼンテーション、ファイル管理、およびネットワークを利用した電子メール、ブラウザを利用した様々な情報入手方法の修得し、道具としてのコンピュータを使いこなすことができるようになる。この科目は社会建設工学科 社会建設工学コース及び東アジア国際コースの以下の学習・教育目標に対応する。(A) 確かな基礎力を有する技術者を目指して以下の能力を身につける。A-1 数学、自然科学、情報処理の基礎力</p> <p>成績評価方法(総合) 1. 演習講義には毎回出席し課題をすべて提出すること(出席は欠格条件です。ただし、病気などやむを得ない理由で欠席した場合には必ず次の講義時に欠席届を提出し、指示(欠席分に相当する課題を課す)を受けること。) 2. 期末試験で、「ワード文書、エクセルのグラフが作成でき、グラフをワード文書に貼り付けることができる」ことを、単位認定の必要条件とする。その上で、授業内課題を 60%、期末試験を 40%として全体で 6 割以上の得点であることを、単位認定の条件とする。</p> <p>教科書・参考書 教科書: ホームページ上で公開されている、山口大学の情報処理テキストを使います。/ 参考書: 適宜プリントを配布します。</p> <p>メッセージ ・この講義には、ノートパソコンが必要です。・いろいろな機能について、実際に試して、体得して下さい。</p> <p>教官連絡先 榊原: sakaki@yamaguchi-u.ac.jp</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	情報処理演習	区分	演習	開設期	前期
対象学生	生資	単位	2 単位	曜時限	月曜日 9・10 時限
担当教官	鈴木賢士				
<p>授業概要 現代の高度情報化社会においては、インターネット等のネットワークが急速に広まり、コンピュータの利用は必要不可欠のものになっている。また、高年次の専門課程においては実験、観測、調査によって取得したデータの解析、その解析結果の可視化が重要になってくる。このためにはコンピュータは必要不可欠なツールであり、この授業ではネットワークの利用ならびにコンピュータによる分析、解析や報告書の作成を念頭におき、ネットワーク環境下のパソコンを使用しながら授業を進める。ただし、生物機能科学科クラスと一緒に習熟度に応じて再度クラス編成を行う場合がある。</p> <p>授業一般目標 情報処理に関する基礎知識、技術・手法の習得、またコンピュータネットワークの基礎的視知識とその利用方法を習得する。</p> <p>成績評価方法(総合) 項目ごとの課題提出、レポート、出席および期末課題により評価を行う。</p> <p>教官連絡先 E-mail: kenis@yamaguchi-u.ac.jp オフィスアワー: 随時</p>					

開設科目	情報処理演習	区分	演習	開設期	前期
対象学生	生機	単位	2 単位	曜時限	月曜日 9・10 時限
担当教官	荊木康臣				
<p>授業概要 情報処理に関する基礎知識および技術の修得、主にコンピュータとインターネットの利用に関する基礎的な技術の修得を目的とする。コンピュータおよびインターネットの利用は、高年次の専門課程での学習、研究における情報収集、データ解析、レポート作成等に不可欠である。本講義では、ワープロソフト、表計算ソフト、翻訳ソフト、プレゼンテーション用ソフトを実際に利用し課題をこなしていく過程で、学習、研究の場面でコンピュータ利用に関する実践的な能力を身につけていく。なお途中で、生物資源環境科学科と共に、習熟度に応じたクラス再編成を行う場合がある。</p> <p>授業一般目標 情報処理に関する基礎知識および技術、主にコンピュータとインターネットの利用に関する基礎的な技術を修得する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：資料は授業時に配布します。</p> <p>メッセージ 毎回ノートパソコンを使用します。</p> <p>教官連絡先 ibaraki@yamaguchi-u.ac.jp 研究室：総合研究棟 2 階 206 号室または農学部 1 階 131 号室 オフィスアワー：随時</p>					

開設科目	情報処理演習	区分	演習	開設期	前期
対象学生	獣医	単位	2 単位	曜時限	火曜日 5・6 時限
担当教官	山根 悟				
<p>授業概要 パソコンの操作を基礎から応用までを修得する。Windowsの基礎、タイプ練習、日本語入力、表計算ソフト(Excel)をデータ入力し、関数の使用方法やデータの分析の方法などを基礎から応用まで学習する。また、プレゼンテーション用ソフトを利用し、インターネットからの情報を取り入れ、実際に発表する。キーワード パソコンの基礎から応用、タイプ練習、Windows、表計算</p> <p>授業一般目標 表計算ソフト(Excel)を使用した検定試験の模擬試験を行い、受講者全員が情報処理検定2級程度の資格を取れるように演習を行う。学生生活でも社会に入ってから役に立つパソコンの操作方法を修得する。</p> <p>成績評価方法(総合) 模擬検定試験を2回行い、この正確性と迅速性で評価する。プレゼンテーションの表現方法や独創性、積極性で評価点を付加する。</p>					

系列 初期教育

分野 日本事情

科目類型 総説

開設科目	日本事情中級A	区分	講義	開設期	前期
対象学生	外国人留学生	単位	2 単位	曜時限	月曜日 3・4 時限
担当教官	赤木弥生				
<p>授業概要 日本の風俗習慣、文化、社会、日本人の行動様式について理解を深める。現代の日本の社会事情と自国の事情と対照させ、文化背景について考え、文化理解を図る。日本の社会で自立して生活、勉強するための判断能力を養成する。また、山口県の固有の文化や歴史について学ぶ。</p> <p>授業一般目標 日本の生活や社会についての知識を増やし、日本で自立し、生活できるようにする。また、日本文化やお互いの文化理解を通して、地球的な視点で日本文化や自国文化を見る姿勢を養う。さらに地球社会の多様な文化を理解するための相対的な文化の見方を培い、グローバルな視点に立ったコミュニケーション能力を養成する。</p> <p>成績評価方法 (総合) 出席、小テスト、レポート、発表</p> <p>教科書・参考書 参考書：留学生のための日本史(東京外国語大学編)山川出版社</p> <p>メッセージ グローバルな視点から日本の文化、お互いの文化について学びましょう。</p> <p>教官連絡先 共通教育棟 号室、Tel. (083)933-5986 オフィスアワー 火曜日 15:00-16:00</p>					

系列 初期教育

分野 日本事情

科目類型 総説

開設科目	日本事情A	区分	講義	開設期	前期
対象学生	外国人留学生	単位	2 単位	曜時限	水曜日 3・4 時限
担当教官	門脇 薫				
<p>授業概要 中級前半レベルを終了した人を対象にします。 様々なテーマについて自分の国と他の国(日本も含む)と比較しながら、自分の 意見を日本語で表現できるような練習をします。</p> <p>授業一般目標 *テーマに関連する読み物や資料を参考にして、自分の意見が表現できる。(ディスカッション、発表、作文等) *自国と他の国について比較でき、考察できる。 *必要な情報について自分で調べることができる。</p> <p>成績評価方法 (総合) *テーマごとの課題 *発表 *レポート</p> <p>教科書・参考書 教科書：トピックによる日本語総合演習, 安藤節子他, スリーエーネットワーク, 2001 年; 映画でジャパニーズ, 窪田守弘他, 南雲堂フェニックス, 2004 年</p> <p>教官連絡先 kkaoru@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	日本事情上級A	区分	講義	開設期	前期
対象学生	外国人留学生	単位	2 単位	曜時限	水曜日 5・6 時限
担当教官	杉原道子				
<p>授業概要 現代日本社会の問題について、教科書、新聞、テレビの報道番組などを教材に分析する。学習者間で意見交換を行い、各国と比較しながら、日本社会への理解を深めるのみならず、異文化理解を深める。</p> <p>授業一般目標 1. 新聞記事を読むことができ、要旨をまとめ、各自の意見が述べられる。 2. 各テーマについてディスカッションやディベートができる。</p> <p>成績評価方法 (総合) 期末レポートとプレゼンテーションで評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 日本への招待, 近藤安月子 丸山千歌, 東京大学出版会, 2003 年</p> <p>メッセージ 日本社会への理解を深める良い機会となります。</p> <p>教官連絡先 メールアドレス: michikos@yamaguchi-u.ac.jp 電話番号: 9 3 3 - 5 9 8 5 オフィスアワー: 月曜日、15:00~</p>					

前期 - 外国語教育系列（英語）

開設科目	TOEIC 準備	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	学教(教科(国・社・数・理・音))	単位	1 単位	曜時限	月曜日 5・6 時限
担当教官	太田聡				
<p>授業概要 この授業では、TOEIC テストを用いて実践的な英語でのコミュニケーション能力を自己確認する。そのために、TOEIC テストの全貌について学び、その受験技術とテストで用いられるコミュニケーションのための実用文(話し言葉、書き言葉)に慣れる。TOEIC テストは「聞く」「読む」という2つのスキルについてのみ実施されるが、他の「話す」「書く」というスキルも間接的なスキルとして評価される。TOEIC テストの最初の半分が 45 分の Listening Comprehension に当てられるため、特にこの授業では聞き取りに力を入れる。</p> <p>授業一般目標 (1) TOEIC テストの出題形式に慣れ、パートごとに問題への対応の仕方を理解する。特に、スピーディーな英語を聞き取り、情報を処理することに慣れる。(2) 自習課題を通して、「自学自習」の習慣を身につける。Listening Comprehension に慣れるため、自習課題を通して、少なくとも週 6 日 1 日 1 時間の英語の「自学自習」の習慣を身につける。(3) 自習課題の成績や、TOEIC の各パートの正答率などをもとに自己の英語力を確認し、受講者自ら 6 月 TOEIC IP テストでの目標点を設定する。</p> <p>成績評価方法(総合) ・2 回以上(欠席届による公欠を含む)欠席した学生の成績は不可となる。・自習課題ノートオンライン版(Daily Workout for Circuit Training for the TOEIC Test)の実行状況・達成率を評点に換算する(より詳しくは、授業時に説明する)。・TOEIC IP 試験を受験しなかった学生は、成績保留となる(この授業科目に関しては、TOEIC の得点による単位認定は行われない)。・自習課題ノート以外の課題を宿題として課すこともある。その場合には、その課題の提出も評価の対象となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Intensive Training for the TOEIC Test(TOEIC テスト インテンシブ トレーニング), Mitsuyasu Miyazaki & Milada Broukal, Seibido, 2007 年 / 参考書: TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版, The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2000 年; TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版 (Vol.2), The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2002 年; TOEIC テスト新公式問題集, Educational Testing Service, 国際ビジネスコミュニケーション協会, 2006 年; 英会話教育チャンネル「GLC 英会話」、ネット放送局「BBC ニュース、CNN ニュース」など(利用法については、図書館の利用者サービス係・情報サービス係へ)</p> <p>メッセージ ・この授業は忙しい授業です。そのため、教科書の説明は予習しておいてください。・この授業の「目的」「意義」をよく理解して授業に臨んでください。・遅刻をしないでください。</p> <p>教官連絡先 ohta@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	TOEIC 準備	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	学教(教科(美・保・技・家・英)・幼児)	単位	1 単位	曜時限	月曜日 5・6 時限
担当教官	皆尾麻弥				
<p>授業概要 この授業では、TOEIC テストを用いて実践的な英語でのコミュニケーション能力を自己確認する。そのために、TOEIC テストの全貌について学び、その受験技術とテストで用いられるコミュニケーションのための実用文(話し言葉、書き言葉)に慣れる。TOEIC テストは「聞く」「読む」という2つのスキルについてのみ実施されるが、他の「話す」「書く」というスキルも間接的なスキルとして評価される。TOEIC テストの最初の半分が 45 分の Listening Comprehension に当てられるため、特にこの授業では聞き取りに力を入れる。</p> <p>授業一般目標 (1) TOEIC テストの出題形式に慣れ、パートごとに問題への対応の仕方を理解する。特に、スピーディーな英語を聞き取り、情報を処理することに慣れる。(2) 自習課題を通して、「自学自習」の習慣を身につける。Listening Comprehension に慣れるため、自習課題を通して、少なくとも週 6 日 1 日 1 時間の英語の「自学自習」の習慣を身につける。(3) 自習課題の成績や、TOEIC の各パートの正答率などをもとに自己の英語力を確認し、受講者自ら 6 月 TOEIC IP テストでの目標点を設定する。</p> <p>成績評価方法(総合) ・2 回以上(欠席届による公欠を含む)欠席した学生の成績は不可となる。・自習課題ノートオンライン版(Daily Workout for Circuit Training for the TOEIC Test)の実行状況・達成率を評点に換算する(より詳しくは、授業時に説明する)。・TOEIC IP 試験を受験しなかった学生は、成績保留となる(この授業科目に関しては、TOEIC の得点による単位認定は行われない)。・自習課題ノート以外の課題を宿題として課すこともある。その場合には、その課題の提出も評価の対象となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Intensive Training for the TOEIC Test(TOEIC テスト インテンシブ トレーニング), Mitsuyasu Miyazaki & Milada Broukal, Seibido, 2007 年 / 参考書: TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版, The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2000 年; TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版 (Vol.2), The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2002 年; TOEIC テスト新公式問題集, Educational Testing Service, 国際ビジネスコミュニケーション協会, 2006 年; 英会話教育チャンネル「GLC 英会話」、ネット放送局「BBC ニュース、CNN ニュース」など(利用法については、図書館の利用者サービス係・情報サービス係へ)</p> <p>メッセージ ・この授業は忙しい授業です。そのため、教科書の説明は予習しておいてください。・この授業の「目的」「意義」をよく理解して授業に臨んでください。・遅刻をしないでください。</p> <p>教官連絡先 minao@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	TOEIC 準備	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	学教(障害・国理)・実践	単位	1 単位	曜時限	月曜日 5・6 時限
担当教官	猫田和明				
<p>授業概要 この授業では、TOEIC テストを用いて実践的な英語でのコミュニケーション能力を自己確認する。そのために、TOEIC テストの全貌について学び、その受験技術とテストで用いられるコミュニケーションのための実用文(話し言葉、書き言葉)に慣れる。TOEIC テストは「聞く」「読む」という2つのスキルについてのみ実施されるが、他の「話す」「書く」というスキルも間接的なスキルとして評価される。TOEIC テストの最初の半分が 45 分の Listening Comprehension に当てられるため、特にこの授業では聞き取りに力を入れる。</p> <p>授業一般目標 (1) TOEIC テストの出題形式に慣れ、パートごとに問題への対応の仕方を理解する。特に、スピーディーな英語を聞き取り、情報を処理することに慣れる。(2) 自習課題を通して、「自学自習」の習慣を身につける。Listening Comprehension に慣れるため、自習課題を通して、少なくとも週 6 日 1 日 1 時間の英語の「自学自習」の習慣を身につける。(3) 自習課題の成績や、TOEIC の各パートの正答率などをもとに自己の英語力を確認し、受講者自ら 6 月 TOEIC IP テストでの目標点を設定する。</p> <p>成績評価方法(総合) ・2 回以上(欠席届による公欠を含む)欠席した学生の成績は不可となる。・自習課題ノートオンライン版(Daily Workout for Circuit Training for the TOEIC Test)の実行状況・達成率を評点に換算する(より詳しくは、授業時に説明する)。・TOEIC IP 試験を受験しなかった学生は、成績保留となる(この授業科目に関しては、TOEIC の得点による単位認定は行われない)。・自習課題ノート以外の課題を宿題として課すこともある。その場合には、その課題の提出も評価の対象となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Intensive Training for the TOEIC Test(TOEIC テスト インテンシブ トレーニング), Mitsuyasu Miyazaki & Milada Broukal, Seibido, 2007 年 / 参考書: TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版, The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2000 年; TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版 (Vol.2), The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2002 年; TOEIC テスト新公式問題集, Educational Testing Service, 国際ビジネスコミュニケーション協会, 2006 年; 英会話教育チャンネル「GLC 英会話」、ネット放送局「BBC ニュース、CNN ニュース」など(利用法については、図書館の利用者サービス係・情報サービス係へ)</p> <p>メッセージ ・この授業は忙しい授業です。そのため、教科書の説明は予習しておいてください。・この授業の「目的」「意義」をよく理解して授業に臨んでください。・遅刻をしないでください。</p> <p>教官連絡先 nekoda@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	TOEIC 準備	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	情報	単位	1 単位	曜時限	月曜日 5・6 時限
担当教官	高橋俊章				
<p>授業概要 この授業では、TOEIC テストを用いて実践的な英語でのコミュニケーション能力を自己確認する。そのために、TOEIC テストの全貌について学び、その受験技術とテストで用いられるコミュニケーションのための実用文(話し言葉、書き言葉)に慣れる。TOEIC テストは「聞く」「読む」という2つのスキルについてのみ実施されるが、他の「話す」「書く」というスキルも間接的なスキルとして評価される。TOEIC テストの最初の半分が 45 分の Listening Comprehension に当てられるため、特にこの授業では聞き取りに力を入れる。</p> <p>授業一般目標 (1) TOEIC テストの出題形式に慣れ、パートごとに問題への対応の仕方を理解する。特に、スピーディーな英語を聞き取り、情報を処理することに慣れる。(2) 自習課題を通して、「自学自習」の習慣を身につける。Listening Comprehension に慣れるため、自習課題を通して、少なくとも週 6 日 1 日 1 時間の英語の「自学自習」の習慣を身につける。(3) 自習課題の成績や、TOEIC の各パートの正答率などをもとに自己の英語力を確認し、受講者自ら 6 月 TOEIC IP テストでの目標点を設定する。</p> <p>成績評価方法(総合) ・2 回以上(欠席届による公欠を含む)欠席した学生の成績は不可となる。・自習課題ノートオンライン版(Daily Workout for Circuit Training for the TOEIC Test)の実行状況・達成率を評点に換算する(より詳しくは、授業時に説明する)。・TOEIC IP 試験を受験しなかった学生は、成績保留となる(この授業科目に関しては、TOEIC の得点による単位認定は行われない)。・自習課題ノート以外の課題を宿題として課すこともある。その場合には、その課題の提出も評価の対象となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Intensive Training for the TOEIC Test(TOEIC テスト インテンシブ トレーニング), Mitsuyasu Miyazaki & Milada Broukal, Seibido, 2007 年 / 参考書: TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版, The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2000 年; TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版 (Vol.2), The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2002 年; TOEIC テスト新公式問題集, Educational Testing Service, 国際ビジネスコミュニケーション協会, 2006 年; 英会話教育チャンネル「GLC 英会話」、ネット放送局「BBC ニュース、CNN ニュース」など(利用法については、図書館の利用者サービス係・情報サービス係へ)</p> <p>メッセージ ・この授業は忙しい授業です。そのため、教科書の説明は予習しておいてください。・この授業の「目的」「意義」をよく理解して授業に臨んでください。・遅刻をしないでください。</p> <p>教官連絡先 bld10@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	TOEIC 準備	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	健康	単位	1 単位	曜時限	月曜日 5・6 時限
担当教官	岩部浩三				
<p>授業概要 この授業では、TOEIC テストを用いて実践的な英語でのコミュニケーション能力を自己確認する。そのために、TOEIC テストの全貌について学び、その受験技術とテストで用いられるコミュニケーションのための実用文(話し言葉、書き言葉)に慣れる。TOEIC テストは「聞く」「読む」という2つのスキルについてのみ実施されるが、他の「話す」「書く」というスキルも間接的なスキルとして評価される。TOEIC テストの最初の半分が 45 分の Listening Comprehension に当てられるため、特にこの授業では聞き取りに力を入れる。</p> <p>授業一般目標 (1) TOEIC テストの出題形式に慣れ、パートごとに問題への対応の仕方を理解する。特に、スピーディーな英語を聞き取り、情報を処理することに慣れる。(2) 自習課題を通して、「自学自習」の習慣を身につける。Listening Comprehension に慣れるため、自習課題を通して、少なくとも週 6 日 1 日 1 時間の英語の「自学自習」の習慣を身につける。(3) 自習課題の成績や、TOEIC の各パートの正答率などをもとに自己の英語力を確認し、受講者自ら 6 月 TOEIC IP テストでの目標点を設定する。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・ 2 回以上(欠席届による公欠を含む)欠席した学生の成績は不可となる。・自習課題ノートオンライン版(Daily Workout for Circuit Training for the TOEIC Test)の実行状況・達成率を評点に換算する(より詳しくは、授業時に説明する)。・TOEIC IP 試験を受験しなかった学生は、成績保留となる(この授業科目に関しては、TOEIC の得点による単位認定は行われない)。・自習課題ノート以外の課題を宿題として課すこともある。その場合には、その課題の提出も評価の対象となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Intensive Training for the TOEIC Test(TOEIC テスト インテンシブ トレーニング), Mitsuyasu Miyazaki & Milada Broukal, Seibido, 2007 年 / 参考書: TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版, The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2000 年; TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版 (Vol.2), The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2002 年; TOEIC テスト新公式問題集, Educational Testing Service, 国際ビジネスコミュニケーション協会, 2006 年; 英会話教育チャンネル「GLC 英会話」、ネット放送局「BBC ニュース、CNN ニュース」など(利用法については、図書館の利用者サービス係・情報サービス係へ)</p> <p>メッセージ ・この授業は忙しい授業です。そのため、教科書の説明は予習しておいてください。・この授業の「目的」「意義」をよく理解して授業に臨んでください。・遅刻をしないでください。</p> <p>教官連絡先 iwabe@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	TOEIC 準備	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	総文	単位	1 単位	曜時限	月曜日 5・6 時限
担当教官	武井暁子				
<p>授業概要 この授業では、TOEIC テストを用いて実践的な英語でのコミュニケーション能力を自己確認する。そのために、TOEIC テストの全貌について学び、その受験技術とテストで用いられるコミュニケーションのための実用文(話し言葉、書き言葉)に慣れる。TOEIC テストは「聞く」「読む」という2つのスキルについてのみ実施されるが、他の「話す」「書く」というスキルも間接的なスキルとして評価される。TOEIC テストの最初の半分が 45 分の Listening Comprehension に当てられるため、特にこの授業では聞き取りに力を入れる。</p> <p>授業一般目標 (1) TOEIC テストの出題形式に慣れ、パートごとに問題への対応の仕方を理解する。特に、スピーディーな英語を聞き取り、情報を処理することに慣れる。(2) 自習課題を通して、「自学自習」の習慣を身につける。Listening Comprehension に慣れるため、自習課題を通して、少なくとも週 6 日 1 日 1 時間の英語の「自学自習」の習慣を身につける。(3) 自習課題の成績や、TOEIC の各パートの正答率などをもとに自己の英語力を確認し、受講者自ら 6 月 TOEIC IP テストでの目標点を設定する。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・ 2 回以上(欠席届による公欠を含む)欠席した学生の成績は不可となる。・自習課題ノートオンライン版(Daily Workout for Circuit Training for the TOEIC Test)の実行状況・達成率を評点に換算する(より詳しくは、授業時に説明する)。・TOEIC IP 試験を受験しなかった学生は、成績保留となる(この授業科目に関しては、TOEIC の得点による単位認定は行われない)。・自習課題ノート以外の課題を宿題として課すこともある。その場合には、その課題の提出も評価の対象となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Intensive Training for the TOEIC Test(TOEIC テスト インテンシブ トレーニング), Mitsuyasu Miyazaki & Milada Broukal, Seibido, 2007 年 / 参考書: TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版, The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2000 年; TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版 (Vol.2), The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2002 年; TOEIC テスト新公式問題集, Educational Testing Service, 国際ビジネスコミュニケーション協会, 2006 年; 英会話教育チャンネル「GLC 英会話」、ネット放送局「BBC ニュース、CNN ニュース」など(利用法については、図書館の利用者サービス係・情報サービス係へ)</p> <p>メッセージ ・この授業は忙しい授業です。そのため、教科書の説明は予習しておいてください。・この授業の「目的」「意義」をよく理解して授業に臨んでください。・遅刻をしないでください。</p> <p>教官連絡先 akitakei@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	TOEIC 準備	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	医学 (1-45)	単位	1 単位	曜時限	月曜日 5・6 時限
担当教官	宮崎充保				
<p>授業概要 この授業では、TOEIC テストを用いて実践的な英語でのコミュニケーション能力を自己確認する。そのために、TOEIC テストの全貌について学び、その受験技術とテストで用いられるコミュニケーションのための実用文(話し言葉、書き言葉)に慣れる。TOEIC テストは「聞く」「読む」という2つのスキルについてのみ実施されるが、他の「話す」「書く」というスキルも間接的なスキルとして評価される。TOEIC テストの最初の半分が 45 分の Listening Comprehension に当てられるため、特にこの授業では聞き取りに力を入れる。</p> <p>授業一般目標 (1) TOEIC テストの出題形式に慣れ、パートごとに問題への対応の仕方を理解する。特に、スピーディーな英語を聞き取り、情報を処理することに慣れる。(2) 自習課題を通して、「自学自習」の習慣を身につける。Listening Comprehension に慣れるため、自習課題を通して、少なくとも週 6 日 1 日 1 時間の英語の「自学自習」の習慣を身につける。(3) 自習課題の成績や、TOEIC の各パートの正答率などをもとに自己の英語力を確認し、受講者自ら 6 月 TOEIC IP テストでの目標点を設定する。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・ 2 回以上(欠席届による公欠を含む)欠席した学生の成績は不可となる。・自習課題ノートオンライン版(Daily Workout for Circuit Training for the TOEIC Test)の実行状況・達成率を評点に換算する(より詳しくは、授業時に説明する)・TOEIC IP 試験を受験しなかった学生は、成績保留となる(この授業科目に関しては、TOEIC の得点による単位認定は行われない)・自習課題ノート以外の課題を宿題として課すこともある。その場合には、その課題の提出も評価の対象となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Intensive Training for the TOEIC Test(TOEIC テスト インテンシブ トレーニング), Mitsuyasu Miyazaki & Milada Broukal, Seibido, 2007 年 / 参考書: TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版, The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2000 年; TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版 (Vol.2), The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2002 年; TOEIC テスト新公式問題集, Educational Testing Service, 国際ビジネスコミュニケーション協会, 2006 年; 英会話教育チャンネル「GLC 英会話」、ネット放送局「BBC ニュース、CNN ニュース」など(利用法については、図書館の利用者サービス係・情報サービス係へ)</p> <p>メッセージ ・この授業は忙しい授業です。そのため、教科書の説明は予習しておいてください。・この授業の「目的」「意義」をよく理解して授業に臨んでください。・遅刻をしないでください。</p> <p>教官連絡先 mmiy@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	TOEIC 準備	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	医学 (46)	単位	1 単位	曜時限	月曜日 5・6 時限
担当教官	高橋 博美				
<p>授業概要 この授業では、TOEIC テストを用いて実践的な英語でのコミュニケーション能力を自己確認する。そのために、TOEIC テストの全貌について学び、その受験技術とテストで用いられるコミュニケーションのための実用文(話し言葉、書き言葉)に慣れる。TOEIC テストは「聞く」「読む」という2つのスキルについてのみ実施されるが、他の「話す」「書く」というスキルも間接的なスキルとして評価される。TOEIC テストの最初の半分が 45 分の Listening Comprehension に当てられるため、特にこの授業では聞き取りに力を入れる。</p> <p>授業一般目標 (1) TOEIC テストの出題形式に慣れ、パートごとに問題への対応の仕方を理解する。特に、スピーディーな英語を聞き取り、情報を処理することに慣れる。(2) 自習課題を通して、「自学自習」の習慣を身につける。Listening Comprehension に慣れるため、自習課題を通して、少なくとも週 6 日 1 日 1 時間の英語の「自学自習」の習慣を身につける。(3) 自習課題の成績や、TOEIC の各パートの正答率などをもとに自己の英語力を確認し、受講者自ら 6 月 TOEIC IP テストでの目標点を設定する。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・ 2 回以上(欠席届による公欠を含む)欠席した学生の成績は不可となる。・自習課題ノートオンライン版(Daily Workout for Circuit Training for the TOEIC Test)の実行状況・達成率を評点に換算する(より詳しくは、授業時に説明する)・TOEIC IP 試験を受験しなかった学生は、成績保留となる(この授業科目に関しては、TOEIC の得点による単位認定は行われない)・自習課題ノート以外の課題を宿題として課すこともある。その場合には、その課題の提出も評価の対象となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Intensive Training for the TOEIC Test(TOEIC テスト インテンシブ トレーニング), Mitsuyasu Miyazaki & Milada Broukal, Seibido, 2007 年 / 参考書: TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版, The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2000 年; TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版 (Vol.2), The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2002 年; TOEIC テスト新公式問題集, Educational Testing Service, 国際ビジネスコミュニケーション協会, 2006 年; 英会話教育チャンネル「GLC 英会話」、ネット放送局「BBC ニュース、CNN ニュース」など(利用法については、図書館の利用者サービス係・情報サービス係へ)</p> <p>メッセージ ・この授業は忙しい授業です。そのため、教科書の説明は予習しておいてください。・この授業の「目的」「意義」をよく理解して授業に臨んでください。・遅刻をしないでください。</p> <p>教官連絡先 hiromi.t@c-able.ne.jp</p>					

開設科目	TOEIC 準備	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	看護 (1-40)	単位	1 単位	曜時限	月曜日 5・6 時限
担当教官	堤 千佳子				
<p>授業概要 この授業では、TOEIC テストを用いて実践的な英語でのコミュニケーション能力を自己確認する。そのために、TOEIC テストの全貌について学び、その受験技術とテストで用いられるコミュニケーションのための実用文(話し言葉、書き言葉)に慣れる。TOEIC テストは「聞く」「読む」という2つのスキルについてのみ実施されるが、他の「話す」「書く」というスキルも間接的なスキルとして評価される。TOEIC テストの最初の半分の45分の Listening Comprehension に当てられるため、特にこの授業では聞き取りに力を入れる。</p> <p>授業一般目標 (1) TOEIC テストの出題形式に慣れ、パートごとに問題への対応の仕方を理解する。特に、スピーディーな英語を聞き取り、情報を処理することに慣れる。(2) 自習課題を通して、「自学自習」の習慣を身につける。Listening Comprehension に慣れるため、自習課題を通して、少なくとも週6日1日1時間の英語の「自学自習」の習慣を身につける。(3) 自習課題の成績や、TOEIC の各パートの正答率などをもとに自己の英語力を確認し、受講者自ら6月 TOEIC IP テストでの目標点を設定する。</p> <p>成績評価方法(総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含む)欠席した学生の成績は不可となる。・自習課題ノートオンライン版(Daily Workout for Circuit Training for the TOEIC Test)の実行状況・達成率を評点に換算する(より詳しくは、授業時に説明する)。・TOEIC IP 試験を受験しなかった学生は、成績保留となる(この授業科目に関しては、TOEIC の得点による単位認定は行われない)。・自習課題ノート以外の課題を宿題として課すこともある。その場合には、その課題の提出も評価の対象となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Intensive Training for the TOEIC Test(TOEIC テスト インテンシブ トレーニング), Mitsuyasu Miyazaki & Milada Broukal, Seibido, 2007 年 / 参考書: TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版, The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2000 年; TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版 (Vol.2), The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2002 年; TOEIC テスト新公式問題集, Educational Testing Service, 国際ビジネスコミュニケーション協会, 2006 年; 英会話教育チャンネル「GLC 英会話」、ネット放送局「BBC ニュース、CNN ニュース」など(利用法については、図書館の利用者サービス係・情報サービス係へ)</p> <p>メッセージ ・この授業は忙しい授業です。そのため、教科書の説明は予習しておいてください。・この授業の「目的」「意義」をよく理解して授業に臨んでください。・遅刻をしないでください。</p>					

開設科目	TOEIC 準備	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	看護 (41-)	単位	1 単位	曜時限	月曜日 5・6 時限
担当教官	渡辺 朱実				
<p>授業概要 この授業では、TOEIC テストを用いて実践的な英語でのコミュニケーション能力を自己確認する。そのために、TOEIC テストの全貌について学び、その受験技術とテストで用いられるコミュニケーションのための実用文(話し言葉、書き言葉)に慣れる。TOEIC テストは「聞く」「読む」という2つのスキルについてのみ実施されるが、他の「話す」「書く」というスキルも間接的なスキルとして評価される。TOEIC テストの最初の半分の45分の Listening Comprehension に当てられるため、特にこの授業では聞き取りに力を入れる。</p> <p>授業一般目標 (1) TOEIC テストの出題形式に慣れ、パートごとに問題への対応の仕方を理解する。特に、スピーディーな英語を聞き取り、情報を処理することに慣れる。(2) 自習課題を通して、「自学自習」の習慣を身につける。Listening Comprehension に慣れるため、自習課題を通して、少なくとも週6日1日1時間の英語の「自学自習」の習慣を身につける。(3) 自習課題の成績や、TOEIC の各パートの正答率などをもとに自己の英語力を確認し、受講者自ら6月 TOEIC IP テストでの目標点を設定する。</p> <p>成績評価方法(総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含む)欠席した学生の成績は不可となる。・自習課題ノートオンライン版(Daily Workout for Circuit Training for the TOEIC Test)の実行状況・達成率を評点に換算する(より詳しくは、授業時に説明する)。・TOEIC IP 試験を受験しなかった学生は、成績保留となる(この授業科目に関しては、TOEIC の得点による単位認定は行われない)。・自習課題ノート以外の課題を宿題として課すこともある。その場合には、その課題の提出も評価の対象となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Intensive Training for the TOEIC Test(TOEIC テスト インテンシブ トレーニング), Mitsuyasu Miyazaki & Milada Broukal, Seibido, 2007 年 / 参考書: TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版, The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2000 年; TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版 (Vol.2), The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2002 年; TOEIC テスト新公式問題集, Educational Testing Service, 国際ビジネスコミュニケーション協会, 2006 年; 英会話教育チャンネル「GLC 英会話」、ネット放送局「BBC ニュース、CNN ニュース」など(利用法については、図書館の利用者サービス係・情報サービス係へ)</p> <p>メッセージ ・この授業は忙しい授業です。そのため、教科書の説明は予習しておいてください。・この授業の「目的」「意義」をよく理解して授業に臨んでください。・遅刻をしないでください。</p>					

開設科目	TOEIC 準備	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	経 (1-40)	単位	1 単位	曜時限	月曜日 7・8 時限
担当教官	倉増泰弘				
<p>授業概要 この授業では、TOEIC テストを用いて実践的な英語でのコミュニケーション能力を自己確認する。そのために、TOEIC テストの全貌について学び、その受験技術とテストで用いられるコミュニケーションのための実用文(話し言葉、書き言葉)に慣れる。TOEIC テストは「聞く」「読む」という2つのスキルについてのみ実施されるが、他の「話す」「書く」というスキルも間接的なスキルとして評価される。TOEIC テストの最初の半分が 45 分の Listening Comprehension に当てられるため、特にこの授業では聞き取りに力を入れる。</p> <p>授業一般目標 (1) TOEIC テストの出題形式に慣れ、パートごとに問題への対応の仕方を理解する。特に、スピーディーな英語を聞き取り、情報を処理することに慣れる。(2) 自習課題を通して、「自学自習」の習慣を身につける。Listening Comprehension に慣れるため、自習課題を通して、少なくとも週 6 日 1 日 1 時間の英語の「自学自習」の習慣を身につける。(3) 自習課題の成績や、TOEIC の各パートの正答率などをもとに自己の英語力を確認し、受講者自ら 6 月 TOEIC IP テストでの目標点を設定する。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・ 2 回以上(欠席届による公欠を含む)欠席した学生の成績は不可となる。・自習課題ノートオンライン版(Daily Workout for Circuit Training for the TOEIC Test)の実行状況・達成率を評点に換算する(より詳しくは、授業時に説明する)。・TOEIC IP 試験を受験しなかった学生は、成績保留となる(この授業科目に関しては、TOEIC の得点による単位認定は行われない)。・自習課題ノート以外の課題を宿題として課すこともある。その場合には、その課題の提出も評価の対象となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Intensive Training for the TOEIC Test(TOEIC テスト インテンシブ トレーニング), Mitsuyasu Miyazaki & Milada Broukal, Seibido, 2007 年 / 参考書: TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版, The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2000 年; TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版 (Vol.2), The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2002 年; TOEIC テスト新公式問題集, Educational Testing Service, 国際ビジネスコミュニケーション協会, 2006 年; 英会話教育チャンネル「GLC 英会話」、ネット放送局「BBC ニュース、CNN ニュース」など(利用法については、図書館の利用者サービス係・情報サービス係へ)</p> <p>メッセージ ・この授業は忙しい授業です。そのため、教科書の説明は予習しておいてください。・この授業の「目的」「意義」をよく理解して授業に臨んでください。・遅刻をしないでください。</p>					

開設科目	TOEIC 準備	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	経 (41-80)	単位	1 単位	曜時限	月曜日 7・8 時限
担当教官	正宗 聡				
<p>授業概要 この授業では、TOEIC テストを用いて実践的な英語でのコミュニケーション能力を自己確認する。そのために、TOEIC テストの全貌について学び、その受験技術とテストで用いられるコミュニケーションのための実用文(話し言葉、書き言葉)に慣れる。TOEIC テストは「聞く」「読む」という2つのスキルについてのみ実施されるが、他の「話す」「書く」というスキルも間接的なスキルとして評価される。TOEIC テストの最初の半分が 45 分の Listening Comprehension に当てられるため、特にこの授業では聞き取りに力を入れる。</p> <p>授業一般目標 (1) TOEIC テストの出題形式に慣れ、パートごとに問題への対応の仕方を理解する。特に、スピーディーな英語を聞き取り、情報を処理することに慣れる。(2) 自習課題を通して、「自学自習」の習慣を身につける。Listening Comprehension に慣れるため、自習課題を通して、少なくとも週 6 日 1 日 1 時間の英語の「自学自習」の習慣を身につける。(3) 自習課題の成績や、TOEIC の各パートの正答率などをもとに自己の英語力を確認し、受講者自ら 6 月 TOEIC IP テストでの目標点を設定する。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・ 2 回以上(欠席届による公欠を含む)欠席した学生の成績は不可となる。・自習課題ノートオンライン版(Daily Workout for Circuit Training for the TOEIC Test)の実行状況・達成率を評点に換算する(より詳しくは、授業時に説明する)。・TOEIC IP 試験を受験しなかった学生は、成績保留となる(この授業科目に関しては、TOEIC の得点による単位認定は行われない)。・自習課題ノート以外の課題を宿題として課すこともある。その場合には、その課題の提出も評価の対象となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Intensive Training for the TOEIC Test(TOEIC テスト インテンシブ トレーニング), Mitsuyasu Miyazaki & Milada Broukal, Seibido, 2007 年 / 参考書: TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版, The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2000 年; TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版 (Vol.2), The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2002 年; TOEIC テスト新公式問題集, Educational Testing Service, 国際ビジネスコミュニケーション協会, 2006 年; 英会話教育チャンネル「GLC 英会話」、ネット放送局「BBC ニュース、CNN ニュース」など(利用法については、図書館の利用者サービス係・情報サービス係へ)</p> <p>メッセージ ・この授業は忙しい授業です。そのため、教科書の説明は予習しておいてください。・この授業の「目的」「意義」をよく理解して授業に臨んでください。・遅刻をしないでください。</p> <p>教官連絡先 tristar@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	TOEIC 準備	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	経 (81-120)	単位	1 単位	曜時限	月曜日 7・8 時限
担当教官	高橋 俊章				
<p>授業概要 この授業では、TOEIC テストを用いて実践的な英語でのコミュニケーション能力を自己確認する。そのために、TOEIC テストの全貌について学び、その受験技術とテストで用いられるコミュニケーションのための実用文(話し言葉、書き言葉)に慣れる。TOEIC テストは「聞く」「読む」という2つのスキルについてのみ実施されるが、他の「話す」「書く」というスキルも間接的なスキルとして評価される。TOEIC テストの最初の半分が 45 分の Listening Comprehension に当てられるため、特にこの授業では聞き取りに力を入れる。</p> <p>授業一般目標 (1) TOEIC テストの出題形式に慣れ、パートごとに問題への対応の仕方を理解する。特に、スピーディーな英語を聞き取り、情報を処理することに慣れる。(2) 自習課題を通して、「自学自習」の習慣を身につける。Listening Comprehension に慣れるため、自習課題を通して、少なくとも週 6 日 1 日 1 時間の英語の「自学自習」の習慣を身につける。(3) 自習課題の成績や、TOEIC の各パートの正答率などをもとに自己の英語力を確認し、受講者自ら 6 月 TOEIC IP テストでの目標点を設定する。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・ 2 回以上(欠席届による公欠を含む)欠席した学生の成績は不可となる。・自習課題ノートオンライン版(Daily Workout for Circuit Training for the TOEIC Test)の実行状況・達成率を評点に換算する(より詳しくは、授業時に説明する)。・TOEIC IP 試験を受験しなかった学生は、成績保留となる(この授業科目に関しては、TOEIC の得点による単位認定は行われない)。・自習課題ノート以外の課題を宿題として課すこともある。その場合には、その課題の提出も評価の対象となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Intensive Training for the TOEIC Test(TOEIC テスト インテンシブ トレーニング), Mitsuyasu Miyazaki & Milada Broukal, Seibido, 2007 年 / 参考書: TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版, The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2000 年; TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版 (Vol.2), The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2002 年; TOEIC テスト新公式問題集, Educational Testing Service, 国際ビジネスコミュニケーション協会, 2006 年; 英会話教育チャンネル「GLC 英会話」、ネット放送局「BBC ニュース、CNN ニュース」など(利用法については、図書館の利用者サービス係・情報サービス係へ)</p> <p>メッセージ ・この授業は忙しい授業です。そのため、教科書の説明は予習しておいてください。・この授業の「目的」「意義」をよく理解して授業に臨んでください。・遅刻をしないでください。</p> <p>教官連絡先 bld10@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	TOEIC 準備	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	経 (121-160)	単位	1 単位	曜時限	月曜日 7・8 時限
担当教官	石井由理				
<p>授業概要 この授業では、TOEIC テストを用いて実践的な英語でのコミュニケーション能力を自己確認する。そのために、TOEIC テストの全貌について学び、その受験技術とテストで用いられるコミュニケーションのための実用文(話し言葉、書き言葉)に慣れる。TOEIC テストは「聞く」「読む」という2つのスキルについてのみ実施されるが、他の「話す」「書く」というスキルも間接的なスキルとして評価される。TOEIC テストの最初の半分が 45 分の Listening Comprehension に当てられるため、特にこの授業では聞き取りに力を入れる。</p> <p>授業一般目標 (1) TOEIC テストの出題形式に慣れ、パートごとに問題への対応の仕方を理解する。特に、スピーディーな英語を聞き取り、情報を処理することに慣れる。(2) 自習課題を通して、「自学自習」の習慣を身につける。Listening Comprehension に慣れるため、自習課題を通して、少なくとも週 6 日 1 日 1 時間の英語の「自学自習」の習慣を身につける。(3) 自習課題の成績や、TOEIC の各パートの正答率などをもとに自己の英語力を確認し、受講者自ら 6 月 TOEIC IP テストでの目標点を設定する。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・ 2 回以上(欠席届による公欠を含む)欠席した学生の成績は不可となる。・自習課題ノートオンライン版(Daily Workout for Circuit Training for the TOEIC Test)の実行状況・達成率を評点に換算する(より詳しくは、授業時に説明する)。・TOEIC IP 試験を受験しなかった学生は、成績保留となる(この授業科目に関しては、TOEIC の得点による単位認定は行われない)。・自習課題ノート以外の課題を宿題として課すこともある。その場合には、その課題の提出も評価の対象となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Intensive Training for the TOEIC Test(TOEIC テスト インテンシブ トレーニング), Mitsuyasu Miyazaki & Milada Broukal, Seibido, 2007 年 / 参考書: TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版, The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2000 年; TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版 (Vol.2), The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2002 年; TOEIC テスト新公式問題集, Educational Testing Service, 国際ビジネスコミュニケーション協会, 2006 年; 英会話教育チャンネル「GLC 英会話」、ネット放送局「BBC ニュース、CNN ニュース」など(利用法については、図書館の利用者サービス係・情報サービス係へ)</p> <p>メッセージ ・この授業は忙しい授業です。そのため、教科書の説明は予習しておいてください。・この授業の「目的」「意義」をよく理解して授業に臨んでください。・遅刻をしないでください。</p> <p>教官連絡先 yuri@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	TOEIC 準備	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	経 (161-200)	単位	1 単位	曜時限	月曜日 7・8 時限
担当教官	岩部浩三				
<p>授業概要 この授業では、TOEIC テストを用いて実践的な英語でのコミュニケーション能力を自己確認する。そのために、TOEIC テストの全貌について学び、その受験技術とテストで用いられるコミュニケーションのための実用文(話し言葉、書き言葉)に慣れる。TOEIC テストは「聞く」「読む」という2つのスキルについてのみ実施されるが、他の「話す」「書く」というスキルも間接的なスキルとして評価される。TOEIC テストの最初の半分が 45 分の Listening Comprehension に当てられるため、特にこの授業では聞き取りに力を入れる。</p> <p>授業一般目標 (1) TOEIC テストの出題形式に慣れ、パートごとに問題への対応の仕方を理解する。特に、スピーディーな英語を聞き取り、情報を処理することに慣れる。(2) 自習課題を通して、「自学自習」の習慣を身につける。Listening Comprehension に慣れるため、自習課題を通して、少なくとも週 6 日 1 日 1 時間の英語の「自学自習」の習慣を身につける。(3) 自習課題の成績や、TOEIC の各パートの正答率などをもとに自己の英語力を確認し、受講者自ら 6 月 TOEIC IP テストでの目標点を設定する。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・ 2 回以上(欠席届による公欠を含む)欠席した学生の成績は不可となる。・自習課題ノートオンライン版(Daily Workout for Circuit Training for the TOEIC Test)の実行状況・達成率を評点に換算する(より詳しくは、授業時に説明する)。・TOEIC IP 試験を受験しなかった学生は、成績保留となる(この授業科目に関しては、TOEIC の得点による単位認定は行われない)。・自習課題ノート以外の課題を宿題として課すこともある。その場合には、その課題の提出も評価の対象となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Intensive Training for the TOEIC Test(TOEIC テスト インテンシブ トレーニング), Mitsuyasu Miyazaki & Milada Broukal, Seibido, 2007 年 / 参考書: TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版, The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2000 年; TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版 (Vol.2), The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2002 年; TOEIC テスト新公式問題集, Educational Testing Service, 国際ビジネスコミュニケーション協会, 2006 年; 英会話教育チャンネル「GLC 英会話」、ネット放送局「BBC ニュース、CNN ニュース」など(利用法については、図書館の利用者サービス係・情報サービス係へ)</p> <p>メッセージ ・この授業は忙しい授業です。そのため、教科書の説明は予習しておいてください。・この授業の「目的」「意義」をよく理解して授業に臨んでください。・遅刻をしないでください。</p> <p>教官連絡先 iwabe@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	TOEIC 準備	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	経 (201-240)	単位	1 単位	曜時限	月曜日 7・8 時限
担当教官	高橋 博美				
<p>授業概要 この授業では、TOEIC テストを用いて実践的な英語でのコミュニケーション能力を自己確認する。そのために、TOEIC テストの全貌について学び、その受験技術とテストで用いられるコミュニケーションのための実用文(話し言葉、書き言葉)に慣れる。TOEIC テストは「聞く」「読む」という2つのスキルについてのみ実施されるが、他の「話す」「書く」というスキルも間接的なスキルとして評価される。TOEIC テストの最初の半分が 45 分の Listening Comprehension に当てられるため、特にこの授業では聞き取りに力を入れる。</p> <p>授業一般目標 (1) TOEIC テストの出題形式に慣れ、パートごとに問題への対応の仕方を理解する。特に、スピーディーな英語を聞き取り、情報を処理することに慣れる。(2) 自習課題を通して、「自学自習」の習慣を身につける。Listening Comprehension に慣れるため、自習課題を通して、少なくとも週 6 日 1 日 1 時間の英語の「自学自習」の習慣を身につける。(3) 自習課題の成績や、TOEIC の各パートの正答率などをもとに自己の英語力を確認し、受講者自ら 6 月 TOEIC IP テストでの目標点を設定する。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・ 2 回以上(欠席届による公欠を含む)欠席した学生の成績は不可となる。・自習課題ノートオンライン版(Daily Workout for Circuit Training for the TOEIC Test)の実行状況・達成率を評点に換算する(より詳しくは、授業時に説明する)。・TOEIC IP 試験を受験しなかった学生は、成績保留となる(この授業科目に関しては、TOEIC の得点による単位認定は行われない)。・自習課題ノート以外の課題を宿題として課すこともある。その場合には、その課題の提出も評価の対象となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Intensive Training for the TOEIC Test(TOEIC テスト インテンシブ トレーニング), Mitsuyasu Miyazaki & Milada Broukal, Seibido, 2007 年 / 参考書: TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版, The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2000 年; TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版 (Vol.2), The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2002 年; TOEIC テスト新公式問題集, Educational Testing Service, 国際ビジネスコミュニケーション協会, 2006 年; 英会話教育チャンネル「GLC 英会話」、ネット放送局「BBC ニュース、CNN ニュース」など(利用法については、図書館の利用者サービス係・情報サービス係へ)</p> <p>メッセージ ・この授業は忙しい授業です。そのため、教科書の説明は予習しておいてください。・この授業の「目的」「意義」をよく理解して授業に臨んでください。・遅刻をしないでください。</p> <p>教官連絡先 hiromi.t@c-able.ne.jp</p>					

開設科目	TOEIC 準備	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	経 (241-280)	単位	1 単位	曜時限	月曜日 7・8 時限
担当教官	前出泰司				
<p>授業概要 この授業では、TOEIC テストを用いて実践的な英語でのコミュニケーション能力を自己確認する。そのために、TOEIC テストの全貌について学び、その受験技術とテストで用いられるコミュニケーションのための実用文(話し言葉、書き言葉)に慣れる。TOEIC テストは「聞く」「読む」という2つのスキルについてのみ実施されるが、他の「話す」「書く」というスキルも間接的なスキルとして評価される。TOEIC テストの最初の半分の45分の Listening Comprehension に当てられるため、特にこの授業では聞き取りに力を入れる。</p> <p>授業一般目標 (1) TOEIC テストの出題形式に慣れ、パートごとに問題への対応の仕方を理解する。特に、スピーディーな英語を聞き取り、情報を処理することに慣れる。(2) 自習課題を通して、「自学自習」の習慣を身につける。Listening Comprehension に慣れるため、自習課題を通して、少なくとも週6日1日1時間の英語の「自学自習」の習慣を身につける。(3) 自習課題の成績や、TOEIC の各パートの正答率などをもとに自己の英語力を確認し、受講者自ら6月 TOEIC IP テストでの目標点を設定する。</p> <p>成績評価方法(総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含む)欠席した学生の成績は不可となる。・自習課題ノートオンライン版(Daily Workout for Circuit Training for the TOEIC Test)の実行状況・達成率を評点に換算する(より詳しくは、授業時に説明する)。・TOEIC IP 試験を受験しなかった学生は、成績保留となる(この授業科目に関しては、TOEIC の得点による単位認定は行われない)。・自習課題ノート以外の課題を宿題として課すこともある。その場合には、その課題の提出も評価の対象となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Intensive Training for the TOEIC Test(TOEIC テスト インテンシブ トレーニング), Mitsuyasu Miyazaki & Milada Broukal, Seibido, 2007 年 / 参考書: TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版, The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2000 年; TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版 (Vol.2), The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2002 年; TOEIC テスト新公式問題集, Educational Testing Service, 国際ビジネスコミュニケーション協会, 2006 年; 英会話教育チャンネル「GLC 英会話」、ネット放送局「BBC ニュース、CNN ニュース」など(利用法については、図書館の利用者サービス係・情報サービス係へ)</p> <p>メッセージ ・この授業は忙しい授業です。そのため、教科書の説明は予習しておいてください。・この授業の「目的」「意義」をよく理解して授業に臨んでください。・遅刻をしないでください。</p>					

開設科目	TOEIC 準備	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	経 (281-320)	単位	1 単位	曜時限	月曜日 7・8 時限
担当教官	前田 満				
<p>授業概要 この授業では、TOEIC テストを用いて実践的な英語でのコミュニケーション能力を自己確認する。そのために、TOEIC テストの全貌について学び、その受験技術とテストで用いられるコミュニケーションのための実用文(話し言葉、書き言葉)に慣れる。TOEIC テストは「聞く」「読む」という2つのスキルについてのみ実施されるが、他の「話す」「書く」というスキルも間接的なスキルとして評価される。TOEIC テストの最初の半分の45分の Listening Comprehension に当てられるため、特にこの授業では聞き取りに力を入れる。</p> <p>授業一般目標 (1) TOEIC テストの出題形式に慣れ、パートごとに問題への対応の仕方を理解する。特に、スピーディーな英語を聞き取り、情報を処理することに慣れる。(2) 自習課題を通して、「自学自習」の習慣を身につける。Listening Comprehension に慣れるため、自習課題を通して、少なくとも週6日1日1時間の英語の「自学自習」の習慣を身につける。(3) 自習課題の成績や、TOEIC の各パートの正答率などをもとに自己の英語力を確認し、受講者自ら6月 TOEIC IP テストでの目標点を設定する。</p> <p>成績評価方法(総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含む)欠席した学生の成績は不可となる。・自習課題ノートオンライン版(Daily Workout for Circuit Training for the TOEIC Test)の実行状況・達成率を評点に換算する(より詳しくは、授業時に説明する)。・TOEIC IP 試験を受験しなかった学生は、成績保留となる(この授業科目に関しては、TOEIC の得点による単位認定は行われない)。・自習課題ノート以外の課題を宿題として課すこともある。その場合には、その課題の提出も評価の対象となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Intensive Training for the TOEIC Test(TOEIC テスト インテンシブ トレーニング), Mitsuyasu Miyazaki & Milada Broukal, Seibido, 2007 年 / 参考書: TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版, The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2000 年; TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版 (Vol.2), The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2002 年; TOEIC テスト新公式問題集, Educational Testing Service, 国際ビジネスコミュニケーション協会, 2006 年; 英会話教育チャンネル「GLC 英会話」、ネット放送局「BBC ニュース、CNN ニュース」など(利用法については、図書館の利用者サービス係・情報サービス係へ)</p> <p>メッセージ ・この授業は忙しい授業です。そのため、教科書の説明は予習しておいてください。・この授業の「目的」「意義」をよく理解して授業に臨んでください。・遅刻をしないでください。</p> <p>教官連絡先 m-maeda@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	TOEIC 準備	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	経 (321-360)	単位	1 単位	曜時限	月曜日 7・8 時限
担当教官	猫田和明				
<p>授業概要 この授業では、TOEIC テストを用いて実践的な英語でのコミュニケーション能力を自己確認する。そのために、TOEIC テストの全貌について学び、その受験技術とテストで用いられるコミュニケーションのための実用文(話し言葉、書き言葉)に慣れる。TOEIC テストは「聞く」「読む」という2つのスキルについてのみ実施されるが、他の「話す」「書く」というスキルも間接的なスキルとして評価される。TOEIC テストの最初の半分の45分の Listening Comprehension に当てられるため、特にこの授業では聞き取りに力を入れる。</p> <p>授業一般目標 (1) TOEIC テストの出題形式に慣れ、パートごとに問題への対応の仕方を理解する。特に、スピーディーな英語を聞き取り、情報を処理することに慣れる。(2) 自習課題を通して、「自学自習」の習慣を身につける。Listening Comprehension に慣れるため、自習課題を通して、少なくとも週6日1日1時間の英語の「自学自習」の習慣を身につける。(3) 自習課題の成績や、TOEIC の各パートの正答率などをもとに自己の英語力を確認し、受講者自ら6月 TOEIC IP テストでの目標点を設定する。</p> <p>成績評価方法(総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含む)欠席した学生の成績は不可となる。・自習課題ノートオンライン版(Daily Workout for Circuit Training for the TOEIC Test)の実行状況・達成率を評点に換算する(より詳しくは、授業時に説明する)。・TOEIC IP 試験を受験しなかった学生は、成績保留となる(この授業科目に関しては、TOEIC の得点による単位認定は行われない)。・自習課題ノート以外の課題を宿題として課すこともある。その場合には、その課題の提出も評価の対象となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Intensive Training for the TOEIC Test(TOEIC テスト インテンシブ トレーニング), Mitsuyasu Miyazaki & Milada Broukal, Seibido, 2007 年 / 参考書: TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版, The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2000 年; TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版 (Vol.2), The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2002 年; TOEIC テスト新公式問題集, Educational Testing Service, 国際ビジネスコミュニケーション協会, 2006 年; 英会話教育チャンネル「GLC 英会話」、ネット放送局「BBC ニュース、CNN ニュース」など(利用法については、図書館の利用者サービス係・情報サービス係へ)</p> <p>メッセージ ・この授業は忙しい授業です。そのため、教科書の説明は予習しておいてください。・この授業の「目的」「意義」をよく理解して授業に臨んでください。・遅刻をしないでください。</p> <p>教官連絡先 nekoda@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	TOEIC 準備	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	経 (361-)	単位	1 単位	曜時限	月曜日 7・8 時限
担当教官	武井暁子				
<p>授業概要 この授業では、TOEIC テストを用いて実践的な英語でのコミュニケーション能力を自己確認する。そのために、TOEIC テストの全貌について学び、その受験技術とテストで用いられるコミュニケーションのための実用文(話し言葉、書き言葉)に慣れる。TOEIC テストは「聞く」「読む」という2つのスキルについてのみ実施されるが、他の「話す」「書く」というスキルも間接的なスキルとして評価される。TOEIC テストの最初の半分の45分の Listening Comprehension に当てられるため、特にこの授業では聞き取りに力を入れる。</p> <p>授業一般目標 (1) TOEIC テストの出題形式に慣れ、パートごとに問題への対応の仕方を理解する。特に、スピーディーな英語を聞き取り、情報を処理することに慣れる。(2) 自習課題を通して、「自学自習」の習慣を身につける。Listening Comprehension に慣れるため、自習課題を通して、少なくとも週6日1日1時間の英語の「自学自習」の習慣を身につける。(3) 自習課題の成績や、TOEIC の各パートの正答率などをもとに自己の英語力を確認し、受講者自ら6月 TOEIC IP テストでの目標点を設定する。</p> <p>成績評価方法(総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含む)欠席した学生の成績は不可となる。・自習課題ノートオンライン版(Daily Workout for Circuit Training for the TOEIC Test)の実行状況・達成率を評点に換算する(より詳しくは、授業時に説明する)。・TOEIC IP 試験を受験しなかった学生は、成績保留となる(この授業科目に関しては、TOEIC の得点による単位認定は行われない)。・自習課題ノート以外の課題を宿題として課すこともある。その場合には、その課題の提出も評価の対象となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Intensive Training for the TOEIC Test(TOEIC テスト インテンシブ トレーニング), Mitsuyasu Miyazaki & Milada Broukal, Seibido, 2007 年 / 参考書: TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版, The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2000 年; TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版 (Vol.2), The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2002 年; TOEIC テスト新公式問題集, Educational Testing Service, 国際ビジネスコミュニケーション協会, 2006 年; 英会話教育チャンネル「GLC 英会話」、ネット放送局「BBC ニュース、CNN ニュース」など(利用法については、図書館の利用者サービス係・情報サービス係へ)</p> <p>メッセージ ・この授業は忙しい授業です。そのため、教科書の説明は予習しておいてください。・この授業の「目的」「意義」をよく理解して授業に臨んでください。・遅刻をしないでください。</p> <p>教官連絡先 akitakei@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	TOEIC 準備	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	生資 (1-45)	単位	1 単位	曜時限	月曜日 7・8 時限
担当教官	宮崎充保				
<p>授業概要 この授業では、TOEIC テストを用いて実践的な英語でのコミュニケーション能力を自己確認する。そのために、TOEIC テストの全貌について学び、その受験技術とテストで用いられるコミュニケーションのための実用文(話し言葉、書き言葉)に慣れる。TOEIC テストは「聞く」「読む」という2つのスキルについてのみ実施されるが、他の「話す」「書く」というスキルも間接的なスキルとして評価される。TOEIC テストの最初の半分の45分の Listening Comprehension に当てられるため、特にこの授業では聞き取りに力を入れる。</p> <p>授業一般目標 (1) TOEIC テストの出題形式に慣れ、パートごとに問題への対応の仕方を理解する。特に、スピーディーな英語を聞き取り、情報を処理することに慣れる。(2) 自習課題を通して、「自学自習」の習慣を身につける。Listening Comprehension に慣れるため、自習課題を通して、少なくとも週6日1日1時間の英語の「自学自習」の習慣を身につける。(3) 自習課題の成績や、TOEIC の各パートの正答率などをもとに自己の英語力を確認し、受講者自ら6月 TOEIC IP テストでの目標点を設定する。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含む)欠席した学生の成績は不可となる。・自習課題ノートオンライン版(Daily Workout for Circuit Training for the TOEIC Test)の実行状況・達成率を評点に換算する(より詳しくは、授業時に説明する)。・TOEIC IP 試験を受験しなかった学生は、成績保留となる(この授業科目に関しては、TOEIC の得点による単位認定は行われない)。・自習課題ノート以外の課題を宿題として課すこともある。その場合には、その課題の提出も評価の対象となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Intensive Training for the TOEIC Test(TOEIC テスト インテンシブ トレーニング), Mitsuyasu Miyazaki & Milada Broukal, Seibido, 2007 年 / 参考書: TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版, The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2000 年; TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版 (Vol.2), The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2002 年; TOEIC テスト新公式問題集, Educational Testing Service, 国際ビジネスコミュニケーション協会, 2006 年; 英会話教育チャンネル「GLC 英会話」、ネット放送局「BBC ニュース、CNN ニュース」など(利用法については、図書館の利用者サービス係・情報サービス係へ)</p> <p>メッセージ ・この授業は忙しい授業です。そのため、教科書の説明は予習しておいてください。・この授業の「目的」「意義」をよく理解して授業に臨んでください。・遅刻をしないでください。</p> <p>教官連絡先 mmiy@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	TOEIC 準備	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	生資 (46-)・生機 (1-40)	単位	1 単位	曜時限	月曜日 7・8 時限
担当教官	池園宏				
<p>授業概要 この授業では、TOEIC テストを用いて実践的な英語でのコミュニケーション能力を自己確認する。そのために、TOEIC テストの全貌について学び、その受験技術とテストで用いられるコミュニケーションのための実用文(話し言葉、書き言葉)に慣れる。TOEIC テストは「聞く」「読む」という2つのスキルについてのみ実施されるが、他の「話す」「書く」というスキルも間接的なスキルとして評価される。TOEIC テストの最初の半分の45分の Listening Comprehension に当てられるため、特にこの授業では聞き取りに力を入れる。</p> <p>授業一般目標 (1) TOEIC テストの出題形式に慣れ、パートごとに問題への対応の仕方を理解する。特に、スピーディーな英語を聞き取り、情報を処理することに慣れる。(2) 自習課題を通して、「自学自習」の習慣を身につける。Listening Comprehension に慣れるため、自習課題を通して、少なくとも週6日1日1時間の英語の「自学自習」の習慣を身につける。(3) 自習課題の成績や、TOEIC の各パートの正答率などをもとに自己の英語力を確認し、受講者自ら6月 TOEIC IP テストでの目標点を設定する。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含む)欠席した学生の成績は不可となる。・自習課題ノートオンライン版(Daily Workout for Circuit Training for the TOEIC Test)の実行状況・達成率を評点に換算する(より詳しくは、授業時に説明する)。・TOEIC IP 試験を受験しなかった学生は、成績保留となる(この授業科目に関しては、TOEIC の得点による単位認定は行われない)。・自習課題ノート以外の課題を宿題として課すこともある。その場合には、その課題の提出も評価の対象となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Intensive Training for the TOEIC Test(TOEIC テスト インテンシブ トレーニング), Mitsuyasu Miyazaki & Milada Broukal, Seibido, 2007 年 / 参考書: TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版, The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2000 年; TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版 (Vol.2), The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2002 年; TOEIC テスト新公式問題集, Educational Testing Service, 国際ビジネスコミュニケーション協会, 2006 年; 英会話教育チャンネル「GLC 英会話」、ネット放送局「BBC ニュース、CNN ニュース」など(利用法については、図書館の利用者サービス係・情報サービス係へ)</p> <p>メッセージ ・この授業は忙しい授業です。そのため、教科書の説明は予習しておいてください。・この授業の「目的」「意義」をよく理解して授業に臨んでください。・遅刻をしないでください。</p> <p>教官連絡先 ikezono@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	TOEIC 準備	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	生機 (46-)・獣医	単位	1 単位	曜時限	月曜日 7・8 時限
担当教官	TIMOTHY ROLAND SCOTT TAKEMOTO				
<p>授業概要 この授業では、TOEIC テストを用いて実践的な英語でのコミュニケーション能力を自己確認する。そのために、TOEIC テストの全貌について学び、その受験技術とテストで用いられるコミュニケーションのための実用文(話し言葉、書き言葉)に慣れる。TOEIC テストは「聞く」「読む」という2つのスキルについてのみ実施されるが、他の「話す」「書く」というスキルも間接的なスキルとして評価される。TOEIC テストの最初の半分が 45 分の Listening Comprehension に当てられるため、特にこの授業では聞き取りに力を入れる。</p> <p>授業一般目標 (1) TOEIC テストの出題形式に慣れ、パートごとに問題への対応の仕方を理解する。特に、スピーディーな英語を聞き取り、情報を処理することに慣れる。(2) 自習課題を通して、「自学自習」の習慣を身につける。Listening Comprehension に慣れるため、自習課題を通して、少なくとも週 6 日 1 日 1 時間の英語の「自学自習」の習慣を身につける。(3) 自習課題の成績や、TOEIC の各パートの正答率などをもとに自己の英語力を確認し、受講者自ら 6 月 TOEIC IP テストでの目標点を設定する。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・ 2 回以上 (欠席届による公欠を含む) 欠席した学生の成績は不可となる。・ 自習課題ノートオンライン版 (Daily Workout for Circuit Training for the TOEIC Test) の実行状況・達成率を評点に換算する (より詳しくは、授業時に説明する)。・ TOEIC IP 試験を受験しなかった学生は、成績保留となる (この授業科目に関しては、TOEIC の得点による単位認定は行われない)。・ 自習課題ノート以外の課題を宿題として課すこともある。その場合には、その課題の提出も評価の対象となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Intensive Training for the TOEIC Test(TOEIC テスト インテンシブ トレーニング), Mitsuyasu Miyazaki & Milada Broukal, Seibido, 2007 年 / 参考書: TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版, The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2000 年; TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版 (Vol.2), The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2002 年; TOEIC テスト新公式問題集, Educational Testing Service, 国際ビジネスコミュニケーション協会, 2006 年; 英会話教育チャンネル「GLC 英会話」、ネット放送局「BBC ニュース、CNN ニュース」など (利用法については、図書館の利用者サービス係・情報サービス係へ)</p> <p>メッセージ ・この授業は忙しい授業です。そのため、教科書の説明は予習しておいてください。・この授業の「目的」「意義」をよく理解して授業に臨んでください。・遅刻をしないでください。</p> <p>教官連絡先 tim@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	TOEIC 準備	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	人社 (1-40)	単位	1 単位	曜時限	火曜日 5・6 時限
担当教官	皆尾麻弥				
<p>授業概要 この授業では、TOEIC テストを用いて実践的な英語でのコミュニケーション能力を自己確認する。そのために、TOEIC テストの全貌について学び、その受験技術とテストで用いられるコミュニケーションのための実用文(話し言葉、書き言葉)に慣れる。TOEIC テストは「聞く」「読む」という2つのスキルについてのみ実施されるが、他の「話す」「書く」というスキルも間接的なスキルとして評価される。TOEIC テストの最初の半分が 45 分の Listening Comprehension に当てられるため、特にこの授業では聞き取りに力を入れる。</p> <p>授業一般目標 (1) TOEIC テストの出題形式に慣れ、パートごとに問題への対応の仕方を理解する。特に、スピーディーな英語を聞き取り、情報を処理することに慣れる。(2) 自習課題を通して、「自学自習」の習慣を身につける。Listening Comprehension に慣れるため、自習課題を通して、少なくとも週 6 日 1 日 1 時間の英語の「自学自習」の習慣を身につける。(3) 自習課題の成績や、TOEIC の各パートの正答率などをもとに自己の英語力を確認し、受講者自ら 6 月 TOEIC IP テストでの目標点を設定する。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・ 2 回以上 (欠席届による公欠を含む) 欠席した学生の成績は不可となる。・ 自習課題ノートオンライン版 (Daily Workout for Circuit Training for the TOEIC Test) の実行状況・達成率を評点に換算する (より詳しくは、授業時に説明する)。・ TOEIC IP 試験を受験しなかった学生は、成績保留となる (この授業科目に関しては、TOEIC の得点による単位認定は行われない)。・ 自習課題ノート以外の課題を宿題として課すこともある。その場合には、その課題の提出も評価の対象となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Intensive Training for the TOEIC Test(TOEIC テスト インテンシブ トレーニング), Mitsuyasu Miyazaki & Milada Broukal, Seibido, 2007 年 / 参考書: TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版, The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2000 年; TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版 (Vol.2), The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2002 年; TOEIC テスト新公式問題集, Educational Testing Service, 国際ビジネスコミュニケーション協会, 2006 年; 英会話教育チャンネル「GLC 英会話」、ネット放送局「BBC ニュース、CNN ニュース」など (利用法については、図書館の利用者サービス係・情報サービス係へ)</p> <p>メッセージ ・この授業は忙しい授業です。そのため、教科書の説明は予習しておいてください。・この授業の「目的」「意義」をよく理解して授業に臨んでください。・遅刻をしないでください。</p> <p>教官連絡先 minao@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	TOEIC 準備	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	人社 (41-80)	単位	1 単位	曜時限	火曜日 5・6 時限
担当教官	宮原一成				
<p>授業概要 この授業では、TOEIC テストを用いて実践的な英語でのコミュニケーション能力を自己確認するために、TOEIC テストの全貌について学ぶ。そのテストで用いられるコミュニケーションのための実用文(話し言葉、書き言葉)に慣れる。TOEIC テストは「聞く」「読む」という2つのスキルについてのみ実施される、最初の半分の45分のListening Comprehensionに当てられるため、特にこの授業では聞き取りに力を入れる。</p> <p>授業一般目標 (1) TOEIC テストの出題形式に慣れ、パートごとに問題への対応の仕方を理解する。特に、スピーディーな英語を聞き取り、情報を処理することに慣れる。ただし、TOEIC というテストで高得点をあげるコツを教授する授業ではない。(2) 自習課題を通して、「自学自習」の習慣を身につける。Listening Comprehension に慣れるため、自習課題を通して、少なくとも週6日1日1時間の英語の「自学自習」の習慣を身につける。(3) 自習課題の成績や、TOEIC の各パートの正答率などをもとに自己の英語力を確認し、受講者自ら6月 TOEIC IP テストでの目標点を各自設定する。</p> <p>成績評価方法(総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含む)欠席した学生の成績は不可となる。・自習課題ノートおよび担当者から指示されたその他の課題は、課題の実行状況(課題をきちんとやっているか、復習をきちんとやっているかなど)をもとに欠席回数(-0.25回)に換算して評価する。・TOEIC IP 試験を受験しなかった学生は、成績保留となる(この授業科目に関しては、TOEIC の得点による単位認定は行われない)。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 書名未定、宮崎充保、成美堂、2007年; 山口大学1年生向け統一教科書です。第1回授業以前に必ず購入しておくこと。教科書持参でなければ、初回授業はたとえ教室にいても欠席と見なす。/ 参考書: 市販のTOEIC 図書(『TOEIC 公式ガイド&問題集1・2』など) ALC NetAcademy, Video on Demand による「英会話」番組 (使用については、図書館の情報リテラシー係へ)</p> <p>メッセージ ・初回授業時にも、予習しておくことがすでに要求されている。教科書の指示をよく読んでおくこと。・「TOEIC の問題形式や実用文に慣れること」が目標で、何らかの水準点を指す授業ではありません。それよりも、基本的な聞き取り、読み取りの地道な鍛錬を目指しています。・言わずもがなだが、遅刻厳禁。無断での途中退席厳禁。これらはちゃんと1回分出席したとは見なさない。</p> <p>教官連絡先 初回の授業で受講者には通知します。</p>					

開設科目	TOEIC 準備	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	人社 (81-)・言語 (1-20)	単位	1 単位	曜時限	火曜日 5・6 時限
担当教官	鴨川 啓信				
<p>授業概要 この授業では、TOEIC テストを用いて実践的な英語でのコミュニケーション能力を自己確認する。そのために、TOEIC テストの全貌について学び、その受験技術とテストで用いられるコミュニケーションのための実用文(話し言葉、書き言葉)に慣れる。TOEIC テストは「聞く」「読む」という2つのスキルについてのみ実施されるが、他の「話す」「書く」というスキルも間接的なスキルとして評価される。TOEIC テストの最初の半分の45分のListening Comprehensionに当てられるため、特にこの授業では聞き取りに力を入れる。</p> <p>授業一般目標 (1) TOEIC テストの出題形式に慣れ、パートごとに問題への対応の仕方を理解する。特に、スピーディーな英語を聞き取り、情報を処理することに慣れる。(2) 自習課題を通して、「自学自習」の習慣を身につける。Listening Comprehension に慣れるため、自習課題を通して、少なくとも週6日1日1時間の英語の「自学自習」の習慣を身につける。(3) 自習課題の成績や、TOEIC の各パートの正答率などをもとに自己の英語力を確認し、受講者自ら6月 TOEIC IP テストでの目標点を設定する。</p> <p>成績評価方法(総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含む)欠席した学生の成績は不可となる。・自習課題ノートオンライン版(Daily Workout for Circuit Training for the TOEIC Test)の実行状況・達成率を評点に換算する(より詳しくは、授業時に説明する)。・TOEIC IP 試験を受験しなかった学生は、成績保留となる(この授業科目に関しては、TOEIC の得点による単位認定は行われない)。・自習課題ノート以外の課題を宿題として課すこともある。その場合には、その課題の提出も評価の対象となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Intensive Training for the TOEIC Test(TOEIC テスト インテンシブ トレーニング), Mitsuyasu Miyazaki & Milada Broukal, Seibido, 2007年 / 参考書: TOEIC 公式ガイド&問題集: 日本語版, The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2000年; TOEIC 公式ガイド&問題集: 日本語版 (Vol.2), The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2002年; TOEIC テスト新公式問題集, Educational Testing Service, 国際ビジネスコミュニケーション協会, 2006年; 英会話教育チャンネル「GLC 英会話」、ネット放送局「BBC ニュース、CNN ニュース」など(利用法については、図書館の利用者サービス係・情報サービス係へ)</p> <p>メッセージ ・この授業は忙しい授業です。そのため、教科書の説明は予習しておいてください。・この授業の「目的」「意義」をよく理解して授業に臨んでください。・遅刻をしないでください。</p> <p>教官連絡先 kamogawa@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	TOEIC 準備	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	言語 (21-55)	単位	1 単位	曜時限	火曜日 5・6 時限
担当教官	松谷 緑				
<p>授業概要 この授業では、TOEIC テストを用いて実践的な英語でのコミュニケーション能力を自己確認する。そのために、TOEIC テストの全貌について学び、その受験技術とテストで用いられるコミュニケーションのための実用文(話し言葉、書き言葉)に慣れる。TOEIC テストは「聞く」「読む」という2つのスキルについてのみ実施されるが、他の「話す」「書く」というスキルも間接的なスキルとして評価される。TOEIC テストの最初の半分が 45 分の Listening Comprehension に当てられるため、特にこの授業では聞き取りに力を入れる。</p> <p>授業一般目標 (1) TOEIC テストの出題形式に慣れ、パートごとに問題への対応の仕方を理解する。特に、スピーディーな英語を聞き取り、情報を処理することに慣れる。(2) 自習課題を通して、「自学自習」の習慣を身につける。Listening Comprehension に慣れるため、自習課題を通して、少なくとも週 6 日 1 日 1 時間の英語の「自学自習」の習慣を身につける。(3) 自習課題の成績や、TOEIC の各パートの正答率などをもとに自己の英語力を確認し、受講者自ら 6 月 TOEIC IP テストでの目標点を設定する。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・ 2 回以上(欠席届による公欠を含む)欠席した学生の成績は不可となる。・自習課題ノートオンライン版(Daily Workout for Circuit Training for the TOEIC Test)の実行状況・達成率を評点に換算する(より詳しくは、授業時に説明する)。 ・ TOEIC IP 試験を受験しなかった学生は、成績保留となる(この授業科目に関しては、TOEIC の得点による単位認定は行われない)。 ・自習課題ノート以外の課題を宿題として課すこともある。その場合には、その課題の提出も評価の対象となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Intensive Training for the TOEIC Test(TOEIC テスト インテンシブ トレーニング), Mitsuyasu Miyazaki & Milada Broukal, Seibido, 2007 年 / 参考書: TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版, The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2000 年; TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版 (Vol.2), The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2002 年; TOEIC テスト新公式問題集, Educational Testing Service, 国際ビジネスコミュニケーション協会, 2006 年; 英会話教育チャンネル「GLC 英会話」、ネット放送局「BBC ニュース、CNN ニュース」など(利用法については、図書館の利用者サービス係・情報サービス係へ)</p> <p>メッセージ ・この授業は忙しい授業です。そのため、教科書の説明は予習しておいてください。・この授業の「目的」「意義」をよく理解して授業に臨んでください。・遅刻をしないでください。</p> <p>教官連絡先 mmatsu@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	TOEIC 準備	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	言語 (55-)	単位	1 単位	曜時限	火曜日 5・6 時限
担当教官	島 越郎				
<p>授業概要 この授業では、TOEIC テストを用いて実践的な英語でのコミュニケーション能力を自己確認する。そのために、TOEIC テストの全貌について学び、その受験技術とテストで用いられるコミュニケーションのための実用文(話し言葉、書き言葉)に慣れる。TOEIC テストは「聞く」「読む」という2つのスキルについてのみ実施されるが、他の「話す」「書く」というスキルも間接的なスキルとして評価される。TOEIC テストの最初の半分が 45 分の Listening Comprehension に当てられるため、特にこの授業では聞き取りに力を入れる。</p> <p>授業一般目標 (1) TOEIC テストの出題形式に慣れ、パートごとに問題への対応の仕方を理解する。特に、スピーディーな英語を聞き取り、情報を処理することに慣れる。(2) 自習課題を通して、「自学自習」の習慣を身につける。Listening Comprehension に慣れるため、自習課題を通して、少なくとも週 6 日 1 日 1 時間の英語の「自学自習」の習慣を身につける。(3) 自習課題の成績や、TOEIC の各パートの正答率などをもとに自己の英語力を確認し、受講者自ら 6 月 TOEIC IP テストでの目標点を設定する。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・ 2 回以上(欠席届による公欠を含む)欠席した学生の成績は不可となる。・自習課題ノートオンライン版(Daily Workout for Circuit Training for the TOEIC Test)の実行状況・達成率を評点に換算する(より詳しくは、授業時に説明する)。 ・ TOEIC IP 試験を受験しなかった学生は、成績保留となる(この授業科目に関しては、TOEIC の得点による単位認定は行われない)。 ・自習課題ノート以外の課題を宿題として課すこともある。その場合には、その課題の提出も評価の対象となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Intensive Training for the TOEIC Test(TOEIC テスト インテンシブ トレーニング), Mitsuyasu Miyazaki & Milada Broukal, Seibido, 2007 年 / 参考書: TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版, The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2000 年; TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版 (Vol.2), The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2002 年; TOEIC テスト新公式問題集, Educational Testing Service, 国際ビジネスコミュニケーション協会, 2006 年; 英会話教育チャンネル「GLC 英会話」、ネット放送局「BBC ニュース、CNN ニュース」など(利用法については、図書館の利用者サービス係・情報サービス係へ)</p> <p>メッセージ ・この授業は忙しい授業です。そのため、教科書の説明は予習しておいてください。・この授業の「目的」「意義」をよく理解して授業に臨んでください。・遅刻をしないでください。</p> <p>教官連絡先 eshima@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	TOEIC 準備	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	数理 (1-40)	単位	1 単位	曜時限	火曜日 5・6 時限
担当教官	山根和明				
<p>授業概要 この授業では、TOEIC テストを用いて実践的な英語でのコミュニケーション能力を自己確認する。そのために、TOEIC テストの全貌について学び、その受験技術とテストで用いられるコミュニケーションのための実用文(話し言葉、書き言葉)に慣れる。TOEIC テストは「聞く」「読む」という2つのスキルについてのみ実施されるが、他の「話す」「書く」というスキルも間接的なスキルとして評価される。TOEIC テストの最初の半分が 45 分の Listening Comprehension に当てられるため、特にこの授業では聞き取りに力を入れる。</p> <p>授業一般目標 (1) TOEIC テストの出題形式に慣れ、パートごとに問題への対応の仕方を理解する。特に、スピーディーな英語を聞き取り、情報を処理することに慣れる。(2) 自習課題を通して、「自学自習」の習慣を身につける。Listening Comprehension に慣れるため、自習課題を通して、少なくとも週 6 日 1 日 1 時間の英語の「自学自習」の習慣を身につける。(3) 自習課題の成績や、TOEIC の各パートの正答率などをもとに自己の英語力を確認し、受講者自ら 6 月 TOEIC IP テストでの目標点を設定する。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・ 2 回以上(欠席届による公欠を含む)欠席した学生の成績は不可となる。・自習課題ノートオンライン版(Daily Workout for Circuit Training for the TOEIC Test)の実行状況・達成率を評点に換算する(より詳しくは、授業時に説明する)。・TOEIC IP 試験を受験しなかった学生は、成績保留となる(この授業科目に関しては、TOEIC の得点による単位認定は行われない)。・自習課題ノート以外の課題を宿題として課すこともある。その場合には、その課題の提出も評価の対象となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Intensive Training for the TOEIC Test(TOEIC テスト インテンシブ トレーニング), Mitsuyasu Miyazaki & Milada Broukal, Seibido, 2007 年 / 参考書: TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版, The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2000 年; TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版 (Vol.2), The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2002 年; TOEIC テスト新公式問題集, Educational Testing Service, 国際ビジネスコミュニケーション協会, 2006 年; 英会話教育チャンネル「GLC 英会話」、ネット放送局「BBC ニュース、CNN ニュース」など(利用法については、図書館の利用者サービス係・情報サービス係へ)</p> <p>メッセージ ・この授業は忙しい授業です。そのため、教科書の説明は予習しておいてください。・この授業の「目的」「意義」をよく理解して授業に臨んでください。・遅刻をしないでください。</p> <p>教官連絡先 yamane.k@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	TOEIC 準備	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	数理 (41-)・物情 (1-25)	単位	1 単位	曜時限	火曜日 5・6 時限
担当教官	太田聡				
<p>授業概要 この授業では、TOEIC テストを用いて実践的な英語でのコミュニケーション能力を自己確認する。そのために、TOEIC テストの全貌について学び、その受験技術とテストで用いられるコミュニケーションのための実用文(話し言葉、書き言葉)に慣れる。TOEIC テストは「聞く」「読む」という2つのスキルについてのみ実施されるが、他の「話す」「書く」というスキルも間接的なスキルとして評価される。TOEIC テストの最初の半分が 45 分の Listening Comprehension に当てられるため、特にこの授業では聞き取りに力を入れる。</p> <p>授業一般目標 (1) TOEIC テストの出題形式に慣れ、パートごとに問題への対応の仕方を理解する。特に、スピーディーな英語を聞き取り、情報を処理することに慣れる。(2) 自習課題を通して、「自学自習」の習慣を身につける。Listening Comprehension に慣れるため、自習課題を通して、少なくとも週 6 日 1 日 1 時間の英語の「自学自習」の習慣を身につける。(3) 自習課題の成績や、TOEIC の各パートの正答率などをもとに自己の英語力を確認し、受講者自ら 6 月 TOEIC IP テストでの目標点を設定する。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・ 2 回以上(欠席届による公欠を含む)欠席した学生の成績は不可となる。・自習課題ノートオンライン版(Daily Workout for Circuit Training for the TOEIC Test)の実行状況・達成率を評点に換算する(より詳しくは、授業時に説明する)。・TOEIC IP 試験を受験しなかった学生は、成績保留となる(この授業科目に関しては、TOEIC の得点による単位認定は行われない)。・自習課題ノート以外の課題を宿題として課すこともある。その場合には、その課題の提出も評価の対象となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Intensive Training for the TOEIC Test(TOEIC テスト インテンシブ トレーニング), Mitsuyasu Miyazaki & Milada Broukal, Seibido, 2007 年 / 参考書: TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版, The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2000 年; TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版 (Vol.2), The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2002 年; TOEIC テスト新公式問題集, Educational Testing Service, 国際ビジネスコミュニケーション協会, 2006 年; 英会話教育チャンネル「GLC 英会話」、ネット放送局「BBC ニュース、CNN ニュース」など(利用法については、図書館の利用者サービス係・情報サービス係へ)</p> <p>メッセージ ・この授業は忙しい授業です。そのため、教科書の説明は予習しておいてください。・この授業の「目的」「意義」をよく理解して授業に臨んでください。・遅刻をしないでください。</p> <p>教官連絡先 ohta@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	TOEIC 準備	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	物情 (26-)	単位	1 単位	曜時限	火曜日 5・6 時限
担当教官	高橋 博美				
<p>授業概要 この授業では、TOEIC テストを用いて実践的な英語でのコミュニケーション能力を自己確認する。そのために、TOEIC テストの全貌について学び、その受験技術とテストで用いられるコミュニケーションのための実用文(話し言葉、書き言葉)に慣れる。TOEIC テストは「聞く」「読む」という2つのスキルについてのみ実施されるが、他の「話す」「書く」というスキルも間接的なスキルとして評価される。TOEIC テストの最初の半分の45分の Listening Comprehension に当てられるため、特にこの授業では聞き取りに力を入れる。</p> <p>授業一般目標 (1) TOEIC テストの出題形式に慣れ、パートごとに問題への対応の仕方を理解する。特に、スピーディーな英語を聞き取り、情報を処理することに慣れる。(2) 自習課題を通して、「自学自習」の習慣を身につける。Listening Comprehension に慣れるため、自習課題を通して、少なくとも週6日1日1時間の英語の「自学自習」の習慣を身につける。(3) 自習課題の成績や、TOEIC の各パートの正答率などをもとに自己の英語力を確認し、受講者自ら6月 TOEIC IP テストでの目標点を設定する。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含む)欠席した学生の成績は不可となる。・自習課題ノートオンライン版(Daily Workout for Circuit Training for the TOEIC Test)の実行状況・達成率を評点に換算する(より詳しくは、授業時に説明する)。・TOEIC IP 試験を受験しなかった学生は、成績保留となる(この授業科目に関しては、TOEIC の得点による単位認定は行われない)。・自習課題ノート以外の課題を宿題として課すこともある。その場合には、その課題の提出も評価の対象となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Intensive Training for the TOEIC Test(TOEIC テスト インテンシブ トレーニング), Mitsuyasu Miyazaki & Milada Broukal, Seibido, 2007 年 / 参考書: TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版, The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2000 年; TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版 (Vol.2), The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2002 年; TOEIC テスト新公式問題集, Educational Testing Service, 国際ビジネスコミュニケーション協会, 2006 年; 英会話教育チャンネル「GLC 英会話」、ネット放送局「BBC ニュース、CNN ニュース」など(利用法については、図書館の利用者サービス係・情報サービス係へ)</p> <p>メッセージ ・この授業は忙しい授業です。そのため、教科書の説明は予習しておいてください。・この授業の「目的」「意義」をよく理解して授業に臨んでください。・遅刻をしないでください。</p>					

開設科目	TOEIC 準備	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	生化 (1-40)	単位	1 単位	曜時限	火曜日 5・6 時限
担当教官	矢野 紀子				
<p>授業概要 この授業では、TOEIC テストを用いて実践的な英語でのコミュニケーション能力を自己確認する。そのために、TOEIC テストの全貌について学び、その受験技術とテストで用いられるコミュニケーションのための実用文(話し言葉、書き言葉)に慣れる。TOEIC テストは「聞く」「読む」という2つのスキルについてのみ実施されるが、他の「話す」「書く」というスキルも間接的なスキルとして評価される。TOEIC テストの最初の半分の45分の Listening Comprehension に当てられるため、特にこの授業では聞き取りに力を入れる。</p> <p>授業一般目標 (1) TOEIC テストの出題形式に慣れ、パートごとに問題への対応の仕方を理解する。特に、スピーディーな英語を聞き取り、情報を処理することに慣れる。(2) 自習課題を通して、「自学自習」の習慣を身につける。Listening Comprehension に慣れるため、自習課題を通して、少なくとも週6日1日1時間の英語の「自学自習」の習慣を身につける。(3) 自習課題の成績や、TOEIC の各パートの正答率などをもとに自己の英語力を確認し、受講者自ら6月 TOEIC IP テストでの目標点を設定する。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含む)欠席した学生の成績は不可となる。・自習課題ノートオンライン版(Daily Workout for Circuit Training for the TOEIC Test)の実行状況・達成率を評点に換算する(より詳しくは、授業時に説明する)。・TOEIC IP 試験を受験しなかった学生は、成績保留となる(この授業科目に関しては、TOEIC の得点による単位認定は行われない)。・自習課題ノート以外の課題を宿題として課すこともある。その場合には、その課題の提出も評価の対象となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Intensive Training for the TOEIC Test(TOEIC テスト インテンシブ トレーニング), Mitsuyasu Miyazaki & Milada Broukal, Seibido, 2007 年 / 参考書: TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版, The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2000 年; TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版 (Vol.2), The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2002 年; TOEIC テスト新公式問題集, Educational Testing Service, 国際ビジネスコミュニケーション協会, 2006 年; 英会話教育チャンネル「GLC 英会話」、ネット放送局「BBC ニュース、CNN ニュース」など(利用法については、図書館の利用者サービス係・情報サービス係へ)</p> <p>メッセージ ・この授業は忙しい授業です。そのため、教科書の説明は予習しておいてください。・この授業の「目的」「意義」をよく理解して授業に臨んでください。・遅刻をしないでください。</p>					

開設科目	TOEIC 準備	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	生化 (41-)	単位	1 単位	曜時限	火曜日 5・6 時限
担当教官	猫田和明				
<p>授業概要 この授業では、TOEIC テストを用いて実践的な英語でのコミュニケーション能力を自己確認する。そのために、TOEIC テストの全貌について学び、その受験技術とテストで用いられるコミュニケーションのための実用文(話し言葉、書き言葉)に慣れる。TOEIC テストは「聞く」「読む」という2つのスキルについてのみ実施されるが、他の「話す」「書く」というスキルも間接的なスキルとして評価される。TOEIC テストの最初の半分が 45 分の Listening Comprehension に当てられるため、特にこの授業では聞き取りに力を入れる。</p> <p>授業一般目標 (1) TOEIC テストの出題形式に慣れ、パートごとに問題への対応の仕方を理解する。特に、スピーディーな英語を聞き取り、情報を処理することに慣れる。(2) 自習課題を通して、「自学自習」の習慣を身につける。Listening Comprehension に慣れるため、自習課題を通して、少なくとも週 6 日 1 日 1 時間の英語の「自学自習」の習慣を身につける。(3) 自習課題の成績や、TOEIC の各パートの正答率などをもとに自己の英語力を確認し、受講者自ら 6 月 TOEIC IP テストでの目標点を設定する。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・ 2 回以上(欠席届による公欠を含む)欠席した学生の成績は不可となる。・自習課題ノートオンライン版(Daily Workout for Circuit Training for the TOEIC Test)の実行状況・達成率を評点に換算する(より詳しくは、授業時に説明する)。・TOEIC IP 試験を受験しなかった学生は、成績保留となる(この授業科目に関しては、TOEIC の得点による単位認定は行われない)。・自習課題ノート以外の課題を宿題として課すこともある。その場合には、その課題の提出も評価の対象となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Intensive Training for the TOEIC Test(TOEIC テスト インテンシブ トレーニング), Mitsuyasu Miyazaki & Milada Broukal, Seibido, 2007 年 / 参考書: TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版, The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2000 年; TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版 (Vol.2), The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2002 年; TOEIC テスト新公式問題集, Educational Testing Service, 国際ビジネスコミュニケーション協会, 2006 年; 英会話教育チャンネル「GLC 英会話」、ネット放送局「BBC ニュース、CNN ニュース」など(利用法については、図書館の利用者サービス係・情報サービス係へ)</p> <p>メッセージ ・この授業は忙しい授業です。そのため、教科書の説明は予習しておいてください。・この授業の「目的」「意義」をよく理解して授業に臨んでください。・遅刻をしないでください。</p> <p>教官連絡先 nekoda@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	TOEIC 準備	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	地球	単位	1 単位	曜時限	火曜日 5・6 時限
担当教官	高橋俊章				
<p>授業概要 この授業では、TOEIC テストを用いて実践的な英語でのコミュニケーション能力を自己確認する。そのために、TOEIC テストの全貌について学び、その受験技術とテストで用いられるコミュニケーションのための実用文(話し言葉、書き言葉)に慣れる。TOEIC テストは「聞く」「読む」という2つのスキルについてのみ実施されるが、他の「話す」「書く」というスキルも間接的なスキルとして評価される。TOEIC テストの最初の半分が 45 分の Listening Comprehension に当てられるため、特にこの授業では聞き取りに力を入れる。</p> <p>授業一般目標 (1) TOEIC テストの出題形式に慣れ、パートごとに問題への対応の仕方を理解する。特に、スピーディーな英語を聞き取り、情報を処理することに慣れる。(2) 自習課題を通して、「自学自習」の習慣を身につける。Listening Comprehension に慣れるため、自習課題を通して、少なくとも週 6 日 1 日 1 時間の英語の「自学自習」の習慣を身につける。(3) 自習課題の成績や、TOEIC の各パートの正答率などをもとに自己の英語力を確認し、受講者自ら 6 月 TOEIC IP テストでの目標点を設定する。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・ 2 回以上(欠席届による公欠を含む)欠席した学生の成績は不可となる。・自習課題ノートオンライン版(Daily Workout for Circuit Training for the TOEIC Test)の実行状況・達成率を評点に換算する(より詳しくは、授業時に説明する)。・TOEIC IP 試験を受験しなかった学生は、成績保留となる(この授業科目に関しては、TOEIC の得点による単位認定は行われない)。・自習課題ノート以外の課題を宿題として課すこともある。その場合には、その課題の提出も評価の対象となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Intensive Training for the TOEIC Test(TOEIC テスト インテンシブ トレーニング), Mitsuyasu Miyazaki & Milada Broukal, Seibido, 2007 年 / 参考書: TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版, The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2000 年; TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版 (Vol.2), The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2002 年; TOEIC テスト新公式問題集, Educational Testing Service, 国際ビジネスコミュニケーション協会, 2006 年; 英会話教育チャンネル「GLC 英会話」、ネット放送局「BBC ニュース、CNN ニュース」など(利用法については、図書館の利用者サービス係・情報サービス係へ)</p> <p>メッセージ ・この授業は忙しい授業です。そのため、教科書の説明は予習しておいてください。・この授業の「目的」「意義」をよく理解して授業に臨んでください。・遅刻をしないでください。</p> <p>教官連絡先 bld10@yamaguchi-u.ac.jp</p> <p>備考 理学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	TOEIC 準備	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	検査	単位	1 単位	曜時限	火曜日 5・6 時限
担当教官	正宗 聡				
<p>授業概要 この授業では、TOEIC テストを用いて実践的な英語でのコミュニケーション能力を自己確認する。そのために、TOEIC テストの全貌について学び、その受験技術とテストで用いられるコミュニケーションのための実用文(話し言葉、書き言葉)に慣れる。TOEIC テストは「聞く」「読む」という2つのスキルについてのみ実施されるが、他の「話す」「書く」というスキルも間接的なスキルとして評価される。TOEIC テストの最初の半分が 45 分の Listening Comprehension に当てられるため、特にこの授業では聞き取りに力を入れる。</p> <p>授業一般目標 (1) TOEIC テストの出題形式に慣れ、パートごとに問題への対応の仕方を理解する。特に、スピーディーな英語を聞き取り、情報を処理することに慣れる。(2) 自習課題を通して、「自学自習」の習慣を身につける。Listening Comprehension に慣れるため、自習課題を通して、少なくとも週 6 日 1 日 1 時間の英語の「自学自習」の習慣を身につける。(3) 自習課題の成績や、TOEIC の各パートの正答率などをもとに自己の英語力を確認し、受講者自ら 6 月 TOEIC IP テストでの目標点を設定する。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・ 2 回以上(欠席届による公欠を含む)欠席した学生の成績は不可となる。・自習課題ノートオンライン版(Daily Workout for Circuit Training for the TOEIC Test)の実行状況・達成率を評点に換算する(より詳しくは、授業時に説明する)。・TOEIC IP 試験を受験しなかった学生は、成績保留となる(この授業科目に関しては、TOEIC の得点による単位認定は行われない)。・自習課題ノート以外の課題を宿題として課すこともある。その場合には、その課題の提出も評価の対象となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Intensive Training for the TOEIC Test(TOEIC テスト インテンシブ トレーニング), Mitsuyasu Miyazaki & Milada Broukal, Seibido, 2007 年 / 参考書: TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版, The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2000 年; TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版 (Vol.2), The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2002 年; TOEIC テスト新公式問題集, Educational Testing Service, 国際ビジネスコミュニケーション協会, 2006 年; 英会話教育チャンネル「GLC 英会話」、ネット放送局「BBC ニュース、CNN ニュース」など(利用法については、図書館の利用者サービス係・情報サービス係へ)</p> <p>メッセージ ・この授業は忙しい授業です。そのため、教科書の説明は予習しておいてください。・この授業の「目的」「意義」をよく理解して授業に臨んでください。・遅刻をしないでください。</p> <p>教官連絡先 tristar@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	TOEIC 準備	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	機械 (1-40)	単位	1 単位	曜時限	火曜日 7・8 時限
担当教官	岡 統一郎				
<p>授業概要 この授業では、TOEIC テストを用いて実践的な英語でのコミュニケーション能力を自己確認する。そのために、TOEIC テストの全貌について学び、その受験技術とテストで用いられるコミュニケーションのための実用文(話し言葉、書き言葉)に慣れる。TOEIC テストは「聞く」「読む」という2つのスキルについてのみ実施されるが、他の「話す」「書く」というスキルも間接的なスキルとして評価される。TOEIC テストの最初の半分が 45 分の Listening Comprehension に当てられるため、特にこの授業では聞き取りに力を入れる。</p> <p>授業一般目標 (1) TOEIC テストの出題形式に慣れ、パートごとに問題への対応の仕方を理解する。特に、スピーディーな英語を聞き取り、情報を処理することに慣れる。(2) 自習課題を通して、「自学自習」の習慣を身につける。Listening Comprehension に慣れるため、自習課題を通して、少なくとも週 6 日 1 日 1 時間の英語の「自学自習」の習慣を身につける。(3) 自習課題の成績や、TOEIC の各パートの正答率などをもとに自己の英語力を確認し、受講者自ら 6 月 TOEIC IP テストでの目標点を設定する。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・ 2 回以上(欠席届による公欠を含む)欠席した学生の成績は不可となる。・自習課題ノートオンライン版(Daily Workout for Circuit Training for the TOEIC Test)の実行状況・達成率を評点に換算する(より詳しくは、授業時に説明する)。・TOEIC IP 試験を受験しなかった学生は、成績保留となる(この授業科目に関しては、TOEIC の得点による単位認定は行われない)。・自習課題ノート以外の課題を宿題として課すこともある。その場合には、その課題の提出も評価の対象となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Intensive Training for the TOEIC Test(TOEIC テスト インテンシブ トレーニング), Mitsuyasu Miyazaki & Milada Broukal, Seibido, 2007 年 / 参考書: TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版, The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2000 年; TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版 (Vol.2), The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2002 年; TOEIC テスト新公式問題集, Educational Testing Service, 国際ビジネスコミュニケーション協会, 2006 年; 英会話教育チャンネル「GLC 英会話」、ネット放送局「BBC ニュース、CNN ニュース」など(利用法については、図書館の利用者サービス係・情報サービス係へ)</p> <p>メッセージ ・この授業は忙しい授業です。そのため、教科書の説明は予習しておいてください。・この授業の「目的」「意義」をよく理解して授業に臨んでください。・遅刻をしないでください。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	TOEIC 準備	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	機械 (41-80)	単位	1 単位	曜時限	火曜日 7・8 時限
担当教官	鴨川 啓信				
<p>授業概要 この授業では、TOEIC テストを用いて実践的な英語でのコミュニケーション能力を自己確認する。そのために、TOEIC テストの全貌について学び、その受験技術とテストで用いられるコミュニケーションのための実用文(話し言葉、書き言葉)に慣れる。TOEIC テストは「聞く」「読む」という2つのスキルについてのみ実施されるが、他の「話す」「書く」というスキルも間接的なスキルとして評価される。TOEIC テストの最初の半分の45分の Listening Comprehension に当てられるため、特にこの授業では聞き取りに力を入れる。</p> <p>授業一般目標 (1) TOEIC テストの出題形式に慣れ、パートごとに問題への対応の仕方を理解する。特に、スピーディーな英語を聞き取り、情報を処理することに慣れる。(2) 自習課題を通して、「自学自習」の習慣を身につける。Listening Comprehension に慣れるため、自習課題を通して、少なくとも週6日1日1時間の英語の「自学自習」の習慣を身につける。(3) 自習課題の成績や、TOEIC の各パートの正答率などをもとに自己の英語力を確認し、受講者自ら6月 TOEIC IP テストでの目標点を設定する。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含む)欠席した学生の成績は不可となる。・自習課題ノートオンライン版(Daily Workout for Circuit Training for the TOEIC Test)の実行状況・達成率を評点に換算する(より詳しくは、授業時に説明する)。・TOEIC IP 試験を受験しなかった学生は、成績保留となる(この授業科目に関しては、TOEIC の得点による単位認定は行われない)。・自習課題ノート以外の課題を宿題として課すこともある。その場合には、その課題の提出も評価の対象となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Intensive Training for the TOEIC Test(TOEIC テスト インテンシブ トレーニング), Mitsuyasu Miyazaki & Milada Broukal, Seibido, 2007 年 / 参考書: TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版, The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2000 年; TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版 (Vol.2), The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2002 年; TOEIC テスト新公式問題集, Educational Testing Service, 国際ビジネスコミュニケーション協会, 2006 年; 英会話教育チャンネル「GLC 英会話」, ネット放送局「BBC ニュース, CNN ニュース」など(利用法については、図書館の利用者サービス係・情報サービス係へ)</p> <p>メッセージ ・この授業は忙しい授業です。そのため、教科書の説明は予習しておいてください。・この授業の「目的」「意義」をよく理解して授業に臨んでください。・遅刻をしないでください。</p> <p>教官連絡先 kamogawa@yamaguchi-u.ac.jp</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	TOEIC 準備	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	機械 (81-)・応化 (1-25)	単位	1 単位	曜時限	火曜日 7・8 時限
担当教官	宮原一成				
<p>授業概要 この授業では、TOEIC テストを用いて実践的な英語でのコミュニケーション能力を自己確認するために、TOEIC テストの全貌について学ぶ。そのテストで用いられるコミュニケーションのための実用文(話し言葉、書き言葉)に慣れる。TOEIC テストは「聞く」「読む」という2つのスキルについてのみ実施される、最初の半分の45分の Listening Comprehension に当てられるため、特にこの授業では聞き取りに力を入れる。</p> <p>授業一般目標 (1) TOEIC テストの出題形式に慣れ、パートごとに問題への対応の仕方を理解する。特に、スピーディーな英語を聞き取り、情報を処理することに慣れる。ただし、TOEIC というテストで高得点をあげるコツを教授する授業ではない。(2) 自習課題を通して、「自学自習」の習慣を身につける。Listening Comprehension に慣れるため、自習課題を通して、少なくとも週6日1日1時間の英語の「自学自習」の習慣を身につける。(3) 自習課題の成績や、TOEIC の各パートの正答率などをもとに自己の英語力を確認し、受講者自ら6月 TOEIC IP テストでの目標点を各自設定する。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含む)欠席した学生の成績は不可となる。・自習課題ノートおよび担当者から指示されたその他の課題は、課題の実行状況(課題をきちんとやっているか、復習をきちんとやっているかなど)をもとに欠席回数(-0.25回)に換算して評価する。・TOEIC IP 試験を受験しなかった学生は、成績保留となる(この授業科目に関しては、TOEIC の得点による単位認定は行われない)。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 書名未定, 宮崎充保, 成美堂, 2007 年; 山口大学1年生向け統一教科書です。第1回授業以前に必ず購入しておくこと。教科書持参でなければ、初回授業はたとえ教室にいても欠席と見なす。 / 参考書: 市販の TOEIC 図書(『TOEIC 公式ガイド & 問題集 1・2』など) ALC NetAcademy, Video on Demand による「英会話」番組 (使用については、図書館の情報リテラシー係へ)</p> <p>メッセージ ・初回授業時にも、予習してくることがすでに要求されている。教科書の指示をよく読んでおくこと。・「TOEIC の問題形式や実用文に慣れること」が目標で、何らかの水準点を目指す授業ではありません。それよりも、基本的な聞き取り、読み取りの地道な鍛錬を目指しています。・言わずもがなだが、遅刻厳禁。無断での途中退席厳禁。これらはちゃんと1回分出席したとは見なさない。</p> <p>教官連絡先 初回の授業で受講者には通知します。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	TOEIC 準備	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	応化 (26-65)	単位	1 単位	曜時限	火曜日 7・8 時限
担当教官	矢野紀子				
<p>授業概要 この授業では、TOEIC テストを用いて実践的な英語でのコミュニケーション能力を自己確認する。そのために、TOEIC テストの全貌について学び、その受験技術とテストで用いられるコミュニケーションのための実用文(話し言葉、書き言葉)に慣れる。TOEIC テストは「聞く」「読む」という2つのスキルについてのみ実施されるが、他の「話す」「書く」というスキルも間接的なスキルとして評価される。TOEIC テストの最初の半分が 45 分の Listening Comprehension に当てられるため、特にこの授業では聞き取りに力を入れる。</p> <p>授業一般目標 (1) TOEIC テストの出題形式に慣れ、パートごとに問題への対応の仕方を理解する。特に、スピーディーな英語を聞き取り、情報を処理することに慣れる。(2) 自習課題を通して、「自学自習」の習慣を身につける。Listening Comprehension に慣れるため、自習課題を通して、少なくとも週 6 日 1 日 1 時間の英語の「自学自習」の習慣を身につける。(3) 自習課題の成績や、TOEIC の各パートの正答率などをもとに自己の英語力を確認し、受講者自ら 6 月 TOEIC IP テストでの目標点を設定する。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・ 2 回以上(欠席届による公欠を含む)欠席した学生の成績は不可となる。・自習課題ノートオンライン版(Daily Workout for Circuit Training for the TOEIC Test)の実行状況・達成率を評点に換算する(より詳しくは、授業時に説明する)。・TOEIC IP 試験を受験しなかった学生は、成績保留となる(この授業科目に関しては、TOEIC の得点による単位認定は行われない)。・自習課題ノート以外の課題を宿題として課すこともある。その場合には、その課題の提出も評価の対象となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Intensive Training for the TOEIC Test(TOEIC テスト インテンシブ トレーニング), Mitsuyasu Miyazaki & Milada Broukal, Seibido, 2007 年 / 参考書: TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版, The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2000 年; TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版 (Vol.2), The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2002 年; TOEIC テスト新公式問題集, Educational Testing Service, 国際ビジネスコミュニケーション協会, 2006 年; 英会話教育チャンネル「GLC 英会話」、ネット放送局「BBC ニュース、CNN ニュース」など(利用法については、図書館の利用者サービス係・情報サービス係へ)</p> <p>メッセージ ・この授業は忙しい授業です。そのため、教科書の説明は予習しておいてください。・この授業の「目的」「意義」をよく理解して授業に臨んでください。・遅刻をしないでください。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	TOEIC 準備	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	応化 (66-)・社建 (1-10)	単位	1 単位	曜時限	火曜日 7・8 時限
担当教官	島 越郎				
<p>授業概要 この授業では、TOEIC テストを用いて実践的な英語でのコミュニケーション能力を自己確認する。そのために、TOEIC テストの全貌について学び、その受験技術とテストで用いられるコミュニケーションのための実用文(話し言葉、書き言葉)に慣れる。TOEIC テストは「聞く」「読む」という2つのスキルについてのみ実施されるが、他の「話す」「書く」というスキルも間接的なスキルとして評価される。TOEIC テストの最初の半分が 45 分の Listening Comprehension に当てられるため、特にこの授業では聞き取りに力を入れる。</p> <p>授業一般目標 (1) TOEIC テストの出題形式に慣れ、パートごとに問題への対応の仕方を理解する。特に、スピーディーな英語を聞き取り、情報を処理することに慣れる。(2) 自習課題を通して、「自学自習」の習慣を身につける。Listening Comprehension に慣れるため、自習課題を通して、少なくとも週 6 日 1 日 1 時間の英語の「自学自習」の習慣を身につける。(3) 自習課題の成績や、TOEIC の各パートの正答率などをもとに自己の英語力を確認し、受講者自ら 6 月 TOEIC IP テストでの目標点を設定する。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・ 2 回以上(欠席届による公欠を含む)欠席した学生の成績は不可となる。・自習課題ノートオンライン版(Daily Workout for Circuit Training for the TOEIC Test)の実行状況・達成率を評点に換算する(より詳しくは、授業時に説明する)。・TOEIC IP 試験を受験しなかった学生は、成績保留となる(この授業科目に関しては、TOEIC の得点による単位認定は行われない)。・自習課題ノート以外の課題を宿題として課すこともある。その場合には、その課題の提出も評価の対象となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Intensive Training for the TOEIC Test(TOEIC テスト インテンシブ トレーニング), Mitsuyasu Miyazaki & Milada Broukal, Seibido, 2007 年 / 参考書: TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版, The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2000 年; TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版 (Vol.2), The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2002 年; TOEIC テスト新公式問題集, Educational Testing Service, 国際ビジネスコミュニケーション協会, 2006 年; 英会話教育チャンネル「GLC 英会話」、ネット放送局「BBC ニュース、CNN ニュース」など(利用法については、図書館の利用者サービス係・情報サービス係へ)</p> <p>メッセージ ・この授業は忙しい授業です。そのため、教科書の説明は予習しておいてください。・この授業の「目的」「意義」をよく理解して授業に臨んでください。・遅刻をしないでください。</p> <p>教官連絡先 eshima@yamaguchi-u.ac.jp</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	TOEIC 準備	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	社建 (11-50)	単位	1 単位	曜時限	火曜日 7・8 時限
担当教官	倉増 泰弘				
<p>授業概要 この授業では、TOEIC テストを用いて実践的な英語でのコミュニケーション能力を自己確認する。そのために、TOEIC テストの全貌について学び、その受験技術とテストで用いられるコミュニケーションのための実用文(話し言葉、書き言葉)に慣れる。TOEIC テストは「聞く」「読む」という2つのスキルについてのみ実施されるが、他の「話す」「書く」というスキルも間接的なスキルとして評価される。TOEIC テストの最初の半分の45分の Listening Comprehension に当てられるため、特にこの授業では聞き取りに力を入れる。</p> <p>授業一般目標 (1) TOEIC テストの出題形式に慣れ、パートごとに問題への対応の仕方を理解する。特に、スピーディーな英語を聞き取り、情報を処理することに慣れる。(2) 自習課題を通して、「自学自習」の習慣を身につける。Listening Comprehension に慣れるため、自習課題を通して、少なくとも週6日1日1時間の英語の「自学自習」の習慣を身につける。(3) 自習課題の成績や、TOEIC の各パートの正答率などをもとに自己の英語力を確認し、受講者自ら6月 TOEIC IP テストでの目標点を設定する。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含む)欠席した学生の成績は不可となる。・自習課題ノートオンライン版(Daily Workout for Circuit Training for the TOEIC Test)の実行状況・達成率を評点に換算する(より詳しくは、授業時に説明する)。・TOEIC IP 試験を受験しなかった学生は、成績保留となる(この授業科目に関しては、TOEIC の得点による単位認定は行われない)。・自習課題ノート以外の課題を宿題として課すこともある。その場合には、その課題の提出も評価の対象となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Intensive Training for the TOEIC Test(TOEIC テスト インテンシブ トレーニング), Mitsuyasu Miyazaki & Milada Broukal, Seibido, 2007 年 / 参考書: TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版, The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2000 年; TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版 (Vol.2), The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2002 年; TOEIC テスト新公式問題集, Educational Testing Service, 国際ビジネスコミュニケーション協会, 2006 年; 英会話教育チャンネル「GLC 英会話」、ネット放送局「BBC ニュース、CNN ニュース」など(利用法については、図書館の利用者サービス係・情報サービス係へ)</p> <p>メッセージ ・この授業は忙しい授業です。そのため、教科書の説明は予習しておいてください。・この授業の「目的」「意義」をよく理解して授業に臨んでください。・遅刻をしないでください。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	TOEIC 準備	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	社建 (51-)・電気 (1-5)	単位	1 単位	曜時限	火曜日 7・8 時限
担当教官	松谷 緑				
<p>授業概要 この授業では、TOEIC テストを用いて実践的な英語でのコミュニケーション能力を自己確認する。そのために、TOEIC テストの全貌について学び、その受験技術とテストで用いられるコミュニケーションのための実用文(話し言葉、書き言葉)に慣れる。TOEIC テストは「聞く」「読む」という2つのスキルについてのみ実施されるが、他の「話す」「書く」というスキルも間接的なスキルとして評価される。TOEIC テストの最初の半分の45分の Listening Comprehension に当てられるため、特にこの授業では聞き取りに力を入れる。</p> <p>授業一般目標 (1) TOEIC テストの出題形式に慣れ、パートごとに問題への対応の仕方を理解する。特に、スピーディーな英語を聞き取り、情報を処理することに慣れる。(2) 自習課題を通して、「自学自習」の習慣を身につける。Listening Comprehension に慣れるため、自習課題を通して、少なくとも週6日1日1時間の英語の「自学自習」の習慣を身につける。(3) 自習課題の成績や、TOEIC の各パートの正答率などをもとに自己の英語力を確認し、受講者自ら6月 TOEIC IP テストでの目標点を設定する。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含む)欠席した学生の成績は不可となる。・自習課題ノートオンライン版(Daily Workout for Circuit Training for the TOEIC Test)の実行状況・達成率を評点に換算する(より詳しくは、授業時に説明する)。・TOEIC IP 試験を受験しなかった学生は、成績保留となる(この授業科目に関しては、TOEIC の得点による単位認定は行われない)。・自習課題ノート以外の課題を宿題として課すこともある。その場合には、その課題の提出も評価の対象となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Intensive Training for the TOEIC Test(TOEIC テスト インテンシブ トレーニング), Mitsuyasu Miyazaki & Milada Broukal, Seibido, 2007 年 / 参考書: TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版, The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2000 年; TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版 (Vol.2), The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2002 年; TOEIC テスト新公式問題集, Educational Testing Service, 国際ビジネスコミュニケーション協会, 2006 年; 英会話教育チャンネル「GLC 英会話」、ネット放送局「BBC ニュース、CNN ニュース」など(利用法については、図書館の利用者サービス係・情報サービス係へ)</p> <p>メッセージ ・この授業は忙しい授業です。そのため、教科書の説明は予習しておいてください。・この授業の「目的」「意義」をよく理解して授業に臨んでください。・遅刻をしないでください。</p> <p>教官連絡先 mmatsu@yamaguchi-u.ac.jp</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	TOEIC 準備	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	電気 (6-45)	単位	1 単位	曜時限	火曜日 7・8 時限
担当教官	正宗聡				
<p>授業概要 この授業では、TOEIC テストを用いて実践的な英語でのコミュニケーション能力を自己確認する。そのために、TOEIC テストの全貌について学び、その受験技術とテストで用いられるコミュニケーションのための実用文(話し言葉、書き言葉)に慣れる。TOEIC テストは「聞く」「読む」という2つのスキルについてのみ実施されるが、他の「話す」「書く」というスキルも間接的なスキルとして評価される。TOEIC テストの最初の半分の45分の Listening Comprehension に当てられるため、特にこの授業では聞き取りに力を入れる。</p> <p>授業一般目標 (1) TOEIC テストの出題形式に慣れ、パートごとに問題への対応の仕方を理解する。特に、スピーディーな英語を聞き取り、情報を処理することに慣れる。(2) 自習課題を通して、「自学自習」の習慣を身につける。Listening Comprehension に慣れるため、自習課題を通して、少なくとも週6日1日1時間の英語の「自学自習」の習慣を身につける。(3) 自習課題の成績や、TOEIC の各パートの正答率などをもとに自己の英語力を確認し、受講者自ら6月 TOEIC IP テストでの目標点を設定する。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含む)欠席した学生の成績は不可となる。・自習課題ノートオンライン版(Daily Workout for Circuit Training for the TOEIC Test)の実行状況・達成率を評点に換算する(より詳しくは、授業時に説明する)。・TOEIC IP 試験を受験しなかった学生は、成績保留となる(この授業科目に関しては、TOEIC の得点による単位認定は行われない)。・自習課題ノート以外の課題を宿題として課すこともある。その場合には、その課題の提出も評価の対象となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Intensive Training for the TOEIC Test(TOEIC テスト インテンシブ トレーニング), Mitsuyasu Miyazaki & Milada Broukal, Seibido, 2007 年 / 参考書: TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版, The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2000 年; TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版 (Vol.2), The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2002 年; TOEIC テスト新公式問題集, Educational Testing Service, 国際ビジネスコミュニケーション協会, 2006 年; 英会話教育チャンネル「GLC 英会話」、ネット放送局「BBC ニュース、CNN ニュース」など(利用法については、図書館の利用者サービス係・情報サービス係へ)</p> <p>メッセージ ・この授業は忙しい授業です。そのため、教科書の説明は予習しておいてください。・この授業の「目的」「意義」をよく理解して授業に臨んでください。・遅刻をしないでください。</p> <p>教官連絡先 tristar@yamaguchi-u.ac.jp</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	TOEIC 準備	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	電気 (46-)	単位	1 単位	曜時限	火曜日 7・8 時限
担当教官	尊田 望				
<p>授業概要 この授業では、TOEIC テストを用いて実践的な英語でのコミュニケーション能力を自己確認する。そのために、TOEIC テストの全貌について学び、その受験技術とテストで用いられるコミュニケーションのための実用文(話し言葉、書き言葉)に慣れる。TOEIC テストは「聞く」「読む」という2つのスキルについてのみ実施されるが、他の「話す」「書く」というスキルも間接的なスキルとして評価される。TOEIC テストの最初の半分の45分の Listening Comprehension に当てられるため、特にこの授業では聞き取りに力を入れる。</p> <p>授業一般目標 (1) TOEIC テストの出題形式に慣れ、パートごとに問題への対応の仕方を理解する。特に、スピーディーな英語を聞き取り、情報を処理することに慣れる。(2) 自習課題を通して、「自学自習」の習慣を身につける。Listening Comprehension に慣れるため、自習課題を通して、少なくとも週6日1日1時間の英語の「自学自習」の習慣を身につける。(3) 自習課題の成績や、TOEIC の各パートの正答率などをもとに自己の英語力を確認し、受講者自ら6月 TOEIC IP テストでの目標点を設定する。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含む)欠席した学生の成績は不可となる。・自習課題ノートオンライン版(Daily Workout for Circuit Training for the TOEIC Test)の実行状況・達成率を評点に換算する(より詳しくは、授業時に説明する)。・TOEIC IP 試験を受験しなかった学生は、成績保留となる(この授業科目に関しては、TOEIC の得点による単位認定は行われない)。・自習課題ノート以外の課題を宿題として課すこともある。その場合には、その課題の提出も評価の対象となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Intensive Training for the TOEIC Test(TOEIC テスト インテンシブ トレーニング), Mitsuyasu Miyazaki & Milada Broukal, Seibido, 2007 年 / 参考書: TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版, The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2000 年; TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版 (Vol.2), The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2002 年; TOEIC テスト新公式問題集, Educational Testing Service, 国際ビジネスコミュニケーション協会, 2006 年; 英会話教育チャンネル「GLC 英会話」、ネット放送局「BBC ニュース、CNN ニュース」など(利用法については、図書館の利用者サービス係・情報サービス係へ)</p> <p>メッセージ ・この授業は忙しい授業です。そのため、教科書の説明は予習しておいてください。・この授業の「目的」「意義」をよく理解して授業に臨んでください。・遅刻をしないでください。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	TOEIC 準備	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	知能 (1-40)	単位	1 単位	曜時限	火曜日 7・8 時限
担当教官	石井由理				
<p>授業概要 この授業では、TOEIC テストを用いて実践的な英語でのコミュニケーション能力を自己確認する。そのために、TOEIC テストの全貌について学び、その受験技術とテストで用いられるコミュニケーションのための実用文(話し言葉、書き言葉)に慣れる。TOEIC テストは「聞く」「読む」という2つのスキルについてのみ実施されるが、他の「話す」「書く」というスキルも間接的なスキルとして評価される。TOEIC テストの最初の半分の45分の Listening Comprehension に当てられるため、特にこの授業では聞き取りに力を入れる。</p> <p>授業一般目標 (1) TOEIC テストの出題形式に慣れ、パートごとに問題への対応の仕方を理解する。特に、スピーディーな英語を聞き取り、情報を処理することに慣れる。(2) 自習課題を通して、「自学自習」の習慣を身につける。Listening Comprehension に慣れるため、自習課題を通して、少なくとも週6日1日1時間の英語の「自学自習」の習慣を身につける。(3) 自習課題の成績や、TOEIC の各パートの正答率などをもとに自己の英語力を確認し、受講者自ら6月 TOEIC IP テストでの目標点を設定する。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含む)欠席した学生の成績は不可となる。・自習課題ノートオンライン版(Daily Workout for Circuit Training for the TOEIC Test)の実行状況・達成率を評点に換算する(より詳しくは、授業時に説明する)。・TOEIC IP 試験を受験しなかった学生は、成績保留となる(この授業科目に関しては、TOEIC の得点による単位認定は行われない)。・自習課題ノート以外の課題を宿題として課すこともある。その場合には、その課題の提出も評価の対象となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Intensive Training for the TOEIC Test(TOEIC テスト インテンシブ トレーニング), Mitsuyasu Miyazaki & Milada Broukal, Seibido, 2007 年 / 参考書: TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版, The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2000 年; TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版 (Vol.2), The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2002 年; TOEIC テスト新公式問題集, Educational Testing Service, 国際ビジネスコミュニケーション協会, 2006 年; 英会話教育チャンネル「GLC 英会話」、ネット放送局「BBC ニュース、CNN ニュース」など(利用法については、図書館の利用者サービス係・情報サービス係へ)</p> <p>メッセージ ・この授業は忙しい授業です。そのため、教科書の説明は予習しておいてください。・この授業の「目的」「意義」をよく理解して授業に臨んでください。・遅刻をしないでください。</p> <p>教官連絡先 yuri@yamaguchi-u.ac.jp 備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	TOEIC 準備	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	知能 (41-)	単位	1 単位	曜時限	火曜日 7・8 時限
担当教官	前田 満				
<p>授業概要 この授業では、TOEIC テストを用いて実践的な英語でのコミュニケーション能力を自己確認する。そのために、TOEIC テストの全貌について学び、その受験技術とテストで用いられるコミュニケーションのための実用文(話し言葉、書き言葉)に慣れる。TOEIC テストは「聞く」「読む」という2つのスキルについてのみ実施されるが、他の「話す」「書く」というスキルも間接的なスキルとして評価される。TOEIC テストの最初の半分の45分の Listening Comprehension に当てられるため、特にこの授業では聞き取りに力を入れる。</p> <p>授業一般目標 (1) TOEIC テストの出題形式に慣れ、パートごとに問題への対応の仕方を理解する。特に、スピーディーな英語を聞き取り、情報を処理することに慣れる。(2) 自習課題を通して、「自学自習」の習慣を身につける。Listening Comprehension に慣れるため、自習課題を通して、少なくとも週6日1日1時間の英語の「自学自習」の習慣を身につける。(3) 自習課題の成績や、TOEIC の各パートの正答率などをもとに自己の英語力を確認し、受講者自ら6月 TOEIC IP テストでの目標点を設定する。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含む)欠席した学生の成績は不可となる。・自習課題ノートオンライン版(Daily Workout for Circuit Training for the TOEIC Test)の実行状況・達成率を評点に換算する(より詳しくは、授業時に説明する)。・TOEIC IP 試験を受験しなかった学生は、成績保留となる(この授業科目に関しては、TOEIC の得点による単位認定は行われない)。・自習課題ノート以外の課題を宿題として課すこともある。その場合には、その課題の提出も評価の対象となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Intensive Training for the TOEIC Test(TOEIC テスト インテンシブ トレーニング), Mitsuyasu Miyazaki & Milada Broukal, Seibido, 2007 年 / 参考書: TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版, The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2000 年; TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版 (Vol.2), The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2002 年; TOEIC テスト新公式問題集, Educational Testing Service, 国際ビジネスコミュニケーション協会, 2006 年; 英会話教育チャンネル「GLC 英会話」、ネット放送局「BBC ニュース、CNN ニュース」など(利用法については、図書館の利用者サービス係・情報サービス係へ)</p> <p>メッセージ ・この授業は忙しい授業です。そのため、教科書の説明は予習しておいてください。・この授業の「目的」「意義」をよく理解して授業に臨んでください。・遅刻をしないでください。</p> <p>教官連絡先 m-maeda@yamaguchi-u.ac.jp 備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	TOEIC 準備	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	循環 (1-40)	単位	1 単位	曜時限	火曜日 7・8 時限
担当教官	皆尾 麻弥				
<p>授業概要 この授業では、TOEIC テストを用いて実践的な英語でのコミュニケーション能力を自己確認する。そのために、TOEIC テストの全貌について学び、その受験技術とテストで用いられるコミュニケーションのための実用文(話し言葉、書き言葉)に慣れる。TOEIC テストは「聞く」「読む」という2つのスキルについてのみ実施されるが、他の「話す」「書く」というスキルも間接的なスキルとして評価される。TOEIC テストの最初の半分が 45 分の Listening Comprehension に当てられるため、特にこの授業では聞き取りに力を入れる。</p> <p>授業一般目標 (1) TOEIC テストの出題形式に慣れ、パートごとに問題への対応の仕方を理解する。特に、スピーディーな英語を聞き取り、情報を処理することに慣れる。(2) 自習課題を通して、「自学自習」の習慣を身につける。Listening Comprehension に慣れるため、自習課題を通して、少なくとも週 6 日 1 日 1 時間の英語の「自学自習」の習慣を身につける。(3) 自習課題の成績や、TOEIC の各パートの正答率などをもとに自己の英語力を確認し、受講者自ら 6 月 TOEIC IP テストでの目標点を設定する。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・ 2 回以上(欠席届による公欠を含む)欠席した学生の成績は不可となる。・自習課題ノートオンライン版(Daily Workout for Circuit Training for the TOEIC Test)の実行状況・達成率を評点に換算する(より詳しくは、授業時に説明する)。・TOEIC IP 試験を受験しなかった学生は、成績保留となる(この授業科目に関しては、TOEIC の得点による単位認定は行われない)。・自習課題ノート以外の課題を宿題として課すこともある。その場合には、その課題の提出も評価の対象となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Intensive Training for the TOEIC Test(TOEIC テスト インテンシブ トレーニング), Mitsuyasu Miyazaki & Milada Broukal, Seibido, 2007 年 / 参考書: TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版, The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2000 年; TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版 (Vol.2), The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2002 年; TOEIC テスト新公式問題集, Educational Testing Service, 国際ビジネスコミュニケーション協会, 2006 年; 英会話教育チャンネル「GLC 英会話」、ネット放送局「BBC ニュース、CNN ニュース」など(利用法については、図書館の利用者サービス係・情報サービス係へ)</p> <p>メッセージ ・この授業は忙しい授業です。そのため、教科書の説明は予習しておいてください。・この授業の「目的」「意義」をよく理解して授業に臨んでください。・遅刻をしないでください。</p> <p>教官連絡先 minao@yamaguchi-u.ac.jp 備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	TOEIC 準備	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	循環 (41-)・感性 (1-20)	単位	1 単位	曜時限	火曜日 7・8 時限
担当教官	池園宏				
<p>授業概要 この授業では、TOEIC テストを用いて実践的な英語でのコミュニケーション能力を自己確認する。そのために、TOEIC テストの全貌について学び、その受験技術とテストで用いられるコミュニケーションのための実用文(話し言葉、書き言葉)に慣れる。TOEIC テストは「聞く」「読む」という2つのスキルについてのみ実施されるが、他の「話す」「書く」というスキルも間接的なスキルとして評価される。TOEIC テストの最初の半分が 45 分の Listening Comprehension に当てられるため、特にこの授業では聞き取りに力を入れる。</p> <p>授業一般目標 (1) TOEIC テストの出題形式に慣れ、パートごとに問題への対応の仕方を理解する。特に、スピーディーな英語を聞き取り、情報を処理することに慣れる。(2) 自習課題を通して、「自学自習」の習慣を身につける。Listening Comprehension に慣れるため、自習課題を通して、少なくとも週 6 日 1 日 1 時間の英語の「自学自習」の習慣を身につける。(3) 自習課題の成績や、TOEIC の各パートの正答率などをもとに自己の英語力を確認し、受講者自ら 6 月 TOEIC IP テストでの目標点を設定する。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・ 2 回以上(欠席届による公欠を含む)欠席した学生の成績は不可となる。・自習課題ノートオンライン版(Daily Workout for Circuit Training for the TOEIC Test)の実行状況・達成率を評点に換算する(より詳しくは、授業時に説明する)。・TOEIC IP 試験を受験しなかった学生は、成績保留となる(この授業科目に関しては、TOEIC の得点による単位認定は行われない)。・自習課題ノート以外の課題を宿題として課すこともある。その場合には、その課題の提出も評価の対象となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Intensive Training for the TOEIC Test(TOEIC テスト インテンシブ トレーニング), Mitsuyasu Miyazaki & Milada Broukal, Seibido, 2007 年 / 参考書: TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版, The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2000 年; TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版 (Vol.2), The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2002 年; TOEIC テスト新公式問題集, Educational Testing Service, 国際ビジネスコミュニケーション協会, 2006 年; 英会話教育チャンネル「GLC 英会話」、ネット放送局「BBC ニュース、CNN ニュース」など(利用法については、図書館の利用者サービス係・情報サービス係へ)</p> <p>メッセージ ・この授業は忙しい授業です。そのため、教科書の説明は予習しておいてください。・この授業の「目的」「意義」をよく理解して授業に臨んでください。・遅刻をしないでください。</p> <p>教官連絡先 ikezono@yamaguchi-u.ac.jp 備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	TOEIC 準備	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	感性 (21-)	単位	1 単位	曜時限	火曜日 7・8 時限
担当教官	山根和明				
<p>授業概要 この授業では、TOEIC テストを用いて実践的な英語でのコミュニケーション能力を自己確認する。そのために、TOEIC テストの全貌について学び、その受験技術とテストで用いられるコミュニケーションのための実用文(話し言葉、書き言葉)に慣れる。TOEIC テストは「聞く」「読む」という2つのスキルについてのみ実施されるが、他の「話す」「書く」というスキルも間接的なスキルとして評価される。TOEIC テストの最初の半分の45分の Listening Comprehension に当てられるため、特にこの授業では聞き取りに力を入れる。</p> <p>授業一般目標 (1) TOEIC テストの出題形式に慣れ、パートごとに問題への対応の仕方を理解する。特に、スピーディーな英語を聞き取り、情報を処理することに慣れる。(2) 自習課題を通して、「自学自習」の習慣を身につける。Listening Comprehension に慣れるため、自習課題を通して、少なくとも週6日1日1時間の英語の「自学自習」の習慣を身につける。(3) 自習課題の成績や、TOEIC の各パートの正答率などをもとに自己の英語力を確認し、受講者自ら6月 TOEIC IP テストでの目標点を設定する。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含む)欠席した学生の成績は不可となる。・自習課題ノートオンライン版(Daily Workout for Circuit Training for the TOEIC Test)の実行状況・達成率を評点に換算する(より詳しくは、授業時に説明する)。・TOEIC IP 試験を受験しなかった学生は、成績保留となる(この授業科目に関しては、TOEIC の得点による単位認定は行われない)。・自習課題ノート以外の課題を宿題として課すこともある。その場合には、その課題の提出も評価の対象となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Intensive Training for the TOEIC Test(TOEIC テスト インテンシブ トレーニング), Mitsuyasu Miyazaki & Milada Broukal, Seibido, 2007 年 / 参考書: TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版, The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2000 年; TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版 (Vol.2), The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2002 年; TOEIC テスト新公式問題集, Educational Testing Service, 国際ビジネスコミュニケーション協会, 2006 年; 英会話教育チャンネル「GLC 英会話」、ネット放送局「BBC ニュース、CNN ニュース」など(利用法については、図書館の利用者サービス係・情報サービス係へ)</p> <p>メッセージ ・この授業は忙しい授業です。そのため、教科書の説明は予習しておいてください。・この授業の「目的」「意義」をよく理解して授業に臨んでください。・遅刻をしないでください。</p> <p>教官連絡先 yamane.k@yamaguchi-u.ac.jp</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	TOEIC 準備	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	医・工2年	単位	1 単位	曜時限	火曜日 9・10 時限
担当教官	内海 俊祐				
<p>授業概要 この授業では、TOEIC テストを用いて実践的な英語でのコミュニケーション能力を自己確認する。そのために、TOEIC テストの全貌について学び、その受験技術とテストで用いられるコミュニケーションのための実用文(話し言葉、書き言葉)に慣れる。TOEIC テストは「聞く」「読む」という2つのスキルについてのみ実施されるが、他の「話す」「書く」というスキルも間接的なスキルとして評価される。TOEIC テストの最初の半分の45分の Listening Comprehension に当てられるため、特にこの授業では聞き取りに力を入れる。</p> <p>授業一般目標 (1) TOEIC テストの出題形式に慣れ、パートごとに問題への対応の仕方を理解する。特に、スピーディーな英語を聞き取り、情報を処理することに慣れる。(2) 自習課題を通して、「自学自習」の習慣を身につける。Listening Comprehension に慣れるため、自習課題を通して、少なくとも週6日1日1時間の英語の「自学自習」の習慣を身につける。(3) 自習課題の成績や、TOEIC の各パートの正答率などをもとに自己の英語力を確認し、受講者自ら6月 TOEIC IP テストでの目標点を設定する。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含む)欠席した学生の成績は不可となる。・自習課題ノートオンライン版(Daily Workout for Circuit Training for the TOEIC Test)の実行状況・達成率を評点に換算する(より詳しくは、授業時に説明する)。・TOEIC IP 試験を受験しなかった学生は、成績保留となる(この授業科目に関しては、TOEIC の得点による単位認定は行われない)。・自習課題ノート以外の課題を宿題として課すこともある。その場合には、その課題の提出も評価の対象となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Intensive Training for the TOEIC Test(TOEIC テスト インテンシブ トレーニング), Mitsuyasu Miyazaki & Milada Broukal, Seibido, 2007 年 / 参考書: TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版, The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2000 年; TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版 (Vol.2), The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2002 年; TOEIC テスト新公式問題集, Educational Testing Service, 国際ビジネスコミュニケーション協会, 2006 年; 英会話教育チャンネル「GLC 英会話」、ネット放送局「BBC ニュース、CNN ニュース」など(利用法については、図書館の利用者サービス係・情報サービス係へ)</p> <p>メッセージ ・この授業は忙しい授業です。そのため、教科書の説明は予習しておいてください。・この授業の「目的」「意義」をよく理解して授業に臨んでください。・遅刻をしないでください。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	TOEIC 準備	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	医・工2年	単位	1 単位	曜時限	火曜日 11・12 時限
担当教官	唐下 笑美子				
<p>授業概要 この授業では、TOEIC テストを用いて実践的な英語でのコミュニケーション能力を自己確認する。そのために、TOEIC テストの全貌について学び、その受験技術とテストで用いられるコミュニケーションのための実用文(話し言葉、書き言葉)に慣れる。TOEIC テストは「聞く」「読む」という2つのスキルについてのみ実施されるが、他の「話す」「書く」というスキルも間接的なスキルとして評価される。TOEIC テストの最初の半分が 45 分の Listening Comprehension に当てられるため、特にこの授業では聞き取りに力を入れる。</p> <p>授業一般目標 (1) TOEIC テストの出題形式に慣れ、パートごとに問題への対応の仕方を理解する。特に、スピーディーな英語を聞き取り、情報を処理することに慣れる。(2) 自習課題を通して、「自学自習」の習慣を身につける。Listening Comprehension に慣れるため、自習課題を通して、少なくとも週 6 日 1 日 1 時間の英語の「自学自習」の習慣を身につける。(3) 自習課題の成績や、TOEIC の各パートの正答率などをもとに自己の英語力を確認し、受講者自ら 6 月 TOEIC IP テストでの目標点を設定する。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・ 2 回以上(欠席届による公欠を含む)欠席した学生の成績は不可となる。・自習課題ノートオンライン版(Daily Workout for Circuit Training for the TOEIC Test)の実行状況・達成率を評点に換算する(より詳しくは、授業時に説明する)。・TOEIC IP 試験を受験しなかった学生は、成績保留となる(この授業科目に関しては、TOEIC の得点による単位認定は行われない)。・自習課題ノート以外の課題を宿題として課すこともある。その場合には、その課題の提出も評価の対象となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Intensive Training for the TOEIC Test(TOEIC テスト インテンシブ トレーニング), Mitsuyasu Miyazaki & Milada Broukal, Seibido, 2007 年 / 参考書: TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版, The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2000 年; TOEIC 公式ガイド & 問題集: 日本語版 (Vol.2), The Chauncey Group International 著; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編, 国際コミュニケーションズ, 2002 年; TOEIC テスト新公式問題集, Educational Testing Service, 国際ビジネスコミュニケーション協会, 2006 年; 英会話教育チャンネル「GLC 英会話」、ネット放送局「BBC ニュース、CNN ニュース」など(利用法については、図書館の利用者サービス係・情報サービス係へ)</p> <p>メッセージ ・この授業は忙しい授業です。そのため、教科書の説明は予習しておいてください。・この授業の「目的」「意義」をよく理解して授業に臨んでください。・遅刻をしないでください。</p>					

開設科目	TOEIC 指導 A	区分	講義	開設期	前期後半期
対象学生		単位	1 単位	曜時限	月曜日 5・6 時限
担当教官	正宗 聡				
<p>授業概要 TOEIC 350 点以上の力をつけるよう学習する。</p> <p>授業一般目標 TOEIC 350 点を突破するべく、これまでの学習を点検し、補強すると共に、更に 各分野で力をつけていく。</p> <p>成績評価方法 (総合) TOEIC のスコアが単位取得の前提にはなるものの、スコアを満たした上で、授業への参加度、出席状況等総合的に評価して成績を出します。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 毎回、コピーで教材を配布をします。</p> <p>メッセージ TOEIC においては自分が努力しなければ絶対に力がつかないことを肝に銘じておくこと。</p> <p>教官連絡先 個人的な質問があれば、授業終了直後に申し出てほしい。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 外国語教育

分野 英語

科目類型 基礎

開設科目	TOEIC 指導 A	区分	講義	開設期	前期後半期
対象学生		単位	1 単位	曜時限	月曜日 5・6 時限
担当教官	堤 千佳子				
<p>授業概要 この授業は TOEIC 400 点を旨とする内容で進めていく。ただし、基礎的な内容をしっかり習得しておかなければ目標のスコアを獲得することは難しい。したがって TOEIC 形式の問題にあたりながらも、英語の基礎をしっかりと確認していく。</p> <p>授業一般目標 TOEIC 400 点を旨とする。また、英語の基礎をしっかりと確認し、さらにコミュニケーションに使える表現を習得していくことを旨とする。</p> <p>成績評価方法 (総合) TOEIC 400 点。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Seize the main point of the TOEIC Test, 林 祐二, 金星堂, 2007 年</p> <p>メッセージ 目的意識をしっかりと持ち、自己の動機付けをしっかりとすること。リスニングを授業のはじめに行うので、遅刻しないこと。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 外国語教育

分野 英語

科目類型 基礎

開設科目	TOEIC 指導 B	区分	講義	開設期	前期後半期
対象学生		単位	1 単位	曜時限	月曜日 5・6 時限
担当教官	渡辺 朱実				
<p>授業概要 TOEIC テストで 300 点に到達しなかった学生を対象とする。英文法の基本的事項について理解を徹底させることに重点を置く。また、TOEIC テストの問題に準じて、リスニング力と読解力を養う。</p> <p>授業一般目標 TOEIC テストで、300 点以上のスコアを獲得することを目標とする。</p> <p>成績評価方法 (総合) TOEIC のスコアに基づき算出する。ただし、授業での学習状況も加味する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: プリント配布</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 外国語教育

分野 英語

科目類型 基礎

開設科目	TOEIC 指導 A	区分	講義	開設期	前期後半期
対象学生		単位	1 単位	曜時限	月曜日 7・8 時限
担当教官	倉増泰弘				
<p>授業概要 TOEIC のスコアを高めるための指導をする。主に、TOEIC のパート 1, 2, 5, 6 を中心に演習を行うが、必要に応じて他のパートの演習も行う。</p> <p>授業一般目標 TOEIC で 350 点以上の成績を収める。</p> <p>成績評価方法 (総合) TOEIC のスコア (合格基準点 350 点) に基づき、算出する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: TOEIC 準備のテキスト。必要に応じてプリント配布。</p> <p>メッセージ 出された課題はきちんとこなし、授業は集中して受けましょう。</p> <p>教官連絡先 yasu_kura0707@yahoo.co.jp</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 外国語教育

分野 英語

科目類型 基礎

開設科目	TOEIC 指導 A	区分	講義	開設期	前期後半期
対象学生		単位	1 単位	曜時限	月曜日 7・8 時限
担当教官	前田 満				
<p>授業概要 TOEIC の PART1,2,5,6 を中心に、リスニング演習と基本的な語彙・文法演習を行う。</p> <p>授業一般目標 TOEIC350 点以上をとれる力をつける。</p> <p>成績評価方法 (総合) 原則として TOEIC のスコアによる。宿題や授業への参加度を加味することがある。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Making Progress with the TOEIC Test, 小島加奈子他, 金星堂, 2006 年</p> <p>教官連絡先 個人的な質問等がある場合は授業の直後に申し出てもらうと対処できる。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 外国語教育

分野 英語

科目類型 基礎

開設科目	TOEIC 指導 B	区分	講義	開設期	前期後半期
対象学生		単位	1 単位	曜時間	月曜日 7・8 時限
担当教官	前出泰司				
<p>授業概要 TOEIC350 点未満で、以下の学部生を対象とする：医学部・経済学部・人文学部・工学部（昼間）・農学部（生物機能科学科・獣医学科）・理学部（化学・地球学科）。TOEIC スコアを上げるための特訓クラスで、TOEIC 準備コースを引き継ぐコースである。TOEIC のパート 1, 2, 5, 6 に焦点を置きつつ、全パートを復習する。</p> <p>授業一般目標 1. Part 1 が 80 % 以上理解できるようになる。2. Part 2 が 70 % 以上理解できるようになる。3. Part 3 が 60 % 以上理解できるようになる。4. Part 4 が 50 % 以上理解できるようになる。5. Part 5 が 70 % 以上理解できるようになる。6. Part 6 が 60 % 以上理解できるようになる。7. Part 7 が 50 % 以上理解できるようになる。</p> <p>成績評価方法（総合） 1. 出席 + 課題 + 参加態度（=100 %、それぞれ 3 分の 1 ずつ） 2. TOEIC 点数（最終的にはこちらが優先します）</p> <p>教科書・参考書 教科書：Circuit Training for the TOEIC Test, Mitsuyasu Miyazaki, Seibido, 2004 年 / 参考書：Get Score 450, Larry Knipfing, 創育, 1997 年；TOEIC テスト 450 点对策攻略本, Park Deuk-Woo & Choi Byong-Gil, 旺文社, 2004 年；TOEIC テスト・パーフェクト模試 600 問, アンドレア・マイヤーズ&オリーブカンパニー, ナガセ, 2000 年；英検準 2 級全問題集, 旺文社, 2005 年</p> <p>メッセージ 課題をきちんとこなし、授業には毎回出てください。</p> <p>教官連絡先 TEL(083)932-0038 FAX(083)932-0089 E-mail: sonda_nozomu@yahoo.co.jp</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 外国語教育

分野 英語

科目類型 基礎

開設科目	TOEIC 指導 A	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	2 年	単位	1 単位	曜時間	月曜日 9・10 時限
担当教官	池園宏				
<p>授業概要 TOEIC のリーディングパートを中心に、基本的な語彙・文法・読解演習を行う。</p> <p>授業一般目標 TOEIC スコア 350 点以上をとる力を身につける。</p> <p>成績評価方法（総合） 原則として TOEIC のスコアによる。宿題や授業への参加度を加味することがある。</p> <p>教科書・参考書 教科書：TOEIC Test Basics Checkbook 1, Christofer Bullsmith 他, 南雲堂, 2006 年 / 参考書：講義の中で紹介する。</p> <p>メッセージ 毎回出欠確認をするので、欠席や遅刻をしないこと。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 外国語教育

分野 英語

科目類型 基礎

開設科目	TOEIC 指導 B	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	2 年	単位	1 単位	曜時限	月曜日 9・10 時限
担当教官	前田 満				
<p>授業概要 TOEIC の PART1,2,5,6 を中心に、リスニング演習と基本的な語彙・文法演習を行う。</p> <p>授業一般目標 TOEIC300 点以上をとれる力をつける。</p> <p>成績評価方法(総合) 原則として TOEIC のスコアによる。宿題や授業への参加度を加味することがある。</p> <p>教科書・参考書 教科書：「TOEIC 準備」の教科書及びその他のプリント教材を用いる。</p> <p>教官連絡先 nekoda@yamaguchi-u.ac.jp 933-5417 研究室(教育 A354)</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 外国語教育

分野 英語

科目類型 基礎

開設科目	TOEIC 指導 A	区分	講義	開設期	前期後半期
対象学生		単位	1 単位	曜時限	火曜日 5・6 時限
担当教官	矢野 紀子				
<p>授業概要 各自の TOEIC のスコアをアップできるよう、リスニング、リーディングパートで頻出する問題をプリント配布する。</p> <p>授業一般目標 TOEIC の試験パターンに慣れる。確実に点が取れる問題を外さないよう、文法についての知識を確認してゆく。</p> <p>教科書・参考書 教科書：プリント配布。</p> <p>メッセージ TOEIC のスコアを上げるには、解答の選択肢に惑わされない確実な知識が必須となる。そのため、当授業では、英語の基礎を押さえ、問題を解いてゆくことで、各自の英語力の弱点を見出し、補強してゆく。</p>					

開設科目	TOEIC 指導 A	区分	講義	開設期	前期後半期
対象学生		単位	1 単位	曜時限	火曜日 5・6 時限
担当教官	山根和明				
<p>授業概要 例えば TV ドラマ等で、初回を見逃したら 2 回目以降の内容にうまくついていけないものがある。英語にもこのことは当てはまる。前提となるべき事実関係が分かっていなければ、個別の内容を細かく学んでも、全体として何が起きているのかよく分からないままである。そこで、この授業は所謂「初回の内容」を補うためのものとする。 一見遠回りにも見えるかもしれないが、「急がば回れ」という諺があるように、英語の基礎をはっきりと理解し、確かな力を身に付けることは、目標を達成する有効な手段である。</p> <p>授業一般目標 英語の基礎を理解し、TOEIC で基準スコア (300) を超える。</p> <p>成績評価方法 (総合) 期末に受験する TOEIC のスコアに基づき算出する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：教材はプリントにて配布</p> <p>メッセージ 言語を身に付けるのは、楽な作業ではありません。相応の努力を惜しまないで下さい。</p> <p>教官連絡先 e-mail: kamogawa@yamaguchi-u.ac.jp 研究室: 経済 A207</p>					

開設科目	TOEIC 指導 B	区分	講義	開設期	前期後半期
対象学生		単位	1 単位	曜時限	火曜日 5・6 時限
担当教官	高橋 博美				
<p>授業概要 TOEIC のスコアを高めるための指導をする。主に、TOEIC のパート 1, 2, 5, 6 を中心に演習を行うが、必要に応じて他のパートの演習も行う。</p> <p>授業一般目標 TOEIC で 350 点以上の成績を収める。</p> <p>成績評価方法 (総合) TOEIC のスコア (合格基準点 350 点) に基づき、算出する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：TOEIC 準備のテキスト。必要に応じてプリント配布。</p> <p>メッセージ 出された課題はきちんとこなし、授業は集中して受けましょう。</p> <p>教官連絡先 yasu_kura0707@yahoo.co.jp</p>					

開設科目	TOEIC 指導 A	区分	講義	開設期	前期後半期
対象学生		単位	1 単位	曜時間	火曜日 7・8 時限
担当教官	岡 紘一郎				
<p>授業概要 TOEIC テストのスコア アップを目指してリスニングとリーディングパートで頻出する問題をプリント配布する。</p> <p>授業一般目標 TOEIC の試験パターンに慣れる。確実に点が取れる問題を外さないよう、文法についての知識を確認してゆく。</p> <p>教科書・参考書 教科書：プリント配布。</p> <p>メッセージ TOEIC のスコアを上げるには、解答の選択肢に惑わされない確実な知識が必須となる。そのため、当授業では、英語の基礎を押さえ、問題を解いてゆくことで、各自の英語力の弱点を見出し、補強してゆく。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	TOEIC 指導 A	区分	講義	開設期	前期後半期
対象学生		単位	1 単位	曜時間	火曜日 7・8 時限
担当教官	矢野 紀子				
<p>授業概要 各自の TOEIC のスコアをアップできるよう、リスニング、リーディングパートで頻出する問題をプリント配布する。</p> <p>授業一般目標 TOEIC の試験パターンに慣れる。確実に点が取れる問題を外さないよう、文法についての知識を確認してゆく。</p> <p>教科書・参考書 教科書：プリント配布。</p> <p>メッセージ TOEIC のスコアを上げるには、解答の選択肢に惑わされない確実な知識が必須となる。そのため、当授業では、英語の基礎を押さえ、問題を解いてゆくことで、各自の英語力の弱点を見出し、補強してゆく。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	TOEIC 指導 A	区分	講義	開設期	前期後半期
対象学生		単位	1 単位	曜時限	火曜日 7・8 時限
担当教官	倉増泰弘				
<p>授業概要 TOEIC のスコアを高めるための指導をする。主に、TOEIC のパート 1, 2, 5, 6 を中心に演習を行うが、必要に応じて他のパートの演習も行う。</p> <p>授業一般目標 TOEIC で 350 点以上の成績を収める。</p> <p>成績評価方法 (総合) TOEIC のスコア (合格基準点 350 点) に基づき、算出する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: TOEIC 準備のテキスト。必要に応じてプリント配布。</p> <p>メッセージ 出された課題はきちんとこなし、授業は集中して受けましょう。</p> <p>教官連絡先 yasu_kura0707@yahoo.co.jp</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	TOEIC 指導 A	区分	講義	開設期	前期後半期
対象学生		単位	1 単位	曜時限	火曜日 7・8 時限
担当教官	宮原一成				
<p>授業概要 TOEIC のスコアを高めることにもつながら文法指導とドリル練習を行う。高校生向けの問題集を用い、問題量をこなすことを重要視する。(音声面の練習が必要な場合は、TOEIC 準備の音源を再利用する。)* TOEIC における日本人学習者の弱点は、文法知識を問われるリーディングパートです。現状の中学高校の英語学習では、その文法を身につけるための練習量が残念ながら非常に不足しています。この授業では、その量を補うことで、文法に自信を持って対処できるようにします。そうした足固めをすれば、専門課程での文献を読む際にも対応可能な英語力に着実に近づくことができます。</p> <p>授業一般目標 TOEIC で 350 点以上の成績を収める。</p> <p>成績評価方法 (総合) TOEIC のスコア (合格基準点 350 点) に基づき、算出する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 英文法筋力エクササイズ 1, 白石よしえ他, 河合出版, 2003 年; 英文法筋力エクササイズ 2, 白石よしえ他, 河合出版, 2006 年; 2 冊とも生協で購入。各 800 円。/ 参考書: 随時、紹介する。</p> <p>メッセージ 文法問題練習がどうしてもいやな人は、はじめから他の教員の TOEIC 指導に登録替えしてください。それから、これは相談した上で実施するかどうかが決めようと思うのですが、木曜日の放課後あたりにもう一コマ (45 分くらい) 授業時間を設定し、問題練習の答え合わせ等にあてる、という方法を検討中です。初回授業で受講生の都合や希望を聞きますので、皆さんも考えておいてください。</p> <p>教官連絡先 受講生には第一回授業時に知らせます。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 外国語教育

分野 英語

科目類型 基礎

開設科目	TOEIC 指導 A	区分	講義	開設期	前期後半期
対象学生		単位	1 単位	曜時限	火曜日 7・8 時限
担当教官	尊田 望				
<p>授業概要 TOEIC スコア 350 点未満を対象とし、350 点取得を目標とする。TOEIC スコアを上げるための特訓クラスで、TOEIC 準備コースを引き継ぐコースである。</p> <p>授業一般目標 中学校レベルの英語の総合能力を確実にし、高校の基礎レベルまでマスターする。リスニングでは聞き取れない原因を単語レベルからパラグラフレベルまで音声学・心理言語学・社会言語学の視点から分析する。</p> <p>成績評価方法 (総合) 1. 授業参加 (=60 %) 2. 宿題 (40 %) 3. TOEIC 点数 (最終的にはこちらが優先します)</p> <p>教科書・参考書 教科書: 英検準 2 級全問題集, 旺文社, 2005 年 / 参考書: ロイヤル英文法問題集, 綿貫陽監修、池上博著, 旺文社, 2006 年</p> <p>メッセージ TOEIC のスコアをあげることは現実的な目標ではありますが、基礎に戻り、比較的長期のビジョンを持って取り組みましょう。</p> <p>教官連絡先 連絡先: (083)932-0038 E-mail: oneworld@international.name</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 外国語教育

分野 英語

科目類型 基礎

開設科目	TOEIC 指導 B	区分	講義	開設期	前期後半期
対象学生		単位	1 単位	曜時限	火曜日 7・8 時限
担当教官	山根和明				
<p>授業概要 TOEIC のスコアを高めるための指導を行う。特に、パート 1, 2, 5, 6 及び 7 に重点を置いた演習を行う。</p> <p>授業一般目標 TOEIC の基準点 (300, 350, 400) の獲得。</p> <p>成績評価方法 (総合) TOEIC の基準点 (300, 350, 400) の獲得が必須。出席率、提出物、授業への参加度を加味する。</p> <p>メッセージ 予習と課題を必ずしてください。Smart-HTML という e-learning ソフト (『英文法徹底トレーニング』など) で予習・復習を行って下さい。</p> <p>教官連絡先 bld10@yamaguchi-u.ac.jp</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 外国語教育

分野 英語

科目類型 基礎

開設科目	TOEIC 指導 A	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	医・工 2 年	単位	1 単位	曜時限	火曜日 9・10 時限
担当教官	池田 守				
<p>授業概要 この授業では TOEIC 受験を前提とした授業を行う。TOEIC 試験でスコアを上げ、コミュニケーション能力を高めるため、リスニング及びリーディングの力を身に付けさせる。特に、TOEIC 試験パート 1(写真描写問題)、パート 2(応答問題)、パート 5(単文穴埋め問題)、パート 6(長文穴埋め問題)に答えられる英語力を養う。</p> <p>授業一般目標 TOEIC テストにおいて 350 点以上を取ることを目標とする。英語の文法の基本を理解し、語彙を拡大する。英語を聞き取り、内容を正しく判断する力を育てる。速読直解の習慣を身に付ける。</p> <p>成績評価方法 (総合) TOEIC スコアに基づき算出する。(2 回以上の欠席は認められない。)</p> <p>教科書・参考書 教科書: Kick Off for the TOEIC Test, 松岡 昇, 金星堂, 2006 年 / 参考書: TOEIC Test 英文法出るところだけ, 小石裕子, アルク, 2003 年; 「TOEIC Test 英文法でるところだけ」, 小石裕子著, アルク。</p> <p>メッセージ 予習をして授業に出よう。英語の CD を毎日聞いて、リスニングの力を伸ばそう。</p> <p>教官連絡先 E-mail: ikeda@frontier-u.jp</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 外国語教育

分野 英語

科目類型 基礎

開設科目	TOEIC 指導 A	区分	講義	開設期	前期後半期
対象学生	医・工 2 年	単位	1 単位	曜時限	火曜日 9・10 時限
担当教官	池田 守				
<p>授業概要 この授業では TOEIC 受験を前提とした授業を行う。TOEIC 試験でスコアを上げ、コミュニケーション能力を高めるため、リスニング及びリーディングの力を身に付けさせる。特に、TOEIC 試験パート 1(写真描写問題)、パート 2(応答問題)、パート 5(単文穴埋め問題)、パート 6(長文穴埋め問題)に答えられる英語力を養う。</p> <p>授業一般目標 TOEIC テストにおいて 350 点以上を取ることを目標とする。英語の文法の基本を理解し、語彙を拡大する。英語を聞き取り、内容を正しく判断する力を育てる。速読直解の習慣を身に付ける。</p> <p>成績評価方法 (総合) TOEIC スコアに基づき算出する。(2 回以上の欠席は認められない。)</p> <p>教科書・参考書 教科書: Navigator for the TOEIC Test Revised Edition, Donald Beaver et al., 南雲堂, 2006 年 / 参考書: TOEIC Test 英文法出るところだけ, 小石裕子, アルク, 2003 年</p> <p>メッセージ 予習をして授業に出よう。英語の CD を毎日聞いて、リスニングの力を伸ばそう。</p> <p>教官連絡先 E-mail: ikeda@frontier-u.jp</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 外国語教育

分野 英語

科目類型 基礎

開設科目	TOEIC 指導 A	区分	講義	開設期	前期後半期
対象学生	医・工 2 年	単位	1 単位	曜時限	火曜日 9・10 時限
担当教官	内海 俊祐				
<p>授業概要 TOEIC SCORE 400 を目指して、少しでも英語について、関心を抱くようにするための演習型授業。</p> <p>授業一般目標 この授業を受ける前よりは、ほんのわずかでも英語というものについて自信が増すようにする。</p> <p>成績評価方法 (総合) TOEIC の成績による</p> <p>教科書・参考書 教科書：『TOEIC テスト総合対策演習』, 森田彰他, 成美堂, 2006 年 / 参考書：なし。</p> <p>メッセージ 辞書を忘れないでもってきてください。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 外国語教育

分野 英語

科目類型 基礎

開設科目	TOEIC 指導	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	医・工 (平成 14・15 年度入学者)	単位	1 単位	曜時限	火曜日 11・12 時限
担当教官	内海 俊祐				
<p>授業概要 TOEIC で 350 点を取れなかった学生のための補習的授業である。だが、試験対策だけの授業ほど大学にそぐわないものはない。よって、この授業では単なる TOEIC 形式の問題演習や、TOEIC 受験ノウハウ習熟に特定した訓練は行わない。地道な復習と訓練を行う。</p> <p>授業一般目標 ・高校 1 年生まで程度の文法項目を復習する。・英語の短文を聞き取る力を、TOEIC350 点に相応しいレベルにする。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・TOEIC で 350 点を取ることが、この授業の合格の要件となる。(下の「その他」項目に該当)(ちなみに、2002 年度 TOEIC-IP の高校 2 年生の平均点は、358 点である。標準的な高 2 レベルに達すれば、TOEIC350 はクリアできるだろう。)・TOEIC で 600 を超えれば秀、500 を超えれば優、400 を超えれば良、350 点以上で可。それ未満は不可。</p> <p>教科書・参考書 教科書：英検 2 級・TOEIC の総合演習, 石黒昭博他, 英宝社, 2002 年</p> <p>メッセージ 辞書を使用する。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 外国語教育

分野 英語

科目類型 基礎

開設科目	TOEIC 指導 A	区分	講義	開設期	前期後半期
対象学生	医・工 2 年	単位	1 単位	曜時限	火曜日 11・12 時限
担当教官	内海俊祐				
<p>授業概要 TOEIC350 点未満の学生を対象に、スコアを 350 点以上にすることを目的とする。7 週という短期間なのでこの授業では TOEIC PartI(写真描写問題),PartII(応答問題),PartIII(会話問題),PartIV(説明文問題) に的を絞ってリスニングと語彙の強化に努め、確実にスコアアップすることを目指します。</p> <p>授業一般目標 毎回テストをする前にウォーミングアップとして、リスニングの基本的な注意点(音の連結、脱落、同化等々)を学び、聞き取りのヒントを読んだ後に"Warming-up Exercise"で簡単なディクテーションを行います。その後 TOEIC Listening Part に準じた練習問題を行ってトイックのリスニング・パートの問題形式に慣れることと語彙の強化を目標にします。</p> <p>成績評価方法(総合) TOEIC のスコアに基づき算出する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: TOEIC テスト総合対策演習, 森田彰他, 成美堂, 2006 年</p> <p>メッセージ 予習、復習、出席が重要です。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 外国語教育

分野 英語

科目類型 基礎

開設科目	TOEIC 指導	区分	講義	開設期	前期後半期
対象学生	医・工(平成 14・15 年度入学者)	単位	1 単位	曜時限	火曜日 11・12 時限
担当教官	唐下笑美子				
<p>授業概要 トイックのパート 1 からパート 7 までの練習問題を、一步一步細かく分析しながら慣れるようにトレーニングを行う。</p> <p>授業一般目標 トイックに必要な語彙や文法の知識の強化を図るとともに、リスニングと読解問題になれることを目標とする。</p> <p>成績評価方法(総合) TOEIC のスコア、出席、授業内の小テストによる。</p> <p>教科書・参考書 教科書: TOEIC Test To the Point, Jim Knudsen, 南雲堂, 2007 年</p> <p>メッセージ 授業には必ず出席して下さい。予習、復習をして目標に向かってください。</p> <p>教官連絡先 emikotg@nifty.com</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	English Speaking	区分	講義	開設期	前期
対象学生	医・工 2年	単位	2 単位	曜時限	月曜日 7・8 時限
担当教官	Jim Rebstock				
<p>授業概要 この授業の目的は、英語をコミュニケーションの道具として使う能力を身に付けることです。この授業は知識より英語で対話するスキルを重視しながら、身近な話題を表す単語や表現を学びます。授業中では、学校で頭の中に注ぎ込まれた英語の「知識」を「歩くこと」や「日本語で話すこと」のような技能に変えていきます。授業中90分間の多くを、学生はひたすら英語で対話します。頭を英語らしい考え方に組み替え、自分の恥ずかしさを乗り越えるには、相当の苦勞を伴うこともありますが、できるだけ身近な話題を題材にします。授業中の活動を支援し英語能力の向上を保証するためには、授業外のインターネット予習と復習を行ってまいります。このようにして、TOEIC 得点アップや総合的な英語能力向上につながることをもう一つの目標とします。</p> <p>授業一般目標 (1) 身近なことからについて流暢に話せる力を身につける。(2) WBT を利用した自習課題を通して、基本的な語彙・文法的知識を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含フクむ)欠席した学生の成績は不可となる。 ・WBTによる自宅学習課題を期限内に提出すること。期限内に課題を提出しなかった場合は未提出1回につき、1回の欠席として扱われる(2回課題を提出しなかった場合は不可となる) ・以下の(A)と(B)の総合計により評価を行う。(A) 授業内の発言、コミュニケーション活動への参加度により、それに応じた評価ポイントを受け取る。(B) WBTを利用した自宅学習課題の成績に基づき評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 武本ティモシー著、仮題『English Speaking ー山大生が自分を英語で表現するためのテキスト』という統一教科書。</p> <p>メッセージ 英語はそう難しいものではありません。しかし、自分にとって無意味な音声を出し、日本語と比較すればあべこべな順序で、英語で文章を発することは知識というより勇気とします。英語を話すのは、人前で発表することと高飛び込みを足したような頭を真っ白にするほどのことです。しかし渡しのない無意味の海を向こう側へ移動するには、飛び込むしかありません。教科書にある身近な表現をうまく使いこなしながら、ともかく話すことによって、その海の中に飛び込み次第に自由に泳ぎまわり、いつの間にか自分が語で話しているのを忘れた時の喜びは、大変大きなものです。そして、それが力となって、他の場面でも自分を表現できるようになります。間違いを恐れず、まず、英語を話し言葉で使いましょう。英語の知識があるからそれを眠らせておかず自分の可能性に挑戦してみてください。</p> <p>教官連絡先 HP:http://www.eigodaigaku.com でのウェブカムを見てチャットルームを訪問してください。</p>					

開設科目	English Speaking	区分	講義	開設期	前期
対象学生	医・工 2年	単位	2 単位	曜時限	月曜日 7・8 時限
担当教官	尊田望				
<p>授業概要 この授業の目的は、英語をコミュニケーションの道具として使う能力を身に付けることです。この授業は知識より英語で対話するスキルを重視しながら、身近な話題を表す単語や表現を学びます。授業中では、学校で頭の中に注ぎ込まれた英語の「知識」を「歩くこと」や「日本語で話すこと」のような技能に変えていきます。授業中90分間の多くを、学生はひたすら英語で対話します。頭を英語らしい考え方に組み替え、自分の恥ずかしさを乗り越えるには、相当の苦勞を伴うこともありますが、できるだけ身近な話題を題材にします。授業中の活動を支援し英語能力の向上を保証するためには、授業外のインターネット予習と復習を行ってまいります。このようにして、TOEIC 得点アップや総合的な英語能力向上につながることをもう一つの目標とします。</p> <p>授業一般目標 (1) 身近なことからについて流暢に話せる力を身につける。(2) WBT を利用した自習課題を通して、基本的な語彙・文法的知識を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含フクむ)欠席した学生の成績は不可となる。 ・WBTによる自宅学習課題を期限内に提出すること。期限内に課題を提出しなかった場合は未提出1回につき、1回の欠席として扱われる(2回課題を提出しなかった場合は不可となる) ・以下の(A)と(B)の総合計により評価を行う。(A) 授業内の発言、コミュニケーション活動への参加度により、それに応じた評価ポイントを受け取る。(B) WBTを利用した自宅学習課題の成績に基づき評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 武本ティモシー著、仮題『English Speaking ー山大生が自分を英語で表現するためのテキスト』という統一教科書。</p> <p>メッセージ 英語はそう難しいものではありません。しかし、自分にとって無意味な音声を出し、日本語と比較すればあべこべな順序で、英語で文章を発することは知識というより勇気とします。英語を話すのは、人前で発表することと高飛び込みを足したような頭を真っ白にするほどのことです。しかし渡しのない無意味の海を向こう側へ移動するには、飛び込むしかありません。教科書にある身近な表現をうまく使いこなしながら、ともかく話すことによって、その海の中に飛び込み次第に自由に泳ぎまわり、いつの間にか自分が語で話しているのを忘れた時の喜びは、大変大きなものです。そして、それが力となって、他の場面でも自分を表現できるようになります。間違いを恐れず、まず、英語を話し言葉で使いましょう。英語の知識があるからそれを眠らせておかず自分の可能性に挑戦してみてください。</p> <p>教官連絡先 HP:http://www.eigodaigaku.com でのウェブカムを見てチャットルームを訪問してください。</p>					

開設科目	English Speaking	区分	講義	開設期	前期
対象学生	医・工2年	単位	2単位	曜時限	月曜日9・10時限
担当教官	尊田望				
<p>授業概要 この授業の目的は、英語をコミュニケーションの道具として使う能力を身に付けることです。この授業は知識より英語で対話するスキルを重視しながら、身近な話題を表す単語や表現を学びます。授業中では、学校で頭の中に注ぎ込まれた英語の「知識」を「歩くこと」や「日本語で話すこと」のような技能に変えていきます。授業中90分間の多くを、学生はひたすら英語で対話します。頭を英語らしい考え方に組み替え、自分の恥ずかしさを乗り越えるには、相当の苦勞を伴うこともありますが、できるだけ身近な話題を題材にします。授業中の活動を支援し英語能力の向上を保証するためには、授業外のインターネット予習と復習を行ってまいります。このようにして、TOEIC 得点アップや総合的な英語能力向上につながることをもう一つの目標とします。</p> <p>授業一般目標 (1) 身近なことからについて流暢に話せる力を身につける。(2) WBT を利用した自習課題を通して、基本的な語彙・文法的知識を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含フクむ)欠席した学生の成績は不可となる。 ・WBTによる自宅学習課題を期限内に提出すること。期限内に課題を提出しなかった場合は未提出1回につき、1回の欠席として扱われる(2回課題を提出しなかった場合は不可となる) ・以下の(A)と(B)の総合計により評価を行う。(A) 授業内の発言、コミュニケーション活動への参加度により、それに応じた評価ポイントを受け取る。(B) WBTを利用した自宅学習課題の成績に基づき評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 武本ティモシー著、仮題『English Speaking ー山大生が自分を英語で表現するためのテキスト』という統一教科書。</p> <p>メッセージ 英語はそう難しいものではありません。しかし、自分にとって無意味な音声を出し、日本語と比較すればあべこべな順序で、英語で文章を発することは知識というより勇気とします。英語を話すのは、人前で発表することと高飛び込みを足したような頭を真っ白にするほどのことです。しかし渡しのない無意味の海を向こう側へ移動するには、飛び込むしかありません。教科書にある身近な表現をうまく使いこなしながら、ともかく話すことによって、その海の中に飛び込み次第に自由に泳ぎまわり、いつの間にか自分が語で話しているのを忘れた時の喜びは、大変大きなものです。そして、それが力となって、他の場面でも自分を表現できるようになります。間違いを恐れず、まず、英語を話し言葉で使いましょう。英語の知識があるからそれを眠らせておかず自分の可能性に挑戦してみてください。</p> <p>教官連絡先 HP:http://www.eigodaigaku.com でのウェブカムを見てチャットルームを訪問してください。</p>					

開設科目	English Speaking	区分	講義	開設期	前期
対象学生	医・工2年	単位	2単位	曜時限	月曜日9・10時限
担当教官	Jim Rebstock				
<p>授業概要 この授業の目的は、英語をコミュニケーションの道具として使う能力を身に付けることです。この授業は知識より英語で対話するスキルを重視しながら、身近な話題を表す単語や表現を学びます。授業中では、学校で頭の中に注ぎ込まれた英語の「知識」を「歩くこと」や「日本語で話すこと」のような技能に変えていきます。授業中90分間の多くを、学生はひたすら英語で対話します。頭を英語らしい考え方に組み替え、自分の恥ずかしさを乗り越えるには、相当の苦勞を伴うこともありますが、できるだけ身近な話題を題材にします。授業中の活動を支援し英語能力の向上を保証するためには、授業外のインターネット予習と復習を行ってまいります。このようにして、TOEIC 得点アップや総合的な英語能力向上につながることをもう一つの目標とします。</p> <p>授業一般目標 (1) 身近なことからについて流暢に話せる力を身につける。(2) WBT を利用した自習課題を通して、基本的な語彙・文法的知識を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含フクむ)欠席した学生の成績は不可となる。 ・WBTによる自宅学習課題を期限内に提出すること。期限内に課題を提出しなかった場合は未提出1回につき、1回の欠席として扱われる(2回課題を提出しなかった場合は不可となる) ・以下の(A)と(B)の総合計により評価を行う。(A) 授業内の発言、コミュニケーション活動への参加度により、それに応じた評価ポイントを受け取る。(B) WBTを利用した自宅学習課題の成績に基づき評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 武本ティモシー著、仮題『English Speaking ー山大生が自分を英語で表現するためのテキスト』という統一教科書。</p> <p>メッセージ 英語はそう難しいものではありません。しかし、自分にとって無意味な音声を出し、日本語と比較すればあべこべな順序で、英語で文章を発することは知識というより勇気とします。英語を話すのは、人前で発表することと高飛び込みを足したような頭を真っ白にするほどのことです。しかし渡しのない無意味の海を向こう側へ移動するには、飛び込むしかありません。教科書にある身近な表現をうまく使いこなしながら、ともかく話すことによって、その海の中に飛び込み次第に自由に泳ぎまわり、いつの間にか自分が語で話しているのを忘れた時の喜びは、大変大きなものです。そして、それが力となって、他の場面でも自分を表現できるようになります。間違いを恐れず、まず、英語を話し言葉で使いましょう。英語の知識があるからそれを眠らせておかず自分の可能性に挑戦してみてください。</p> <p>教官連絡先 HP:http://www.eigodaigaku.com でのウェブカムを見てチャットルームを訪問してください。 TEL (083)932-0038 FAX (083)932-0089 携帯 (090) 4654-8264 個人メール: sonda.nozomu@ybb.ne.jp</p>					

開設科目	English Speaking	区分	講義	開設期	前期
対象学生	2年	単位	2単位	曜時限	水曜日 5・6時限
担当教官	渡辺朱実				
<p>授業概要 この授業の目的は、英語をコミュニケーションの道具として使う能力を身に付けることです。この授業は知識より英語で対話するスキルを重視しながら、身近な話題を表す単語や表現を学びます。授業中では、学校で頭の中に注ぎ込まれた英語の「知識」を「歩くこと」や「日本語で話すこと」のような技能に変えていきます。授業中90分間の多くを、学生はひたすら英語で対話します。頭を英語らしい考え方に組み替え、自分の恥ずかしさを乗り越えるには、相当の苦勞を伴うこともありますが、できるだけ身近な話題を題材にします。授業中の活動を支援し英語能力の向上を保証するためには、授業外のインターネット予習と復習を行ってまいります。このようにして、TOEIC 得点アップや総合的な英語能力向上につながることをもう一つの目標とします。</p> <p>授業一般目標 (1) 身近なことからついて流暢に話せる力を身につける。(2) WBT を利用した自習課題を通して、基本的な語彙・文法的知識を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含フクむ)欠席した学生の成績は不可となる。 ・WBTによる自宅学習課題を期限内に提出すること。期限内に課題を提出しなかった場合は未提出1回につき、1回の欠席として扱われる(2回課題を提出しなかった場合は不可となる) ・以下の(A)と(B)の総合計により評価を行う。(A) 授業内の発言、コミュニケーション活動への参加度により、それに応じた評価ポイントを受け取る。(B) WBTを利用した自宅学習課題の成績に基づき評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 武本ティモシー著、仮題『English Speaking ー山大生が自分を英語で表現するためのテキスト』という統一教科書。</p> <p>メッセージ 英語はそう難しいものではありません。しかし、自分にとって無意味な音声を出し、日本語と比較すればあべこべな順序で、英語で文章を発することは知識というより勇気とします。英語を話すのは、人前で発表することと高飛び込みを足したような頭を真っ白にするほどのことです。しかし渡しのない無意味の海を向こう側へ移動するには、飛び込むしかありません。教科書にある身近な表現をうまく使いこなしながら、ともかく話すことによって、その海の中に飛び込み次第に自由に泳ぎまわり、いつの間にか自分が語で話しているのを忘れた時の喜びは、大変大きなものです。そして、それが力となって、他の場面でも自分を表現できるようになります。間違いを恐れず、まず、英語を話し言葉で使いましょ。英語の知識があるからそれを眠らせておらずに自分の可能性に挑戦してみてください。</p> <p>教官連絡先 HP:http://www.eigodaigaku.com でのウェブカムを見てチャットルームを訪問してください。</p>					

開設科目	English Speaking	区分	講義	開設期	前期
対象学生	2年	単位	2単位	曜時限	水曜日 7・8時限
担当教官	CHRIST Alan Robert				
<p>授業概要 この授業の目的は、英語をコミュニケーションの道具として使う能力を身に付けることです。この授業は知識より英語で対話するスキルを重視しながら、身近な話題を表す単語や表現を学びます。授業中では、学校で頭の中に注ぎ込まれた英語の「知識」を「歩くこと」や「日本語で話すこと」のような技能に変えていきます。授業中90分間の多くを、学生はひたすら英語で対話します。頭を英語らしい考え方に組み替え、自分の恥ずかしさを乗り越えるには、相当の苦勞を伴うこともありますが、できるだけ身近な話題を題材にします。授業中の活動を支援し英語能力の向上を保証するためには、授業外のインターネット予習と復習を行ってまいります。このようにして、TOEIC 得点アップや総合的な英語能力向上につながることをもう一つの目標とします。</p> <p>授業一般目標 (1) 身近なことからついて流暢に話せる力を身につける。(2) WBT を利用した自習課題を通して、基本的な語彙・文法的知識を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含フクむ)欠席した学生の成績は不可となる。 ・WBTによる自宅学習課題を期限内に提出すること。期限内に課題を提出しなかった場合は未提出1回につき、1回の欠席として扱われる(2回課題を提出しなかった場合は不可となる) ・以下の(A)と(B)の総合計により評価を行う。(A) 授業内の発言、コミュニケーション活動への参加度により、それに応じた評価ポイントを受け取る。(B) WBTを利用した自宅学習課題の成績に基づき評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 武本ティモシー著、仮題『English Speaking ー山大生が自分を英語で表現するためのテキスト』という統一教科書。</p> <p>メッセージ 英語はそう難しいものではありません。しかし、自分にとって無意味な音声を出し、日本語と比較すればあべこべな順序で、英語で文章を発することは知識というより勇気とします。英語を話すのは、人前で発表することと高飛び込みを足したような頭を真っ白にするほどのことです。しかし渡しのない無意味の海を向こう側へ移動するには、飛び込むしかありません。教科書にある身近な表現をうまく使いこなしながら、ともかく話すことによって、その海の中に飛び込み次第に自由に泳ぎまわり、いつの間にか自分が語で話しているのを忘れた時の喜びは、大変大きなものです。そして、それが力となって、他の場面でも自分を表現できるようになります。間違いを恐れず、まず、英語を話し言葉で使いましょ。英語の知識があるからそれを眠らせておらずに自分の可能性に挑戦してみてください。</p> <p>教官連絡先 HP:http://www.eigodaigaku.com でのウェブカムを見てチャットルームを訪問してください。</p>					

開設科目	English Speaking	区分	講義	開設期	前期
対象学生	医・工2年	単位	2単位	曜時限	水曜日 9・10時限
担当教官	尊田望				
<p>授業概要 この授業の目的は、英語をコミュニケーションの道具として使う能力を身に付けることです。この授業は知識より英語で対話するスキルを重視しながら、身近な話題を表す単語や表現を学びます。授業中では、学校で頭の中に注ぎ込まれた英語の「知識」を「歩くこと」や「日本語で話すこと」のような技能に変えていきます。授業中90分間の多くを、学生はひたすら英語で対話します。頭を英語らしい考え方に組み替え、自分の恥ずかしさを乗り越えるには、相当の苦勞を伴うこともあるでしょうが、できるだけ身近な話題を題材にします。授業中の活動を支援し英語能力の向上を保証するためには、授業外のインターネット予習と復習を行ってまいります。このようにして、TOEIC 得点アップや総合的な英語能力向上につながることをもう一つの目標とします。</p> <p>授業一般目標 (1) 身近なことからについて流暢に話せる力を身につける。(2) WBT を利用した自習課題を通して、基本的な語彙・文法的知識を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含フクむ)欠席した学生の成績は不可となる。 ・WBTによる自宅学習課題を期限内に提出すること。期限内に課題を提出しなかった場合は未提出1回につき、1回の欠席として扱われる(2回課題を提出しなかった場合は不可となる) ・以下の(A)と(B)の総合計により評価を行う。(A) 授業内の発言、コミュニケーション活動への参加度により、それに応じた評価ポイントを受け取る。(B) WBTを利用した自宅学習課題の成績に基づき評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 武本ティモシー著、仮題『English Speaking ー山大生が自分を英語で表現するためのテキスト』という統一教科書。</p> <p>メッセージ 英語はそう難しいものではありません。しかし、自分にとって無意味な音声を出し、日本語と比較すればあべこべな順序で、英語で文章を発することは知識というより勇気とします。英語を話すのは、人前で発表することと高飛び込みを足したような頭を真っ白にするほどのことです。しかし渡しのない無意味の海を向こう側へ移動するには、飛び込むしかありません。教科書にある身近な表現をうまく使いこなしながら、ともかく話すことによって、その海の中に飛び込み次第に自由に泳ぎまわり、いつの間にか自分が語で話しているのを忘れた時の喜びは、大変大きなものです。そして、それが力となって、他の場面でも自分を表現できるようになります。間違いを恐れず、まず、英語を話し言葉で使いましょ。英語の知識があるからそれを眠らせておかず自分の可能性に挑戦してみてください。</p> <p>教官連絡先 HP:http://www.eigodaigaku.com でのウェブカムを見てチャットルームを訪問してください。</p>					

開設科目	English Speaking	区分	講義	開設期	前期
対象学生	医・工2年	単位	2単位	曜時限	水曜日 11・12時限
担当教官	尊田望				
<p>授業概要 この授業の目的は、英語をコミュニケーションの道具として使う能力を身に付けることです。この授業は知識より英語で対話するスキルを重視しながら、身近な話題を表す単語や表現を学びます。授業中では、学校で頭の中に注ぎ込まれた英語の「知識」を「歩くこと」や「日本語で話すこと」のような技能に変えていきます。授業中90分間の多くを、学生はひたすら英語で対話します。頭を英語らしい考え方に組み替え、自分の恥ずかしさを乗り越えるには、相当の苦勞を伴うこともあるでしょうが、できるだけ身近な話題を題材にします。授業中の活動を支援し英語能力の向上を保証するためには、授業外のインターネット予習と復習を行ってまいります。このようにして、TOEIC 得点アップや総合的な英語能力向上につながることをもう一つの目標とします。</p> <p>授業一般目標 (1) 身近なことからについて流暢に話せる力を身につける。(2) WBT を利用した自習課題を通して、基本的な語彙・文法的知識を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含フクむ)欠席した学生の成績は不可となる。 ・WBTによる自宅学習課題を期限内に提出すること。期限内に課題を提出しなかった場合は未提出1回につき、1回の欠席として扱われる(2回課題を提出しなかった場合は不可となる) ・以下の(A)と(B)の総合計により評価を行う。(A) 授業内の発言、コミュニケーション活動への参加度により、それに応じた評価ポイントを受け取る。(B) WBTを利用した自宅学習課題の成績に基づき評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 武本ティモシー著、仮題『English Speaking ー山大生が自分を英語で表現するためのテキスト』という統一教科書。</p> <p>メッセージ 英語はそう難しいものではありません。しかし、自分にとって無意味な音声を出し、日本語と比較すればあべこべな順序で、英語で文章を発することは知識というより勇気とします。英語を話すのは、人前で発表することと高飛び込みを足したような頭を真っ白にするほどのことです。しかし渡しのない無意味の海を向こう側へ移動するには、飛び込むしかありません。教科書にある身近な表現をうまく使いこなしながら、ともかく話すことによって、その海の中に飛び込み次第に自由に泳ぎまわり、いつの間にか自分が語で話しているのを忘れた時の喜びは、大変大きなものです。そして、それが力となって、他の場面でも自分を表現できるようになります。間違いを恐れず、まず、英語を話し言葉で使いましょ。英語の知識があるからそれを眠らせておかず自分の可能性に挑戦してみてください。</p> <p>教官連絡先 HP:http://www.eigodaigaku.com でのウェブカムを見てチャットルームを訪問してください。</p>					

開設科目	English Speaking	区分	講義	開設期	前期
対象学生	2年	単位	2単位	曜時限	金曜日 5・6時限
担当教官	武本ティモシー				
<p>授業概要 この授業の目的は、英語をコミュニケーションの道具として使う能力を身に付けることです。この授業は知識より英語で対話するスキルを重視しながら、身近な話題を表す単語や表現を学びます。授業中では、学校で頭の中に注ぎ込まれた英語の「知識」を「歩くこと」や「日本語で話すこと」のような技能に変えていきます。授業中90分間の多くを、学生はひたすら英語で対話します。頭を英語らしい考え方に組み替え、自分の恥ずかしさを乗り越えるには、相当の苦勞を伴うこともありますが、できるだけ身近な話題を題材にします。授業中の活動を支援し英語能力の向上を保証するためには、授業外のインターネット予習と復習を行ってまいります。このようにして、TOEIC 得点アップや総合的な英語能力向上につながることをもう一つの目標とします。</p> <p>授業一般目標 (1) 身近なことからついて流暢に話せる力を身につける。(2) WBT を利用した自習課題を通して、基本的な語彙・文法的知識を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含フクむ)欠席した学生の成績は不可となる。 ・WBTによる自宅学習課題を期限内に提出すること。期限内に課題を提出しなかった場合は未提出1回につき、1回の欠席として扱われる(2回課題を提出しなかった場合は不可となる) ・以下の(A)と(B)の総合計により評価を行う。(A) 授業内の発言、コミュニケーション活動への参加度により、それに応じた評価ポイントを受け取る。(B) WBTを利用した自宅学習課題の成績に基づき評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 武本ティモシー著、仮題『English Speaking ー山大生が自分を英語で表現するためのテキスト』という統一教科書。</p> <p>メッセージ 英語はそう難しいものではありません。しかし、自分にとって無意味な音声を出し、日本語と比較すればあべこべな順序で、英語で文章を発することは知識というより勇気とします。英語を話すのは、人前で発表することと高飛び込みを足したような頭を真っ白にするほどのことです。しかし渡しのない無意味の海を向こう側へ移動するには、飛び込むしかありません。教科書にある身近な表現をうまく使いこなしながら、ともかく話すことによって、その海の中に飛び込み次第に自由に泳ぎまわり、いつの間にか自分が語で話しているのを忘れた時の喜びは、大変大きなものです。そして、それが力となって、他の場面でも自分を表現できるようになります。間違いを恐れず、まず、英語を話し言葉で使いましょ。英語の知識があるからそれを眠らせておらずに自分の可能性に挑戦してみてください。</p> <p>教官連絡先 tim@yamaguchi-u.ac.jp 研究室: 経済4階, HP: http://www.eigodaigaku.com でのウェブカムを見てチャットルームも訪問してください。</p>					

開設科目	English Speaking	区分	講義	開設期	前期
対象学生	2年	単位	2単位	曜時限	金曜日 7・8時限
担当教官	STEVEN T.GARDNER				
<p>授業概要 この授業の目的は、英語をコミュニケーションの道具として使う能力を身に付けることです。この授業は知識より英語で対話するスキルを重視しながら、身近な話題を表す単語や表現を学びます。授業中では、学校で頭の中に注ぎ込まれた英語の「知識」を「歩くこと」や「日本語で話すこと」のような技能に変えていきます。授業中90分間の多くを、学生はひたすら英語で対話します。頭を英語らしい考え方に組み替え、自分の恥ずかしさを乗り越えるには、相当の苦勞を伴うこともありますが、できるだけ身近な話題を題材にします。授業中の活動を支援し英語能力の向上を保証するためには、授業外のインターネット予習と復習を行ってまいります。このようにして、TOEIC 得点アップや総合的な英語能力向上につながることをもう一つの目標とします。</p> <p>授業一般目標 (1) 身近なことからついて流暢に話せる力を身につける。(2) WBT を利用した自習課題を通して、基本的な語彙・文法的知識を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含フクむ)欠席した学生の成績は不可となる。 ・WBTによる自宅学習課題を期限内に提出すること。期限内に課題を提出しなかった場合は未提出1回につき、1回の欠席として扱われる(2回課題を提出しなかった場合は不可となる) ・以下の(A)と(B)の総合計により評価を行う。(A) 授業内の発言、コミュニケーション活動への参加度により、それに応じた評価ポイントを受け取る。(B) WBTを利用した自宅学習課題の成績に基づき評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 武本ティモシー著、仮題『English Speaking ー山大生が自分を英語で表現するためのテキスト』という統一教科書。</p> <p>メッセージ 英語はそう難しいものではありません。しかし、自分にとって無意味な音声を出し、日本語と比較すればあべこべな順序で、英語で文章を発することは知識というより勇気とします。英語を話すのは、人前で発表することと高飛び込みを足したような頭を真っ白にするほどのことです。しかし渡しのない無意味の海を向こう側へ移動するには、飛び込むしかありません。教科書にある身近な表現をうまく使いこなしながら、ともかく話すことによって、その海の中に飛び込み次第に自由に泳ぎまわり、いつの間にか自分が語で話しているのを忘れた時の喜びは、大変大きなものです。そして、それが力となって、他の場面でも自分を表現できるようになります。間違いを恐れず、まず、英語を話し言葉で使いましょ。英語の知識があるからそれを眠らせておらずに自分の可能性に挑戦してみてください。</p> <p>教官連絡先 HP: http://www.eigodaigaku.com でのウェブカムを見てチャットルームを訪問してください。</p>					

系列 外国語教育

分野 英語

科目類型 展開2

開設科目	実践総合英語	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全(平成14・15年度入学者)	単位	2単位	曜時間	月曜日5・6時限
担当教官	岡本 嶺男				
<p>授業概要 テキスト中の dialogue, passage を通してリスニング、リーディング演習を行う。また、3週間に1回小テストを実施し、理解の徹底をはかり、英語の基礎全般の能力増強をはかる。</p> <p>授業一般目標 TOEIC400点をとれる力をつける。</p> <p>成績評価方法(総合) ・定期試験(1回) 80% ・小テスト(3週に1回) 10% ・出席 10%</p> <p>教科書・参考書 教科書: イギリスへ行きたい!(Exploring Great Britain), 相澤一美・伊藤典子・寺内一・羽井佐昭彦, 朝日出版社 メッセージ 出席は必ずすること</p>					

系列 外国語教育

分野 英語

科目類型 展開2

開設科目	実践総合英語	区分	講義	開設期	前期
対象学生	医・工(平成14・15年度入学者)	単位	2単位	曜時間	火曜日11・12時限
担当教官	池田守				
<p>授業概要 この授業では英語でコミュニケーションを図る際に必要とされる本格的なリスニング力や読解力を養う授業を行う。英語による写真説明、応答や会話を聞き、内容を正しく判断する力を身に付けさせる。また、英語の文法理解を深めると共に、語彙を拡大させる。さらに、英文の速読直解力を向上させる。</p> <p>授業一般目標 英語の文法を理解すると共に、ネイティブによる会話、応答、写真描写の説明を聞き、英語が使われている状況を正しく判断できる能力を身に付ける。英文の音読及び速読直解を通し、実践的コミュニケーション能力を高める。この授業では、TOEICテストの400点以上に相当する英語力を身に付けることを目標とする。</p> <p>成績評価方法(総合) 試験は中間及び期末の2回実施する。宿題を3回出す。出席が所定の回数に満たない者には単位を与えない。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Successful Steps for the TOEIC Test A Topic-based Approach (Revised Edition), Hisakazu Tsukamoto et al., 成美堂, 2007年 / 参考書: TOEIC TEST 英文法出るところだけ! : 出題パターンを見抜く鉄則32, 小石裕子著, アルク, 2003年 メッセージ ・受講にあたり、自分の持つTOEICスコアを提示すること。・成績評価は「成績評価方法(総合)」欄で記したことの他、与えられた課題を学習し終え、期間中に受験したTOEICテストで、スコアの伸びが50点以上あった場合、合格とする。</p> <p>教官連絡先 E-mail: ikeda@frontier-u.jp</p>					

系列 外国語教育

分野 英語

科目類型 展開1

開設科目	英語リーディング	区分	講義	開設期	前期
対象学生	2年	単位	2単位	曜時限	月曜日 3・4時限
担当教官	堤 千佳子				
<p>授業概要 様々な新聞の記事を通して、総合的な英語力、特に読解力を身につける。多岐に渡る分野を網羅しているため、身近に世界中のニュースに触れ、英語力の向上を目指し、多角的にそして複眼的に英語運用能力を培う。</p> <p>授業一般目標 総合的な英語力、特に読解力の向上を目指す。</p> <p>教科書・参考書 教科書：The Half-Edition of English Through the News Media, 宮本 倫好, 朝日出版社, 2007年</p> <p>メッセージ しっかり予習をしてから、授業に臨むこと。</p>					

系列 外国語教育

分野 英語

科目類型 展開1

開設科目	英語リーディング	区分	講義	開設期	前期
対象学生	2年	単位	2単位	曜時限	火曜日 5・6時限
担当教官	尊田 望				
<p>授業概要 TOEIC スコア 400 点以上を対象とし、500 点レベル程度の英文を読み、内容について話したり、書いたりする。演習活動に和訳は行わない。英語のまま速く理解し、コミュニケーションや研究・調査に役立てる力を養う。</p> <p>授業一般目標 授業内で 500 単語程度の英文を設定時間内に読めるようにする。キーワードを理解し、各パラグラフのメインアイデアを理解できる。英文で出てきた文法的なポイントを復習する。読んだ内容についてクラスメートと話し合い、リアクションを英語で書ける。</p> <p>成績評価方法 (総合) 1. 授業内演習活動 (50%) 2. 宿題 (10%) 3. 期末試験 (40%)</p> <p>教科書・参考書 教科書：College Reading Workshop (2nd edn), Casey Malarcher, Compass Publishing</p> <p>メッセージ 英語リーディングは英語のまま理解しよう！翻訳はそれができるようになってから。多読・速読をまずはマスターしよう！ Let's have fun reading!</p> <p>教官連絡先 連絡先：(083)932-0038 E-mail: oneworld@international.name</p>					

系列 外国語教育

分野 英語

科目類型 展開 1

開設科目	英語リーディング	区分	講義	開設期	前期
対象学生	2年	単位	2単位	曜時限	水曜日 3・4時限
担当教官	谷國晶洋				
<p>授業概要 昨年英字新聞に掲載された様々な記事を講読することによって時事英語に慣れ親しみ、さらに練習問題で英語の運用能力を高める。</p> <p>授業一般目標 英文講読を通して読解力を高め、今日的な生きた英語表現を習得し、関連する練習問題によって語彙力、聴解力を含む総合的な英語力の養成を図るとともに、時事問題や国際情勢に対する認識を深める。</p> <p>成績評価方法(総合) 授業への参加度(出席 2/3以上、発表点)及び、定期試験による総合評価。</p> <p>教科書・参考書 教科書: The Half-Edition of English through the News Media -2007-, 宮本倫好 他, 朝日出版社, 2007年</p> <p>メッセージ 辞書をしっかり引いて、予習を十分にしておいて来て下さい。</p> <p>教官連絡先 blakist@ezweb.ne.jp</p>					

系列 外国語教育

分野 英語

科目類型 展開 1

開設科目	英語リーディング	区分	講義	開設期	前期
対象学生	2年	単位	2単位	曜時限	金曜日 1・2時限
担当教官	吉留 文男				
<p>授業概要 現代社会のさまざまな話題を取り上げた英文を読み、多彩な内容(インターネット、DNA 鑑定、民族問題、裁判、女性の生き方、オーストラリアの旅)に内在する文化的な背景や思想を学ぶ。</p> <p>授業一般目標 英文を正確に理解し、内容に関する背景や作者の意図を読み取る。</p> <p>成績評価方法(総合) 出席・授業への貢献・テストの総合評価。(4回以上欠席の場合、単位は認定しない。)</p> <p>教科書・参考書 教科書: Snapshots of Life Today, 九頭見 一士 他, 朝日出版, 2002年</p>					

開設科目	英語リーディング	区分	講義	開設期	前期
対象学生	2年	単位	2単位	曜時限	金曜日 3・4時限
担当教官	細木 孝雄				
<p>授業概要 現代社会の事象に内包する問題や悩みを単に読んで理解するのではなく、Warm-up Activity から Comprehensive Activity までの一連の学習活動を通して、内容について問題意識を持ち、解決をしていく。</p> <p>授業一般目標 Critical Reader としての基礎を養うために、リーディングの基礎となるさまざまなスキルを学び、「読む」ことに対して意識的になる。</p> <p>成績評価方法 (総合) 授業への積極的参加状況、課題提出、試験により、総合的に評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Inspiring English (Reading Activity Book), Kazuya Asakawa & others, KINSEIDO</p> <p>メッセージ 一般の出来事に広く関心を持ち、背景知識を身につけよう。英和辞典必携。</p>					

開設科目	英語ライティング	区分	講義	開設期	前期
対象学生	2年	単位	2単位	曜時限	月曜日 5・6時限
担当教官	倉増泰弘				
<p>授業概要 英語のライティングで一番肝心なのは「内容」である。まずは自分が伝えたい内容があり、それを英語でどこまで表現できるかということが重要と言える。この授業では、書く用途に合わせた語彙や文法についても学習するが、とにかく自分の思うことを書いてみるということを授業のスタンスとする。様々なテーマで実際に英文を書き、その英文をもとにより良い英文を書くためにはどうすべきかをディスカッションなどを通じて考える。</p> <p>授業一般目標 平易な語彙・文法を用いながら、自分の伝えたいことが英文で書ける。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・期末テスト・小テスト・授業内外の課題・授業への参加・出席 以上の総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書: 初回授業時に指示する</p> <p>メッセージ 与えられた課題をきちんとこなし、授業に積極的に参加しましょう。</p> <p>教官連絡先 yasu_kura0707@yahoo.co.jp</p>					

開設科目	英語ライティング	区分	講義	開設期	前期
対象学生	2年	単位	2単位	曜時限	火曜日 5・6時限
担当教官	倉増泰弘				
<p>授業概要 英語のライティングで一番肝心なのは「内容」である。まずは自分が伝えたい内容があり、それを英語でどこまで表現できるかということが重要と言える。この授業では、書く用途に合わせた語彙や文法についても学習するが、とにかく自分の思うことを書いてみるということを授業のスタンスとする。様々なテーマで実際に英文を書き、その英文をもとにより良い英文を書くためにはどうすべきかをディスカッションなどを通じて考える。</p> <p>授業一般目標 平易な語彙・文法を用いながら、自分の伝えたいことが英文で書ける。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・期末テスト ・小テスト ・授業内外の課題 ・授業への参加 ・出席 以上の総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書： 初回授業時に指示する</p> <p>メッセージ 与えられた課題をきちんとこなし、授業に積極的に参加しましょう。</p> <p>教官連絡先 yasu_kura0707@yahoo.co.jp</p>					

開設科目	英語ライティング	区分	講義	開設期	前期
対象学生	2年	単位	2単位	曜時限	火曜日 9・10時限
担当教官	Nathaniel Edwards				
<p>授業概要 1) Students will read many different types of English writing as models for their own writing. 2) Useful writing skills and strategies will be reviewed and practiced. 3) Key grammar points will be reviewed and practiced. 4) Students will increase their vocabulary on a variety of topics. 5) Students will learn and use new study techniques. 6) Students will also practice some speaking and listening by discussing their writing in pairs and small groups.</p> <p>授業一般目標 This course is for students who wish to improve their English writing and reading skills, using a variety of different types of writing.</p> <p>成績評価方法 (総合) Final Written Exam: 20 % of Final Grade. Homework and Reports: 60 % Attitude and Participation: 20 %</p> <p>教科書・参考書 教科書： Composition Practice Book 3 (Third Edition), Linda Lonon Blanton, Thomson Heinle, 2001 年</p> <p>メッセージ Bring your dictionary and textbook to every class.</p> <p>教官連絡先 canada1@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	英語ライティング	区分	講義	開設期	前期
対象学生	医・工2年	単位	2単位	曜時限	火曜日 11・12時限
担当教官	JOHNSONJUDITHANN				
<p>授業概要 This course is for students who want to learn and improve skills in writing for science and technology (lab reports, abstracts, summaries, and research papers). Students who take this class must have a TOEIC score of 400 or higher.</p> <p>授業一般目標 Students will write about topics related to themselves, society, science and technology.</p> <p>教科書・参考書 教科書：Materials will be provided by the teacher.</p> <p>メッセージ Bring your dictionary to EVERY CLASS. Anyone who is absent more than 3 times CANNOT pass this course.</p>					

開設科目	英語ライティング	区分	講義	開設期	前期
対象学生	2年	単位	2単位	曜時限	水曜日 5・6時限
担当教官	谷國晶洋				
<p>授業概要 これまで習った文法的なルールをもう一度整理し、ルールを自在に使いこなして、口語表現と文法事項を学びながら、英語によるコミュニケーション能力を身に付ける。</p> <p>授業一般目標 日常生活の中で起こる様々な場面及び話題について英語で表現できるように、3行英文のライティング演習を行い、センテンスレベルからパラグラフレベルへのライティングの英語力の向上を図っていく。</p> <p>成績評価方法 (総合) 授業への参加度 (出席 2/3 以上、発表点) 及び、定期試験による総合評価。</p> <p>教科書・参考書 教科書：Three-line Writing in English., 登美博之, Curt Wold, 成美堂, 2007年</p> <p>メッセージ 必ず予習をして授業に臨むこと。</p> <p>教官連絡先 blakist@ezweb.ne.jp</p>					

開設科目	英語ライティング	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全(平成14・15年度入学者)	単位	2単位	曜時限	金曜日1・2時限
担当教官	細木 孝雄				
<p>授業概要 英語の文章構成法の基本について学び、「自分の立場で使う」ことができるように、パラグラフで様々な演習を行う。</p> <p>授業一般目標 誤りを気にしないで、どんどん英文で自己表現をする。</p> <p>成績評価方法(総合) 授業への積極的参加状況、課題提出、試験により総合的に評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Can't Stop Writing, Manabu Miyata & Joseph Stavoy, SANSHUSHA, 2005 年</p> <p>メッセージ 興味のあることについて英語で自由に表現してみよう。和英辞典必携。</p>					

開設科目	英語ライティング	区分	講義	開設期	前期
対象学生	2年	単位	2単位	曜時限	金曜日3・4時限
担当教官	吉留 文男				
<p>授業概要 これまで学んだ英語表現を機能的な視点から見直し、状況に相応しい表現を自由に、正確に運用できることを目指す。授業では基礎的な英作文練習をおこない、リスニングによる書き取り、口頭練習による発話練習も取り入れる。応用として実際の場面を想定した対話を英訳し、コミュニケーションの場面にふさわしい自然な英語表現を習得とする。</p> <p>授業一般目標 『書く』から『話す』へ転化できる英作文演習</p> <p>成績評価方法(総合) 出席・授業への貢献・テストの総合評価。(4回以上欠席の場合、単位は認定しない。)</p> <p>教科書・参考書 教科書: Writing Conversational English 話ことばの英作文, 山口 ほか, 成美堂, 2002 年</p>					

開設科目	英語特別演習	区分	演習	開設期	前期
対象学生	2年	単位	2単位	曜時限	水曜日 3・4時限
担当教官	正宗 聡				
<p>授業概要 テレビのまんがを使って、英語に触れることが目標です。まんがと言っても結構、英語は難しいときがあります。</p> <p>授業一般目標 英語の読解力とリスニング力をつける。</p> <p>成績評価方法 (総合) 定期試験 + 出席で決めます。詳細は最初の授業でお伝えします。</p> <p>教科書・参考書 教科書：自作コピーを配布します。/ 参考書：参考書は使用しません。</p> <p>メッセージ 予習は必ず、やってきてください。辞書ももってきてください。辞書がないと作業ができません。</p>					

開設科目	Comprehensive English Fundamental	区分	講義	開設期	前期
対象学生	2年	単位	2単位	曜時限	月曜日 5・6時限
担当教官	Higgins, Michael Leo				
<p>授業概要 This course is for students with a TOEIC score of more than 400. Students with a TOEIC score of more than 450 are allowed to take Comprehensive English Pre-Intermediate courses, but are free to take this course if they wish.</p> <p>授業一般目標 The students will develop their communication skills in English. We will work in small groups and also do individual work. There will always be homework. Some of the homework will be online work, so students are required to sign on to a special class web page. There will also be on-line quizzes that the students must take.</p> <p>成績評価方法 (総合) Final Evaluation (50 % of total grade): Speaking: 40 %; Listening: 20 %; Writing: 20 %; Content: 10 %; Pronunciation (Sound Approach): 10 %. Internal/External Criteria (50 % of total grade): Group/class work (classroom assignment, on-line quizzes, or activity scores): 35 %; Class Participation: 20 %; Homework (essays/outlines/grammar exercises): 35 %; Attendance: 10 %.</p> <p>教科書・参考書 教科書：Comprehensive English for Global Understanding - Intermediate Book 1, Johnson and Higgins, I.E.I., Inc., 2007年; Sound Approach Revised Pronunciation Book, Higgins, Higgins, Shima, I.E.I., Inc., 2005年 / 参考書：Please try to use an English-English dictionary if you can, but always have a dictionary with you.</p> <p>メッセージ This course also requires students to be on-line for some of their homework and for on-line quizzes.</p> <p>教官連絡先 My office hours are Monday from 2:30 to 4:00.</p>					

開設科目	Comprehensive English Fundamental	区分		講義		開設期		前期	
対象学生	医・工2年	単位	2単位	曜時限	火曜日9・10時限				
担当教官	JOHNSONJUDITHANN								
<p>授業概要 This course is for students with a TOEIC score of more than 400. Students with a TOEIC score of more than 450 are allowed to take Comprehensive English Pre-Intermediate courses, but are free to take this course if they wish. 1) Students will increase their English vocabulary through high-interest readings that are grouped thematically. The readings will provide the grammatical basis for improving their listening, speaking, and writing skills. 2) Students will broaden their understanding of the world and their responsibility to society. 3) Students will consider and propose changes that need to be made to eliminate local, national and global problems. 4) Students will also work on and improve their pronunciation through working with a special text designed specifically for Japanese university students.</p> <p>授業一般目標 Students will improve their English communication skills and thinking skills.</p> <p>教科書・参考書 教科書: Comprehensive English for Global Understanding - Intermediate Book 1, Johnson and Higgins, I.E.I., Inc., 2007年 Sound Approach Revised Pronunciation Book, Higgins, Higgins, Shima, I.E.I., Inc., 2005年 / 参考書: Please try to use an English-English dictionary if you can, but always have a dictionary with you in class.</p> <p>メッセージ This course also requires students to be on-line for some of their homework and for 4 on-line quizzes. You may not be absent more than 3 times.</p>									

開設科目	Comprehensive English Pre-Intermediate	区分		講義		開設期		前期	
対象学生	2年	単位	2単位	曜時限	水曜日3・4時限				
担当教官	Higgins, Michael Leo								
<p>授業概要 This course is open to students with a TOEIC score of over 450 but is especially recommended for students who have a TOEIC score of 500 or higher or who have completed the Comprehensive English Fundamental Course.</p> <p>授業一般目標 To improve the student's English communication skills. We will work in small groups and also do individual work. There will always be homework. Some of the homework will be online work, so students are required to sign on to a special class web page. There will also be on-line quizzes that the students must take.</p> <p>成績評価方法 (総合) Final Evaluation (50 % of total grade): Speaking: 40 %; Listening: 20 %; Writing: 20 %; Content: 10 %; Pronunciation (Sound Approach): 10 %. Internal/External Criteria (50 % of total grade): Group/class work (classroom assignment, on-line quizzes, or activity scores): 35 %; Class Participation: 20 %; Homework (essays/outlines/grammar exercises): 35 %; Attendance: 10 %.</p> <p>教科書・参考書 教科書: Comprehensive English for Global Understanding - Advanced Book 1, Johnson and Higgins, IEI, Inc., 2007年; Sound Approach Revised Pronunciation Book, Higgins, Higgins, Shima, IEI, Inc., 2005年 / 参考書: Try to use an English-English dictionary if you can, but always have a dictionary with you.</p> <p>メッセージ This course also requires students to be on-line for certain homework assignments and for on-line quizzes.</p> <p>教官連絡先 My office hours are Monday from 2:30 to 4:00.</p>									

開設科目	Comprehensive English Fundamental	区分		講義		開設期		前期	
対象学生	2年	単位	2単位	曜時限	水曜日 5・6時限				
担当教官	STEVEN T.GARDNER								
<p>授業概要 This course is for students with a TOEIC score of more than 400. Students with a TOEIC score of more than 450 are allowed to take Comprehensive English Pre-Intermediate courses, but are free to take this course if they wish.</p> <p>授業一般目標 Students will improve their English communication skills and thinking skills. We will work in small groups and also do individual work. There will always be homework. Some of the homework will be online work, so students are required to sign on to a special class web page. There will also be on-line quizzes that the students must take.</p> <p>成績評価方法 (総合) Final Evaluation (50 % of total grade): Speaking: 40 %; Listening: 20 %; Writing: 20 %; Content: 10 %; Pronunciation (Sound Approach): 10 %. Internal/External Criteria (50 % of total grade): Group/class work (classroom assignment, on-line quizzes, or activity scores): 35 %; Class Participation: 20 %; Homework (essays/outlines/grammar exercises): 35 %; Attendance: 10 %.</p> <p>教科書・参考書 教科書: Comprehensive English For Global Understanding-Intermediate Book 1, Johnson and Higgins, I.E.I., Inc., 2007年; Sound Approach Pronunciation Workbook-Revised, Higgins, Higgins, Shima, I.E.I., Inc., 2005年 / 参考書: Try to use an English-English dictionary if you can, but always have a dictionary with you.</p> <p>メッセージ This course also requires students to be on-line for some of their homework and for on-line quizzes.</p> <p>教官連絡先 Gardners@mx5.tiki.ne.jp</p>									

開設科目	Comprehensive English Fundamental	区分		講義		開設期		前期	
対象学生	2年	単位	2単位	曜時限	水曜日 7・8時限				
担当教官	STEVEN T.GARDNER								
<p>授業概要 This course is for students with a TOEIC score of more than 400. Students with a TOEIC score of more than 450 are allowed to take Comprehensive English Pre-Intermediate courses, but are free to take this course if they wish.</p> <p>授業一般目標 Students will improve their English communication skills and thinking skills. We will work in small groups and also do individual work. There will always be homework. Some of the homework will be online work, so students are required to sign on to a special class web page. There will also be on-line quizzes that the students must take.</p> <p>成績評価方法 (総合) Final Evaluation (50 % of total grade): Speaking: 40 %; Listening: 20 %; Writing: 20 %; Content: 10 %; Pronunciation (Sound Approach): 10 %. Internal/External Criteria (50 % of total grade): Group/class work (classroom assignment, on-line quizzes, or activity scores): 35 %; Class Participation: 20 %; Homework (essays/outlines/grammar exercises): 35 %; Attendance: 10 %.</p> <p>教科書・参考書 教科書: Comprehensive English For Global Understanding-Intermediate Book 1, Johnson and Higgins, I.E.I., Inc., 2007年; Sound Approach Pronunciation Workbook-Revised, Higgins, Higgins, Shima, I.E.I., Inc., 2005年 / 参考書: Try to use and English-English dictionary, if you can, but always have a dictionary with you.</p> <p>メッセージ This course also requires students to be on-line for some of their homework and for on-line quizzes.</p> <p>教官連絡先 Gardners@mx5.tiki.ne.jp</p>									

系列 外国語教育

分野 英語

科目類型 展開2

開設科目	Comprehensive English(By Native Speakers[1])	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全(平成14・15年度入学者)	単位	2単位	曜時限	月曜日3・4時限
担当教官	Higgins Michael Leo				
<p>授業概要 This course is for students with a TOEIC score of between 300-395.</p> <p>授業一般目標 To improve the student's English communication skills.</p> <p>成績評価方法(総合) Final Evaluation (50% of total grade): Speaking: 40%; Listening: 20%; Writing: 20%; Content: 10%; Pronunciation (Sound Approach): 10%. Internal/External Criteria (50% of total grade): Group/class work (classroom assignment, quizzes, or activity scores): 35%; Class Participation: 20%; Homework (essays/outlines/grammar exercises): 35%; Attendance: 10%.</p> <p>教科書・参考書 教科書: Comprehensive English For Global Understanding-Fundamental Book 1, Johnson and Higgins, IEI, Inc., 2007年; Sound Approach Pronunciation Book, Higgins, Higgins, Shima, IEI, Inc., 2005年 / 参考書: Try to use an English - English dictionary if you can, but always have a dictionary with you.</p> <p>メッセージ This course also requires students to be on-line for some homework and for on-line quizzes.</p> <p>教官連絡先 My office hours are Monday from 2:30 to 4:00.</p>					

系列 外国語教育

分野 英語

科目類型 包括

開設科目	海外語学研修(英語)	区分	講義	開設期	前期
対象学生		単位	4単位	曜時限	
担当教官	事前研修担当者				
<p>授業概要 約4週間の英語圏(リジャイナ[カナダ]、あるいはニュー・カッスル[オーストラリア])での語学研修プログラム(研修費等は受講者が負担)に参加して、英語コミュニケーション能力の向上を目指す。また同時に、滞在先の人々との交流を通じて、異文化理解を深める。この科目の単位を取得するためには、海外研修出発前に学内での事前研修(7コマ分)を受講しなければならない。(注意! 事前研修を受講しなければ、語学研修プログラムに参加しても、単位は認められません。) 海外語学研修プログラムは、リジャイナ、ニュー・カッスル共に夏と春に実施される。それぞれ5月頃、10月頃に国際センター主催の説明会が開かれるので、プログラムの詳細はそちらを参照すること。事前研修は語学研修プログラムに合わせて8月上旬、2月上旬に集中講義形式で開講される。詳しい開講時期等の情報は、掲示にて連絡する。</p> <p>授業一般目標 海外(英語圏)での語学研修プログラムで学習することにより、また現地での生活の中で、実践的英語コミュニケーション能力を身に付ける。滞在先の地域文化に触れ、現地の人々との交流を通じて、国際的な視野を広める。</p> <p>成績評価方法(総合) 事前研修での出席状況、授業態度、英語習熟度と、海外語学研修プログラムでの成績評価を合わせて、総合的に評価する。</p> <p>メッセージ 海外短期語学研修プログラム説明会の案内や、事前研修の開講案内は、掲示等にて行います。履修希望者は注意しておいて下さい。</p> <p>教官連絡先 海外短期語学研修プログラムについては国際センターに問い合わせる。事前研修については共通教育係に問い合わせる。</p> <p>備考 集中授業</p>					

系列 外国語教育

分野 英語

科目類型 包括

開設科目	海外語学研修(英語)	区分	講義	開設期	前期
対象学生	医・工2年	単位	4単位	曜時間	
担当教官	事前研修担当者				
<p>授業概要 約4週間の英語圏(リジャイナ[カナダ]、あるいはニュー・カッスル[オーストラリア])での語学研修プログラム(研修費等は受講者が負担)に参加して、英語コミュニケーション能力の向上を目指す。また同時に、滞在先の人々との交流を通じて、異文化理解を深める。この科目の単位を取得するためには、海外研修出発前に学内での事前研修(7コマ分)を受講しなければならない。(注意!事前研修を受講しなければ、語学研修プログラムに参加しても、単位は認められません。)海外語学研修プログラムは、リジャイナ、ニュー・カッスル共に夏と春に実施される。それぞれ5月頃、10月頃に国際センター主催の説明会が開かれるので、プログラムの詳細はそちらを参照すること。事前研修は語学研修プログラムに合わせて8月上旬、2月上旬に集中講義形式で開講される。詳しい開講時期等の情報は、掲示にて連絡する。</p> <p>授業一般目標 海外(英語圏)での語学研修プログラムで学習することにより、また現地での生活の中で、実践的英語コミュニケーション能力を身に付ける。滞在先の地域文化に触れ、現地の人々との交流を通じて、国際的な視野を広める。</p> <p>成績評価方法(総合) 事前研修での出席状況、授業態度、英語習熟度と、海外語学研修プログラムでの成績評価を合わせて、総合的に評価する。</p> <p>メッセージ 海外短期語学研修プログラム説明会の案内や、事前研修の開講案内は、掲示等にて行います。履修希望者は注意しておいて下さい。</p> <p>教官連絡先 海外短期語学研修プログラムについては国際センターに問い合わせる。事前研修については共通教育係に問い合わせる。</p> <p>備考 集中授業</p>					

系列 外国語教育

分野 医療英語

科目類型 展開2

開設科目	医療英語	区分	講義	開設期	前期
対象学生	検査2年	単位	2単位	曜時間	月曜日5・6時限
担当教官	服部幸夫				
<p>授業概要 「英辞郎」を用いて、医療一般に関する英文(デジタル化)を速読します。その英文要旨を作成し、レポートとしてe-mailで教官へ送ってもらいます。毎回、前回は読んだ文章に出た英単語をリスニング形式で小テストを行い、医療英単語の獲得を図ります。</p> <p>授業一般目標 医療一般に関する知識を英文速読で得る。医療英単語の獲得を図る。読んだ文章の英文要旨の作り方を獲得する。理解した英文のリスニングにより、英語リスニング力を高める。</p> <p>成績評価方法(総合) 本試験(英単語)、小試験、レポート</p> <p>メッセージ IT授業なので、パソコン必携です。</p> <p>教官連絡先 hattori-ygc@umin.ac.jp</p>					

開設科目	医療英語	区分	講義	開設期	前期
対象学生	看護 (1-40) 2年, 看護 (編入学者 1-5) 3年	単位	2 単位	曜時間	木曜日 1・2 時限
担当教官	Sue Turale				
<p>授業概要 Medical terms can be best understood if they are analysed into their roots, prefixes and suffixes, and then integrated. In this class students will gain understanding and utilization of approximately 101 basic components of medical English terms, and their use in various combinations in everyday health situations. Students will have exposure to these terms by a native speaker, and will learn to pronounce them accordingly.</p> <p>授業一般目標 Students will learn the basic components of medical English terms and their application in everyday health and nursing conversation.</p> <p>成績評価方法 (総合) The Responsibilities of Students: 1. This is a Medical English conversation course, so all students are expected to actively converse using as much English as possible in class. 2. Every student is expected to undertake lesson reading(s) from the required texts before each class as requested by the Professor 3. Progressive learning in this course is important, so an emphasis will be placed on regular quizzes to determine progress. 4. Students are expected to attend all classes: Absences of five (5) or more days will result in automatic Fail Grade (D); Absences of four (4) days or less require emergency or medical reasoning. Gradings: A: 80-100 %, B: 70-79 %, C: 60-69 %, and D: Fail Grade Below 60 % If you fail this course the decision to give one compensatory examination rests with the Professor teaching the course. It is not automatic that a compensatory examination is given. Students will be Assessed by: Verbal and Written Quizzes 60 % Final Exam 40 %</p> <p>教科書・参考書 教科書: Bailli & # 279;re 's Nurses Dictionary, Weller, B. (Ed.), Elsevier Science, Edinburgh, 2002 年; Medical Terminology, Noreau, R., ELS, Tokyo, 2002 年</p> <p>教官連絡先 e-mail: sturale@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	医療英語	区分	講義	開設期	前期
対象学生	看護 (41-) 2年, 看護 (編入学者 6-) 3年	単位	2 単位	曜時間	金曜日 5・6 時限
担当教官	Sue Turale				
<p>授業概要 Medical terms can be best understood if they are analysed into their roots, prefixes and suffixes, and then integrated. In this class students will gain understanding and utilization of approximately 101 basic components of medical English terms, and their use in various combinations in everyday health situations. Students will have exposure to these terms by a native speaker, and will learn to pronounce them accordingly.</p> <p>授業一般目標 Students will learn the basic components of medical English terms and their application in everyday health and nursing conversation.</p> <p>成績評価方法 (総合) The Responsibilities of Students: 1. This is a Medical English conversation course, so all students are expected to actively converse using as much English as possible in class. 2. Every student is expected to undertake lesson reading(s) from the required texts before each class as requested by the Professor 3. Progressive learning in this course is important, so an emphasis will be placed on regular quizzes to determine progress. 4. Students are expected to attend all classes: Absences of five (5) or more days will result in automatic Fail Grade (D); Absences of four (4) days or less require emergency or medical reasoning. Gradings: A: 80-100 %, B: 70-79 %, C: 60-69 %, and D: Fail Grade Below 60 % If you fail this course the decision to give one compensatory examination rests with the Professor teaching the course. It is not automatic that a compensatory examination is given. Students will be Assessed by: Verbal and Written Quizzes 60 % Final Exam 40 %</p> <p>教科書・参考書 教科書: Bailli & # 279;re 's Nurses Dictionary, Weller, B. (Ed.), Elsevier Science, Edinburgh, 2002 年; Medical Terminology, Noreau, R., ELS, Tokyo, 2002 年</p> <p>教官連絡先 e-mail: sturale@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	医学英語 1 b	区分	講義	開設期	前期
対象学生	医学3年	単位	2 単位	曜時限	月曜日 5・6 時限
担当教官	原田規章				
<p>授業概要 医学・生命科学に関する英文の著書や論文などを読解し、討論して医学の基礎知識を習得し、英語力を高めるとともに最新の医学研究成果を学ぶ。</p> <p>授業一般目標 英文の著書や論文などから基本的な医学用語や生命科学用語を学び医学英語の語彙数、読解力、作文力を高めるとともに、最新の医学情報を得て医学・生命科学に対する知識及び理解を深め、それらの学習した知識を基盤として、さらには会話能力の向上にも繋がり国際感覚を身につけられるような指導を目標とする。</p> <p>成績評価方法 (総合) 小テスト・授業内レポート = 20～40% 授業態度や授業への参加度 = 20～40% 受講生の発表(プレゼン)や授業内での製作作業(作品) = 20～40% 出席 = 20～40% 観点別成績評価法は主な視点を示し、評価割合は上記のそれぞれから適宜合計して成績とする。なお、出席は欠格条件である。</p> <p>教科書・参考書 参考書：医学英和大辞典, 加藤 勝治, 南山堂, 2000年; Words of Science, ,</p> <p>メッセージ 原則、全回出席のこと。英和辞典・医学英語辞典を持参のこと。継続は力なり、頑張りましょう。英語で話すことを恐れずに、積極的に参加しよう。</p>					

開設科目	基礎医療英会話	区分	講義	開設期	前期
対象学生	検査3年	単位	2 単位	曜時限	木曜日 1・2 時限
担当教官	Amy Azuma				
<p>授業概要 Students will learn to communicate in English simply and affectively with non-Japanese patients and their family members.</p> <p>授業一般目標 The student will be able to :1. Converse in English, in pairs or groups, about a health care/nursing practice issue.2. Correctly define, spell, and pronounce English terms relating to nursing and health care issue.3. Understand and translate English words and phrases.</p> <p>成績評価方法 (総合) 1. Ask question right away when you don't know or understand something, maybe a good half of your classmates don't know it also. 2. This is an English conversation class, student must converse in English actively. 3. Students are required to turn in their original written assignments at the beginning of each class.All assignments must be legible and use correct grammar and spelling. 4. Students are required to read the weekly text lesson before each sessions. 5. 5 absences result in automatic Fail (D) grade. All absences require medical/emergency reasoning Grading:Homework 15% (5 points X 6 = 30 points) Written assignment 10% (20 points) Role play 10% (10 points X 2 = 20 points) Midterm 25% (50 points) Final exam 40% (80 points) (観点別) Method for evaluating results (classified by specific points)</p> <p>教科書・参考書 教科書：Christine's Easy English Conversation for Nurses, Christine Lee Chinen, ; English-Japanese / Japanese-English dictionary, book or electronic</p>					

系列 基礎外国語科目

分野 英語

開設科目	基礎英語 (再)	区分	講義	開設期	前期
対象学生	工3年 (平成13年度以前入学者)	単位	1 単位	曜時限	火曜日 9・10 時限
担当教官	唐下笑美子				
<p>授業概要 リスニング、リーディングを通して英文法の基礎を身に着けるためのトレーニングをしていく。</p> <p>授業一般目標 英語の語彙の増強をはかり、今一度英文法の基礎をしっかり復習し、簡単なコミュニケーションが出来るまでにする。</p> <p>成績評価方法 (総合) 授業への参加度、授業中の小テスト、レポートによる。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Visions, Lensey Namioka 他, 松柏社, 1994 年</p> <p>メッセージ ここで読む3編の短編はすべて10代の若者、いわゆる「若い大人」の成長期の話です。アメリカ社会のひずみが若者の心にどんな影響をあたえているか考えてください。</p> <p>教官連絡先 emikotg@nifty.com</p>					

系列 基礎外国語科目

分野 英語

開設科目	英語 II	区分	講義	開設期	前期
対象学生	工 (平成13年度以前入学者)	単位	1 単位	曜時限	月曜日 9・10 時限
担当教官	JOHNSON JUDITH ANN				
<p>授業概要 This course is for students who desire to improve their communication, research and presentation skills, using English.</p> <p>授業一般目標 Students will use English to communicate, carry out simple research, and give short presentations.</p> <p>成績評価方法 (総合) In-class activities; Computer assignments; Tests; Research Project; Oral Presentation; Written Evaluation</p> <p>教科書・参考書 教科書: Materials will be provided by the teacher.</p> <p>メッセージ BRING YOUR DICTIONARY TO EVERY CLASS. Anyone who is absent more than 3 times, will not pass the course.</p>					

系列 基礎外国語科目

分野 英語

開設科目	英語 II	区分	講義	開設期	通年(後期, 前期)
対象学生	医学 6 年	単位	1 単位	曜時限	月曜日 9・10 時限
担当教官	日野田裕治				
<p>授業概要 実践的な医学英語を学ぶ。 授業一般目標 医学論文の読解などを通して臨床および研究に関する医学英語を理解する。 成績評価方法(総合) 出席、レポートによる。</p>					

系列 教養外国語科目

分野 教養英語

開設科目	教養英語(再)	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全(平成 13 年度以前入学者)	単位	2 単位	曜時限	月曜日 5・6 時限
担当教官	前出泰司				
<p>授業概要 平易な英文を読み、イディオムとコロケーションを学ぶ。 授業一般目標 (1) 英文を速読する。(2) イディオム、コロケーションを学ぶ。 成績評価方法(総合) 期末試験の結果に平常点(出席状況・受講態度)を加味して評価する。 教科書・参考書 教科書: ストーリーで学ぶイディオムとコロケーション, 岩崎里子, 成美堂, 2006 年</p>					

開設科目	教養英語 (再)	区分	講義	開設期	前期
対象学生	工 (平成 13 年度以前入学者)	単位	2 単位	曜時限	月曜日 7・8 時限
担当教官	JOHNSON JUDITH ANN				
<p>授業概要 This is a course for students who desire to increase their reading speed and comprehension, especially when reading technical and scientific texts. Students will learn a variety of basic thinking skills and use them to improve their reading skills.</p> <p>授業一般目標 Students will improve their reading speed and comprehension.</p> <p>教科書・参考書 教科書: Materials will be provided in class. You will need an English-Japanese-English dictionary. You will be required to complete on-line reading assignments outside of class.</p> <p>メッセージ BRING YOUR DICTIONARY TO EVERY CLASS. Anyone with more than 3 absences will not pass this course.</p> <p>教官連絡先 Wednesday 14:30 - 16:00</p>					

前期 - 外国語教育系列（初習外国語）

開設科目	ドイツ語入門1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	教・理・医・工・農	単位	2単位	曜時限	月曜日 5・6時限
担当教官	重竹 芳江				
<p>授業概要 ドイツ語の基礎能力を養う。文法の解説と並んで日常会話の練習に重点をおく授業を行う。習得したドイツ語を実際に活かせるよう、ドイツの大学で開講される語学講習や留学の方法を紹介する。</p> <p>授業一般目標 基本的な文法項目と日常表現に習熟することが第一の目標である。またドイツ社会一般に関する理解を深め、旅行、留学など実際にドイツに触れる意欲を高めることも目標とする。学生時代には非一度現地でもドイツ文化を体験し、今後の人生に活かしてほしい。</p> <p>成績評価方法(総合) 授業毎の小テスト(80%)、期末試験(20%)</p> <p>教科書・参考書 教科書：新・問いかけるドイツ語, 大谷 弘道, 三修社, 2006年 / 参考書：アポロン独和辞典, 根本、恒吉他, 同学社, 2000年</p> <p>メッセージ 受講者多数の場合、受講者数を制限します。辞書と教科書は2回目から使用します。(1回目の授業では使いません。)1回目の授業の後、受講決定者のみ購入してください。</p>					

開設科目	ドイツ語入門1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	教・理・医・工・農	単位	2単位	曜時限	月曜日 5・6時限
担当教官	坂本貴志				
<p>授業概要 ドイツ語の最も基本的な文法と語彙を学び、併せてごく初歩的なドイツ語実用能力の訓練を行う。</p> <p>授業一般目標 ドイツ語の最も基本的な文法と語彙を身につけ、そしてそれらの基礎の上に、ごく初歩的なドイツ語を聞き、話し、読み、書けるようにする。</p> <p>成績評価方法(総合) 小テスト、課題(宿題)、期末テストの点数により評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：授業開始時に指示する。 / 参考書：独和辞典は必ず一冊購入すること。(出版社は指定しません。独和の入った電子辞書は不可。)</p> <p>メッセージ 教育テレビや教育ラジオのドイツ語講座も録画、録音して利用することをお勧めします。(語学学習は反復して聞くことが大変重要です。)</p>					

開設科目	ドイツ語入門1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	教・理・医・工・農	単位	2 単位	曜時限	月曜日 7・8 時限
担当教官	重竹 芳江				
<p>授業概要 ドイツ語の基礎能力を養う。文法の解説と並んで日常会話の練習に重点をおく授業を行う。習得したドイツ語を実際に活かせるよう、ドイツの大学で開講される語学講習や留学の方法を紹介する。</p> <p>授業一般目標 基本的な文法項目と日常表現に習熟することが第一の目標である。またドイツ社会一般に関する理解を深め、旅行、留学など実際にドイツに触れる意欲を高めることも目標とする。学生時代には非一度ドイツ文化を現地でも体験し、今後の人生に活かしてほしい。</p> <p>成績評価方法 (総合) 授業毎の小テスト (80%)、期末試験 (20%)</p> <p>教科書・参考書 教科書: 新・問いかけるドイツ語, 大谷, 三修社, 2006 年 / 参考書: アポロン独和辞典, 根本、恒吉他, 同学社, 2000 年</p> <p>メッセージ 受講者多数の場合、受講者数を制限します。辞書と教科書は 2 回目から使用します。(1 回目の授業では使いません。) 1 回目の授業の後、受講決定者のみ購入してください。</p>					

開設科目	ドイツ語入門1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	教・理・医・工・農	単位	2 単位	曜時限	月曜日 7・8 時限
担当教官	坂本貴志				
<p>授業概要 ドイツ語の最も基本的な文法と語彙を学び、併せてごく初歩的なドイツ語実用能力の訓練を行う。</p> <p>授業一般目標 ドイツ語の最も基本的な文法と語彙を身につけ、そしてそれらの基礎の上に、ごく初歩的なドイツ語を聞き、話し、読み、書けるようにする。</p> <p>成績評価方法 (総合) 小テスト、課題 (宿題)、期末テストの点数により評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 授業開始時に指示する。 / 参考書: 独和辞典は必ず一冊購入してください。(出版社は指定しません。電子辞書は不可。)</p> <p>メッセージ 教育テレビや教育ラジオのドイツ語講座も録画、録音して利用することをお勧めします。(語学学習は反復して聞くことが大変重要です。)</p>					

開設科目	ドイツ語入門1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	教・理・医・工・農	単位	2 単位	曜時限	火曜日 5・6 時限
担当教官	Dobra Felicitas				
<p>授業概要 本授業は、まず第一に基礎的なコミュニケーション能力を身につけさせることを目的とする。文型が提示される。これらの文型は、学生によって練習され、学生の生活に関連する文例によって補強される。教科書の文章は、ドイツ事情を伝える内容である。各課の終わりに、日本語による文法の説明がある。ドイツ語の初級文法の習得をめざす。文法を中心とした練習問題をこなすとともに、発音、聞き取り、話すこと、語彙力、作文力、読解力をつける。CD を活用し、パートナー練習を加えて、簡単な会話に挑戦する。</p> <p>授業一般目標 学生は提示された文型に従って、簡単な会話を行える程度の知識を習得することができる。話すことと発音練習がこの授業の重点である。文法は授業の目的ではないが、目標に到達するために通らねばならぬ道である。したがって、各課の文法も教授され、習得されたかどうか吟味される。文法は、コミュニケーションに有意義な練習を通じて伝えられる。学生は教科書の中に描写されたいくつかのシチュエーションによって、文化間の相違を確認することができる。</p> <p>教科書・参考書 教科書：Szenen integriert 1, Shuko Sato/ Kyoko Shimoda/ Heike Papenthin/Gesa Oldehaver, Sanshusha, 2006 年；Szenen integriert 1. CD 付きスエネン 1 場面で学ぶドイツ語 佐藤修子/下田恭子/ハイケパペンティン/ゲ・サオルデハ・バル 東京：三修社、2006、87 ページ。ISBN4-384-12244-6 C1084 ¥ 2,900E / 参考書：授業中に紹介します。</p> <p>教官連絡先 授業のあといつでもいいです / dobra@yamaguchi-u.ac.jp 山口吉田研究室：金曜日曜日 12：30～14：00</p>					

開設科目	ドイツ語入門1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	教・理・医・工・農	単位	2 単位	曜時限	火曜日 5・6 時限
担当教官	能木敬次				
<p>授業概要 ドイツ語の基礎的な読解能力を養成する。まずはドイツ語を発音しドイツ語の短文を音読することに力点を置く。同時に基本文型の作文を繰り返し練習することによって、簡単なドイツ語の文章を書くことに慣れるように努める。宿題も積極的に利用しながら、集中的に授業展開をしてゆきたい。小テストを四・五行って知識の定着を確認する。</p> <p>授業一般目標 近年、ドイツの世界経済・政治における役割の増大には目をみはるものがある。工業技術や医療技術、また福祉政策や環境政策においてドイツは世界をリードしている。近代日本の政治・教育文化・科学技術の発展におけるドイツの貢献度の大きさは言うまでもない。本講義はドイツ語文を「読む」ための第一段階の知識を提供する。将来、英語とともに第二の情報収集手段として、また研究の為のドイツ語文献の読解に役立ててほしい。</p> <p>成績評価方法 (総合) 受講態度・出席率・小テスト・定期テスト等全てを考慮する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：『ドイツ語 プラウヴオ!』(Deutsch Bravo!), 小野寿美子[ほか], 朝日出版社, 2007 年 / 参考書：新アポロン独和辞典(第4版), 根本道也[ほか] 編集執筆, 同学社, 2003 年; 辞書は他のものでも構わないが必携のこと。</p>					

開設科目	ドイツ語入門1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	教・理・医・工・農	単位	2 単位	曜時間	火曜日 7・8 時限
担当教官	能木敬次				
<p>授業概要 ドイツ語の基礎的な読解能力を養成する。まずはドイツ語を発音しドイツ語の短文を音読することに力点を置く。同時に基本文型の作文を繰り返し練習することによって、簡単なドイツ語の文章を書くことに慣れるように努める。宿題も積極的に利用しながら、集中的に授業展開をしてゆきたい。小テストを四・五回行って知識の定着を確認する。</p> <p>授業一般目標 近年、ドイツの世界経済・政治における役割の増大には目をみはるものがある。工業技術や医療技術、また福祉政策や環境政策においてドイツは世界をリードしている。近代日本の政治・教育文化・科学技術の発展におけるドイツの貢献度の大きさは言うまでもない。本講義はドイツ語文を「読む」ための第一段階の知識を提供する。将来、英語とともに第二の情報収集手段として、また研究の為のドイツ語文献の読解に役立ててほしい。</p> <p>成績評価方法(総合) 受講態度・出席率・小テスト・定期テスト等全てを考慮する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：『ようこそベルリンへ!』(Herzlich willkommen in Berlin!), 入谷幸江[ほか], 同学社, 2007年 / 参考書：新アポロン独和辞典(第4版), 根本道也[ほか] 編集執筆, 同学社, 2003年; 辞書は他のものでも構わないが必携のこと。</p>					

開設科目	ドイツ語入門1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	教・理・医・工・農	単位	2 単位	曜時間	水曜日 5・6 時限
担当教官	野口達人				
<p>授業概要 本授業では、ドイツ語を話し、聴き、読み、書く技能の育成を通じ、基礎的なコミュニケーション力を養成する。そのために、基本的な発音の規則と文法事項を説明し、実際の会話の練習、パートナー練習、聴き取り練習、学習した文法事項についての練習などを課す。</p> <p>授業一般目標 ドイツ語の発音の基本を習得し、正しい発音ができるようになる。動詞の人称変化、冠詞と名詞の性数・格変化などを習得することにより、ドイツ語の文法体系を理解する。さらに基本単語・表現を覚えて、簡単なドイツ語を話したり、聴いたりすることができ、簡単な文を作れるようになる。</p> <p>成績評価方法(総合) (1)各課の練習問題を口頭または板書にて行い、これを演習として評価。(2)授業の中で各課ごとの小テストを行う。(3)筆記試験を定期試験期間中に行う。以上を下記の観点・割合で評価する。なお、総授業数の80%以上の出席を必須要件とする。</p> <p>教科書・参考書 教科書：アプファールト スキットで学ぶドイツ語, 飯田道子、江口直光, 三修社, 2007年 メッセージ 授業への積極的な参加と自主的な反復練習が要求される。授業には必ず独和辞典を携行すること。</p>					

開設科目	ドイツ語入門1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	教・理・医・工・農	単位	2 単位	曜時限	水曜日 5・6 時限
担当教官	Dobra Felicitas				
<p>授業概要 ドイツ語の初級文法の習得をめざす。文法を中心とした練習問題をこなすとともに、発音、聞き取り、話すこと、語彙力、作文力、読解力をつける。CD を活用し、パートナー練習を加えて、簡単な会話に挑戦する。</p> <p>授業一般目標 ドイツ語の初級文法を学習する。初歩的なドイツ語読解力を身につける。ドイツ語圏の文化についても知識を深める。</p> <p>成績評価方法 (総合) 出席、中間試験、定期試験によって、評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Ich werd' dir helfen! 初級ドイツ語ギンタ - と仲間たち, Yasuo Takenaga; Christian Boldt; Gisela Doi, Ikubundo, 2007 年; CD 初級ドイツ語ギンタ - と仲間たち 竹中康雄 / 土井ギ - ゼラ / 東京: 郁文堂、2 0 0 7 ISBN 978-4-261-01222-4 C1084 円 2.500</p> <p>メッセージ ドイツ語勉強を楽しんで。</p> <p>教官連絡先 メール: dobra@yamaguchi-u.ac.jp 山口吉田研究室 OFFICE HOUR: 金曜日 1 0 : 2 0 ~ 1 1 : 5 0</p>					

開設科目	ドイツ語入門1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	教・理・医・工・農	単位	2 単位	曜時限	水曜日 7・8 時限
担当教官	野口達人				
<p>授業概要 本授業では、ドイツ語を話し、聴き、読み、書く技能の育成を通じ、基礎的なコミュニケーション力を養成する。そのために、基本的な発音の規則と文法事項を説明し、実際の会話の練習、パートナー練習、聞き取り練習、学習した文法事項についての練習などを課す。</p> <p>授業一般目標 ドイツ語の発音の基本を習得し、正しい発音ができるようになる。動詞の人称変化、冠詞と名詞の性数・格変化などを習得することにより、ドイツ語の文法体系を理解する。さらに基本単語・表現を覚えて、簡単なドイツ語を話したり、聴いたりすることができ、簡単な文を作れるようになる。</p> <p>成績評価方法 (総合) (1) 各課の練習問題を口頭または板書にて行い、これを演習として評価。(2) 授業の中で各課ごとの小テストを行う。(3) 筆記試験を定期試験期間中に行う。以上を下記の観点・割合で評価する。なお、総授業数の 8 0 % 以上の出席を必須要件とする。</p> <p>教科書・参考書 教科書: アプファールト スキットで学ぶドイツ語, 飯田道子、江口直光, 三修社, 2007 年</p> <p>メッセージ 授業への積極的な参加と自主的な反復練習が要求される。授業には必ず独和辞典を携行すること。</p>					

開設科目	ドイツ語入門1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	工2年	単位	2単位	曜時限	木曜日5・6時限
担当教官	江波 昌子				
<p>授業概要 この授業では、基礎的なドイツ語を読み、書き、話し、聞く力を養う。そのために、基礎的な文法事項を説明する。また、くり返しドイツ語を聞いて、発音やイントネーション、言葉のリズムを身につけ、基本的な表現を覚えて実際に使えるように、練習問題や暗唱など様々な課題を与える。</p> <p>授業一般目標 ドイツ語の発音の基本を習得する。名詞、冠詞、人称代名詞、動詞等の品詞の理解を通して、ドイツ語文法の基礎構造を認識する。また、いろいろなフレーズを覚えて、簡単な日常会話が表現できると同時に、平易なドイツ語を聞き取れるようになる。</p> <p>成績評価方法(総合) 1.出席と小テストを含めた平常点を平常点を50%とし、定期試験の50%と合わせて評価する。2.宿題は授業中に成果を発表することで、平常点として評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：ドイツ語インフォメーション, 秋田静男ほか, 朝日出版社, 2005年 / 参考書：「自分にとって使いやすそうだ」と思う独和辞典を用意すること。出版社は特に指定しない。</p> <p>メッセージ 語学を学ぶということは、新しい世界を知ることです。楽しく学習しましょう。辞書は毎回、必ず持参してください。</p>					

開設科目	ドイツ語入門1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	工2年	単位	2単位	曜時限	木曜日7・8時限
担当教官	江波 昌子				
<p>授業概要 この授業では、基礎的なドイツ語を読み、書き、話し、聞く力を養う。そのために、基礎的な文法事項を説明する。また、くり返しドイツ語を聞いて、発音やイントネーション、言葉のリズムを身につけ、基本的な表現を覚えて実際に使えるように、練習問題や暗唱など様々な課題を与える。</p> <p>授業一般目標 ドイツ語の発音の基本を習得する。名詞、冠詞、人称代名詞、動詞等の品詞の理解を通して、ドイツ語文法の基礎構造を認識する。また、いろいろなフレーズを覚えて、簡単な日常会話が表現できると同時に、平易なドイツ語を聞き取れるようになる。</p> <p>成績評価方法(総合) 1.出席と小テストを含めた平常点を50%とし、定期試験の50%と合わせて評価する。2.宿題は授業中に成果を発表することで、平常点として評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：ドイツ語インフォメーション, 秋田静男ほか, 朝日出版社, 2005年 / 参考書：「自分にとって使いやすそうだ」と思う独和辞典を用意すること。出版社は特に指定しない。</p> <p>メッセージ 語学を学ぶということは、新しい世界を知ることです。楽しく学習しましょう。辞書は毎回、必ず持参して下さい。</p>					

開設科目	ドイツ語入門1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	教・理・医・工・農	単位	2 単位	曜時限	金曜日 1・2 時限
担当教官	Watanabe-Berger Angelika				
<p>授業概要 英語を話せて当たり前の時代になりました。この授業ではヨーロッパで2番目に大きい国ドイツの言葉や文化をA B Cから学び、日本以外の国に関心を持って、いろんなメディアを通じてドイツを”体験”し、身近に感じてもらうのが狙いです。</p> <p>授業一般目標 ドイツ語の基礎文法を理解し、簡単な日常会話を練習し、外国語で話すことへの抵抗を減らし、最終的にドイツ語初級の読み書き、聞き取り、話すことができるようになります。</p> <p>教科書・参考書 教科書：Keikos praktikum in M・nchen, 矢羽々崇著, 朝日出版社, 2003年；ドイツ語一年生・ケイコのミュンヘン(2500円+税)1回目の授業のときに教室で販売します。/ 参考書：色んな問題や文法説明をプリント等で配布</p> <p>メッセージ 毎回ドイツへ行った気分で、恥ずかしがらずに会話や歌、ロールプレイ etc. に挑戦しましょう。</p> <p>教官連絡先 E-mail: palette@c-able.ne.jp</p>					

開設科目	ドイツ語入門1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	教・理・医・工・農	単位	2 単位	曜時限	金曜日 3・4 時限
担当教官	Watanabe-Berger Angelika				
<p>授業概要 英語を話せて当たり前の時代になりました。この授業ではヨーロッパで2番目に大きい国ドイツの言葉や文化をA B Cから学び、日本以外の国に関心を持って、いろんなメディアを通じてドイツを”体験”し、身近に感じてもらうのが狙いです。</p> <p>授業一般目標 ドイツ語の基礎文法を理解し、簡単な日常会話を練習し、外国語で話すことへの抵抗を減らし、最終的にドイツ語初級の読み書き、聞き取り、話すことができるようになります。</p> <p>教科書・参考書 教科書：Keikos praktikum in M・nchen, 矢羽々崇著, 朝日出版社, 2003年；ドイツ語一年生・ケイコのミュンヘン(2500円+税)1回目の授業のときに教室で販売します。/ 参考書：色んな問題や文法説明をプリント等で配布</p> <p>メッセージ 毎回ドイツへ行った気分で、恥ずかしがらずに会話や歌、ロールプレイ etc. に挑戦しましょう。</p> <p>教官連絡先 E-mail: palette@c-able.ne.jp</p>					

開設科目	フランス語入門1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	教・理・医・工・農	単位	2 単位	曜時限	火曜日 1・2 時限
担当教官	Emde Angelika				
<p>授業概要 このコースではフランス語の根本的な構造を理解し、自力で簡単な文書を作り、日常的な会話をこなせることがねらいです。</p> <p>授業一般目標 様々なコミュニケーションの場面に応じて、基本的なパターンを練習します。必要な文法を説明し、多くの例を応用しながら、身に付けます。語彙はそれぞれの分野に合わせて導入し、段階的に増やします。聞く力や発音を特に鍛えます。</p> <p>成績評価方法 (総合) 定期試験 (中間・期末試験) 50%、小テスト・授業内レポート 20%、宿題・授業外レポート 20%、授業態度・授業への参加態度 10%</p> <p>教科書・参考書 教科書: 教材のプリントを授業で配付します。</p>					

開設科目	フランス語入門1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	教・理・医・工・農	単位	2 単位	曜時限	木曜日 7・8 時限
担当教官	ボシィール ジャン・クロード				
<p>授業概要 この授業では、会話を取り入れながらフランス語の基本的な文法事項を学習します。毎回授業の終わりには「フランス雑学コーナー」を設けてシャンソン、漫画、フランス映画等を紹介します。授業は主に日本語で行います。</p> <p>授業一般目標 簡単な挨拶から徐々に基礎フランス語を習得し会話を中心に総合的なレベルアップを目指します。</p> <p>成績評価方法 (総合) 授業の出席状況、授業態度、試験の成績で総合的に評価します。</p> <p>教科書・参考書 教科書: SALUT, YASUKO TANABE その他, SURUGADAI</p>					

開設科目	中国語入門1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	教・理・医・工・農	単位	2 単位	曜時限	月曜日 7・8 時限
担当教官	苞山武義				
<p>授業概要 改革開放政策の深化により社会が激変した中国は、21世紀、アジアと世界にどのような影響を与えていくのか。中国から発信される情報を受けとめ、膨大なネットワークにアクセスするには中国語が必要である。中国語は発音とアクセントに特徴ある言葉で入門期には、多くの時間をこの習得にかけなければならない。しかし文法は簡潔であり、表現、文型の学習を積み重ねるうちに自然とことばの法則が見えて来る。中国語の学習がアジアに目を向ける窓口となることを願う。</p> <p>授業一般目標 中国語の基本的な表現を理解し、簡単な日常生活会話を習得する。あわせて中国に関する基本的知識の理解を進める。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験の成績:70% 小テスト・授業内レポート:20% 授業態度・授業への参加度:10% 出席が2/3に満たない者は、定期試験を受けられない</p> <p>教科書・参考書 教科書:スリム版 表現する中国語, 楊凱榮・張麗群, 白帝社, 2005年; 販売:文栄堂山大前店/ 参考書:辞書については、授業中に紹介する。</p> <p>メッセージ 初回授業で定員を上回る場合、抽選になるので、必ず出席のこと。後期からの履修クラスの変更は認めないので、後期配当科目に注意すること。</p>					

開設科目	中国語入門1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	教・理・医・工・農	単位	2 単位	曜時限	月曜日 7・8 時限
担当教官	李海英				
<p>授業概要 改革開放政策の深化により社会が激変した中国は、21世紀、アジアと世界にどのような影響を与えていくのか。中国から発信される情報を受けとめ、膨大なネットワークにアクセスするには中国語が必要である。中国語は発音とアクセントに特徴ある言葉で入門期には、多くの時間をこの習得にかけなければならない。しかし文法は簡潔であり、表現、文型の学習を積み重ねるうちに自然とことばの法則が見えて来る。中国語の学習がアジアに目を向ける窓口となることを願う。</p> <p>授業一般目標 中国語の基本的な表現を理解し、簡単な日常生活会話を習得する。あわせて中国に関する基本的知識の理解を進める。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験の成績:70% 小テスト・授業内レポート:20% 授業態度・授業への参加度:10% 出席が2/3に満たない者は、定期試験を受けられない</p> <p>教科書・参考書 教科書:スリム版 表現する中国語, 楊凱榮・張麗群, 白帝社, 2005年; 販売:文栄堂山大前店/ 参考書:辞書については、授業中に紹介する。</p> <p>メッセージ 初回授業で定員を上回る場合、抽選になるので、必ず出席のこと。後期からの履修クラスの変更は認めないので、後期配当科目に注意すること。</p>					

開設科目	中国語入門1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	教・理・医・工・農	単位	2 単位	曜時限	月曜日 9・10 時限
担当教官	苞山武義				
<p>授業概要 改革開放政策の深化により社会が激変した中国は、21世紀、アジアと世界にどのような影響を与えていくのか。中国から発信される情報を受けとめ、膨大なネットワークにアクセスするには中国語が必要である。中国語は発音とアクセントに特徴ある言葉で入門期には、多くの時間をこの習得にかけなければならない。しかし文法は簡潔であり、表現、文型の学習を積み重ねるうちに自然とことばの法則が見えて来る。中国語の学習がアジアに目を向ける窓口となることを願う。</p> <p>授業一般目標 中国語の基本的な表現を理解し、簡単な日常生活会話を習得する。あわせて中国に関する基本的知識の理解を進める。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験の成績:70% 小テスト・授業内レポート:20% 授業態度・授業への参加度:10% 出席が2/3に満たない者は、定期試験を受けられない</p> <p>教科書・参考書 教科書:スリム版 表現する中国語, 楊凱榮・張麗群, 白帝社, 2005年; 販売:文栄堂山大前店/ 参考書:辞書については、授業中に紹介する。</p> <p>メッセージ 初回授業で定員を上回る場合、抽選になるので、必ず出席のこと。後期からの履修クラスの変更は認めないので、後期配当科目に注意すること。</p>					

開設科目	中国語入門1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	教・理・医・工・農	単位	2 単位	曜時限	火曜日 3・4 時限
担当教官	梁蕾				
<p>授業概要 改革開放政策の深化により社会が激変した中国は、21世紀、アジアと世界にどのような影響を与えていくのか。中国から発信される情報を受けとめ、膨大なネットワークにアクセスするには中国語が必要である。中国語は発音とアクセントに特徴ある言葉で入門期には、多くの時間をこの習得にかけなければならない。しかし文法は簡潔であり、表現、文型の学習を積み重ねるうちに自然とことばの法則が見えて来る。中国語の学習がアジアに目を向ける窓口となることを願う。</p> <p>授業一般目標 中国語の基本的な表現を理解し、簡単な日常生活会話を習得する。あわせて中国に関する基本的知識の理解を進める。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験の成績:70% 小テスト・授業内レポート:20% 授業態度・授業への参加度:10% 出席が2/3に満たない者は、定期試験を受けられない</p> <p>教科書・参考書 教科書:スリム版 表現する中国語, 楊凱榮・張麗群, 白帝社, 2005年; 販売:文栄堂山大前店/ 参考書:辞書については、授業中に紹介する。</p> <p>メッセージ 初回授業で定員を上回る場合、抽選になるので、必ず出席のこと。後期からの履修クラスの変更は認めないので、後期配当科目に注意すること。</p>					

開設科目	中国語入門1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	教・理・医・工・農	単位	2 単位	曜時限	水曜日 3・4 時限
担当教官	宇芳				
<p>授業概要 改革開放政策の深化により社会が激変した中国は、21世紀、アジアと世界にどのような影響を与えていくのか。中国から発信される情報を受けとめ、膨大なネットワークにアクセスするには中国語が必要である。中国語は発音とアクセントに特徴ある言葉で入門期には、多くの時間をこの習得にかけなければならない。しかし文法は簡潔であり、表現、文型の学習を積み重ねるうちに自然とことばの法則が見えて来る。中国語の学習がアジアに目を向ける窓口となることを願う。</p> <p>授業一般目標 中国語の基本的な表現を理解し、簡単な日常生活会話を習得する。あわせて中国に関する基本的知識の理解を進める。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験の成績:70% 小テスト・授業内レポート:20% 授業態度・授業への参加度:10% 出席が2/3に満たない者は、定期試験を受けられない</p> <p>教科書・参考書 教科書:スリム版 表現する中国語, 楊凱榮・張麗群, 白帝社, 2005年; 販売:文栄堂山大前店/ 参考書:辞書については、授業中に紹介する。</p> <p>メッセージ 初回授業で定員を上回る場合、抽選になるので、必ず出席のこと。後期からの履修クラスの変更は認めないので、後期配当科目に注意すること。</p>					

開設科目	中国語入門1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	教・理・医・工・農	単位	2 単位	曜時限	水曜日 5・6 時限
担当教官	宇芳				
<p>授業概要 改革開放政策の深化により社会が激変した中国は、21世紀、アジアと世界にどのような影響を与えていくのか。中国から発信される情報を受けとめ、膨大なネットワークにアクセスするには中国語が必要である。中国語は発音とアクセントに特徴ある言葉で入門期には、多くの時間をこの習得にかけなければならない。しかし文法は簡潔であり、表現、文型の学習を積み重ねるうちに自然とことばの法則が見えて来る。中国語の学習がアジアに目を向ける窓口となることを願う。</p> <p>授業一般目標 中国語の基本的な表現を理解し、簡単な日常生活会話を習得する。あわせて中国に関する基本的知識の理解を進める。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験の成績:70% 小テスト・授業内レポート:20% 授業態度・授業への参加度:10% 出席が2/3に満たない者は、定期試験を受けられない</p> <p>教科書・参考書 教科書:スリム版 表現する中国語, 楊凱榮・張麗群, 白帝社, 2005年; 販売:文栄堂山大前店/ 参考書:辞書については、授業中に紹介する。</p> <p>メッセージ 初回授業で定員を上回る場合、抽選になるので、必ず出席のこと。後期からの履修クラスの変更は認めないので、後期配当科目に注意すること。</p>					

開設科目	中国語入門1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	教・理・医・工・農	単位	2 単位	曜時限	水曜日 5・6 時限
担当教官	呉菲				
<p>授業概要 改革開放政策の深化により社会が激変した中国は、21世紀、アジアと世界にどのような影響を与えていくのか。中国から発信される情報を受けとめ、膨大なネットワークにアクセスするには中国語が必要である。中国語は発音とアクセントに特徴ある言葉で入門期には、多くの時間をこの習得にかけなければならない。しかし文法は簡潔であり、表現、文型の学習を積み重ねるうちに自然とことばの法則が見えて来る。中国語の学習がアジアに目を向ける窓口となることを願う。</p> <p>授業一般目標 中国語の基本的な表現を理解し、簡単な日常生活会話を習得する。あわせて中国に関する基本的知識の理解を進める。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験の成績:70% 小テスト・授業内レポート:20% 授業態度・授業への参加度:10% 出席が2/3に満たない者は、定期試験を受けられない</p> <p>教科書・参考書 教科書:スリム版 表現する中国語, 楊凱榮・張麗群, 白帝社, 2005年; 販売:文栄堂山大前店/ 参考書:辞書については、授業中に紹介する。</p> <p>メッセージ 初回授業で定員を上回る場合、抽選になるので、必ず出席のこと。後期からの履修クラスの変更は認めないので、後期配当科目に注意すること。</p>					

開設科目	中国語入門1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	教・理・医・工・農	単位	2 単位	曜時限	水曜日 7・8 時限
担当教官	李海英				
<p>授業概要 改革開放政策の深化により社会が激変した中国は、21世紀、アジアと世界にどのような影響を与えていくのか。中国から発信される情報を受けとめ、膨大なネットワークにアクセスするには中国語が必要である。中国語は発音とアクセントに特徴ある言葉で入門期には、多くの時間をこの習得にかけなければならない。しかし文法は簡潔であり、表現、文型の学習を積み重ねるうちに自然とことばの法則が見えて来る。中国語の学習がアジアに目を向ける窓口となることを願う。</p> <p>授業一般目標 中国語の基本的な表現を理解し、簡単な日常生活会話を習得する。あわせて中国に関する基本的知識の理解を進める。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験の成績:70% 小テスト・授業内レポート:20% 授業態度・授業への参加度:10% 出席が2/3に満たない者は、定期試験を受けられない</p> <p>教科書・参考書 教科書:スリム版 表現する中国語, 楊凱榮・張麗群, 白帝社, 2005年; 販売:文栄堂山大前店/ 参考書:辞書については、授業中に紹介する。</p> <p>メッセージ 初回授業で定員を上回る場合、抽選になるので、必ず出席のこと。後期からの履修クラスの変更は認めないので、後期配当科目に注意すること。</p>					

開設科目	中国語入門1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	教・理・医・工・農	単位	2 単位	曜時限	水曜日 9・10 時限
担当教官	永富健史				
<p>授業概要 改革開放政策の深化により社会が激変した中国は、21世紀、アジアと世界にどのような影響を与えていくのか。中国から発信される情報を受けとめ、膨大なネットワークにアクセスするには中国語が必要である。中国語は発音とアクセントに特徴ある言葉で入門期には、多くの時間をこの習得にかけなければならない。しかし文法は簡潔であり、表現、文型の学習を積み重ねるうちに自然とことばの法則が見えて来る。中国語の学習がアジアに目を向ける窓口となることを願う。</p> <p>授業一般目標 中国語の基本的な表現を理解し、簡単な日常生活会話を習得する。あわせて中国に関する基本的知識の理解を進める。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験の成績:70% 小テスト・授業内レポート:20% 授業態度・授業への参加度:10% 出席が2/3に満たない者は、定期試験を受けられない</p> <p>教科書・参考書 教科書:スリム版 表現する中国語, 楊凱栄・張麗群, 白帝社, 2005年; 辞書については、授業中に紹介する。/ 参考書: 参考書備考: 辞書については、授業中に紹介する。</p> <p>メッセージ 初回授業で定員を上回る場合、抽選になるので、必ず出席のこと。後期からの履修クラスの変更は認めないので、後期配当科目に注意すること。</p>					

開設科目	中国語入門1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	医・工2年	単位	2 単位	曜時限	木曜日 5・6 時限
担当教官	李海英				
<p>授業概要 改革開放政策の深化により社会が激変した中国は、21世紀、アジアと世界にどのような影響を与えていくのか。中国から発信される情報を受けとめ、膨大なネットワークにアクセスするには中国語が必要である。中国語は発音とアクセントに特徴ある言葉で入門期には、多くの時間をこの習得にかけなければならない。しかし文法は簡潔であり、表現、文型の学習を積み重ねるうちに自然とことばの法則が見えて来る。中国語の学習がアジアに目を向ける窓口となることを願う。</p> <p>授業一般目標 中国語の基本的な表現を理解し、簡単な日常生活会話を習得する。あわせて中国に関する基本的知識の理解を進める。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験の成績:70% 小テスト・授業内レポート:20% 授業態度・授業への参加度:10% 出席が2/3に満たない者は、定期試験を受けられない</p> <p>教科書・参考書 教科書:スリム版 表現する中国語, 楊凱栄・張麗群, 白帝社, 2005年; 販売:工学部生協/ 参考書: 辞書については授業で紹介する</p> <p>メッセージ 初回授業で定員を上回る場合、抽選になるので、必ず出席のこと。後期からの履修クラスの変更は認めないので、後期配当科目に注意すること。</p>					

開設科目	中国語入門1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	教・理・医・工・農	単位	2 単位	曜時限	木曜日 7・8 時限
担当教官	杉本知栄子				
<p>授業概要 改革開放政策の深化により社会が激変した中国は、21世紀、アジアと世界にどのような影響を与えていくのか。中国から発信される情報を受けとめ、膨大なネットワークにアクセスするには中国語が必要である。中国語は発音とアクセントに特徴ある言葉で入門期には、多くの時間をこの習得にかけなければならない。しかし文法は簡潔であり、表現、文型の学習を積み重ねるうちに自然とことばの法則が見えて来る。中国語の学習がアジアに目を向ける窓口となることを願う。</p> <p>授業一般目標 中国語の基本的な表現を理解し、簡単な日常生活会話を習得する。あわせて中国に関する基本的知識の理解を進める。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験の成績:70% 小テスト・授業内レポート:20% 授業態度・授業への参加度:10% 出席が2/3に満たない者は、定期試験を受けられない</p> <p>教科書・参考書 教科書:スリム版 表現する中国語, 楊凱栄・張麗群, 白帝社, 2005年; 販売:文栄堂山大前店/ 参考書:辞書については、授業中に紹介する。</p> <p>メッセージ 初回授業で定員を上回る場合、抽選になるので、必ず出席のこと。後期からの履修クラスの変更は認めないので、後期配当科目に注意すること。</p>					

開設科目	中国語入門1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	教・理・医・工・農	単位	2 単位	曜時限	木曜日 9・10 時限
担当教官	秋山淳				
<p>授業概要 改革開放政策の深化により社会が激変した中国は、21世紀、アジアと世界にどのような影響を与えていくのか。中国から発信される情報を受けとめ、膨大なネットワークにアクセスするには中国語が必要である。中国語は発音とアクセントに特徴ある言葉で入門期には、多くの時間をこの習得にかけなければならない。しかし文法は簡潔であり、表現、文型の学習を積み重ねるうちに自然とことばの法則が見えて来る。中国語の学習がアジアに目を向ける窓口となることを願う。</p> <p>授業一般目標 中国語の基本的な表現を理解し、簡単な日常生活会話を習得する。あわせて中国に関する基本的知識の理解を進める。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験の成績:70% 小テスト・授業内レポート:20% 授業態度・授業への参加度:10% 出席が2/3に満たない者は、定期試験を受けられない</p> <p>教科書・参考書 教科書:スリム版 表現する中国語, 楊凱栄・張麗群, 白帝社, 2005年; 販売:文栄堂山大前店/ 参考書:辞書については、授業中に紹介する。</p> <p>メッセージ 初回授業で定員を上回る場合、抽選になるので、必ず出席のこと。後期からの履修クラスの変更は認めないので、後期配当科目に注意すること。</p>					

開設科目	中国語入門1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	教・理・医・工・農	単位	2 単位	曜時限	金曜日 9・10 時限
担当教官	苞山武義				
<p>授業概要 改革開放政策の深化により社会が激変した中国は、21世紀、アジアと世界にどのような影響を与えていくのか。中国から発信される情報を受けとめ、膨大なネットワークにアクセスするには中国語が必要である。中国語は発音とアクセントに特徴ある言葉で入門期には、多くの時間をこの習得にかけなければならない。しかし文法は簡潔であり、表現、文型の学習を積み重ねるうちに自然とことばの法則が見えて来る。中国語の学習がアジアに目を向ける窓口となることを願う。</p> <p>授業一般目標 中国語の基本的な表現を理解し、簡単な日常生活会話を習得する。あわせて中国に関する基本的知識の理解を進める。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験の成績:70% 小テスト・授業内レポート:20% 授業態度・授業への参加度:10% 出席が2/3に満たない者は、定期試験を受けられない</p> <p>教科書・参考書 教科書:スリム版 表現する中国語, 楊凱榮・張麗群, 白帝社, 2005年; 販売:文栄堂山大前店/ 参考書:辞書については、授業中に紹介する。</p> <p>メッセージ 初回授業で定員を上回る場合、抽選になるので、必ず出席のこと。後期からの履修クラスの変更は認めないので、後期配当科目に注意すること。</p>					

開設科目	中国語入門1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	教・理・医・工・農	単位	2 単位	曜時限	金曜日 9・10 時限
担当教官	張玲				
<p>授業概要 改革開放政策の深化により社会が激変した中国は、21世紀、アジアと世界にどのような影響を与えていくのか。中国から発信される情報を受けとめ、膨大なネットワークにアクセスするには中国語が必要である。中国語は発音とアクセントに特徴ある言葉で入門期には、多くの時間をこの習得にかけなければならない。しかし文法は簡潔であり、表現、文型の学習を積み重ねるうちに自然とことばの法則が見えて来る。中国語の学習がアジアに目を向ける窓口となることを願う。</p> <p>授業一般目標 中国語の基本的な表現を理解し、簡単な日常生活会話を習得する。あわせて中国に関する基本的知識の理解を進める。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験の成績:70% 小テスト・授業内レポート:20% 授業態度・授業への参加度:10% 出席が2/3に満たない者は、定期試験を受けられない</p> <p>教科書・参考書 教科書:スリム版 表現する中国語, 楊凱榮・張麗群, 白帝社, 2005年; 販売:文栄堂山大前店/ 参考書:辞書については、授業中に紹介する。</p> <p>メッセージ 初回授業で定員を上回る場合、抽選になるので、必ず出席のこと。後期からの履修クラスの変更は認めないので、後期配当科目に注意すること。</p>					

開設科目	ハングル入門1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	教・理・医・工・農	単位	2 単位	曜時限	水曜日 1・2 時限
担当教官	和田学				
<p>授業概要 この授業では、韓国/朝鮮語の文字と発音を中心にしながら、基本的なあいさつの表現、初歩的な構文を学びます。</p> <p>授業一般目標 この言語の文字と発音の正確な習得と、発音の規則、初歩的な文法を習得し、簡単な会話ができるようにします。この目的のため、毎回授業の内外で課題を課します。また、基礎語彙を習得も課し、不定期に試験を行います。</p> <p>成績評価方法 (総合) (1) 定期試験と (2) 不定期の小テストで成績を評価します。(3) 欠席、宿題の未提出が所定の回数を超えた場合には単位を与えません。</p> <p>教科書・参考書 教科書：コスモス朝和辞典、菅野裕臣他、白水社、1988年；「聞いて覚える初級朝鮮語」、河村光雅・田星姫、白水社、2002年；辞書については授業中に指示します。</p> <p>教官連絡先 連絡先：wadagaku@yamaguchi-u.ac.jp, 研究室：人文棟2階、オフィスアワー：木曜日 10:00-17:00</p>					

開設科目	ハングル入門1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	教・理・医・工・農	単位	2 単位	曜時限	木曜日 1・2 時限
担当教官	和田学				
<p>授業概要 この授業では、韓国/朝鮮語の文字と発音を中心にしながら、基本的なあいさつの表現、初歩的な構文を学びます。</p> <p>授業一般目標 この言語の文字と発音の正確な習得と、発音の規則、初歩的な文法を習得し、簡単な会話ができるようにします。この目的のため、毎回授業の内外で課題を課します。また、基礎語彙を習得も課し、不定期に試験を行います。</p> <p>成績評価方法 (総合) (1) 定期試験と (2) 不定期の小テストで成績を評価します。(3) 欠席、宿題の未提出が所定の回数を超えた場合には単位を与えません。</p> <p>教科書・参考書 教科書：コスモス朝和辞典、菅野裕臣他、白水社、1988年；「聞いて覚える初級朝鮮語」、河村光雅・田星姫、白水社、2002年；辞書については授業中に指示します。</p> <p>教官連絡先 連絡先：wadagaku@yamaguchi-u.ac.jp, 研究室：人文棟2階、オフィスアワー：木曜日 10:00-17:00</p>					

開設科目	ドイツ語初級1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教・経・工	単位	4 単位	曜時限	月曜日 3・4 時限 木曜日 1・2 時限
担当教官	Hintereder-Emde Franz				
<p>授業概要 ドイツ語の基本的な日常会話や読書をこなし、そして簡単な文書を書けることがこのコースのねらいです。必要な語彙を自由自在に使えるように練習を重ねます。目標はおよそ375語のドイツ語の単語です。文法の基礎パターンをよく理解した上に、直感的に利用できるように、パターンドリル、パートナー練習等を行います。オーディオ教材で自宅でも常に練習し、発音や聞く力をさらに高めます。受講者は語学学習と合わせて、適宜インターネットを利用し、ドイツの様々な情報を集め、発表します。週2回コースですので、必ず月曜日3・4時限、木曜日1・2時限の両方を受講して下さい。受講者数は上限30名とします。最初の授業に人数を調整することがありますので、教科書は参加が決まってから購入して下さい。</p> <p>授業一般目標 ドイツ語の基本的な初級レベルが目標です。簡単な会話や文章理解に必要な文法や語意を習得します。さらに、ドイツ語を通じて、ドイツ文化圏の今日的な情報や歴史的な背景も把握できることが大事です。</p> <p>教科書・参考書 教科書：ギンターと仲間たち、竹中康雄、Christian Boldt、土井ギーゼラ、郁文堂、2007年 / 参考書：授業で紹介する。</p> <p>メッセージ Wortschatz はドイツ語で「言葉の宝」という意味です。外国語は一言一言自分の身に付ければつけるほど宝が増えてきます。</p> <p>教官連絡先 mail: emde@yamaguchi-u.ac.jp, tel/fax: 933-5287, office hour: 月曜日 7・8時限(14:30~16:00)</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	ドイツ語初級1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教・経・工	単位	4 単位	曜時限	月曜日 7・8 時限 水曜日 3・4 時限
担当教官	小粥 良				
<p>授業概要 ドイツ語の初歩を丁寧に学ぶ。文法を体系的に学ぶ。ビデオ等を用いて、ドイツの文化についても紹介する。</p> <p>授業一般目標 ドイツ語の初級文法を一通り学習するとともに基礎語彙を習得し、そしてそれらの基礎の上に初歩的なドイツ語読解力を身につける。またドイツ語圏の国々の文化等について知識を深める。</p> <p>成績評価方法(総合) レポート、期末テストの点数により評価する。出席は欠格事項としてのみ扱い、全授業の3分の2以上の出席を必要とする。</p> <p>教科書・参考書 教科書：エールスター・シュリット、中川 浩 他、白水社、2007年；大学生協にて販売。2200円＋税。 / 参考書：独和辞典は必携。授業開始時に紹介するが、どの出版社のものでもよい。電子辞書の独和・和独付きのものでもよい。</p> <p>メッセージ CD付きの教科書なので、家でCDをよく聞くようにしてください。予習・復習をしっかりと行ってください。NHKラジオ第二放送のドイツ語講座をタイマー録音して聞くことをお勧めします。</p> <p>教官連絡先 教育学部2階200-4番の研究室。オフィスアワーは木曜16:00-17:00。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	ドイツ語初級1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教・経・工	単位	4 単位	曜時限	火曜日 1・2 時限 金曜日 5・6 時限
担当教官	本田義昭				
<p>授業概要 本授業では、現代ドイツ語を読み、書き、話すことができるための基礎的な能力を養います。そのために、発音を身につけ、骨組みとなる文法を学びながら、語彙力をつけて、実際に運用できるよう様々な練習を行ないます。EU(ヨーロッパ連合)の牽引車の一つであるドイツの言語を学んで、国際的な視野を拓きましょう。</p> <p>授業一般目標 現代ドイツ語の発音の基本を習得する。名詞の変化・動詞の現在形などの文法項目を学習することで、ドイツ語の基礎構造を認識する。さらに、平易な表現を憶えて、簡単な日常会話ができるようになる。</p> <p>成績評価方法(総合) 中間試験(35%) + 期末試験(35%) + 授業への積極的な参加度(30%)で評価します。出席率が8割未満の場合は失格とします。</p> <p>教科書・参考書 教科書: CD付き 自己表現のためのドイツ語1, 板山真由美, 三修社, 2004年 / 参考書: 第1回目の授業で、初級用の独和辞典をいくつか紹介します。</p> <p>メッセージ こつこつ頑張れば、誰でもかなりのレベルに到達します。継続は力なり! 将来はドイツ留学も夢ではありません。</p> <p>教官連絡先 honda@yamaguchi-u.ac.jp</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	ドイツ語初級1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教・経・工	単位	4 単位	曜時限	火曜日 7・8 時限 木曜日 5・6 時限
担当教官	下寄正利				
<p>授業概要 ドイツ語文法の初歩を勉強します。</p> <p>授業一般目標 ドイツ語の初歩を身につけている。</p> <p>成績評価方法(総合) 授業中の演習、中間テスト、期末テストを総合して成績をつける。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 親切なドイツ文法, 橋本郁夫、和田達宜、伊藤真, 第三書房</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	ドイツ語初級1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教・経・工	単位	4 単位	曜時限	水曜日 1・2 時限 金曜日 7・8 時限
担当教官	河中正彦				
<p>授業概要 大学に入って英語以外の外国語にチャレンジしてみようという人には、オススメのクラスです。「丁寧に楽しく」をモットーに、ビデオを見たり、ドイツの歌を歌ったりしながら、ドイツ語を徹底的に学べます。週2回同じ先生が教えますから、進度と習熟度は抜群です。昨年度の受講者からも楽しかったという多くの声が寄せられました。受講者は必ず、火曜日7・8時限 金曜日7・8時限の両方を受講してください。受講者は上限30名とします。</p> <p>授業一般目標 ドイツ語の発音から入って、まずドイツ語の発音がちゃんとできるようになること。さらに文法事項を習得して、簡単な文を辞書なしで読み書きできるようになること。また簡単な会話ができるようになることを目指します。これは後期のこととなりますが、ドイツ語検定試験4級の全員合格を目指します。</p> <p>成績評価方法(総合) 各課の終わりに練習問題・読章がついているからそれをレポートで提出してもらい、レポート点を100点のなかの20点に換算して評価します。試験は中間と期末の2回で、40点ずつです。</p> <p>教科書・参考書 教科書：ドイツ語とのランデヴー、河中正彦、郁文堂、2001年；一人歩きのドイツ語・自由自在、黒澤明夫、JTB、2003年；教科書は「文栄堂」で購入してください。辞書は最初の授業で紹介するから、まだ買わないように。/参考書：ゼロから始めるドイツ語、在間 進、三修社、2002年；参考書は希望者のみが、文栄堂で購入してください。ただし持っておいたほうが良いことは、もちろんです。</p> <p>メッセージ 受講者は必ず、火曜日7・8時限 金曜日7・8時限の両方を受講してください。初習外国語は一度でも欠席するとダメージは大きいので、全出席のつもりで始めてください。発音が終わったら、週2回課題をレポートで出してもらいます。これはかなりきついですので、覚悟しておいてください。</p> <p>教官連絡先 E-mail kawanaka@yamaguchi-u.ac.jp, 電話 933-5089, 研究室 共通教育・研究1号館314室, オフィスアワー 金pm4:30~6時</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	ドイツ語会話1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教	単位	2 単位	曜時限	水曜日 3・4 時限
担当教官	Dobra Felicitas				
<p>授業概要 本授業は、まず第一に基礎的なコミュニケーション能力を身につけさせることを目的とする。文型が提示される。これらの文型は、学生によって練習され、学生の生活に関連する文例によって補強される。教科書の文章は、ドイツ事情を伝える内容である。各課の終わりに、日本語による文法の説明がある。</p> <p>授業一般目標 学生は提示された文型に従って、簡単な会話を行える程度の知識を習得することができる。話すことと発音練習がこの授業の重点である。文法は授業の目的ではないが、目標に到達するために通らねばならぬ道である。したがって、各課の文法も教授され、習得され、たかどか吟味される。文法は、コミュニケーションに有意義な練習を通じて伝えられる。教科書では、文法事項は「Bausteine」という見出しの下に現れる。学生は教科書の中に描写されたいくつかのシチュエーションによって、文化間の相違を確認することができる。次年度にも更にドイツ語を継続して学習することを希望している学生のために、次年度には同じ教科書の第二部を使用することを指摘しておく。</p> <p>教科書・参考書 教科書：Farbkasten. Situationen. Informationen.1. 自己表現のためのドイツ語 CD 付き、板山真由美/潮路ウルスラ/本河裕子/吉満たか子、三修社、2005年；『自己表現のためのドイツ語2』CD 付き：板山真由美/潮路ウルスラ/本河裕子/吉みつたか子三修社、2005年 ISBN4-384-12227-6 C1084、2,700円 / 参考書：『自己表現のためのドイツ語2』CD 付き：板山真由美/潮路ウルスラ/本河裕子/吉みつたか子三修社、2005年 ISBN4-384-12227-6 C1084、2,700円</p>					

開設科目	ドイツ語中級1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教2年	単位	2単位	曜時限	火曜日3・4時限
担当教官	Dobra Felicitas				
<p>授業概要 本授業は、まず第一に基礎的なコミュニケーション能力を身につけさせる、言い換えれば、一年目に学んだことを復習し、確かなものにするを目的とする。文型は、より意識的に応用されなければならない。これらの文型は、学生によってパートナー練習やグループ練習の中で練習され、学生の生活やさまざまなコミュニケーションの状況に関連する文例によって補強される。教科書の文章は、ドイツ事情を伝える内容である。各課の終わりに、日本語による文法の説明がある。</p> <p>授業一般目標 学生は提示された文型に従って、簡単な会話を行える程度の知識を習得することができる。話すことと発音練習がこの授業の重点である。文法は授業の目的ではないが、目標に到達するために通らねばならぬ道である。したがって、各課の文法も教授され、習得されたかどうか吟味される。文法は、コミュニケーションに有意義な練習を通じて伝えられる。学生は教科書の中に描写されたいくつかのシチュエーションによって、文化間の相違を確認することができる。授業の重点は、教科書の題名に示唆されている「問題発見」にある。学生は、これまでに学んできたことを思い出しながら、世界についての自己の知識を活用して、比較的最近に学んだ新しい言語で言い表すことができる。</p> <p>成績評価方法(総合) 期末試験：筆記テスト(L.6)と会話テスト(Lektion 1-5)(どちらも定期試験期間中に実施)</p> <p>教科書・参考書 教科書：Szenen neu 2, Shuko Sato/ Kyoko Shimoda/Heike Papenthin/Gesa Oldehaver, Sanshusha, 2005年；シエネン2 Szenen neu 2, 佐藤修子/下田恭子/ハイケパペンティン/ゲ-サ オルデハ-バル/東京：三修社、2005年/ISBN4-384-13078-3 C1084/2.900 円</p> <p>教官連絡先 授業の後いつでもいいです / dobra@yamaguchi-u.ac.jp 山口吉田研究室：金曜日12：30～14：00</p>					

開設科目	フランス語初級1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教・経・工	単位	4単位	曜時限	月曜日5・6時限 木曜日5・6時限
担当教官	武本雅嗣				
<p>授業概要 最初に、フランスとはどのような国で、フランス語とはどのような言語であるかを概説します。前期は週2回、フランス語の基本文法を学びます。そして後期は、同じく週2回、ビデオ教材を使って「読み・書き・聴き・話す」能力を高めていきます。1年間勉強すれば、フランスの文化やフランス人の習慣がかなり把握できているはずです。フランス語と英語はいわばいとこ同士の間柄ですが、両言語の間には実に多くの共通点があります。ですから、英語の知識を活用して、英語との異同に注意しながらフランス語を勉強していくのが効率的です。英語以外の外国語を学ぶと、言語や文化の多様性と共通性が少しずつ見えてきます。様々な発見の喜びが得られるような授業を行いたいと思っています。</p> <p>授業一般目標 フランス語の文法体系を習得し、基本的なフランス語運用能力を身につけることを目標とします。</p> <p>成績評価方法(総合) 期末試験：60% 小テスト：20% 出席：20%</p> <p>教科書・参考書 教科書：『英解フランス文法』、山本慧一、三修社；大学会館の生協にて販売。</p> <p>メッセージ ほぼ毎回小テストを行うので、休まず出席すること。</p> <p>教官連絡先 研究室：人文612, オフィスアワー：木曜日3:00-4:30</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 外国語教育

分野 フランス語

科目類型 総説

開設科目	フランス語初級 1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教・経・工	単位	4 単位	曜時限	月曜日 9・10 時限 木曜日 3・4 時限
担当教官	井上三朗				
<p>授業概要 ビデオの付いた、比較的やさしい教科書を用いて、フランス語をできるだけ楽しく学習したい。ビデオの映像をとおして、フランス語とフランス文化をより身近に感じることができたらと願っている。基礎的なフランス語を学ぶことによって、読む、聞く、話す、書くという四つの能力を総合的に養成する。また、文法の教科書を併用する。この教科書を用いることにより、読解、会話などのために必要な、基本的な文法事項を学ぶ。</p> <p>授業一般目標 文法の教科書を用いることによって、フランス語の基礎的な文法事項の理解を目標とすることはもちろんであるが、ビデオの付いた教科書の各課には、会話から成り立つ本文と練習問題が付けられているので、フランス語の初歩的な読解力、会話能力、運用能力の養成を目指したい。読む、聞く、話す、書くという四つの能力が総合的に養成されれば幸いである。</p> <p>成績評価方法 (総合) 試験は定期試験をふくめて、2度おこないたいと思っているが、その試験の点数と、平常点との総合で、成績評価をおこなう。</p> <p>教科書・参考書 教科書：ミニ・ボンジュール・パリ、中山真彦・杉山利恵子、白水社、2005年；初級フランス語文法(改訂2007年度版)、天羽均、佐々木康之他、朝日出版社、2007年/参考書：『クラウン仏和辞典』、天羽均、三省堂(紀伊国屋にて販売)；『プチ・ロワイヤル仏和辞典』、田村毅、旺文社</p> <p>メッセージ 授業への積極的な参加を望む。</p> <p>教官連絡先 月曜日14:30 - 16:00 . 人文学部613研究室</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 外国語教育

分野 フランス語

科目類型 総説

開設科目	フランス語初級 1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教・経・工	単位	4 単位	曜時限	火曜日 7・8 時限 金曜日 7・8 時限
担当教官	平山豊				
<p>授業概要 現代フランス語を読み、書き、話すことができるようになるための基礎的な能力を養います。そのために文法の諸規則を説明し、発音やイントネーションを身につけ、基本単語の語彙や語形変化を憶えて実際に運用できるよう様々な練習を課します。</p> <p>授業一般目標 動詞の現在形を用いた挨拶などの決まった表現や日常の簡単な会話ができる基礎固めをします。</p> <p>成績評価方法 (総合) 定期試験 70%、宿題 10%、授業参加 20%</p> <p>教科書・参考書 教科書：新・東京ーパリ、初飛行、藤田裕二、藤田知子、Sylvie GILLET、駿河台出版社、2007年</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	フランス語会話 1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教	単位	2 単位	曜時限	火曜日 3・4 時限
担当教官	Emde Angelika				
<p>授業概要 この授業では会話が中心です。日常的な場面を簡単な言い方や文法のパターンで訓練します。フランスの音楽、映画や生活文化も紹介します。</p> <p>授業一般目標 様々なコミュニケーションの場面に応じて、基本的なパターンを練習します。必要な文法を説明し、多くの例を応用しながら、身に付けます。語彙はそれぞれの分野に合わせて導入し、段階的に増やします。聞く力や発音を特に鍛えます。</p> <p>成績評価方法 (総合) 試験やテストは行いませんが、定期的な出席と積極的な参加により評価します。出席：50%、参加や授業への貢献：20%、宿題・授業外レポート：30%。</p> <p>教科書・参考書 教科書：教材のプリントを授業で配付します。</p> <p>メッセージ 出席は非常に大事で、積極的な参加は、成功へのカギです。</p>					

開設科目	フランス語中級 1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教 2 年	単位	2 単位	曜時限	水曜日 7・8 時限
担当教官	末松 壽				
<p>授業概要 1. 初級文法の復習 2. 構文練習 3. 基礎的な口語表現 (会話) の訓練 以上を同時平行的におこなう。(なお上記対象学生以外でも、単位にはならないが受講はできるし、歓迎する)</p> <p>授業一般目標 鸚鵡のように喋るのではなく、文盲者のように文字を持たないのでもなく、学生が教室をはなれたあとも、自ら辞書を用いて関心のあるあるいは必要な文書を読み、フランス語を話す人とフランス語でつき合い、あるいは映画その他のメディアを通じて自立して学び実践してゆく力を身につけさせることを目指す。</p> <p>成績評価方法 (総合) 総合的な評価。平素の努力と進歩を観察する。期末には筆記試験もおこなう。</p> <p>教科書・参考書 教科書：セラヴィ(1)、倉片、ジュンタ、トルード、早美出版社；セラヴィ(1)、倉片、泪澄憂、早美出版社 / 参考書：スタンダード仏和辞典、；クラウン仏和辞典、；ロワイヤル仏和辞典、；現代フランス語辞典(ディコ)、；ロベール・クレ仏和辞典、；例えば上記のいずれか。ただし発音を発音記号でも表示し、多くの例文を記載している辞書を選ぶこと。</p>					

開設科目	中国語初級 1 a	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教・経・工	単位	2 単位	曜時間	月曜日 5・6 時限
担当教官	苞山武義				
<p>授業概要 20 年来の改革開放政策により社会が激変した中国、WTO 加入により世界に窓を開いた中国、GDP 世界第 6 位の経済大国、「世界の工場」と呼ばれる中国は、21 世紀中葉、世界第 3 位 GDP を有する国になるとみられる中国は、アジアと世界にどのような影響を与えていくのだろうか。中国から発信される情報を受けとめ、膨大なネットワークにアクセスするには中国語の学習が必要である。中国語は発音とアクセントに特徴ある言葉で、入門期には多くの時間をこの習得にかけなければならない。しかし文法は簡潔であり、表現、文型の学習を積み重ねるうちに自然とことばの法則が見えて来る。中国語の学習がアジア社会に目を向ける窓口となることを願う。</p> <p>授業一般目標 中国語の発音とアクセントを正確に修得し、入門期に必要な中国語運用能力を養成する。あわせて中国理解を深める。</p> <p>成績評価方法（総合） 定期試験（中間試験と期末試験）や、小テスト / 授業内レポート、宿題 / 授業外レポート、授業態度や授業への参加度などによる総合評価 出席が 2/3 に満たない者は、定期試験を受けられない</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード（文型・表現編）、齊藤匡史、何曉毅、田梅、白帝社、2003 年；販売：文栄堂山大前店 / 参考書：辞書などガイダンス時に指示する。</p> <p>メッセージ ・初回授業で定員を上回る場合、抽選を行うので必ず出席すること。抽選後の履修は認めない。・後期からの履修変更は認めない。後期開設科目に注意して履修すること。・全てのクラス抽選にもれた学生を対象に後日、履修相談をおこなうので掲示に注意すること。なお、シラバスはすべて予定であること。学習状況により調整することがある。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	中国語初級 1 a	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教・経・工	単位	2 単位	曜時間	月曜日 7・8 時限
担当教官	齊藤匡史				
<p>授業概要 20 年来の改革開放政策により社会が激変した中国、WTO 加入により世界に窓を開いた中国、GDP 世界第 6 位の経済大国、「世界の工場」と呼ばれる中国は、21 世紀中葉、世界第 3 位 GDP を有する国になるとみられる中国は、アジアと世界にどのような影響を与えていくのだろうか。中国から発信される情報を受けとめ、膨大なネットワークにアクセスするには中国語の学習が必要である。中国語は発音とアクセントに特徴ある言葉で、入門期には多くの時間をこの習得にかけなければならない。しかし文法は簡潔であり、表現、文型の学習を積み重ねるうちに自然とことばの法則が見えて来る。中国語の学習がアジア社会に目を向ける窓口となることを願う。</p> <p>授業一般目標 中国語の発音とアクセントを正確に修得し、入門期に必要な中国語運用能力を養成する。あわせて中国理解を深める。</p> <p>成績評価方法（総合） 定期試験（中間試験と期末試験）や、小テスト / 授業内レポート、宿題 / 授業外レポート、授業態度や授業への参加度などによる総合評価 出席が 2/3 に満たない者は、定期試験を受けられない</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード（文型・表現編）、齊藤匡史、何曉毅、田梅、白帝社、2003 年；販売：文栄堂山大前店 / 参考書：辞書などガイダンス時に指示する。</p> <p>メッセージ ・初回授業で定員を上回る場合、抽選を行うので必ず出席すること。抽選後の履修は認めない。・後期からの履修変更は認めない。後期開設科目に注意して履修すること。・全てのクラス抽選にもれた学生を対象に後日、履修相談をおこなうので掲示に注意すること。なお、シラバスはすべて予定であること。学習状況により調整することがある。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	中国語初級 1 a	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教・経・工	単位	2 単位	曜時限	月曜日 9・10 時限
担当教官	富平美波				
<p>授業概要 20 年来の改革開放政策により社会が激変した中国、WTO 加入により世界に窓を開いた中国、GDP 世界第 6 位の経済大国、「世界の工場」と呼ばれる中国は、21 世紀中葉、世界第 3 位 GDP を有する国になるとみられる中国は、アジアと世界にどのような影響を与えていくのだろうか。中国から発信される情報を受けとめ、膨大なネットワークにアクセスするには中国語の学習が必要である。中国語は発音とアクセントに特徴ある言葉で、入門期には多くの時間をこの習得にかけなければならない。しかし文法は簡潔であり、表現、文型の学習を積み重ねるうちに自然とことばの法則が見えて来る。中国語の学習がアジア社会に目を向ける窓口となることを願う。</p> <p>授業一般目標 中国語の発音とアクセントを正確に修得し、入門期に必要な中国語運用能力を養成する。あわせて中国理解を深める。</p> <p>成績評価方法（総合） 定期試験（中間試験と期末試験）や、小テスト/授業内レポート、宿題/授業外レポート、授業態度や授業への参加度などによる総合評価 出席が 2/3 に満たない者は、定期試験を受けられない</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード（文型・表現編）、齊藤匡史、何曉毅、田梅、白帝社、2003 年；販売：文栄堂山大前店 / 参考書：辞書などガイダンス時に指示する。</p> <p>メッセージ ・初回授業で定員を上回る場合、抽選を行うので必ず出席すること。抽選後の履修は認めない。・後期からの履修変更は認めない。後期開設科目に注意して履修すること。・全てのクラス抽選にもれた学生を対象に後日、履修相談をおこなうので掲示に注意すること。なお、シラバスはすべて予定であること。学習状況により調整することがある。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	中国語初級 1 a	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教・経・工	単位	2 単位	曜時限	火曜日 5・6 時限
担当教官	富平美波				
<p>授業概要 20 年来の改革開放政策により社会が激変した中国、WTO 加入により世界に窓を開いた中国、GDP 世界第 6 位の経済大国、「世界の工場」と呼ばれる中国は、21 世紀中葉、世界第 3 位 GDP を有する国になるとみられる中国は、アジアと世界にどのような影響を与えていくのだろうか。中国から発信される情報を受けとめ、膨大なネットワークにアクセスするには中国語の学習が必要である。中国語は発音とアクセントに特徴ある言葉で、入門期には多くの時間をこの習得にかけなければならない。しかし文法は簡潔であり、表現、文型の学習を積み重ねるうちに自然とことばの法則が見えて来る。中国語の学習がアジア社会に目を向ける窓口となることを願う。</p> <p>授業一般目標 中国語の発音とアクセントを正確に修得し、入門期に必要な中国語運用能力を養成する。あわせて中国理解を深める。</p> <p>成績評価方法（総合） 定期試験（中間試験と期末試験）や、小テスト/授業内レポート、宿題/授業外レポート、授業態度や授業への参加度などによる総合評価 出席が 2/3 に満たない者は、定期試験を受けられない</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード（文型・表現編）、齊藤匡史、何曉毅、田梅、白帝社、2003 年；販売：文栄堂山大前店 / 参考書：辞書などガイダンス時に指示する。</p> <p>メッセージ ・初回授業で定員を上回る場合、抽選を行うので必ず出席すること。抽選後の履修は認めない。・後期からの履修変更は認めない。後期開設科目に注意して履修すること。・全てのクラス抽選にもれた学生を対象に後日、履修相談をおこなうので掲示に注意すること。なお、シラバスはすべて予定であること。学習状況により調整することがある。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	中国語初級 1 a	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教・経・工	単位	2 単位	曜時限	火曜日 9・10 時限
担当教官	更科慎一				
<p>授業概要 20 年来の改革開放政策により社会が激変した中国、WTO 加入により世界に窓を開いた中国、GDP 世界第 6 位の経済大国、「世界の工場」と呼ばれる中国は、21 世紀中葉、世界第 3 位 GDP を有する国になるとみられる中国は、アジアと世界にどのような影響を与えていくのだろうか。中国から発信される情報を受けとめ、膨大なネットワークにアクセスするには中国語の学習が必要である。中国語は発音とアクセントに特徴ある言葉で、入門期には多くの時間をこの習得にかけなければならない。しかし文法は簡潔であり、表現、文型の学習を積み重ねるうちに自然とことばの法則が見えて来る。中国語の学習がアジア社会に目を向ける窓口となることを願う。</p> <p>授業一般目標 中国語の発音とアクセントを正確に修得し、入門期に必要な中国語運用能力を養成する。あわせて中国理解を深める。</p> <p>成績評価方法（総合） 定期試験（中間試験と期末試験）や、小テスト / 授業内レポート、宿題 / 授業外レポート、授業態度や授業への参加度などによる総合評価 出席が 2/3 に満たない者は、定期試験を受けられない</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード（文型・表現編）、齊藤匡史、何曉毅、田梅、白帝社、2003 年；販売：文栄堂山大前店 / 参考書：辞書などガイダンス時に指示する。</p> <p>メッセージ ・初回授業で定員を上回る場合、抽選を行うので必ず出席すること。抽選後の履修は認めない。・後期からの履修変更は認めない。後期開設科目に注意して履修すること。・全てのクラス抽選にもれた学生を対象に後日、履修相談をおこなうので掲示に注意すること。なお、シラバスはすべて予定であること。学習状況により調整することがある。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	中国語初級 1 a	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教・経・工	単位	2 単位	曜時限	水曜日 5・6 時限
担当教官	一木達彦				
<p>授業概要 20 年来の改革開放政策により社会が激変した中国、WTO 加入により世界に窓を開いた中国、GDP 世界第 6 位の経済大国、「世界の工場」と呼ばれる中国は、21 世紀中葉、世界第 3 位 GDP を有する国になるとみられる中国は、アジアと世界にどのような影響を与えていくのだろうか。中国から発信される情報を受けとめ、膨大なネットワークにアクセスするには中国語の学習が必要である。中国語は発音とアクセントに特徴ある言葉で、入門期には多くの時間をこの習得にかけなければならない。しかし文法は簡潔であり、表現、文型の学習を積み重ねるうちに自然とことばの法則が見えて来る。中国語の学習がアジア社会に目を向ける窓口となることを願う。</p> <p>授業一般目標 中国語の発音とアクセントを正確に修得し、入門期に必要な中国語運用能力を養成する。あわせて中国理解を深める。</p> <p>成績評価方法（総合） 定期試験（中間試験と期末試験）や、小テスト / 授業内レポート、宿題 / 授業外レポート、授業態度や授業への参加度などによる総合評価 出席が 2/3 に満たない者は、定期試験を受けられない</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード（文型・表現編）、齊藤匡史、何曉毅、田梅、白帝社、2003 年；販売：文栄堂山大前店 / 参考書：辞書などガイダンス時に指示する。</p> <p>メッセージ ・初回授業で定員を上回る場合、抽選を行うので必ず出席すること。抽選後の履修は認めない。・後期からの履修変更は認めない。後期開設科目に注意して履修すること。・全てのクラス抽選にもれた学生を対象に後日、履修相談をおこなうので掲示に注意すること。なお、シラバスはすべて予定であること。学習状況により調整することがある。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	中国語初級 1 a	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教・経・工	単位	2 単位	曜時間	水曜日 7・8 時限
担当教官	一木達彦				
<p>授業概要 20 年来の改革開放政策により社会が激変した中国、WTO 加入により世界に窓を開いた中国、GDP 世界第 6 位の経済大国、「世界の工場」と呼ばれる中国は、21 世紀中葉、世界第 3 位 GDP を有する国になるとみられる中国は、アジアと世界にどのような影響を与えていくのだろうか。中国から発信される情報を受けとめ、膨大なネットワークにアクセスするには中国語の学習が必要である。中国語は発音とアクセントに特徴ある言葉で、入門期には多くの時間をこの習得にかけなければならない。しかし文法は簡潔であり、表現、文型の学習を積み重ねるうちに自然とことばの法則が見えて来る。中国語の学習がアジア社会に目を向ける窓口となることを願う。</p> <p>授業一般目標 中国語の発音とアクセントを正確に修得し、入門期に必要な中国語運用能力を養成する。あわせて中国理解を深める。</p> <p>成績評価方法 (総合) 定期試験 (中間試験と期末試験) や、小テスト / 授業内レポート、宿題 / 授業外レポート、授業態度や授業への参加度などによる総合評価 出席が 2/3 に満たない者は、定期試験を受けられない</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード (文型・表現編)、齊藤匡史、何曉毅、田梅、白帝社、2003 年；販売：文栄堂山大前店 / 参考書：辞書などガイダンス時に指示する。</p> <p>メッセージ ・初回授業で定員を上回る場合、抽選を行うので必ず出席すること。抽選後の履修は認めない。・後期からの履修変更は認めない。後期開設科目に注意して履修すること。・全てのクラス抽選にもれた学生を対象に後日、履修相談をおこなうので掲示に注意すること。なお、シラバスはすべて予定であること。学習状況により調整することがある。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	中国語初級 1 a	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教・経・工	単位	2 単位	曜時間	水曜日 7・8 時限
担当教官	永富健史				
<p>授業概要 20 年来の改革開放政策により社会が激変した中国、WTO 加入により世界に窓を開いた中国、GDP 世界第 6 位の経済大国、「世界の工場」と呼ばれる中国は、21 世紀中葉、世界第 3 位 GDP を有する国になるとみられる中国は、アジアと世界にどのような影響を与えていくのだろうか。中国から発信される情報を受けとめ、膨大なネットワークにアクセスするには中国語の学習が必要である。中国語は発音とアクセントに特徴ある言葉で、入門期には多くの時間をこの習得にかけなければならない。しかし文法は簡潔であり、表現、文型の学習を積み重ねるうちに自然とことばの法則が見えて来る。中国語の学習がアジア社会に目を向ける窓口となることを願う。</p> <p>授業一般目標 中国語の発音とアクセントを正確に修得し、入門期に必要な中国語運用能力を養成する。あわせて中国理解を深める。</p> <p>成績評価方法 (総合) 定期試験 (中間試験と期末試験) や、小テスト / 授業内レポート、宿題 / 授業外レポート、授業態度や授業への参加度などによる総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード (文型・表現編)、齊藤匡史、何曉毅、田梅、白帝社、2003 年；販売：文栄堂山大前店 / 参考書：辞書などガイダンス時に指示する。</p> <p>メッセージ ・初回授業で定員を上回る場合、抽選を行うので必ず出席すること。抽選後の履修は認めない。・後期からの履修変更は認めない。後期開設科目に注意して履修すること。・全てのクラス抽選にもれた学生を対象に後日、履修相談をおこなうので掲示に注意すること。なお、シラバスはすべて予定であること。学習状況により調整することがある。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	中国語初級 1 a	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教・経・工	単位	2 単位	曜時限	水曜日 9・10 時限
担当教官	一木達彦				
<p>授業概要 20 年来の改革開放政策により社会が激変した中国、WTO 加入により世界に窓を開いた中国、GDP 世界第 6 位の経済大国、「世界の工場」と呼ばれる中国は、21 世紀中葉、世界第 3 位 GDP を有する国になるとみられる中国は、アジアと世界にどのような影響を与えていくのだろうか。中国から発信される情報を受けとめ、膨大なネットワークにアクセスするには中国語の学習が必要である。中国語は発音とアクセントに特徴ある言葉で、入門期には多くの時間をこの習得にかけなければならない。しかし文法は簡潔であり、表現、文型の学習を積み重ねるうちに自然とことばの法則が見えて来る。中国語の学習がアジア社会に目を向ける窓口となることを願う。</p> <p>授業一般目標 中国語の発音とアクセントを正確に修得し、入門期に必要な中国語運用能力を養成する。あわせて中国理解を深める。</p> <p>成績評価方法 (総合) 定期試験 (中間試験と期末試験) や、小テスト / 授業内レポート、宿題 / 授業外レポート、授業態度や授業への参加度などによる総合評価 出席が 2/3 に満たない者は、定期試験を受けられない</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード (文型・表現編)、齊藤匡史、何曉毅、田梅、白帝社、2003 年；販売：文栄堂山大前店 / 参考書：辞書などガイダンス時に指示する。</p> <p>メッセージ ・初回授業で定員を上回る場合、抽選を行うので必ず出席すること。抽選後の履修は認めない。・後期からの履修変更は認めない。後期開設科目に注意して履修すること。・全てのクラス抽選にもれた学生を対象に後日、履修相談をおこなうので掲示に注意すること。なお、シラバスはすべて予定であること。学習状況により調整することがある。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	中国語初級 1 a	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教・経・工	単位	2 単位	曜時限	木曜日 3・4 時限
担当教官	杉本知栄子				
<p>授業概要 20 年来の改革開放政策により社会が激変した中国、WTO 加入により世界に窓を開いた中国、GDP 世界第 6 位の経済大国、「世界の工場」と呼ばれる中国は、21 世紀中葉、世界第 3 位 GDP を有する国になるとみられる中国は、アジアと世界にどのような影響を与えていくのだろうか。中国から発信される情報を受けとめ、膨大なネットワークにアクセスするには中国語の学習が必要である。中国語は発音とアクセントに特徴ある言葉で、入門期には多くの時間をこの習得にかけなければならない。しかし文法は簡潔であり、表現、文型の学習を積み重ねるうちに自然とことばの法則が見えて来る。中国語の学習がアジア社会に目を向ける窓口となることを願う。</p> <p>授業一般目標 中国語の発音とアクセントを正確に修得し、入門期に必要な中国語運用能力を養成する。あわせて中国理解を深める。</p> <p>成績評価方法 (総合) 定期試験 (中間試験と期末試験) や、小テスト / 授業内レポート、宿題 / 授業外レポート、授業態度や授業への参加度などによる総合評価 出席が 2/3 に満たない者は、定期試験を受けられない</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード (文型・表現編)、齊藤匡史、何曉毅、田梅、白帝社、2003 年；販売：文栄堂山大前店 / 参考書：辞書などガイダンス時に指示する。</p> <p>メッセージ ・初回授業で定員を上回る場合、抽選を行うので必ず出席すること。抽選後の履修は認めない。・後期からの履修変更は認めない。後期開設科目に注意して履修すること。・全てのクラス抽選にもれた学生を対象に後日、履修相談をおこなうので掲示に注意すること。なお、シラバスはすべて予定であること。学習状況により調整することがある。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	中国語初級 1 a	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教・経・工	単位	2 単位	曜時限	木曜日 5・6 時限
担当教官	秋山淳				
<p>授業概要 20 年来の改革開放政策により社会が激変した中国、WTO 加入により世界に窓を開いた中国、GDP 世界第 6 位の経済大国、「世界の工場」と呼ばれる中国は、21 世紀中葉、世界第 3 位 GDP を有する国になるとみられる中国は、アジアと世界にどのような影響を与えていくのだろうか。中国から発信される情報を受けとめ、膨大なネットワークにアクセスするには中国語の学習が必要である。中国語は発音とアクセントに特徴ある言葉で、入門期には多くの時間をこの習得にかけなければならない。しかし文法は簡潔であり、表現、文型の学習を積み重ねるうちに自然とことばの法則が見えて来る。中国語の学習がアジア社会に目を向ける窓口となることを願う。</p> <p>授業一般目標 中国語の発音とアクセントを正確に修得し、入門期に必要な中国語運用能力を養成する。あわせて中国理解を深める。</p> <p>成績評価方法 (総合) 定期試験 (中間試験と期末試験) や、小テスト / 授業内レポート、宿題 / 授業外レポート、授業態度や授業への参加度などによる総合評価 出席が 2/3 に満たない者は、定期試験を受けられない</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード (文型・表現編)、齊藤匡史、何曉毅、田梅、白帝社、2003 年；販売：文栄堂山大前店 / 参考書：辞書などガイダンス時に指示する。</p> <p>メッセージ ・初回授業で定員を上回る場合、抽選を行うので必ず出席すること。抽選後の履修は認めない。・後期からの履修変更は認めない。後期開設科目に注意して履修すること。・全てのクラス抽選にもれた学生を対象に後日、履修相談をおこなうので掲示に注意すること。なお、シラバスはすべて予定であること。学習状況により調整することがある。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	中国語初級 1 a	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教・経・工	単位	2 単位	曜時限	木曜日 5・6 時限
担当教官	根ヶ山徹				
<p>授業概要 現代中国語の発音、基本的な文系や文法を習得するための授業。</p> <p>授業一般目標 中国語 1a・2a・1b・2b と合わせて履修することにより、入門期に必要な中国語の理解・運用能力を養成する。また、中国語との出会いと交流を通じて、異文化を受け入れるこころを養い、国際社会への責任感を培う。</p> <p>成績評価方法 (総合) 定期試験の成績を 100 % として成績評価を行う。出席は欠格条件。</p> <p>教科書・参考書 教科書：北京の風 (改訂版)、木村英樹・小野秀樹・陳蓉、白帝社、2002 年</p> <p>メッセージ 「中国語は同じ漢字表記なので楽だ」と考えがちであるが、それなりの努力をしなければ習熟することは難しいので、真剣に取り組んで欲しい。なお、上記の授業計画は予定であり、進度ならびに授業日程により、変更されることがある。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	中国語初級 1 a	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教・経・工	単位	2 単位	曜時間	木曜日 5・6 時限
担当教官	杉本知栄子				
<p>授業概要 20 年来の改革開放政策により社会が激変した中国、WTO 加入により世界に窓を開いた中国、GDP 世界第 6 位の経済大国、「世界の工場」と呼ばれる中国は、21 世紀中葉、世界第 3 位 GDP を有する国になるとみられる中国は、アジアと世界にどのような影響を与えていくのだろうか。中国から発信される情報を受けとめ、膨大なネットワークにアクセスするには中国語の学習が必要である。中国語は発音とアクセントに特徴ある言葉で、入門期には多くの時間をこの習得にかけなければならない。しかし文法は簡潔であり、表現、文型の学習を積み重ねるうちに自然とことばの法則が見えて来る。中国語の学習がアジア社会に目を向ける窓口となることを願う。</p> <p>授業一般目標 中国語の発音とアクセントを正確に修得し、入門期に必要な中国語運用能力を養成する。あわせて中国理解を深める。</p> <p>成績評価方法（総合） 定期試験（中間試験と期末試験）や、小テスト/授業内レポート、宿題/授業外レポート、授業態度や授業への参加度などによる総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード（文型・表現編）、齊藤匡史、何曉毅、田梅、白帝社、2003 年；販売：文栄堂山大前店 / 参考書：辞書などガイダンス時に指示する。</p> <p>メッセージ ・初回授業で定員を上回る場合、抽選を行うので必ず出席すること。抽選後の履修は認めない。・後期からの履修変更は認めない。後期開設科目に注意して履修すること。・全てのクラス抽選にもれた学生を対象に後日、履修相談をおこなうので掲示に注意すること。なお、シラバスはすべて予定であること。学習状況により調整することがある。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	中国語初級 1 a	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教・経・工	単位	2 単位	曜時間	木曜日 7・8 時限
担当教官	秋山淳				
<p>授業概要 20 年来の改革開放政策により社会が激変した中国、WTO 加入により世界に窓を開いた中国、GDP 世界第 6 位の経済大国、「世界の工場」と呼ばれる中国は、21 世紀中葉、世界第 3 位 GDP を有する国になるとみられる中国は、アジアと世界にどのような影響を与えていくのだろうか。中国から発信される情報を受けとめ、膨大なネットワークにアクセスするには中国語の学習が必要である。中国語は発音とアクセントに特徴ある言葉で、入門期には多くの時間をこの習得にかけなければならない。しかし文法は簡潔であり、表現、文型の学習を積み重ねるうちに自然とことばの法則が見えて来る。中国語の学習がアジア社会に目を向ける窓口となることを願う。</p> <p>授業一般目標 中国語の発音とアクセントを正確に修得し、入門期に必要な中国語運用能力を養成する。あわせて中国理解を深める。</p> <p>成績評価方法（総合） 定期試験（中間試験と期末試験）や、小テスト/授業内レポート、宿題/授業外レポート、授業態度や授業への参加度などによる総合評価 出席が 2/3 に満たない者は、定期試験を受けられない</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード（文型・表現編）、齊藤匡史、何曉毅、田梅、白帝社、2003 年；販売：文栄堂山大前店 / 参考書：辞書などガイダンス時に指示する。</p> <p>メッセージ ・初回授業で定員を上回る場合、抽選を行うので必ず出席すること。抽選後の履修は認めない。・後期からの履修変更は認めない。後期開設科目に注意して履修すること。・全てのクラス抽選にもれた学生を対象に後日、履修相談をおこなうので掲示に注意すること。なお、シラバスはすべて予定であること。学習状況により調整することがある。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	中国語初級 1 a	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教・経・工	単位	2 単位	曜時間	木曜日 7・8 時限
担当教官	更科慎一				
<p>授業概要 20 年来の改革開放政策により社会が激変した中国、WTO 加入により世界に窓を開いた中国、GDP 世界第 6 位の経済大国、「世界の工場」と呼ばれる中国は、21 世紀中葉、世界第 3 位 GDP を有する国になるとみられる中国は、アジアと世界にどのような影響を与えていくのだろうか。中国から発信される情報を受けとめ、膨大なネットワークにアクセスするには中国語の学習が必要である。中国語は発音とアクセントに特徴ある言葉で、入門期には多くの時間をこの習得にかけなければならない。しかし文法は簡潔であり、表現、文型の学習を積み重ねるうちに自然とことばの法則が見えて来る。中国語の学習がアジア社会に目を向ける窓口となることを願う。</p> <p>授業一般目標 中国語の発音とアクセントを正確に修得し、入門期に必要な中国語運用能力を養成する。あわせて中国理解を深める。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験(中間試験と期末試験)や、小テスト/授業内レポート、宿題/授業外レポート、授業態度や授業への参加度などによる総合評価 出席が 2/3 に満たない者は、定期試験を受けられない</p> <p>教科書・参考書 教科書: 中国語スタンダード(文型・表現編), 齊藤匡史、何曉毅、田梅, 白帝社, 2003 年; 販売: 文栄堂山大前店 / 参考書: 辞書などガイダンス時に指示する。</p> <p>メッセージ ・初回授業で定員を上回る場合、抽選を行うので必ず出席すること。抽選後の履修は認めない。・後期からの履修変更は認めない。後期開設科目に注意して履修すること。・全てのクラス抽選にもれた学生を対象に後日、履修相談をおこなうので掲示に注意すること。なお、シラバスはすべて予定であること。学習状況により調整することがある。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	中国語初級 1 a	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教・経・工	単位	2 単位	曜時間	金曜日 7・8 時限
担当教官	苞山武義				
<p>授業概要 20 年来の改革開放政策により社会が激変した中国、WTO 加入により世界に窓を開いた中国、GDP 世界第 6 位の経済大国、「世界の工場」と呼ばれる中国は、21 世紀中葉、世界第 3 位 GDP を有する国になるとみられる中国は、アジアと世界にどのような影響を与えていくのだろうか。中国から発信される情報を受けとめ、膨大なネットワークにアクセスするには中国語の学習が必要である。中国語は発音とアクセントに特徴ある言葉で、入門期には多くの時間をこの習得にかけなければならない。しかし文法は簡潔であり、表現、文型の学習を積み重ねるうちに自然とことばの法則が見えて来る。中国語の学習がアジア社会に目を向ける窓口となることを願う。</p> <p>授業一般目標 中国語の発音とアクセントを正確に修得し、入門期に必要な中国語運用能力を養成する。あわせて中国理解を深める。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験(中間試験と期末試験)や、小テスト/授業内レポート、宿題/授業外レポート、授業態度や授業への参加度などによる総合評価 出席が 2/3 に満たない者は、定期試験を受けられない</p> <p>教科書・参考書 教科書: 中国語スタンダード(文型・表現編), 齊藤匡史、何曉毅、田梅, 白帝社, 2003 年; 販売: 文栄堂山大前店 / 参考書: 辞書などガイダンス時に指示する。</p> <p>メッセージ ・初回授業で定員を上回る場合、抽選を行うので必ず出席すること。抽選後の履修は認めない。・後期からの履修変更は認めない。後期開設科目に注意して履修すること。・全てのクラス抽選にもれた学生を対象に後日、履修相談をおこなうので掲示に注意すること。なお、シラバスはすべて予定であること。学習状況により調整することがある。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	中国語初級 1 b	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教・経・工	単位	2 単位	曜時間	月曜日 3・4 時限
担当教官	呉 靱				
<p>授業概要 この授業は「中国語初級 1a, 2a」とあわせて受講するものである。「b」科目は、中国人教官の指導による授業である。この授業ではより多く中国語による指導が行われる。</p> <p>授業一般目標 発音練習と表現学習を積み重ね、中国語の発音、アクセント、基本的な表現を習得し、簡単な日常会話が可能程度の中国語コミュニケーション能力の養成を目指す。また中国事情や中国文化の紹介を通じ、発展著しい中国の現状を認識、理解してもらいたい</p> <p>成績評価方法 (総合) 出席や、期末試験、授業の参加度、小テストなどによる総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(コミュニケーション編), 何曉毅 ほか, 白帝社, 2005 年; 販売：文栄堂山大前店 / 参考書：辞書を用意すること。辞書は授業中に紹介する。</p> <p>メッセージ 毎回出席すること。声を出して発声すること。授業外の復習予習は大事。繰り返し練習は上達の秘訣。・初回授業で定員を上回る場合、抽選を行うので必ず出席すること。抽選後の履修は認めない。・後期からの履修変更は認めない。後期開設科目に注意して履修すること。・全てのクラス抽選にもれた学生を対象に後日、履修相談をおこなうので掲示に注意すること。なお、シラバスはすべて予定であること。学習状況により調整することがある。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	中国語初級 1 b	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教・経・工	単位	2 単位	曜時間	月曜日 5・6 時限
担当教官	呉 靱				
<p>授業概要 この授業は「中国語初級 1a, 2a」とあわせて受講するものである。「b」科目は、中国人教官の指導による授業である。この授業ではより多く中国語による指導が行われる。</p> <p>授業一般目標 発音練習と表現学習を積み重ね、中国語の発音、アクセント、基本的な表現を習得し、簡単な日常会話が可能程度の中国語コミュニケーション能力の養成を目指す。また中国事情や中国文化の紹介を通じ、発展著しい中国の現状を認識、理解してもらいたい</p> <p>成績評価方法 (総合) 出席や、期末試験、授業の参加度、小テストなどによる総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(コミュニケーション編), 何曉毅 ほか, 白帝社, 2005 年; 販売：文栄堂山大前店 / 参考書：辞書を用意すること。辞書は授業中に紹介する。</p> <p>メッセージ 毎回出席すること。声を出して発声すること。授業外の復習予習は大事。繰り返し練習は上達の秘訣。・初回授業で定員を上回る場合、抽選を行うので必ず出席すること。抽選後の履修は認めない。・後期からの履修変更は認めない。後期開設科目に注意して履修すること。・全てのクラス抽選にもれた学生を対象に後日、履修相談をおこなうので掲示に注意すること。なお、シラバスはすべて予定であること。学習状況により調整することがある。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	中国語初級 1 b	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教・経・工	単位	2 単位	曜時間	月曜日 5・6 時限
担当教官	李海英				
<p>授業概要 この授業は「中国語初級 1a, 2a」とあわせて受講するものである。「b」科目は、中国人教官の指導による授業である。この授業ではより多く中国語による指導が行われる。</p> <p>授業一般目標 発音練習と表現学習を積み重ね、中国語の発音、アクセント、基本的な表現を習得し、簡単な日常会話が可能な程度の中国語コミュニケーション能力の養成を目指す。また中国事情や中国文化の紹介を通じ、発展著しい中国の現状を認識、理解してもらいたい</p> <p>成績評価方法 (総合) 出席や、期末試験、授業の参加度、小テストなどによる総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(コミュニケーション編), 何曉毅 ほか, 白帝社, 2005 年; 販売：文栄堂山大前店 / 参考書：辞書を用意すること。辞書は授業中に紹介する。</p> <p>メッセージ 毎回出席すること。声を出して発声すること。授業外の復習予習は大事。繰り返し練習は上達の秘訣。・初回授業で定員を上回る場合、抽選を行うので必ず出席すること。抽選後の履修は認めない。・後期からの履修変更は認めない。後期開設科目に注意して履修すること。・全てのクラス抽選にもれた学生を対象に後日、履修相談をおこなうので掲示に注意すること。なお、シラバスはすべて予定であること。学習状況により調整することがある。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	中国語初級 1 b	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教・経・工	単位	2 単位	曜時間	月曜日 7・8 時限
担当教官	呉勅				
<p>授業概要 この授業は「中国語初級 1a, 2a」とあわせて受講するものである。「b」科目は、中国人教官の指導による授業である。この授業ではより多く中国語による指導が行われる。</p> <p>授業一般目標 発音練習と表現学習を積み重ね、中国語の発音、アクセント、基本的な表現を習得し、簡単な日常会話が可能な程度の中国語コミュニケーション能力の養成を目指す。また中国事情や中国文化の紹介を通じ、発展著しい中国の現状を認識、理解してもらいたい</p> <p>成績評価方法 (総合) 出席や、期末試験、授業の参加度、小テストなどによる総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(コミュニケーション編), 何曉毅 ほか, 白帝社, 2005 年; 販売：文栄堂山大前店 / 参考書：辞書を用意すること。辞書は授業中に紹介する。</p> <p>メッセージ 毎回出席すること。声を出して発声すること。授業外の復習予習は大事。繰り返し練習は上達の秘訣。・初回授業で定員を上回る場合、抽選を行うので必ず出席すること。抽選後の履修は認めない。・後期からの履修変更は認めない。後期開設科目に注意して履修すること。・全てのクラス抽選にもれた学生を対象に後日、履修相談をおこなうので掲示に注意すること。なお、シラバスはすべて予定であること。学習状況により調整することがある。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	中国語初級 1 b	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教・経・工	単位	2 単位	曜時間	火曜日 7・8 時限
担当教官	何暎毅				
<p>授業概要 この授業は「中国語初級 1a, 2a」とあわせて受講するものである。「b」科目は、中国人教官の指導による授業である。この授業ではより多く中国語による指導が行われる。</p> <p>授業一般目標 発音練習と表現学習を積み重ね、中国語の発音、アクセント、基本的な表現を習得し、簡単な日常会話が可能な程度の中国語コミュニケーション能力の養成を目指す。また中国事情や中国文化の紹介を通じ、発展著しい中国の現状を認識、理解してもらいたい</p> <p>成績評価方法 (総合) 出席や、期末試験、授業の参加度、小テストなどによる総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(コミュニケーション編), 何暎毅 ほか, 白帝社, 2005 年; 販売：文栄堂山大前店 / 参考書：辞書を用意すること。辞書は授業中に紹介する。</p> <p>メッセージ 毎回出席すること。声を出して発声すること。授業外の復習予習は大事。繰り返し練習は上達の秘訣。・初回授業で定員を上回る場合、抽選を行うので必ず出席すること。抽選後の履修は認めない。・後期からの履修変更は認めない。後期開設科目に注意して履修すること。・全てのクラス抽選にもれた学生を対象に後日、履修相談をおこなうので掲示に注意すること。なお、シラバスはすべて予定であること。学習状況により調整することがある。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	中国語初級 1 b	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教・経・工	単位	2 単位	曜時間	水曜日 3・4 時限
担当教官	張玲				
<p>授業概要 この授業は「中国語初級 1a, 2a」とあわせて受講するものである。「b」科目は、中国人教官の指導による授業である。この授業ではより多く中国語による指導が行われる。</p> <p>授業一般目標 発音練習と表現学習を積み重ね、中国語の発音、アクセント、基本的な表現を習得し、簡単な日常会話が可能な程度の中国語コミュニケーション能力の養成を目指す。また中国事情や中国文化の紹介を通じ、発展著しい中国の現状を認識、理解してもらいたい</p> <p>成績評価方法 (総合) 出席や、期末試験、授業の参加度、小テストなどによる総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(コミュニケーション編), 何暎毅 ほか, 白帝社, 2005 年; 販売：文栄堂山大前店 / 参考書：辞書を用意すること。辞書は授業中に紹介する。</p> <p>メッセージ 毎回出席すること。声を出して発声すること。授業外の復習予習は大事。繰り返し練習は上達の秘訣。・初回授業で定員を上回る場合、抽選を行うので必ず出席すること。抽選後の履修は認めない。・後期からの履修変更は認めない。後期開設科目に注意して履修すること。・全てのクラス抽選にもれた学生を対象に後日、履修相談をおこなうので掲示に注意すること。なお、シラバスはすべて予定であること。学習状況により調整することがある。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	中国語初級 1 b	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教・経・工	単位	2 単位	曜時間	水曜日 5・6 時限
担当教官	張玲				
<p>授業概要 この授業は「中国語初級 1a, 2a」とあわせて受講するものである。「b」科目は、中国人教官の指導による授業である。この授業ではより多く中国語による指導が行われる。</p> <p>授業一般目標 発音練習と表現学習を積み重ね、中国語の発音、アクセント、基本的な表現を習得し、簡単な日常会話が可能な程度の中国語コミュニケーション能力の養成を目指す。また中国事情や中国文化の紹介を通じ、発展著しい中国の現状を認識、理解してもらいたい</p> <p>成績評価方法 (総合) 出席や、期末試験、授業の参加度、小テストなどによる総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(コミュニケーション編), 何曉毅 ほか, 白帝社, 2005 年; 販売：文栄堂山大前店 / 参考書：辞書を用意すること。辞書は授業中に紹介する。</p> <p>メッセージ 毎回出席すること。声を出して発声すること。授業外の復習予習は大事。繰り返し練習は上達の秘訣。・初回授業で定員を上回る場合、抽選を行うので必ず出席すること。抽選後の履修は認めない。・後期からの履修変更は認めない。後期開設科目に注意して履修すること。・全てのクラス抽選にもれた学生を対象に後日、履修相談をおこなうので掲示に注意すること。なお、シラバスはすべて予定であること。学習状況により調整することがある。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	中国語初級 1 b	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教・経・工	単位	2 単位	曜時間	水曜日 5・6 時限
担当教官	李海英				
<p>授業概要 この授業は「中国語初級 1a, 2a」とあわせて受講するものである。「b」科目は、中国人教官の指導による授業である。この授業ではより多く中国語による指導が行われる。</p> <p>授業一般目標 発音練習と表現学習を積み重ね、中国語の発音、アクセント、基本的な表現を習得し、簡単な日常会話が可能な程度の中国語コミュニケーション能力の養成を目指す。また中国事情や中国文化の紹介を通じ、発展著しい中国の現状を認識、理解してもらいたい</p> <p>成績評価方法 (総合) 出席や、期末試験、授業の参加度、小テストなどによる総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(コミュニケーション編), 何曉毅 ほか, 白帝社, 2005 年; 販売：文栄堂山大前店 / 参考書：辞書を用意すること。辞書は授業中に紹介する。</p> <p>メッセージ 毎回出席すること。声を出して発声すること。授業外の復習予習は大事。繰り返し練習は上達の秘訣。・初回授業で定員を上回る場合、抽選を行うので必ず出席すること。抽選後の履修は認めない。・後期からの履修変更は認めない。後期開設科目に注意して履修すること。・全てのクラス抽選にもれた学生を対象に後日、履修相談をおこなうので掲示に注意すること。なお、シラバスはすべて予定であること。学習状況により調整することがある。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	中国語初級 1 b	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教・経・工	単位	2 単位	曜時間	水曜日 7・8 時限
担当教官	呉菲				
<p>授業概要 この授業は「中国語初級 1a, 2a」とあわせて受講するものである。「b」科目は、中国人教官の指導による授業である。この授業ではより多く中国語による指導が行われる。</p> <p>授業一般目標 発音練習と表現学習を積み重ね、中国語の発音、アクセント、基本的な表現を習得し、簡単な日常会話が可能程度の中国語コミュニケーション能力の養成を目指す。また中国事情や中国文化の紹介を通じ、発展著しい中国の現状を認識、理解してもらいたい</p> <p>成績評価方法 (総合) 出席や、期末試験、授業の参加度、小テストなどによる総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(コミュニケーション編), 何曉毅 ほか, 白帝社, 2005 年; 販売：文栄堂山大前店 / 参考書：辞書を用意すること。辞書は授業中に紹介する。</p> <p>メッセージ 毎回出席すること。声を出して発声すること。授業外の復習予習は大事。繰り返し練習は上達の秘訣。・初回授業で定員を上回る場合、抽選を行うので必ず出席すること。抽選後の履修は認めない。・後期からの履修変更は認めない。後期開設科目に注意して履修すること。・全てのクラス抽選にもれた学生を対象に後日、履修相談をおこなうので掲示に注意すること。なお、シラバスはすべて予定であること。学習状況により調整することがある。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	中国語初級 1 b	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教・経・工	単位	2 単位	曜時間	水曜日 7・8 時限
担当教官	田梅				
<p>授業概要 この授業は「中国語初級 1a, 2a」とあわせて受講するものである。「b」科目は、中国人教官の指導による授業である。この授業ではより多く中国語による指導が行われる。</p> <p>授業一般目標 発音練習と表現学習を積み重ね、中国語の発音、アクセント、基本的な表現を習得し、簡単な日常会話が可能程度の中国語コミュニケーション能力の養成を目指す。また中国事情や中国文化の紹介を通じ、発展著しい中国の現状を認識、理解してもらいたい</p> <p>成績評価方法 (総合) 出席や、期末試験、授業の参加度、小テストなどによる総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(コミュニケーション編), 何曉毅 ほか, 白帝社, 2005 年; 販売：文栄堂山大前店 / 参考書：辞書を用意すること。辞書は授業中に紹介する。</p> <p>メッセージ 毎回出席すること。声を出して発声すること。授業外の復習予習は大事。繰り返し練習は上達の秘訣。・初回授業で定員を上回る場合、抽選を行うので必ず出席すること。抽選後の履修は認めない。・後期からの履修変更は認めない。後期開設科目に注意して履修すること。・全てのクラス抽選にもれた学生を対象に後日、履修相談をおこなうので掲示に注意すること。なお、シラバスはすべて予定であること。学習状況により調整することがある。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	中国語初級 1 b	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教・経・工	単位	2 単位	曜時限	水曜日 9・10 時限
担当教官	田梅				
<p>授業概要 この授業は「中国語初級 1a, 2a」とあわせて受講するものである。「b」科目は、中国人教官の指導による授業である。この授業ではより多く中国語による指導が行われる。</p> <p>授業一般目標 発音練習と表現学習を積み重ね、中国語の発音、アクセント、基本的な表現を習得し、簡単な日常会話が可能な程度の中国語コミュニケーション能力の養成を目指す。また中国事情や中国文化の紹介を通じ、発展著しい中国の現状を認識、理解してもらいたい</p> <p>成績評価方法 (総合) 出席や、期末試験、授業の参加度、小テストなどによる総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(コミュニケーション編), 何曉毅 ほか, 白帝社, 2005 年; 販売: 文栄堂山大前店 / 参考書：辞書を用意すること。辞書は授業中に紹介する。</p> <p>メッセージ 毎回出席すること。声を出して発声すること。授業外の復習予習は大事。繰り返し練習は上達の秘訣。・初回授業で定員を上回る場合、抽選を行うので必ず出席すること。抽選後の履修は認めない。・後期からの履修変更は認めない。後期開設科目に注意して履修すること。・全てのクラス抽選にもれた学生を対象に後日、履修相談をおこなうので掲示に注意すること。なお、シラバスはすべて予定であること。学習状況により調整することがある。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	中国語初級 1 b	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教・経・工	単位	2 単位	曜時限	木曜日 3・4 時限
担当教官	梁蕾				
<p>授業概要 この授業は「中国語初級 1a, 2a」とあわせて受講するものである。「b」科目は、中国人教官の指導による授業である。この授業ではより多く中国語による指導が行われる。</p> <p>授業一般目標 発音練習と表現学習を積み重ね、中国語の発音、アクセント、基本的な表現を習得し、簡単な日常会話が可能な程度の中国語コミュニケーション能力の養成を目指す。また中国事情や中国文化の紹介を通じ、発展著しい中国の現状を認識、理解してもらいたい</p> <p>成績評価方法 (総合) 出席や、期末試験、授業の参加度、小テストなどによる総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(コミュニケーション編), 何曉毅 ほか, 白帝社, 2005 年 / 参考書：辞書を用意すること。辞書は授業中に紹介する。</p> <p>メッセージ 毎回出席すること。声を出して発声すること。授業外の復習予習は大事。繰り返し練習は上達の秘訣。・初回授業で定員を上回る場合、抽選を行うので必ず出席すること。抽選後の履修は認めない。・後期からの履修変更は認めない。後期開設科目に注意して履修すること。・全てのクラス抽選にもれた学生を対象に後日、履修相談をおこなうので掲示に注意すること。なお、シラバスはすべて予定であること。学習状況により調整することがある。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	中国語初級 1 b	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教・経・工	単位	2 単位	曜時間	木曜日 5・6 時限
担当教官	梁蕾				
<p>授業概要 この授業は「中国語初級 1a, 2a」とあわせて受講するものである。「b」科目は、中国人教官の指導による授業である。この授業ではより多く中国語による指導が行われる。</p> <p>授業一般目標 発音練習と表現学習を積み重ね、中国語の発音、アクセント、基本的な表現を習得し、簡単な日常会話が可能な程度の中国語コミュニケーション能力の養成を目指す。また中国事情や中国文化の紹介を通じ、発展著しい中国の現状を認識、理解してもらいたい</p> <p>成績評価方法 (総合) 出席や、期末試験、授業の参加度、小テストなどによる総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(コミュニケーション編), 何曉毅 ほか, 白帝社, 2005 年; 販売：文栄堂山大前店 / 参考書：辞書を用意すること。辞書は授業中に紹介する。</p> <p>メッセージ 毎回出席すること。声を出して発声すること。授業外の復習予習は大事。繰り返し練習は上達の秘訣。・初回授業で定員を上回る場合、抽選を行うので必ず出席すること。抽選後の履修は認めない。・後期からの履修変更は認めない。後期開設科目に注意して履修すること。・全てのクラス抽選にもれた学生を対象に後日、履修相談をおこなうので掲示に注意すること。なお、シラバスはすべて予定であること。学習状況により調整することがある。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	中国語初級 1 b	区分	講義	開設期	前期
対象学生	医・工 2 年	単位	2 単位	曜時間	木曜日 7・8 時限
担当教官	李海英				
<p>授業概要 この授業は「中国語初級 1a, 2a」とあわせて受講するものである。「b」科目は、中国人教官の指導による授業である。この授業ではより多く中国語による指導が行われる。</p> <p>授業一般目標 発音練習と表現学習を積み重ね、中国語の発音、アクセント、基本的な表現を習得し、簡単な日常会話が可能な程度の中国語コミュニケーション能力の養成を目指す。また中国事情や中国文化の紹介を通じ、発展著しい中国の現状を認識、理解してもらいたい</p> <p>成績評価方法 (総合) 出席や、期末試験、授業の参加度、小テストなどによる総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(コミュニケーション編), 何曉毅 ほか, 白帝社, 2005 年; 販売：文栄堂山大前店 / 参考書：辞書を用意すること。辞書は授業中に紹介する。</p> <p>メッセージ 毎回出席すること。声を出して発声すること。授業外の復習予習は大事。繰り返し練習は上達の秘訣。・初回授業で定員を上回る場合、抽選を行うので必ず出席すること。抽選後の履修は認めない。・後期からの履修変更は認めない。後期開設科目に注意して履修すること。・全てのクラス抽選にもれた学生を対象に後日、履修相談をおこなうので掲示に注意すること。なお、シラバスはすべて予定であること。学習状況により調整することがある。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	中国語初級 1 b	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教・経・工	単位	2 単位	曜時限	金曜日 7・8 時限
担当教官	張玲				
<p>授業概要 この授業は「中国語初級 1a, 2a」とあわせて受講するものである。「b」科目は、中国人教官の指導による授業である。この授業ではより多く中国語による指導が行われる。</p> <p>授業一般目標 発音練習と表現学習を積み重ね、中国語の発音、アクセント、基本的な表現を習得し、簡単な日常会話が可能な程度の中国語コミュニケーション能力の養成を目指す。また中国事情や中国文化の紹介を通じ、発展著しい中国の現状を認識、理解してもらいたい</p> <p>成績評価方法 (総合) 出席や、期末試験、授業の参加度、小テストなどによる総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(コミュニケーション編), 何曉毅 ほか, 白帝社, 2005 年; 販売: 文栄堂山大前店 / 参考書: 辞書を用意すること。辞書は授業中に紹介する。</p> <p>メッセージ 毎回出席すること。声を出して発声すること。授業外の復習予習は大事。繰り返し練習は上達の秘訣。・初回授業で定員を上回る場合、抽選を行うので必ず出席すること。抽選後の履修は認めない。・後期からの履修変更は認めない。後期開設科目に注意して履修すること。・全てのクラス抽選にもれた学生を対象に後日、履修相談をおこなうので掲示に注意すること。なお、シラバスはすべて予定であること。学習状況により調整することがある。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	中国語初級会話 1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教	単位	2 単位	曜時限	水曜日 7・8 時限
担当教官	宇 芳				
<p>授業概要 本授業では 中国語の発音とアクセント、基本的な文型パターンを勉強して、簡単な日常会話できるのを図る。</p> <p>授業一般目標 本授業は発音、基礎的な文型及び基本文法の習得を目指す。やさしい挨拶言葉から日常における様々な会話の場面を通して、中国語による話す、聞く能力を養成できるようになることを目標とする。</p> <p>成績評価方法 (総合) 定期試験:70 % 小テスト / 授業内レポート:20 % 授業態度や授業への参加度:10 % 出席は 2 / 3 に満たない者は、定期試験を受けられない</p> <p>教科書・参考書 教科書: 1年生のコミュニケーション中国語, 塚本 慶一 監修 劉 穎 著, 白水社, 2006 年; 販売: 文栄堂山大前店</p>					

開設科目	中国語中級 1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教 2 年	単位	2 単位	曜時限	水曜日 3・4 時限
担当教官	一木達彦				
<p>授業概要 中級レベルの中国語を学習する。</p> <p>授業一般目標 中級レベルの中国語を総合的な習得を目指す。</p> <p>成績評価方法 (総合) 定期試験の成績を 80%、小テストの成績を 20%として成績評価を行う。小テストによる評価は、教員の裁量により、宿題や授業への参加度(与えられた課題に対する解答など)による評価によって替えることができる。出席は欠格事項とする</p> <p>教科書・参考書 教科書: 場面別・機能別 実用中国語会話, 呉川・文光茹, 郁文堂 / 参考書: 中日辞典</p> <p>メッセージ この授業を受講するためには、中日辞典を準備する必要があります。</p> <p>教官連絡先 yimu@yahoo.co.jp</p>					

開設科目	中国語中級会話 1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教 2 年	単位	2 単位	曜時限	水曜日 1・2 時限
担当教官	張玲				
<p>授業概要 異文化間のコミュニケーションの手段として中国語を学ぶ。中級会話の完成を目指す。実際に中国で日常に用いられる会話を自然な速度で話せるようになるまで指導する。併せて中国文化、中国事情の紹介に努める。</p> <p>授業一般目標 主に話す能力と聞く能力をマスターさせる。</p> <p>成績評価方法 (総合) 定期試験及び小テスト、受講態度により総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書: 新版 中国語さらなる一歩, 尹景春など, 白水社, 2002 年; 販売: 文栄堂山大前店</p> <p>メッセージ 予習復習が必要です。単語と文型を覚え、そして繰り返し練習してください。</p> <p>教官連絡先 zhangling414@ybb.ne.jp</p>					

開設科目	中国語閲読 1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教2年	単位	2 単位	曜時限	月曜日 9・10 時限
担当教官	高木智見				
<p>授業概要 20世紀の中国を代表する古代文明研究者、李学勤氏、李零氏、呂思勉氏などの著作から、受講生と相談してテキストを決める。いずれも、極めて明確な現代中国語の書き手であるが、中には様々な原史料が引用されており、この授業を受けることにより、現代中国語は言うまでもなく、中国の考古学、歴史学、思想、文学、要するに古代文明に関する全体的な知識を身につけることができる。</p> <p>授業一般目標 一年間の中国語学習を前提にして、より高度な文章を、正確にかつ迅速に読むことが出来るようになるのが、第一の目標である。それに加えて、中国古代文化、さらには中国 そのものについての総合的な知識を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) 日常的な受講態度、分担したときの出来具合、授業外レポートの出来具合などを総合的に判定する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：プリントを配布します。/ 参考書：授業の中でお知らせします。</p> <p>メッセージ 中国に関する興味を持ち、ちょっと専門的なものをのぞいてみたいという人を歓迎します。重要なことは、現在の能力ではなく、中国語、中国文化を理解したいという意欲だけです。</p> <p>教官連絡先 人文学部五階510研究室 火曜日十五時から十六時</p>					

開設科目	海外語学研修 (中国語)	区分	講義	開設期	前期
対象学生		単位	4 単位	曜時限	
担当教官	齊藤匡史				
<p>授業概要 本授業は本年度夏期に実施予定の3~4週間の山東大学における中国語語学研修とその事前研修(「留学中国語」科目、前期第2機澄爾之 履 1回で全7回を予定)からなる。語学研修の説明会、事前研修については別途通知するので、掲示に注意すること。単位取得には、事前研修への出席が必要である。また中国での研修参加者のうち成績優秀者には費用の一部を充当する奨励金が予定されており、この希望者も事前研修への出席が不可欠である。このプログラムの山東大学での研修には参加しない学生で事前研修(留学中国語)のみを受講する者も歓迎する。</p> <p>授業一般目標 事前研修 - 中国語研修に最低限必要な会話を習得し、留学に関連する必要事項を学ぶ。語学研修 - 入門期の発音、初級程度の中国語の習得を目指す。あわせて現地での文化講座、見学、交流などを通じて、中国理解を深める。</p> <p>成績評価方法 (総合) 事前研修の出席、山東大学における研修状況と試験の成績をもとに評価する。</p> <p>備考 集中授業</p>					

系列 外国語教育

分野 ハングル

科目類型 総説

開設科目	ハングル初級1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教・経・工	単位	4 単位	曜時限	火曜日 1・2 時限 金曜日 1・2 時限
担当教官	和田学				
<p>授業概要 この授業では、韓国語/朝鮮語の文字、発音、初歩的な文法、及び語彙を学ぶ。この言語は、語順をはじめとして、様々な点において日本語と類似した点が多い。しかし、文字や発音は大きく違い、それらを習得する初歩の段階ではかなり難しい言語と言える。週2回の授業なので、ペースは速く、また、毎回宿題を出すので、まじめな態度でのぞまなければついてくるのが難しいであろう。</p> <p>授業一般目標 前期の目標は、文字と発音を習得するのに加え、簡単な自己紹介ができるまでのレベルを目標とする。</p> <p>成績評価方法(総合) (1) 定期試験と(2) 不定期の小テストで評価します。(3) 出席、宿題の提出が所定の回数に 満たないものには単位を与えません。</p> <p>教科書・参考書 教科書：「聞いて覚える初級朝鮮語」, 河村光雅・田星姫, 白水社, 2002 年</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 外国語教育

分野 ハングル

科目類型 総説

開設科目	ハングル初級1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教・経・工	単位	4 単位	曜時限	水曜日 3・4 時限 木曜日 1・2 時限
担当教官	山田 寛人				
<p>授業概要 この授業では、韓国語/朝鮮語の文字、発音、初歩的な文法、及び語彙を学ぶ。この言語は、語順をはじめとして、様々な点において日本語と類似した点が多い。しかし、文字や発音は大きく違い、それらを習得する初歩の段階ではかなり難しい言語と言える。週2回の授業なので、ペースは速く、また、毎回宿題を出すので、まじめな態度でのぞまなければついてくるのが難しいであろう。</p> <p>授業一般目標 前期の目標は、文字と発音を習得するのに加え、簡単な自己紹介ができるまでのレベルを目標とする。</p> <p>成績評価方法(総合) (1) 定期試験と(2) 不定期の小テストで評価します。(3) 出席、宿題の提出が所定の回数に 満たないものには単位を与えません。</p> <p>教科書・参考書 教科書：「聞いて覚える初級朝鮮語」, 河村光雅・田星姫, 白水社, 2002 年</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 外国語教育

分野 ハングル

科目類型 総説

開設科目	ハングル初級1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教・経・工	単位	4 単位	曜時限	水曜日 5・6 時限 木曜日 5・6 時限
担当教官	桂文姫				
<p>授業概要 この授業では、韓国語/朝鮮語の文字、発音、初歩的な文法、及び語彙を学ぶ。この言語は、語順をはじめとして、様々な点において日本語と類似した点が多い。しかし、文字や発音は大きく違い、それらを習得する初歩の段階ではかなり難しい言語と言える。週2回の授業なので、ペースは速く、また、毎回宿題を出すので、まじめな態度でのぞまなければついてくるのが難しいであろう。</p> <p>授業一般目標 前期の目標は、文字と発音を習得するのに加え、簡単な自己紹介ができるまでのレベルを目標とする。</p> <p>成績評価方法(総合) (1) 定期試験と(2) 不定期の小テストで評価します。(3) 出席、宿題の提出が所定の回数に 満たないものには単位を与えません。</p> <p>教科書・参考書 教科書：「聞いて覚える初級朝鮮語」, 河村光雅・田星姫, 白水社, 2002 年</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 外国語教育

分野 ハングル

科目類型 総説

開設科目	ハングル初級1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教・経・工	単位	4 単位	曜時限	水曜日 5・6 時限 木曜日 3・4 時限
担当教官	山田寛人				
<p>授業概要 この授業では、韓国語/朝鮮語の文字、発音、初歩的な文法、及び語彙を学ぶ。この言語は、語順をはじめとして、様々な点において日本語と類似した点が多い。しかし、文字や発音は大きく違い、それらを習得する初歩の段階ではかなり難しい言語と言える。週2回の授業なので、ペースは速く、また、毎回宿題を出すので、まじめな態度でのぞまなければついてくるのが難しいであろう。</p> <p>授業一般目標 前期の目標は、文字と発音を習得するのに加え、簡単な自己紹介ができるまでのレベルを目標とする。</p> <p>成績評価方法(総合) (1) 定期試験と(2) 不定期の小テストで評価します。(3) 出席、宿題の提出が所定の回数に 満たないものには単位を与えません。</p> <p>教科書・参考書 教科書：「聞いて覚える初級朝鮮語」, 河村光雅・田星姫, 白水社, 2002 年</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 外国語教育

分野 ハングル

科目類型 展開2

開設科目	ハングル初級会話 1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教	単位	2 単位	曜時限	水曜日 7・8 時限
担当教官	桂文姫				
<p>授業概要 本授業では、いわゆる日常的な基礎会話を ' 正確な発音 ' の練習を通じて学習していきます</p> <p>授業一般目標 「ハングル」の学習と韓国語でのコミュニケーション能力を身に付けること、そして、それらを通じて近隣国、韓国に関する知識を修得することです。</p> <p>成績評価方法 (総合) 定期試験・小テスト・出席による総合評価。</p> <p>教科書・参考書 教科書：教科書は只今準備中です。第一回目の授業中にご紹介及び自主販売の予定です。 / 参考書：授業中その都度紹介。</p> <p>メッセージ 中身のある ' 韓流 ' を作って行こう！</p>					

系列 外国語教育

分野 ハングル

科目類型 展開1

開設科目	ハングル中級 1	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教 2 年	単位	2 単位	曜時限	木曜日 7・8 時限
担当教官	和田学				
<p>授業概要 この授業では1年次の初級の授業で学んだことを更に定着させると共に、更に多様な表現を学びます。同時に、語彙についてもより高度な語彙を身に付けます。この目的のために、毎回、授業の内外での課題を課します。</p> <p>授業一般目標 基本となる文法事項を確実にし、更に、多様な構文を学びます。また、語彙力をつけることにより、簡単な文章なら辞書の助けがほとんどなくとも、読めるようにします。また、様々な場面での会話ができるようになります。</p> <p>教科書・参考書 教科書：韓国語中級, 李昌圭, 白帝社, 2000 年</p> <p>教官連絡先 連絡先 : wadagaku@yamaguchi-u.ac.jp、研究室 : 人文棟 2 階、オフィスアワー : 木曜日 10:00-17:00</p>					

系列 外国語教育

分野 ハングル

科目類型 包括

開設科目	海外語学研修(ハングル)	区分	講義	開設期	前期
対象学生		単位	4 単位	曜時限	
担当教官					
備考 集中授業					

系列 外国語教育

分野 日本語

科目類型 総説

開設科目	日本語中級A	区分	講義	開設期	前期
対象学生	外国人留学生	単位	2 単位	曜時限	月曜日 3・4 時限
担当教官	門脇薫				
<p>授業概要 本授業では、日本語の中級後半レベルの総合的な能力を養う。特に読解練習を中心に、中級前半レベルの語彙・文法事項を習得し、運用できるような様々な4技能の練習も行う。</p> <p>授業一般目標 日本語の中級後半レベルの語彙・文法事項を習得し、日常生活・大学生活において運用できる。様々なテーマの文章を読み、内容や書き言葉について理解ができる。それぞれのテーマについて考え、自分の考えを日本語で表現できるようになる。</p> <p>成績評価方法(総合) 小テスト、定期テストで習ったことを習得しているかを評価する。「書く」タスクは宿題として提出する。4技能に関する様々な練習やタスクを課し、演習として評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：ニューアプローチ中級日本語基礎編(改訂版)、日本語研究者教材開発室、日本語研究社、2005年</p> <p>教官連絡先 kkaoru@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

系列 外国語教育

分野 日本語

科目類型 総説

開設科目	日本語初級 A	区分	講義	開設期	前期
対象学生	外国人留学生	単位	2 単位	曜時限	月曜日 5・6 時限
担当教官	門脇薫				
<p>授業概要 日本語の初級レベルの人を対象に、日本語の初級レベルの基本的な語彙、文法の指導をします。できる限り視聴覚教材も効果的に使って習った日本語を使って話せるようなコミュニカティブな授業をします。</p> <p>授業一般目標 日本語の初級レベルの語彙・文法事項を習得し、日常生活における基本的な会話ができるようになる。</p> <p>成績評価方法 (総合) 小テスト、定期テストで習ったことを習得しているかを評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：みんなの日本語初級 I、II、, スリーエーネットワーク, 1998 年；聞き取りのタスクシート、補助教材等は授業で適宜使用する。</p> <p>教官連絡先 kkaoru@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

系列 外国語教育

分野 日本語

科目類型 総説

開設科目	日本語中級 1 A	区分	講義	開設期	前期
対象学生	外国人留学生	単位	2 単位	曜時限	火曜日 1・2 時限
担当教官	今井新悟				
<p>授業概要 作文の授業です。論理的な文章の書き方の基本的なルールを学び、課題作文を通して、論理的な文章の書き方を身に着けます。</p> <p>授業一般目標 段落や論理性などの文章作成のルールについて学びます。文章を読み、論理性を検証します。自分でたくさんの文章を書きます。他の人の文章を批判的に検証します。文章を推敲します。</p> <p>成績評価方法 (総合) 課題提出、授業への意欲・貢献度を総合的に判断します。欠席は 4 回以上で欠格条件となります。遅刻は 3 回で欠席 1 回とみなします。</p> <p>教科書・参考書 教科書：プリント教材を配布します。教科書は使いません。 / 参考書：授業で指示します。</p> <p>教官連絡先 メールアドレスとオフィスアワーは授業で示します。</p>					

系列 外国語教育

分野 日本語

科目類型 総説

開設科目	日本語上級 1 A	区分	講義	開設期	前期
対象学生	外国人留学生	単位	2 単位	曜時限	水曜日 1・2 時限
担当教官	中溝 朋子				
<p>授業概要 日本語上級レベルの学習者を対象に、現代人や現代社会が抱える問題について書かれた文章を読んでテーマについて理解を深め、そこで使用される語彙・表現・漢字などの運用力を高める。</p> <p>授業一般目標 日本語上級レベルの学習者を対象に書かれた文章を理解できる。文章に出てきた語彙・表現・漢字を習得し、運用できる。扱ったテーマについて、日本語で自分の考えを表現できる。</p> <p>成績評価方法 (総合) 出席および授業参加度、小テスト、宿題、中間試験、期末試験の結果を総合して評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：『テーマ別上級で学ぶ日本語(改訂版)』, 阿部祐子他, 研究社, 2006 年</p> <p>教官連絡先 電話番号：083-933-5984 オフィスアワー：金曜日 10:30-13:00</p>					

系列 外国語教育

分野 日本語

科目類型 総説

開設科目	日本語中級 2 A	区分	講義	開設期	前期
対象学生	外国人留学生	単位	2 単位	曜時限	水曜日 3・4 時限
担当教官	杉原道子				
<p>授業概要 日本語を 300 時間ぐらい勉強し、すでに初級の学習が終わった留学生のためのクラスです。書き言葉の文法、語彙、漢字について説明します。簡単な説明文や論説文を読みます。日本文化や時事問題にも触れ、それらについてクラス討論をします。</p> <p>授業一般目標 日本語中級レベルの文法、語彙、漢字を学習し、レポートが書けるようになる。</p> <p>成績評価方法 (総合) 期末試験、漢字テスト、レポート、出席等を総合的に判断して成績評価をする。</p> <p>教科書・参考書 教科書：中級日本語, 東京外国語大学 留学生日本語教育センター, 凡人社, 1994 年</p> <p>メッセージ 日本語を短時間でマスターするための学習方法を説明します。</p> <p>教官連絡先 メールアドレス：michikos@yamaguchi-u.ac.jp オフィスアワー:月曜日、15:00~ 電話番号：933-5985</p>					

開設科目	日本語上級 2 A	区分	講義	開設期	前期
対象学生	外国人留学生	単位	2 単位	曜時限	木曜日 3・4 時限
担当教官	赤木弥生				
<p>授業概要 大学での講義に必要なスキル(講義を聞き取る、教科書を読みとる、感想を述べる、レポートを書く、意見を述べる)を養成する。リーディングおよびライティング・ストラテジー、ディスカッションの方法などについて学び、演習形式でグループや個別に練習する。</p> <p>授業一般目標 大学での講義を理解する聴解、読解、講義の感想や発表ができるスピーチ能力、試験、レポートを書くことができるライティング能力など総合的に日本語能力を伸ばす。</p> <p>成績評価方法(総合) 出席、練習問題、課題文、課題レポートを総合して判断する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：大学で学ぶためのアカデミック・ジャパニーズ 佐々木瑞枝著・The Japan Times・2001 / 参考書：留学生のための論理的な文章の書き方, 二通信子ほか, スリーエーネットワーク, 2003 年</p> <p>メッセージ 大学の講義を理解するためには、「聞く、話す、読む、書く」を総合的に伸ばす必要がある。このため、課題が多く、また要求も高くなるが、日本語の最終段階なのでがんばってやりましょう。質問などはメールで問い合わせてください。</p> <p>教官連絡先 オフィスアワー：火曜日午後 15 時～16 時 電話 083 - 933 - 5986 E-mail: yayoia@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	日本語上級 A	区分	講義	開設期	前期
対象学生	外国人留学生	単位	2 単位	曜時限	木曜日 3・4 時限
担当教官	門脇 薫				
<p>授業概要 本授業では大学で求められる基礎的な書く(レポート、論文を書く)力を養う。書き言葉や説明的な文章の構成について、読解練習と組み合わせて説明を行なう。練習問題及び「書く」課題を課し、それについてのフィードバックを与える。</p> <p>授業一般目標 説明的な文章を読み、内容や文章の構成について考察する。文章の展開方法を理解し、構成に気をつけて自分の考えが日本語で書ける。</p> <p>成績評価方法(総合) 各課の課題、最終レポート</p> <p>教科書・参考書 教科書：改訂版 留学生のための論理的な文章の書き方, 二通信子, スリーエーネットワーク, 2003 年; 日本語を書くためのトレーニング 野田尚史 ひつじ書房 2003 年</p> <p>教官連絡先 kkaoru@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	日本語中級3 A	区分	講義	開設期	前期
対象学生	外国人留学生	単位	2 単位	曜時限	木曜日 5・6 時限
担当教官	中溝 朋子				
<p>授業概要 日本語中級レベルの中～後半の学習者を対象に書かれた日本の社会や日本人の考え方に関する文章を読んで理解を深め、そこで使用される語彙・表現・漢字などの運用力を高める。</p> <p>授業一般目標 日本語中級レベルの中～後半の学習者を対象に書かれた文章を理解できる。文章に出てきた語彙・表現・漢字を習得し、運用できる。</p> <p>成績評価方法(総合) 出席および授業参加度、小テスト、宿題、中間試験、期末試験の結果を総合して評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：『テーマ別中級から学ぶ日本語(改訂版)』, 荒井礼子他, 研究社, 2003 年</p> <p>教官連絡先 電話番号：083-933-5984 オフィスアワー：金曜日 10:30-13:00</p>					

前期 - 一般系列

系列 一般

分野 一般総合

科目類型 包括

開設科目	パソコンSOS1	区分	その他	開設期	前期
対象学生	人・教2年，経・理3年	単位	2単位	曜時限	月曜日 11・12時限
担当教官	西口毅				
<p>授業概要 大学教育の問題点の一つは、学生自らが「発見し、はぐくみ、かたちにする」機会の乏しさである。受身の授業だけでは、問題探求・解決能力を育てることができない。本授業では、学生がパソコンSOSセンターにおけるパソコンユーザ支援に主体的に取り組み、その活動を通して「発見し、はぐくみ、かたちにする」ことを実体験する。</p> <p>授業一般目標 パソコンSOSセンターの学生スタッフとしての活動・体験を通して、パソコンのスキルを向上させ、問題解決能力、文書作成能力、自己表現力を身に付ける。また「パソコンSOS2」の既修得者はSA(スチューデントアシスタント)として、履修者の指導を行い、指導能力を身に付ける。</p> <p>成績評価方法(総合) 出席率80%未満を欠格条件とし、毎回のレポート作成と学期末の報告書作成を総合的に評価する。</p> <p>メッセージ パソコン相談員として活動するので、誰でも受講できるというわけではありません。受講希望者に対して、初回に能力診断テストを行い、パソコンに関するスキルが一定の水準以上の学生に履修を認めます。「パソコンSOS2」の既修得者については、無条件に履修を認めます。パソコンのトラブルなどで悩んでいる人の役に立ちたいという意欲を持つ学生を歓迎します。なお、授業の性格から、パソコン相談を行うことが授業への出席となります(曜日は希望に応じて決定)</p> <p>教官連絡先 E-mail: itonaga@yamaguchi-u.ac.jp, 電話: 083-933-5350, 研究室: 教育学部 224号室, オフィスアワー: 水曜 10:20 - 11:50</p>					

系列 一般

分野 一般総合

科目類型 包括

開設科目	大学で学ぶこと、論文の書き方	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教2年，経・理・農3年	単位	2単位	曜時限	火曜日 1・2時限
担当教官	松井範惇				
<p>授業概要 大学では何を学ぶのか、如何に学ぶのか、これらを一緒に考えてみよう。自分の身の回り、社会の動き、世界の出来事などに興味を持ち、なぜだろうか、どうして、誰が、何を、こんなことが起きるのか、論理的な説明は出来るのか。納得するまで考えてみませんか。そうすると、大学では何を学ぶのかが見えてくるかもしれない。如何に学ぶと面白いのかが見えてくるかもしれない。アメリカの大学を例にします。その発見を文章にまとめるにはどうしたらよいか。レポート、論文にするにはどんな書き方があるのだろうか。こんなことを勉強します。</p> <p>授業一般目標 自分で考えること、何でも疑ってみること、論理的な説明が出来るかどうか考える習慣を養います。文章を書く訓練をします。筋道のたった文章、論文を書くのに、億劫がらずに取り組めるようになりたい人は、頑張ってみてください。きっと役に立ちますよ。</p> <p>成績評価方法(総合) 出席と討論: 15% 研究企画提案書作成: 25% (アメリカの大学について研究します) ミニ論文(1): 30% ミニ論文(2): 30%</p> <p>教科書・参考書 教科書: これから論文を書く若者のために、酒井聡樹, 共立出版, 2002年; リベラル教育とアメリカの大学, 松井範惇, 西日本法規出版, 2004年</p> <p>教官連絡先 内線 5530 npmatsumi@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

系列 一般

分野 一般総合

科目類型 包括

開設科目	キャリアと就職	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教2年, 経・理・農3年	単位	2単位	曜時限	火曜日3・4時限
担当教官	平尾元彦				
<p>授業概要 キャリアとは、職業経験、働く力。仕事にかかわる人生経路を意味する言葉である。学生は皆、大学を卒業(あるいは大学院を修了)して新たな活躍のステージへと移行するが、自分自身の将来のキャリアを考えて進路選択をすることが望ましい。その最初の活動が大学生の就職活動であり、大学院への進学を含む進路選択活動である。本講義は、「自分のキャリアは自分で考える」ための考え方を理解するとともに、働くための基礎知識を得ることを目的とするものであり、経済・社会、会社、そして自己理解のための理論および現実を学ぶことで、将来のキャリア選択や、現実問題として直面する就職活動に役立つ知識と方法論の習得をめざす。授業は講義形式で行うが、一人一人が自分の問題としてキャリアを考えることができるように、宿題レポートを多数とり入れた実践的な講義をめざしている。学んだことは自分の就職活動にいかしてほしい。</p> <p>授業一般目標 自分のキャリアを考えることの重要性を理解し、その方法論習得する 働く前に知っておくべき経済・社会・企業に関する基礎知識を習得する キャリア意識を高め、学業ならびに就職活動への意欲を増す</p> <p>成績評価方法(総合) 毎回提出を求めるミニレポートのほか、課題レポート(宿題)にて評価する。レポートは「キャリアインタビュー」「キャリアシート」「キャリアモデル」「企業研究きりぎり発見」「就活インタビュー」「キャリアプラン」の6回を予定している</p> <p>教科書・参考書 教科書: 講義中に資料を配布する / 参考書: 講義中に紹介する</p> <p>メッセージ 総合科目「キャリアと就職」は、前期火曜日3・4限(農学部優先) 水曜日1・2限(人文・教育・経済学部優先) 水曜日5・6限(人文・教育・経済学部優先) 水曜日7・8限(理学部優先)の4コマを吉田キャンパスで開講、後期は常盤キャンパスで水曜日5・6限の1コマ開講する。基本的には同じ内容であり、履修できるのはいずれか一つである。第一回目の講義で希望をとるの必ず出席すること。なお、受講者多数の場合は上学年を優先する。</p> <p>教官連絡先 e-mail:hirao@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

系列 一般

分野 一般総合

科目類型 包括

開設科目	環境と生物	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教2年, 経・理・農3年	単位	2単位	曜時限	火曜日3・4時限
担当教官	早川誠而 外				
<p>授業概要 私たちが限りない豊かさ、利便さを追い求めた結果として、社会システムは大量生産、大量消費、大量廃棄型となり、地球自身の環境許容能力を上回り、地球環境に大きな負荷を与えるようになった。今世紀は、この限りある地球環境を守るために、与えられた自然条件(土、水、大気)に対し、生物と地球生態系との最適な組み合わせによる循環型の持続的発展を目指した知識、理論に加え、新たなテーマや今日的なテーマも含めて解説する。</p> <p>授業一般目標 地球環境問題は、問題の特殊性、関係裾野の広さから、どのように対処すべきかはっきりと決められているわけではなく、それぞれに判断をゆだねなければならない面もある。この様に複雑で多様化する環境問題に対処するため、多岐にわたる専門分野から講義を行い、環境問題に関する多くの幅広い知識を収得することに目標を置く。</p> <p>成績評価方法(総合) 講義の終わりの小テストあるいは課せられたレポートをもとに成績評価を行う。</p> <p>メッセージ 概要、目的を読んで、本当に興味を持つ熱意のある学生を望む。</p> <p>教官連絡先 早川誠而、オフィスアワー、随時 OK, 総合研究棟205、</p>					

系列 一般

分野 一般総合

科目類型 包括

開設科目	食料生産の理論と実践	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教2年, 経・理3年	単位	2単位	曜時限	火曜日 3・4時限
担当教官	藤間充 ほか8名				
<p>授業概要 21世紀において地球規模で解決すべき課題は、人口、食料、環境であると言われている。わずか50年前には食べることすらままならぬ時代があったことを忘れ去り、飽食になれきた日本人にとって21世紀ではどのような試練が待ち受けているのか？その21世紀を担う学生諸君に食料生産の科学と重要性を学習し、理解を深めてもらうと同時に、食料生産に関わる作業行程の一部を体験してもらう。</p> <p>授業一般目標 授業では、日本の最も重要かつ特徴的な作物である水稲を中心に、食料生産の理論と技術およびそれを取り巻く環境について講義を行う。体験実習では、手植えによる田植えのほか、野菜の収穫、果樹の管理を予定しており、実際に食料生産の一部を体験する。</p> <p>成績評価方法(総合) 授業毎の小テスト、レポートなどによる理解度の評価と、出席を総合して判定する。</p> <p>メッセージ 体験実習を行うために、受講者数を40名に制限する。受講希望者が多数の場合は、初回に抽選を行うので、必ず出席すること。</p> <p>教官連絡先 連絡先: 農学部附属農場 オフィスアワー: 火、木曜日 12:00-12:50 メールアドレス: mtoma@yamaguchi-u.ac.jp </p>					

系列 一般

分野 一般総合

科目類型 包括

開設科目	食・農・環境教育概論	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教2年, 経・理・農3年	単位	2単位	曜時限	火曜日 3・4時限
担当教官	早川誠而 他				
<p>授業概要 農学部の研究領域として「地球生態系レベル」から「遺伝子レベル」までと実に幅広いが、21世紀を人口・食料・環境の危機的意識を持つ時代とするならば、全学部の結びつきを強化することによって、つなぎめのない学問として、更に実学として農学や環境学を多くの学生に紹介したい。また、地球規模での環境問題を背景に、2005年には温室効果ガス排出削減目標を定めた京都議定書が発行されたことも記憶に新しい。更に、多くの地方自治体に見られる、少子高齢化問題や中山間地問題といった地域問題を背景に、新しい食料・農業・農村基本計画に基づいたさまざまな施策が2007年度から導入される。このような状況を背景に、学生に環境問題や食・農業問題の基礎を認識・理解させ、自らが考え、見えないモノを見る力を養い、マージナルゾーンと呼ばれる世代の学生たちの感性を引き出すための一助として、「食・農業・環境教育概論」の開講を提案する。</p> <p>授業一般目標 山口大学は地域社会との多様な連携・協働が推進されているが、学生自身も地域社会の一員として様々な活動に誘い参加することが望まれる。そこで、学生に環境問題や食・農業問題の基礎を認識・理解させ、自らが考え、見えないモノを見る力を養い、マージナルゾーンと呼ばれる世代の学生たちの感性を引き出すための一助とすることを目標とする。</p> <p>成績評価方法(総合) この授業は実践型授業として考えており、自らが考え、見えないモノを見る力を養い、学生自身も地域社会の一員として様々な活動に誘い参加することが出来る力などを総合的に判断する。</p> <p>メッセージ 自然に興味のある人、農学に興味のある人、地域活動に興味のある人、前向きに取り組む人</p> <p>教官連絡先 早川誠而: 総合研究棟 205号室 嘉村則男: 農学部附属農場 いつでも結構です。</p>					

系列 一般

分野 一般総合

科目類型 包括

開設科目	国際交流論	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教2年, 経・理・農3年	単位	2単位	曜時限	火曜日 9・10時限
担当教官	何暁毅 ほか				
<p>授業概要 日本の歴史はまさに国際交流史ともいえる。昔は中国や東アジアの国々、近代ではヨーロッパやアメリカなど西洋諸国との交流によって、今日の日本の基礎ができたといっても過言ではない。現在では、ボーダーレス社会の基本として地域にも根づいてきた。この科目ではその意義・考え方や人権問題等を折り込み、国際理解・開発教育の観点から実践中心型のカリキュラムを行い、国際交流についての理解を深める。</p> <p>授業一般目標 国際交流の意義・考え方や人権問題等を理解し、地域社会でも十分実践できる国際交流の技術を習得する。</p> <p>成績評価方法(総合) 受講態度(出席、グループ討議の参加など)、レポートなどによる総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書: 適宜プリント等を配る。/ 参考書: 草の根の国際交流と国際協力, 明石書店, 2003年</p> <p>メッセージ 項目などはあくまで予定である。ゲストなどの都合により時間など変更することがある。</p> <p>教官連絡先 何暁毅研究室 共通教育棟 309 中野メール: 383630@pnet.energia.co.jp</p>					

系列 一般

分野 一般総合

科目類型 包括

開設科目	キャリアと就職	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教2年, 経・理・農3年	単位	2単位	曜時限	水曜日 1・2時限
担当教官	平尾元彦				
<p>授業概要 キャリアとは、職業経験、働く力。仕事にかかわる人生経路を意味する言葉である。学生は皆、大学を卒業(あるいは大学院を修了)して新たな活躍のステージへと移行するが、自分自身の将来のキャリアを考えて進路選択をすることが望ましい。その最初の活動が大学生の就職活動であり、大学院への進学を含む進路選択活動である。本講義は、「自分のキャリアは自分で考える」ための考え方を理解するとともに、働くための基礎知識を得ることを目的とするものであり、経済・社会、会社、そして自己理解のための理論および現実を学ぶことで、将来のキャリア選択や、現実問題として直面する就職活動に役立つ知識と方法論の習得をめざす。授業は講義形式で行うが、一人一人が自分の問題としてキャリアを考えることができるように、宿題レポートを多数とり入れた実践的な講義をめざしている。学んだことは自分の就職活動にいかしてほしい。</p> <p>授業一般目標 自分のキャリアを考えることの重要性を理解し、その方法論習得する 働く前に知っておくべき経済・社会・企業に関する基礎知識を習得する キャリア意識を高め、学業ならびに就職活動への意欲を増す</p> <p>成績評価方法(総合) 毎回提出を求めるミニレポートのほか、課題レポート(宿題)にて評価する。レポートは「キャリアインタビュー」「キャリアシート」「キャリアモデル」「企業研究きらり発見」「就活インタビュー(または技術人材インタビュー)」「キャリアプラン」の6回を予定している</p> <p>教科書・参考書 教科書: 講義中に資料を配布する / 参考書: 講義中に紹介する</p> <p>メッセージ 総合科目「キャリアと就職」は、前期火曜日3・4限(農学部優先)、水曜日1・2限(人文・教育・経済学部優先)、水曜日5・6限(人文・教育・経済学部優先)、水曜日7・8限(理学部優先)の4コマを吉田キャンパスで開講、後期は常盤キャンパスで水曜日5・6限の1コマ開講する。基本的には同じ内容であり、履修できるのはいずれか一つである。第一回目の講義で希望をとるの必ず出席すること。なお、受講者多数の場合は上学年を優先する。</p>					

系列 一般

分野 一般総合

科目類型 包括

開設科目	キャリアと就職	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教2年, 経・理・農3年	単位	2単位	曜時限	水曜日 5・6時限
担当教官	平尾元彦				
<p>授業概要 キャリアとは、職業経験、働く力。仕事にかかわる人生経路を意味する言葉である。学生は皆、大学を卒業(あるいは大学院を修了)して新たな活躍のステージへと移行するが、自分自身の将来のキャリアを考えて進路選択をすることが望ましい。その最初の活動が大学生の就職活動であり、大学院への進学を含む進路選択活動である。本講義は、「自分のキャリアは自分で考える」ための考え方を理解するとともに、働くための基礎知識を得ることを目的とするものであり、経済・社会、会社、そして自己理解のための理論および現実を学ぶことで、将来のキャリア選択や、現実問題として直面する就職活動に役立つ知識と方法論の習得をめざす。授業は講義形式で行うが、一人一人が自分の問題としてキャリアを考えることができるように、宿題レポートを多数とり入れた実践的な講義をめざしている。学んだことは自分の就職活動にいかしてほしい。</p> <p>授業一般目標 自分のキャリアを考えることの重要性を理解し、その方法論習得する 働く前に知っておくべき経済・社会・企業に関する基礎知識を習得する キャリア意識を高め、学業ならびに就職活動への意欲を増す</p> <p>成績評価方法(総合) 毎回提出を求めるミニレポートのほか、課題レポート(宿題)にて評価する。レポートは「キャリアインタビュー」「キャリアシート」「キャリアモデル」「企業研究きり発見」「就活インタビュー」「キャリアプラン」の6回を予定している</p> <p>教科書・参考書 教科書: 講義中に資料を配布する / 参考書: 講義中に紹介する</p> <p>メッセージ 総合科目「キャリアと就職」は、前期火曜日3・4限(農学部優先) 水曜日1・2限(人文・教育・経済学部優先)、水曜日5・6限(人文・教育・経済学部優先) 水曜日7・8限(理学部優先)の4コマを吉田キャンパスで開講、後期は常盤キャンパスで水曜日5・6限の1コマ開講する。基本的には同じ内容であり、履修できるのはいずれか一つである。第一回目の講義で希望をとるの必ず出席すること。なお、受講者多数の場合は上学年を優先する。</p> <p>教官連絡先 e-mail:hirao@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

系列 一般

分野 一般総合

科目類型 包括

開設科目	キャリアと就職	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教2年, 経・理・農3年	単位	2単位	曜時限	水曜日 7・8時限
担当教官	平尾元彦				
<p>授業概要 キャリアとは、職業経験、働く力。仕事にかかわる人生経路を意味する言葉である。学生は皆、大学を卒業(あるいは大学院を修了)して新たな活躍のステージへと移行するが、自分自身の将来のキャリアを考えて進路選択をすることが望ましい。その最初の活動が大学生の就職活動であり、大学院への進学を含む進路選択活動である。本講義は、「自分のキャリアは自分で考える」ための考え方を理解するとともに、働くための基礎知識を得ることを目的とするものであり、経済・社会、会社、そして自己理解のための理論および現実を学ぶことで、将来のキャリア選択や、現実問題として直面する就職活動に役立つ知識と方法論の習得をめざす。授業は講義形式で行うが、一人一人が自分の問題としてキャリアを考えることができるように、宿題レポートを多数とり入れた実践的な講義をめざしている。学んだことは自分の就職活動にいかしてほしい。</p> <p>授業一般目標 自分のキャリアを考えることの重要性を理解し、その方法論習得する 働く前に知っておくべき経済・社会・企業に関する基礎知識を習得する キャリア意識を高め、学業ならびに就職活動への意欲を増す</p> <p>成績評価方法(総合) 毎回提出を求めるミニレポートのほか、課題レポート(宿題)にて評価する。レポートは「キャリアインタビュー」「キャリアシート」「キャリアモデル」「企業研究きり発見」「就活インタビュー」「キャリアプラン」の6回を予定している</p> <p>教科書・参考書 教科書: 講義中に資料を配布する / 参考書: 講義中に紹介する</p> <p>メッセージ 総合科目「キャリアと就職」は、前期火曜日3・4限(農学部優先) 水曜日1・2限(人文・教育・経済学部優先)、水曜日5・6限(人文・教育・経済学部優先) 水曜日7・8限(理学部優先)の4コマを吉田キャンパスで開講、後期は常盤キャンパスで水曜日5・6限の1コマ開講する。基本的には同じ内容であり、履修できるのはいずれか一つである。第一回目の講義で希望をとるの必ず出席すること。なお、受講者多数の場合は上学年を優先する。</p> <p>教官連絡先 e-mail:hirao@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

系列 一般

分野 一般総合

科目類型 包括

開設科目	キャリア形成とコミュニケーション	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教2年, 経・理・農3年	単位	2単位	曜時限	木曜日 5・6時限
担当教官	重松政徳				
<p>授業概要 コミュニケーション能力は、企業が新入社員に求める能力の第一にあげられる基本的な能力であり、これから職業社会に乗り出す学生にとってコミュニケーションスキルの獲得は重要な課題となっている。本講義は、キャリア形成の基本的な考え方を理解した上で、職業人として必要なコミュニケーション能力の向上を目的とするものであり、一部にグループ学習をとり入れた実践形式で講義を行う。学んだことは就職活動にいかしてほしい。なお、この授業は山口県若者就職支援センターの協力により実施する。グループワークを行うため受講者を30名以内とし、希望者多数の場合は抽選を行う。</p> <p>授業一般目標 キャリア形成の重要性を理解し、自己表現力を向上させる</p> <p>成績評価方法(総合) 授業への参加、授業中のプレゼンテーションで評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：講義中に資料を配布する / 参考書：講義中に紹介する</p> <p>メッセージ この講義はコミュニケーションを学ぶものであり、当然ながら授業においてもコミュニケーション能力が求められる。現段階において得意である必要はないが、講義に積極的に参加して能力を高めたいという強い意欲が必要である。時間内に小グループでのグループワークを行う。はじめて出会う学生との集団作業に積極的に取り組まなければならない。必ずすべての回に出席すること。</p> <p>教官連絡先 hirao@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

系列 一般

分野 一般総合

科目類型 包括

開設科目	中国・四国地区国立大学間共同授業 - 中国・四国地方の文化・芸術を学ぶ会	区分	講義	開設期	前期
対象学生	人・教・工2年, 経・理・農3年	単位	2単位	曜時限	
担当教官	岩部浩三				
<p>授業概要 夏休み中に行う、SCS(衛星通信システム)を利用した遠隔授業(集中講義)であり、詳細は別途掲示する。</p> <p>成績評価方法(総合) 評価は出席と提出レポートに基づいて行う。</p> <p>備考 集中授業</p>					

系列 一般

分野 一般総合

科目類型 包括

開設科目	医療環境論	区分	講義	開設期	前期
対象学生	看護2年, 医学・検査3年	単位	4単位	曜時限	月曜日1・2・3・4時 限
担当教官	星野晋				
<p>授業概要 医学・医療の前提をなす自然・社会・文化的環境すなわち「医療環境」の全体像を、地球環境、身体、科学、歴史、社会文化的多様性等の概念・軸を用いて理解し、その中における医学・医療の位置づけを把握する。そのことによって、よき医療者になるために必要な、人間の病と健康をめぐるさまざまな問題を総合的に捉える視点と態度を身につける。 授業は、話題提供としての講義とそれに関わるスモール・グループ・ディスカッションで構成される。</p> <p>授業一般目標 医学・医療の前提をなす自然・社会・文化的条件すなわち「医療環境」について、医学以外の諸分野の視点と方法を取り入れながら理解を深め、人間の病と健康をめぐるさまざまな問題を総合的に捉え解決する視点と態度を身につける。</p> <p>成績評価方法(総合) 毎回の出席(小レポートによる)、グループ・ディスカッションの報告内容、小論文などから総合的に評価する。</p> <p>教官連絡先 水曜日午後</p>					

後期 - 主題系列

系列 主題

分野 思想と文化

科目類型 包括

開設科目	比較文化心理学	区分	講義	開設期	前期
対象学生	全(工除く)	単位	2 単位	曜時間	月曜日 3・4 時限
担当教官	武本ティモシー				
<p>授業概要 経済学部観光政策学科の「文化心理学」を履修していない、また履修するつもりがない学生のための授業です。文化が心理に対して及ぼす影響の大きさは、次第に理解されつつある。あなたは、自分が「上手」だといわれると頑張るか、それとも「下手」だといわれるともっと頑張るか。ホラー映画に出てくる《恐い人》は女性が男性か？これらの問いはどれも文化差があることが最近の研究によって証明されている。</p> <p>授業一般目標 この授業の目的は、文化と心理の関わりを学習することである。</p> <p>成績評価方法(総合) 授業の参加・小レポートと試験を評価の対象にします。</p> <p>教科書・参考書 参考書：自己と感情、北山忍、共立出版、1997年；木を見る西洋人 森を見る東洋人、R・E・ニスベット、ダイヤモンド社、2004年；文化心理学、柏木恵子他編、東京大学、1997年；心でっかちな日本人 集団主義文化という幻想、山岸俊男、日本経済新聞社、2002年；社会心理学：アジア的視点から、山口勤、放送大学教育振興会、1998年</p> <p>メッセージ いつでも質問してください。</p> <p>教官連絡先 コースホームページは YUFOE.com から入れます。メール tim@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

系列 主題

分野 思想と文化

科目類型 包括

開設科目	外の世界を聞く・知る・見る	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全(工除く)	単位	2 単位	曜時間	火曜日 5・6 時限
担当教官	杉原道子ほか				
<p>授業概要 3名の授業担当者の海外における生活体験や仕事上の体験を通して見た国々の事情を聞き、そこに住む人たちがどのような生き方をしているかを知り、その国・その人たちの現在の姿を見、山口大学の若い学生達が日本の外の世界に目を向ける機会を提供します。</p> <p>授業一般目標 担当者がそれぞれに長期生活経験・留学経験・勤務経験を持つ、仏教・儒教文化圏の国々(中国、韓国)、キリスト教文化圏の国々(アメリカ合衆国、カナダ)の(1)文化・宗教・社会習慣、(2)歴史的概要、(3)社会・政治・教育制度、(4)日本との関わり等について、担当者が交代で授業を行なう。</p> <p>成績評価方法(総合) それぞれの講義毎に課されるレポートの成績と、出席により評価します。</p> <p>教科書・参考書 参考書：授業の中で担当者が紹介します。</p> <p>教官連絡先 杉原道子：michikos@yamaguchi-u.ac.jp 学内内線：9037 赤木彌生：yaoia@yamaguchi-u.ac.jp 学内内線：5986 門脇薫：kkaoru@yamaguchi-u.ac.jp 学内内線：5987</p>					

系列 主題

分野 思想と文化

科目類型 包括

開設科目	性をめぐる今日の状況	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全(工除く)	単位	2単位	曜時限	水曜日 3・4時限
担当教官	山本真弓				
<p>授業概要 「性」は誰もが自分の問題として考えることのできるテーマであり、また、時代により、文化によりその捉えかたが異なるものでもあります。この講義は、「性」をテーマに同じ題材の映画を鑑賞し、議論を通じて互いの考え方の違いを認識・理解するとともに、学生相互を一定の基準のもとで互いに評価するという授業です。人間社会には数字による評価が馴染まないものがあります。人文社会科学系の学問の多くはそのような分野です。「性」にまつわる価値観は地域、時代によって実に多様であり、そこに「正しさ」を見出すことはできません。</p> <p>授業一般目標 この授業はいわゆる講義を中心とするものではありません。性に関連する分野で扱われている諸概念については、最低限紹介するとどめ、むしろ、学生たちが性について等身大に考えること、そしてそれを文章にすること、さらに、他の学生の文章を読んで異なる意見を理解すること、そのうえで、自らの意見を再考すること、を目標としています。さらに、学生たちが相互評価をするために「評価とは、なにか」について考え、その経験を通して、多様な価値や文化に基づく事象をどのように捉え、自らと異なる他者(例えば、性的他者)を自分のなかでどう位置づけるかを学ぶことも目指しています。</p> <p>成績評価方法(総合) 出席、学生同士の相互評価と期末試験の結果の総合</p> <p>メッセージ 相互評価方式を取り入れた学生相互の討論を行なうため、受講生を30名未満に制限する。2回欠席で受講資格を失う。</p>					

系列 主題

分野 芸術と表現

科目類型 包括

開設科目	イメージの解釈学	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全(工・生資除く)	単位	2単位	曜時限	金曜日 5・6時限
担当教官	奥津聖				
<p>授業概要 イメージという言葉の意味は多義的です。従来イメージの解釈学は、造形芸術におけるイメージの意味内容の解釈にその主題は限定されてきました。この講義では、現代芸術一般を対象とすることの可能な広義の「イメージの解釈学」の構築を目指します。</p> <p>授業一般目標 ルネッサンス以降の、視覚芸術の諸問題を考察することを通じて現代芸術に親しむための基礎を身につける。</p> <p>教科書・参考書 教科書：教科書 プリントを配布。ホームページ上に随時資料を掲載。/ 参考書：参考書 参考文献は、講義中に提示する。</p> <p>メッセージ 教科書は無い。プリント資料を配布。</p> <p>教官連絡先 okutsu@c-able.ne.jp http://homepage.mac.com/kokutsu/Menu17.html</p>					

系列 主題

分野 社会と組織

科目類型 包括

開設科目	地域と出会う ボランティアと自主活動	区分		講義		開設期		後期	
対象学生	全(工除く)	単位	2 単位	曜時限				月曜日 9・10 時限	
担当教官	植村高久								
<p>授業概要 大学を出て出て地域の人たちと出会う。地域には様々な人たちがいて、金儲けを目指さないいろいろな活動を行っています。そういう活動が学生にとってどんな意味があるのか、感動や喜びを体験者に語ってもらい。実際の活動にも触れてもらいます。</p> <p>授業一般目標 ・ 地域の自主活動に関する基本的な事項について理解する ・ 地域の自主活動の各領域の概要と課題を説明できる ・ 自主活動について関心・意欲を持つことができる</p> <p>成績評価方法(総合) 毎回のレポート(感想)60% + 最後の報告会の報告 40% で評価します。</p> <p>メッセージ 定員30名です。たいへん人気のある授業なので、最初の回に志望動機をかいてもらい、それをもとに30名を選考することになると思います。最初の回には必ず出席して下さい。</p> <p>教官連絡先 uemura@yamaguchi-u.ac.jp</p>									

系列 主題

分野 社会と組織

科目類型 包括

開設科目	キャリアデザイン	区分		講義		開設期		後期	
対象学生	全(工除く)	単位	2 単位	曜時限				火曜日 7・8 時限	
担当教官	辻多聞								
<p>授業概要 キャリアデザインとは、一言で言うならば「人生設計」です。キャリアをデザインしていくうえで、5つの事項に誰もが遭遇します。(1) 長期にわたることなので、不確実でデザインのしようがない。(2) なにが起こるかわからないので、偶然に身を任せたいほうがいい。(3) いつもキャリアの問題を考えているのはうとうしい。(4) 時代は、働く個人にキャリアについて考えるように要請し始めている。(5) 節目のときだけは絶対に強く意識してデザインすべきものがキャリアだ。(5)を除くと上記項目はキャリアデザインを行っていくうえでの葛藤といえます。皆さんは、大学生活をすでに半年以上終えました。そして大学生活にもそろそろ慣れてきたことと思います。一方で自身のキャリアについて考えながら大学生活を送っていかなければならない時期を迎えたとも言えます。つまり、すでに上記葛藤に遭遇している、もしくは近々遭遇する可能性がある状態です。葛藤に対する回答は自らの力で導き出すしかないとも言えます。しかし何のヒントもなく回答を出すことは非常に難しいと思われます。本講義が、自身のキャリアを見つめてみる、デザインしてみる、さらにそのために大学生活で何をすべきかが見出せるきっかけとなることを願っています。</p> <p>授業一般目標 自分自身のキャリアデザインについて真剣に考えてみることを、さらに自身で考えたキャリアデザインにそって、より有意義に大学生活をすごすための目標を明確にすることを、この講義の目標とします</p> <p>教科書・参考書 教科書：適宜資料を配布する / 参考書：授業内で紹介する</p> <p>メッセージ 将来的には、一部をのぞいてほぼ皆さんは就職することになります。まずはキャリアデザインの一步として就職というものを知ってもらいたいと思います。次にキャリアデザインを進めるうえで、人とのコミュニケーションが非常に重要になります。この講義を通して自己表現能力を磨いてもらいたく思います。最後に、先人の様々な体験談から、自らのキャリアをデザインするきっかけ、さらにそれを実現するための大学生活のすごし方のヒントを見つけてもらいたいと思います。</p> <p>教官連絡先 ttsuji@yamaguchi-u.ac.jp</p>									

系列 主題

分野 社会と組織

科目類型 包括

開設科目	知の広場 - 人と学問 -	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時間	水曜日 7・8 時限
担当教官	広中平祐ほか				
<p>授業概要 学外からさまざまな分野の第一人者を招いて、講義を聴く。各講師それぞれの学問分野や仕事の概要を知り、各自の将来像を描きながら、本学の学生としての学業に取り組む姿勢を身につける。</p> <p>授業一般目標 各分野の第一人者の話を聞いて、各自の将来像を描きながら、本学で学ぶ動機付けを強める。さらには人間としての生き方を学ぶ。在学中に学習すること、経験すべきことから日々の暮らしも含めて、人生設計・生活設計を具体的に見つめ直す場とする。</p> <p>成績評価方法(総合) 受講者には毎回小レポートを提出してもらおう。講師により最後の講義の後半で試験またはレポートを課すこともある。</p>					

系列 主題

分野 社会と組織

科目類型 包括

開設科目	学ぶ技術・アクティブラーニング	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時間	木曜日 5・6 時限
担当教官	藤井文武				
<p>授業概要 変革の時代において必要なのは、既存の知識や状態に縛られることなく、常に上を目指し、「進化」し続ける力である。本コースでは、生涯に渡って使い続けることができる「自己成長の技術」を指導する。大学内で授業を受ける時に役立つ「学ぶ技術」から、大学外での活動を通してのキャリアアップの方法、ひいては卒業後、社会に出てから役立つ「ビジネス向上力」まで、いわゆる「生きる力」につながる人間力の向上を目指す。</p> <p>授業一般目標 1. キャリアアップ編：自分の人生を計画的に向上させていく技法を習得する。 2. ビジネス編：社会に出て通用するビジネス力を習得する。 3. スクール編：学校で役立つ学ぶ技術を習得する。</p> <p>成績評価方法(総合) 以下の各項目について独立に評価を行い、その合計点を最終成績とする。(1)【出席点】「単なる出席」という状態に対する加点ではなく、「講義に参加し、教授される各種手法を能動的に身に付けようと努力すること」に対する評価点である。(2)【宿題・授業外レポート】講義中に提示されるレポート課題に対して回答レポートを提出してもらい、それを採点評価する。(3)【プレゼン評価】如何に自分が良いアイデアを持っているようとも、それを他者に対して的確かつ説得力のある形で提示できなければそのアイデアは陽の目を見ない...との観点から、講義中に提示する特定のテーマについてプレゼンテーション大会を実施し、それを採点評価する。受講者数にもよるが、プレゼンは基本的にはグループ単位で行う。</p> <p>教科書・参考書 教科書：限界を突破する 学ぶ技術、羽根拓也、サンマーク出版、2004年；ジコピー道場、羽根拓也、日本実業出版社、2004年</p> <p>メッセージ これから先、皆さんは様々な状況において様々な問題に遭遇し、それを解決しながら何かを成し遂げていくことになりませう。その際に、「上手なやり方」を知っているか否かで、実際の達成度や達成感、自己成長度などかなりの差が出てきます。この授業では、今後皆さんが内に秘めた能力を開花させ、社会との関わりの中で自らも成長しながら貢献する上で知っておくと得をする「上手なやり方」のエッセンスを、講義と参加型の演習を通じて習得することを目指しています。ぜひこの講義を活用して手法を習得し、実践の場でその活用を行っていくことで、自分の人生を組み立てていくことのできる「人間力あふれる自分」を作っていくください。</p> <p>注)講師の都合により、時間割どりの通常授業と土曜日を中心とした集中授業を併用して開講する予定です。</p> <p>教官連絡先 本講義は、米大学での指導実績をもち、企業の社員教育などで評価の高い(株)アクティブラーニングの代表取締役社長 羽根拓也氏をメインの講師として向かえ、山口大学ベンチャービジネス(VB)育成施設が実施するものです。本講義に関する問い合わせは、主としてVB育成施設が窓口となっております。VB育成施設では対応が困難な事項については、必要に応じてアクティブラーニング事務局へ転送する形を取ります。そのため、問合せは基本的にはメールでお願いします。学内で対応可能と思われる事項についてのみ、電話での問合せでも対応可能です。 <連絡先> VB育成施設事務 渡辺：vbl@yamaguchi-u.ac.jp (電話)0836-85-9850</p>					

系列 主題

分野 社会と組織

科目類型 包括

開設科目	大学論	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全(工除く)	単位	2 単位	曜時限	金曜日 3・4 時限
担当教官	吉田香奈				
<p>授業概要 現代の日本では、大学を取り巻く政治的、社会的、経済的、国際的な状況がかつてないほどに大きく変動している。大学はもはや「知の聖域」として存続することが難しく、社会の変化とともに大きく変わらざるを得ない状況にある。本授業では、日々私たちが学習活動や課外活動を行う「大学」という社会組織について概説し、各領域の課題についてグループディスカッションを行う。授業の最後にグループ発表を行う。なお、授業で取り上げる内容は次のとおりである。1) 一年次教育、2) 共通教育とカリキュラム、3) 授業評価、4) 学生生活と学生支援</p> <p>授業一般目標 「大学」という組織に関する基本的な事項について理解するとともに、大学そのものを様々な角度から考察し、問題点や改善策の検討を行うことを通じて課題探求能力や問題解決能力を向上させる。</p> <p>成績評価方法(総合) (1) コメントカードを毎回提出(20%)、(2) グループディスカッション・作業への貢献(20%)、(3) グループ発表(30%)、(4) グループ発表のまとめをレポートとして提出(30%)。なお、出席が所定の回数に満たない場合は単位を与えない。</p> <p>教科書・参考書 教科書：参考資料は授業内で配布します。/ 参考書：『高等教育概論-大学の基礎を学ぶ-』、有本章・羽田貴史・山野井敦徳編著、ミネルヴァ書房、2005年；『大学教育学』、京都大学高等教育研究開発推進センター編、培風館、2003年；『岐路に立つ大学』、館昭・岩永雅也、放送大学教育振興会、2004年</p> <p>メッセージ 本授業は異なる学部の学生がグループになって「大学」という身近な話題をディスカッションするところに特徴があります。ディスカッションの苦手な人でも参加できるように工夫されています。</p> <p>教官連絡先 大学教育センター吉田研究室(共通教育棟3階) Email: ykana@yamaguchi-u.ac.jp オフィスアワー火曜日 13:00-16:00</p>					

系列 主題

分野 社会と組織

科目類型 包括

開設科目	キャリアデザイン	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全(工除く)	単位	2 単位	曜時限	金曜日 9・10 時限
担当教官	辻多聞				
<p>授業概要 キャリアデザインとは、一言で言うならば「人生設計」です。キャリアをデザインしていくうえで、5つの事項に誰もが遭遇します。(1) 長期にわたることなので、不確実でデザインのしようがない。(2) なにが起こるかわからないので、偶然に身を任せたいほうがいい。(3) いつもキャリアの問題を考えているのはうっとうしい。(4) 時代は、働く個人にキャリアについて考えるように要請し始めている。(5) 節目のときだけは絶対に強く意識してデザインすべきものがキャリアだ。(5)を除くと上記項目はキャリアデザインを行っていくうえでの葛藤といえます。皆さんは、大学生活をすでに半年以上終えました。そして大学生活にもそろそろ慣れてきたことと思います。一方で自身のキャリアについて考えながら大学生活を送っていかなければならない時期を迎えたとも言えます。つまり、すでに上記葛藤に遭遇している、もしくは近々遭遇する可能性がある状態です。葛藤に対する回答は自らの力で導き出すしかないとも言えます。しかし何のヒントもなく回答を出すことは非常に難しいと思われれます。本講義が、自身のキャリアを見つめてみる、デザインしてみる、さらにそのために大学生活で何をすべきかが見出せるきっかけとなることを願っています。</p> <p>授業一般目標 自分自身のキャリアデザインについて真剣に考えてみることを、さらに自身で考えたキャリアデザインにそって、より有意義に大学生活をすごすための目標を明確にすることを、この講義の目標とします</p> <p>教科書・参考書 教科書：適宜資料を配布する / 参考書：授業内で紹介する</p> <p>メッセージ 将来的には、一部をのぞいてほぼ皆さんは就職することになります。まずはキャリアデザインの一步として就職というものを知ってもらいたいと思います。次にキャリアデザインを進めるうえで、人とのコミュニケーションが非常に重要になります。この講義を通して自己表現能力を磨いてもらいたく思います。最後に、先人の様々な体験談から、自らのキャリアをデザインするきっかけ、さらにそれを実現するための大学生活のすごし方のヒントを見つけてもらいたいと思います。</p> <p>教官連絡先 ttsuji@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

系列 主題

分野 環境と人間

科目類型 包括

開設科目	香り人間	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全(工除く)	単位	2単位	曜時限	水曜日3・4時限
担当教官	渡辺雅夫				
<p>授業概要 この講義では、香りサンプルを提示しながら、「香り」と人間のかかわりを歴史的、生理学的、心理学的な面から考えていく。嗅覚生理学を基礎にして講義が組み立てられているが、香りの効用と利用について解説していく予定である。</p> <p>授業一般目標 我々の生活環境にある香りへの認識を深め、香りの作用について科学的な知識を持ち、香りとの上手なつきあい方を考えてもらうことを目的とする。また地域環境(文化を含めた)の保全を目指した、環境省の「かおり風景100選」事業(2001年秋選定)への理解を深めることを目的とする。</p> <p>成績評価方法(総合) 授業内に設問に答えてもらう小テスト、宿題/授業外レポート、期末試験1回を行う。下記の割合で総合的に評価する。授業の出席状況について、75%以上であること。</p> <p>教科書・参考書 教科書:資料プリントを配付する予定。/参考書:毎回の授業で紹介する。</p> <p>メッセージ 教室の都合により人数制限することがある。多人数講義となることが予想されるが、遅刻をせず、私語を慎み、携帯電話の電源を切るなど受講マナーを守ること。</p> <p>教官連絡先 E-mail:masao.w@yamaguchi-u.ac.jp 研究室:理学部3号館113号室(内線5767) オフィスアワー 月曜日14:30~16:00</p>					

系列 主題

分野 環境と人間

科目類型 包括

開設科目	教育,人間,環境及び科学	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全(工除く)	単位	2単位	曜時限	水曜日3・4時限
担当教官	澤本章				
<p>授業概要 日本が今後発展するには教育の力が必要と言われていています。そこで、日本の教育の実状について考え、今後どのようにすべきかを探ってみます。また、英国の教育の実状についても概説し、日本の教育の場合と比較します。さらに、世界の環境問題や日本の科学技術についても考えてみます。</p> <p>授業一般目標 日本の教育の実状、環境問題、技術的問題を把握し、これからの日本を発展させるためには、いかにすべきであるかを考える態度を養う。</p> <p>成績評価方法(総合) 出席:35%、授業中の態度:5%、授業外レポート:50%、授業内レポート:10%で評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書:教育の力で日本を変えよう,大谷 南海男,文芸社,2002年</p> <p>メッセージ 日本がこれからますます発展するためには、若い人の力が必要です。日本の教育を改善して、優れた人材を育成することが課題となってきます。日本の教育、英国の教育、環境問題、世界的に見た日本の技術力について説明し、総じて、今後、日本が繁栄するためには以下にすべきであるかについて考えます。</p> <p>教官連絡先 連絡先:山口大学 教育学部 技術教育 金属加工研究室 264号室、TEL / FAX:083-933-5395、E-mail sawamoto@yamaguchi-u.ac.jp オフィスアワー:毎週木曜日、10:20~11:50</p>					

系列 主題

分野 環境と人間

科目類型 包括

開設科目	人間と植物	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全(工除く)	単位	2 単位	曜時限	木曜日 1・2 時限
担当教官	高橋肇, 山内直樹				
<p>授業概要 人間は、植物を作物として栽培することで食料の安定供給を実現し、人口の急速な増加とともに現在の繁栄の礎を作ってきた。食料に関する科学は、高度な文明を身につけた人間にとって、もはや生産量の増加のみにとどまらず、品質、流通、貯蔵といった商品としての経済性にまで及んでいる。一方、植物は食料として利用されるだけでなく、人間の生活に溶け込み、人間の心に働きかけている。農業においても、従来の食料生産という枠を飛び出し、アグリビジネスという新分野が生まれている。本講義では、このような人間と植物との関係を、農業を中心に両担当者がそれぞれの見方で論じる。</p> <p>授業一般目標 本講義では食料の生産とその後の流通・貯蔵に関して講義することにより、人間と植物、特に農作物との係わりについて理解することを目標とする。</p> <p>成績評価方法(総合) 成績評価は山内50, 高橋50で評価し、その合計で示す。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 使用しない</p> <p>教官連絡先 yamauchi@yamaguchi-u.ac.jp, tadashi@agr.yamaguchi-u.ac.jp 研究室: 農学部3階330号室, 農学部1階128号室 オフィスアワー: 山内 金曜日 午後1時~5時 高橋 月~金曜日 午前7時~8時 月・火・木・金曜日 12時~12時30分</p>					

系列 主題

分野 環境と人間

科目類型 包括

開設科目	暮らしの中の動物	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全(工除く)	単位	2 単位	曜時限	木曜日 1・2 時限
担当教官	水野拓也, 中市統三, 木曾康郎, 那須哲之				
<p>授業概要 農学部獣医学科の各教官の専門分野の立場から、われわれの暮らしに係る動物について、さまざまな角度から平易に解説・考察し、動物に対する興味と理解を深めると共に、命の不思議さ、尊さ、人と動物の共存の重要性等を考える。</p> <p>授業一般目標 家畜から提供される肉、卵、乳は私たちの食生活の必需品です。伴侶動物は私たちの心を豊かにしてくれます。また、野山には野生動物が暮らしています。この授業を通じて動物と人間の共存についての考えを深めてもらいたい。</p>					

系列 主題

分野 自然と科学

科目類型 包括

開設科目	生命を科学する	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全(工除く)	単位	2 単位	曜時間	月曜日 5・6 時限
担当教官	中井彰ほか				
<p>授業概要 生命現象と医学・医療が自然現象の1現象とその制御であることを科学的に捉えられるよう、細胞や人体の構造・機能および病気のメカニズムや治療現場について、スライドや講義を通しリアルな概説を行う。</p> <p>授業一般目標 細胞や人体の構造・機能および病気のメカニズムや治療現場について概略を理解し、生命現象と医学・医療が自然の1現象とその制御であることを科学的に捉え、自分の意見を理論的に述べるができる。</p> <p>成績評価方法(総合) 各回の授業の終わりの20分くらいで、その日の授業に関するレポート(テーマは授業担当教員の指示に従う)の作成を各自が行い、いわゆる筆記試験は行わず、毎回のレポート評価と授業態度らを総合して全体の成績評価をする。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 特になし / 参考書: 特になし</p> <p>メッセージ 筆記試験はいたしませんので、毎回のレポートをしっかりと書けるようによく授業を聞いて下さい。</p>					

系列 主題

分野 自然と科学

科目類型 包括

開設科目	宇宙と人間	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全(工除く)	単位	2 単位	曜時間	金曜日 5・6 時限
担当教官	藤澤健太				
<p>授業概要 「宇宙」は極めて大きなスケールであり、その大きさゆえに我々「人間」の生活や感覚とはなんら関係がないようにも思える。しかし我々が使う時間は天体の運行に由来するものであるし、天気予報、テレビ放送やカーナビにも人工衛星技術が使われている。我々の身体を作っている物質は恒星内部の原子核反応によって作られたものであり、そもそも我々は宇宙の中に存在している。このように考えると、「宇宙」と「人間」にはいろいろな接点があると思えてくる。両者にはどのような関係があるのか自分で追求してみる、これが講義の概要であり、同時に目標である。</p> <p>授業一般目標 講義を通じて自分で調べ、考え、発表し、それが他者の考えと相互作用をする、ことを目標としている。簡単に言えば、宇宙と人間について知る、そして考えることが目標である。</p> <p>成績評価方法(総合) 出席とレポート(随時)によって総合的に評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 特になし。 / 参考書: 100億年を翔ける宇宙, 加藤万里子, 恒星社厚生閣, 2005年</p> <p>メッセージ 前半は基礎的な天文学の講義ですが、後半は様々なテーマについて考えて見ます。「宇宙」を題材にして、科学の考え方を講義したいと思っています。</p> <p>教官連絡先 藤澤健太(理・231) 083-933-5673</p>					

系列 主題

分野 自然と科学

科目類型 包括

開設科目	人間とバイオテクノロジー	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全(工除く)	単位	2 単位	曜時限	金曜日 5・6 時限
担当教官	滝本晃一 他 2 名				
<p>授業概要 生命の基礎は遺伝子です。遺伝子組み換えや遺伝子治療、遺伝子による個人の識別など遺伝子 DNA は私達の生活の中に深く関わっています。本授業では、遺伝子について概説し、遺伝子を傷つける環境要因としての紫外線について述べ、さらに遺伝子技術について概説する。我々の廻りには多種多様な食品が存在するが、それらの機能的性質や化学的特性、バイオサイエンス利用について述べる。全ての食物の基礎である植物を機能的に付加価値の高いものにするために従来から改変が加えられてきたが、それらについて紹介するとともに、植物遺伝子組み換えについて現状とその方法について開設する [注意] レポート提出など 3 名の教官全ての課題を満たすことが評価の条件。</p> <p>授業一般目標 バイオテクノロジーの背景となる生物学的知識を得、生命現象の基礎である遺伝子について理解を深め、さらに、バイオがどのように役立っているか、どのような可能性があるか、どのような問題があるかを考える素養を身につける。また、それらをもとにして我々の生活にどのように利用応用されているかを知る。</p> <p>成績評価方法(総合) 3名の教員がそれぞれ筆記試験をするか講義の内容についてレポートを課す。3名の教員全ての試験受験あるいはレポート提出をした者のみにについて成績評価を行う。</p> <p>メッセージ 3名の教員が担当します。順序は変更することがあります、授業で注意事項やレポート・試験のことを伝えますので、出席すること。3名の教員の試験やレポートを総合評価する。ケイタイの着信音がならないようにセットしておくこと。</p> <p>教官連絡先 電話 5868(滝本)、5853(松富)、5850(松井) オフィスアワー 随時</p>					

系列 主題

分野 健康とスポーツ

科目類型 包括

開設科目	スポーツの医学	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全(看護・検査・工除く)	単位	2 単位	曜時限	月曜日 5・6 時限
担当教官	神田隆ほか				
<p>授業概要 スポーツの楽しさは誰もが知っていますが、医学的に見てもスポーツは健康増進と疾病予防のためにたいへん重要です。「スポーツと医学」では、スポーツが身体に与える影響や病気との関りについて学びます。</p> <p>授業一般目標 健康増進と疾病予防に対するスポーツの重要性を理解するために、スポーツが身体に与える影響や病気との関りについて学習する。</p> <p>成績評価方法(総合) 7回行われる小テストの成績と、出席により評価する。</p> <p>教官連絡先 tanizawa@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

系列 主題

分野 健康とスポーツ

科目類型 包括

開設科目	ライフスタイルと健康	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全(看護・検査・工除く)	単位	2 単位	曜時限	水曜日 3・4 時限
担当教官	細井栄嗣				
<p>授業概要 人の健康状態が生活様式に左右されることは、今や広く知られている事実である。人々の意識は高齢化社会の到来に伴い、いかに長生きできるかではなく、いかに死ぬまで健康でいられるかに向けられるようになった。本講義では健康な生活を送るために欠かせないいくつかの要因について取り扱う。</p> <p>授業一般目標 栄養学の基礎、すなわちそれぞれの栄養素の働きについて理解する。運動やその他の活動と活性酸素の害との関係について正しい知識を身につける。また生活習慣病の予防法について理解する。</p> <p>成績評価方法(総合) 小テスト、レポート、期末試験で評価。出席が70%に満たない者は不可。</p> <p>教科書・参考書 教科書：五訂食品成分表 2006, 香川芳子監修, 女子栄養大学出版社, 2006 年 / 参考書：プリントを配布</p> <p>メッセージ 教科書は講義中にも頻繁に使用するので必ず購入すること</p> <p>教官連絡先 E-mail hosoi@yamaguchi-u.ac.jp Tell 933-5826 研究室 農学部 126、オフィスアワー：水曜日の昼休み+随時</p>					

後期 - 人文科学系列

系列 人文科学

分野 哲学

科目類型 総説

開設科目	哲学	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時限	火曜日 3・4 時限
担当教官	村田貴信				
<p>授業概要 歴史や自然、社会や世界、そしてなによりもまず自分自身について、立ち止まって見つめなおしてみる機縁になるように、以下の二点を基軸に据えて講義を展開する。(1) 自己と世界とにともに関わる人知の精髓を哲学史の展開のなかに探る。(2) ものごとを広く(多面的に)深く(根源的に)考えることの意味と意義とを理解する。</p> <p>授業一般目標 (1) 哲学の根本問題について考えてみる。(2) 哲学の対象と方法とにかんする基礎的な理解を得る。</p> <p>教科書・参考書 教科書：初回授業時に指示する。</p> <p>教官連絡先 0836-88-4521 kisin@ed.yama.tus.ac.jp</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 人文科学

分野 哲学

科目類型 総説

開設科目	哲学	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時限	水曜日 1・2 時限
担当教官	岩本光悦				
<p>授業概要 この講義は、カントの『道徳形而上学原論』第一章の内容全体を概観し、カントが考察した道徳的善の特徴を主題的に解明する。</p> <p>授業一般目標 カントの倫理学とそれ以前の倫理学の相違を明らかにすることを目的とする。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	倫理学	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全(生資除く)	単位	2 単位	曜時限	金曜日 3・4 時限
担当教官	柏木寧子				
<p>授業概要 現代倫理学入門 現代を生きていく上で直面する倫理的な問いについて考えます。そもそも倫理的な問いにはどのようなものがあるのでしょうか。また、その問いをめぐってどのような考え方が提出されてきたのでしょうか。問いが単に専門的学者のみのものでなく、私たちにも関わりのあるものだとなれば、私たちは何に拠り、どこを出発点として問いに近づいていったらよいのでしょうか。毎回の授業では、簡単明瞭な解答は得られないと思います。いったん何かしらの考えに行き着いたように思っても、のちに別の考えが生ずるということもあるでしょう。解答を急ぐのではなく、問いを問うということそれ自体を学んでみたいと考えます。</p> <p>授業一般目標 倫理学の素養を深めることで、豊かな人間性を発見するところを育み、自らが考え・判断・表現・行動・発信する能力を養う。</p> <p>成績評価方法(総合) 受講者には、毎授業の終了時、小レポートを作成・提出することが課せられます。授業内に扱った問いをめぐり、自らの関心・疑問等を論理的に表現する訓練を重ねるとともに、授業に対する主体的な取り組みの姿勢を見るねらいがあります。また、期末試験によって、理解の到達度、関心の深まりを見ます。平常の小レポートと期末試験との総合により、成績評価を行います。</p> <p>教科書・参考書 教科書：『現代倫理学入門』(講談社学術文庫 1267), 加藤尚武, 講談社, 1997 年; 文栄堂にて販売。定価 ¥945。 / 参考書：必要に応じてプリントを配付します。</p> <p>教官連絡先 kashiwg@yamaguchi-u.ac.jp 人文学部 4 階 410 研究室</p>					

開設科目	生命倫理学	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時限	木曜日 3・4 時限
担当教官	谷田憲俊				
<p>授業概要 医療には医学で解決できない諸問題が存在することを理解し、自らが考えて判断できる基礎を築くことを目的とする。そのため、授業では生命倫理・医療倫理に関する様々な課題を提供し、多様な視点からの議論を紹介する。学生には、それぞれについて意見を求め、討論をしながら授業を進めていく。さらに、課題についてのレポートを求め、自己の考えを整理しながら生命倫理に関する素養を修得できるようにする。</p> <p>授業一般目標 生命倫理の諸問題について自らが考え・判断する能力を養い、真に人間的な幸福・豊かさを探求するための「礎」を築く。</p> <p>成績評価方法(総合) 出席点 40%、レポート点 40%、試験結果 20%</p> <p>教科書・参考書 教科書：インフォームド・コンセント その誤解・曲解・正解, 谷田憲俊, NPO 医療ビジランスセンター, 2006 年 / 参考書：幸せをよぶコミュニケーション, ジャック・サロメ, 行路社, 2004 年; 講義資料はプリントとしては用意しないが、PowerPoint ファイルとして予め学生に e メールで送付することができる。</p> <p>メッセージ PowerPoint ファイル講義資料を希望する学生は、tanida@yamaguchi-u.ac.jp までメールすること。なお、ファイルが大きいので、大学のアドレス以外には送れない。また、さかのぼっての送付はしないし、講義終了とともに、この受付は停止するので、試験前になってから得ることはできないので留意すること。</p> <p>教官連絡先 tanida@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	生命倫理学	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時限	金曜日 3・4 時限
担当教官	村瀬ひろみ				
<p>授業概要 近年、科学技術の発展とともに、医療をめぐる技術にも大きな変化があります。また、病気の種類や治療に対する考え方も変化してきました。従来の「おまかせ医療」では、解決できない問題が出てきています。本授業では、脳死・臓器移植や、高度生殖医療などの最先端技術について倫理問題としての側面からアプローチします。医療者としてではなく、一般の医療サービスを受ける人としての立場から、技術内容、問題点を理解できるようにします。(もちろん、医療関係者の卵の方も大歓迎です)</p> <p>授業一般目標 近年、激動の医療現場では、さまざまな利害が衝突し、また、価値を伴う判断を迫られることになってきました。そのような場合に、判断の根拠となるものが「倫理」です。本講では、生命や医療にまつわる生命倫理学の立場から、さまざまな医療環境における問題を考える力を養うことを目的とします。</p> <p>成績評価方法 (総合) 基本的に、ペーパー試験のみとする。</p> <p>教科書・参考書 教科書：講義中に指示。プリントも使用予定。 / 参考書：医療倫理 I・II, グレゴリー・E・ペンス, みすず書房, 2000 年; 医の倫理, H・プロディ, 東京大学出版局, 1983 年; 私的所有論, 立岩真也, 勁草書房, 1997 年; 毎回、参考書を指示する。</p> <p>メッセージ 意欲的な取り組みを期待しています。</p>					

開設科目	日本史	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全 (獣医除く)	単位	2 単位	曜時限	月曜日 5・6 時限
担当教官	森下徹				
<p>授業概要 都市の歴史を通して日本史の展開を学ぶ。そのさい伝統都市を都城と城下町からなるものとし、うち後者の継承・それとの相克のなかで現代都市が成立するという見通しに立つ</p> <p>授業一般目標 都市の歴史的な展開過程から日本史の特質を理解すること</p> <p>成績評価方法 (総合) 毎回行う小テスト、および中間・期末テストの合計点</p> <p>メッセージ 受講制限を行うので、初回の授業には必ず出席のこと。</p>					

開設科目	日本史	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全 (獣医除く)	単位	2 単位	曜時間	月曜日 7・8 時限
担当教官	橋本義則				
<p>授業概要 日本古代史研究において研究の対象となる様々な史料を、それが書かれた素材別に取り上げ、それぞれの史料としての性格や史料として扱う際の問題点、特に史料としてどのようにして今日に残ったのか、あるいは残されたのかに留意しながら、それらを用いて史実を確定してゆく方法について述べる。そしてこの改訂を通じて歴史とはいかなるものであるのかにも説き及ぶことができればよいと考えている。</p> <p>授業一般目標 日本古代の史料を解釈し、当該時代の様相を復元する方法を学ぶことを通じて、歴史学の方法を学び、歴史的な考え方を理解する。</p> <p>成績評価方法 (総合) 学期末に試験を行う。</p> <p>教科書・参考書 教科書：指定されたホームページにアクセスして講義レジュメをダウンロードする必要がある。/ 参考書：授業中に適宜指摘する。</p> <p>メッセージ 講義レジュメのダウンロードと受講のためにノートパソコンが必携である。</p> <p>教官連絡先 y-hasi@yamaguchi-u.ac.jp 研究室：人文学部3階 オフィスアワー：一応、月・木の5時40分～6時40分、しかし時間のあるときはいつでも</p>					

開設科目	東洋史	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全 (獣医除く)	単位	2 単位	曜時間	月曜日 5・6 時限
担当教官	馬彪				
<p>授業概要 本講義は、中国伝統文化史の面より前近代の東洋史を紹介するものである。その内容は中国人の担当教員として、日本人の大学生によく聞かれる「漢字」「黄河」「兵馬俑」「故宮」「孔子」「廿四史」「天子」などに関する質問に答えるように設けた。それは中国における人間文化・空間文化・時間文化のような担当教員の独創的なわく組みである。</p> <p>授業一般目標 近年の中国における大きな社会変化は、21世紀の中国が人類の歴史に巨大な影響を与えるということを次第にはつきりと世の人に知らしめるようになった。「一衣帯水」の隣国である日本の大学生としては、その専門を問わず、中国文化を知る必要があるといえよう。この必要に応じるため、簡潔かつ分かりやすく悠久の歴史をもつ中国文化を教えることを目標とする。</p> <p>成績評価方法 (総合) 成績評価は基本的に出席(30%)と試験(70%)で行う。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	東洋史	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全 (獣医除く)	単位	2 単位	曜時限	金曜日 7・8 時限
担当教官	高木尚子				
<p>授業概要 日本近代史学の礎を築いた巨人である内藤湖南(1866-1934)の東洋史学の体系、とりわけ時代区分論を手がかりに、中国史の全体像を概説する。</p> <p>授業一般目標 日本の歴史を真に理解し、現代日本人がどのような時代を生きているのかについて深く思索するためには、東洋の歴史の全体像について理解することが重要不可欠である。東洋史=中国文化発展史と定義し、東洋史の一部として日本史を深く理解した内藤湖南の東洋史学の枠組みを参照しながら、中国史の全体像を理解し、私達自身の歴史や文化に対する認識を深め、自分自身について思索する力をつける。</p> <p>成績評価方法(総合) 期末試験により、目標の達成度を評価する。受講態度が悪い場合は、欠格とすることがある。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 適宜、プリントを配布する。/ 参考書: 内藤湖南全集 全14巻, 筑摩書房; 日本の名著41 内藤湖南, 中央公論社</p> <p>メッセージ 自ら学ぶ姿勢を求め</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	東洋史	区分	講義	開設期	後期
対象学生	工2年	単位	2 単位	曜時限	金曜日 7・8 時限
担当教官	金子 肇				
<p>授業概要 「東洋史」という学問内容から説き起こし、古代から近代に至る中国の歴史的な個性や特徴をいくつかのトピックを設定して概説し、さらに中国近現代史(19世紀中頃~現代)の基本的な流れを通観する。</p> <p>授業一般目標 幅広く包括的な中国史に関する知識を身につけるとともに、日本と中国との歴史的な政治・経済・社会の質の相違を理解する。</p> <p>成績評価方法(総合) 期末試験の結果と出席点から総合的に判断する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 教科書は使用しないが、適宜参考書を使用して自習してほしい。なお、授業では適宜プリント類を配布する。/ 参考書: 中国史(新版世界各国史3), 尾形勇・岸本美緒, 山川出版社, 1998年; 中国20世紀史, 姫田光義等, 東京大学出版会, 1993年</p> <p>メッセージ 歴史学は決して暗記の学問ではなく、諸々の歴史的な事象の因果関係を論理的に再構成していくことです。授業では、歴史の論理的流れに注目して聞いて下さい。</p> <p>教官連絡先 kaneko@shimonoseki-cu.ac.jp 非常勤のため、授業日以外に質問があれば上記のアドレスに連絡して下さい。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	西洋史	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全(獣医除く)	単位	2単位	曜時間	木曜日 5・6時限
担当教官	岩崎好成				
<p>授業概要 直接的には、なぜアウシュヴィッツの悲劇は生じたのか、との問いを軸に、「ユダヤ人」差別の歴史、特に近現代ドイツ史上のそれを分析する。が、その際に力点が置かれるのは、歴史を語る際のルールや歴史を学ぶ意義を吟味すること、更には、現代の日本に生きる「普通の人々」としての我々にも通ずる問題群を析出し、一種の教訓としてこれを考えることである。</p> <p>授業一般目標 1. 歴史学を構成する基本(=歴史を見、語る際の方法やルール、歴史を学ぶ意味や価値など)を習得する。2. 我々の行動や考え方を分析する際に有用な概念・視角を(ホロコースト分析から)取り出し吟味することを通じて、人間・社会についての理解を深める。3. 以上から、<他人事・余所事の歴史学・西洋史>からの脱却をめざす。</p> <p>成績評価方法(総合) 授業内の小テスト・小レポート(3, 4回程)と、中間、期末レポートで評価する。なお、遅刻者は大幅に減点されるので注意。</p> <p>教科書・参考書 教科書: プリントを配布する。/ 参考書: 授業中に指示する。</p> <p>メッセージ 授業開始後の入室を禁ずる。受講生数の制限あり(=教室に収容可能な数が200名以内)。第3講以降の受講開始は認めない。</p> <p>教官連絡先 iwasaki@yamaguchi-u.ac.jp 研究室: 教育学部4階</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	宗教学	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全(獣医除く)	単位	2単位	曜時間	火曜日 3・4時限
担当教官	ジュマリ・アラム				
<p>授業概要 宗教とは何か、その位置づけ、構図、研究方法について、各宗教の具体的な事例を見ながら考えていく。世界宗教として知られる制度化した宗教のみならず、民間信仰や自然集団としての宗教の存在と役割にも注目し、全体として宗教現象には、人間の行為、思考、生活様式、観念、規範などに関する、どのようなパターン・傾向・枠組みがあるのかを探っていく。</p> <p>授業一般目標 宗教という言葉が、いろいろな側面、定義、解釈、見方がある理解しにくくなったいま、宗教を人間にとって普遍的な宗教心を中心に据えた一つのプロセスとして位置づけ、ダイナミックなものとして体系的・包括的に捉える、宗教学的な枠組みと視点に親しむことを目標とする。</p> <p>成績評価方法(総合) 小テストまたはレポートを4回課す(10月、11月、12月、1月)</p> <p>教科書・参考書 教科書: 使用しない。/ 参考書: 必要となった場合に適宜案内する。</p> <p>メッセージ 授業はできるだけ体系的にわかりやすく、範囲を限定して行う。授業に出ることによって参加者が、毎回または全体として、宗教学や宗教研究に関する一定の内容や枠組みを身につけることを目指す。そのためには、参加者のほうも、毎回の授業に出席し、多少の復習をする必要がある。</p> <p>教官連絡先 ジュマリ・アラム / 電子メール: djumali@yamaguchi-u.ac.jp / ホームページ: http://alam.hmt.yamaguchi-u.ac.jp/ / 電話(研究室): 083-933-5220 / 研究室: 人文学部413号室</p>					

系列 人文科学

分野 心理学

科目類型 総説

開設科目	心理学	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全(生資除く)	単位	2単位	曜時限	火曜日 1・2時限
担当教官	名島潤慈				
<p>授業概要 心理学の基本的な事柄について講義する。</p> <p>授業一般目標 心理学のなかでも人格心理学・発達心理学・臨床心理学に関する講義を通して、人間の心の仕組みや不適応の機制を受講者が理解できるようにする。</p> <p>成績評価方法(総合) 中間試験、期末試験、出席などから総合的に評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：臨床場面における夢の利用, 名島潤慈, 誠信書房, 2003年</p> <p>教官連絡先 Email:najima@yamaguchi-u.ac.jp 電話：083-933-5465</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 人文科学

分野 心理学

科目類型 総説

開設科目	心理学	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全(生資除く)	単位	2単位	曜時限	火曜日 1・2時限
担当教官	木谷秀勝				
<p>授業概要 心理学の講義では、日常の人間行動への心理学的理解を通して、人間行動の背景にある心の世界について、科学的に解明することを目的とする。</p> <p>授業一般目標 心理学を通して、自分自身や他者、あるいはさまざまな社会現象に対する多面的な視点や発想の柔軟性を習得する。</p> <p>成績評価方法(総合) 評価は、出席点、レポート、さらに平素の講義態度で行う。</p> <p>教科書・参考書 教科書：生活にいかす心理学 Ver.2, 古城和子編著, ナカニシヤ出版, 1999年 / 参考書：必要な資料は適宜紹介する</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	心理学	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全(生資除く)	単位	2 単位	曜時限	火曜日 7・8 時限
担当教官	松岡勝彦				
<p>授業概要 主として、問題解決志向の心理学(行動心理学)の観点から、人間の行動原理について理解し、問題を解決・改善するための方法や留意点などについて習得する。</p> <p>授業一般目標 (1)心理学(行動心理学を含む)の概要について習得する。(2)日常行動の理解と問題の解決・改善方法について習得する。(3)心理学の社会貢献について知る。</p> <p>成績評価方法(総合) 期末試験が中心となりますが、中間テストも実施する予定です。</p> <p>メッセージ 人数制限を行いますので、初回には必ず出席してください(100名以内とする)。原則として初回に出席した人のみ履修を認めます。日常場面における私たちの行動について理解を深めるため、受講生同士によるグループ討論を積極的に行います。</p> <p>教官連絡先 kmatsu@yamaguchi-u.ac.jp</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	心理学(心のとらえ方)	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全(生資除く)	単位	2 単位	曜時限	木曜日 9・10 時限
担当教官	田邊敏明				
<p>授業概要 本講義は、心理学の概念や理論がどのような見方から生まれたかを心のとらえ方(比喩)から解説する。授業では、知覚、認知、学習などの領域ごとに概念を説明していくが、そのなかで、各概念・理論がどのようなとらえ方(比喩)から成り立っているかについても触れる。心理学の歴史を眺めると、心を機械に見立てたり、有機体に見立てることが行われてきた。最近では状況主義の見方もある。心理学の概念は仮説構成体と呼ばれ、他の学問から借りてきた概念で説明することが多い。さらにそれらの概念はその時代に流行した見方を反映している。理論をただ暗記するのではなく、その理論が導かれた背景まで気づきたい。</p> <p>授業一般目標 心理学の概念を、ただ理解するだけでなく、それが導かれてきた背景まで気づけるような授業にしたい。その方法の一つが心理学概念がどのようなとらえ方(比喩)から成り立っているかを明らかにすることである。受講生には、心の見方にもその背景があることに気づいてもらいたい。</p> <p>成績評価方法(総合) 基本的には期末試験を重視するが、途中で行う課題の提出も重要な評価対象となる。さらに、心理学の理論や概念を理解するのはもちろんのこと、それらがどのような基本的とらえ方から成り立っているかについての興味関心や、自分なりに理解していく姿勢が見られるかどうかにも評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：比喩から学ぶ心理学：心理学理論の新しい見方、田邊敏明著、北大路書房、2000年；比喩から学ぶ心理学 - 心理学理論の新しい見方 - (北大路書房)</p> <p>メッセージ 受講希望者は最初の授業に必ず出席してください。その出席で受講許可を修了します。</p> <p>教官連絡先 ttanabe@yamaguchi-u.ac.jp, オフィスアワー 火曜日 18:00 ~ 19:00</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 人文科学

分野 文学

科目類型 総説

開設科目	日本文学	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全(獣医除く)	単位	2 単位	曜時限	木曜日 7・8 時限
担当教官	岸本憲一良				
<p>授業概要 文学作品の購読を行う。主として児童文学を扱い、絵本を紹介するとともに、宮澤賢治、あまんきみこ、谷川俊太郎、くどうなおこなどを取り上げる。</p> <p>授業一般目標 文学作品を鑑賞し、作品のテーマ、表現の工夫等について理解するとともに、文学に対する興味・関心を養う。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験において、知識・理解、思考・判断等について評価する(60%)。講義内に行う小テスト、課題レポート等により、知識・理解、思考判断、関心・意欲等について評価する(40%)。なお、態度面は出席状況、課題レポートの提出等によって評価するが、出席については欠格条件とする。</p> <p>教科書・参考書 教科書：プリント等を配布する。/ 参考書：プリント等を配布する。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 人文科学

分野 文学

科目類型 総説

開設科目	漢文	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全(獣医除く)	単位	2 単位	曜時限	金曜日 5・6 時限
担当教官	増子和男				
<p>授業概要 本授業では、漢文すなわち中国古典語で書かれた文献を精読する。</p> <p>授業一般目標 本授業では、東アジア文化圏の共通文書言語であった中国古典語(漢文)を日本語化して読む方法(漢文訓読法)の基礎的事項の確認と更なる読解力の養成を目指す。その用語や語法・句法に慣れ、その内容を理解し、更にはその発想のパターンなども理解できるようにしたい。</p> <p>成績評価方法(総合) 期末試験を実施する。漢文訓読の基礎的知識と読解力に重点を置いた問題を作成する予定である(100点満点)。期末試験のみの評価ではあるが、出席回数が基準に満たない者は受験資格を失い、成績評価の対象から外すので、その点気をつけて欲しい。</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国詩文 改訂版, 中国詩文研究会, 中国詩文研究会, 2003 年; 漢文研究の手びき 四訂増補版, 中国詩文研究会, 中国詩文研究会, 2003 年 / 参考書：授業時に示すほか、必要に応じて適宜プリントを配布する予定。</p> <p>メッセージ 漢文は省略の言語と呼ばれ、必要最低限の情報のみ示されていることが多い。従って、そこに示された一字一句をもおろそかにせず、その背後に横たわる事柄にも眼を配って欲しい。</p>					

系列 人文科学

分野 文学

科目類型 総説

開設科目	外国文学(中国文学)	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全(獣医除く)	単位	2単位	曜時限	木曜日5・6時限
担当教官	阿部泰記				
<p>授業概要 この時間は中国の古典文学を紹介する。『書経』『詩経』『史記』など受講者がおなじみのものから始めて『三国志』など楽しい小説も鑑賞する。一作品を二回で紹介することができればと考えている。</p> <p>授業一般目標 古くから日本の文化に影響を与えてきた中国の文学作品の主旨を理解することが目標。</p> <p>成績評価方法(総合) 授業を聴いて、その内容に関連する書籍や文章を調べて受講者が考察を深める。</p> <p>教科書・参考書 参考書：中国文学史、中国文学に関する研究書、中国文学作品の叢書、たとえば明治書院『新釈漢文大系』など。</p>					

系列 人文科学

分野 言語学

科目類型 総説

開設科目	言語学	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全(獣医除く)	単位	2単位	曜時限	木曜日7・8時限
担当教官	磯部佳宏				
<p>授業概要 日本語の諸問題～戦後の国語改革を手がかりに～ 第二次世界大戦後の国語改革をめぐって、日本語の諸問題について考えていく。また、随時、日本語に関するトピックも取り上げる。</p> <p>授業一般目標 日本語に関する基本的な知識を身につけ、実際に正しい日本語が使えるようになることを目指すとともに、問題点の所在を見つけ、主体的に考える姿勢を獲得することを目標とする。</p> <p>成績評価方法(総合) 期末試験を主たる評価の対象とする。毎回、授業時に用紙を配布し、出席の確認を兼ねて、指示する内容について記入してもらう。</p> <p>教科書・参考書 教科書：新しい国語表記ハンドブック, ,三省堂, 1991年; 教科書は生協で取り扱う。</p>					

開設科目	芸術史(日本近代美術史)	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全(獣医除く)	単位	2単位	曜時限	月曜日 9・10時限
担当教官	菊屋吉生				
<p>授業概要 日本の明治以降の近代日本美術史の諸問題について論じる。近年この分野では、若い研究者による観点に立った意欲的な論文、著書の発表や、あるいは各地の美術館などで、それまであまり知られなかった近代の美術動向や作品に焦点が当てられた展覧会が次々に行なわれ、飛躍的にその研究の厚みが増しつつある。この講義では、そうした近年の新しい研究成果もふまえて、とくに重要と思われるいくつかのテーマを設定しながら、日本の近代美術が抱えてきたさまざまな問題について考察してみたい。</p> <p>授業一般目標 (1) 近代日本美術に関する近年の問題点を理解する。(2) 明治以降の日本の美術の発達にまつわる近代の状況を、世界の動きと対比しながら考察する。</p> <p>成績評価方法(総合) 授業のなかでレポートを書いてもらうことも考えている。試験はノートの持ち込みは認めたい。そのためノート記述はしっかりやってもらいたい。その際、授業中にその内容をふまえた上で自ら考えたことをメモしておいてもらうと役立つと思う。</p> <p>教科書・参考書 教科書：テキストはとくにないが、授業のなかでレジュメを配りたい。/ 参考書：参考書に関しては、授業のなかでその都度明示する。</p> <p>メッセージ 授業の内容および使用教室のキャパシティの関係で、履修者を90名までとしたい。人数を越えた場合は初めに抽選を行なうので、必ず出席すること。</p> <p>教官連絡先 kikuya@yamaguchi-u.ac.jp 研究室：教育学部2階</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	芸術概論(音楽の歴史)	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全(獣医除く)	単位	2単位	曜時限	火曜日 3・4時限
担当教官	池上敏				
<p>授業概要 西洋音楽を基本にした基礎的な音楽史を講じます。当然ですが、音楽はヨーロッパのみにあるのではないのですが、なぜ西ヨーロッパの音楽が世界の音楽の主流たり得たのか、その理由、あるいは秘密を受講生の皆さんと共に考えて行きたい。</p> <p>授業一般目標 西洋の古典音楽を中心とした音楽史の基礎的理解、文化史としての、世界史的視野からの音楽史の観念の獲得。</p> <p>成績評価方法(総合) 出席状況、講義内容の理解度、期末テスト(一斉テストの形式は行わない、レポート形式)の記述内容などを総合的に判断し、評価を行う。期末試験(レポート形式)を提出しなかった受講者は「受験せず」の扱いとする。</p> <p>教科書・参考書 教科書：特に定めない。/ 参考書：授業時間中に必要に応じ適宜紹介する。</p> <p>メッセージ 最初の時間に必ず出席する事。最初の時間に配付する出席票、及び受講票を両方もれなく、正当な手続きをもって提出した者のみ受講を可とする。例外は一切認めない。また、講義中に私語をしない自信のある人のみ受講可。特に音楽が鳴っている時に私語するような学生はこの科目の受講資格を満たしていない。受講希望者が極めて多く、正常な状態で講義等が行う事が困難、と判断した場合には受講制限を行う事を承知されたい。決定の方法等は授業者の裁量による。世界史の基礎的な素養があることが好ましい、正確で深い理解のためには不可欠である。</p> <p>教官連絡先 担当教員研究室(教育学部音楽棟109研究室)、オフィスアワーは年度始めに決定する。</p>					

系列 人文科学

分野 芸術

科目類型 総説

開設科目	芸術概論(音楽)	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全(獣医除く)	単位	2単位	曜時間	火曜日3・4時限
担当教官	齋藤完				
<p>授業概要 「日本音楽とは何か」を考えつつ、その歴史を概観しながらそれぞれの音楽ジャンルの鑑賞をおこなう。なお、鑑賞は「楽しむ」ためではなく、「理解を深める」ためにおこなうことを前提としている。</p> <p>授業一般目標 日本音楽の自明性を批判的に考察したのちに、日本音楽史をジャンルごとに鑑賞しながら概観する。なお、鑑賞の範囲はいわゆる「日本伝統音楽」のみならず、近代以降の「洋楽」ならびにそれに影響を受けて発生したジャンルをも対象とする。また、学期中をとおして特定のジャンルを鑑賞し続けることで、そのジャンルに対する鑑賞眼を養うこともおこなう。なお、鑑賞は「楽しむ」ためではなく、「理解を深める」ためにおこなうことを前提としている。</p> <p>成績評価方法(総合) 毎回実施するレポートと期末のレポート、さらには出席によって評価する。出席50%、レポート50%(100-[欠席回数x20])x0.5+(レポートor試験の得点x0.5)=総合得点</p> <p>教科書・参考書 教科書：必要に応じてプリントを配布する。/参考書：日本の音、小泉文夫、平凡社；漱石が聴いたベートーヴェン、瀧井敬子、中公新書；声の国民国家・日本、兵藤裕己、NHKブックス；ギターは日本の歌をどう変えたか、北中正和、平凡社；民謡秘宝紀行、齋藤完、白水社；いずれも読みやすい読み物なので、日本音楽への理解を深めるために参考にして欲しい。</p> <p>メッセージ 受講希望者が定員を超えた場合は、志望動機に基づく選考をおこなう(クジではない)。第一回目の授業に欠席/遅刻した者に対しては、原則として受講を認めない(定員越えにともなう選考の対象にもならない)。また、遅刻/早退に関しては厳しくチェックする。私語も厳禁。</p> <p>教官連絡先 mnsaito@yamaguchi-u.ac.jp 必ずアポイントメントをとってから来室のこと</p>					

系列 人文科学

分野 芸術

科目類型 総説

開設科目	芸術概論(美術)	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全(獣医除く)	単位	2単位	曜時間	水曜日3・4時限
担当教官	福田隆真				
<p>授業概要 西洋美術の近代の表現の変遷と日本美について解説する。</p> <p>授業一般目標 西洋の近代絵画の表現様式を知る。日本美の特性について知る。</p> <p>メッセージ 出席して鑑賞して感じることを重視する。</p>					

系列 人文科学

分野 芸術

科目類型 総説

開設科目	芸術実践(美術)	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全(生資・獣医除く)	単位	2単位	曜時間	水曜日 3・4時限
担当教官	上原一明				
<p>授業概要 彫刻世界の講義と実技をします。スライドによる作品紹介と彫刻理論の講義。古代遺跡や、仏像彫刻の古典技法などをさぐりながら、現代彫刻との関連性を探る。実技は最も基本的な粘土によるレリーフと石膏取り、テラコッタを制作する。</p> <p>授業一般目標 彫刻世界の知識を高めると共に、社会にどう関係しているのかを認識する。</p> <p>成績評価方法(総合) レポートと、作品提出。</p> <p>教科書・参考書 教科書：適時プリント配布 / 参考書：適時プリント配布</p> <p>教官連絡先 上原研究室</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 人文科学

分野 芸術

科目類型 総説

開設科目	芸術実践(音楽)	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全(教・生資・獣医除く)	単位	2単位	曜時間	木曜日 7・8時限
担当教官	西村順子				
<p>授業概要 ピアノの演奏実践を行う授業である。個々の目的と力量に応じて、それぞれの課題をピアノ演奏する。</p> <p>授業一般目標 各自、期末に向けて目標を立て、その目標に向けて取り組んでいく。クラシックに限らず、ポピュラーミュージックや連弾等、様々な希望も OK。</p> <p>成績評価方法(総合) (1)受講者全員での試演会により、形成評価を行う。(2)出席が所定の回数に満たない者には単位を与えない。</p> <p>教科書・参考書 教科書：必要な楽譜を各自準備</p> <p>教官連絡先 jun_n@yamaguchi-u.ac.jp 研究室(内線 5363)</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 人文科学

分野 芸術

科目類型 総説

開設科目	芸術実践 (音楽)	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全 (教・生資・獣医除く)	単位	2 単位	曜時限	木曜日 7・8 時限
担当教官	成川ひとみ				

授業概要 ピアノ曲の演奏に取り組む。
授業一般目標 各自の能力と目的に適したピアノ曲を選曲し、個別の実技指導を行う。
成績評価方法 (総合) 1. 公開による実技試験を行う。 2. 出席が所定の回数に満たない者には単位を与えない。
教科書・参考書 教科書：必要な楽譜を各自準備
メッセージ 個別指導となる為、受講人数を8人程度までとする。
教官連絡先 nr1103@yamaguchi-u.ac.jp 学内内線 5364
備考 工学部 JABEE 対応科目

系列 人文科学

分野 芸術

科目類型 総説

開設科目	芸術実践 (音楽)	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全 (教・生資・獣医除く)	単位	2 単位	曜時限	木曜日 7・8 時限
担当教官	林満理子				

授業概要 それぞれの力量に合わせた曲を教材として、体の使い方、発声、呼吸など、歌うための基本を学ぶ。
授業一般目標 発声の基本をふまえ、教材を歌う事ができる。
備考 工学部 JABEE 対応科目

開設科目	芸術実践 (音楽)	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全 (教・生資・獣医除く)	単位	2 単位	曜時限	木曜日 7・8 時限
担当教官	高橋 雅子				
<p>授業概要 いろいろな合唱曲を演奏することによって、合唱の楽しさを味わい、その奥深さの一端に触れる。発声練習・パート練習・アンサンブル活動を通して、声の正しい出し方を知り、ひとりでは成し得ないハーモニーの醍醐味を味わうことを目指している。日本の代表的な合唱曲、世界の名曲や民謡、季節を感じる曲など、初心者の学生でも達成感を得られるような選曲を心がけている。</p> <p>授業一般目標 正しい声の出し方を獲得する。自分のパートを正しい音程で歌うことができる。他のパートの音を聴きながら歌うことができる。指揮者の指示にしたがって演奏できる。</p> <p>成績評価方法 (総合) 出席 (欠格条件) 演奏技能や態度など (70%) レポート (30%)</p> <p>教科書・参考書 教科書: 適宜楽譜を配布する。</p> <p>メッセージ 合唱大好き人間、集まれ!</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

後期 - 社会科学系列

開設科目	法学	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全(経除く)	単位	2単位	曜時間	水曜日 3・4時限
担当教官	三間地光宏				
<p>授業概要 「法とは何か」「わが国の法制度の概要はどうなっているか」といったことを学習したのち、契約・婚姻・離婚・相続など身近な法律問題についての初歩を学ぶ。</p> <p>授業一般目標 (1) わが国の法制度の概要を理解する。(2) 市民生活を送る上で知っているとは有益だと思われるような法律に関する基礎知識を身につける。</p> <p>成績評価方法(総合) 成績評価は期末試験の結果による。ただし4回以上欠席した者には期末試験の受験を認めない(なお、課題をやったにもかかわらず、授業中に居眠りした場合、授業中にメールの送受信をした場合及び授業中に他の授業の準備をした場合には欠席扱いとする。)。また、授業中に以下の行為を行った者も受験資格を失う。(1) 私語 (2) 飲食 (3) 大学祭等のチケットを売り買いしようとする行為 (4) その他ほかの受講者の受講を妨げる行為</p> <p>教科書・参考書 教科書：現時点では未定。第1回目の授業の際に指示する。/ 参考書：スタートライン債権法(第4版)、池田真朗、日本評論社、2005年；家族法読本、泉久雄、有斐閣、2005年；総則・物権総論(民法/内田貴著；1)第3版、内田貴、東京大学出版会、2005年；アクチュアル民事の訴訟、福永有利・井上治典、有斐閣、2005年</p> <p>メッセージ 受講の際には必ず六法(有斐閣・三省堂・岩波書店から刊行されているもの)を持参すること。</p> <p>教官連絡先 メールアドレスは授業の際に配布するプリントに記載する。現時点ではオフィスアワーは未定。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	ベンチャービジネス論	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全(経・医学・獣医除く)	単位	2単位	曜時間	金曜日 5・6時限
担当教官	稲葉和也				
<p>授業概要 ベンチャー企業とは「リスクを恐れず新しい領域に挑戦する若い企業」のことを指します。従来の新規開業企業と異なるのは、高い志や目標を持ち、起業家自身が高度な専門能力と困難に耐え抜く忍耐力を持ち、創造的かつ才能のある人を集める事業を創業し、高収益で高成長する企業を作り出すという点にあります。バブルが崩壊した後、グローバル化が進展し、情報ネットワーク化の本格的な展開によって産業構造が変わり、新しい競争の段階を迎えています。このようなベンチャー企業に対する存立条件をどのように活用して、新しいビジネスチャンスを生み出していけばよいのでしょうか。日本経済が元気を取り戻すためには、国内・国外を問わず通用する高付加価値商品を生み出し、グローバルに新市場の開拓を図ることが必要とされます。独創性・多様性・柔軟性・即応性に富んだ、旺盛な起業家精神を持つ人材を生み出す、多くのベンチャー企業が生まれることが期待されます。</p> <p>授業一般目標 日本企業では経営者の能力を持った人材が不足しています。企業が多角化、リストラをはかり、これまで経験したことのない新分野に出て行く時に求められるのはリーダーとしての経営能力です。この講義では経営者の人材の育成を目標としています。</p> <p>成績評価方法(総合) 受講生の理解度、意欲を高めるために事業計画の提出、レポートを課することがあります。試験の結果、及び出席状況、レポートを加味して評価します。</p> <p>教科書・参考書 教科書：『ベンチャー企業』日経文庫1069、松田修一、日本経済新聞社、2005年</p> <p>メッセージ 何か分からないことがありましたら遠慮なく聞きに来てください。</p> <p>教官連絡先 E-mail: inaba@tokuyama-u.ac.jp</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	社会科学概論	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全(獣医除く)	単位	2 単位	曜時間	水曜日 1・2 時限
担当教官	山下 訓				
<p>授業概要 現代社会の仕組みと現状・問題点を、環境問題、経済活動、政治などについて、資料集の多くの材料をもとに考えます。入門的な講義であり、一つ一つを深く掘り下げることはできませんが、社会において何が正しいのか、正しいこととされていることが時代と共に変化するという点を皆さんと一緒に考えていきたいと思います。様々な問題を提起していきたいと思います。</p> <p>授業一般目標 社会科学に関連する諸問題に広範囲にふれ、今後皆さんが社会の問題を考えていくための基礎知識を得ることがねらいです。単に善悪だけで判断するのではなく、意味があるか無いかという側面からも問題を考察することも大事です。</p> <p>教科書・参考書 教科書：『(テーマ学習) 資料集 現代社会 2007』<一橋出版> 『(豊富な資料と詳しい解説) 倫理資料集 改訂版』<数研出版> 上記2冊とも最新版</p> <p>メッセージ 社会科学に興味を学生諸君にもって貰いたいので、受講制限はしません。しかし、学生諸君を評価しなければいけません。多くのレポートだけでなく、出席代わりの調べ物を提出してもらって初めて評価の対象となります。したがって、大量のレポート・調べ物を提出しても不可になることも充分覚悟の上で履修してください。</p> <p>教官連絡先 yamasita@yamaguchi-u.ac.jp 内線 5 5 1 8 参加者と相談して決める</p>					

開設科目	日本国憲法	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時間	木曜日 7・8 時限
担当教官	立山紘毅				
<p>授業概要 2005 年秋の衆議院選挙圧勝の勢に乗って、自由民主党は日本国憲法の改正試案を発表した。もちろん、こうした出来事は今に始まったことではなく、日本国憲法は常に政権与党の改憲圧力にさらされ続けてきた、という異様な過去をもつ。もちろん、憲法の基本性格が政権担当者を法の下に拘束する、というものである以上、権力者にとっては「めの上のこぶ」に等しい存在であることは古今東西を問わない。ただ、そこには一つに政治・社会風土における日本的な特質が検出され、もう一つに戦後史の影が大きく反映されている。この講義では、昨年発表された自民党憲法改正試案を出発点として、その基本性格を分析する中から、日本国憲法の本来もつべき価値を抽出し、さらに過去へ遡って憲法改正論の推移をたどろうとするものである。</p> <p>授業一般目標 上述したとおり、憲法は生きた政治を相手にする法であるとともに、きわめて原理的な(哲学的とさえいえる)考察を必要とする法である。したがって、講義は多面的な性格をもたざるをえないが、「憲法改正論」を手がかりとして、その全貌に及ぼうとするものである。したがって、間違っても中学・高校の延長上にはない、と頭を切り替えて臨んでほしい。</p> <p>成績評価方法(総合) 私の講義では、基本的に定期試験での成績をほぼ 100%として評価する。講義外でのレポートなども加味することはありうるが、夏期休業前に講義を全部終える、との制度「改変」のため、一冊分厚い書物を読んで、長いレポートをみっちり書いてもらう、という手法は事実上不可能となった(それに拍車をかけているのが「ハッピー・マンデー」とやらである。これも「法律上の制度」である)。また、実社会では、おおむね「結果すべての一発勝負」が「評価」であることや、「多面的な観点からの評価」のときは「学校」の中での甘い言い訳に過ぎないことも十分承知しておかれない。</p> <p>教科書・参考書 教科書：特に指定しない / 参考書：講義の展開に応じて指示する</p> <p>教官連絡先 オフィス・アワーは設定していないが、種々の理由から、在室は不定時なので、事前に e-mail でアポイントメントを取っていただきたい。</p>					

開設科目	日本国憲法	区分	講義	開設期	後期
対象学生	工2年	単位	2単位	曜時限	木曜日 7・8時限
担当教官	立山紘毅				
<p>授業概要 2005年秋の衆議院選挙圧勝の勢に乗って、自由民主党は日本国憲法の改正試案を発表した。もちろん、こうした出来事は今に始まったことではなく、日本国憲法は常に政権与党の改憲圧力にさらされ続けてきた、という異様な過去をもつ。もちろん、憲法の基本性格が政権担当者を法の下に拘束する、というものである以上、権力者にとっては「めの上のこぶ」に等しい存在であることは古今東西を問わない。ただ、そこには一つに政治・社会風土における日本的な特質が検出され、もう一つに戦後史の影が大きく反映されている。この講義では、昨年発表された自民党憲法改正試案を出発点として、その基本性格を分析する中から、日本国憲法の本来もつべき価値を抽出し、さらに過去へ遡って憲法改正論の推移をたどろうとするものである。</p> <p>授業一般目標 上述したとおり、憲法は生きた政治を相手にする法であるとともに、きわめて原理的な(哲学的とさえいえる)考察を必要とする法である。したがって、講義は多面的な性格をもたざるをえないが、「憲法改正論」を手がかりとして、その全貌に及ぼうとするものである。したがって、間違っても中学・高校の延長上にはない、と頭を切り替えて臨んでほしい。</p> <p>成績評価方法(総合) 私の講義では、基本的に定期試験での成績をほぼ100%として評価する。講義外でのレポートなども加味することはありうるが、夏期休業前に講義を全部終える、との制度「改変」のため、一冊分厚い書物を読んで、長いレポートをみっちり書いてもらう、という手法は事実上不可能となった(それに拍車をかけているのが「ハッピー・マンデー」とやらである。これも「法律上の制度」である)。また、実社会では、おおむね「結果すべての一発勝負」が「評価」であることや、「多面的な観点からの評価」のときは「学校」の中での甘い言い訳に過ぎないことも十分承知しておかれない。</p> <p>教科書・参考書 教科書：特に指定しない/参考書：講義の展開に応じて指示する</p> <p>教官連絡先 オフィス・アワーは設定していないが、種々の理由から、在室は不定時なので、事前にe-mailでアポイントメントを取っていただきたい。</p>					

開設科目	日本国憲法	区分	講義	開設期	後期
対象学生	工(電気・知能・感性・循環)	単位	2単位	曜時限	木曜日 9・10時限
担当教官	上杉信敬				
<p>授業概要 わが国の最高法規である憲法について考察する。その際、国民が主権者であることを踏まえて、国民主権、三権分立、人権保障、平和主義などについてみていく。</p> <p>授業一般目標 現行日本国憲法の内容について基本的なことを理解すること。</p> <p>教科書・参考書 教科書：開講時に指示する。/参考書：開講時に指示する。</p> <p>メッセージ 憲法が規定する重要原則—国民主権、三権分立、人権保障、平和主義、などについて考えよう。</p> <p>教官連絡先 内線5588</p>					

系列 社会科学

分野 法学

科目類型 総説

開設科目	日本国憲法	区分	講義	開設期	後期
対象学生	実践・情報・健康・総文	単位	2 単位	曜時限	金曜日 5・6 時限
担当教官	石 龍潭				
<p>授業概要 本講義では、近代立憲主義の基本原則及び日本国憲法の保障する基本的人権の内容を中心に説明していく予定である。日本国憲法に対して、学生諸君には主体的な認識と解釈を形成してもらいたいが、その素材を幅広く、具体的に提供したいと考えている。</p> <p>授業一般目標 日常生活のいたるところに憲法問題が潜んでいることを知り、そうした問題に対して憲法の基本的知識を活用して一通りの説明が出来るようになることを目標とする。</p> <p>成績評価方法(総合) 筆記試験による。</p> <p>教科書・参考書 教科書：開講時に指示する。/ 参考書：開講時に指示する。</p> <p>メッセージ 日頃から新聞の政治欄・国際欄に興味を持ってもらいたい。</p> <p>教官連絡先 質問等のある学生は、気軽に私の研究室に来てください。(研究室：経済学部 A 棟 408 室)</p>					

系列 社会科学

分野 法学

科目類型 総説

開設科目	日本国憲法	区分	講義	開設期	後期
対象学生	理	単位	2 単位	曜時限	金曜日 7・8 時限
担当教官	入江祥子				
<p>授業概要 日本国憲法の基本事項(基本原則、歴史、人権)を中心に、ニュースや判例をまじえて講義する。</p> <p>授業一般目標 (1)主権者に必要な素養を身につける。(2)憲法改正問題を考えるにあたっての必要知識を身につける。</p> <p>成績評価方法(総合) (1)毎回授業の最後に小テストを実施する。(2)期末試験を実施する。(3)受講態度も考慮する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：毎回レジュメを配布する。欠席回のレジュメは再配布しないので、各自で対処すること。</p> <p>メッセージ 日本国憲法について問題意識をもった学生の受講を望む。</p> <p>教官連絡先 質問等は授業時間の前後にお願いします。</p>					

系列 社会科学

分野 法学

科目類型 総説

開設科目	日本国憲法	区分	講義	開設期	後期
対象学生	経・医・農	単位	2 単位	曜時限	金曜日 9・10 時限
担当教官	入江祥子				
<p>授業概要 日本国憲法の基本事項(基本原理、歴史、人権)を中心に、ニュースや判例を交えて講義する。</p> <p>授業一般目標 (1)主権者に必要な素養を身につける。(2)憲法改正問題を考えるにあたっての必要知識を身につける。</p> <p>成績評価方法(総合) (1)毎回授業の最後に小テストを実施する。(2)期末試験を実施する。(3)授業態度も考慮する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 毎回レジュメを配布する。欠席回のレジュメは再配布しないので、各自で対処すること。</p> <p>メッセージ 日本国憲法について問題意識をもった学生の受講を望む。</p> <p>教官連絡先 質問等は授業時間の前後にお願いします。</p>					

系列 社会科学

分野 政治学

科目類型 総説

開設科目	政治学	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全(経・獣医除く)	単位	2 単位	曜時限	月曜日 5・6 時限
担当教官	瀬藤厚				
<p>授業概要 政治とは何か、政治学とはどのような学問なのか、について最初解説する。そこでは現代社会が政治という手段なくしては成立しないことの意味を求めていきたい。現代を生きる私たちは、すべて「政治的人間」であることを自覚して欲しい。</p> <p>授業一般目標 他者同調型ではなく、自立した一人の人間として、「市民」として主体的な判断ができる人間としての教養を身につける</p> <p>教科書・参考書 教科書: 戦争と平和の政治学, 瀬藤厚, 北樹出版, 2005 年 / 参考書: 文民統制, 瀬藤厚, 岩波書店, 2005 年; 現代の戦争, 瀬藤厚, 岩波書店, 2003 年; 文民統制, 瀬藤厚, 岩波書店, 2005 年</p> <p>メッセージ 君自身の言葉で時代を掴め</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	経済学	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全(経除く)	単位	2単位	曜時限	火曜日 3・4時限
担当教官	藤田健				
<p>授業概要 経済は政府・企業・家計の3つの部門の活動で成り立っています。この講義では3つの部門のうち「企業」の立場に立ち、企業が行うマーケティング行動を通して経済活動を理解します。マーケティングは企業が顧客を獲得・維持するための対市場行動です。私たちの身近な製品やテレビのCMもすべて企業のマーケティングと関連しています。この講義では、身近な事例を取り上げて、現代の複雑な経済活動を解きほぐして説明していきます。</p> <p>授業一般目標 1. マーケティングの基礎的な概念を理解する 2. 現実のマーケティング行動を分析する</p> <p>成績評価方法(総合) レポート(20%), 期末試験(80%)</p> <p>教科書・参考書 教科書: 1からのマーケティング[第2版], 廣田章光・石井淳蔵編著, 碩学舎, 2004年 / 参考書: ゼミナールマーケティング入門, 石井淳蔵、嶋口充輝、栗木契、余田拓郎著, 日本経済新聞社, 2004年</p> <p>教官連絡先 初回授業時に公表する。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	社会学	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全(獣医除く)	単位	2単位	曜時限	火曜日 9・10時限
担当教官	高橋征仁				
<p>授業概要 この講義では、主として<家族>をテーマに取り上げ、その現状や歴史的変容に関する様々なアプローチやデータを検討していく。そうした作業を通じて、<家族>をめぐる意味の変容と日本社会の構造的変容とをリンクしていく社会学的な視座の習得を目指す。</p> <p>授業一般目標 ・自分のこれまでの家族生活を、階層や文化、時代の異なった人の視点から相対化して捉える。・家族に付きまとう理想論を一旦保留し、丹念に事実を探求し、その結果に基づいて、分析し、議論する態度を身に付ける。・家族のあり方を、近代社会というマクロな観点とのかかわりから考察する視点を持つ。・日常生活を「あたりまえ」のこととして片付けるのではなく、様々な人間の営みや制度、システムなどの観点から複眼的に再構成していく思考様式を身に付ける。</p> <p>成績評価方法(総合) 出席レポート40点と学期末試験60点の総合点で評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: パラサイト社会のゆくえ, 山田昌弘, ちくま新書, 2004年</p> <p>メッセージ かつてS.フロイトは、「愛することと働くこと」が大人の条件であると述べました。しかし、現代社会を生きる若者たちにとって、この二つの条件はかなり高いハードルになりつつあります。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	社会学	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全(獣医除く)	単位	2 単位	曜時限	木曜日 3・4 時限
担当教官	辰己佳寿子				
<p>授業概要 「人は一人では生きていけない」と言われますが、どのように生きているのでしょうか？人は、家族や親族、学校、会社、地域社会、国家、国際社会の中で、直接的にせよ、間接的にせよ、社会と関わりながら生活しています。また、このような社会は刻々と変わりつつあります。社会変容の中で我々はどう生きていけばいいのでしょうか。この講義では、それら社会と個人の関係について考えるために、身近な社会の問題から海外の問題まで様々な事例を社会学的視点から分析していきます。なお、本講義は「顔の見える講義」として展開していきますので、最初の講義で自己紹介をしてもらいます。(受講者が多い場合は初回出席者を優先します。)</p> <p>授業一般目標 社会学とは何かを理解し、社会学的な概念を用いて社会現象を理解・説明できるようにする。</p> <p>成績評価方法(総合) 授業内レポートを数回、授業外レポートを1回行い、各自プレゼンテーションをする。最後に試験を実施する。授業態度も重視する。なお、出席が所定の回数に満たない者には単位を与えない。</p> <p>教科書・参考書 教科書：特に定めなし。必要に応じて随時資料などを配布する。/ 参考書：社会学講義, 富永健一, 中央公論新社, 1995年; 君たちはどう生きるか, 吉野源三郎, 岩波書店, 2003年; 社会認識の歩み, 内田義彦, 岩波書店, 1971年; その他、講義中に適宜紹介する。</p> <p>メッセージ 自分を取り囲む社会へのアンテナを尖らせて、この講義に参加してください。</p> <p>教官連絡先 電話 933-5083 E-mail:tatsumi@yamaguchi-u.ac.jp</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	社会学	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全(獣医除く)	単位	2 単位	曜時限	木曜日 5・6 時限
担当教官	山本薫子				
<p>授業概要 社会学の代表的な理論の基礎を学ぶとともに、受講者にとって身近なテーマを事例として取り上げ、現代社会が直面しているさまざまな問題について理解を深める。</p> <p>授業一般目標 私たちが生きる現代社会が抱える問題・矛盾を改めてとらえなおし、そのうえで私たち一人一人が「社会」とどのようにつながっているのか、理解を深めることを目標とする。</p> <p>教科書・参考書 教科書：教科書は特に定めなし。必要に応じて随時、資料等を配布する。/ 参考書：『社会学と過ごす一週間』, ソシオロジスト編集委員会, 学文社, 2003年; 新睦人他『社会学のあゆみ』有斐閣、新睦人他『社会学のあゆみ パートII』有斐閣</p> <p>メッセージ 普段の生活を通じて見えてくる社会問題に敏感な目を養ってください。新聞や本を読み、TV ニュースを見て、考えることを生活のなかに取り入れましょう。講義中の私語、携帯電話使用(含メール)は厳禁、遅刻も同様。期末試験のほかにレポート課題、出席状況などを総計して評価する。なお、レポート課題未提出者、講義への未出席者は期末試験受験の資格を持たない。</p> <p>教官連絡先 研究室：教育学部棟 4 階 476</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	地理学	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全(獣医除く)	単位	2単位	曜時限	月曜日 1・2時限
担当教官	川村 博忠				
<p>授業概要 近世以前の人々の地理的知識の程度や世界認識は東洋と西洋さらには各民族間においても相違があった。16世紀にはヨーロッパ人の大航海によって地理上の発見が相次ぎ、東洋との接触が始まり、やがて地球的な世界認識が確立した。19世紀になると近代国家による科学的な測地事業が始まって世界の全体像が科学的に掌握されるに至る。すると世界を地図に統一的に表現するための長さの単位、本初子午線など国際的な基準づくりがはじまるなど、人類が科学的な世界知識を確立していく過程を学ばせる。</p> <p>授業一般目標 現在では地球の表面がほぼ正確に地図に描かれるに至っており、世界各地の地理情報を簡単に入手できる。しかし、ここに至るまで人類が地理的知識を拡大して、正確な地図を作り上げるには幾多の苦難の過程があったことを理解させる。</p> <p>教科書・参考書 参考書：地図と文化、久武哲也，地人書房，2001年；地図の歴史-世界図編-，織田武雄，講談社現代新書；手持ちの世界地図帳の持参をのぞむ。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	地理学	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全(獣医除く)	単位	2単位	曜時限	金曜日 3・4時限
担当教官	貞方昇				
<p>授業概要 古地図を通して見た世界像の変遷とその時代背景を探る。人類は自分たちの世界をどのように把握、理解し、広げてきたのだろうか。大航海時代をメインにして、各種古地図を活用しながら、考察したい。そして私たち日本人の持つ世界像とはどのような性格を持つものか、他民族のそれと相対化しながら明らかにすることを目的とする。今日の世界各地に生起する諸問題の理解に役立てば幸いである。</p> <p>授業一般目標 私たち日本人の持つ世界像がどのような歴史的経過を辿って形成されてきたものを理解する。</p> <p>成績評価方法(総合) 成績は、出席点検を兼ねて配付するカードに、毎回課題回答をしてもらうとともに、期末試験を行う。なお、成績評価は、期末試験 60%、授業内カード回答 30%、出席 10%とする。知識・理解力はもとより、とりわけ各時代の世界像に思いを巡らす思考力・判断力を重視する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：適時配布するプリントおよびプロジェクト提示物を主な教材とする。/ 参考書：大航海時代 - 旅と発見の二世紀, ボイス・ベンローズ, 筑摩書房, 1985年; 地図に見る日本, 海野一隆, 大修館書店, 1999年; 地図の歴史 - 日本篇 -, 織田武雄, 講談社(現代新書); 地図の歴史 - 日本篇 -, 織田武雄, 講談社(現代新書)</p> <p>教官連絡先 sadakata@yamaguchi-u.ac.jp、月曜日 12:00 ~ 13:00</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	民俗学	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全(獣医除く)	単位	2 単位	曜時限	水曜日 3・4 時限
担当教官	坪郷英彦				
<p>授業概要 民俗学は第二次大戦後の高度成長期が始まる前までの日本国内での暮らしを考える学問です。民俗学の分野は大きく有形の文化と無形の文化に分けられますが、授業では有形の分野を主に取り上げます。具体的には衣食住・生業・芸能の内容で構成します。受講するほとんどの人は高度成長期以後の環境で育った人でしょうから、できるだけ身近な話題から説き起こしたいと思います。何でも日常の出来事やものに庶民の考えや永い伝統を発見することができるでしょう。</p> <p>授業一般目標 江戸時代から昭和の高度成長期までの一般庶民の暮らしやその背後にある考えを知り、現代社会を生きる上での一つの視点を示すことを目標としています。最近には特に生活環境への関心が高まる中で、工業化社会以前の暮らしに学ぶとすることがあり、民俗学の成果が現代に活かされつつあります。その事例も取り上げながら現在の環境やコミュニティを考える上でのヒントを示すことができると考えています。</p> <p>成績評価方法(総合) 出席日数が70%に満たないものは試験を受けられない。期末の定期試験成績(70%)と出席率(30%)によって評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 教科書は用いないが、毎回資料を配付する。/ 参考書: 新訂生活文化論, 中村・植田・坪郷, 源流社, 2002年 メッセージ モノを取り巻く民俗(物質文化)を多く取り上げるので、モノに関心のある人はぜひ受講してほしい。受講希望者が多い場合、教室の収容人数他を勘案し受講制限をする場合がある。</p> <p>教官連絡先 E-mail <hide.tsu@yamaguchi-u.ac.jp> 電話 5239、研究室人文棟 213、オフィスアワー木曜日 12 時～14 時</p>					

開設科目	文化人類学	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時限	火曜日 5・6 時限
担当教官	星野 晋				
<p>授業概要 文化人類学は、「文化」を手がかりに人間についての理解を深めようとする学問分野である。国際化が進む現在にあって、私たちはグローバルかつ普遍的な論理と民族的・地域的固有性の折り合いをいかにつけるかという大問題に直面している。文化人類学的な視点と方法は、文化的多様性とどのように付き合っていくかを考える際の一つの手がかりとなると思われる。本講義では、ある意味で普遍的、ある意味で多様な「病気と医療」というテーマについて検討することを通して、文化人類学的な「ものの見方」とは何かなるものかを学ぶことを目標とする。また本講義は、文化人類学入門であると同時に、その下位分野である医療人類学入門として聞くこともできる。</p> <p>授業一般目標 人間を総合的に捉えようとするという文化人類学の基本的なものの見方とアプローチを理解する。文化的多様性に対する視点と態度を学び、加えて自分や身近な人の経験を文化人類学的アプローチを用いて考察できるようになる。</p> <p>成績評価方法(総合) 出欠をかねた小レポート、定期試験</p> <p>教官連絡先 hoshino@yamaguchi-u.ac.jp オフィスアワー: 授業後(小串では水曜日午後)</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	教育学	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全(獣医除く)	単位	2単位	曜時限	月曜日1・2時限
担当教官	原昭徳・佐々木司				
<p>授業概要 教育の基礎的なことを講義する授業であり、大きく前半(8回目まで)と後半(9回目以降)に分かれる。前半をくわ原が担当し「わかる授業」を中心に、後半を佐々木が担当し「教育の諸原理」を中心に説明等していく。</p> <p>授業一般目標 教育学の基礎的な事項について習熟できている。</p> <p>成績評価方法(総合) ミニレポートなど</p> <p>教科書・参考書 教科書: わかる授業をつくる先生, くわ原昭徳, ; 教育の原理, 田代・佐々木, ミネルヴァ書房</p> <p>メッセージ 第1週オリエンテーションで授業の詳しい説明を行う。受講希望者は参加し、授業の進め方、約束事等について十分に納得、了解した上で履修すること。担当者2名がそれぞれ別のテキスト(教科書)を使用するので、受講者は2冊のテキストを購入・所持しなければならない。2冊で3,400円程度になる予定。販売方法等はオリエンテーションで指示する。授業は定刻に開始され、遅刻者の入室を拒絶する可能性がある。</p>					

開設科目	教育学	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全(獣医除く)	単位	2単位	曜時限	金曜日5・6時限
担当教官	西村正登				
<p>授業概要 日本の教育の特色と課題について学習し、それと対比させながらイギリス・アメリカ・ドイツの教育について比較教育的に学習し、教育の本質について考察する。</p> <p>授業一般目標 1. 日本の教育の特色と課題について学習する。 2. 明治以後の日本の教育の歴史について学習する。 3. イギリス・アメリカ・ドイツの教育の特色と課題について学習する。 4. 日本のと諸外国の教育を比較しながら、教育の本質について考察する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 子どもと学校, 村山英雄他, ぎょうせい, 1997年; 子どもと学校</p>					

開設科目	教育学	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全(獣医除く)	単位	2 単位	曜時限	金曜日 7・8 時限
担当教官	長畑実				
<p>授業概要 深刻化する地球環境問題をはじめ、国・地方自治体の財政危機、総人口の減少、超高齢社会、格差社会の到来、凶悪・異常な犯罪の多発、地域コミュニティの衰退など世界と地域をめぐる社会経済環境は激変し、時代と社会は歴史的な転換点に直面している。こうした中、わが国では地方分権改革に向けた行政改革が急速に進められており、住民自治による地域の自立、地域の持続的発展を実現するための住民力の構築・強化が喫緊の課題となっている。本講義では以上の時代認識に基づき、社会教育・生涯学習が住民力の強化と住民を主体とした地域づくり(まちづくり)に果たす役割を明らかにするとともに、全国の先進事例を取り上げ、法制度と行政、住民自治、公民館・博物館等社会教育施設、学校との関連などの視点から、今後の社会教育・生涯学習の課題について学習する。</p> <p>授業一般目標 地方分権時代における地域内分権の課題、社会教育・生涯学習のまちづくりに果たす役割、生涯学習とまちづくりの理論と実践に関する基本的知識を習得する。</p> <p>成績評価方法(総合) ・出席状況、講義への参加態度、授業内課題、最終レポートを総合して行う。 ・最終レポート60%、出席・態度・発表・授業内課題40%</p> <p>教科書・参考書 教科書：使用しない。必要に応じてプリント等を配付する。 / 参考書：授業の中で適宜紹介する。</p> <p>メッセージ (1)前半は講義を中心とするが、後半は受講生による発表と討議を通して講義内容の理解を深める。また、毎回講義内容についての感想・意見・質問を記入するコミュニケーション・カードの提出を求める。(2)公民館、博物館等の社会教育施設と積極的に関わろうとする意欲と姿勢を求める。履修を希望する学生は前期期間中の週末、夏休み等を利用してできるだけ多くの社会教育施設を見学しておくこと。講義内で各自テーマを決め、発表を求める。(3)私語をするものは退場させる。</p>					

開設科目	産業倫理	区分	講義	開設期	後期
対象学生	機械2年	単位	2 単位	曜時限	月曜日 5・6 時限
担当教官	宮本政英				
<p>授業概要 技術者のプロフェッショナルとしての行動規範と責任を理解すること、そして技術者が直面する倫理的なジレンマとその解決方法を疑似体験する。また倫理的な想像力および分析力の必要性を認識し、このような活動を通じて道徳的な自律性を高める。</p> <p>授業一般目標 技術が社会や自然に及ぼす影響や効果、および技術者が社会に対して負っている責任に関する理解を深める。</p> <p>成績評価方法(総合) 観点別成績評価法において、授業内レポートと授業外レポートの評価割合は、各30%になっているが、両者を併せて60%とする。この時、口頭で発表させることもあるが、授業内レポートの形で評価する。残り40%は期末試験の結果である。</p> <p>教科書・参考書 教科書：第二版 大学講義 技術者の倫理入門, 杉本泰治・高城重厚, 丸善株式会社, 2002年</p> <p>メッセージ 授業前に、その週に行う内容に関する教科書の部分を読んでおくこと。ほぼ、毎授業において小テスト又は、検討課題を与えて授業内レポートを書かせる。筆記具、ノート、教科書を必ず持参すること。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 社会科学

分野 産業倫理

科目類型 総説

開設科目	産業倫理	区分	講義	開設期	後期
対象学生	応化3年	単位	2単位	曜時限	水曜日 7・8時限
担当教官	山本修一 佐伯隆 横田守久				
<p>授業概要 産業あるいは組織が社会と係わりを持つときに必要となる倫理について学習する。</p> <p>授業一般目標 産業あるいは組織が社会と係わりを持つときに必要となる倫理について、既存の事例を解説を通して実際の技術者の持つべき倫理について理解する。</p> <p>成績評価方法(総合) 講義には毎回出席し、毎回レポート提出が原則である。</p> <p>メッセージ 他の専門科目とは異なる内容ですが、卒業後社会で働くときには必ず考えなければならない課題が多いので聴講してよく考えてください。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 社会科学

分野 産業倫理

科目類型 総説

開設科目	産業倫理	区分	講義	開設期	後期
対象学生	感性3年	単位	2単位	曜時限	木曜日 3・4時限
担当教官	内田文雄				
<p>授業概要 技術とは何か? 技術者の役割と責任、技術者の倫理、等について考える。</p> <p>授業一般目標 技術者として社会的になう役割や、責任、知的財産権、などについての基礎的な知識を得る。</p> <p>成績評価方法(総合) 各講義ごとに課したレポートなどを総合して評価する。</p> <p>教科書・参考書 参考書: 建築倫理用教材, 日本建築学会, 丸善, 2003年</p> <p>メッセージ 技術の可能性と、それに関わる技術者として、社会に対して担う責任と倫理観を養うこと。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	産業倫理	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全(医学・工・獣医除く)	単位	2 単位	曜時限	木曜日 9・10 時限
担当教官	永崎研宣				
<p>授業概要 リコールやトラブルの隠蔽、杜撰な品質管理、甘い見通しに頼ったシステム統合のトラブルや不正な会計処理など、現在の産業社会は、様々な倫理的問題を内に抱え込んでいる。多くのケースは技術的問題と密接に関連しており、技術者にとっての工学倫理という観点から捉えられる必要がある。しかしながら、こうした問題は、同時に、政治的・経済的、その他の様々な要因を含んだものであり、しばしばそうした様々なものが複雑にからみあっている。したがってそれは、技術者のみならず、そうした問題に関わるすべての人が倫理的問題として理解していく必要がある。本講義では、産業社会におけるこうした倫理的問題について、具体的な事例をとりあげながら考えていきたい。</p> <p>授業一般目標 講義における様々な事例の検討を通じて、倫理的問題に対して用意されている様々な基準や規制、制度等についての基本的な知識を身につけ、将来直面するであろう問題に対処していける力をつけてもらう。</p> <p>成績評価方法(総合) 授業の中でレポートを課す。また、最後にも、理解度を確認するためのレポートを課す。なお、出席が所定の回数に満たない者は単位を与えない。</p> <p>教科書・参考書 教科書： はじめての工学倫理第2版、齊藤了文、坂下浩司編、昭和堂、2005年； 齋藤了文 編『はじめての工学倫理』昭和堂</p> <p>メッセージ 混み入った問題をきちんと整理して考えていけるような基礎力を身につけましょう。</p> <p>教官連絡先 nagasaki@ypu.jp</p> <p>備考 理学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	産業倫理	区分	講義	開設期	後期
対象学生	機材3年	単位	2 単位	曜時限	金曜日 7・8 時限
担当教官	今村速夫ほか				
<p>授業概要 機能材料の開発に必須の産業倫理について、主に事故例を学びその原因と技術者の役割を考える。</p> <p>授業一般目標 1. 倫理の歴史の変遷を学ぶ。 2. 産業倫理の考え方を理解し科学技術者の倫理、科学技術と社会との関わり合いを知る。 3. 事故例を学ぶことにより、事故を防ぐためにどのような行動が要請されるかを知る。 4. 工学の哲学を考える力を身に付ける。</p> <p>成績評価方法(総合) 小テスト、宿題を総合的に評価する。出席が所定の回数に満たない者には単位を認めない。期末試験は行わない予定。</p> <p>教科書・参考書 教科書： 事故から学ぶ 技術者倫理、中村 昌允、工業調査会、2005年； マテリアルサイエンス入門、ものづくり創成実習 I,II、機能材料工学実験 I,II、等 機能材料工学科教材 CD-ROM 新版・実験を安全に行うために 正編と続編(化学同人) / 参考書： 知って得する環境・エネルギー・生命の科学、土屋晉著、講談社、2003年； 適宜資料を配布 土屋晉 著「知って得する環境エネルギー生命の科学」講談社サイエンティフィック</p> <p>メッセージ 良く知り、良く考え、自分の意見を持てるようになって欲しい。機能材料工学科各教官が担当するので、先生方を知る絶好のチャンスである。積極的な授業参加を望む。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

後期 - 自然科学系列

開設科目	数学 II	区分	講義	開設期	後期
対象学生	医学科 (1-43)	単位	2 単位	曜時限	月曜日 3・4 時限
担当教官	柏木 孝夫				
<p>授業概要 理工系学問の基礎である微分積分学において、一変数関数・二変数関数の積分法を理解させ、計算方法を習得させる。</p> <p>授業一般目標 一変数関数、二変数関数の積分学の基本的な概念を理解し、計算方法を習得する。二重積分法、変数変換による二重積分法など、微分積分学における様々な概念や、手法を理解し、習熟する。さらに、それらの概念の理解のもとに、理系分野における様々な分野の分野の問題を解決できるような応用力を養う。</p> <p>成績評価方法 (総合) 期末試験と講義中に適宜行う問題演習の取り組み状況により、以下の割合で総合的に判定する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：工学・理学を学ぶための微分積分学, 三好哲彦・加藤崇雄・菊政勲, 共立出版, 2005 年; 取扱店(大学生協) / 参考書：微分積分学についての各種演習書</p> <p>メッセージ わからないことは遠慮なく質問すること</p>					

開設科目	数学 II	区分	講義	開設期	後期
対象学生	医学科 (44-)	単位	2 単位	曜時限	月曜日 3・4 時限
担当教官	三好 哲彦				
<p>授業概要 多くの自然科学が数学、とくに微分積分学を用いて記述され、それをもとにして現象の理解や工学的な応用が行われている。微分積分学の初歩はほとんどの学生が高校で学んでいるが、それだけでは大学での自然科学や工学を学ぶには不十分である。この授業では高校で学んだ微分積分学の復習から始めて、学部専門授業の要求に耐え得る程度の微分積分学を身に付けることを目標にする。数学 II では積分学に重点を置く。</p> <p>授業一般目標 一変数、多変数の関数の積分について学ぶ。初等関数の積分、置換積分、部分積分のテクニックに習熟する。多変数関数の積分を学び、積分の変数変換の公式が自在に利用できることを目指す。</p> <p>成績評価方法 (総合) 主として定期試験により評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：工学・理学を学ぶための微分積分学, 三好哲彦・加藤崇雄・菊政勲, 共立出版, 2000 年</p> <p>メッセージ メッセージ (教科書序文より) 大学で学ぶ数学は、理解し覚えるべき内容が質、量において高校までの数学とは決定的に異なっている。すなわち、質においては格段と精緻、量においては圧倒的である。… 初学者はこのようなことを十分念頭において勉強に取り組んでほしい。</p>					

系列 自然科学

分野 数学

科目類型 総説

開設科目	数学 II	区分	講義	開設期	後期
対象学生	数理・物情	単位	2 単位	曜時間	火曜日 3・4 時限
担当教官	内藤博夫				
<p>授業概要 理工系学問の基礎である微分積分学，特に二変数と三変数関数の微分法と積分法を中心に講義する。</p> <p>授業一般目標 二，三変数微分積分学の基本的概念を理解し，その計算法を習得する。偏微分法・重積分法，合成関数の微分公式，累次積分の公式など，多変数微分積分学における様々な概念や手法を理解し，習熟する。さらに，それらの理解と習熟のもとに，理系分野における様々な問題への数学的解決能力を養う。</p> <p>成績評価方法 (総合) 中間・期末 2 回の筆記試験 (60%) と 1 回のレポート・宿題 (40%) により判定する。なお，出席が所定の回数 (初回時に注意) に満たない者には単位を与えない (欠格条件)。</p> <p>教科書・参考書 教科書：入門微分積分，三宅敏恒，培風館，2000 年</p> <p>メッセージ 宿題は原則として毎回あります。地道に取り組むことを期待します。</p> <p>教官連絡先 理学部 1 3 7 号室</p> <p>備考 理学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 自然科学

分野 数学

科目類型 総説

開設科目	数学 II	区分	講義	開設期	後期
対象学生	生化・地球	単位	2 単位	曜時間	火曜日 3・4 時限
担当教官	木内功				
<p>授業概要 理工系学問の基礎である微分積分学において，二変数関数の偏微分と重積分を理解させ，計算法を習得させる。</p> <p>授業一般目標 二変数関数の微分積分学の基本的な概念を理解し，計算法を習得する。合成関数の微分法，累次積分の公式など，微分積分学における様々な概念や手法を理解し，習熟する。さらに，それらの概念の理解のもとに，理系分野における様々な分野の問題を解決できるように応用力を養う。この科目は以下の理学系の学習・教育目標に対応します。(A) 確かな基礎力を有する技術者を目指して以下の能力を身につける。A-1 数学、自然科学、情報処理の基礎力</p> <p>成績評価方法 (総合) 原則として中間試験と定期試験だけで評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：微分積分概論，高橋泰嗣・加藤幹雄，サイエンス社，1998 年；後期から受講される学生は，文栄堂 (山口大学前店) に注文してありますから，購入してください。</p> <p>メッセージ 毎回授業は講義中心であるから毎回予習を行うこと。その日に習った内容はその日のうちに理解するように努力すること。</p> <p>教官連絡先 研究室：理学部本館 1 3 9 号室 オフィスアワー：特に設けていない</p> <p>備考 理学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 自然科学

分野 数学

科目類型 総説

開設科目	数学 II	区分	講義	開設期	後期
対象学生	教育学部	単位	2 単位	曜時間	火曜日 3・4 時限
担当教官	渡邊正				
<p>授業概要 高等学校で学んだ微積分学の内容を確実に理解させる。また、応用する能力を確実に定着させる為に、演習をレポート形式で行う。</p> <p>授業一般目標 微積分学の演習が主な内容であり、演習問題が解ける様になるのが目標であるので、レポート問題を毎回出題するので、必ず次週に提出すること。</p> <p>教科書・参考書 教科書：微分と積分，岡本和夫，実教出版，1998 年</p> <p>メッセージ 基礎的な内容であるから、時間をかけて問題を解けば必ず解けるので、あきらめずに挑戦すること</p> <p>教官連絡先 E-mail tadashi@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

系列 自然科学

分野 数学

科目類型 総説

開設科目	数学 II	区分	講義	開設期	後期
対象学生	A の 1 クラス	単位	2 単位	曜時間	水曜日 5・6 時限
担当教官	柏木 孝夫				
<p>授業概要 数学 I で学んだ 1 変数関数の微分・積分に関する知識を発展させ、多変数、主に 2 変数関数の微分（偏微分）と積分（重積分）について講義する。内容を理解させるとともに、計算方法を習得させる。</p> <p>授業一般目標 偏微分と重積分のの基本的な概念の理解と、計算方法を習得すること。確かな基礎力を有する技術者を目指して数学の基礎力を身につける。工学基礎分野において、特に数学に関する専門知識、問題解決に応用できる能力を身につけることを目標とする。</p> <p>成績評価方法（総合） 原則として中間試験と期末試験だけで評価するが、レポート等も加味することがある。出席については欠格条件とする。また再試験等は行わない。</p> <p>教科書・参考書 教科書：微積分概論，高橋泰嗣・加藤幹雄，サイエンス社，1998 年；前期の数学 I と同じ教科書です。 / 参考書：微積分学についての各種演習書</p> <p>メッセージ わからないことは後にまわさないですぐに質問等してください</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	数学 II	区分	講義	開設期	後期
対象学生	A の 2 クラス	単位	2 単位	曜時限	水曜日 5・6 時限
担当教官	三好 哲彦				
<p>授業概要 数学 I で学んだ 1 変数関数の微分・積分に関する知識を発展させ、多変数、主に 2 変数関数の微分（偏微分）と積分（重積分）について講義する。内容を理解させるとともに、計算方法を習得させる。</p> <p>授業一般目標 偏微分と重積分の基本的な概念の理解と、計算方法を習得すること。確かな基礎力を有する技術者を目指して、数学の基礎力を身につける。工学基礎分野において、特に数学に関する専門知識、問題解決に活用できる能力を身につけることを目標とする。</p> <p>成績評価方法（総合） 原則として中間試験と期末試験だけで評価するが、レポート等も加味することがある。出席については欠格条件とする。また再試験も必要ならば行う。</p> <p>教科書・参考書 教科書：微分積分概論，高橋泰嗣・加藤幹雄，サイエンス社，1998 年；前期の数学 I と同じ教科書です。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	数学 II	区分	講義	開設期	後期
対象学生	A の 3 クラス	単位	2 単位	曜時限	水曜日 5・6 時限
担当教官	笹井理恵				
<p>授業概要 数学 I で学んだ 1 変数関数の微分・積分に関する知識を発展させ、多変数、主に 2 変数関数の微分（偏微分）と積分（重積分）について講義する。内容を理解させるとともに、計算方法を習得させる。</p> <p>授業一般目標 偏微分と重積分の基本的な概念の理解と、計算方法を習得すること。確かな基礎力を有する技術者を目指して数学の基礎力を身につける。工学基礎分野において、特に数学に関する専門知識、問題解決に活用できる能力を身につけることを目標とする。</p> <p>成績評価方法（総合） 原則として中間試験と期末試験だけで評価するが、レポート等も加味することがある。出席については欠格条件とする。また再試験も必要ならば行う。</p> <p>教科書・参考書 教科書：微分積分概論，高橋泰嗣・加藤幹雄，サイエンス社，1998 年；前期の数学 I と同じ教科書です。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	数学 II	区分	講義	開設期	後期
対象学生	A の 4 クラス	単位	2 単位	曜時限	水曜日 5・6 時限
担当教官	大城 紀代市				
<p>授業概要 数学 I で学んだ 1 変数関数の微分・積分に関する知識を発展させ、多変数、主に 2 変数関数の微分（偏微分）と積分（重積分）について講義する。内容を理解させるとともに、計算方法を習得させる。</p> <p>授業一般目標 偏微分と重積分のの基本的な概念の理解と、計算方法を習得すること。確かな基礎力を有する技術者を目指して、数学の基礎力を身につける。工学基礎分野において、特に数学に関する専門知識、問題解決に応用できる能力を身につけることを目標とする。</p> <p>成績評価方法（総合） 原則として中間試験と期末試験だけで評価するが、レポート等も加味することがある。出席については欠格条件とする。また再試験も必要ならば行う。</p> <p>教科書・参考書 教科書：微分積分概論, 高橋泰嗣・加藤幹雄, サイエンス社, 1998 年；前期の数学 I と同じ教科書です。</p> <p>教官連絡先 oshiro@yamaguchi-u.ac.jp</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	数学 II	区分	講義	開設期	後期
対象学生	B の 1 クラス	単位	2 単位	曜時限	水曜日 5・6 時限
担当教官	寿恵村 泰生				
<p>授業概要 数学 I で学んだ 1 変数関数の微分・積分に関する知識を発展させ、多変数、主に 2 変数関数の微分（偏微分）と積分（重積分）について講義する。内容を理解させるとともに、計算方法を習得させる。</p> <p>授業一般目標 偏微分と重積分のの基本的な概念の理解と、計算方法を習得すること。この科目は以下の社会建設工学科の学習・教育目標に対応します。（A）確かな基礎力を有する技術者を目指して以下の能力を身につける。A-1 数学、自然科学、情報処理の基礎力 また、機械工学科においては『機械工学の理系基礎および工学基礎分野において、特に数学に関する専門知識、問題解決に 応用できる能力を身につけることを目標とする』</p> <p>成績評価方法（総合） 原則として中間試験と期末試験だけで評価するが、レポート等も加味することがある。出席については欠格条件とする。また再試験も必要ならば行う。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 自然科学

分野 数学

科目類型 総説

開設科目	数学 II	区分	講義	開設期	後期
対象学生	B の 2 クラス	単位	2 単位	曜時限	水曜日 5・6 時限
担当教官	重永和男				
<p>授業概要 数学 I で学んだ 1 変数関数の微分・積分に関する知識を発展させ、多変数、主に 2 変数関数の微分(偏微分)と積分(重積分)について講義する。内容を理解させるとともに、計算方法を習得させる。</p> <p>授業一般目標 偏微分と重積分の基本的な概念の理解と、計算方法を習得すること。この科目は確かな基礎力を有する技術者を目指して、数学、自然科学、情報処理の基礎力を身につける。</p> <p>成績評価方法(総合) 原則として中間試験と期末試験だけで評価するが、レポート等も加味することがある。出席については欠格条件とする。また再試験も必要ならば行う。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 微分積分概論, 高橋泰嗣・加藤幹雄, サイエンス社, 1998 年; 前期の数学 I と同じ教科書です。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 自然科学

分野 数学

科目類型 総説

開設科目	数学 II	区分	講義	開設期	後期
対象学生	B の 3 クラス	単位	2 単位	曜時限	水曜日 5・6 時限
担当教官	安藤良文				
<p>授業概要 数学 I で学んだ 1 変数関数の微分・積分に関する知識を発展させ、多変数、主に 2 変数関数の微分(偏微分)と積分(重積分)について講義する。内容を理解させるとともに、計算方法を習得させる。</p> <p>授業一般目標 偏微分と重積分の基本的な概念の理解と、計算方法を習得すること。確かな基礎力を有する技術者を目指して、数学の基礎力を身につける。工学基礎分野において、特に数学に関する専門知識、問題解決に 応用できる能力を身につけることを目標とする。</p> <p>成績評価方法(総合) 原則として中間試験と期末試験だけで評価するが、レポート等も加味することがある。出席については欠格条件とする。また再試験も必要ならば行う。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 微分積分概論, 高橋泰嗣・加藤幹雄, サイエンス社, 1998 年; 前期の数学 I と同じ教科書です。</p> <p>教官連絡先 理学部 1 3 1 室</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 自然科学

分野 数学

科目類型 総説

開設科目	数学 II	区分	講義	開設期	後期
対象学生	B の 4 クラス	単位	2 単位	曜時限	水曜日 5・6 時限
担当教官	吉村浩				
<p>授業概要 数学 I で学んだ 1 変数関数の微分・積分に関する知識を発展させ、多変数、主に 2 変数関数の微分（偏微分）と積分（重積分）について講義する。内容を理解させるとともに、計算方法を習得させる。</p> <p>授業一般目標 偏微分と重積分のの基本的な概念の理解と、計算方法を習得すること。確かな基礎力を有する技術者を目指して、数学の基礎力を身につける。工学基礎分野において、特に数学に関する専門知識、問題解決に応用できる能力を身につけることを目標とする。</p> <p>成績評価方法（総合） 小テスト・宿題、中間試験、期末試験の得点の合計で評価する。なお、出席が所定の回数に満たない者は欠格となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書：微分積分概論，高橋泰嗣・加藤幹雄，サイエンス社；前期の数学 I と同じ教科書です。</p> <p>メッセージ 数学は、「講義の受けっぱなし」ではなかなか身につかない学問です。ともかく手を動かして数多くの計算問題を繰り返し解くことが肝要です。</p> <p>教官連絡先 理学部 1 4 3 号室</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 自然科学

分野 数学

科目類型 総説

開設科目	数学 II	区分	講義	開設期	後期
対象学生	B の 5 クラス	単位	2 単位	曜時限	水曜日 5・6 時限
担当教官	宮澤康行				
<p>授業概要 数学 I で学んだ 1 変数関数の微分・積分に関する知識を発展させ、多変数、主に 2 変数関数の微分（偏微分）と積分（重積分）について講義する。内容を理解させるとともに、計算方法を習得させる。</p> <p>授業一般目標 偏微分と重積分のの基本的な概念の理解と、計算方法を習得すること。確かな基礎力を有する技術者を目指して、数学の基礎力を身につける。工学基礎分野において、特に数学に関する専門知識、問題解決に応用できる能力を身につけることを目標とする。</p> <p>成績評価方法（総合） 原則として中間試験と期末試験だけで評価するが、レポート等も加味することがある。出席については欠格条件とする。また再試験も必要ならば行う。</p> <p>教科書・参考書 教科書：微分積分概論，高橋泰嗣・加藤幹雄，サイエンス社，1998 年；前期の数学 I と同じ教科書です。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 自然科学

分野 数学

科目類型 総説

開設科目	数学 II	区分	講義	開設期	後期
対象学生	2 年	単位	2 単位	曜時間	月曜日 11・12 時限
担当教官	岡田真理				
<p>授業概要 数学 I で学んだ 1 変数関数の微分・積分に関する知識を発展させ、多変数、主に 2 変数関数の微分(偏微分)と積分(重積分)について講義する。内容を理解させるとともに、計算方法を習得させる。</p> <p>授業一般目標 偏微分と重積分の基本的な概念の理解と、計算方法を習得すること。確かな基礎力を有する技術者を目指して、数学の基礎力を身につける。工学基礎分野において、特に数学に関する専門知識、問題解決に応用できる能力を身につけることを目標とする。</p> <p>成績評価方法(総合) 原則として中間試験と期末試験だけで評価するが、レポート等も加味することがある。出席については欠格条件とする。また再試験も必要ならば行う。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 微分積分概論, 高橋泰嗣・加藤幹雄, サイエンス社, 1998 年</p> <p>教官連絡先 okada@yamaguchi-u.ac.jp</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 自然科学

分野 物理学

科目類型 総説

開設科目	物理学 I	区分	講義	開設期	後期
対象学生	前期『物理学入門 1』及び『物理学入門 2』単位修得者(工除く)	単位	2 単位	曜時間	火曜日 1・2 時限
担当教官	原 哲彦				
<p>授業概要 物理学の基礎である古典力学を学びます。中心となる内容は次の 3 つです。(1)位置、速度、加速度が微分・積分によって互いに結ばれていること。(2)運動方程式(微分方程式)を解くことによって物体がどのように運動するかがわかること。(3)運動量、運動エネルギー、仕事、位置エネルギー、角運動量などの重要な物理量についての法則が運動の 3 法則から自然に導き出せること。</p> <p>授業一般目標 運動の記述、運動の法則、基礎的な物理量について、初等的な微分・積分を使って論理的に見通しよく理解することが目標です。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 物理の基礎, 長岡洋介, 東京教学社, 2000 年</p> <p>メッセージ 予習・復習をし、練習問題を自分で解く努力をするようにしてください。質問は歓迎します。</p> <p>教官連絡先 tetuhara@c-able.ne.jp</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	物理学 II	区分	講義	開設期	後期
対象学生	社建	単位	2 単位	曜時限	月曜日 3・4 時限
担当教官	松野好雅				
<p>授業概要 電磁気学の基本法則、及びその応用について学ぶ。講義では各法則を身近な具体例をあげながら説明し、種々の電磁現象に対する理解を深める。</p> <p>授業一般目標 1. 電気、磁気に関するガウスの法則、並びにその使い方を理解する。2. アンペールの法則（電流のつくる磁場）及びその使い方を理解する。3. 電磁誘導を理解する。4. 直流、及び交流回路の基礎を理解する、5. 交際単位系を理解し、自在に使えるようになる。この科目は以下の社会建設工学科の学習・教育目標に対応します。（A）確かな基礎力を有する技術者を指して以下の能力を身に着ける。 A-1 数学、自然科学、情報処理の基礎力</p> <p>成績評価方法（総合） 中間試験、及び学期末試験の2回の試験で総合的に評価する。配点は各50%とする。</p> <p>教科書・参考書 教科書：第3版 基礎物理学, 原 康夫, 学術図書出版, 2006年</p> <p>メッセージ 予習、復習をきちんとやること。講義ノートをとること。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	物理学 II	区分	講義	開設期	後期
対象学生	医学・看護・検査	単位	2 単位	曜時限	水曜日 1・2 時限
担当教官	原純一郎				
<p>授業概要 力学、熱力学と並んで古典的な物理学の基礎を形成する電磁気学の講義を行なう。数学的な準備を多少した後、静的な電場の記述から始まり、定常電流、電流と磁場、さらに進んで動的な電磁場について入門的解説をする。電磁気学は目に見えない「場」を扱う学問なので、初めて習う者には取り付きにくい面がある。この講義では、具体的な例題を数多く取り上げ、それを基本法則から理解する過程を丁寧に説明する。</p> <p>授業一般目標 実験事実を支えられた積分形の電磁気学の法則について学ぶ。簡単な電荷分布が作る電場や電流分布が作る磁場の様子を考察し、様々な電磁現象を基本法則にもとづき解析する力を養う。</p> <p>成績評価方法（総合） 宿題・授業外レポートを課す。定期試験を実施する。以上と出席の状況とを、およそ下記の割合で評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：教科書は指定しない。/ 参考書：授業のはじめにいくつか紹介する。</p> <p>メッセージ 電磁気学では、微分・積分に加え、ベクトル代数やベクトル解析など数学の基礎知識が必要です。数学 II を履修すると良いでしょう。</p> <p>教官連絡先 理学部 206 室。</p>					

系列 自然科学

分野 物理学

科目類型 総説

開設科目	物理学 II	区分	講義	開設期	後期
対象学生	理(物理・情報)	単位	2 単位	曜時限	水曜日 5・6 時限
担当教官	白石清				
<p>授業概要 物理学の基礎の一つである電磁気学の初歩を講義する。これを理解するために必要な数学 知識も適宜講義する。また、出来る限り多くの演習もやりたい。</p> <p>授業一般目標 電磁気学の基礎的な概念(電場, 磁場, ポテンシャル)を理解し, さらに専門的な学習につなげる。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 物理の基礎, 長岡洋介, 東京教学社, 2000 年 物理学 I の教科書と同じ / 参考書: 絶対わかる電磁気学, 白石清, 講談社サイエンティフィック, 2006 年</p> <p>教官連絡先 理 2 0 5</p>					

系列 自然科学

分野 物理学

科目類型 総説

開設科目	物理学 II	区分	講義	開設期	後期
対象学生	学教(教科(数・理))・情報・理(物理・情報除く)・生機・獣医	単位	2 単位	曜時限	水曜日 5・6 時限
担当教官	増山和子				
<p>授業概要 物理学は自然科学の中でも最も基礎的な学問のひとつであり、将来の専攻分野を学ぶ場合に基礎となる物理学を十分に理解しておくことが必要である。前期に「力学」を履修したことを受け、後期ではもう一つの重要な内容である「電磁気学」について、高校で物理を学ばなかった初学者向けに、初等的な事項から出発して具体的な現象と結びつけて説明し、電磁気学の基礎を講義する。</p> <p>授業一般目標 電磁気学は電気及び磁気に関する物理現象を扱っており、現代社会において、テレビ、コンピュータを初めとする電気・電子技術の基礎となるものである。電場、電流、磁場、電磁誘導などの電磁気学の概念を学び、電磁気現象に対する理解を深める。</p> <p>成績評価方法(総合) 数回の課題レポートと試験結果をもとに、以下の割合で総合的に評価する。なお、出席が所定の回数に満たない者には単位を与えない。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 物理の基礎, 長岡洋介, 東京教学社, 2000 年; 前期の物理学 I の教科書を、引き続き使用する。 / 参考書: プリントを配布する</p> <p>メッセージ 授業に出席し、演習レポートを確実に解いて提出すること。</p> <p>教官連絡先 メールアドレス: masiyama@yamaguchi-u.ac.jp</p> <p>備考 理学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 自然科学

分野 物理学

科目類型 総説

開設科目	物理学 II	区分	講義	開設期	後期
対象学生	学教(教科(数・理))・情報・理(物理・情報除く)・生機・獣医	単位	2 単位	曜時限	水曜日 5・6 時限
担当教官	田澤輝武				
<p>授業概要 物理学は自然科学の中でも最も基礎的な学問のひとつであり、将来の専攻分野を学ぶ場合に基礎となる物理学を十分に理解しておくことが必要である。前期に「力学」を履修したことを受け、後期ではもう一つの重要な内容である「電磁気学」について、初等的な事項から出発して電磁気学の基礎を講義する。</p> <p>授業一般目標 物理学の基礎であるとともに、将来の専門分野を学ぶ際に必要となる電磁気学(この講義では電磁気学の基礎)について説明する。物理学では対象とする自然現象すべてを数式的な方程式の形で表わされる普遍的な法則を用いて数量的に分析・解明する。このような物理における分析的な考え方・方法を具体的な問題を通して身につけるようにする。</p> <p>成績評価方法(総合) 数回の課題レポートと試験結果をもとに、以下の割合で総合的に評価する。なお、出席が所定の回数に満たない者は履修放棄をしたものとみなす。</p> <p>教科書・参考書 教科書：毎回、あらかじめ次回の講義プリントを配付する。/ 参考書：参考書については初回の講義で提示する。</p> <p>メッセージ 予習、復習をきっちりやっていることを前提にする。授業には必ず出席し、演習レポートを確実に解いて提出すること。</p> <p>教官連絡先 理学部 217号室</p> <p>備考 理学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 自然科学

分野 物理学

科目類型 総説

開設科目	物理学 II	区分	講義	開設期	後期
対象学生	工2年	単位	2 単位	曜時限	水曜日 11・12 時限
担当教官	真田篤志				
<p>授業概要 物理学は現在の物質文明を支える自然科学の基礎となる大変重要な学問である。その中でも「力学」と並び様々な科学技術の基礎となる「電磁気学」について、具体的な現象と結びつけながら基礎知識を修得する。</p> <p>授業一般目標 1. 電磁気学の基本法則(クーロンの法則、ガウスの法則)について説明できる。2. コンデンサの原理を理解し、電気容量を求める事が出来る。3. 電流と磁場の関係を理解し、電流の作る磁場の強さ、および電流が磁場から受ける力の強さを求めることが出来る。4. 電磁誘導の基本法則について説明することが出来る。5. 交流回路における抵抗(インピーダンス)の概念を理解する。</p> <p>成績評価方法(総合) 出席状況、演習および定期試験の結果をもとに、総合的に評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：改訂版基礎物理学, 原康夫, 学術図書出版社, 1996 年</p> <p>メッセージ 予習・復習を十分に行い、講義内容の理解を深めて下さい。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 自然科学

分野 物理学

科目類型 総説

開設科目	物理学 II	区分	講義	開設期	後期
対象学生	応化	単位	2 単位	曜時限	木曜日 1・2 時限
担当教官	西岡 道夫				
<p>授業概要 電磁気学は力学と並んで物理学の中でも最も基礎的な学問である。日常生活で経験する現象には、電磁気学の基礎知識を身につけていけば定性的・定量的に理解できるものも多い。講義では電磁気学の重要な概念・法則を丁寧に説明し、例を多く使って法則および使い方の理解を助ける。式の計算は丁寧に行い、法則・現象に適切なイメージがえがけるようにする。</p> <p>授業一般目標 1) 電場・電気力線を理解し、イメージが描けるようにする。 2) 導体と誘電体の違いを理解する。 3) 電流についてのオームの法則が使えるようにする。 4) 電流と磁場の重要な関係を深く理科いする。 5) 電磁誘導を学び、コイルの役割を理解する。 6) 簡単な交流回路の計算ができるようにする。</p> <p>教科書・参考書 教科書：改訂版基礎物理学, 原康夫, 学術図書出版社, 1996 年 備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 自然科学

分野 物理学

科目類型 総説

開設科目	物理学 II	区分	講義	開設期	後期
対象学生	機械	単位	2 単位	曜時限	木曜日 3・4 時限
担当教官	只友一行				
<p>授業概要 電磁気学は電気及び磁気に関する物理現象を扱っており、現代社会において、テレビ、コンピュータを初めとする電気・電子技術の基礎となるものである。電場、電流、磁場、電磁誘導などの電磁気学の概念を学び、電磁気現象に対する理解を深める。</p> <p>授業一般目標 機械工学の理系基礎および工学基礎分野において、特に物理学(電磁気学の基礎)に関する専門知識、問題解決に応用できる能力を身につけることを目標とする。</p> <p>成績評価方法(総合) 期末試験を基本に評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：改訂版基礎物理学, 原康夫, 学術図書出版社, 1996 年 メッセージ 教科書をよく読み、理解を深めるために演習問題を確実に解いて下さい。 教官連絡先 tadatomo@yamaguchi-u.ac.jp 備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	物理学 II	区分	講義	開設期	後期
対象学生	電気	単位	2 単位	曜時限	木曜日 3・4 時限
担当教官	真田篤志				
<p>授業概要 物理学の基礎としての「波動」「光」「熱」について解説する。我々に身近な波動、光、熱に関係した現象の物理学におけるとらえ方を理解するための考え方に重点をおく。また、波動、光、熱に関連したマクロな現象が、原子分子などのミクロな世界にどのようにつながっているかを学ばせる。</p> <p>授業一般目標 波動、光、熱についてのさまざまな現象を理解でき、またマクロな現象とそのもととなるミクロな原子分子の振る舞いの繋がりを理解できるようになる。確かな基礎力を有する技術者を目指して数学、自然科学、情報処理の基礎力を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) 演習、宿題、定期試験を総合的に評価し、採点する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：基礎物理学－波動、光、熱、嶋村修二、荻原千聡、朝倉書店、2002 年</p> <p>教官連絡先 as@yamaguchi-u.ac.jp 研究室：工学部応化・知情・機能・共通実験研究棟 2 階</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	物理学 II	区分	講義	開設期	後期
対象学生	知能	単位	2 単位	曜時限	金曜日 3・4 時限
担当教官	庄野逸				
<p>授業概要 力学に続いて電磁気学の講義を行う。古典的なクーロン力から出発し電場、磁場などの場に関する講義を中心に行う。</p> <p>授業一般目標 電場や磁場などは目に見えないが、どのような相互作用を持つかを定性的に説明し、定量的な式を理解できるようになることを目標とする。</p> <p>成績評価方法 (総合) 定期試験による評価(90%)、授業内小テスト(10%)とする。出席は欠格条件とする。</p> <p>教科書・参考書 教科書：物理の基本ノート 電磁気学編、為近和彦、中経出版、2006 年；教科書の他に講義内にプリント配布 / 参考書：ファインマン物理学 III, ファインマン、レイトン、サンズ、岩波書店、1986 年；電磁気学の考え方、砂川重信、岩波書店、2001 年；電磁気学演習 [新訂版], ”山村泰道、北川盈雄”, サイエンス社、2004 年</p> <p>メッセージ 力学と異なり電磁気学は、直感的にわかりにくいといわれる学問である。頭の中にあるイメージを明確に記述できるように練習してほしい。</p> <p>教官連絡先 講義の資料は以下 URL 参照 http://ds21.cc.yamaguchi-u.ac.jp/nakahide/moodle/ 質問に関しては上記フォーラム、もしくは以下のメールでも受け付けます。 E-Mail: shouno@yamaguchi-u.ac.jp</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 自然科学

分野 物理学

科目類型 総説

開設科目	物理学 II	区分	講義	開設期	後期
対象学生	循環	単位	2 単位	曜時限	金曜日 3・4 時限
担当教官	田澤輝武				
<p>授業概要 前期の「力学」と同じく、物理学の基礎であるとともに、将来の専門分野を学ぶ際に重要となる電磁気学について説明する。</p> <p>授業一般目標 物理学の基礎であるとともに、専門分野の学習に必要な物理学(この講義では電磁気学の基礎)を学び、科学・技術が対象とする自然現象すべては数学的な方程式で表わされる普遍的な法則を用いて数量的に分析・解明できるという物理的な考え方・方法を具体的問題を通して身につけるようにする。</p> <p>成績評価方法(総合) 数回の課題レポートと試験結果をもとに、以下の割合で総合的に評価する。なお、出席が所定の回数に満たない者は履修放棄したものとみなす。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 毎回、あらかじめ次回の講義プリントを配布する。/ 参考書: 参考書などについては初回の講義で提示する。</p> <p>メッセージ 予習、復習をきっちりやっているとを前提に講義します。授業には必ず出席し、演習レポートは確実に解いて提出すること。</p> <p>教官連絡先 理学部 217号室</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 自然科学

分野 物理学

科目類型 総説

開設科目	物理学 II	区分	講義	開設期	後期
対象学生	感性	単位	2 単位	曜時限	金曜日 3・4 時限
担当教官	諸橋信一				
<p>授業概要 前期の「力学」と同じく、物理学の基礎であるとともに、将来の専門分野を学ぶ際に重要となる電磁気学について説明する。</p> <p>授業一般目標 (D1) 様々な材料を作製・評価するために必要な、物理学の基礎学力を育成する。</p> <p>成績評価方法(総合) 期末試験 80%, 課題レポート 20% で評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 物理学基礎, 原 康夫, 学術図書出版社, 2004 年; 補完のためにプリントも適宜配布する。内容にあわせて、理解に必要な数学(ベクトル等)は補講という形で講義する。/ 参考書: マグロウヒル大学演習電磁気学, Joseph A. Edminister, オーム社, 2003 年; 科学者と技術者のための物理学, 松村博之 訳, 学術図書出版, 1995 年; 物理学入門, 楠川 他, 実教出版, 2002 年; やさしい基礎物理, 潮 他, 森北出版, 2005 年</p> <p>メッセージ 予習、復習をきっちりやっているとを前提に講義します。</p> <p>教官連絡先 E-MAIL smoro@yamaguchi-u.ac.jp TEL 9610 不在および先約ないかぎり可。但し、研究室は宇部のほうです。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	化学 I	区分	講義	開設期	後期
対象学生	看護・検査	単位	2 単位	曜時限	水曜日 9・10 時限
担当教官	田中経彦				
<p>授業概要 保健学科検査技術専攻学生を対象に、医療検査、基礎研究で骨格となる分析化学の原理、技術を学習する。レポート提出の形で演習する。以後の化学系教科書を読解できる基盤知識(教科書の記述に疑問が見出せるレベル)と専門での分析系実習に必要な基礎知識を与える。数学、物理の公式原理についても確認しながら説明していく。</p> <p>授業一般目標 検査技術専攻学生に必要な基礎化学知識の理解。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験と小テストの点数による</p> <p>教科書・参考書 教科書: 分析化学実験, 内海諭他, 東京教学社, 1991 年; 予定</p> <p>メッセージ 検査を対象にします。</p> <p>教官連絡先 http://ds.cc.yamaguchi-u.ac.jp/tatehiko/po-login/index.html ここから質問とその回答を掲載したページへ行けるようにします。授業の終わりに質問を受け付けるつもりですが、不足であれば水曜日の昼休みに後日連絡する教室に質問受付のためにはいます。メール連絡先: tatehiko@yamaguchi-u.ac.jp 0 8 3 6 - 2 2 - 2 8 5 7</p>					

開設科目	化学 II	区分	講義	開設期	後期
対象学生	知能	単位	2 単位	曜時限	月曜日 3・4 時限
担当教官	梶原忠彦				
<p>授業概要 有機化学の基礎を修得するために、まず最小限の基礎原理を説明する。次に、それにもとずいて各種の有機反応を理解することによって、有機化学の基礎を確かなものにする。</p> <p>授業一般目標 有機化合物の結合や構造および反応を電子、分子軌道、立体化学などのごく限られた基礎原理から理解することによって、有機化学の基礎を系統的に身につける。</p> <p>成績評価方法(総合) (1)ショートテスト(毎回実施)およびレポート。(2)中間テストの実施および演習。(3)期末試験の実施。なお、出席が所定の回数に満たない者には、単位を与えない。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 教科書 教科書 テキストは、使用しない。講義、演習は、プリントおよびプロジェクターで行う。/ 参考書: 適当な参考書は講義の中で、適宜紹介する。</p> <p>教官連絡先 E-mail: kajiwara@yamaguchi-u.ac.jp</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	化学 II	区分	講義	開設期	後期
対象学生	感性	単位	2 単位	曜時限	月曜日 3・4 時限
担当教官	岩田祐之				
<p>授業概要 有機化学の基礎的な概念を述べ、主要な有機化合物の化学結合、分類、命名法、化学構造、物理的および化学的性質、反応、合成法などの有機化学の概要を説明する。また、有機化合物を取扱う実験・研究に必要な基礎知識を身につけることを目的とする。</p> <p>授業一般目標 有機化学が、生命現象や生活環境に大きく関わりを持っていることを理解し、またそれらは全て化学反応の組み合わせであることを理解する。一般に、原子の構造と化学結合、命名法や化学構造、化学反応、芳香族化合物の反応性・配向性から有機合成などが理解できるようにする。</p> <p>成績評価方法 (総合) 中間・期末試験および出席 (レポートを含む) によって評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 有機化学概説第 5 版, マクマリー, 東京化学同人, 2004 年</p> <p>教官連絡先 岩田祐之 (農学部本館 231 室) 電話 5899 E-mail: hiwata@yamaguchi-u.ac.jp</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	化学 II	区分	講義	開設期	後期
対象学生	生機・獣医	単位	2 単位	曜時限	月曜日 5・6 時限
担当教官	岩田祐之				
<p>授業概要 有機化学の基礎的な概念を述べ、主要な有機化合物の化学結合、分類、命名法、化学構造、物理的および化学的性質、反応、合成法などの有機化学の概要を説明する。また、有機化合物を取扱う実験・研究に必要な基礎知識を身につけることを目的とする。</p> <p>授業一般目標 有機化学が、生命現象や生活環境に大きく関わりを持っていることを理解し、またそれらは全て化学反応の組み合わせであることを理解する。一般に、原子の構造と化学結合、命名法や化学構造、化学反応、芳香族化合物の反応性・配向性から有機合成などが理解できるようにする。</p> <p>成績評価方法 (総合) 中間・期末試験および出席 (レポートを含む) によって評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 有機化学概説第 5 版, マクマリー, 東京化学同人, 2004 年</p> <p>教官連絡先 岩田祐之 (農学部本館 231 室) 電話 5899 E-mail: hiwata@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	化学 II	区分	講義	開設期	後期
対象学生	応化	単位	2 単位	曜時限	火曜日 3・4 時限
担当教官	鬼村謙二郎				
<p>授業概要 有機化学の基礎を体系づけて学ぶコースです。この授業ではアルカンから始まり、コンホメーション・光学異性・立体異性・求核置換反応・脱離反応などの有機化学のもっとも基礎的な範囲について学習します。また、3次元的な分子構造の理解を助けるために、分子模型を積極的な利用も行います。</p> <p>授業一般目標 コース終了時には、修了者は 1. アルカンやシクロアルカンのコンホメーションに対する正しい理解と評価が得られ、2. 光学異性体や立体異性体について、その存在と命名および3次元的な構造把握ができ 3. 求核置換反応と脱離反応について反応様式とその特性を理解していることを目標とします。さらに、4. これらの知識を利用して初歩的な有機反応に関する議論ができることで、この後の専門科目である有機化学 I に対してスムーズに橋渡しできる、ことも期待されます</p> <p>成績評価方法 (総合) 中間試験と期末試験を主として評価する。また小テスト、レポート、出席状況も評価の対象に含まれる。出席状況を定期試験の欠格事項にすることはしないが、出席しなければ理解できないので毎回必ず出席してください。</p> <p>教科書・参考書 教科書：「現代有機化学(上)第4版」、ボルハルト・ショアー、化学同人、2004年；教科書のほかに HGS 分子構造模型 C：有機化学学生実習用セット、丸善 も必須です。また授業用のプリントも配布します</p> <p>メッセージ 有機化学はそれほど難しいものではありませんが、英語などの語学の勉強とよくにしています。毎日少しずつ継続的に勉強してください。</p> <p>教官連絡先 工学部応用化学科、E-mail: onimura@yamaguchi-u.ac.jp 工学部本館 4 階北側 水曜日 5,6 時限</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	化学 II	区分	講義	開設期	後期
対象学生	循環	単位	2 単位	曜時限	火曜日 7・8 時限
担当教官	山本豪紀				
<p>授業概要 ものをつくり、ものを対象とした研究を行う分野において、ものの本質や特性を知ることなく、これを進めることは不可能である。人間が生産・使用・消費するものの大部分が有機化合物であることを鑑みると、高度な研究能力をもって、環境関連分野をはじめとする様々な分野で社会に貢献できる人材養成のためには、一連の有機化合物に対する知識が不可欠である。そこで、本講義では脂肪族炭化水素、芳香族炭化水素、ハロゲン化アルキル、アルコール、エーテル等の構造と性質、およびそれらの反応について説明するとともに、有機化合物の反応における基本的な原理・法則や、工学と有機化学との関わりについても解説する。</p> <p>授業一般目標 (1) 理系学生として最低限必要な有機化学の基礎的な事項について理解する。(2) 一般的な有機化合物の構造、性質、反応について知る。(2) 有機化合物について関心を持ち、工学の中での有機化合物の役割を積極的に理解しようとする態度を養う。</p> <p>成績評価方法 (総合) 詳細は第 1 回目講義のガイダンスで行うが、中間試験、期末試験、課題レポート、講義への取り組みの積極性を総合的に評価する。出席が所定の回数に満たない者は不合格となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書：ブルース有機化学概説、Paula Y. Bruice 著、大船泰史・香月 昴 訳、化学同人、2006 年 / 参考書：グリーン・ケミストリー、吉村 忠与志 他著、三共出版、2001 年</p> <p>メッセージ 有機化学にも数学や物理と同じように「公式」があります。公式を理解し、利用できるようになると、有機化学は難しくありません。また、今ではたくさんの有用な情報がインターネット上にあります。講義に関連する多くの情報もインターネット上にありますので、それを上手に利用してください。但し、間違った情報には気をつけて下さい。</p> <p>教官連絡先 工学部本館南 4 階 h-yymmt@yamaguchi-u.ac.jp</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	化学 II	区分	講義	開設期	後期
対象学生	社建	単位	2 単位	曜時間	木曜日 3・4 時限
担当教官	中野 昭夫				
<p>授業概要 有機分子の構造、有機化学反応の基礎を最初に講義する。次に生命体を構成する生体物質や環境に影響を及ぼす有機分子等について学んで行く。化学 I に続き、食と健康や環境を有機化学の観点から学んで行く。</p> <p>授業一般目標 学問の進歩に伴い、科学の全ての分野で分子レベルでの解明が進みつつある。本講義は、有機化合物の分子構造及び有機化学反応の基礎を学ぶことにより、身の回りのさまざまな現象を分子レベルで理解して戴くことを第一の目標とする。</p> <p>成績評価方法 (総合) 期末試験の結果 (理解度) を最重要項目とするが、関心度 (毎回の小テスト、レポート) と出席状況も評価に加える。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 生活の基礎化学 増補訂正, 神谷功著者代表, 東京教学社, 2000 年 / 参考書: 図表で学ぶ化学, "大城芳樹, 平嶋恒亮著", 化学同人, 1999 年</p> <p>メッセージ 出席を重視します。最終授業でノートチェックを行います。期末試験にノート、テキスト持ち込み可とします。</p> <p>教官連絡先 Email:a-nakano@toua-u.ac.jp</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	化学 II	区分	講義	開設期	後期
対象学生	工 2 年	単位	2 単位	曜時間	木曜日 11・12 時限
担当教官	上村明男				
<p>授業概要 現代社会の中で多くの化学物質とりわけ有機化合物が生活や先端技術を支える材料として広く用いられているだけでなく、新たな機能を求めて今なお新たに創出されています。この有機化合物を支配している原理としての「有機化学」を学ぶことにより、ただ単に有機物質の製造だけでなく生命科学、生活科学や環境科学との関わりを理解させ、化学工業が社会の中で果たしている役割の一端を示したいと考えています。</p> <p>授業一般目標 高等学校で学ぶ「化学」は物理化学、無機化学、分析化学および有機化学をまとめたものでした。その中で「有機化学」は教科書の後半部に配置されており、多くの学生諸君にとってはただ覚えるだけ (もちろん理解したうえで) の課題であったかも知れません。本講義では有機化学の基礎的概念や有機反応の面白さを学ぶことにより、「覚えるだけの有機化学」を「その面白さを楽しむ有機化学」に変換させることを目標としています。</p> <p>成績評価方法 (総合) ミニテスト、中間試験および期末試験結果と出席状況により総合的に判定する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: ベーシック有機化学, 山口良平・山本行男・田村類, 化学同人, 1998 年</p> <p>教官連絡先 研究室: 総合研究棟 7 階 718 オフィスアワー: 月曜日 8:40-10:20</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	化学 II	区分	講義	開設期	後期
対象学生	学教(教科(理))・情報・数理・物 情・地球・生資	単位	2 単位	曜時限	金曜日 3・4 時限
担当教官	石黒勝也				
<p>授業概要 有機系化学(有機化学、生化学、高分子化学、薬理学等に関する分野)の基礎を理解する。近年、多様な分野で「ナノ」が重要なキーワードとなっているように、大学で自然科学を学ぶ学生は、たとえ化学を専門としない立場であっても、近い将来、分子スケールで機能する素子について理解できる能力が必ず必要とされる。この講義では、有機化学の基礎となる分子の性質や化学反応性について、原理的な面を主に学習する。</p> <p>授業一般目標 基本的な原理を理解することにより、分子の構造や化学反応について、暗記するのではなく、考えて判断できる力を養ってほしい。</p> <p>成績評価方法(総合) 中間試験、期末試験、レポート、出席、小テストなどにより総合的に評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：講義・演習等は全てプロジェクトを用いて行い、また、プリントを配布する。資料等は Web 上で公開する。化学式の作成及び分子構造の描写等にコンピュータを使用するため、ノート型 PC を持参すること。/ 参考書：はじめて学ぶ大学の有機化学、深沢義正・笛吹修治、化学同人、2001 年</p> <p>メッセージ 積極的な取り組みを期待します。</p> <p>教官連絡先 E-mail kagaku2@yamaguchi-u.ac.jp, 電話 5727, 研究室 総合研究棟 208 室, オフィスアワー 木曜日 17:00~18:30</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	化学 II	区分	講義	開設期	後期
対象学生	機械	単位	2 単位	曜時限	金曜日 3・4 時限
担当教官	右田耕人				
<p>授業概要 有機化合物を立体化学と酸塩基の 2 つの面から解説し、主要な有機化学反応を立体化学的な説明を行う。</p> <p>授業一般目標 有機立体化学における基礎概念を理解し、有機分子の構造の多様性について理解を深める。次に、有機化合物の酸・塩基の強さを有機電子論によって理解する。更に、典型的な有機化学反応の機構について学ぶ。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験により知識・理解目標などの到達度を評価するが、講義の中で行う小テストで段階での到達度を確認し、宿題によって内容の理解を補強する。出席が所定の回数に満たない者には単位を与えない。</p> <p>教科書・参考書 教科書：有機化学のしくみ、加藤明良、鍋島達弥、三共出版、2001 年</p> <p>メッセージ 有機化学の楽しさを味わい、有機化学の能力をつけて欲しい。</p> <p>教官連絡先 総合研究棟 208 号室(電話 083-933-5733) migita@yamaguchi-u.ac.jp オフィスアワー：金曜日 17:00~18:30</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	化学 II	区分	講義	開設期	後期
対象学生	電気	単位	2 単位	曜時限	金曜日 3・4 時限
担当教官	藤原勇				
<p>授業概要 多種多様な有機化合物の構造、性質や反応が、どのような考え方に基づいて体系的に理解されているのかを、構造論と反応論を中心に、なるべく身近な有機化合物を例にして説明する。各回の講義内容は、教科書の順序にしたがって下記のようにする予定である。また、一方通行になりがちな講義を補い、受講者の理解を深めるため、毎回演習問題およびレポートを課し、レポートは次の週の月曜日午後 4 時までには解答の提出を求める。質問や感想、希望なども、この解答用紙に記入しておけば、できるだけ個別に回答する。次回の最初に、提出されたレポート等を返却し、演習問題等の略解を示して必要な説明を加える。</p> <p>授業一般目標 有機化合物の構造・性質・変化について、基本的な理解を深める。</p> <p>成績評価方法 (総合) 中間試験 (30 点満点)、期末試験 (50 点満点)、平常点 (毎回の演習問題への取り組みと出席状況) を総合して評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 有機化学 (改訂版), 小林啓二, 裳華房, 1997 年; 山口大学生協ブックセンターにて販売</p> <p>メッセージ わかりにくいところは放置せずに、質問に来てください。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	化学 II	区分	講義	開設期	後期
対象学生	医学	単位	2 単位	曜時限	金曜日 5・6 時限
担当教官	上村明男				
<p>授業概要 有機化学の基礎を修得するために、まず最小限の基礎原理を説明する。次に、それにもとづいて各種の有機反応を理解することによって、有機化学の基礎を確かなものにする。</p> <p>授業一般目標 有機化合物の結合や構造および反応を電子、分子軌道、立体化学などのごく限られた基礎原理から理解することによって、有機化学の基礎を系統的に身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) (1) ショートテスト (毎回実施) およびレポート。(2) 中間テストの実施および演習。(3) 期末試験の実施。なお、出席が所定の回数に満たない者には、単位を与えない。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 教科書 テキストは、使用しない。講義、演習は、プリントおよびプロジェクターで行う。/ 参考書: 適当な参考書は講義の中で、適宜紹介する。</p> <p>教官連絡先 E-mail: kajiwara@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

系列 自然科学

分野 化学

科目類型 総説

開設科目	化学 II	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	検査	単位	2 単位	曜時限	金曜日 7・8・9・10 時限
担当教官	田中経彦				
<p>授業概要 医学部保健学科検査技術学専攻学生を対象に開講する必修講義です。有機化合物の官能基の反応性や化合物の命名法を主体に学習し、現代医学の基礎となっている生化学が理解できる基礎知識を習得します。</p> <p>授業一般目標 前期後半期に履修する生化学及びそれに続く検査学科目を理解するために必要な有機化学知識 獲得を目指します。</p> <p>成績評価方法 (総合) 小テスト及び定期試験による (定期試験は7月下旬の試験週間に実施する)</p> <p>教科書・参考書 教科書: ハート基礎有機化学 3 訂版, H. ハート, L.E. クレーン, D.J. ハート共著; 秋葉欣哉, 奥彬共訳, 培風館, 2002 年; 教科書 教科書 ハート基礎有機化学 培風館 3900円</p> <p>メッセージ 構造式は、漢字の書き取りと一緒に、4～5回も書けば覚えられます。関連科目の生化学、薬理学、生理学では物質の構造式は必須です。</p> <p>教官連絡先 http://ds.cc.yamaguchi-u.ac.jp/tatehiko/po-login/index.html ここから質問とその回答を掲載したページへ行けるようにします。小テスト、参考資料等もここから入手できるようにします。保健学科シラバスからもいけます。 http://web.cc.yamaguchi-u.ac.jp/pmt2001/po-login/Syllabus/index.htm この URL はお気に入りに追加して下さい。ここで、教官ホームページをクリックして下さい。検査を選び田中化学をクリックすれば到達します。授業の終わりに質問を受け付けるつもりです。メール連絡先: tatehiko@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

系列 自然科学

分野 生物学

科目類型 総説

開設科目	生物学 I	区分	講義	開設期	後期
対象学生	学教(教科(理))・情報・理	単位	2 単位	曜時限	月曜日 3・4 時限
担当教官	祐村恵彦・藤島政博				
<p>授業概要 現代生物学では、分子から生物を理解しようとしている。そのため生物を構成する分子を理解することは生物学を学ぶ上で必須であるといえる。社会問題となっている、エイズ、SARS、狂牛病、鳥インフルエンザについても分子レベルの知識が必要になる。この授業では生物を構成する分子をその構造から理解する。</p> <p>授業一般目標 生物を分子の高次な集合体としてとらえ、生物を構成する分子を構造から理解する。</p> <p>成績評価方法 (総合) 小テスト、レポートを重視する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: いきものからくり, 中村和行・高橋進, 培風館; 生化学入門, 相原英孝, 東京教学社</p> <p>メッセージ 分からないままにしないで、ぜひ質問してください。</p> <p>教官連絡先 祐村 総合研究棟 401 オフィスアワー月曜 12:00-13:00 藤島 理学部 3 号館 103 オフィスアワー月曜 12:00-13:00</p>					

開設科目	生物学 I	区分	講義	開設期	後期
対象学生	獣医	単位	2 単位	曜時限	月曜日 3・4 時限
担当教官	山本芳実				
<p>授業概要 本講義は、連続して開講される生物学 II とともに基礎的生物学を提供するものである。生物学 I では特に、生命の基本原 理、生物進化のしくみ、生物の多様性を中心に学ぶ。</p> <p>授業一般目標 地球上における生物による物質変換の概略を理解し、地球環境における生物の重要性を認識する。生物のメカニズム に精巧さに触れ、それに驚きを感じることで、生命に対する探究心を養う。生物進化の過程、現存する生物の多様性について認識を新た にし、同時にこの多様な生物が驚くべき共通性をもっていることを理解する。</p> <p>成績評価方法 (総合) 各自最低 1 回の発表が義務付けられる。発表者は、同時に担当分野のレポートを提出する事。定期試験は行わ ないが、出席、および討論への参加は必須条件である。</p> <p>教科書・参考書 参考書：生きもののかくり (改訂版)、中村・裕村・山本編、培風館、2006 年</p> <p>メッセージ 本講義は、知識の吸収とともに、プレゼンテーション能力を高めることを目的にしている。</p> <p>教官連絡先 農学部獣医放射線学講座 (生化学研究室) 農学部 2 0 9 号室 Tel & Fax: 083-933-5909 E-mail: yamatata@yamaguchi- u.ac.jp オフィスアワー：いつでも</p>					

開設科目	生物学 I	区分	講義	開設期	後期
対象学生	生資	単位	2 単位	曜時限	水曜日 1・2 時限
担当教官	高橋肇				
<p>授業概要 本講義では、生物が「生き物」としてもつ基本的特性を学び、生命現象や生物に関する理解や知識を深めることで、生命 の本質を探る基礎を身につけることを目的とする。生物は、細胞を単位とし、代謝によって必要な物質やエネルギーを得て生きている。 生物は、生殖によってふえ、親の形質が遺伝子によって子に伝えられる。さらに生物は、刺激に反応してからだの状態や働きを調節し、 集団をつくって生活している。このような生物のもつ共通の特性を柱として生物学を学んでいく。</p> <p>授業一般目標 高校で学習する生物学から始めて、専門教育へスムーズに移行できるだけの学力をつける。</p> <p>成績評価方法 (総合) 前週までの講義内容を習得したかどうかを確認しながら、講義をすすめていく。このため、毎週、講義開始か ら 15 分間の小テスト (7 点満点) を行い、これらと期末テストとの総合計点 (100 点満点) により成績を評価する。欠席・0 点以外の 答案には再提出により修正箇所に対して配点の 1/2 の得点を与える。なお、小テストですべてを誤答して 0 点となった場合、あるいは 欠席または遅刻により受験せずに 0 点となった場合は、レポートを提出することで小テストの満点 7 点の 1/2 の 3.5 点を与える。</p> <p>メッセージ 小テストは、前週の講義内容から出題する。講義時間中にヒントを与える。再提出の解答方法・0 点 (欠席) に対する レポート作成方法 間違った設問についても、正しく修正されれば各回のテストが完全に修正された段階で減点された分の半分の得点 を与える。解答は答案の裏面に行うこととし、記述問題では自身で横 20 文字のマス目を作成して、穴埋め問題では単語を書き込む枠 と番号を作成して、その中に正解を書き込むこと。なお、再々提出は、別紙に正解・不正解に関わらずその回の小テストの問題文、解 答文を含めたすべてをまるごと記述して提出する。小テストで 0 点となった場合、あるいは授業に欠席または遅刻して小テストを受 験できなかった場合、レポートを作成して提出することで満点の 1/2 の得点を与える。レポートはその小テストの対象となる授業で配 布されたプリントに書かれてあることすべて (図表等も含めて) を A4 の用紙に手書きにて書き写したものとす。すべてが正しく記 載されていることを確認した後、得点を与える。</p> <p>教官連絡先 連絡先: tadashit@yamaguchi-u.ac.jp オフィスアワー 月～金曜日 7:00～8:00 月・火・木・金曜日 12:00～12:30</p>					

開設科目	生物学 I	区分	講義	開設期	後期
対象学生	生機	単位	2 単位	曜時間	水曜日 1・2 時限
担当教官	滝本晃一				
<p>授業概要 生命を形作っている物質、細胞の構造、タンパク、脂質、糖などの生体成分の基本的事項、細胞増殖、遺伝現象、DNA の構成成分、構造、遺伝における役割、遺伝子の複製、遺伝情報の取り出し、遺伝子操作技術などの基礎的事柄について概説する。予習や復習に役立つ本として特に特定のもの是指定しませんが、図書館にある本はどれも役に立つと思います。</p> <p>授業一般目標 生物全般にわたっての基礎的理解をめざす。そのために、生命の構造やそれを構成している成分を知り、さらに生命の継続として遺伝及び遺伝物質を十分理解する。その上でそれらの知識や理解が生物機能科学科の専門科目を学ぶ上での基礎となることを目指す。遺伝現象は生命の基本であるので、DNA や遺伝子について比較的多くの時間を割く予定である。</p> <p>成績評価方法 (総合) 授業の範囲内で重要なところについて期末試験(筆記)をします。理解の期間中に小テストをして断片的に覚えるのではなく、それぞれを関連づけて有機的に理解するようにつとめて下さい。記述を求める問題も出題します。</p> <p>メッセージ スクリーンに文章や絵を投射して講義を進めるので、特に視力に問題がある人は前の方に座ること。マナーを守ること。授業中ケイタイの着信音が鳴らないようにしておく。授業中飲み食いしない。授業中出入りしない。遅刻しない。適宜プリントを配付するが、口頭での説明や写真の要点をメモするよう。</p> <p>教官連絡先 研究室 農 404, オフィスアワー 随時</p>					

開設科目	生物学 I	区分	講義	開設期	後期
対象学生	看護	単位	2 単位	曜時間	水曜日 3・4 時限
担当教官	梅田昭子				
<p>授業概要 細胞、特に動物細胞の構造と機能を理解し、細胞はどのように生命を維持し増殖していくのかを解説する。また、動物は個々の細胞が分化して組織・臓器を形成すること、その過程は卵の分割からどの時期に行われるのか等について解説する。さらに各細胞に存在する染色体と遺伝子について理解し、遺伝の原理をメンデルの法則からヒトの遺伝子病までを理解できるよう講義するつもりである。</p> <p>授業一般目標 各組織や臓器を形成している細胞の構造と機能を学び、発生時の細胞の分化について理解する。また、染色体と遺伝子、遺伝、遺伝子型と表現型、遺伝子発現の機構、ヒトにおける遺伝子病および遺伝子診断について理解を深めることを目的とする。</p> <p>成績評価方法 (総合) 授業中に行う理解度を判定するための小テストおよび期末テスト、また適宜こちらから出した課題に対するレポートにより総合評価を行う。</p> <p>教科書・参考書 教科書： <基礎固め> 生物 村松瑛子、安田正秀著 化学同人発行 ISBN4-7598-0896-5</p> <p>メッセージ 予習と復習をよくおこなって下さい。</p>					

開設科目	生物学 I	区分	講義	開設期	後期
対象学生	工 2 年	単位	2 単位	曜時限	水曜日 5・6 時限
担当教官	村瀬ひろみ				
<p>授業概要 この講義では、生物学の基本を学ぶ。生物の体の仕組みや、生態系、進化について幅広くフォローする予定である。生物学は現代社会との関わりも深く、ニュースなどの話題となっている技術(クローンなど)についてもとりあげる。</p> <p>授業一般目標 生物学の基礎がわかり、生物学に関連した先端技術についても、新聞、ニュースなどを見て理解できることを目標とする。</p> <p>成績評価方法(総合) 試験によります。</p> <p>教科書・参考書 教科書: プリント配布。授業中に指示。/ 参考書: 進化論という考え方, 佐倉統, 講談社現代新書, 2002年; 新しい生物学の教科書, 池田清彦, 新潮社, 2001年; サル学の現在(上)(下), 立花隆, 文春文庫, 1996年; 授業中に、他の参考文献について指示します。</p> <p>メッセージ 積極的な参加を期待します。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	生物学 I	区分	講義	開設期	後期
対象学生	医学	単位	2 単位	曜時限	水曜日 7・8 時限
担当教官	澤田知夫ほか 2 名				
<p>授業概要 医学生のための生物学という観点から、専門で学ぶ解剖学・生理学・生化学の学問への導入を行うことで、ヒトの生命を維持するしくみを総合的に理解する。</p> <p>授業一般目標 ヒトの生命を維持するしくみを理解するために、器官や細胞の構成とその機能と調節、生殖と発生、さらに遺伝現象を学ぶ。</p> <p>成績評価方法(総合) 最終試験 = 80% 授業態度 = 20% 出席が満たない、あるいは授業態度がきわめて不良な場合には、最終試験の受験できない。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Essential 細胞生物学, 中村佳子・松原謙一 監訳, 南江堂, 2005年; 指定された教科書・参考書は、専門科目においても教科書・参考書として使用される。/ 参考書: ギャノン生理学, 星猛 他訳, 丸善, 2004年</p> <p>メッセージ 講義出席 2/3 以上は受験資格への要件であり、筆記試験で評価します。専門過程への導入となる主として哺乳類・ヒトを対象とした生物学ですが、同時に生物としてのヒト・自分自身を知るための学習でも有ります。一定の知識修得を求めますが、むしろ生物を理解するための骨格となる概念や、各回ごとに学習対象となる生命現象の概要・生体システムの概要を把握するように予習・復習してください。</p> <p>教官連絡先 電子メール: 澤田知夫: roretzi@yamaguchi-u.ac.jp 中井 彰: anakai@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

系列 自然科学

分野 生物学

科目類型 総説

開設科目	生物学 II	区分	講義	開設期	後期
対象学生	医学	単位	2 単位	曜時限	火曜日 7・8 時限
担当教官	安溪貴子				
<p>授業概要 私たちが会おう生き物を、測定機器や電子顕微鏡ごしではなく、自分の五感をつかって直接観察し、研究する。そんなマクロの生物学がもつ魅力を伝えたい。ア)研究方法の特徴、イ)生物の多様な生活の面白さと不思議、ウ)個体群・群落・群集、社会、生態系といったレベルの異なる世界、生物多様性など、地球生命系全体に共通するとらえ方。エ)地球の生命がかくも多様である事実の意味を問い、いのちあるものの一員としての「わたし」の果たすべき役割を考える。</p> <p>授業一般目標 いのちあふれる奇跡の星 = 地球に展開する生命とその死の不思議について学ぶ。身近な所の命に気づき、その現状を知って理解し、生命の歴史、ヒトと自然とのかかわりの歴史にも視野をひろげて、未来についても考える力を養いたい。</p> <p>成績評価方法 (総合) 毎回の小レポートと最後にするテストで採点。</p> <p>教科書・参考書 教科書：教科書は使いません。講義中にプリントを配布します。参考書なども随時紹介します。/ 参考書：講義時にプリントを配布します。</p> <p>メッセージ 戸外に出たり、生き物そのものに触れたりする時間を持ちます。その機会をできるだけ楽しみながら、「いのち」への感性を育ててください。</p> <p>教官連絡先 ankei@fis.ypu.jp</p>					

系列 自然科学

分野 生物学

科目類型 総説

開設科目	生物学 II	区分	講義	開設期	後期
対象学生	看護・検査・工	単位	2 単位	曜時限	金曜日 1・2 時限
担当教官	渡辺雅夫				
<p>授業概要 生理学、行動学、生態学分野のさまざまなレベルで見られる生物現象を解説する。種々の調節が行われる場での情報のあり方を考えていく。</p> <p>授業一般目標 生物のメカニズムの精巧さに触れ、それに驚きを感じることで、生命に対する探究心を養う。生物の多様性について認識を新たにし、同時にこの多様な生物が驚くべき共通性をもっていることを理解する。地球上における生物による物質変換の概略を理解し、地球環境における生物の重要性を認識する。</p> <p>成績評価方法 (総合) 授業内小テストを 2 回行い、宿題レポート課題を提示する。中間、期末の 2 回試験を行う。これらを下記の割合で、総合評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：資料プリントを配付する予定である。/ 参考書：授業中に提示する。</p> <p>教官連絡先 研究室：理学部 3 号館 113 号室 (内線 5767) オフィスアワー：月曜日 14:30 ~ 16:00</p>					

系列 自然科学

分野 生物学

科目類型 総説

開設科目	生物学 II	区分	講義	開設期	後期
対象学生	学教(教科(理))・情報・理	単位	2 単位	曜時限	金曜日 1・2 時限
担当教官	松村澄子				
<p>授業概要 生物はこの地球上で 20 億年以上をかけ、多くの種類に進化した。多様な生物の進化の道筋(系統)や、からだの作りの特徴、分類の基本について学ぶ。また後半では多様な生物が共に生きるしくみについて学ぶ。</p> <p>授業一般目標 1. 学名や分類の基本を理解する。2. 多様な動物を体制を元にして比較する力を身につける。3. 脊椎動物からヒトまでの進化の筋道を理解する。3. ヒトの自然界における位置について考察する。4. 生物多様性の意義を理解する。</p> <p>成績評価方法(総合) (1)授業中に小テストを 10 回程度行なう。(2)2~3 回重要な課題について宿題レポートを課す。字数や様式はそのつど指示する。(3)中間、期末と 2 回の試験を実施する。以上を下記の観点、割合で評価する。なお小テストは、各時間内に設問を課し提出させるので、出席状況の確認も兼ねる。またテスト範囲は前半、後半に分割して行なうので、それぞれにおいて出席が所定の回数に満たないものには、単位を与えない。成績評価方法 知識・理解 思考・判断 関心・意欲 態度 技能・表現 評価割合 定期試験 30% 合計 70% 小テスト/レポート 100%</p> <p>教科書・参考書 参考書：教養の生物学, 越田豊, 培風館, 1988 年</p> <p>メッセージ 遅刻者への寛容な対応は行なわない。生物学の基礎知識が十分でない人も講義は内容を反復復習しながら進めるので、まじめな履修を心がけて欲しい。</p> <p>教官連絡先 E-Mail:batmatsu@yamaguchi-u.ac.jp 電話：9 3 3 - 5 7 2 3 オフィスアワー：金曜日 3・4 時限</p>					

系列 自然科学

分野 生物学

科目類型 総説

開設科目	生物学 II	区分	講義	開設期	後期
対象学生	獣医	単位	2 単位	曜時限	金曜日 3・4 時限
担当教官	山本芳実				
<p>授業概要 本講義は、生物学 I に連続して開講される。本講義では、現代生物学の基本的考え方—分子のレベルで生命現象をみる—を様々な生命現象の理解をとおして学ぶ。</p> <p>授業一般目標 生物のメカニズムに精巧さに触れ、それに驚きを感じることで、生命に対する探究心を 養う。生物の細小単位である細胞を中心に、構成分子について物理や化学の視点を踏まえて生命への理解を深める。生命活動におけるエネルギー代謝の意義を考察する。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験をおこなう。</p> <p>教科書・参考書 参考書：生きもののからくり(改訂版), 中村・裕村・山本編, 培風館, 2006 年; 基礎生化学, Voet et al., 田宮等訳, 東京化学同人, 2004 年</p> <p>教官連絡先 農学部獣医放射線学講座(生化学研究室)農学部 209 号室 Tel & Fax: 083-933-5909 E-mail: yamataka@yamaguchi-u.ac.jp オフィスアワー：いつでも</p>					

系列 自然科学

分野 地球科学

科目類型 総説

開設科目	地球科学 II	区分	講義	開設期	後期
対象学生	理・看護・検査	単位	2 単位	曜時限	月曜日 1・2 時限
担当教官	永尾隆志				
<p>授業概要 地球の生成や発達歴史を学ぶための基礎知識を学ぶ。</p> <p>授業一般目標 地球科学の基礎的な事項を理解し、地球の過去・現在・未来を考える。</p> <p>成績評価方法 (総合) (1) 授業中に小テストや授業内レポートを作成する。(2) 最後に試験を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：基礎地球科学, 西村祐二郎ほか, 朝倉書店, 2002 年</p> <p>メッセージ 講義内容に関して、自発的に学習する習慣を身につけて欲しい。</p> <p>教官連絡先 研究室：理学部南棟 3 階 340 室 e-mail tnagao@yamaguchi-u.ac.jp</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 自然科学

分野 地球科学

科目類型 総説

開設科目	地球科学 II	区分	講義	開設期	後期
対象学生	教・農	単位	2 単位	曜時限	木曜日 1・2 時限
担当教官	今岡 照喜				
<p>授業概要 本授業では、地球科学をほとんど学習したことのない学生を対象に、幅広い地球科学全般の基礎知識に最新の成果を織りまぜながら分かりやすく解説する。</p> <p>授業一般目標 地球科学の基礎的事項について理解し、現代の地球観を理解する。</p> <p>成績評価方法 (総合) レポート提出、小テスト、期末テストを下記の割合で評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：基礎地球科学, 西村祐二郎編著, 朝倉書店, 2002 年；基礎地球科学(西村祐二郎ほか著), 朝倉書店, 2002 年出版</p> <p>メッセージ 教科書は必ず購入し、毎回の授業に持参すること。</p> <p>教官連絡先 imaoka@yamaguchi-u.ac.jp 総合研究棟 701 号室 オフィスアワー 金曜日 15:00~17:00</p>					

系列 自然科学

分野 地球科学

科目類型 総説

開設科目	地球科学 II	区分	講義	開設期	後期
対象学生	工	単位	2 単位	曜時限	金曜日 5・6 時限
担当教官	千々和一豊				
<p>授業概要 地球科学の諸分野(地質、地球物理、海洋、気象、天文)の基礎的内容を取り扱う。高等学校でも地学を受講していない学生にも理解できるように平易な解説を試みる。</p> <p>授業一般目標 人類を含む地球生命体を育む地球の特徴、その地球に見られる様々な自然現象とその背景、天体の動きや宇宙の広がりなど、自然の姿を理解し、われわれの生活が自然界と密接に関係していることを認識するのが目標である。</p> <p>教科書・参考書 教科書: プリント配布 / 参考書: 地学図解(最新版), , 第一学習社</p>					

系列 自然科学

分野 自然科学概論

科目類型 総説

開設科目	数学概論	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教(情報除く)	単位	2 単位	曜時限	木曜日 5・6 時限
担当教官	飯寄信保, 笠井伸一				
<p>授業概要 人文系の学生を対象に、数学への入門を概説する。</p> <p>授業一般目標 2人の担当者それぞれが話題を選び、前半と後半で2つの話題について学ぶ。</p> <p>成績評価方法(総合) テストまたはレポート及び出席による。</p> <p>メッセージ 演習問題を解くことが重要です。分からないところは遠慮なく質問して下さい。その為にオフィスアワーもあります。</p>					

開設科目	数学概論	区分	講義	開設期	後期
対象学生	経 (1-200)	単位	2 単位	曜時限	木曜日 5・6 時限
担当教官	柏木芳美				
<p>授業概要 ミクロ経済学の理解のために必要な基本的な数学の事柄と 1 変数関数の微分について概説する。ミクロ経済学では「限界」や MR, MC などという言葉が頻繁に出てくる。これは微分を意味していて、微分の知識無くしてはミクロ経済学の本質的な理解は困難である。また、公務員試験でも微分の知識はなくてはならない。予備知識としては数学 II あるいは、AO 入試及び推薦入試合格者に配られた入学前指導が理解されていれば十分である。一番大切なのはやる気とその持続である。</p> <p>授業一般目標 微分は関数を調べる強力な道具である。その基本をしっかり身につけて、ある程度の計算ができてミクロ経済学に応用できることがこの授業の目標である。</p> <p>成績評価方法 (総合) 中間試験と期末試験の平均が 60 点以上が合格。演習問題には詳しい解説を付けてあるので毎回出す宿題をしっかりと解いておくように。解けない問題は授業又はオフィスアワーで質問すること。小テストは、周りの人と相談してもよく、授業内容の理解の確認が目的である。遅刻・欠席をしないように心懸けること。尚、テキストの誤植指摘に最大 20 点の点数を与える。</p> <p>教科書・参考書 教科書：数学概論 第 3 版, 柏木芳美, 2007 年; 生協で販売する。</p> <p>メッセージ 演習問題をコツコツと解くこと。分からないところは遠慮なく質問すること。その為にオフィスアワーもある。やる気とその持続が一番重要である。</p> <p>教官連絡先 E-mail:kashi-y@yamaguchi-u.ac.jp, 電話:933-5595, 研究室:経済学部 C213。オフィスアワーは授業開始時点に伝える。</p>					

開設科目	数学概論	区分	講義	開設期	後期
対象学生	経 (201-)	単位	2 単位	曜時限	金曜日 5・6 時限
担当教官	渋谷綾子				
<p>授業概要 高等学校で学んだ数学を基礎に、経済分野で必要になる数学を学ぶ。様々な関数、微分、最適化、統計、線形代数、確率に関わる一般的な知識を身につけ、思考力を養う。</p> <p>授業一般目標 次のことを理解する。・1 次関数 ・2 次関数 ・指数、対数 ・関数とグラフの関係 ・方程式について ・複利計算、連続複利、現在価値、割引の計算 ・微分について ・関数の形状と解法について (最適化問題の解法) ・統計に関わる一般的知識 ・線形代数の基礎 ・不確実性と確率の関係について</p> <p>成績評価方法 (総合) 定期試験 70%、小テスト・授業内レポート 30%を目安に、総合的に成績を決定する。小テスト・授業内レポートは予告なしに授業時間内に実施するので、欠席すると減点になることがある。</p> <p>教科書・参考書 教科書：毎回の授業でプリントを配布します。そのプリントの設問に答えることで授業進行が進行します。ただし、自分なりのまとめを記すノートも授業には必携してください。プリントは次回の授業で返却します。したがって、そのプリントが授業ノートにもなるので、なくさないこと。/ 参考書：講義プリントを配布する予定です。</p> <p>メッセージ 関数、グラフ、方程式、微分、最適化、統計、確率</p> <p>教官連絡先 shibuya@yamaguchi-u.ac.jp オフィスアワーは授業中にお知らせします</p>					

開設科目	現代化学総説	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教・経	単位	2 単位	曜時限	水曜日 7・8 時限
担当教官	西口 毅				
<p>授業概要 本講では、大競争時代を生きるのに有効性を持つと同時に、「自然について学ぶことの面白さ」が伝わる授業をめざしたい。それができるためには、高いレベルを保ちつつも、高校で化学を履修していない人でも理解できる分かりやすさと、新しい発見が必要であろう。日常的現象、生命現象、環境問題、社会的諸問題などを、「それはなぜ起こるのか」という観点から解説する。最も身近な化学反応である燃焼については、毎回行う演示実験によって学ぶ。最も身近な化学反応である燃焼については、毎回行う演示実験によって学ぶ。すべての授業はパソコンからスクリーンに出力しながら行う。授業で使ったスライドは、全て Web ページ (http://www2.to/chemistry) からダウンロードできるので、予習、復習に役立てて欲しい。学生諸君の質問(日頃の疑問など)にもできるだけ答えたい。電子メールによる質問にも答える。メール画面は、Web ページに付いている。</p> <p>授業一般目標 多くの人にとって、これからの時代に必要なものは、できるだけ広い範囲の職務内容に 対応できる幅広い知識と常識であろう。いま必要だと言われる「生きる力」とは何か。私は「豊かな常識 + 豊かな行動力」だと思う。この講義の目的も、自然科学的常識を豊かにすることである。そして、その目的を達成するには、自然科学的常識の必要性を学生諸君に納得してもらうことが必要である。授業では、授業内容に関連する練習問題を提示するので、それらを解いてみるのが望ましい。授業の終了時には、問題を出し、その答を紙に書いてもらう。授業中に理解できなかったことを、その解答用紙に書いておくと、次回の授業開始時にそれについての解説が行われるであろう。この授業では、疑問を残さないようにしてもらいたい。また、学生諸君が、社会人になったときに自信をもって生きられるようにすること、つまり、自信をもって生きるために必要な能力と価値観の習得の手助けをすることが、教育でめざすべきものであると思うので、授業に時間的余裕があれば、これに関連することがらについての個人的意見も話す。それらも批判的に検討してもらいたい。</p> <p>成績評価方法 (総合) 成績は、主として、期末テストの点数に基づいて評価する。希望者が過半数を超えれば中間テストも行う。中間テストを行った場合には、期末テストと中間テストの比重は 1 : 1 である。テストの成績が合否のボーダーラインに近い人には、出席点を考慮することもある。</p> <p>教科書・参考書 教科書：現代の生活と物質、西口 毅、化学同人、1996 年；プリントを数種類配布する。</p> <p>メッセージ 学生諸君にとって重要なことは、単位を取るのではなく、将来に備えることであろう。このような観点から、時間的余裕があれば、諸君が生きる時代についての私見を話すこともある。</p>					

開設科目	現代生物学総説	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教・経	単位	2 単位	曜時限	火曜日 7・8 時限
担当教官	宮川勇・室伏擴				
<p>授業概要 この授業では遺伝子、タンパク質、細胞をキーワードとして、現代生物学の基本的考え方を学ぶ。そして、生物学に関するニュースに関心を抱き、内容を理解できるよう基本的な知識を修得する。</p> <p>授業一般目標 現代生物学の基本的考え方を学ぶ。生物学に関するニュースについて内容を理解できるようにする。</p> <p>成績評価方法 (総合) 試験とレポートにより総合的に評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：教科書は指定しない。</p> <p>教官連絡先 室伏 擴 e-mail: murofusi@yamaguchi-u.ac.jp 宮川 勇 e-mail: miyakawa@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	現代生物学総説	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教・経	単位	2 単位	曜時限	木曜日 5・6 時限
担当教官	祐村稔子				
<p>授業概要 ヒトを含めすべての生物は「細胞」という共通の基本単位から構成されています。一方、「細胞」を構成する部品：細胞小器官は生体分子の集合体であり、すでに生きてはいません。このように「細胞」は、「生命」と「物質」の境界をなす「生命の最小単位」といえます。本講義ではこのような「細胞」の構造と機能について、分子レベルでの解説を行ないます。加えて、近年驚くべき進歩をみせるバイオテクノロジーの基礎知識についても、身近な話題を中心に紹介し解説します。</p> <p>授業一般目標 「細胞」に関する分子レベルの知識は、生命を理解する上で必要不可欠な基礎知識です。加えて今日、医療、農業、工業とさまざまな分野にわたり、日常生活の隅々にまで浸透しつつある多くのバイオ関連技術およびマスコミに氾濫するバイオ関連情報を、正しく理解し評価するためにも必須です。本講義では、正しい知識に基づいて、何が有益で何が危険なのかを自ら考え判断し、生命科学の進歩をいたずらに恐れる事なく未来を見極める知識、能力を身につけることを目標とします。</p> <p>成績評価方法 (総合) 期末試験 (テキスト、ノート、プリント参照可) 80% 宿題レポート 20%</p> <p>教科書・参考書 教科書：生きもののからくり 改訂版、中村和行、山本良実、祐村恵彦 共著、培風館、2006 年</p> <p>メッセージ 古典的生物学にとどまらず、物理学、化学、地球科学までも含む自然科学全般の知識に基づいて生命を理解することをめざします。広い興味と知的好奇心、そして意欲に学んで下さるをみなさんの受講をお待ちしております。</p> <p>教官連絡先 メールアドレス：discoideum@yahoo.co.jp</p>					

開設科目	現代生物学総説	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全	単位	2 単位	曜時限	金曜日 7・8 時限
担当教官	遠藤克彦				
<p>授業概要 人類はまだ、生命を作り出すことに成功していない。生物はそれほど精緻で、複雑な仕組みを保持し、不思議な能力を備えています。"地球上の生物がどこから来たのか?"から、生命の基本単位である細胞の物質構成、生命活動を支える仕組み、細胞が集まって多細胞生物を構成する仕組み、さらには、新たな生命を作り出す生殖・遺伝や、生物個体が個体群の中で、また生物群集の中で生命活動を維持・継続するための機能等について解説する。また、地球上に生息する生物の多様性や、そこに至った進化の過程についてもわかり易く解説する。</p> <p>授業一般目標 20 世紀の間に、生物学を含めた生命科学は、目覚ましい発展を遂げた。しかし、それでもなお、生命の基本単位である細胞の生命活動に関して私たちが知らないことがあまりにも多いことを理解することを期待する。その上で、人間を含む多種多様な生物に興味を持ち、それらが大切であると考えられる基本的な概念を理解することを望む。</p> <p>成績評価方法 (総合) 出席 (20%)、レポートの成績 (30%)、期末試験の成績 (50%) で評価します。レポートと期末試験の成績は、講義内容を理解できているか否か、その内容を基礎に自分の考えがまとめられているか否かを評価します。</p> <p>教科書・参考書 教科書：教科書はありません。参考資料は配布します。/ 参考書：現代生物学、石原勝敏、朝倉書店、1998 年；あくまで参考書です。講義の内容を全体的に見渡す際に参考になります。</p> <p>メッセージ 授業にはできるだけ出席し、質問してください。</p> <p>教官連絡先 非常勤講師ですので、常駐する部屋はありません。e-mail で質問してください。メールアドレス：endo@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

系列 自然科学

分野 自然科学概論

科目類型 総説

開設科目	現代地球科学総説	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教	単位	2 単位	曜時限	金曜日 5・6 時限
担当教官	武田賢治				
<p>授業概要 地震や火山の噴火に遭遇するたびに、地球がダイナミックな生き物であることを実感する。現代地球科学は、こうした地球表層の変動メカニズム、さらには地球深部のダイナミクスについても明らかにしつつある。また、137億年の宇宙の壮大なドラマの中で誕生し、46億年という長大な歴史を刻んできた地球の発展過程や生命史についての知見を飛躍的に増大させてきている。本講義では、現代地球科学が明らかにしてきた地球についての知識・理論を、地球解明の手段などを交えながら、平易に解説する。</p> <p>授業一般目標 私たちのすみかである地球について理解を深める。とくに、地学的位置よりわが国の宿命である地震や火山噴火について、その仕組みを理解するとともに、関心をもち、防災対策等に積極的に立ち向かう態度を養う。</p> <p>教官連絡先 takeda@yamaguchi-u.ac.jp 研究室：教育学部4階 オフィスアワー金曜日 16:00-17:00</p>					

系列 自然科学

分野 自然科学の考え方

科目類型 総説

開設科目	数学の考え方	区分	講義	開設期	後期前半期
対象学生	人・教・経	単位	1 単位	曜時限	木曜日 3・4 時限
担当教官	北本卓也				
<p>授業概要 数学の基礎を演習を交えながら学ぶ。</p> <p>授業一般目標 命題論理の否定を作れるようになること。</p> <p>成績評価方法 (総合) 出席 (30%)、授業内課題 (20%)、試験 (50%) により行う。</p> <p>教科書・参考書 教科書：適宜、指定する。 / 参考書：離散数学, Seymour Lipschutz, オーム社, 1995年</p> <p>メッセージ 再試験は実施しませんので、きちんと試験の準備をしてください。</p>					

系列 自然科学

分野 自然科学の考え方

科目類型 総説

開設科目	物理学の考え方	区分	講義	開設期	後期後半期
対象学生	人・教・経	単位	1 単位	曜時限	火曜日 7・8 時限
担当教官	田澤輝武				
<p>授業概要 近代物理学の模範である力学の確立に至る過程を例として、物理学の考え方または物理学の方法について説明する。</p> <p>授業一般目標 物理学は、我々の生活の隅々まで浸透している。力学の発展の歴史を例にとり、その物理学の考え方に少しでも慣れ身に付けることを目指します。</p> <p>成績評価方法 (総合) 2回のレポートによって評価します。6回以上の出席とレポートの提出が単位取得のための必要条件です。</p> <p>教科書・参考書 教科書：市販の教科書は用いません。毎回プリントを配付します。/ 参考書：授業の時に示します。</p> <p>メッセージ 「継続は力なり」というように授業には必ず出席すること。</p> <p>教官連絡先 理学部 217 号室</p>					

系列 自然科学

分野 自然科学の考え方

科目類型 総説

開設科目	地球科学の考え方	区分	講義	開設期	後期前半期
対象学生	人・教・経	単位	1 単位	曜時限	月曜日 5・6 時限
担当教官	永尾隆志				
<p>授業概要 地球で起きているいくつかの現象を例に、地球科学の考え方を学び、さらに地球の将来について考える。</p> <p>授業一般目標 地球で起こっている現象について、興味をもち、説明できるような基礎的な力を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) (1) 授業の内容に関するレポートの提出を求め、それを評価する (2) 試験。以上を下記の観点・割合で評価する。なお、出席が所定の回数に満たないものには単位を与えない。</p> <p>教科書・参考書 教科書：特に指定しない。必要におうじてプリントを配布する。/ 参考書：授業の中で紹介する。</p> <p>教官連絡先 理学部 340 号室, e-mail: tnagao@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

系列 自然科学

分野 自然科学実験

科目類型 総説

開設科目	物理学実験A	区分	実験・実習	開設期	後期
対象学生	物情・生化・生資	単位	2 単位	曜時限	木曜日 5・6・7・8 時 限
担当教官	野崎浩二，新任				
<p>授業概要 力学、光学、熱力学、電磁気学等の分野に渡って設定された基礎的な実験テーマについて、自らの手で実験を行い、測定結果の処理、解析をし、その結果について考察を加え、実験レポートを作成する力を養うことを目指している。実験は原則として二人一組で行い、また、実験は授業計画の所に記したA～Mの13テーマをローテーション表(ガイダンス後に掲示)に従い、毎回1テーマずつ行うという形で実施する。</p> <p>授業一般目標 ・様々な物理現象を実験的に検証することを通して、物理学に対する基礎知識を習得し、深く物理現象を理解する。・実験に必要な基礎的な技術や解析方法を修得し、レポートにまとめて報告する力を養う。</p> <p>成績評価方法(総合) 単位の認定は、出席率が80%以上であること、実施したテーマの全レポートが提出されていること。出席していてもレポートが提出されなければ、そのテーマは欠席と見なす。授業態度・授業への参加度は、実験中の見回り及び当日の実験結果の報告等を通して判断する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：山口大学共通教育物理学実験、山口大学共通教育物理学実験テキスト編集グループ、山口大学生協、2006年；実験テキストを販売する。販売方法は学期初めに掲示するので、ガイダンスまでに必ず購入しておくこと。</p> <p>メッセージ 次回のテーマについての予習を必ずしておき、手際よく実験を行うこと。</p> <p>教官連絡先 野崎浩二；理学部 236号室，nozaki@yamaguchi-u.ac.jp オフィスアワー随時</p>					

系列 自然科学

分野 自然科学実験

科目類型 総説

開設科目	物理学実験B	区分	実験・実習	開設期	後期
対象学生	医学	単位	1 単位	曜時限	木曜日 5・6・7・8 時 限
担当教官	笠野裕修、山本惺史				
<p>授業概要 力学、光学、熱力学、電磁気学等の分野に渡って設定された基礎的な実験テーマについて、自らの手で実験を行い、測定結果の処理、解析をし、その結果について考察を加え、実験レポートを作成する力を養うことを目指している。実験は原則として二人一組で行い、また、実験は授業計画の所に記したA～Kの11テーマをローテーション表(ガイダンス後に掲示)に従い、毎回1テーマずつ行うという形で実施する。</p> <p>授業一般目標 ・様々な物理現象を実験的に検証することを通して、物理学に対する基礎知識を習得し、深く物理現象を理解する。・実験に必要な基礎的な技術や解析方法を修得し、レポートにまとめて報告する力を養う。</p> <p>成績評価方法(総合) 単位の認定は、出席率が80%以上であること、実施したテーマの全レポートが提出されていること。出席していてもレポートが提出されなければ、そのテーマは欠席と見なす。授業態度・授業への参加度は、実験中の見回り及び当日の実験結果の報告等を通して判断する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：実験テキストを販売する。販売方法は学期初めに掲示するので、ガイダンスまでに必ず購入しておくこと。</p> <p>メッセージ 実験テーマについて必ず予習をしておき、手際よく実験を行うこと。</p> <p>教官連絡先 理学部本館 239号室 木曜日 9：30～11：30</p>					

系列 自然科学

分野 自然科学実験

科目類型 総説

開設科目	物理学実験B	区分	実験・実習	開設期	後期
対象学生	知能・循環・電気・看護・検査	単位	1 単位	曜時間	金曜日 5・6・7・8 時 限
担当教官	岡本昌幸、佐伯徹郎、嶋村修二、篠原紀幸、増山和子、岸本祐子				
<p>授業概要 物理学実験では、力学・熱力学・光学・電磁気学などの物理学の基礎分野から選択される6テーマについて実験を行う。実験データを整理して考察したレポートを作成し提出する。</p> <p>授業一般目標 基本的な物理現象を測定する実験装置の使い方に慣れ、その現象の原理を理解する。また、実験データを整理して考察する実験レポートの書き方を身につける。</p> <p>成績評価方法(総合) 実験態度と実験レポートの内容により成績を評価する。単位修得のためには、全ての(6テーマの)実験を行い、全ての実験レポートを提出しなければいけない。提出されたレポートの内容が不十分な場合は、書き直しを指導される。やむを得ない事情により欠席する場合は、事前に担当教員に相談すること。無断欠席した場合は不合格とする。</p> <p>教科書・参考書 教科書：物理学実験テキスト：オリエンテーション時に説明を行う。、 / 参考書：理科年表「物理学I・II」のテキスト、</p> <p>メッセージ 実験を行う前日までに、テキストに目を通して予習をすること。また、物理学実験ホームページ：http://w-phys.liberal.yamaguchi-u.ac.jp/ から Web コンテンツを見て、実験装置などについて予習すること。</p> <p>教官連絡先 連絡先：共通教育係事務室</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 自然科学

分野 自然科学実験

科目類型 総説

開設科目	化学実験A	区分	実験・実習	開設期	後期
対象学生	生化	単位	2 単位	曜時間	木曜日 5・6・7・8 時 限
担当教官	中野昭夫、西口毅、梶原忠彦				
<p>授業概要 本実験では、有機化学実験、分析化学実験I・II、物理化学実験および総合実験の5つの実験から指定された4つを行う。1つの実験は各々3日間で行う。有機化学実験では化粧石けん、色素、ビニロン等の合成を、分析化学実験ではセミアロ定性分析法による金属陽イオン分析を、物理化学実験ではコンピュータを用いた計算とグラフや分子構造の図形表示を行う。総合実験では身のまわりにある物質の化学的性質や反応を調べる。</p> <p>授業一般目標 化学実験における試薬や器具の扱い方を体験し、実験操作の意味や化学反応の背後にある化学の考え方に対する理解を深める。また、実験開始までに準備しておくべきこと(フローチャートの作成や問いの答えの記入など)、実験中の心がまえ、および、実験報告書の書き方を学ぶ。文献調査も必須である。</p> <p>成績評価方法(総合) 宿題/授業外レポート = 60% 授業態度や授業への参加度 = 30% 受講者の発表(プレゼン)や授業内での製作作業(作品) = 10% 出席 = 欠格条件(理由のいかんを問わず、3回以上の欠席で不可とする)</p> <p>教科書・参考書 教科書：化学実験テキスト(2007年度)を共通教育売店で販売します。なお毎年更新しますのでガイダンス時までに必ず購入してください。 / 参考書：現代の生活と物質(4刷)、西口毅著、化学同人、2000年；ライフサイエンス基礎化学、青島均、右田たい子著、化学同人、2000年；セミアロ無機定性分析、林謙次郎、中間碩一郎、鈴木光泰著、東京化学社、1981年；無機半微量分析(分析ライブラリー / 日本分析化学会編；1)第2版、松浦二郎、西川勝、栗村芳実著、東京化学同人、1978年；毎回問題を課しますから、図書館などで調べて回答してください。</p> <p>メッセージ 実験には多くの労力とお金をかけています。実験は社会で働くときと同じように、準備、作業、調査、報告を含んでいます。毎回きちんと予習をして実験に臨み、期限までにレポートや課題を提出してください。その際、参考書の貸し出しも行っていますのでぜひ活用してください。自分自身でやることにより、社会に出たときの力となります。いやいややるのではなく、苦しい中にも喜びを見い出しながら取り組んでください。なお、他人のレポートを写すなどした場合は、両者とも不可とします。</p> <p>教官連絡先 谷誠治 / E-mail ; stani@yamaguchi-u.ac.jp / 電話 ; 083-933-5737 / 研究室 ; 理学部本館 433 号室・随時(講義や会議などの用事がない限りいつでも OK です)</p>					

系列 自然科学

分野 自然科学実験

科目類型 総説

開設科目	化学実験 A	区分	実験・実習	開設期	後期
対象学生	生資	単位	2 単位	曜時限	金曜日 5・6・7・9 時 限
担当教官	佐々木義明				
<p>授業概要 本実験では、有機化学実験、分析化学実験、物理化学実験、および総合実験から 指定された二つの実験を行う。有機化学実験では化粧石けん等の合成を、分析化学実験では金属陽イオンの分析を、物理化学実験ではコンピュータを用いた計算とグラフや分子構造の図形表示を、そして、総合実験では身のまわりにある物質の化学的性質や反応を調べる。</p> <p>授業一般目標 化学実験における試薬や器具の扱い方など基礎的な実験法を習得し、実験を通じて操作の意味や化学反応の背後にある化学の考え方に対する理解を深める。また、フローチャートの作成、実験中の心がまえ、実験報告書の書き方を学ぶ。</p> <p>成績評価方法 (総合) 「出席」と知識・理解の目安となる「課題(予習など)およびレポート」を重視するが、関心・意欲・技能・技術をはかる「実験態度」も評価する。課題やレポートは期限までに提出すること。提出しない場合は欠席として処理する。3 回以上の欠席者は不適格とする。</p> <p>教科書・参考書 教科書名：化学実験テキスト(2006 年度) 販売店：山口大学生協 / 参考書：セミクロ無機化学定性分析、林・中間・鈴木、東京化学社、1981 年；無機半微量分析第 2 版、松浦・西川・栗村、東京化学同人、1978 年；現代の生活と物質、西口 毅、化学同人、1996 年；ライフサイエンス基礎化学、青島均・右田たい子、化学同人、2000 年</p> <p>メッセージ 上記以外にも多数の参考書が用意されているので、予習・復習に十分活用して欲しい。</p> <p>教官連絡先 青島均/E-mail:aoshima@yamaguchi-u.ac.jp/電話:083-933-5762/研究室:理学部本館 4 階 403 号室/オフィスアワー:随時</p>					

系列 自然科学

分野 自然科学実験

科目類型 総説

開設科目	化学実験 B	区分	実験・実習	開設期	後期
対象学生	医学	単位	1 単位	曜時限	木曜日 5・6・7・8 時 限
担当教官	谷誠治, 松崎浩司				
<p>授業概要 本実験では、有機化学実験、分析化学実験 I・II、物理化学実験および総合実験の 5 つの実験から 指定された 2 つを行う。1 つの実験は各々 3 日間で行う。有機化学実験では化粧石けん、色素、ピニロン等の合成を、分析化学実験ではセミクロ定性分析法による金属陽イオン分析を、物理化学実験ではコンピュータを用いた計算とグラフや分子構造の図形表示を行う。総合実験では身のまわりにある物質の化学的性質や反応を調べる。</p> <p>授業一般目標 化学実験における試薬や器具の扱い方を体験し、実験操作の意味や化学反応の背後にある化学の考え方に対する理解を深める。また、実験開始までに準備しておくべきこと(フローチャートの作成や問いの答えの記入など)、実験中の心がまえ、および、実験報告書の書き方を学ぶ。文献調査も必須である。</p> <p>成績評価方法 (総合) 宿題/授業外レポート = 60 % 授業態度や授業への参加度 = 30 % 受講者の発表(プレゼン)や授業内での製作作業(作品) = 10 % 出席 = 欠格条件(理由のいかんを問わず、3 回以上の欠席で不可とする)</p> <p>教科書・参考書 教科書：化学実験テキスト(2007 年度版)を共通教育売店で販売します。なお毎年更新しますのでガイダンス時までに必ず購入してください。/ 参考書：セミクロ無機化学定性分析、林・中間・鈴木、東京化学社、1981 年；ライフサイエンス基礎化学、青島均・右田たい子、化学同人、2000 年；現代の生活と物質(4 刷)、西口 毅、化学同人、2000 年；無機半微量分析(分析ライブラリー / 日本分析化学会編；1) 第 2 版、松浦二郎、西川勝、栗村芳美、東京化学同人、1978 年；毎回問題を課しますから、図書館などで調べて回答してください。</p> <p>メッセージ 実験には多くの労力とお金をかけています。実験は社会で働くときと同じように、準備、作業、調査、報告を含んでいます。毎回きちんと予習をして実験に臨み、期限までにレポートや課題を提出してください。その際、参考書の貸し出しも行っていますのでぜひ活用してください。自分自身でやることにより、社会に出たときの力となります。いやいややるのではなく、苦しい中にも喜びを見い出しながら取り組んでください。なお、他人のレポートを写すなどした場合は、両者とも不可とします。</p> <p>教官連絡先 谷誠治 / E-mail ; stani@yamaguchi-u.ac.jp / 電話 ; 083-933-5737 / 研究室 ; 理学部本館 433 号室・随時(講義や会議などの用事がない限りいつでも OK です)</p>					

系列 自然科学

分野 自然科学実験

科目類型 総説

開設科目	化学実験B	区分	実験・実習	開設期	後期
対象学生	電気・循環・看護・検査	単位	1 単位	曜時限	金曜日 5・6・7・8 時 限
担当教官	青島均, 中邑義則, 伊原靖二, 吉本憲正				
<p>授業概要 本実験では、有機化学実験、分析化学実験、物理化学実験、および総合実験から指定された二つの実験を行う。有機化学実験では化粧石けん等の合成を、分析化学実験では金属陽イオンの分析を、物理化学実験ではコンピュータを用いた計算とグラフや分子構造の図形表示を、そして、総合実験では身のまわりにある物質の化学的性質や反応を調べる。</p> <p>授業一般目標 化学実験における試薬や器具の扱い方など基礎的な実験法を習得し、実験を通じて操作の意味や化学反応の背後にある化学の考え方に対する理解を深める。また、フローチャートの作成、実験中の心がまえ、実験報告書の書き方を学ぶ。</p> <p>成績評価方法(総合) 「出席」と知識・理解の目安となる「課題(予習など)およびレポート」を重視するが、関心・意欲・技能・技術をはかる「実験態度」も評価する。課題やレポートは期限までに提出すること。提出しない場合は欠席として処理する。2回以上の欠席者は不適格とする。</p> <p>教科書・参考書 教科書名: 化学実験テキスト(2006年度) 販売店: 共通教育講義棟売店 / 参考書: セミクロ無機化学定性分析, 林・中間・鈴木, 東京化学社, 1981年; 無機半微量分析第2版, 松浦・西川・栗村, 東京化学同人, 1978年; 現代の生活と物質, 西口 毅, 化学同人, 1996年; ライフサイエンス基礎化学, 青島均・右田たい子, 化学同人, 2000年</p> <p>メッセージ 上記以外にも多数の参考書が用意されているので、予習・復習に十分活用して欲しい。</p> <p>教官連絡先 青島均/E-mail:aoshima@yamaguchi-u.ac.jp/電話:083-933-5762/研究室:理学部本館4階403号室/オフィスアワー:随時</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 自然科学

分野 自然科学実験

科目類型 総説

開設科目	生物学実験	区分	実験・実習	開設期	後期
対象学生	獣医	単位	2 単位	曜時限	火曜日 7・8・9・10 時限
担当教官	利部聡, 音井威重, 宇根智, 森本将弘, 佐藤晃一, 加藤大智, 奥田優				
<p>授業概要 獣医師を目指すものとして、動物の取り扱い法をはじめとして、基礎的な事項を実際の動物で学ぶ。最初の5回は全員を対象として実験を行い、以後班に別れ実験計画を立案するところから主体的に取り組む。さらに、成果を学会形式で発表する。</p> <p>授業一般目標 生きている動物を用いて、麻酔・剖検・観察ができるようになること。適切な研究テーマを探し出し、実験計画を立て、結果を出し、それから導き出される結論を考察する態度を培う。</p> <p>メッセージ 生きている実験動物を扱うので、命を粗末にしないように。</p> <p>教官連絡先 利部 聡(かがぶ さとし) 電話:083-933-5910 居室:農学部北ウイング211号室 オフィスアワー:金曜日11時から12時。在室時は随時</p>					

系列 自然科学

分野 自然科学実験

科目類型 総説

開設科目	生物学実験	区分	実験・実習	開設期	後期
対象学生	生機	単位	2 単位	曜時限	金曜日 5・6・7・8 時 限
担当教官	宮田浩文、右田たい子、横山和平、松井健二、真野純一、阿座上弘行、外山英明、滝本晃一、内海俊彦				
<p>授業概要 生物に関わる学問分野では様々な生き物を教育研究に用い、それを通じて地球上の生命 全体に関わる学問の進展に寄与している。諸君がこれから教育をうけていく学問分野の 多くは、実験をして確かめ新たな問題点を発見していく実証の科学である。これから生物学・農学教育を受けていくにあたって、基礎となる事項について、農学部生物機能科学科の教官が解説・指導する。</p> <p>授業一般目標 本実験は、生物の形態、発育、体内成分、代謝生理及び分子遺伝の教育を受けるのに必要な基本的実験手法および結果のまとめ方を修得し、この実験を通じて生命現象の科学的アプローチの仕方を会得することを目的とする。</p> <p>成績評価方法（総合） 実験中の態度とレポートの総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：テーマ毎にテキストを配布する。</p> <p>メッセージ 時間厳守</p> <p>教官連絡先 代表 宮田（農学部419）月曜日午前中</p>					

系列 自然科学

分野 自然科学実験

科目類型 総説

開設科目	地球科学実験	区分	実験・実習	開設期	後期
対象学生	地球	単位	2 単位	曜時限	月曜日 7・8・9・10 時限
担当教官	今岡照喜・福地龍郎				
<p>授業概要 地球科学研究の基礎となる、地形図や航空写真の読み方を習得するとともに、野外において実践的にそれらを活用できる能力を養う。また、実験室で天然の鉱物や岩石を観察し、その成果をレポートとしてまとめる。また、巡検においては、地質について現地で詳しい説明を聞くと共に、露頭を観察したり化石を採集したりし、地質観察力を養成する。</p> <p>授業一般目標 地形図や航空写真が正しく読めること、諸岩石・鉱物を識別する力、野外で岩石のいろいろな産状を正しく把握し、それを正確に記述する力、偏光顕微鏡下で鉱物識別する力を涵養する。</p> <p>成績評価方法（総合） 秋吉台・秋芳洞巡検（土曜日に実施）は実験 2 回分にカウントします。レポートにより判定します。2 回以上欠席した場合は、単位を認めません。</p> <p>教科書・参考書 教科書：必要に応じてプリントを配布します。</p> <p>教官連絡先 今岡（imaoka@yamaguchi-u.ac.jp） 福地（fukuchi@po.cc.yamaguchi-u.ac.jp）， オフィスアワー：時間のあるときはいつでも</p> <p>備考 理学部 JABEE 対応科目</p>					

後期 - 応用科学系列

開設科目	社会科学のためのやさしい統計学	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教・平成 17 年度以前入学者の 経	単位	2 単位	曜時限	水曜日 7・8 時限
担当教官	森田充				
<p>授業概要 私たちは日常生活においてさまざまな統計データに触れることが多い。本講義では、それらの統計データを用いて分析をおこなうための統計的なものの見方や考え方の基礎を身につけてもらうことを目的としている。講義では、数学的展開を必要最小限にとどめ、身近な実例や演習問題を用いて講義を進めていく。また社会科学における社会調査（調査票調査の方法など）についても講義の中で触れていく。</p> <p>授業一般目標 基本的な統計学の理論を習得し、統計学の見方・考え方を理解する。</p> <p>成績評価方法（総合） 期末試験と複数回小テストを行う。評価割合は期末試験 70 %、小テスト・質問書 30 %。</p> <p>教科書・参考書 教科書：イラスト・図解 確率・統計のしくみがわかる本, 長谷川勝也, 技術評論社, 2001 年 / 参考書：コア・テキスト統計学, 大屋幸輔, 新世社, 2003 年</p> <p>メッセージ ルートの計算できる電卓を用意すること。</p> <p>教官連絡先 質問のある学生は morita@en.kyushu-u.ac.jp までメールしてください。</p>					

開設科目	理工学のための統計学	区分	講義	開設期	後期
対象学生	教・理・農	単位	2 単位	曜時限	水曜日 7・8 時限
担当教官	笹井理恵				
<p>授業概要 統計及び統計的資料の偶然性を含む数字から必然性を見出す統計学は、経済学、社会学、医学、理学、工学、経営学等殆どの分野で応用される。この講義では、統計学の入門として確率の理論と、それによってデータから必然性を見出す手法の基礎を学ぶ。</p> <p>授業一般目標 観測された統計あるいは統計的資料が、なんらかの確率的法則性に従う現象確率変数の 1 つの実現値であるとみなすことによって、このような数値の分析を具体的な例題によって実習する。</p> <p>成績評価方法（総合） レポートの評価、期末試験の成績の総合点による。また、出席は、欠格条件である。</p> <p>教科書・参考書 教科書：概説 確率統計, 前園 宣彦 著, サイエンス社, 2003 年; 概説 確率統計, 前園宣彦, サイエンス社, 2003 年; 販売店：山口大学生協</p> <p>メッセージ 授業には統計計算ができる電卓を用意すること。</p> <p>備考 理学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	医学のための統計学	区分	講義	開設期	後期
対象学生	医学	単位	2 単位	曜時限	木曜日 3・4 時限
担当教官	市原清志				
<p>授業概要 バイオサイエンスにおける統計学の役割と使い方を、身近な例題を解きながら学習する。医学における実験的研究において、その結果の判定で重要となる統計的仮説検定法(有意差検定法)を中心に解説する。検定法は、データの形式によって多種多様であるが、その原理は共通である。それらを分類すると、大きくパラメトリック法とノンパラメトリック法に分かれる。それぞれの原理と使い分けをわかりやすく解説する。また様々な現象の背景となる要因を分析する上で重要となる、分散分析法および相関・回帰分析法の基本的な考え方についても学習する。授業は、さいころや色玉を使った標本抽出実験とコンピュータ・シミュレーションをふんだんに取り入れることで、統計の数理を感覚的に把握できるようにすると共に、多数の演習問題を実際に解いてゆくことで、即実践力が身に付くように工夫している。</p> <p>授業一般目標 ・医学研究における統計学の役割が分かる ・仮説(有意差)検定の原理が分かる ・パラメトリック検定とノンパラメトリック検定の違いとその使い分けが分かる ・クロス集計結果の検定とその解釈をできる ・相関係数と回帰直線を求められ、分析結果を解釈できる。 ・統計量の分布型を分析でき、基準範囲を設定できる ・統計データの偏りとその原因・解消法を理解している</p> <p>教科書・参考書 教科書: バイオサイエンスの統計学, 市原清志, 南江堂 / 参考書: 解説・実験・演習プリントを適時配布、講師が開発した汎用統計ソフト StatFlex を利用</p> <p>メッセージ 12月に希望者には補講を一度行います。再試験は行いませんが、定期試験前の小テスト(1回を予定)で成績不良の場合には補講を行います。</p> <p>教官連絡先 E-mail: ichihara@yamaguchi-u.ac.jp Tel/Fax: 0836-22-2884(大学)9:00~18:30</p>					

開設科目	医学のための統計学	区分	講義	開設期	後期
対象学生	看護・検査	単位	2 単位	曜時限	木曜日 5・6 時限
担当教官	市原清志				
<p>授業概要 バイオサイエンスにおける統計学の役割と使い方を、身近な例題を解きながら学習する。医学における実験的研究において、その結果の判定で重要となる統計的仮説検定法(有意差検定法)を中心に解説する。検定法は、データの形式によって多種多様であるが、その原理は共通である。それらを分類すると、大きくパラメトリック法とノンパラメトリック法に分かれる。それぞれの原理と使い分けをわかりやすく解説する。また様々な現象の背景となる要因を分析する上で重要となる、分散分析法および相関・回帰分析法の基本的な考え方についても学習する。授業は、さいころや色玉を使った標本抽出実験とコンピュータ・シミュレーションをふんだんに取り入れることで、統計の数理を感覚的に把握できるようにすると共に、多数の演習問題を実際に解いてゆくことで、即実践力が身に付くように工夫している。</p> <p>授業一般目標 ・医学研究における統計学の役割が分かる ・仮説(有意差)検定の原理が分かる ・パラメトリック検定とノンパラメトリック検定の違いとその使い分けが分かる ・クロス集計結果の検定とその解釈をできる ・相関係数と回帰直線を求められ、分析結果を解釈できる。 ・統計量の分布型を分析でき、基準範囲を設定できる ・統計データの偏りとその原因・解消法を理解している</p> <p>教科書・参考書 教科書: バイオサイエンスの統計学, 市原清志, 南江堂 / 参考書: 解説・実験・演習プリントを適時配布、講師が開発した汎用統計ソフト StatFlex を利用</p> <p>メッセージ 12月に希望者には補講を一度行います。再試験は行いませんが、定期試験前の小テスト(1回を予定)で成績不良の場合には補講を行います。</p> <p>教官連絡先 E-mail: ichihara@yamaguchi-u.ac.jp Tel/Fax: 0836-22-2884(大学)8:30~18:30</p>					

開設科目	情報処理概論	区分	講義	開設期	後期
対象学生	教・経・工	単位	2 単位	曜時限	火曜日 3・4 時限
担当教官	刈谷丈治				
<p>授業概要 コンピュータを利用した情報処理について概観する。特に、そもそも情報とは何か、情報を処理するとはどういうことなのか、という基本的な事柄と、処理するためのコンピュータの歴史や仕組みはどうなっているのか、について解説する。</p> <p>授業一般目標 情報の定義、情報処理の定義を理解する。コンピュータの基本的な仕組みを理解する。情報処理の歴史を知り、これまでの発展の経緯を理解する。</p> <p>成績評価方法 (総合) 出席および試験によって行う。</p> <p>教官連絡先 メディア基盤センター小串センター 内線: 2956 (外線からは 0836-85-2956) E-mail: ichikay@yamaguchi-u.ac.jp オフィスアワー: 特に設けないので随時必要に応じて訪ねてください。山口キャンパスでは、火曜日の 13:30-14:30 の間、メディア教育棟に居るようにします。事前に連絡をしてもらえると確実です。</p>					

開設科目	発達心理学	区分	講義	開設期	後期
対象学生	教・経・医・工・獣医	単位	2 単位	曜時限	木曜日 9・10 時限
担当教官	清 俊夫				
<p>授業概要 年齢の変化に伴う心や行動の変化を発達というが、従来は、出生から青年期が終わるまでの上昇方向への変化を、主として発達とみなしてきた。しかしながら、高齢化社会の到来と、急激な社会変動に伴い、人間の一生涯の変化を発達として捉える生涯発達心理学の考え方が優勢となってきた。この生涯発達の段階を、この授業では 10 段階に区別し、それぞれの発達現象を記述するとともに、発達の危機とその克服をもあわせて理解することを目指す。</p> <p>授業一般目標 乳児期から幼児期、児童期、青年期、成人期を経て、老年期に至りまでの発達現象を理解するとともに、各段階での危機とその克服に関する基本的考え方を理解し、援助を必要とする人の理解と援助のための基礎を作る。</p> <p>成績評価方法 (総合) 期末試験 50 %、小テスト 40 %、出席 10 % (3 回以上欠席したものは 0 点、遅刻 1 回につき - 1 点)。出席を確認してから、断りなく、教室を抜け出したものは、1 回であっても、出席点はなくなる。</p> <p>教科書・参考書 教科書: パーソナリティ発達論 - 生涯発達と心の危機管理 -, 岡堂哲雄, 金子書房, 2000 年 / 参考書: "Life-Span Development, 6th ed.", J. W. Santrock, McGraw-Hill, 1997 年</p> <p>メッセージ 発達心理学が必修の者を除き、前期に心理学の単位を修得済みの者以外は、この授業を履修できない。必修のものも、前期に心理学を履修し、期末試験を受けていなければ、この授業を履修できない。</p> <p>教官連絡先 seitoshi-ygc@umin.ac.jp office phone:0836-22-2802 office hours:月曜日から金曜日まで随時 (授業、会議等の時間を除く)</p>					

開設科目	医療心理学	区分	講義	開設期	後期
対象学生	看護・検査3年	単位	2単位	曜時限	金曜日 3・4時限
担当教官	山田治, 清俊夫				
<p>授業概要 現在の医療は、医の倫理、患者の権利、インフォームドコンセント(説明と同意)に始まり、臓器移植、遺伝子治療、リハビリテーション、終末期医療、脳死、まで幅広い領域で多くの問題を抱えている。本講義では、これらの基盤となる患者に生じる心理的問題を考察し、患者理解・支援に必要なコミュニケーションの取り方を明らかにする。具体的には、傾聴技法を A.E.Ivey らのマイクロカウンセリング技法を講義で説明しながら演習を行う。</p> <p>授業一般目標 医療従事者として患者との関わりを持つためには、まず、自分の性格を知る必要がある。自分の性格を理解した上で、患者とのコミュニケーション上どのような関わり方が有効であるかを考察する。とくに病気で苦しむ患者の気持ちや患者を取りまく環境を知るためには、傾聴技法がとくに有効であることを理解する。傾聴技法を中心とした「基本的な関わり技法」をビデオや演習を通じて理解・体得することを目標とする。</p> <p>成績評価方法(総合) (1)授業中に小テストを2回行う。(2)「行動変容をおこすためにはどうすればよいか?」について用紙5枚以上で作成し、提出する。(3)試験を期末の1回実施する。以上を、下記の観点、割合で評価する。なお、出席が所定の回数に満たない者には、単位を与えない。</p> <p>教科書・参考書 教科書: マイクロカウンセリング 基本的傾聴技法, 福原真知子 訳, 丸善株式会社, 1999年; 演習に関しては教科書を事前に必ず読んでおくこと。/ 参考書: マイクロカウンセリング, Allen E. Ivey, 福原真知子, 相山喜代子他訳, 川島書店, 1985年</p> <p>メッセージ 質問は積極的に発言して下さい。</p> <p>教官連絡先 居るときはいつでもどうぞ、入室時には専攻と氏名を名乗って下さい。</p>					

開設科目	科学史	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全	単位	2単位	曜時限	金曜日 3・4時限
担当教官	川崎勝				
<p>授業概要 本講義では、われわれが知る形での「科学技術」が形成されていった歴史を、時代的・国家的文脈を重視しながら概観します。主な舞台となるのは、18世紀末から現代にかけての西洋社会です。それ以前と比較したとき、この時代・地域の最大の特徴は、それまでごく一部の特権層でのみ享受されていた自然に関する知識が公共化かつ制度化し、技術と結びついたことです。これにより、科学は経済的にも軍事的にも現代社会において支配的な力を発揮するようになり、最終的に国家の支柱となっていきます。このプロセスに関して、国別の社会的文脈に留意しながら、なぜそのようなことが生じたのかに重点をおいて授業を進めていきます。</p> <p>授業一般目標 高度科学技術社会(ハイテク社会)で主体的な生活者として生きていくために、現代の科学技術が成立する経緯に関する必須の基本知識を習得し、主体的かつ客観的に考察する態度を涵養する。さらには、歴史に対して「なぜ」という疑問を発することができる能力を養うこと、近未来の科学技術社会への洞察力を養うことが全体を通じての影の大きな目標である。</p> <p>成績評価方法(総合) 学期末に行う論述式の筆記試験がメインとなりますが、「質問・感想カード」の内容を元にして「参加点」を加味します。また、任意提出のレポート課題を出します。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 科学の社会史(増訂版), 古川安, 南窓社, 2000年 / 参考書: ハイテク社会を生きる, 調麻佐志・川崎勝他, 北樹出版, 2003年</p> <p>メッセージ 歴史は決して「暗記物」ではありません。むしろ「想像力」の学問です。人工的な文理の壁を越え、歴史好きな方を歓迎します。なお、もし受講希望者が100名を超えた場合には、「受講動機」などの簡単なレポートに基づくセレクションを行いますので、受講希望者は必ず初回に参加してください。授業に関する情報を随時 Web 上の「kawasaki's room」(http://ds.cc.yamaguchi-u.ac.jp/kawasaki/index.html)に掲載します。参照してください。</p> <p>教官連絡先 mailto:kawasaki@yamaguchi-u.ac.jp (上記アドレスにメールを送る際には、できるだけケイタイからのメールは避けてください。また、適切な件名を付けるとともに、自分が誰であるのかを名乗ってください) 研究室 医学部(小串キャンパス)時間帯は相談に乗りますので、上記アドレスにメールをお送り下さい。</p>					

系列 応用科学

分野 応用科学

科目類型 総説

開設科目	技術概論	区分	講義	開設期	後期
対象学生	工・生資	単位	2 単位	曜時限	月曜日 3・4 時限
担当教官	合田公一				
<p>授業概要 主要工業製品において最多使用される鉄と鋼の製法技術史について概述するとともに、近代産業の発展において果たした製鉄、製鋼技術の役割について触れる。さらに、鉄鋼材料を代替する複合材料の特性や用途例について概述する。また、技術の発展にもなう地球環境問題についても講述する。後半部分では、具体的な技術創造物（交通機械、発電所など）を通して、またあるいは人為的に作り出した環境をとおして、人間の作り出す技術の偉大さを知るとともにそのもろさをも概説する。</p> <p>授業一般目標 製鋼技術や複合材料技術について理解するとともに、技術発展が地球環境問題、社会性といかように関連するかについて考察できることを目指す。さらに技術創造物を通して技術者の求められている知識とモラルの多面性を理解できる深い人間性を育む。</p> <p>成績評価方法（総合） 授業への参加意欲、数回のレポート点および試験結果から総合的に判定する。後半においては、授業ごとのミニレポートが課され、それらの評価は成績に影響する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：教科書は使わない。資料を配布する。後半部では、講述後に Web（HP）上で講述内容を配信する。</p> <p>教官連絡先 電子メール：goda@yamaguchi-u.ac.jp ykatoh@yamaguchi-u.ac.jp</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 応用科学

分野 応用科学

科目類型 総説

開設科目	生命科学概論	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全（理・看護・検査除く）	単位	2 単位	曜時限	木曜日 1・2 時限
担当教官	山本芳実, 和田直己				
<p>授業概要 本授業は、農学部 2 人の講師により、現代生命科学をそれぞれの側面から論じる。受講者は、いきもの好きであることを希望する。</p> <p>授業一般目標 新聞やテレビ等で目にし、耳にする生命科学の様々なニュースに対して、自分なりの判断が出来るようになることが目標である。</p> <p>教科書・参考書 参考書：生きもののからくり（改訂版）、中村・裕村・山本共編、培風館、2006 年；山本は下記の参考書を用いる。「生きもののからくり（改訂版）」中村・裕村・山本共編、培風館 2006</p> <p>教官連絡先 山本芳実 農学部獣医放射線学講座（生化学研究室）農学部 209 号室 Tel & Fax: 083-933-5909 E-mail : yamataka@yamaguchi-u.ac.jp オフィスアワー：いつでも</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 応用科学

分野 応用科学

科目類型 展開2

開設科目	環境学	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全(数理・物情・工除く)	単位	2単位	曜時間	金曜日 3・4時限
担当教官	宇都宮宏				
<p>授業概要 ~食料科学~ 生物環境の中で、人類の生命や生活に潤いを与える食料を対象にして、食糧生産と環境について解説する。</p> <p>検索キーワード 環境、食料科学、食糧生産、農業領域におけるバイオテクノロジー</p> <p>授業一般目標 本授業は、食糧生産に関する農耕の歴史的発達過程・食糧生産過程とその方法・環境条件・優良品種の育成と開発・安全な肥料と農業・分子生物学及びバイオテクノロジー技術の利用等を理解する。また食と農の安全・安心に関わる環境問題を認識する。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験により、知識・理解目標の到達度を評価するが、小テストやレポートにより基礎知識等を加味して評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：適宜プリントを配布する。</p> <p>メッセージ 授業中は携帯電話をオフにすること。</p> <p>教官連絡先 山口市黒川 1082-2 Tel & Fax:083-924-4878</p>					

系列 応用科学

分野 応用科学

科目類型 総説

開設科目	社会と医療(いのちと発達)	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全(理・農除く)	単位	2単位	曜時間	金曜日 7・8時限
担当教官	岡野こずえほか				
<p>授業概要 科学としての医学と実際に行われる医療が、人間社会の中でどのような意味を持ち、将来の課題を有しているかを理解する。狭い範囲の医学と医療に限定せず、生命や発達、人の心や行動、社会システムなど学際的な関連領域を含めて学習対象とする。取り上げた学習対象について、その概要、社会における現状と課題について考察を深め、引き続くそれぞれの分野における専門教育への幅広い視点を持った学習動機付けに寄与できることを目標とする。</p> <p>授業一般目標 日本の医学・医療の現状あるいは問題を実際に医学・医療の現場に従事している医師あるいは医学・医療の従事者の話から明らかにしてもらい、それを通して、医学・医療の問題に今後いかに接していくのかとか、「いのち」と発達の問題などについて考える機会になれば目標を達成できたと考えたい。</p> <p>成績評価方法(総合) 授業中に提出したレポート、出席を含めた授業への参加状況によってコーディネータが総合的に評価する。各講義分担当教官は提出されたレポートの内容を5点満点(5~0点)で評価する。評語 優：総合評価80点以上 良：総合評価70点以上 可：総合評価60点以上 不可：総合評価60点未満、または出席のみでレポート未提出 知識・理解、思考・判断を測定するレポートを主とし、関心・意欲、態度を測定する授業への参加度を従とする。出席は欠格事項として扱う。</p> <p>教科書・参考書 教科書：医の現在、高久史磨編、岩波書店、1999年；医の現在、高久史磨編、岩波新書、2001年</p>					

開設科目	社会と医療 (心とその座)	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全 (理・農除く)	単位	2 単位	曜時限	金曜日 7・8 時限
担当教官	渡邊義文				
<p>授業概要 新書版程度の教科書を用い、医学部を主とした各学部教官による専門領域を反映した講義で構成する。</p> <p>授業一般目標 科学としての医学と実際に行われる医療が、人間社会の中でどのような意味を持ち、将来の課題を有しているかを理解する。狭い範囲の医学と医療に限定せず、生命や発達、人の心や行動、社会システムなど学際的な関連領域を含めて学習対象とする。取り上げた学習対象について、その概要、社会における現状と課題について考察を深め、引き続くそれぞれの分野における専門教育への幅広い視点を持った学習動機付けに寄与できることを目標とする。</p> <p>成績評価方法 (総合) 授業中に提出したレポート、出席を含めた授業への参加状況によってコーディネータが総合的に評価する。・レポート内容 40～60%、出席・参加状況 40～60%の重みで評価する。各講義分担教官は提出されたレポートの内容を5点満点(5～0点)で評価する。・評価 優：総合評価80点以上 良：総合評価70点以上 可：総合評価60点以上 不可：総合評価60点未満、または出席のみでレポート未提出 知識・理解、思考・判断を測定するレポートを主とし、関心・意欲、態度を測定する授業への参加度を従とする。出席は欠格事項として扱う。</p> <p>教科書・参考書 教科書：検討中</p>					

開設科目	社会と医療 (日本の医療)	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全 (理・農除く)	単位	2 単位	曜時限	金曜日 7・8 時限
担当教官	藤宮龍也				
<p>授業概要 新書版程度の教科書を用い、医学部を主とした各学部教官による専門領域を反映した講義で構成する。</p> <p>授業一般目標 科学としての医学と実際に行われる医療が、人間社会の中でどのような意味を持ち、将来の課題を有しているかを理解する。狭い範囲の医学と医療に限定せず、生命や発達、人の心や行動、社会システムなど学際的な関連領域を含めて学習対象とする。取り上げた学習対象について、その概要、社会における現状と課題について考察を深め、引き続くそれぞれの分野における専門教育への幅広い視点を持った学習動機付けに寄与できることを目標とする。</p> <p>成績評価方法 (総合) 授業中に提出したレポート、出席を含めた授業への参加状況によってコーディネータが総合的に評価する。・レポート内容 40～60%、出席・参加状況 40～60%の重みで評価する。各講義分担教官は提出されたレポートの内容を5点満点(5～0点)で評価する。・評価 優：総合評価80点以上 良：総合評価70点以上 可：総合評価60点以上 不可：総合評価60点未満、または出席のみでレポート未提出 知識・理解、思考・判断を測定するレポートを主とし、関心・意欲、態度を測定する授業への参加度を従とする。出席は欠格事項として扱う。</p> <p>教科書・参考書 教科書：”日本の医療：統制とバランス感覚”，池上直己，J.C. キャンベル著，中央公論社，1996年；池上直己他，日本の医療、中公新書</p>					

開設科目	運動健康科学	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・理・医・農	単位	2 単位	曜時限	火曜日 5・6 時限
担当教官	森田俊介				
<p>授業概要 中高年者に多く発症する心臓病・糖尿病・脳卒中などの成人病は、別名生活習慣病とも言われ、青年期から中年期にかけての運動不足・偏った食事・過度のストレスなどの生活習慣がその原因の1つとして考えられている。したがって学生諸君が生涯にわたって健康を保持・増進していくためには、適度な運動・バランスのとれた食事・十分な休養に配慮した生活習慣を学生時代から身につけておかなければならない。この授業では、健康づくりのための運動の基本的な考え方とその実践方法を中心に教授する。</p> <p>授業一般目標 この授業では、健康づくりのための運動の基本的な考え方とその実践方法を学習し、在学中及び卒業後もそれらを活用できるようになることを目標とする。</p> <p>成績評価方法 (総合) 定期試験 (60%)、レポート成績 (40%)、出席状況によって総合的に評価する。</p> <p>教科書・参考書 参考書：新版 運動処方、池上晴夫、朝倉書店、1997年；必要に応じて授業中にプリントを配布する。</p> <p>メッセージ 例年通り、授業開始後の入室を認めない。</p> <p>教官連絡先 電話 933-5385 shunsuke@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	運動健康科学	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・理・医・農	単位	2 単位	曜時限	火曜日 5・6 時限
担当教官	丹信介				
<p>授業概要 この授業では、生活習慣病 (成人病) に影響を及ぼす生活習慣の中で、主に身体活動 (運動) 不足を取り上げ、生活習慣病と身体活動 (運動) との関わりや生活習慣病予防を中心とした健康の維持増進のための身体活動 (運動) の具体的実践方法、留意点について解説する。また、食生活のあり方も生活習慣病を引き起こす一因となるので、この点についても授業の中で取り上げる。</p> <p>授業一般目標 生活習慣病予防のための身体活動 (運動)、食生活の意義、重要性について理解する。また、生活習慣病予防を中心とした健康の維持増進のための身体活動 (運動) が具体的に実践できるよう、その方法に関する基本的な知識を身につける。さらに、健康の維持増進のために運動を行う際の留意点についての知識を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) 定期試験 (中間試験と期末試験) = 60~80% 小テスト / 授業内レポート = 欠格条件 宿題 / 授業外レポート = 20~40% 授業態度や授業への参加度 = 欠格条件 出席 = 欠格条件</p> <p>教科書・参考書 教科書：授業時にプリントを配布する。</p> <p>メッセージ 授業では、講義形式だけでなく、適宜、演習や実習も行います。その中には、運動を行うこともあります。</p> <p>教官連絡先 丹 信介 Email: tan@po.cc.yamaguchi-u.ac.jp 電話: 933-5388 研究室: 教育学部 436-2 オフィスアワー: 月 12:50~14:20</p>					

開設科目	運動健康科学	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・理・医・農	単位	2 単位	曜時限	水曜日 3・4 時限
担当教官	塩田正俊				
<p>授業概要 近代化に伴う生活様式の省力化・機械化は、運動不足状態を作りだし、その健康への影響が心配されるようになってきている。本講義では、運動生理学、バイオメカニクス等の研究成果を、なるべく学生諸君の健康の保持・増進のための実践的な知識となるよう解説する。</p> <p>授業一般目標 体の基本的構造機能を理解し、それぞれに対する運動や食事の影響を考える。また、どの程度の運動や食事が必要であるかについて、実生活に即して考えられるようにする。</p> <p>成績評価方法（総合） 学期末試験の結果と授業中の小レポートの内容を主な評価の対象とする。欠席＝欠格条件 2/3 以上出席が単位認定のための最低必要条件です。遅刻は 2 回で 1 回欠席として扱います。</p> <p>教科書・参考書 教科書：複数のテキストから抜粋した資料を毎時間配布する。</p> <p>メッセージ 遅刻、私語、飲食は厳禁。</p>					

開設科目	運動健康科学	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・理・医・農	単位	2 単位	曜時限	水曜日 3・4 時限
担当教官	杉浦崇夫				
<p>授業概要 労働や日常生活が機械化されたことにより、我々の生活は便利かつ快適になった。その反面、身体活動の減少により、さまざまな運動不足の弊害が見られるようになった。このような現状において、その対策として日常生活において積極的に運動することの重要性が認識されている。しかしながら、運動はそのやり方によっては事故（最悪の場合、死）を引き起こす可能性もあることを忘れてはならない。本講義では、身体運動時の生理・生化学的变化を概説し、健康の保持増進のためのプログラムについて紹介する。</p> <p>授業一般目標 本講義では、健康の保持増進のための身体運動の意義を生理・生化学的に理解するとともに、健康の保持増進のために運動を実践する際に必要な基本的考え方ならびに具体的方法について理解修得することを目的とする。</p> <p>成績評価方法（総合） (1) 毎回の授業においてレポートを課す。(2) 期末試験を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。 なお、欠席が 4 回以上の者には単位を与えない。</p> <p>教科書・参考書 教科書：プリント等を配布 / 参考書：講義中に指示する。</p> <p>メッセージ 授業中は、他人に迷惑になる行為は絶対に行わない。</p> <p>教官連絡先 E-mail takahito@yamaguchi-u.ac.jp, 電話 0839335387, 研究室 教育学部 484-1, オフィスアワー 在室時は、いつでも</p>					

系列 応用科学

分野 応用科学

科目類型 総説

開設科目	運動健康科学	区分	講義	開設期	後期
対象学生	学教・商教	単位	2 単位	曜時限	木曜日 3・4 時限
担当教官	上地広昭				
<p>授業概要 行動科学の視点から、運動行動と健康の関係について説明し、運動行動を決定する要因、および運動行動を説明する理論・モデルを紹介する。また、グループワークにおいて、運動行動を促進させるためのプログラム開発に取り組む。</p> <p>授業一般目標 運動行動が健康に果たす役割、運動行動の決定因、および運動行動に関する理論・モデルの理解</p> <p>成績評価方法 (総合) 出席率と定期試験の成績により評価する(ただし、欠席 3 回未満の学生のみを評価対象とする)。</p> <p>教官連絡先 教育学部 体育・スポーツ心理学研究室</p>					

系列 応用科学

分野 応用科学

科目類型 総説

開設科目	運動健康科学	区分	講義	開設期	後期
対象学生	実践・総文	単位	2 単位	曜時限	木曜日 3・4 時限
担当教官	上田真寿美				
<p>授業概要 健康問題は、今や国民の最大の関心事である。健康の維持・増進のため、また QOL(生活の質)を向上するために、運動・スポーツをどのように行えばよいのだろうか。この授業では、現代生活における健康と運動の意味、運動と心身の関連および健康生活のための運動の意義について概説する。</p> <p>授業一般目標 現代社会における健康問題について理解し、現代生活における健康と運動の意義、運動と身体や心の健康の関係、健康な生活を送るための運動について説明できるようになる。また、具体的な運動の実践方法についても説明し、実施できるようになることを目標とする。</p> <p>成績評価方法 (総合) 1. 授業内レポートを数回行う。2. 関心のある健康問題や運動に関するレポートを宿題をして課す。3. 最後に試験を実施する。以上から評価する。出席が所定の回数に満たない者には単位を与えない。</p> <p>教科書・参考書 教科書：必要に応じてプリントを配付</p> <p>メッセージ 履修者が多い場合は抽選を行うことがあるので、初回は必ず出席のこと。遅刻は他学生へも迷惑がかかるので厳禁とする。皆さんの習熟度によっては授業内容を変更することもある。</p> <p>教官連絡先 E-mail: masumi-u@yamaguchi-u.ac.jp 通常は宇部キャンパス(医学部医学科医療環境学講座)にいます。</p>					

開設科目	運動健康科学	区分	講義	開設期	後期
対象学生	情報・健康	単位	2 単位	曜時限	木曜日 3・4 時限
担当教官	曾根文夫				
<p>授業概要 近代化に伴う生活様式の省力化・機械化は、運動不足状態を作りだし、その健康への影響が心配されるようになっている。本講義では、運動生理学等の研究成果を、なるべく学生諸君の健康の保持・増進のための実践的な知識となるよう解説する。</p> <p>授業一般目標 健康の保持増進のために、適度な運動は必要な要件の 1 つである。運動することによって生体諸機能にどのような変化が生じ、環境ストレスや病気に対して抵抗性をもつようになるかを理解する。健康のための運動処方論の理論を理解し、安全対策を施しながら、個人毎の運動プログラムを作成できる。</p> <p>成績評価方法 (総合) 学期末試験の結果と授業中の小レポートの内容を主な評価の対象とする。</p> <p>教科書・参考書 教科書：複数のテキストから抜粋した資料を毎時間配布する。/ 参考書：運動生理学 20 講 (第 2 版)、勝田茂編著；大石康晴 [ほか] 著、朝倉書店、1999 年；運動生理学 20 講義 (朝倉書店) 等のテキストが図書館にある。参考にすること。</p> <p>メッセージ 遅刻、私語、飲食は厳禁。</p> <p>教官連絡先 教育学部 スポーツ健康科学研究室</p>					

開設科目	スポーツ運動実習 (バドミントン)	区分	実験・実習	開設期	後期
対象学生	全 (教除く)	単位	1 単位	曜時限	水曜日 1・2 時限
担当教官	三好洋二				
<p>授業概要 バドミントンというスポーツの楽しさは、その発生から考えてラリーを続けることにある。この授業では、このラリーを続けるという楽しみを味わいながら、ゲームに必要な技術を習得し、バドミントンというスポーツの実践能力を養います。</p> <p>授業一般目標 本授業では、バドミントンの基本的な個人的技能 (ストローク、サービス)、ゲームでのフォメーション、基本的ルールを学習・習得するとともに、生涯にわたってスポーツを実践する態度を養う。</p> <p>成績評価方法 (総合) 授業態度や授業への出席状況から評価する。なお、欠席が 4 回以上の者には単位を与えない。</p> <p>メッセージ 授業の性格からして、きちんと出席し実践することが大切です。それによって初めてスポーツの楽しさ、おもしろさを感じ取ることができます。</p> <p>教官連絡先 ymiyoshi@yamaguchi-u.ac.jp 研究室：教育学部 162 番室 オフィスアワ - 金曜日 15:00 ~ 18:00</p>					

開設科目	スポーツ運動実習(硬式テニス)	区分	実験・実習	開設期	後期
対象学生	全(教除く)	単位	1単位	曜時限	水曜日 1・2時限
担当教官	塩田正俊				
<p>授業概要 テニスは技術(ラケット・ワーク) 体力(フット・ワーク)そして精神力(ヘッド・ワーク)を要求される、かなりタフなスポーツである。しかし、老若男女をとわず体力、年齢に応じて楽しめるスポーツである。生涯スポーツとして、健康の保持増進に十分寄与するスポーツである。この授業では、基本技術をマスターし、ゲームおよびゲーム進行(審判法)を学習する。また、テニス特有のマナーなどについても学習する。</p> <p>授業一般目標 テニスは生涯スポーツとして、健康の保持増進に十分寄与するスポーツである。テニス技術は一見簡単にマスターできるように見えるが、実際コートにたってプレーをしてみるとなかなか思いどおりにいかない。まずは基本的な技術をマスターすることから始め、最終的には楽しくゲームができるまでをねらいに行う。</p> <p>成績評価方法(総合) 欠席4回以上は評価しない。</p> <p>教科書・参考書 教科書：必要に応じてプリントを配付</p> <p>メッセージ 天候や皆さんの習熟度に応じて授業内容を変更することがあります。</p>					

開設科目	スポーツ運動実習(フィットネストレーニング)	区分	実験・実習	開設期	後期
対象学生	全(教除く)	単位	1単位	曜時限	水曜日 1・2時限
担当教官	河合洋祐				
<p>授業概要 フィットネスとは健康で活動的に行動できる能力を表す言葉である。適切な身体運動を継続していると運動に対して身体が適応し、フィットネスが向上する。フィットネスを高めるための適切な身体運動は個人の身体的条件によって異なる。本実習ではフィットネスを高め、ゆとりある日常生活を送るために必要なトレーニングの基本的考え方と個人の身体的条件に適した運動の実施方法を実技を通して習得する。また、トレーニング機器を安全かつ効果的に使用する方法を紹介する。</p> <p>授業一般目標 本実習ではフィットネスを高め、ゆとりある日常生活を送るために必要なトレーニングの基本的考え方を理解し、個人の身体的条件に適したトレーニングの実施方法を実技を通して習得するとともに、トレーニング機器の安全かつ効果的な使用方法を学ぶ。</p> <p>成績評価方法(総合) 欠席3回以内で、トレーニングの記録とレポートを提出することが単位認定の条件である。</p> <p>教科書・参考書 教科書：適宜プリントを配布する。/ 参考書：授業の中で紹介する。</p>					

系列 応用科学

分野 応用科学

科目類型 総説

開設科目	スポーツ運動実習(空手)	区分	実験・実習	開設期	後期
対象学生	全(教除く)	単位	1 単位	曜時間	水曜日 1・2 時限
担当教官	上地広昭				
<p>授業概要 本講では、沖縄空手道(上地流)の稽古を行う。講義内容は、礼儀作法、基本動作、型、ミットトレーニング、および護身術を中心に行う。本講は、初心者向けに構成されているため、受講生の性別、運動経験、および空手歴は一切問わない。</p> <p>授業一般目標 沖縄空手道を通して、礼儀作法、基本動作、および護身術を習得することを目標とする。</p> <p>成績評価方法(総合) 出席状況により評価する(3回以上の欠席は不可とする)。</p> <p>メッセージ 服装は、動きやすい服装ならば、空手衣でなくても構わない。ただし、安全面から、金具の付いている服装(金属のファスナーは可)や、ピアス・指輪を付けての練習は禁ずる。爪は各自切っておく。</p> <p>教官連絡先 メールアドレス: uechi@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

系列 応用科学

分野 応用科学

科目類型 総説

開設科目	スポーツ運動実習(バスケットボール)	区分	実験・実習	開設期	後期
対象学生	全(教除く)	単位	1 単位	曜時間	木曜日 1・2 時限
担当教官	友定保博				
<p>授業概要 バスケットボールはアメリカで生まれたポピュラーなスポーツです。5人対5人のオールコートでの攻防は早くて激しく、初心者が自分以外の9人の動きを見て合わせることは大変むずかしい。そこでゴール1つ、ハーフコート、3人対3人という、ストリートバスケットやハーフコートバスケットなどで楽しむ人も多くなっています。本実習では3 on 3を基本に、グループ学習を進めることで、バスケットボールの楽しみ方を共有してほしい。</p> <p>授業一般目標 将来、スポーツをいろいろな場で実施し、みんなで楽しめるようにすることが目標です。具体的な目標は、1.グループメンバーの知性を結集して有効なフォーメーションプレーをつくる、2.作戦の成功のため協力して練習内容を創意工夫をする、3.ルールの理解を図り、みんなでバスケットボールのゲームを楽しめるようになる。</p> <p>成績評価方法(総合) 評価は、グループごとの戦術づくりや練習計画・実施の状況などを中心に、以下の観点・方法で評価する。出席が所定の回数に満たない者には単位を与えない。</p> <p>メッセージ 3 on 3で、バスケットボールの醍醐味を楽しもう!</p>					

開設科目	スポーツ運動実習 (フィットネストレーニング [含ソフトバレーボール])	区分	実験・実習	開設期	後期
対象学生	全 (教除く)	単位	1 単位	曜時限	木曜日 1・2 時限
担当教官	曽根文夫				
<p>授業概要 フィットネスの概念は、アメリカで生まれ、ただ単に病気がない状態ばかりではなしに、日常の生活が活動的に行われることを想定して、その能力を表す言葉として用いられてきた。定期的に身体運動を繰り返していると、その運動刺激に対して身体が適応していく。本コースでは、この身体の適応性を利用してフィットネスを高めていくためのトレーニング、いわゆるフィットネストレーニングを実際に行いながら、その原則、方法などについて学習する。</p> <p>授業一般目標 フィットネスを高めていくためのトレーニング、いわゆるフィットネストレーニングを実際に行いながら、その原則、方法などについて学び、実践能力を修得してもらうことを目標とする。</p> <p>成績評価方法 (総合) 欠席が 4 回以上の者には単位を与えない。</p> <p>教科書・参考書 教科書：資料および記録用紙を配付する。</p> <p>メッセージ 授業開始時の出席確認時に不在の場合、欠席として扱う。形態・体力測定があります。</p> <p>教官連絡先 教育学部 スポーツ健康科学研究室</p>					

開設科目	スポーツ運動実習 (硬式テニス)	区分	実験・実習	開設期	後期
対象学生	全 (教除く)	単位	1 単位	曜時限	木曜日 1・2 時限
担当教官	三好洋二				
<p>授業概要 テニスというスポーツの楽しさは、その発生から考えてラリーを続けることにある。この授業では、初心者及び初級者を中心に、ラリーを続けるという楽しみを味わいながら、ゲームに必要な技術を習得し、テニスというスポーツの実践能力を養います。</p> <p>授業一般目標 本授業では、テニスの基本的な個人的技能 (グラウンド・ストローク、ボレー、サーブ、スマッシュ、) 応用的な技能、ゲームに必要なフォーム、基本的ルールを学習・習得するとともに、生涯にわたってスポーツを実践する態度を養う。</p> <p>成績評価方法 (総合) 技能の習熟度、授業態度及び授業への出席状況から評価する。なお、欠席が 4 回以上の者には単位を与えない。</p> <p>メッセージ 授業の性格からして、きちんと出席し実践することが大切です。それによって初めてスポーツの楽しさ、おもしろさを感じ取ることができます。</p> <p>教官連絡先 ymiyoshi@yamaguchi-u.ac.jp 研究室：教育学部 162 番室 オフィスアワ - 金曜日 15:00 ~ 18:00</p>					

系列 応用科学

分野 応用科学

科目類型 総説

開設科目	スポーツ運動実習 (バレーボール)	区分	実験・実習	開設期	後期
対象学生	全 (教除く)	単位	1 単位	曜時間	木曜日 1・2 時限
担当教官	海野勇三				
<p>授業概要 ここでは、バレーボールを教材に、チームを編成して共同的な学習を展開していく。リーグ戦を中心として、チームごとに練習計画に沿った活動を進めていき、ゲームを分析しながら、戦術理解とチーム力を高めていきたい。また、スポーツとしてのバレーボールの発生と発展の歴史についても学習する。</p> <p>授業一般目標 チームでの役割分担に基づいて、共同的な学習活動を展開することができる。また、練習とゲーム分析を通じて、攻撃と防御の技能を向上させ、戦術理解を深めることができる。</p> <p>成績評価方法 (総合) 出席状況、課題レポート、およびグループでの共同的な取り組みの状況等をもとに総合的に評価する。</p> <p>メッセージ グループで共同しながら、自主的な運営のもとに練習とゲームを進めていきます。スポーツのすばらしさを体感して欲しい。</p> <p>教官連絡先 メールアドレス：yunno@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

系列 応用科学

分野 応用科学

科目類型 総説

開設科目	気象学概論	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全 (数理・物情・医学除く)	単位	2 単位	曜時間	水曜日 3・4 時限
担当教官	早川誠而, 鈴木賢士				
<p>授業概要 私たちの生活は日々の天気変化のみならず、気象災害、凶作、大気環境、気候変動などに大きく左右される。気象と気象現象に関わる基礎的な知識、理論に加え、新たな見地や今 日的なテーマを含めて解説し、気象予報士試験レベルの演習を行う。</p> <p>授業一般目標 私たちの生活に関わる気象現象を身近なものとして感じ、さらには、それらをさまざまな 時間・空間スケールの現象として捉え、物理法則の数式表現という手段を用いて理解することを目標とする。</p> <p>成績評価方法 (総合) (1) 定期試験を行う。(2) レポートを提出する。(3) 授業内外で演習を行う。以上を下記の観点・割合 で評価する。なお、出席が所定の回数に満たない者には単位を与えない。</p> <p>教科書・参考書 参考書：一般気象学, 小倉義光, 東京大学出版会, 1999 年</p> <p>メッセージ 履修希望者が 100 名を超えた場合には抽選を行うので初回に必ず出席すること。</p> <p>教官連絡先 kenjis@yamaguchi-u.ac.jp 研究室：農学部 3 階 325 号室, オフィスアワー：在室中随時 hayakawa@yamaguchi-u.ac.jp 研究室：総合研究棟 205 号室, オフィスアワー：随時</p>					

開設科目	デザイン工学入門	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全(理・医学・農除く)	単位	2 単位	曜時限	月曜日 9・10 時限
担当教官	木下武志				
<p>授業概要 現在、様々な分野で曖昧なまま使われている「デザイン＝モダン・デザイン」という語句について、産業革命に端を発する問題解決手法としての形象化行為であり、「芸術(アート)」とは異なる産業技術であることを理解する。実技課題(色彩学演習・平面構成)表現実践を軸に展開し、課題制作の上で必要となる関連分野(構成理論, 色彩学, デザイン論)の解説と連携させていくので、体験的に内容を理解してもらいたい。</p> <p>授業一般目標 (1)デザイン行為に求められる色彩の基礎について理解する。(2)色彩学演習・平面構成課題作成の表現技術の基礎を知る。(3)錯視図形についての基本を理解する。(4)平面における図学について基本を理解する。本科目は、デザインに関する基礎的な知識、技法を有する産業技術者の養成を目指して、基礎デザイン教育に関連する専門科目を学習する。</p> <p>成績評価方法(総合) (1)出席確認(2)授業の中で錯視図形と図学の作図を各7回行う。(3)ホームワークで色彩学演習と平面構成の表現実践課題を6回制作し、提出する。(4)教科書の内容に関するレポートを1600字程度で作成し、提出する。(5)期末テストを実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 美の構成学 パウハウスからフラクタルまで, 三井秀樹, 中公新書, 1996年; デザインの色彩, 中田満雄, 北島 耀, 細野尚志, 日本色研事業株式会社, 1983年 / 参考書: JAGDA 教科書 VISUAL DESIGN volume1 平面・色彩・立体構成, (社)日本グラフィックデザイナー協会教育委員会編纂, 六耀社, 1997年</p> <p>メッセージ 設定されたレベル以上の制作物を期限内に仕上げることが肝要である。授業時間の制約から、課題作品の制作やレポート等はホームワークとなり、授業内では課題内容の説明や中間チェック、講評のみとする。表現実践にポスターカラー用の彩色画材・用具一式が必要となる。</p> <p>教官連絡先 t.kino10@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

後期 - 初期教育系列

開設科目	情報処理演習	区分	演習	開設期	後期
対象学生	応化	単位	2 単位	曜時限	月曜日 7・8 時限
担当教官	山本修一, 笠谷和男				
<p>授業概要 コンピュータを利用して情報を作成・取得し、編集(変換)して表現することを学習する。ここではコンピュータリテラシーとよばれる「文具としてのコンピュータ」の使用方法(ワードプロセッシング、表計算、グラフ表示、電子メールやブラウザ)、情報通信ネットワークやマルチメディアが普及した社会における情報の種類、検索、活用方法などメディアリテラシー(メディアを操る能力)、プレゼンテーションソフトによるわかり易い発表方法について学ぶ。また、ネットワークの構造およびネットワーク社会における規範について考える。なお、演習の進行状況により内容・項目は変更になる場合もある。</p> <p>授業一般目標 コンピュータを利用して情報を作成・取得し、編集(変換)して表現できるようにする。具体的にはワードプロセッシング、表計算、グラフ表示、電子メールやブラウザなどのアプリケーションを理解して使用できるようにする。特定のアプリケーションの使用方法を覚えるのではなく、その動作原理を理解する。さらに、国際的な情報通信ネットワークやマルチメディア社会における情報の種類、検索、活用方法などメディアリテラシー(メディアを操る能力)を身につける。ネットワークの構造および国際ネットワーク社会における規範について理解する。プレゼンテーションソフトによるわかり易い発表方法について理解する。</p> <p>成績評価方法(総合) 小テスト・授業内レポート、宿題・授業外レポートおよび受講者による発表(プレゼン)を総合的に評価します。</p> <p>教科書・参考書 教科書: プリントを配布する。</p> <p>メッセージ 宇部で開講します。毎回の出席を基本としていますので、欠席しないように。</p> <p>教官連絡先 授業の最初に説明いたします。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	情報処理演習	区分	演習	開設期	後期
対象学生	教(ノートPC未購入者)	単位	2 単位	曜時限	月曜日 9・10 時限
担当教官	木下真				
<p>授業概要 パソコンの初歩的な使い方からやや応用的な使い方まで、実用面を中心に修得する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 授業内で教科書を指示する。/ 参考書: 参考書は、授業時間内や授業HPで適時紹介する。</p>					

系列 初期教育

分野 情報処理

科目類型 総説

開設科目	情報処理演習	区分	演習	開設期	後期
対象学生	経	単位	2 単位	曜時限	金曜日 5・6 時限
担当教官	小川勤				
<p>授業概要 パソコンの操作を基礎から応用までを修得する。Windowsの基礎、タイプ練習日本語入力、表計算ソフト(Excel)をデータ入力し、関数の使用方法やデータの分析の方法などを基礎から応用まで学習する。また、プレゼンテーション用ソフトを利用し、インターネットからの情報を取り入れ、実際に発表する。</p> <p>授業一般目標 表計算ソフト(Excel)を使用した検定試験の模擬試験を行い、受講者全員が情報処理検定2級程度の資格を取れるように演習を行う。学生生活だけでなく、社会人になってからも役に立つパソコンの操作方法を修得する。</p> <p>成績評価方法(総合) 模擬検定試験を2回行い、この正確性と迅速性で評価する。プレゼンテーションの表現方法や独創性、積極性で評価点を付加する。</p> <p>教官連絡先 ogawa-t@yamaguchi-u.ac.jp(メールアドレス) オフィスアワー：月曜日 13:00～17:00 共通教育棟 3 F</p>					

系列 初期教育

分野 日本事情

科目類型 総説

開設科目	日本事情中級B	区分	講義	開設期	後期
対象学生	外国人留学生	単位	2 単位	曜時限	月曜日 3・4 時限
担当教官	赤木弥生				
<p>授業概要 日本の風俗習慣、文化、社会、日本人の行動様式について理解を深める。現代の日本の社会事情と自国の事情と対照させ、文化背景について考え、文化理解を図る。日本の社会で自立して生活、勉強するための判断能力を養成する。また、山口県の固有の文化や歴史について学ぶ。</p> <p>授業一般目標 日本の生活や社会についての知識を増やし、日本で自立し、生活できるようにする。また、日本文化やお互いの文化理解を通して、地球的な視点で日本文化や自国文化を見る姿勢を養う。さらに地球社会の多様な文化を理解するための相対的な文化の見方を培い、グローバルな視点に立ったコミュニケーション能力を養成する。</p> <p>成績評価方法(総合) 出席、小テスト、レポート</p> <p>教科書・参考書 参考書：日本を話そう、日本外国語専門学校編, The Japan Times, 2001 年</p> <p>メッセージ グローバルな視点から日本の文化、お互いの文化について学びましょう。</p> <p>教官連絡先 共通教育棟 325 号室、Tel. (083)933-5986 オフィスアワー 火曜日 15:00-16:00</p>					

系列 初期教育

分野 日本事情

科目類型 総説

開設科目	日本事情B	区分	講義	開設期	後期
対象学生	外国人留学生	単位	2 単位	曜時間	水曜日 3・4 時限
担当教官	門脇 薫				
<p>授業概要 日本文化・社会について日本英語を視聴して観察したり考察したりします。また、映画の台詞や使われている場を視聴し、日本語の文法・表現も学びます。</p> <p>授業一般目標 * 日本文化・社会について観察し、自国の文化・社会及び他の受講生の国の文化・社会と比較し、考察する。* 様々なテーマについて日本語で自分の考えが表現できる。* 映画に出てくる自然な日本語を聞き、文法・表現・言葉についての知識を増やす。</p> <p>成績評価方法 (総合) * 各テーマについての課題 * 各テーマについての発表 * 各テーマについてのレポート * 最終レポート</p> <p>教科書・参考書 教科書：映画でジャパニーズ, 窪田守弘, 南雲堂フェニックス, 2004 年; トピックにより日本語総合演習 佐々木薫・安藤節子他 スリーエーネットワーク 2001 年 / 参考書：日本事情ハンドブック, 水谷修他, 大修館書店, 1995 年</p> <p>教官連絡先 kkaoru@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

系列 初期教育

分野 日本事情

科目類型 総説

開設科目	日本事情上級B	区分	講義	開設期	後期
対象学生	外国人留学生	単位	2 単位	曜時間	水曜日 5・6 時限
担当教官	杉原道子				
<p>授業概要 現代日本社会の問題について、教科書、新聞、テレビの報道番組などを教材に分析する。学習者間で意見交換を行い、各国と比較しながら、日本社会への理解を深めるのみならず、異文化理解を深める。</p> <p>授業一般目標 1. 新聞記事を読むことができ、要旨をまとめ、各自の意見が述べられる。2. 各テーマについてディスカッションやディベートができる。</p> <p>成績評価方法 (総合) 期末のレポートとプレゼンテーションで評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：日本への招待, 近藤安月子 丸山千歌, 東京大学出版会, 2003 年</p> <p>メッセージ 日本社会への理解を深める良い機会となります。</p> <p>教官連絡先 メールアドレス: michikos@yamaguchi-u.ac.jp 電話番号: 9 3 3 - 5 9 8 5 オフィスアワー: 月曜日、15:00~</p>					

後期 - 外国語教育系列 (英語)

系列 外国語教育

分野 英語

科目類型 基礎

開設科目	TOEIC 指導 A	区分	講義	開設期	後期前半期
対象学生		単位	1 単位	曜時限	月曜日 5・6 時限
担当教官	高橋俊章				
<p>授業概要 このクラスは「基礎指導充実」のためのクラスである。したがってもっとも初歩向きのテキストを使用してリスニングの訓練と基礎英文法の基礎力の養成を行う。英文法に関しては課外での予習を元に授業を進める。</p> <p>授業一般目標 リスニング力の向上、基礎文法力の養成、基礎学力の充実をめざす。</p> <p>成績評価方法 (総合) 出席率、予習の度合いを加味する。</p> <p>教官連絡先 bld10@yamaguchi-u.ac.jp</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 外国語教育

分野 英語

科目類型 基礎

開設科目	TOEIC 指導 A	区分	講義	開設期	後期前半期
対象学生		単位	1 単位	曜時限	月曜日 5・6 時限
担当教官	倉増泰弘				
<p>授業概要 TOEIC のスコアを高めるための指導をする。主に、TOEIC のパート 1, 2, 5, 6 を中心に演習を行うが、必要に応じて他のパートの演習も行う。</p> <p>授業一般目標 TOEIC で 350 点以上の成績を収める。</p> <p>成績評価方法 (総合) TOEIC のスコア (合格基準点 350 点) に基づき、算出する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: TOEIC 準備のテキスト。必要に応じてプリント配布。</p> <p>メッセージ 出された課題はきちんとこなし、授業は集中して受けましょう。</p> <p>教官連絡先 yasu_kura0707@yahoo.co.jp</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 外国語教育

分野 英語

科目類型 基礎

開設科目	TOEIC 指導 B	区分	講義	開設期	後期前半期
対象学生		単位	1 単位	曜時限	月曜日 5・6 時限
担当教官	尊田 望				
<p>授業概要 TOEIC スコア 300 点未満を対象とし、300 点取得を目標とする。TOEIC スコアを上げるための特訓クラスで、TOEIC 準備コースを引き継ぐコースである。</p> <p>授業一般目標 中学校レベルの英語の総合能力をマスターする。リスニングでは聞き取れない原因を単語レベルからパラグラフレベルまで音声学・心理言語学・社会言語学の視点から分析する。</p> <p>成績評価方法 (総合) 1. 授業参加 (=60 %) 2. 宿題 (40 %) 3. TOEIC 点数 (最終的にはこちらが優先します)</p> <p>教科書・参考書 教科書: 英検準 2 級全問題集, 旺文社, 2005 年 / 参考書: ロイヤル英文法問題集, 綿貫陽監修、池上博著, 旺文社, 2006 年</p> <p>メッセージ TOEIC のスコアをあげることは現実的な目標ではありますが、基礎に戻り、比較的長期のビジョンを持って取り組みましょう。</p> <p>教官連絡先 連絡先: (083)932-0038 E-mail: oneworld@international.name</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 外国語教育

分野 英語

科目類型 基礎

開設科目	TOEIC 指導 A	区分	講義	開設期	後期後半期
対象学生		単位	1 単位	曜時限	月曜日 5・6 時限
担当教官	倉増泰弘				
<p>授業概要 TOEIC のスコアを高めるための指導をする。主に、TOEIC のパート 1, 2, 5, 6 を中心に演習を行うが、必要に応じて他のパートの演習も行う。</p> <p>授業一般目標 TOEIC で 350 点以上の成績を収める。</p> <p>成績評価方法 (総合) TOEIC のスコア (合格基準点 350 点) に基づき、算出する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: TOEIC 準備のテキスト。必要に応じてプリント配布。</p> <p>メッセージ 出された課題はきちんとこなし、授業は集中して受けましょう。</p> <p>教官連絡先 yasu_kura0707@yahoo.co.jp</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 外国語教育

分野 英語

科目類型 基礎

開設科目	TOEIC 指導 B	区分	講義	開設期	後期後半期
対象学生		単位	1 単位	曜時限	月曜日 5・6 時限
担当教官	尊田 望				
<p>授業概要 TOEIC スコア 300 点未満を対象とし、300 点取得を目標とする。TOEIC スコアを上げるための特訓クラスで、TOEIC 準備コースを引き継ぐコースである。</p> <p>授業一般目標 中学校レベルの英語の総合能力をマスターする。リスニングでは聞き取れない原因を単語レベルからパラグラフレベルまで音声学・心理言語学・社会言語学の視点から分析する。</p> <p>成績評価方法 (総合) 1. 授業参加 (=60 %) 2. 宿題 (40 %) 3. TOEIC 点数 (最終的にはこちらが優先します)</p> <p>教科書・参考書 教科書: 英検準 2 級全問題集, 旺文社, 2005 年 / 参考書: ロイヤル英文法問題集, 綿貫陽監修、池上博著, 旺文社, 2006 年</p> <p>メッセージ TOEIC のスコアをあげることは現実的な目標ではありますが、基礎に戻り、比較的長期のビジョンを持って取り組みましょう。</p> <p>教官連絡先 連絡先: (083)932-0038 E-mail: oneworld@international.name</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 外国語教育

分野 英語

科目類型 基礎

開設科目	TOEIC 指導 A	区分	講義	開設期	後期前半期
対象学生		単位	1 単位	曜時限	月曜日 7・8 時限
担当教官	松谷 緑				
<p>授業概要 TOEIC のスコアを高めるための指導を行う。</p> <p>授業一般目標 TOEIC の基準点 (300, 350, 400) の獲得。</p> <p>成績評価方法 (総合) TOEIC の基準点 (300, 350, 400) の獲得が必須。出席率、提出物、授業への参加度を加味する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 授業時に指示する</p> <p>メッセージ 予習と課題を必ずしてください。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 外国語教育

分野 英語

科目類型 基礎

開設科目	TOEIC 指導 A	区分	講義	開設期	後期前半期
対象学生		単位	1 単位	曜時限	月曜日 7・8 時限
担当教官	岩部浩三				
<p>授業概要 e-learning を活用して、TOEIC のための英語学習を継続する。</p> <p>授業一般目標 TOEIC 350 点のスコアを目標に、継続的に英語学習を行う。e-learning を活用して十分な学習時間を確保する。</p> <p>成績評価方法 (総合) TOEIC スコア (60%) と授業内小テストおよび e-learning の学習進度によって成績を評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 必要に応じてプリントを配布する。</p> <p>メッセージ パソコンを使って宿題をするので、その環境を確保すること。ネットワーク接続可能であれば、自宅からでも e-learning は可能。ネットワーク環境が自宅になれば、教室等にノート PC を持ち込むか、学内で利用可能な PC を見つけて対応する。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 外国語教育

分野 英語

科目類型 基礎

開設科目	TOEIC 指導 A	区分	講義	開設期	後期前半期
対象学生		単位	1 単位	曜時限	月曜日 7・8 時限
担当教官	皆尾麻弥				
<p>授業概要 TOEIC のリーディングパート、リスニングパート両方を視野に入れて、バランスよく訓練する。</p> <p>授業一般目標 TOEIC スコア 300 点以上をとる力を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) 原則として TOEIC のスコアによります (300 点以上得点)。宿題や授業への参加度を加味することがあります。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Seize the main points of the TOEIC Test, 秋好礼子 他, 金星堂, 2007 年</p> <p>メッセージ TOEIC テストのための勉強は決して楽しいものではありませんが、一見すると無駄に思われる味気無い訓練も、きっと何かの形で皆さんの人生のためになっているはずです。それを信じて、前向きにこの授業に取り組みましょう。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 外国語教育

分野 英語

科目類型 基礎

開設科目	TOEIC 指導 B	区分	講義	開設期	後期前半期
対象学生		単位	1 単位	曜時限	月曜日 7・8 時限
担当教官	前出泰司				
<p>授業概要 TOEIC のスコアを高めるための指導を行う。</p> <p>授業一般目標 TOEIC で 350 点以上の成績を収める。</p> <p>教科書・参考書 教科書：TOEIC テスト最短最速攻略テク、山根和明、二見書房、2005 年；補助プリントを配付します。</p> <p>教官連絡先 eshima@yamaguchi-u.ac.jp</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 外国語教育

分野 英語

科目類型 基礎

開設科目	TOEIC 指導 A	区分	講義	開設期	後期後半期
対象学生		単位	1 単位	曜時限	月曜日 7・8 時限
担当教官	松谷緑				
<p>授業概要 TOEIC のスコアを高めるための指導を行う。</p> <p>授業一般目標 TOEIC の基準点 (300, 350, 400) の獲得。</p> <p>成績評価方法 (総合) TOEIC の基準点 (300, 350, 400) の獲得が必須。出席率、提出物、授業への参加度を加味する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：授業時に指示する</p> <p>メッセージ 予習と課題を必ずしてください。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 外国語教育

分野 英語

科目類型 基礎

開設科目	TOEIC 指導 A	区分	講義	開設期	後期後半期
対象学生		単位	1 単位	曜時限	月曜日 7・8 時限
担当教官	岩部浩三				
<p>授業概要 e-learning を活用して、TOEIC のための英語学習を継続する。</p> <p>授業一般目標 TOEIC 350 点のスコアを目標に、継続的に英語学習を行う。e-learning を活用して十分な学習時間を確保する。</p> <p>成績評価方法 (総合) TOEIC スコア (60%) と授業内小テストおよび e-learning の学習進度によって成績を評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：必要に応じてプリントを配布する。</p> <p>メッセージ パソコンを使って宿題をするので、その環境を確保すること。ネットワーク接続可能であれば、自宅からでも e-learning は可能。ネットワーク環境が自宅になれば、教室等にノート PC を持ち込むか、学内で利用可能な PC を見つけて対応する。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 外国語教育

分野 英語

科目類型 基礎

開設科目	TOEIC 指導 B	区分	講義	開設期	後期後半期
対象学生		単位	1 単位	曜時限	月曜日 7・8 時限
担当教官	前出泰司				
<p>授業概要 英語の基礎的語彙・文法の学習、平易な英文や会話文の聞き取り練習などを通じて、TOEIC の設問を解答するための基礎力の習得を目指した指導をする。また理解度などに応じて、実際に TOEIC の設問を解くといった演習を行う。</p> <p>授業一般目標 TOEIC で 350 点以上の成績を収める。</p> <p>成績評価方法 (総合) TOEIC のスコア (合格基準点 350 点) に基づき、算出する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：初回に指示する。</p> <p>メッセージ 出された課題はきちんとこなし、積極的に授業に参加してください。</p> <p>教官連絡先 yasukura0707@yahoo.co.jp</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	TOEIC 指導 A	区分	講義	開設期	後期前半期
対象学生	医・工 2 年	単位	1 単位	曜時限	月曜日 11・12 時限
担当教官	堤 千佳子				
<p>授業概要 この授業では、単位認定の必要要件となっている TOEIC テスト 400 点を達成できなかった学生諸君が満を持して再チャレンジすることができるよう指導を行っていくことを目的としている。しかし、TOEIC テストを受験するのはあくまでも学生諸君なので、この授業を受講しながら、自らの努力でなにかしよとする意欲的な学習の姿勢が大切であることはいうまでもない。特に、今年からは学内で行われる TOEIC テストも新しい形式となるので、まずそのパターンになれ、基準をクリアすることを目標とする。したがって、ただ漫然と受動的に授業を受けるのではなく、積極的な授業参加が必須である。また、なんとか 400 点をとって必要要件をクリアすればよいという目標の立て方ではなく、450 点に果敢に挑戦して頂きたい。</p> <p>授業一般目標 (1)TOEIC テストで 400 点を達成する。(2)この学習を通じて真の英語力を身につける。(3)この授業ではとくにリスニングの訓練および口語英語についての知識を深めることと、速読力の上 達を最重要の課題とする。(4)TOEIC テストの特徴をつかみ、学生諸君が実力を十分に発揮できるよう指導を行う。</p> <p>成績評価方法 (総合) TOEIC のスコアに基づき算出する。</p> <p>教科書・参考書 教科書： Strategies and Tactics for the New TOEIC Test, Tetsuo Kimura, 金星堂, 2007 年</p> <p>メッセージ 必ず予習をして 授業に臨んでください。授業の最初にリスニングの問題をしますので、遅刻しないこと。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	TOEIC 指導 A	区分	講義	開設期	後期後半期
対象学生	医・工 2 年	単位	1 単位	曜時限	月曜日 11・12 時限
担当教官	堤 千佳子				
<p>授業概要 この授業では、単位認定の必要要件となっている TOEIC テスト 400 点を達成できなかった学生諸君が満を持して再チャレンジすることができるよう指導を行っていくことを目的としている。しかし、TOEIC テストを受験するのはあくまでも学生諸君なので、この授業を受講しながら、自らの努力でなにかしよとする意欲的な学習の姿勢が大切であることはいうまでもない。したがって、ただ漫然と受動的に授業を受けるのではなく、積極的な授業参加が必須である。また、なんとか 400 点をとって必要要件をクリアすればよいという目標の立て方ではなく、450 点に果敢に挑戦して頂きたい。</p> <p>授業一般目標 1)TOEIC テストで 400 点を達成する。(2)この学習を通じて真の英語力を身につける。(3)この授業ではとくにリスニングの訓練および口語英語についての知識を深めることと、速読力の上 達を最重要の課題とする。(4)TOEIC テストの特徴をつかみ、学生諸君が実力を十分に発揮できるよう指導を行う。</p> <p>成績評価方法 (総合) TOEIC のスコアに基づき算出する。</p> <p>教科書・参考書 教科書： Strategies and Tactics for the New TOEIC Test, Tetsuo Kimura, 金星堂, 2007 年 ; 7 , ,</p> <p>メッセージ 必ず予習をして 授業に臨んでください。授業の最初にリスニングの問題をしますので、遅刻しないこと。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 外国語教育

分野 英語

科目類型 基礎

開設科目	TOEIC 指導 A	区分	講義	開設期	後期後半期
対象学生		単位	1 単位	曜時間	火曜日 7・8 時限
担当教官	高橋俊章				
<p>授業概要 このクラスは「基礎指導充実」のためのクラスである。したがってもっとも初歩向きのテキストを使用してリスニングの訓練と基礎英文法の基礎力の養成を行う。英文法に関しては課外での予習を元に授業を進める。</p> <p>授業一般目標 リスニング力の向上、基礎文法力の養成、基礎学力の充実をめざす。</p> <p>成績評価方法 (総合) 出席率、予習の度合いを加味する。</p> <p>教官連絡先 bld10@yamaguchi-u.ac.jp</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 外国語教育

分野 英語

科目類型 基礎

開設科目	TOEIC 指導 A	区分	講義	開設期	後期前半期
対象学生		単位	1 単位	曜時間	火曜日 7・8 時限
担当教官	宮原一成				
<p>授業概要 TOEIC のスコアを高めることにもつながら文法指導とドリル練習を行う。高校生向けの問題集を用い、問題量をこなすことを重要視する。(音声面の練習が必要な場合は、TOEIC 準備の音源を再利用する。)* TOEIC における日本人学習者の弱点は、文法知識を問われるリーディングパートです。現状の中学高校の英語学習では、その文法を身につけるための練習量が残念ながら非常に不足しています。この授業では、その量を補うことで、文法に自信を持って対処できるようにします。そうした足固めをすれば、専門課程での文献を読む際にも対応可能な英語力に着実に近づくことができます。</p> <p>授業一般目標 TOEIC で 350 点以上の成績を収める。</p> <p>成績評価方法 (総合) TOEIC のスコア (合格基準点 350 点) に基づき、算出する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 英文法筋力エクササイズ 1, 白石よしえ他, 河合出版, 2003 年; 英文法筋力エクササイズ 2, 白石よしえ他, 河合出版, 2006 年; 2 冊とも生協で購入。各 800 円。/ 参考書: 随時、紹介する。</p> <p>メッセージ 文法問題練習がどうしてもいやな人は、はじめから他の教員の TOEIC 指導に登録替えしてください。それから、これは相談した上で実施するかどうかが決めようと思うのですが、木曜日の放課後あたりにもう一コマ (45 分くらい) 授業時間を設定し、問題練習の答え合わせ等にあてる、という方法を検討中です。初回授業で受講生の都合や希望を聞きますので、皆さんも考えておいてください。</p> <p>教官連絡先 受講生には第一回授業時に知らせます。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 外国語教育

分野 英語

科目類型 基礎

開設科目	TOEIC 指導 B	区分	講義	開設期	後期前半期
対象学生		単位	1 単位	曜時限	火曜日 7・8 時限
担当教官	池園宏				
<p>授業概要 TOEIC のリーディングパートを中心に、基本的な語彙・文法・読解演習を行う。</p> <p>授業一般目標 TOEIC スコア 300 点以上をとる力を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) 原則として TOEIC のスコアによる。宿題や授業への参加度を加味することがある。</p> <p>教科書・参考書 教科書: TOEIC Test Basics Checkbook 1, Christofer Bullsmith 他, 南雲堂, 2006 年 / 参考書: 講義の中で紹介する。</p> <p>メッセージ 毎回出欠確認をするので、欠席や遅刻をしないこと。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 外国語教育

分野 英語

科目類型 基礎

開設科目	TOEIC 指導 B	区分	講義	開設期	後期後半期
対象学生		単位	1 単位	曜時限	火曜日 7・8 時限
担当教官	石井由理				
<p>授業概要 TOEIC テストのリーディングパートの得点アップ強化。</p> <p>授業一般目標 TOEIC のスコアアップを目指す。</p> <p>成績評価方法 (総合) TOEIC スコアおよび出席状況による</p> <p>教科書・参考書 教科書: プリントを使う</p> <p>教官連絡先 教育学部 200-1 研究室、初回授業時に指示</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	TOEIC 指導	区分	講義	開設期	後期前半期
対象学生	医・工 (平成 14・15 年度入学者)	単位	1 単位	曜時限	火曜日 11・12 時限
担当教官	唐下笑美子				
<p>授業概要 トーイックのパート 1 からパート 7 までの模擬練習問題を一步一步細かく分析しながら慣れるまでトレーニングを行っていく。特にパート 7 に重点を置く。</p> <p>授業一般目標 トーイックに必要な語彙や文法の知識の強化を図るとともに、リスニングと読解問題に慣れることを目標とする。</p> <p>成績評価方法 (総合) トーイックのスコア、出席、授業内の小テストによる。</p> <p>教科書・参考書 教科書：TOEIC Test To the Point, Jim Knudsen, 南雲堂, 2007 年</p> <p>メッセージ 授業には必ず出席してください。予習復習して積極的に目標に向かってください。</p> <p>教官連絡先 emikotg@nifty.com</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	TOEIC 指導	区分	講義	開設期	後期後半期
対象学生	医・工 (平成 14・15 年度入学者)	単位	1 単位	曜時限	火曜日 11・12 時限
担当教官	唐下笑美子				
<p>授業概要 この授業では、単位認定の必要要件となっている TOEIC テスト 350 点を達成できなかった学生諸君が満を持して再チャレンジすることができるよう指導を行っていくことを目的としている。しかし、TOEIC テストを受験するのはあくまでも学生諸君なので、この授業を受講しながら、自らの努力でなとしようとする意欲的な学習の姿勢が大切であることはいうまでもない。したがって、ただ漫然と受動的に授業を受けるのではなく、積極的な授業参加が必須である。また、なんとか 350 点をとって必要要件をクリアすればよいという目標の立て方ではなく、400 点・450 点に果敢に挑戦して頂きたい。</p> <p>授業一般目標 (1)TOEIC テストで 350 点を達成する。(2)この学習を通じて真の英語力を身につける。(3)この授業ではとくにリスニングの訓練および口語英語についての知識を深めることと、速読力の上 達を最重要の課題とする。(4)TOEIC テストの特徴をつかみ、学生諸君が実力を十分に発揮できるよう指導を行う。</p> <p>成績評価方法 (総合) TOEIC のスコアに基づき算出する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：TOEIC Test To the Point, Jim Knudsen, 南雲堂, 2007 年；固定したテキストを用いず、プリント等の配布により授業を進める。</p> <p>メッセージ 授業には必ず出席してください。予習復習して積極的に目標に向かってください。</p> <p>教官連絡先 emikotg@nifty.com</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	英語基礎文法	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時限	火曜日 5・6 時限
担当教官	猫田和明				
<p>授業概要 基本的文法事項の理解，語彙力の強化を目的とします。授業では，統一テキスト『英語基礎』を用いて，文法の基本事項の総まとめをします。宿題は復習です。授業で習った文法事項について，練習問題を解き，e-learnig ソフト『英文法徹底トレーニング』の指定された箇所を学習してください。また，毎週50語程度の単語を覚えて来てください。テキストの練習問題解説と，英単語について興味深い話が聞ける音声ファイルも用意していますので，これらもどんどん活用してテストに備えてください。e-learning は，外国語センターの WBT 教材のページにまとめてあります (http://ds21.cc.yamaguchi-u.ac.jp/bld10/lc/layer1/lc_wbt.htm) が，URL が長いので，山口大学トップページから「在学生の方へ」，「WBT 教材」とリンクをたどることもできます。授業では，文法と単語のテストを実施します。</p> <p>授業一般目標 基本的な英語の語彙・文法知識を身につける。英語の学習に積極的に取り組み、継続的な学習習慣を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) 文法テストが 1300 点 (13 回) 単語テストが 400 点 (10 回) です。『英文法徹底トレーニング』の学習状況、あるいは担当教員独自の課題等の教員裁量点を 300 点とし、これらの合計 2000 点満点を 100 点満点に換算して成績評価します。</p> <p>教科書・参考書 教科書：『英語基礎』，山口大学共通教育英語部会編，開拓社，2004 年</p> <p>教官連絡先 nekoda@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	英語基礎文法	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時限	火曜日 5・6 時限
担当教官	矢野紀子				
<p>授業概要 基本的文法事項の理解，語彙力の強化を目的とします。授業では，統一テキスト『英語基礎』を用いて，文法の基本事項の総まとめをします。宿題は復習です。授業で習った文法事項について，練習問題を解き，e-learnig ソフト『英文法徹底トレーニング』の指定された箇所を学習してください。また，毎週50語程度の単語を覚えて来てください。テキストの練習問題解説と，英単語について興味深い話が聞ける音声ファイルも用意していますので，これらもどんどん活用してテストに備えてください。e-learning は，外国語センターの WBT 教材のページにまとめてあります (http://ds21.cc.yamaguchi-u.ac.jp/bld10/lc/layer1/lc_wbt.htm) が，URL が長いので，山口大学トップページから「在学生の方へ」，「WBT 教材」とリンクをたどることもできます。授業では，文法と単語のテストを実施します。</p> <p>授業一般目標 基本的な英語の語彙・文法知識を身につける。英語の学習に積極的に取り組み、継続的な学習習慣を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) 文法テストが 1300 点 (13 回) 単語テストが 400 点 (10 回) です。『英文法徹底トレーニング』の学習状況、あるいは担当教員独自の課題等の教員裁量点を 300 点とし、これらの合計 2000 点満点を 100 点満点に換算して成績評価します。</p> <p>教科書・参考書 教科書：『英語基礎』，山口大学共通教育英語部会編，開拓社，2004 年</p>					

開設科目	英語基礎文法	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時限	火曜日 5・6 時限
担当教官	山根和明				
<p>授業概要 基本的文法事項の理解，語彙力の強化を目的とします。授業では，統一テキスト『英語基礎』を用いて，文法の基本事項の総まとめをします。宿題は復習です。授業で習った文法事項について，練習問題を解き，e-learnig ソフト『英文法徹底トレーニング』の指定された箇所を学習してください。また，毎週50語程度の単語を覚えて来てください。テキストの練習問題解説と，英単語について興味深い話が聞ける音声ファイルも用意していますので，これらもどんどん活用してテストに備えてください。e-learning は，外国語センターの WBT 教材のページにまとめてあります（http://ds21.cc.yamaguchi-u.ac.jp/bld10/lc/layer1/lc_wbt.htm）が，URL が長いので，山口大学トップページから「在学生の方へ」，「WBT 教材」とリンクをたどることもできます。授業では，文法と単語のテストを実施します。</p> <p>授業一般目標 基本的な英語の語彙・文法知識を身につける。英語の学習に積極的に取り組み、継続的な学習習慣を身につける。</p> <p>成績評価方法（総合） 文法テストが 1300 点（13 回）単語テストが 400 点（10 回）です。『英文法徹底トレーニング』の学習状況、あるいは担当教員独自の課題等の教員裁量点を 300 点とし、これらの合計 2000 点満点を 100 点満点に換算して成績評価します。</p> <p>教科書・参考書 教科書：『英語基礎』，山口大学共通教育英語部会編，開拓社，2004 年</p> <p>メッセージ 座席は固定とします（初回の授業で決めます）。2 つのテストを終えて退出する場合は（やむを得ぬ理由でない限り）その回の 2 つのテストの得点を 0 点とします。授業中居眠りをしている場合は欠席扱いとします。授業途中で無断退出する人は欠格とします（単位を認定しません）。授業には辞書を持参してください。</p> <p>教官連絡先 yamane.k@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	英語基礎文法	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時限	火曜日 5・6 時限
担当教官	尊田 望				
<p>授業概要 基本的文法事項の理解，語彙力の強化を目的とします。授業では，統一テキスト『英語基礎』を用いて，文法の基本事項の総まとめをします。宿題は復習です。授業で習った文法事項について，練習問題を解き，e-learnig ソフト『英文法徹底トレーニング』の指定された箇所を学習してください。また，毎週50語程度の単語を覚えて来てください。テキストの練習問題解説と，英単語について興味深い話が聞ける音声ファイルも用意していますので，これらもどんどん活用してテストに備えてください。e-learning は，外国語センターの WBT 教材のページにまとめてあります（http://ds21.cc.yamaguchi-u.ac.jp/bld10/lc/layer1/lc_wbt.htm）が，URL が長いので，山口大学トップページから「在学生の方へ」，「WBT 教材」とリンクをたどることもできます。授業では，文法と単語のテストを実施します。</p> <p>授業一般目標 基本的な英語の語彙・文法知識を身につける。英語の学習に積極的に取り組み、継続的な学習習慣を身につける。</p> <p>成績評価方法（総合） 文法テストが 1300 点（13 回）単語テストが 400 点（10 回）です。『英文法徹底トレーニング』の学習状況、あるいは担当教員独自の課題等の教員裁量点を 300 点とし、これらの合計 2000 点満点を 100 点満点に換算して成績評価します。</p> <p>教科書・参考書 教科書：『英語基礎』，山口大学共通教育英語部会編，開拓社，2004 年</p>					

開設科目	英語基礎文法	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時限	火曜日 5・6 時限
担当教官	高橋 博美				
<p>授業概要 基本的文法事項の理解，語彙力の強化を目的とします。授業では，統一テキスト『英語基礎』を用いて，文法の基本事項の総まとめをします。宿題は復習です。授業で習った文法事項について，練習問題を解き，e-learnig ソフト『英文法徹底トレーニング』の指定された箇所を学習してください。また，毎週50語程度の単語を覚えて来てください。テキストの練習問題解説と，英単語について興味深い話が聞ける音声ファイルも用意していますので，これらもどんどん活用してテストに備えてください。e-learning は，外国語センターの WBT 教材のページにまとめてあります (http://ds21.cc.yamaguchi-u.ac.jp/bld10/lc/layer1/lc_wbt.htm) が，URL が長いので，山口大学トップページから「在学生の方へ」，「WBT 教材」とリンクをたどることもできます。授業では，文法と単語のテストを実施します。</p> <p>授業一般目標 基本的な英語の語彙・文法知識を身につける。英語の学習に積極的に取り組み、継続的な学習習慣を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) 文法テストが 1300 点 (13 回) 単語テストが 400 点 (10 回) です。『英文法徹底トレーニング』の学習状況、あるいは担当教員独自の課題等の教員裁量点を 300 点とし、これらの合計 2000 点満点を 100 点満点に換算して成績評価します。</p> <p>教科書・参考書 教科書：『英語基礎』，山口大学共通教育英語部会編，開拓社，2004 年</p> <p>教官連絡先 hiromi.t@c-able.ne.jp</p>					

開設科目	英語基礎文法	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時限	火曜日 7・8 時限
担当教官	武井暁子				
<p>授業概要 基本的文法事項の理解，語彙力の強化を目的とします。授業では，統一テキスト『英語基礎』を用いて，文法の基本事項の総まとめをします。宿題は復習です。授業で習った文法事項について，練習問題を解き，e-learnig ソフト『英文法徹底トレーニング』の指定された箇所を学習してください。また，毎週50語程度の単語を覚えて来てください。テキストの練習問題解説と，英単語について興味深い話が聞ける音声ファイルも用意していますので，これらもどんどん活用してテストに備えてください。e-learning は，外国語センターの WBT 教材のページにまとめてあります (http://ds21.cc.yamaguchi-u.ac.jp/bld10/lc/layer1/lc_wbt.htm) が，URL が長いので，山口大学トップページから「在学生の方へ」，「WBT 教材」とリンクをたどることもできます。授業では，文法と単語のテストを実施します。</p> <p>授業一般目標 基本的な英語の語彙・文法知識を身につける。英語の学習に積極的に取り組み、継続的な学習習慣を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) 文法テストが 1300 点 (13 回) 単語テストが 400 点 (10 回) です。『英文法徹底トレーニング』の学習状況、あるいは担当教員独自の課題等の教員裁量点を 300 点とし、これらの合計 2000 点満点を 100 点満点に換算して成績評価します。</p> <p>教科書・参考書 教科書：『英語基礎』，山口大学共通教育英語部会編，開拓社，2004 年</p> <p>教官連絡先 akitakei@yamaguchi-u.ac.jp 面談希望はアポイントメントを取る</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	英語基礎文法	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時限	火曜日 7・8 時限
担当教官	島 越郎				
<p>授業概要 基本的文法事項の理解，語彙力の強化を目的とします。授業では，統一テキスト『英語基礎』を用いて，文法の基本事項の総まとめをします。宿題は復習です。授業で習った文法事項について，練習問題を解き，e-learnig ソフト『英文法徹底トレーニング』の指定された箇所を学習してください。また，毎週50語程度の単語を覚えて来てください。テキストの練習問題解説と，英単語について興味深い話が聞ける音声ファイルも用意していますので，これらもどんどん活用してテストに備えてください。e-learning は，外国語センターの WBT 教材のページにまとめてあります (http://ds21.cc.yamaguchi-u.ac.jp/bld10/lc/layer1/lc_wbt.htm) が，URL が長いので，山口大学トップページから「在学生の方へ」，「WBT 教材」とリンクをたどることもできます。授業では，文法と単語のテストを実施します。</p> <p>授業一般目標 基本的な英語の語彙・文法知識を身につける。英語の学習に積極的に取り組み、継続的な学習習慣を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) 文法テストが 1300 点 (13 回) 単語テストが 400 点 (10 回) です。『英文法徹底トレーニング』の学習状況、あるいは担当教員独自の課題等の教員裁量点を 300 点とし、これらの合計 2000 点満点を 100 点満点に換算して成績評価します。</p> <p>教科書・参考書 教科書：『英語基礎』，山口大学共通教育英語部会編，開拓社，2004 年</p> <p>教官連絡先 eshima@yamaguchi-u.ac.jp</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	英語基礎文法	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時限	火曜日 7・8 時限
担当教官	倉増泰弘				
<p>授業概要 基本的文法事項の理解，語彙力の強化を目的とします。授業では，統一テキスト『英語基礎』を用いて，文法の基本事項の総まとめをします。宿題は復習です。授業で習った文法事項について，練習問題を解き，e-learnig ソフト『英文法徹底トレーニング』の指定された箇所を学習してください。また，毎週50語程度の単語を覚えて来てください。テキストの練習問題解説と，英単語について興味深い話が聞ける音声ファイルも用意していますので，これらもどんどん活用してテストに備えてください。e-learning は，外国語センターの WBT 教材のページにまとめてあります (http://ds21.cc.yamaguchi-u.ac.jp/bld10/lc/layer1/lc_wbt.htm) が，URL が長いので，山口大学トップページから「在学生の方へ」，「WBT 教材」とリンクをたどることもできます。授業では，文法と単語のテストを実施します。</p> <p>授業一般目標 基本的な英語の語彙・文法知識を身につける。英語の学習に積極的に取り組み、継続的な学習習慣を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) 文法テストが 1300 点 (13 回) 単語テストが 400 点 (10 回) です。『英文法徹底トレーニング』の学習状況、あるいは担当教員独自の課題等の教員裁量点を 300 点とし、これらの合計 2000 点満点を 100 点満点に換算して成績評価します。</p> <p>教科書・参考書 教科書：『英語基礎』，山口大学共通教育英語部会編，開拓社，2004 年</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	英語基礎文法	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時限	火曜日 7・8 時限
担当教官	渡辺朱実				
<p>授業概要 基本的文法事項の理解，語彙力の強化を目的とします。授業では，統一テキスト『英語基礎』を用いて，文法の基本事項の総まとめをします。宿題は復習です。授業で習った文法事項について，練習問題を解き，e-learnig ソフト『英文法徹底トレーニング』の指定された箇所を学習してください。また，毎週50語程度の単語を覚えて来てください。テキストの練習問題解説と，英単語について興味深い話が聞ける音声ファイルも用意していますので，これらもどんどん活用してテストに備えてください。e-learning は，外国語センターの WBT 教材のページにまとめてあります（http://ds21.cc.yamaguchi-u.ac.jp/bld10/lc/layer1/lc_wbt.htm）が，URL が長いので，山口大学トップページから「在学生の方へ」「WBT 教材」とリンクをたどることもできます。授業では，文法と単語のテストを実施します。</p> <p>授業一般目標 基本的な英語の語彙・文法知識を身につける。英語の学習に積極的に取り組み、継続的な学習習慣を身につける。</p> <p>成績評価方法（総合） 文法テストが 1300 点（13 回）単語テストが 400 点（10 回）です。『英文法徹底トレーニング』の学習状況、あるいは担当教員独自の課題等の教員裁量点を 300 点とし、これらの合計 2000 点満点を 100 点満点に換算して成績評価します。</p> <p>教科書・参考書 教科書：『英語基礎』，山口大学共通教育英語部会編，開拓社，2004 年</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	英語基礎文法	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時限	火曜日 7・8 時限
担当教官	正宗聡				
<p>授業概要 基本的文法事項の理解，語彙力の強化を目的とします。授業では，統一テキスト『英語基礎』を用いて，文法の基本事項の総まとめをします。宿題は復習です。授業で習った文法事項について，練習問題を解き，e-learnig ソフト『英文法徹底トレーニング』の指定された箇所を学習してください。また，毎週50語程度の単語を覚えて来てください。テキストの練習問題解説と，英単語について興味深い話が聞ける音声ファイルも用意していますので，これらもどんどん活用してテストに備えてください。e-learning は，外国語センターの WBT 教材のページにまとめてあります（http://ds21.cc.yamaguchi-u.ac.jp/bld10/lc/layer1/lc_wbt.htm）が，URL が長いので，山口大学トップページから「在学生の方へ」「WBT 教材」とリンクをたどることもできます。授業では，文法と単語のテストを実施します。</p> <p>授業一般目標 基本的な英語の語彙・文法知識を身につける。英語の学習に積極的に取り組み、継続的な学習習慣を身につける。</p> <p>成績評価方法（総合） 文法テストが 1300 点（13 回）単語テストが 400 点（10 回）です。『英文法徹底トレーニング』の学習状況、あるいは担当教員独自の課題等の教員裁量点を 300 点とし、これらの合計 2000 点満点を 100 点満点に換算して成績評価します。</p> <p>教科書・参考書 教科書：『英語基礎』，山口大学共通教育英語部会編，開拓社，2004 年</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	英語基礎文法	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時限	火曜日 9・10 時限
担当教官	池田 守				
<p>授業概要 基本的文法事項の理解，語彙力の強化を目的とします。授業では，統一テキスト『英語基礎』を用いて，文法の基本事項の総まとめをします。宿題は復習です。授業で習った文法事項について，練習問題を解き，e-learnig ソフト『英文法徹底トレーニング』の指定された箇所を学習してください。また，毎週50語程度の単語を覚えて来てください。テキストの練習問題解説と，英単語について興味深い話が聞ける音声ファイルも用意していますので，これらもどんどん活用してテストに備えてください。e-learning は，外国語センターの WBT 教材のページにまとめてあります (http://ds21.cc.yamaguchi-u.ac.jp/bld10/lc/layer1/lc_wbt.htm) が，URL が長いので，山口大学トップページから「在学生の方へ」，「WBT 教材」とリンクをたどることもできます。授業では，文法と単語のテストを実施します。</p> <p>授業一般目標 基本的な英語の語彙・文法知識を身につける。英語の学習に積極的に取り組み、継続的な学習習慣を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) 文法テストが 1300 点 (13 回) 単語テストが 400 点 (10 回) です。『英文法徹底トレーニング』の学習状況、あるいは担当教員独自の課題等の教員裁量点を 300 点とし、これらの合計 2000 点満点を 100 点満点に換算して成績評価します。</p> <p>教科書・参考書 教科書：『英語基礎』，山口大学共通教育英語部会編，開拓社，2004 年</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	英語基礎文法	区分	講義	開設期	後期
対象学生	2 年	単位	2 単位	曜時限	火曜日 9・10 時限
担当教官	前田 満				
<p>授業概要 基本的文法事項の理解，語彙力の強化を目的とします。授業では，統一テキスト『英語基礎』を用いて，文法の基本事項の総まとめをします。宿題は復習です。授業で習った文法事項について，練習問題を解き，e-learnig ソフト『英文法徹底トレーニング』の指定された箇所を学習してください。また，毎週50語程度の単語を覚えて来てください。テキストの練習問題解説と，英単語について興味深い話が聞ける音声ファイルも用意していますので，これらもどんどん活用してテストに備えてください。e-learning は，外国語センターの WBT 教材のページにまとめてあります (http://ds21.cc.yamaguchi-u.ac.jp/bld10/lc/layer1/lc_wbt.htm) が，URL が長いので，山口大学トップページから「在学生の方へ」，「WBT 教材」とリンクをたどることもできます。授業では，文法と単語のテストを実施します。</p> <p>授業一般目標 基本的な英語の語彙・文法知識を身につける。英語の学習に積極的に取り組み、継続的な学習習慣を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) 文法テストが 1300 点 (13 回) 単語テストが 400 点 (10 回) です。『英文法徹底トレーニング』の学習状況、あるいは担当教員独自の課題等の教員裁量点を 300 点とし、これらの合計 2000 点満点を 100 点満点に換算して成績評価します。</p> <p>教科書・参考書 教科書：『英語基礎』，山口大学共通教育英語部会編，開拓社，2004 年</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	英語基礎文法	区分	講義	開設期	後期
対象学生	医・工2年	単位	2単位	曜時限	火曜日 11・12時限
担当教官	内海 俊祐				
<p>授業概要 基本的文法事項の理解，語彙力の強化を目的とします。授業では，統一テキスト『英語基礎』を用いて，文法の基本事項の総まとめをします。宿題は復習です。授業で習った文法事項について，練習問題を解き，e-learnig ソフト『英文法徹底トレーニング』の指定された箇所を学習してください。また，毎週50語程度の単語を覚えて来てください。テキストの練習問題解説と，英単語について興味深い話が聞ける音声ファイルも用意していますので，これらもどんどん活用してテストに備えてください。e-learningは，外国語センターの WBT 教材のページにまとめてあります (http://ds21.cc.yamaguchi-u.ac.jp/bld10/lc/layer1/lc_wbt.htm) が，URL が長いので，山口大学トップページから「在学生の方へ」，「WBT 教材」とリンクをたどることもできます。授業では，文法と単語のテストを実施します。</p> <p>授業一般目標 基本的な英語の語彙・文法知識を身につける。英語の学習に積極的に取り組み、継続的な学習習慣を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) 文法テストが 1300 点 (13 回) 単語テストが 400 点 (10 回) です。『英文法徹底トレーニング』の学習状況、あるいは担当教員独自の課題等の教員裁量点を 300 点とし、これらの合計 2000 点満点を 100 点満点に換算して成績評価します。</p> <p>教科書・参考書 教科書：『英語基礎』，山口大学共通教育英語部会編，開拓社，2004 年</p> <p>メッセージ 辞書（電子辞書を推奨）を引く習慣を付けること</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	英語基礎文法〔1〕	区分	講義	開設期	後期前半期
対象学生	全 (平成 16 年度入学者)	単位	1 単位	曜時限	火曜日 7・8 時限
担当教官	鴨川啓信				
<p>授業概要 基本的文法事項の理解，語彙力の強化を目的とします。授業では，統一テキスト『英語基礎』を用いて，文法の基本事項の総まとめをします。宿題は復習です。授業で習った文法事項について，練習問題を解き，e-learnig ソフト『英文法徹底トレーニング』の指定された箇所を学習してください。また，毎週50語程度の単語を覚えて来てください。テキストの練習問題解説と，英単語について興味深い話が聞ける音声ファイルも用意していますので，これらもどんどん活用してテストに備えてください。e-learningは，外国語センターの WBT 教材のページにまとめてあります (http://ds21.cc.yamaguchi-u.ac.jp/bld10/lc/layer1/lc_wbt.htm) が，URL が長いので，山口大学トップページから「在学生の方へ」，「WBT 教材」とリンクをたどることもできます。授業では，文法と単語のテストを実施します。</p> <p>授業一般目標 基本的な英語の語彙・文法知識を身につける。英語の学習に積極的に取り組み、継続的な学習習慣を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) 文法テストが 700 点 (7 回) [「英語基礎文法 (1)」のみを受講する者に対しては、600 点 (6 回)] 単語テストが 200 点 (5 回) です。『英文法徹底トレーニング』の学習状況、あるいは担当教員独自の課題等の教員裁量点を 100 点 [あるいは 200 点] とし、これらの合計 1000 点満点を 100 点満点に換算して成績評価します。</p> <p>教科書・参考書 教科書：『英語基礎』，山口大学共通教育英語部会編，開拓社，2004 年</p> <p>教官連絡先 e-mail: kamogawa@yamaguchi-u.ac.jp 研究室: 経済 A207</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	英語基礎文法〔 2 〕	区分	講義	開設期	後期後半期
対象学生	全 (平成 16 年度入学者)	単位	1 単位	曜時限	火曜日 7・8 時限
担当教官	鴨川啓信				
<p>授業概要 基本的文法事項の理解，語彙力の強化を目的とします。授業では，統一テキスト『英語基礎』を用いて，文法の基本事項の総まとめをします。宿題は復習です。授業で習った文法事項について，練習問題を解き，e-learnig ソフト『英文法徹底トレーニング』の指定された箇所を学習してください。また，毎週 50 語程度の単語を覚えて来てください。テキストの練習問題解説と，英単語について興味深い話が聞ける音声ファイルも用意していますので，これらもどんどん活用してテストに備えてください。e-learning は，外国語センターの WBT 教材のページにまとめてあります (http://ds21.cc.yamaguchi-u.ac.jp/bld10/lc/layer1/lc_wbt.htm) が，URL が長いので，山口大学トップページから「在学生の方へ」，「WBT 教材」とリンクをたどることもできます。授業では，文法と単語のテストを実施します。</p> <p>授業一般目標 基本的な英語の語彙・文法知識を身につける。英語の学習に積極的に取り組み、継続的な学習習慣を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) 文法テストが 600 点 (6 回) 単語テストが 200 点 (5 回) です。『英文法徹底トレーニング』の学習状況、あるいは担当教員独自の課題等の教員裁量点を 200 点とし、これらの合計 1000 点満点を 100 点満点に換算して成績評価します。</p> <p>教科書・参考書 教科書：『英語基礎』，山口大学共通教育英語部会編，開拓社，2004 年</p> <p>教官連絡先 e-mail: kamogawa@yamaguchi-u.ac.jp 研究室: 経済 A207</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	英語基礎文法〔 1 〕	区分	講義	開設期	後期前半期
対象学生	全 (平成 16 年度入学者)	単位	1 単位	曜時限	火曜日 9・10 時限
担当教官	正宗聡				
<p>授業概要 基本的文法事項の理解，語彙力の強化を目的とします。授業では，統一テキスト『英語基礎』を用いて，文法の基本事項の総まとめをします。宿題は復習です。授業で習った文法事項について，練習問題を解き，e-learnig ソフト『英文法徹底トレーニング』の指定された箇所を学習してください。また，毎週 50 語程度の単語を覚えて来てください。テキストの練習問題解説と，英単語について興味深い話が聞ける音声ファイルも用意していますので，これらもどんどん活用してテストに備えてください。e-learning は，外国語センターの WBT 教材のページにまとめてあります (http://ds21.cc.yamaguchi-u.ac.jp/bld10/lc/layer1/lc_wbt.htm) が，URL が長いので，山口大学トップページから「在学生の方へ」，「WBT 教材」とリンクをたどることもできます。授業では，文法と単語のテストを実施します。</p> <p>授業一般目標 基本的な英語の語彙・文法知識を身につける。英語の学習に積極的に取り組み、継続的な学習習慣を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) 文法テストが 700 点 (7 回) [『英語基礎文法 (1)』のみを受講する者に対しては、600 点 (6 回)] 単語テストが 200 点 (5 回) です。『英文法徹底トレーニング』の学習状況、あるいは担当教員独自の課題等の教員裁量点を 100 点 [あるいは 200 点] とし、これらの合計 1000 点満点を 100 点満点に換算して成績評価します。</p> <p>教科書・参考書 教科書：『英語基礎』，山口大学共通教育英語部会編，開拓社，2004 年</p> <p>教官連絡先 e-mail: kamogawa@yamaguchi-u.ac.jp 研究室: 経済 A207</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	英語基礎文法〔 2 〕	区分	講義	開設期	後期後半期
対象学生	全 (平成 16 年度入学者)	単位	1 単位	曜時限	火曜日 9・10 時限
担当教官	正宗聡				
<p>授業概要 基本的文法事項の理解，語彙力の強化を目的とします。授業では，統一テキスト『英語基礎』を用いて，文法の基本事項の総まとめをします。宿題は復習です。授業で習った文法事項について，練習問題を解き，e-learnig ソフト『英文法徹底トレーニング』の指定された箇所を学習してください。また，毎週 50 語程度の単語を覚えて来てください。テキストの練習問題解説と，英単語について興味深い話が聞ける音声ファイルも用意していますので，これらもどんどん活用してテストに備えてください。e-learning は，外国語センターの WBT 教材のページにまとめてあります (http://ds21.cc.yamaguchi-u.ac.jp/bld10/lc/layer1/lc_wbt.htm) が，URL が長いので，山口大学トップページから「在学生の方へ」，「WBT 教材」とリンクをたどることもできます。授業では，文法と単語のテストを実施します。</p> <p>授業一般目標 基本的な英語の語彙・文法知識を身につける。英語の学習に積極的に取り組み、継続的な学習習慣を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) 文法テストが 600 点 (6 回) 単語テストが 200 点 (5 回) です。『英文法徹底トレーニング』の学習状況、あるいは担当教員独自の課題等の教員裁量点を 200 点とし、これらの合計 1000 点満点を 100 点満点に換算して成績評価します。</p> <p>教科書・参考書 教科書：『英語基礎』，山口大学共通教育英語部会編，開拓社，2004 年</p> <p>教官連絡先 e-mail: kamogawa@yamaguchi-u.ac.jp 研究室: 経済 A207</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	英語基礎文法〔 1 〕	区分	講義	開設期	後期前半期
対象学生	医・工 (平成 16 年度入学者)	単位	1 単位	曜時限	火曜日 9・10 時限
担当教官	唐下 笑美子				
<p>授業概要 基本的文法事項の理解，語彙力の強化を目的とします。授業では，統一テキスト『英語基礎』を用いて，文法の基本事項の総まとめをします。宿題は復習です。授業で習った文法事項について，練習問題を解き，e-learnig ソフト『英文法徹底トレーニング』の指定された箇所を学習してください。また，毎週 50 語程度の単語を覚えて来てください。テキストの練習問題解説と，英単語について興味深い話が聞ける音声ファイルも用意していますので，これらもどんどん活用してテストに備えてください。e-learning は，外国語センターの WBT 教材のページにまとめてあります (http://ds21.cc.yamaguchi-u.ac.jp/bld10/lc/layer1/lc_wbt.htm) が，URL が長いので，山口大学トップページから「在学生の方へ」，「WBT 教材」とリンクをたどることもできます。授業では，文法と単語のテストを実施します。</p> <p>授業一般目標 基本的な英語の語彙・文法知識を身につける。英語の学習に積極的に取り組み、継続的な学習習慣を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) 文法テストが 700 点 (7 回) [『英語基礎文法 (1)』のみを受講する者に対しては、600 点 (6 回)] 単語テストが 200 点 (5 回) です。『英文法徹底トレーニング』の学習状況、あるいは担当教員独自の課題等の教員裁量点を 100 点 [あるいは 200 点] とし、これらの合計 1000 点満点を 100 点満点に換算して成績評価します。</p> <p>教科書・参考書 教科書：『英語基礎』，山口大学共通教育英語部会編，開拓社，2004 年</p> <p>メッセージ なし</p> <p>教官連絡先 emikotg@nifty.com</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	英語基礎文法〔2〕	区分	講義	開設期	後期後半期
対象学生	医・工(平成16年度入学者)	単位	1単位	曜時間	火曜日9・10時限
担当教官	唐下 笑美子				
<p>授業概要 基本的文法事項の理解、語彙力の強化を目的とします。授業では、統一テキスト『英語基礎』を用いて、文法の基本事項の総まとめをします。宿題は復習です。授業で習った文法事項について、練習問題を解き、e-learningソフト『英文法徹底トレーニング』の指定された箇所を学習してください。また、毎週50語程度の単語を覚えて来てください。テキストの練習問題解説と、英単語について興味深い話が聞ける音声ファイルも用意していますので、これらもどんどん活用してテストに備えてください。e-learningは、外国語センターのWBT教材のページにまとめてあります(http://ds21.cc.yamaguchi-u.ac.jp/bld10/lc/layer1/lc_wbt.htm)が、URLが長いので、山口大学トップページから「在学生の方へ」「WBT教材」とリンクをたどることもできます。授業では、文法と単語のテストを実施します。</p> <p>授業一般目標 基本的な英語の語彙・文法知識を身につける。英語の学習に積極的に取り組み、継続的な学習習慣を身につける。</p> <p>成績評価方法(総合) 文法テストが600点(6回)単語テストが200点(5回)です。『英文法徹底トレーニング』の学習状況、あるいは担当教員独自の課題等の教員裁量点を200点とし、これらの合計1000点満点を100点満点に換算して成績評価します。</p> <p>教科書・参考書 教科書：『英語基礎』、山口大学共通教育英語部会編、開拓社、2004年 メッセージ なし 教官連絡先 emikotg@nifty.com 備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	英語基礎〔1〕	区分	講義	開設期	後期前半期
対象学生	医・工(平成14・15年度入学者)	単位	1単位	曜時間	火曜日11・12時限
担当教官	池田 守				
<p>授業概要 基本的文法事項の理解、語彙力の強化を目的とします。授業では、統一テキスト『英語基礎』を用いて、文法の基本事項の総まとめをします。宿題は復習です。授業で習った文法事項について、練習問題を解き、e-learningソフト『英文法徹底トレーニング』の指定された箇所を学習してください。また、毎週50語程度の単語を覚えて来てください。テキストの練習問題解説と、英単語について興味深い話が聞ける音声ファイルも用意していますので、これらもどんどん活用してテストに備えてください。e-learningは、外国語センターのWBT教材のページにまとめてあります(http://ds21.cc.yamaguchi-u.ac.jp/bld10/lc/layer1/lc_wbt.htm)が、URLが長いので、山口大学トップページから「在学生の方へ」「WBT教材」とリンクをたどることもできます。授業では、文法と単語のテストを実施します。</p> <p>授業一般目標 基本的な英語の語彙・文法知識を身につける。英語の学習に積極的に取り組み、継続的な学習習慣を身につける。</p> <p>成績評価方法(総合) 文法テストが700点(7回)〔「英語基礎(1)」のみを受講する者に対しては、600点(6回)〕単語テストが200点(5回)です。『英文法徹底トレーニング』の学習状況、あるいは担当教員独自の課題等の教員裁量点を100点〔あるいは200点〕とし、これらの合計1000点満点を100点満点に換算して成績評価します。</p> <p>教科書・参考書 教科書：『英語基礎』、山口大学共通教育英語部会編、開拓社、2004年 メッセージ なし 備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	英語基礎〔2〕	区分	講義	開設期	後期後半期
対象学生	医・工(平成14・15年度入学者)	単位	1単位	曜時限	火曜日 11・12時限
担当教官	池田 守				
<p>授業概要 基本的文法事項の理解、語彙力の強化を目的とします。授業では、統一テキスト『英語基礎』を用いて、文法の基本事項の総まとめをします。宿題は復習です。授業で習った文法事項について、練習問題を解き、e-learningソフト『英文法徹底トレーニング』の指定された箇所を学習してください。また、毎週50語程度の単語を覚えて来てください。テキストの練習問題解説と、英単語について興味深い話が聞ける音声ファイルも用意していますので、これらもどんどん活用してテストに備えてください。e-learningは、外国語センターのWBT教材のページにまとめてあります(http://ds21.cc.yamaguchi-u.ac.jp/bld10/lc/layer1/lc_wbt.htm)が、URLが長いので、山口大学トップページから「在学生の方へ」「WBT教材」とリンクをたどることもできます。授業では、文法と単語のテストを実施します。</p> <p>授業一般目標 基本的な英語の語彙・文法知識を身につける。英語の学習に積極的に取り組み、継続的な学習習慣を身につける。</p> <p>成績評価方法(総合) 文法テストが600点(6回)単語テストが200点(5回)です。『英文法徹底トレーニング』の学習状況、あるいは担当教員独自の課題等の教員裁量点を200点とし、これらの合計1000点満点を100点満点に換算して成績評価します。</p> <p>教科書・参考書 教科書：『英語基礎』、山口大学共通教育英語部会編、開拓社、2004年</p> <p>メッセージ なし</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	English Speaking	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2単位	曜時限	月曜日 5・6時限
担当教官	渡辺朱実				
<p>授業概要 この授業の目的は、英語をコミュニケーションの道具として使う能力を身に付けることです。この授業は知識より英語で対話するスキルを重視しながら、身近な話題を表す単語や表現を学びます。授業中では、学校で頭の中に注ぎ込まれた英語の「知識」を「歩くこと」や「日本語で話すこと」のような技能に変えていきます。授業中90分間の多くを、学生はひたすら英語で対話します。頭を英語らしい考え方に組み替え、自分の恥ずかしさを乗り越えるには、相当の苦勞を伴うこともあるでしょうが、できるだけ身近な話題を題材にします。授業中の活動を支援し英語能力の向上を保証するためには、授業外のインターネット予習と復習を行ってまいります。このようにして、TOEIC得点アップや総合的な英語能力向上につながることをもう一つの目標とします。</p> <p>授業一般目標 (1) 身近なことからして流暢に話せる力を身につける。(2) WBTを利用した自習課題を通して、基本的な語彙・文法的知識を身につける。</p> <p>成績評価方法(総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含フクむ)欠席した学生の成績は不可となる。 ・WBTによる自宅学習課題を期限内に提出すること。期限内に課題を提出しなかった場合は未提出1回につき、1回の欠席として扱われる(2回課題を提出しなかった場合は不可となる)。 ・以下の(A)と(B)の総合計により評価を行う。(A) 授業内の発言、コミュニケーション活動への参加度により、それに応じた評価ポイントを受け取る。(B) WBTを利用した自宅学習課題の成績に基づき評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：武本ティモシー著、仮題『English Speaking ー山大学生が自分を英語で表現するためのテキスト』という統一教科書。</p> <p>メッセージ 英語はそう難しいものではありません。しかし、自分にとって無意味な音声を出し、日本語と比較すればあべこべな順序で、英語で文章を発することは知識というより勇気が必要です。英語を話すのは、人前で発表することと高飛び込みを足したような頭を真っ白にするほどのことです。しかし渡しのない無意味の海を向こう側へ移動するには、飛び込むしかありません。教科書にある身近な表現をうまく使いこなしながら、ともかく話すことによって、その海の中に飛び込み次第に自由に泳ぎまわり、いつの間にか自分が語で話しているのを忘れた時の喜びは、大変大きなものです。そして、それが力となって、他の場面でも自分を表現できるようになります。間違いを恐れず、まず、英語を話し言葉で使いましょ。英語の知識があるからそれを眠らせておかず自分の可能性に挑戦してみてください。</p> <p>教官連絡先 HP:http://www.eigodaigaku.com でのウェブカムを見てチャットルームを訪問してください。</p>					

開設科目	English Speaking	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時限	月曜日 5・6 時限
担当教官	Jim Rebstock				
<p>授業概要 この授業の目的は、英語をコミュニケーションの道具として使う能力を身に付けることです。この授業は知識より英語で対話するスキルを重視しながら、身近な話題を表す単語や表現を学びます。授業中では、学校で頭の中に注ぎ込まれた英語の「知識」を「歩くこと」や「日本語で話すこと」のような技能に変えていきます。授業中90分間の多くを、学生はひたすら英語で対話します。頭を英語らしい考え方に組み替え、自分の恥ずかしさを乗り越えるには、相当の苦勞を伴うこともありますが、できるだけ身近な話題を題材にします。授業中の活動を支援し英語能力の向上を保証するためには、授業外のインターネット予習と復習を行ってまいります。このようにして、TOEIC 得点アップや総合的な英語能力向上につながることをもう一つの目標とします。</p> <p>授業一般目標 (1) 身近なことからについて流暢に話せる力を身につける。(2) WBT を利用した自習課題を通して、基本的な語彙・文法的知識を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含フクむ)欠席した学生の成績は不可となる。 ・WBTによる自宅学習課題を期限内に提出すること。期限内に課題を提出しなかった場合は未提出1回につき、1回の欠席として扱われる(2回課題を提出しなかった場合は不可となる) ・以下の(A)と(B)の総合計により評価を行う。(A) 授業内の発言、コミュニケーション活動への参加度により、それに応じた評価ポイントを受け取る。(B) WBTを利用した自宅学習課題の成績に基づき評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 武本ティモシー著、仮題『English Speaking ー山大生が自分を英語で表現するためのテキスト』という統一教科書。</p> <p>メッセージ 英語はそう難しいものではありません。しかし、自分にとって無意味な音声を出し、日本語と比較すればあべこべな順序で、英語で文章を発することは知識というより勇気とします。英語を話すのは、人前で発表することと高飛び込みを足したような頭を真っ白にするほどのことです。しかし渡しのない無意味の海を向こう側へ移動するには、飛び込むしかありません。教科書にある身近な表現をうまく使いこなしながら、ともかく話すことによって、その海の中に飛び込み次第に自由に泳ぎまわり、いつの間にか自分が語で話しているのを忘れた時の喜びは、大変大きなものです。そして、それが力となって、他の場面でも自分を表現できるようになります。間違いを恐れず、まず、英語を話し言葉で使いましょ。英語の知識があるからそれを眠らせておらずに自分の可能性に挑戦してみてください。</p> <p>教官連絡先 HP:http://www.eigodaigaku.com でのウェブカムを見てチャットルームを訪問してください。</p>					

開設科目	English Speaking	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時限	月曜日 5・6 時限
担当教官	CHRIST Alan Robert				
<p>授業概要 この授業の目的は、英語をコミュニケーションの道具として使う能力を身に付けることです。この授業は知識より英語で対話するスキルを重視しながら、身近な話題を表す単語や表現を学びます。授業中では、学校で頭の中に注ぎ込まれた英語の「知識」を「歩くこと」や「日本語で話すこと」のような技能に変えていきます。授業中90分間の多くを、学生はひたすら英語で対話します。頭を英語らしい考え方に組み替え、自分の恥ずかしさを乗り越えるには、相当の苦勞を伴うこともありますが、できるだけ身近な話題を題材にします。授業中の活動を支援し英語能力の向上を保証するためには、授業外のインターネット予習と復習を行ってまいります。このようにして、TOEIC 得点アップや総合的な英語能力向上につながることをもう一つの目標とします。</p> <p>授業一般目標 (1) 身近なことからについて流暢に話せる力を身につける。(2) WBT を利用した自習課題を通して、基本的な語彙・文法的知識を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含フクむ)欠席した学生の成績は不可となる。 ・WBTによる自宅学習課題を期限内に提出すること。期限内に課題を提出しなかった場合は未提出1回につき、1回の欠席として扱われる(2回課題を提出しなかった場合は不可となる) ・以下の(A)と(B)の総合計により評価を行う。(A) 授業内の発言、コミュニケーション活動への参加度により、それに応じた評価ポイントを受け取る。(B) WBTを利用した自宅学習課題の成績に基づき評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 武本ティモシー著、仮題『English Speaking ー山大生が自分を英語で表現するためのテキスト』という統一教科書。</p> <p>メッセージ 英語はそう難しいものではありません。しかし、自分にとって無意味な音声を出し、日本語と比較すればあべこべな順序で、英語で文章を発することは知識というより勇気とします。英語を話すのは、人前で発表することと高飛び込みを足したような頭を真っ白にするほどのことです。しかし渡しのない無意味の海を向こう側へ移動するには、飛び込むしかありません。教科書にある身近な表現をうまく使いこなしながら、ともかく話すことによって、その海の中に飛び込み次第に自由に泳ぎまわり、いつの間にか自分が語で話しているのを忘れた時の喜びは、大変大きなものです。そして、それが力となって、他の場面でも自分を表現できるようになります。間違いを恐れず、まず、英語を話し言葉で使いましょ。英語の知識があるからそれを眠らせておらずに自分の可能性に挑戦してみてください。</p> <p>教官連絡先 HP:http://www.eigodaigaku.com でのウェブカムを見てチャットルームを訪問してください。</p>					

開設科目	English Speaking	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時限	月曜日 7・8 時限
担当教官	HICKS, CRAIG ROBERT				
<p>授業概要 この授業の目的は、英語をコミュニケーションの道具として使う能力を身に付けることです。この授業は知識より英語で対話するスキルを重視しながら、身近な話題を表す単語や表現を学びます。授業中では、学校で頭の中に注ぎ込まれた英語の「知識」を「歩くこと」や「日本語で話すこと」のような技能に変えていきます。授業中90分間の多くを、学生はひたすら英語で対話します。頭を英語らしい考え方に組み替え、自分の恥ずかしさを乗り越えるには、相当の苦勞を伴うこともありますが、できるだけ身近な話題を題材にします。授業中の活動を支援し英語能力の向上を保証するためには、授業外のインターネット予習と復習を行ってまいります。このようにして、TOEIC 得点アップや総合的な英語能力向上につながることをもう一つの目標とします。</p> <p>授業一般目標 (1) 身近なことからについて流暢に話せる力を身につける。(2) WBT を利用した自習課題を通して、基本的な語彙・文法的知識を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含フクむ)欠席した学生の成績は不可となる。 ・WBTによる自宅学習課題を期限内に提出すること。期限内に課題を提出しなかった場合は未提出1回につき、1回の欠席として扱われる(2回課題を提出しなかった場合は不可となる) ・以下の(A)と(B)の総合計により評価を行う。(A) 授業内の発言、コミュニケーション活動への参加度により、それに応じた評価ポイントを受け取る。(B) WBTを利用した自宅学習課題の成績に基づき評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 武本ティモシー著、仮題『English Speaking ー山大生が自分を英語で表現するためのテキスト』という統一教科書。</p> <p>メッセージ 英語はそう難しいものではありません。しかし、自分にとって無意味な音声を出し、日本語と比較すればあべこべな順序で、英語で文章を発することは知識というより勇気が必要です。英語を話すのは、人前で発表することと高飛び込みを足したような頭を真っ白にするほどのことです。しかし渡しのない無意味の海を向こう側へ移動するには、飛び込むしかありません。教科書にある身近な表現をうまく使いこなしながら、ともかく話すことによって、その海の中に飛び込み次第に自由に泳ぎまわり、いつの間にか自分が語で話しているのを忘れた時の喜びは、大変大きなものです。そして、それが力となって、他の場面でも自分を表現できるようになります。間違いを恐れず、まず、英語を話し言葉で使いましょう。英語の知識があるからそれを眠らせておかず自分の可能性に挑戦してみてください。</p> <p>教官連絡先 HP:http://www.eigodaigaku.com でのウェブカムを見てチャットルームを訪問してください。</p>					

開設科目	English Speaking	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時限	月曜日 7・8 時限
担当教官	TIMOTHY ROLAND SCOTT TAKEMOTO				
<p>授業概要 この授業の目的は、英語をコミュニケーションの道具として使う能力を身に付けることです。この授業は知識より英語で対話するスキルを重視しながら、身近な話題を表す単語や表現を学びます。授業中では、学校で頭の中に注ぎ込まれた英語の「知識」を「歩くこと」や「日本語で話すこと」のような技能に変えていきます。授業中90分間の多くを、学生はひたすら英語で対話します。頭を英語らしい考え方に組み替え、自分の恥ずかしさを乗り越えるには、相当の苦勞を伴うこともありますが、できるだけ身近な話題を題材にします。授業中の活動を支援し英語能力の向上を保証するためには、授業外のインターネット予習と復習を行ってまいります。このようにして、TOEIC 得点アップや総合的な英語能力向上につながることをもう一つの目標とします。</p> <p>授業一般目標 (1) 身近なことからについて流暢に話せる力を身につける。(2) WBT を利用した自習課題を通して、基本的な語彙・文法的知識を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含フクむ)欠席した学生の成績は不可となる。 ・WBTによる自宅学習課題を期限内に提出すること。期限内に課題を提出しなかった場合は未提出1回につき、1回の欠席として扱われる(2回課題を提出しなかった場合は不可となる) ・以下の(A)と(B)の総合計により評価を行う。(A) 授業内の発言、コミュニケーション活動への参加度により、それに応じた評価ポイントを受け取る。(B) WBTを利用した自宅学習課題の成績に基づき評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 武本ティモシー著、仮題『English Speaking ー山大生が自分を英語で表現するためのテキスト』という統一教科書。</p> <p>メッセージ 英語はそう難しいものではありません。しかし、自分にとって無意味な音声を出し、日本語と比較すればあべこべな順序で、英語で文章を発することは知識というより勇気が必要です。英語を話すのは、人前で発表することと高飛び込みを足したような頭を真っ白にするほどのことです。しかし渡しのない無意味の海を向こう側へ移動するには、飛び込むしかありません。教科書にある身近な表現をうまく使いこなしながら、ともかく話すことによって、その海の中に飛び込み次第に自由に泳ぎまわり、いつの間にか自分が語で話しているのを忘れた時の喜びは、大変大きなものです。そして、それが力となって、他の場面でも自分を表現できるようになります。間違いを恐れず、まず、英語を話し言葉で使いましょう。英語の知識があるからそれを眠らせておかず自分の可能性に挑戦してみてください。</p> <p>教官連絡先 tim@yamaguchi-u.ac.jp 研究室: 経済 4 階,HP:http://www.eigodaigaku.com でのウェブカムを見てチャットルームも訪問してください。</p>					

開設科目	English Speaking	区分	講義	開設期	後期
対象学生	医・工2年	単位	2単位	曜時限	月曜日 9・10時限
担当教官	尊田望				
<p>授業概要 この授業の目的は、英語をコミュニケーションの道具として使う能力を身に付けることです。この授業は知識より英語で対話するスキルを重視しながら、身近な話題を表す単語や表現を学びます。授業中では、学校で頭の中に注ぎ込まれた英語の「知識」を「歩くこと」や「日本語で話すこと」のような技能に変えていきます。授業中90分間の多くを、学生はひたすら英語で対話します。頭を英語らしい考え方に組み替え、自分の恥ずかしさを乗り越えるには、相当の苦勞を伴うこともあるでしょうが、できるだけ身近な話題を題材にします。授業中の活動を支援し英語能力の向上を保証するためには、授業外のインターネット予習と復習を行ってまいります。このようにして、TOEIC 得点アップや総合的な英語能力向上につながることをもう一つの目標とします。</p> <p>授業一般目標 (1) 身近なことからについて流暢に話せる力を身につける。(2) WBT を利用した自習課題を通して、基本的な語彙・文法的知識を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含フクむ)欠席した学生の成績は不可となる。 ・WBTによる自宅学習課題を期限内に提出すること。期限内に課題を提出しなかった場合は未提出1回につき、1回の欠席として扱われる(2回課題を提出しなかった場合は不可となる) ・以下の(A)と(B)の総合計により評価を行う。(A) 授業内の発言、コミュニケーション活動への参加度により、それに応じた評価ポイントを受け取る。(B) WBTを利用した自宅学習課題の成績に基づき評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 武本ティモシー著、仮題『English Speaking ー山大生が自分を英語で表現するためのテキスト』という統一教科書。</p> <p>メッセージ 英語はそう難しいものではありません。しかし、自分にとって無意味な音声を出し、日本語と比較すればあべこべな順序で、英語で文章を発することは知識というより勇気とします。英語を話すのは、人前で発表することと高飛び込みを足したような頭を真っ白にするほどのことです。しかし渡しのない無意味の海を向こう側へ移動するには、飛び込むしかありません。教科書にある身近な表現をうまく使いこなしながら、ともかく話すことによって、その海の中に飛び込み次第に自由に泳ぎまわり、いつの間にか自分が語で話しているのを忘れた時の喜びは、大変大きなものです。そして、それが力となって、他の場面でも自分を表現できるようになります。間違いを恐れず、まず、英語を話し言葉で使いましょう。英語の知識があるからそれを眠らせておかず自分の可能性に挑戦してみてください。</p> <p>教官連絡先 HP:http://www.eigodaigaku.com でのウェブカムを見てチャットルームを訪問してください。</p>					

開設科目	English Speaking	区分	講義	開設期	後期
対象学生	医・工2年	単位	2単位	曜時限	月曜日 11・12時限
担当教官	尊田望				
<p>授業概要 この授業の目的は、英語をコミュニケーションの道具として使う能力を身に付けることです。この授業は知識より英語で対話するスキルを重視しながら、身近な話題を表す単語や表現を学びます。授業中では、学校で頭の中に注ぎ込まれた英語の「知識」を「歩くこと」や「日本語で話すこと」のような技能に変えていきます。授業中90分間の多くを、学生はひたすら英語で対話します。頭を英語らしい考え方に組み替え、自分の恥ずかしさを乗り越えるには、相当の苦勞を伴うこともあるでしょうが、できるだけ身近な話題を題材にします。授業中の活動を支援し英語能力の向上を保証するためには、授業外のインターネット予習と復習を行ってまいります。このようにして、TOEIC 得点アップや総合的な英語能力向上につながることをもう一つの目標とします。</p> <p>授業一般目標 (1) 身近なことからについて流暢に話せる力を身につける。(2) WBT を利用した自習課題を通して、基本的な語彙・文法的知識を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・4回以上(欠席届による公欠を含フクむ)欠席した学生の成績は不可となる。 ・WBTによる自宅学習課題を期限内に提出すること。期限内に課題を提出しなかった場合は未提出1回につき、1回の欠席として扱われる(4回課題を提出しなかった場合は不可となる) ・以下の(A)と(B)の総合計により評価を行う。(A) 授業内の発言、コミュニケーション活動への参加度により、それに応じた評価ポイントを受け取る。(B) WBTを利用した自宅学習課題の成績に基づき評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 武本ティモシー著、仮題『English Speaking ー山大生が自分を英語で表現するためのテキスト』という統一教科書。</p> <p>メッセージ 英語はそう難しいものではありません。しかし、自分にとって無意味な音声を出し、日本語と比較すればあべこべな順序で、英語で文章を発することは知識というより勇気とします。英語を話すのは、人前で発表することと高飛び込みを足したような頭を真っ白にするほどのことです。しかし渡しのない無意味の海を向こう側へ移動するには、飛び込むしかありません。教科書にある身近な表現をうまく使いこなしながら、ともかく話すことによって、その海の中に飛び込み次第に自由に泳ぎまわり、いつの間にか自分が語で話しているのを忘れた時の喜びは、大変大きなものです。そして、それが力となって、他の場面でも自分を表現できるようになります。間違いを恐れず、まず、英語を話し言葉で使いましょう。英語の知識があるからそれを眠らせておかず自分の可能性に挑戦してみてください。</p> <p>教官連絡先 HP:http://www.eigodaigaku.com でのウェブカムを見てチャットルームを訪問してください。</p>					

開設科目	English Speaking	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時間	水曜日 5・6 時限
担当教官	HICKS, CRAIG ROBERT				
<p>授業概要 この授業の目的は、英語をコミュニケーションの道具として使う能力を身に付けることです。この授業は知識より英語で対話するスキルを重視しながら、身近な話題を表す単語や表現を学びます。授業中では、学校で頭の中に注ぎ込まれた英語の「知識」を「歩くこと」や「日本語で話すこと」のような技能に変えていきます。授業中90分間の多くを、学生はひたすら英語で対話します。頭を英語らしい考え方に組み替え、自分の恥ずかしさを乗り越えるには、相当の苦勞を伴うこともありますが、できるだけ身近な話題を題材にします。授業中の活動を支援し英語能力の向上を保証するためには、授業外のインターネット予習と復習を行ってまいります。このようにして、TOEIC 得点アップや総合的な英語能力向上につながることをもう一つの目標とします。</p> <p>授業一般目標 (1) 身近なことからについて流暢に話せる力を身につける。(2) WBT を利用した自習課題を通して、基本的な語彙・文法的知識を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含フクむ)欠席した学生の成績は不可となる。 ・WBTによる自宅学習課題を期限内に提出すること。期限内に課題を提出しなかった場合は未提出1回につき、1回の欠席として扱われる(2回課題を提出しなかった場合は不可となる) ・以下の(A)と(B)の総合計により評価を行う。(A) 授業内の発言、コミュニケーション活動への参加度により、それに応じた評価ポイントを受け取る。(B) WBTを利用した自宅学習課題の成績に基づき評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 武本ティモシー著、仮題『English Speaking ー山大生が自分を英語で表現するためのテキスト』という統一教科書。</p> <p>メッセージ 英語はそう難しいものではありません。しかし、自分にとって無意味な音声を出し、日本語と比較すればあべこべな順序で、英語で文章を発することは知識というより勇気とします。英語を話すのは、人前で発表することと高飛び込みを足したような頭を真っ白にするほどのことです。しかし渡しのない無意味の海を向こう側へ移動するには、飛び込むしかありません。教科書にある身近な表現をうまく使いこなしながら、ともかく話すことによって、その海の中に飛び込み次第に自由に泳ぎまわり、いつの間にか自分が語で話しているのを忘れた時の喜びは、大変大きなものです。そして、それが力となって、他の場面でも自分を表現できるようになります。間違いを恐れず、まず、英語を話し言葉で使いましょ。英語の知識があるからそれを眠らせておらずに自分の可能性に挑戦してみてください。</p> <p>教官連絡先 HP:http://www.eigodaigaku.com でのウェブカムを見てチャットルームを訪問してください。</p>					

開設科目	English Speaking	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時間	水曜日 5・6 時限
担当教官	Jim Rebstock				
<p>授業概要 この授業の目的は、英語をコミュニケーションの道具として使う能力を身に付けることです。この授業は知識より英語で対話するスキルを重視しながら、身近な話題を表す単語や表現を学びます。授業中では、学校で頭の中に注ぎ込まれた英語の「知識」を「歩くこと」や「日本語で話すこと」のような技能に変えていきます。授業中90分間の多くを、学生はひたすら英語で対話します。頭を英語らしい考え方に組み替え、自分の恥ずかしさを乗り越えるには、相当の苦勞を伴うこともありますが、できるだけ身近な話題を題材にします。授業中の活動を支援し英語能力の向上を保証するためには、授業外のインターネット予習と復習を行ってまいります。このようにして、TOEIC 得点アップや総合的な英語能力向上につながることをもう一つの目標とします。</p> <p>授業一般目標 (1) 身近なことからについて流暢に話せる力を身につける。(2) WBT を利用した自習課題を通して、基本的な語彙・文法的知識を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含フクむ)欠席した学生の成績は不可となる。 ・WBTによる自宅学習課題を期限内に提出すること。期限内に課題を提出しなかった場合は未提出1回につき、1回の欠席として扱われる(2回課題を提出しなかった場合は不可となる) ・以下の(A)と(B)の総合計により評価を行う。(A) 授業内の発言、コミュニケーション活動への参加度により、それに応じた評価ポイントを受け取る。(B) WBTを利用した自宅学習課題の成績に基づき評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 武本ティモシー著、仮題『English Speaking ー山大生が自分を英語で表現するためのテキスト』という統一教科書。</p> <p>メッセージ 英語はそう難しいものではありません。しかし、自分にとって無意味な音声を出し、日本語と比較すればあべこべな順序で、英語で文章を発することは知識というより勇気とします。英語を話すのは、人前で発表することと高飛び込みを足したような頭を真っ白にするほどのことです。しかし渡しのない無意味の海を向こう側へ移動するには、飛び込むしかありません。教科書にある身近な表現をうまく使いこなしながら、ともかく話すことによって、その海の中に飛び込み次第に自由に泳ぎまわり、いつの間にか自分が語で話しているのを忘れた時の喜びは、大変大きなものです。そして、それが力となって、他の場面でも自分を表現できるようになります。間違いを恐れず、まず、英語を話し言葉で使いましょ。英語の知識があるからそれを眠らせておらずに自分の可能性に挑戦してみてください。</p> <p>教官連絡先 HP:http://www.eigodaigaku.com でのウェブカムを見てチャットルームを訪問してください。</p>					

開設科目	English Speaking	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時限	水曜日 7・8 時限
担当教官	渡辺朱実				
<p>授業概要 この授業の目的は、英語をコミュニケーションの道具として使う能力を身に付けることです。この授業は知識より英語で対話するスキルを重視しながら、身近な話題を表す単語や表現を学びます。授業中では、学校で頭の中に注ぎ込まれた英語の「知識」を「歩くこと」や「日本語で話すこと」のような技能に変えていきます。授業中90分間の多くを、学生はひたすら英語で対話します。頭を英語らしい考え方に組み替え、自分の恥ずかしさを乗り越えるには、相当の苦勞を伴うこともありますが、できるだけ身近な話題を題材にします。授業中の活動を支援し英語能力の向上を保証するためには、授業外のインターネット予習と復習を行ってまいります。このようにして、TOEIC 得点アップや総合的な英語能力向上につながることをもう一つの目標とします。</p> <p>授業一般目標 (1) 身近なことからについて流暢に話せる力を身につける。(2) WBT を利用した自習課題を通して、基本的な語彙・文法的知識を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含フクむ)欠席した学生の成績は不可となる。 ・WBTによる自宅学習課題を期限内に提出すること。期限内に課題を提出しなかった場合は未提出1回につき、1回の欠席として扱われる(2回課題を提出しなかった場合は不可となる) ・以下の(A)と(B)の総合計により評価を行う。(A) 授業内の発言、コミュニケーション活動への参加度により、それに応じた評価ポイントを受け取る。(B) WBTを利用した自宅学習課題の成績に基づき評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 武本ティモシー著、仮題『English Speaking ー山大生が自分を英語で表現するためのテキスト』という統一教科書。</p> <p>メッセージ 英語はそう難しいものではありません。しかし、自分にとって無意味な音声を出し、日本語と比較すればあべこべな順序で、英語で文章を発することは知識というより勇気とします。英語を話すのは、人前で発表することと高飛び込みを足したような頭を真っ白にするほどのことです。しかし渡しのない無意味の海を向こう側へ移動するには、飛び込むしかありません。教科書にある身近な表現をうまく使いこなしながら、ともかく話すことによって、その海の中に飛び込み次第に自由に泳ぎまわり、いつの間にか自分が語で話しているのを忘れた時の喜びは、大変大きなものです。そして、それが力となって、他の場面でも自分を表現できるようになります。間違いを恐れず、まず、英語を話し言葉で使いましょう。英語の知識があるからそれを眠らせておかず自分の可能性に挑戦してみてください。</p> <p>教官連絡先 HP:http://www.eigodaigaku.com でのウェブカムを見てチャットルームを訪問してください。</p>					

開設科目	English Speaking	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時限	水曜日 7・8 時限
担当教官	CHRIST, Alan Robert				
<p>授業概要 この授業の目的は、英語をコミュニケーションの道具として使う能力を身に付けることです。この授業は知識より英語で対話するスキルを重視しながら、身近な話題を表す単語や表現を学びます。授業中では、学校で頭の中に注ぎ込まれた英語の「知識」を「歩くこと」や「日本語で話すこと」のような技能に変えていきます。授業中90分間の多くを、学生はひたすら英語で対話します。頭を英語らしい考え方に組み替え、自分の恥ずかしさを乗り越えるには、相当の苦勞を伴うこともありますが、できるだけ身近な話題を題材にします。授業中の活動を支援し英語能力の向上を保証するためには、授業外のインターネット予習と復習を行ってまいります。このようにして、TOEIC 得点アップや総合的な英語能力向上につながることをもう一つの目標とします。</p> <p>授業一般目標 (1) 身近なことからについて流暢に話せる力を身につける。(2) WBT を利用した自習課題を通して、基本的な語彙・文法的知識を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含フクむ)欠席した学生の成績は不可となる。 ・WBTによる自宅学習課題を期限内に提出すること。期限内に課題を提出しなかった場合は未提出1回につき、1回の欠席として扱われる(2回課題を提出しなかった場合は不可となる) ・以下の(A)と(B)の総合計により評価を行う。(A) 授業内の発言、コミュニケーション活動への参加度により、それに応じた評価ポイントを受け取る。(B) WBTを利用した自宅学習課題の成績に基づき評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 武本ティモシー著、仮題『English Speaking ー山大生が自分を英語で表現するためのテキスト』という統一教科書。</p> <p>メッセージ 英語はそう難しいものではありません。しかし、自分にとって無意味な音声を出し、日本語と比較すればあべこべな順序で、英語で文章を発することは知識というより勇気とします。英語を話すのは、人前で発表することと高飛び込みを足したような頭を真っ白にするほどのことです。しかし渡しのない無意味の海を向こう側へ移動するには、飛び込むしかありません。教科書にある身近な表現をうまく使いこなしながら、ともかく話すことによって、その海の中に飛び込み次第に自由に泳ぎまわり、いつの間にか自分が語で話しているのを忘れた時の喜びは、大変大きなものです。そして、それが力となって、他の場面でも自分を表現できるようになります。間違いを恐れず、まず、英語を話し言葉で使いましょう。英語の知識があるからそれを眠らせておかず自分の可能性に挑戦してみてください。</p> <p>教官連絡先 HP:http://www.eigodaigaku.com でのウェブカムを見てチャットルームを訪問してください。</p>					

開設科目	English Speaking	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時限	水曜日 7・8 時限
担当教官	HICKS CRAIG ROBERT				
<p>授業概要 この授業の目的は、英語をコミュニケーションの道具として使う能力を身に付けることです。この授業は知識より英語で対話するスキルを重視しながら、身近な話題を表す単語や表現を学びます。授業中では、学校で頭の中に注ぎ込まれた英語の「知識」を「歩くこと」や「日本語で話すこと」のような技能に変えていきます。授業中90分間の多くを、学生はひたすら英語で対話します。頭を英語らしい考え方に組み替え、自分の恥ずかしさを乗り越えるには、相当の苦勞を伴うこともありますが、できるだけ身近な話題を題材にします。授業中の活動を支援し英語能力の向上を保証するためには、授業外のインターネット予習と復習を行ってまいります。このようにして、TOEIC 得点アップや総合的な英語能力向上につながることをもう一つの目標とします。</p> <p>授業一般目標 (1) 身近なことからついて流暢に話せる力を身につける。(2) WBT を利用した自習課題を通して、基本的な語彙・文法的知識を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含フクむ)欠席した学生の成績は不可となる。 ・WBTによる自宅学習課題を期限内に提出すること。期限内に課題を提出しなかった場合は未提出1回につき、1回の欠席として扱われる(2回課題を提出しなかった場合は不可となる) ・以下の(A)と(B)の総合計により評価を行う。(A) 授業内の発言、コミュニケーション活動への参加度により、それに応じた評価ポイントを受け取る。(B) WBTを利用した自宅学習課題の成績に基づき評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 武本ティモシー著、仮題『English Speaking ー山大生が自分を英語で表現するためのテキスト』という統一教科書。</p> <p>メッセージ 英語はそう難しいものではありません。しかし、自分にとって無意味な音声を出し、日本語と比較すればあべこべな順序で、英語で文章を発することは知識というより勇気が必要です。英語を話すのは、人前で発表することと高飛び込みを足したような頭を真っ白にするほどのことです。しかし渡しのない無意味の海を向こう側へ移動するには、飛び込むしかありません。教科書にある身近な表現をうまく使いこなしながら、ともかく話すことによって、その海の中に飛び込み次第に自由に泳ぎまわり、いつの間にか自分が語で話しているのを忘れた時の喜びは、大変大きなものです。そして、それが力となって、他の場面でも自分を表現できるようになります。間違いを恐れず、まず、英語を話し言葉で使いましょ。英語の知識があるからそれを眠らせておかず自分の可能性に挑戦してみてください。</p> <p>教官連絡先 HP:http://www.eigodaigaku.com でのウェブカムを見てチャットルームを訪問してください。</p>					

開設科目	English Speaking	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時限	水曜日 9・10 時限
担当教官	KAMEL MAURICE				
<p>授業概要 この授業の目的は、英語をコミュニケーションの道具として使う能力を身に付けることです。この授業は知識より英語で対話するスキルを重視しながら、身近な話題を表す単語や表現を学びます。授業中では、学校で頭の中に注ぎ込まれた英語の「知識」を「歩くこと」や「日本語で話すこと」のような技能に変えていきます。授業中90分間の多くを、学生はひたすら英語で対話します。頭を英語らしい考え方に組み替え、自分の恥ずかしさを乗り越えるには、相当の苦勞を伴うこともありますが、できるだけ身近な話題を題材にします。授業中の活動を支援し英語能力の向上を保証するためには、授業外のインターネット予習と復習を行ってまいります。このようにして、TOEIC 得点アップや総合的な英語能力向上につながることをもう一つの目標とします。</p> <p>授業一般目標 (1) 身近なことからついて流暢に話せる力を身につける。(2) WBT を利用した自習課題を通して、基本的な語彙・文法的知識を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含フクむ)欠席した学生の成績は不可となる。 ・WBTによる自宅学習課題を期限内に提出すること。期限内に課題を提出しなかった場合は未提出1回につき、1回の欠席として扱われる(2回課題を提出しなかった場合は不可となる) ・以下の(A)と(B)の総合計により評価を行う。(A) 授業内の発言、コミュニケーション活動への参加度により、それに応じた評価ポイントを受け取る。(B) WBTを利用した自宅学習課題の成績に基づき評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 武本ティモシー著、仮題『English Speaking ー山大生が自分を英語で表現するためのテキスト』という統一教科書。</p> <p>メッセージ 英語はそう難しいものではありません。しかし、自分にとって無意味な音声を出し、日本語と比較すればあべこべな順序で、英語で文章を発することは知識というより勇気が必要です。英語を話すのは、人前で発表することと高飛び込みを足したような頭を真っ白にするほどのことです。しかし渡しのない無意味の海を向こう側へ移動するには、飛び込むしかありません。教科書にある身近な表現をうまく使いこなしながら、ともかく話すことによって、その海の中に飛び込み次第に自由に泳ぎまわり、いつの間にか自分が語で話しているのを忘れた時の喜びは、大変大きなものです。そして、それが力となって、他の場面でも自分を表現できるようになります。間違いを恐れず、まず、英語を話し言葉で使いましょ。英語の知識があるからそれを眠らせておかず自分の可能性に挑戦してみてください。</p> <p>教官連絡先 HP:http://www.eigodaigaku.com でのウェブカムを見てチャットルームを訪問してください。</p>					

開設科目	English Speaking	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時限	金曜日 5・6 時限
担当教官	尊田望				
<p>授業概要 この授業の目的は、英語をコミュニケーションの道具として使う能力を身に付けることです。この授業は知識より英語で対話するスキルを重視しながら、身近な話題を表す単語や表現を学びます。授業中では、学校で頭の中に注ぎ込まれた英語の「知識」を「歩くこと」や「日本語で話すこと」のような技能に変えていきます。授業中90分間の多くを、学生はひたすら英語で対話します。頭を英語らしい考え方に組み替え、自分の恥ずかしさを乗り越えるには、相当の苦勞を伴うこともありますが、できるだけ身近な話題を題材にします。授業中の活動を支援し英語能力の向上を保証するためには、授業外のインターネット予習と復習を行ってまいります。このようにして、TOEIC 得点アップや総合的な英語能力向上につながることをもう一つの目標とします。</p> <p>授業一般目標 (1) 身近なことからついて流暢に話せる力を身につける。(2) WBT を利用した自習課題を通して、基本的な語彙・文法的知識を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含フクむ)欠席した学生の成績は不可となる。 ・WBTによる自宅学習課題を期限内に提出すること。期限内に課題を提出しなかった場合は未提出1回につき、1回の欠席として扱われる(2回課題を提出しなかった場合は不可となる) ・以下の(A)と(B)の総合計により評価を行う。(A) 授業内の発言、コミュニケーション活動への参加度により、それに応じた評価ポイントを受け取る。(B) WBTを利用した自宅学習課題の成績に基づき評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 武本ティモシー著、仮題『English Speaking ー山大生が自分を英語で表現するためのテキスト』という統一教科書。</p> <p>メッセージ 英語はそう難しいものではありません。しかし、自分にとって無意味な音声を出し、日本語と比較すればあべこべな順序で、英語で文章を発することは知識というより勇気とします。英語を話すのは、人前で発表することと高飛び込みを足したような頭を真っ白にするほどのことです。しかし渡しのない無意味の海を向こう側へ移動するには、飛び込むしかありません。教科書にある身近な表現をうまく使いこなしながら、ともかく話すことによって、その海の中に飛び込み次第に自由に泳ぎまわり、いつの間にか自分が語で話しているのを忘れた時の喜びは、大変大きなものです。そして、それが力となって、他の場面でも自分を表現できるようになります。間違いを恐れず、まず、英語を話し言葉で使いましょう。英語の知識があるからそれを眠らせておかず自分の可能性に挑戦してみてください。</p> <p>教官連絡先 連絡先: 尊田 望 TEL (083)932-0038 FAX (083)932-0089 携帯 (090) 4654-8264 個人メール: sonda_nozomu@ybb.ne.jp HP:http://www.eigodaigaku.com でのウェブカムを見てチャットルームを訪問してください。</p>					

開設科目	English Speaking	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時限	金曜日 5・6 時限
担当教官	KAMEL, MAURICE				
<p>授業概要 この授業の目的は、英語をコミュニケーションの道具として使う能力を身に付けることです。この授業は知識より英語で対話するスキルを重視しながら、身近な話題を表す単語や表現を学びます。授業中では、学校で頭の中に注ぎ込まれた英語の「知識」を「歩くこと」や「日本語で話すこと」のような技能に変えていきます。授業中90分間の多くを、学生はひたすら英語で対話します。頭を英語らしい考え方に組み替え、自分の恥ずかしさを乗り越えるには、相当の苦勞を伴うこともありますが、できるだけ身近な話題を題材にします。授業中の活動を支援し英語能力の向上を保証するためには、授業外のインターネット予習と復習を行ってまいります。このようにして、TOEIC 得点アップや総合的な英語能力向上につながることをもう一つの目標とします。</p> <p>授業一般目標 (1) 身近なことからついて流暢に話せる力を身につける。(2) WBT を利用した自習課題を通して、基本的な語彙・文法的知識を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含フクむ)欠席した学生の成績は不可となる。 ・WBTによる自宅学習課題を期限内に提出すること。期限内に課題を提出しなかった場合は未提出1回につき、1回の欠席として扱われる(2回課題を提出しなかった場合は不可となる) ・以下の(A)と(B)の総合計により評価を行う。(A) 授業内の発言、コミュニケーション活動への参加度により、それに応じた評価ポイントを受け取る。(B) WBTを利用した自宅学習課題の成績に基づき評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 武本ティモシー著、仮題『English Speaking ー山大生が自分を英語で表現するためのテキスト』という統一教科書。</p> <p>メッセージ 英語はそう難しいものではありません。しかし、自分にとって無意味な音声を出し、日本語と比較すればあべこべな順序で、英語で文章を発することは知識というより勇気とします。英語を話すのは、人前で発表することと高飛び込みを足したような頭を真っ白にするほどのことです。しかし渡しのない無意味の海を向こう側へ移動するには、飛び込むしかありません。教科書にある身近な表現をうまく使いこなしながら、ともかく話すことによって、その海の中に飛び込み次第に自由に泳ぎまわり、いつの間にか自分が語で話しているのを忘れた時の喜びは、大変大きなものです。そして、それが力となって、他の場面でも自分を表現できるようになります。間違いを恐れず、まず、英語を話し言葉で使いましょう。英語の知識があるからそれを眠らせておかず自分の可能性に挑戦してみてください。</p> <p>教官連絡先 HP:http://www.eigodaigaku.com でのウェブカムを見てチャットルームを訪問してください。</p>					

開設科目	English Speaking	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時限	金曜日 7・8 時限
担当教官	KAMEL, MAURICE				
<p>授業概要 この授業の目的は、英語をコミュニケーションの道具として使う能力を身に付けることです。この授業は知識より英語で対話するスキルを重視しながら、身近な話題を表す単語や表現を学びます。授業中では、学校で頭の中に注ぎ込まれた英語の「知識」を「歩くこと」や「日本語で話すこと」のような技能に変えていきます。授業中90分間の多くを、学生はひたすら英語で対話します。頭を英語らしい考え方に組み替え、自分の恥ずかしさを乗り越えるには、相当の苦勞を伴うこともありますが、できるだけ身近な話題を題材にします。授業中の活動を支援し英語能力の向上を保証するためには、授業外のインターネット予習と復習を行ってまいります。このようにして、TOEIC 得点アップや総合的な英語能力向上につながることをもう一つの目標とします。</p> <p>授業一般目標 (1) 身近なことからについて流暢に話せる力を身につける。(2) WBT を利用した自習課題を通して、基本的な語彙・文法的知識を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含フクむ)欠席した学生の成績は不可となる。 ・WBTによる自宅学習課題を期限内に提出すること。期限内に課題を提出しなかった場合は未提出1回につき、1回の欠席として扱われる(2回課題を提出しなかった場合は不可となる) ・以下の(A)と(B)の総合計により評価を行う。(A) 授業内の発言、コミュニケーション活動への参加度により、それに応じた評価ポイントを受け取る。(B) WBTを利用した自宅学習課題の成績に基づき評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 武本ティモシー著、仮題『English Speaking ー山大生が自分を英語で表現するためのテキスト』という統一教科書。</p> <p>メッセージ 英語はそう難しいものではありません。しかし、自分にとって無意味な音声を出し、日本語と比較すればあべこべな順序で、英語で文章を発することは知識というより勇気とします。英語を話すのは、人前で発表することと高飛び込みを足したような頭を真っ白にするほどのことです。しかし渡しのない無意味の海を向こう側へ移動するには、飛び込むしかありません。教科書にある身近な表現をうまく使いこなしながら、ともかく話すことによって、その海の中に飛び込み次第に自由に泳ぎまわり、いつの間にか自分が語で話しているのを忘れた時の喜びは、大変大きなものです。そして、それが力となって、他の場面でも自分を表現できるようになります。間違いを恐れず、まず、英語を話し言葉で使いましょ。英語の知識があるからそれを眠らせておらずに自分の可能性に挑戦してみてください。</p> <p>教官連絡先 HP:http://www.eigodaigaku.com でのウェブカムを見てチャットルームを訪問してください。</p>					

開設科目	English Speaking	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時限	金曜日 7・8 時限
担当教官	STEVEN T.GARDNER				
<p>授業概要 この授業の目的は、英語をコミュニケーションの道具として使う能力を身に付けることです。この授業は知識より英語で対話するスキルを重視しながら、身近な話題を表す単語や表現を学びます。授業中では、学校で頭の中に注ぎ込まれた英語の「知識」を「歩くこと」や「日本語で話すこと」のような技能に変えていきます。授業中90分間の多くを、学生はひたすら英語で対話します。頭を英語らしい考え方に組み替え、自分の恥ずかしさを乗り越えるには、相当の苦勞を伴うこともありますが、できるだけ身近な話題を題材にします。授業中の活動を支援し英語能力の向上を保証するためには、授業外のインターネット予習と復習を行ってまいります。このようにして、TOEIC 得点アップや総合的な英語能力向上につながることをもう一つの目標とします。</p> <p>授業一般目標 (1) 身近なことからについて流暢に話せる力を身につける。(2) WBT を利用した自習課題を通して、基本的な語彙・文法的知識を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含フクむ)欠席した学生の成績は不可となる。 ・WBTによる自宅学習課題を期限内に提出すること。期限内に課題を提出しなかった場合は未提出1回につき、1回の欠席として扱われる(2回課題を提出しなかった場合は不可となる) ・以下の(A)と(B)の総合計により評価を行う。(A) 授業内の発言、コミュニケーション活動への参加度により、それに応じた評価ポイントを受け取る。(B) WBTを利用した自宅学習課題の成績に基づき評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 武本ティモシー著、仮題『English Speaking ー山大生が自分を英語で表現するためのテキスト』という統一教科書。</p> <p>メッセージ 英語はそう難しいものではありません。しかし、自分にとって無意味な音声を出し、日本語と比較すればあべこべな順序で、英語で文章を発することは知識というより勇気とします。英語を話すのは、人前で発表することと高飛び込みを足したような頭を真っ白にするほどのことです。しかし渡しのない無意味の海を向こう側へ移動するには、飛び込むしかありません。教科書にある身近な表現をうまく使いこなしながら、ともかく話すことによって、その海の中に飛び込み次第に自由に泳ぎまわり、いつの間にか自分が語で話しているのを忘れた時の喜びは、大変大きなものです。そして、それが力となって、他の場面でも自分を表現できるようになります。間違いを恐れず、まず、英語を話し言葉で使いましょ。英語の知識があるからそれを眠らせておらずに自分の可能性に挑戦してみてください。</p> <p>教官連絡先 HP:http://www.eigodaigaku.com でのウェブカムを見てチャットルームを訪問してください。</p>					

開設科目	English Speaking	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時限	月曜日 7・8 時限
担当教官	Jim Rebstock				
<p>授業概要 この授業の目的は、英語をコミュニケーションの道具として使う能力を身に付けることです。この授業は知識より英語で対話するスキルを重視しながら、身近な話題を表す単語や表現を学びます。授業中では、学校で頭の中に注ぎ込まれた英語の「知識」を「歩くこと」や「日本語で話すこと」のような技能に変えていきます。授業中90分間の多くを、学生はひたすら英語で対話します。頭を英語らしい考え方に組み替え、自分の恥ずかしさを乗り越えるには、相当の苦勞を伴うこともありますが、できるだけ身近な話題を題材にします。授業中の活動を支援し英語能力の向上を保証するためには、授業外のインターネット予習と復習を行ってまいります。このようにして、TOEIC 得点アップや総合的な英語能力向上につながることをもう一つの目標とします。</p> <p>授業一般目標 (1) 身近なことからについて流暢に話せる力を身につける。(2) WBT を利用した自習課題を通して、基本的な語彙・文法的知識を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含フクむ)欠席した学生の成績は不可となる。 ・WBT による自宅学習課題を期限内に提出すること。期限内に課題を提出しなかった場合は未提出1回につき、1回の欠席として扱われる(2回課題を提出しなかった場合は不可となる) ・以下の(A)と(B)の総合計により評価を行う。(A) 授業内の発言、コミュニケーション活動への参加度により、それに応じた評価ポイントを受け取る。(B) WBT を利用した自宅学習課題の成績に基づき評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：武本ティモシー著、仮題『English Speaking ー山大生が自分を英語で表現するためのテキスト』という統一教科書。</p> <p>メッセージ 英語はそう難しいものではありません。しかし、自分にとって無意味な音声を出し、日本語と比較すればあべこべな順序で、英語で文章を発することは知識というより勇気が必要です。英語を話すのは、人前で発表することと高飛び込みを足したような頭を真っ白にするほどのことです。しかし渡しのない無意味の海を向こう側へ移動するには、飛び込むしかありません。教科書にある身近な表現をうまく使いこなしながら、とまどく話すことによって、その海の中に飛び込み次第に自由に泳ぎまわり、いつの間にか自分が語で話しているのを忘れた時の喜びは、大変大きなものです。そして、それが力となって、他の場面でも自分を表現できるようになります。間違いを恐れず、まず、英語を話し言葉で使いましょう。英語の知識があるからそれを眠らせておかず自分の可能性に挑戦してみてください。</p> <p>教官連絡先 HP:http://www.eigodaigaku.com でのウェブカムを見てチャットルームを訪問してください。</p>					

開設科目	実践総合英語	区分	講義	開設期	後期
対象学生	医・工(平成14・15年度入学者)	単位	2 単位	曜時限	火曜日 9・10 時限
担当教官	内海俊祐				
<p>授業概要 TOEIC 受験に有益となるように英語のリスニングとリーディングの方法論を中心に授業を展開する。英語特有の音の法則を解説し、関連する音のディクテーションを行うことによって英語の音声に慣れてもらう。また、平易な文章を速読する指導を行う。</p> <p>授業一般目標 (1) 英語特有の音の連結や脱落の法則を理解すること。(2) 日本語に訳すことなく英文を理解すること。</p> <p>成績評価方法 (総合) 出席率(20%)レポート・小テスト(20%)定期試験(60%)を点数化し総合評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：Top of the Pops Listening 「ポップソングで楽しく学ぶ実用リスニング」、熊井信弘 他、マクミランランゲージハウス、2005年</p> <p>メッセージ 紙の辞書または電子辞書に係らず、自分にあった辞書を使いこなすことに心がけてください。なお、試験は辞書持込可とします。</p>					

開設科目	実践総合英語	区分	講義	開設期	後期
対象学生	全(平成14・15年度入学者)	単位	2単位	曜時限	金曜日1・2時限
担当教官	細木 孝雄				
<p>授業概要 米国の経済週刊誌「Business Week」の社説を通して、日本を含むアジア、米国、欧州が直面するさまざまな国際、社会、政治、経済、産業の各分野に関心を持ち、積極的に生きた英語に触れながら読解力を鍛える。</p> <p>授業一般目標 トピックをめぐる問題点について考え、問題解決をしていくことによって、読解力を身につけ、英語表現の学習やTOEIC対策を行うことができる。</p> <p>成績評価方法(総合) 授業への積極的参加状況、課題提出、試験により総合的に評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Businessweek Watches Japan and the World, Naohisa Murakami, Nan'un-do, 2007年</p> <p>メッセージ 世界の現実を英語で読み解こう。英和辞典必携。</p>					

開設科目	英語リーディング	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2単位	曜時限	月曜日5・6時限
担当教官	猫田和明				
<p>授業概要 この授業ではパソコンによる予習を課す。授業では単語テスト、内容理解のための英問英答、シャドーイング、速読などを行う。各回のトピックに関連する英文を読む活動も行う。</p> <p>授業一般目標 テンポよく英文を読んで理解できるような読解力を養い、まとまった文章にも臆せず読み進めることのできる力を身につける。</p> <p>成績評価方法(総合) 普段の授業への参加の様子、課題の状況、定期試験によって評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Reading Cool, 中鉢恵一 他, 三修社, 2004年</p> <p>メッセージ 授業では内容に関して英問英答を行うので、きちんと予習をやってください。</p> <p>教官連絡先 教育学部南棟3F(354)</p>					

系列 外国語教育

分野 英語

科目類型 展開1

開設科目	英語リーディング	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時限	月曜日 5・6 時限
担当教官	前出泰司				
<p>授業概要 食材という日常生活に深く結びついたテーマについて書かれた英文を読むことによって英文の読解に興味をもち読解力を向上させる。3週に一回 Review Test を行い理解度を確認しながら確実に英文を理解する力を養う。</p> <p>授業一般目標 英語読解能力の向上をめざす。英語の背景にある伝統・文化を深く理解することにより知的・教養的能力の向上をはかる。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験 80 出席 10 小テスト 10</p> <p>教科書・参考書 教科書: Food in Tradition and Culture, M. Heather Kotake 他, 成美堂</p>					

系列 外国語教育

分野 英語

科目類型 展開1

開設科目	英語リーディング	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時限	月曜日 5・6 時限
担当教官	岡本 嶺男				
<p>授業概要 変容する世界のさまざまな事象を扱った英文を読むことによって英文読解力を高める。2週に1回 Review Test を実施し、内容の理解度を確認しながら英文を確実に理解する力を養う。</p> <p>授業一般目標 英語の読解能力の向上をはかり、また、英語の背景にある伝統・文化をより深く理解できるよう知的・論理的思考力と鋭い感受性を身につける。</p> <p>成績評価方法(総合) ・定期試験 80 ・出席 10 ・小テスト 10</p> <p>教科書・参考書 教科書: Knowledge in the Making, John Barton, Anthony Sellick, Norio Shimamura, 成美堂, 2007年; 大学生協で販売</p>					

開設科目	英語リーディング	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時間	月曜日 5・6 時限
担当教官	正宗 聡				
<p>授業概要 英語で書かれた文章を読めるようになること。あわせて、その文章に対する設問に的確に答えられるようになること。</p> <p>授業一般目標 つらなる英文がどのように流れているのかを把握できるようになること。</p> <p>成績評価方法 (総合) 人数にも寄りますが、多い場合は定期試験のみになります。それだけ、毎回の出席が大事になることを忘れずに。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Building Skills for the TOEFL iBT というテキストのリーディング部門を一部、コピーして配布します。</p> <p>メッセージ 予習をしっかりとってきてください。</p>					

開設科目	英語リーディング	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時間	月曜日 7・8 時限
担当教官	高橋俊章				
<p>授業概要 The Japan Times などの英字新聞を読み、時事的な語彙、表現 (コロケーションを含む) を学ぶ。</p> <p>授業一般目標 The Japan Times を読むことが出来る。また、新聞に使用されている語彙や表現を学習する。</p> <p>成績評価方法 (総合) 5 回以上欠席したら不可 (欠席 1 回ごとに全体の評価 (100 点) から 5 点減点)。遅刻 3 回を欠席 1 回とみなす。指名して予習不十分と判明した場合 (答えられなかった場合など) は出席点を - 0.5 回分にする (2 度重なれば、1 回欠席と同じ)。期末テスト (60%) + 授業における参加度 (クローズ形式の問題演習の得点、質問に答えるなどによる得点であり、出席率ではない。欠席すると - 5 であるが、単に出席するだけでは何ら得点は与えられない。) や小テストの得点 (40%)</p> <p>教科書・参考書 教科書: 毎回、新聞のコピーを配布します。</p> <p>メッセージ 予習を前提として授業を進める。辞書 (電子式でも書籍版でも構わない) は必ず持参すること。The Japan Times に授業のレベルを合わせるため、このレベルでは内容が簡単と感じる学生は他の授業を受けること。また、半分も理解出来ないという学生には難しすぎるので、この場合も他の授業を選択し履修すること。分量はかなり読むことになります。また、和訳は基本的に行いません。</p>					

開設科目	英語リーディング	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時限	月曜日 7・8 時限
担当教官	岡 紘一郎				
<p>授業概要 日英比較文化に関するエッセイを読み、話や論理の展開を楽しみながら、精読、大意の要約等読解力を養成する。テープを聞いて、耳からも理解する。</p> <p>授業一般目標 精読、大意要約、行間を読む等、読解力を高める。リスニング力を高める。</p> <p>成績評価方法 (総合) 定期試験、出席率、授業への参加度、中間試験等で総合的に評価する。出席日数が所定に達しなければ、受験できない。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Britain:Known and Unknown, Trevor Legget, Seibido</p>					

開設科目	英語リーディング	区分	講義	開設期	後期
対象学生	医・工 2 年	単位	2 単位	曜時限	月曜日 9・10 時限
担当教官	堤 千佳子				
<p>授業概要 この授業では TOEIC 400 点以上を取得した学生を対象に、リーディング能力を養成する。読解力を高めるための英文法の涵養も併せて目標とする。内容理解の確認、リスニング、ヴォキャブラリーに関するエクササイズをこなしていくことで、多角的なアプローチを取る。</p> <p>授業一般目標 (1) 読解力の向上 (2) 企業を取り上げたテキストを用いることで、日本経済の状況などについての知識を得る。 (3) TOEIC 関連の問題の学習</p> <p>成績評価方法 (総合) 1/3 以上の欠席は失格。出席率、授業への参加度、適宜課する小テスト、定期試験の組み合わせにより総合的に評価を行なう。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Leading Companies in the 21st Century, Alan Cogen, 松柏社, 2005 年</p> <p>メッセージ 1/3 以上の欠席は失格となります。遅刻は厳禁です。必ず予習をして、授業に臨んでください。予習の段階で音読を必ず試みてください。</p>					

開設科目	英語リーディング	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時限	火曜日 5・6 時限
担当教官	島 越郎				
<p>授業概要 様々な英文を精読することにより、英文解釈力を高める。</p> <p>授業一般目標 英文の意味を形式的側面と内容的側面の両方から理解できるようにする。</p> <p>成績評価方法(総合) 中間テストと期末テストの合計点で判断する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：毎回プリントを配付する。</p> <p>メッセージ 英和辞書を毎回持参すること。</p> <p>教官連絡先 e-mail: eshima@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	英語リーディング	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時限	火曜日 5・6 時限
担当教官	渡辺朱実				
<p>授業概要 真のリーディング力を養うことを目的とする。扱うテキストに掲載されている英文は、平均600語程度の上級向けである。毎回、違ったトピックを読みながら、その章で扱う文法事項の確認、パラグラフの内容把握試問を実施する。</p> <p>授業一般目標 ・ 英文法の再整理、復習を行なうこと。 ・ 培った文法知識を実際のリーディングに活かすこと。 ・ 正しい精読により、より深い英文解読に結びつけること。</p> <p>成績評価方法(総合) ・ 出席(欠格条件とする。4回以上欠席の場合、単位は認定しない。) ・ 授業への参加度、参加態度 ・ 小テスト、授業内/外レポート、宿題 ・ 学期末試験(注:出席が規定に満たない者は受験できない。)</p> <p>教科書・参考書 教科書: Advanced Skills for Reading リーディングスキルの発展演習, Neil J. Anderson, Masayuki Kawamata, 成美堂, 2007年</p> <p>メッセージ 予習・復習を前提として授業を進める。本気で英文法を復習し、英語で長文を読めるようになりたい、という学生に来ていただきたい。</p>					

開設科目	英語リーディング	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時間	火曜日 5・6 時限
担当教官	宮原一成				
<p>授業概要 大学でことばの勉強をするのだから、ことばを少し批評的に見つめてみたくはありませんか？ この授業では、英米でのコマーシャルや広告で使われている言葉づかいを題材に、ちょっと言語分析的なアプローチをしてみようというものです。英文を精読して英文解釈力を高めるとともに、様々な言葉づかいが読み手や聞き手にどういう心理的效果を与えるか、そういった部分も考えていきましょう。そうしてみると、TOEIC の長文にある一見味気ない広告文なども、鑑賞的に読めるようになるでしょう。授業の終わりの方の週では、日本語による広告から学生自身が題材を探し、その言葉づかいについて分析した結果をプレゼンテーションしてもらいます(グループ作業)</p> <p>授業一般目標 英文解釈力の養成。他人や自分の言語活動を批評的に見る力の養成。効果的なプレゼンテーション能力の養成。</p> <p>成績評価方法(総合) 英文解釈訳読発表の出来 60% + 積極的な質問や討論参加 10% + グループ別プレゼンテーションの出来 30% (これには学生グループ相互の評価結果を含める) = 100点満点。学期末試験は課さない。無断欠課 5 回以上は無条件に不可とする。遅刻 2 回で欠課 1 回分とカウントする。30 分以内であれば遅刻と見なすが、それ以上は欠課として扱う。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 『広告の英語』, Angela Goddard, 開文社出版, 2001 年; 一回目の授業の時に、プリントも配付する。</p> <p>メッセージ 英和辞書を毎回持参すること。</p> <p>教官連絡先 初回授業時に知らせます。</p>					

開設科目	英語リーディング	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時間	火曜日 7・8 時限
担当教官	尊田 望				
<p>授業概要 TOEIC スコア 400 点以上を対象とし、500 点レベル程度の英文を読み、内容について話したり、書いたりする。演習活動に和訳は行わない。英語のまま速く理解し、コミュニケーションや研究・調査に役立てる力を養う。</p> <p>授業一般目標 授業内で 500 単語程度の英文を設定時間内に読めるようにする。キーワードを理解し、各パラグラフのメインアイデアを理解できる。英文で出てきた文法的なポイントを復習する。読んだ内容についてクラスメートと話し合い、リアクションを英語で書ける。</p> <p>成績評価方法(総合) 1. 授業内演習活動 (50%) 2. 宿題 (10%) 3. 期末試験 (40%)</p> <p>教科書・参考書 教科書: College Reading Workshop (2nd edn), Casey Malarcher, Compass Publishing</p> <p>メッセージ 英語リーディングは英語のまま理解しよう! 翻訳はそれができるようになってから。多読・速読をまずはマスターしよう! Let's have fun reading!</p> <p>教官連絡先 連絡先: (083)932-0038 E-mail: oneworld@international.name</p>					

開設科目	英語リーディング	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時限	火曜日 7・8 時限
担当教官	岡 紘一郎				
<p>授業概要 著者は日本事情に精通した英国人であり、この本は一種の日英文化比較論である。外国人の目を通して見た日英の文化を理解し、評価した上で、改めて日本文化を考えなおしてみる。</p> <p>授業一般目標 平易なエッセイを読むことにより読む楽しみを味わいつつ、読解力をつける。英文を読んだ後、その内容を日本語で表現、要約することにより表現力をつける。テープを聴いて聴解力をつける。</p> <p>成績評価方法(総合) 1. 試験を行う。 2. 指名されたとき十分に準備できていて、正確に発表でき、質問に正しく答えられるか、を評価する。 3. 出席も考慮する。 所定の回数に満たない者は受験できない。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Britain Known and Unknown, T. Legget, Seibido, 1999 年 メッセージ 予習をしっかりとって授業に出ること。</p>					

開設科目	英語リーディング	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時限	火曜日 7・8 時限
担当教官	皆尾麻弥				
<p>授業概要 ギリシャ神話を英語で読む。</p> <p>授業一般目標 詩人口バート・グレイヴスによる簡潔かつ魅力的な英語で、ギリシャ神話の世界を堪能する。ギリシャ神話の英雄たち、神々、美女たちの、基本的な物語を把握する。</p> <p>成績評価方法(総合) 学期末の試験に平常点を加味する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: The Greek Myths, Robert Graves, Penguin</p>					

開設科目	英語リーディング	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時限	水曜日 3・4 時限
担当教官	谷國 晶洋				
<p>授業概要 日本人とアメリカ人のコミュニケーション上のギャップを例に、両国の国民性・文化の相違を具体的に説明した比較文化についてのエッセイを題材に、精密な英文読解を行う。</p> <p>授業一般目標 英文講読を通して読解力を高めるとともに、異文化理解に対する論理的な思考力と鋭敏な感受性をつけること。</p> <p>成績評価方法 (総合) 授業への参加度 (出席 2/3 以上・発表点) 及び、定期試験による総合評価。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Polite Fictions in Collision., 坂本ナンシー、示洋, 金星堂, 2005 年</p> <p>メッセージ 辞書をしっかりと引いて、予習を十分にしておいて来て下さい。</p> <p>教官連絡先 blakist@ezweb.ne.jp</p>					

開設科目	英語リーディング	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時限	水曜日 5・6 時限
担当教官	谷國 晶洋				
<p>授業概要 現代日本社会における様々な社会問題について書かれたエッセイを題材に、精密な英文読解を行うとともに、各種の練習問題を行って、総合的な英語力の向上に努める。</p> <p>授業一般目標 英文講読を通して読解力を高めるとともに、様々な社会問題に対する問題意識を高めたい。</p> <p>成績評価方法 (総合) 授業への参加度 (出席 2 / 3 以上・発表点) 及び、定期試験による総合評価。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Japan Faces the 21st century., 浅間 正通 他, 英宝社, 2007 年</p> <p>メッセージ 辞書をしっかりと引いて、予習を十分にしておいて来て下さい。</p> <p>教官連絡先 blakist@ezweb.ne.jp</p>					

開設科目	英語リーディング	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時限	水曜日 5・6 時限
担当教官	池園宏				
<p>授業概要 19 世紀イギリス絵画について論じた英文テキストを読む。硬派な論説文の英語に親しむと同時に、イギリス絵画についての理解を深める。</p> <p>授業一般目標 (1) テキストを丹念に音読、解釈することにより、英語のリーディング力を身につける。(2) 英文解釈のために必要な英文法力を身につける。(3) イギリス絵画についての理解を深める。</p> <p>成績評価方法(総合) (1) 試験は学期末に 1 回実施する。(2) 出席が所定の回数に満たない者には単位を与えない。</p> <p>教科書・参考書 教科書: The Narratives in English Paintings, 阿部美春、細川祐子, 開文社, 2007 年 / 参考書: 授業の中で紹介する。</p> <p>メッセージ 辞書を必ず持参すること。毎回出欠確認をするので、欠席や遅刻をしないこと。</p>					

開設科目	英語リーディング	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時限	金曜日 3・4 時限
担当教官	高橋 博美				
<p>授業概要 英米の短編小説を教材として、語彙を豊かにし、英文を正確に読むことを学習する。また、その内容理解を通して、思考力と想像力を養う。</p> <p>授業一般目標 言葉の意味を考え、英文を正確に読むことを目標とする。また、英文読解を通して、文学に親しみ、思考力と想像力を高める。</p> <p>成績評価方法(総合) 期末試験、小テスト、課題、授業態度、出席状況等で総合評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: プリント配布 / 参考書: プリント配布</p> <p>メッセージ 地道で単調な読解演習をします。テキストの翻訳はしません。想像力を働かせながら、「自分で読む」ことが必要となります。予習と発表は必須です。</p> <p>教官連絡先 hiromi.t@c-able.ne.jp</p>					

開設科目	英語リーディング	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時間	金曜日 3・4 時限
担当教官	吉留 文男				
<p>授業概要 現代社会のさまざまな話題を取り上げた英文を読み、多彩な内容（インターネット、小説、サブカルチャー、アメリカの大学入試、遺伝子科学）に関する文化的な背景や媒介としての文体の違いを学ぶ。</p> <p>授業一般目標 英文を正確に理解し、内容に関する背景や作者の意図を読み取る。</p> <p>成績評価方法（総合） 出席・授業への貢献・テストの総合評価。（4回以上欠席の場合、単位は認定しない。）</p> <p>教科書・参考書 教科書：Multiple Voices from around the world, 九頭見一士 他, 朝日出版, 2003 年</p>					

開設科目	英語ライティング	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時間	月曜日 7・8 時限
担当教官	倉増泰弘				
<p>授業概要 英語のライティングで一番肝心なのは「内容」である。まずは自分が伝えたい内容があり、それを英語でどこまで表現できるかということが重要と言える。この授業では、書く用途に合わせた語彙や文法についても学習するが、とにかく自分の思うことを書いてみるということを授業のスタンスとする。様々なテーマで実際に英文を書き、その英文をもとにより良い英文を書くためにはどうすべきかをディスカッションなどを通じて考える。</p> <p>授業一般目標 平易な語彙・文法を用いながら、自分の伝えたいことが英文で書ける。</p> <p>成績評価方法（総合） ・期末テスト・小テスト・授業内外の課題・授業への参加・出席 以上の総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：初回授業時に指示する</p> <p>メッセージ 与えられた課題をきちんとこなし、授業に積極的に参加しましょう。</p> <p>教官連絡先 yasu_kura0707@yahoo.co.jp</p>					

開設科目	英語ライティング	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時限	火曜日 5・6 時限
担当教官	倉増泰弘				
<p>授業概要 英語のライティングで一番肝心なのは「内容」である。まずは自分が伝えたい内容があり、それを英語でどこまで表現できるかということが重要と言える。この授業では、書く用途に合わせた語彙や文法についても学習するが、とにかく自分の思うことを書いてみるということを授業のスタンスとする。様々なテーマで実際に英文を書き、その英文をもとにより良い英文を書くためにはどうすべきかをディスカッションなどを通じて考える。</p> <p>授業一般目標 平易な語彙・文法を用いながら、自分の伝えたいことが英文で書ける。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・期末テスト ・小テスト ・授業内外の課題 ・授業への参加 ・出席 以上の総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書： 初回授業時に指示する。</p> <p>メッセージ 与えられた課題をきちんとこなし、授業に積極的に参加しましょう。</p> <p>教官連絡先 yasu_kura0707@yahoo.co.jp</p>					

開設科目	英語ライティング	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時限	火曜日 9・10 時限
担当教官	Nathaniel Edwards				
<p>授業概要 1) Students will read many different types of English writing as models for their own writing. 2) Useful writing skills and strategies will be reviewed and practiced. 3) Key grammar points will be reviewed and practiced. 4) Students will increase their vocabulary on a variety of topics. 5) Students will learn and use new study techniques. 6) Students will also practice some speaking and listening by discussing their writing in pairs and small groups.</p> <p>授業一般目標 This course is for students who wish to improve their English writing and reading skills, using a variety of different types of writing.</p> <p>成績評価方法 (総合) Final Written Exam: 20 % of Final Grade. Homework and Reports: 60 % Attitude and Participation: 20 %</p> <p>教科書・参考書 教科書： Idea Exchange 2: From Speaking to Writing, Linda Lonon Blanton, Thomson Heinle, 2002 年</p> <p>メッセージ Bring your dictionary and textbook to every class.</p> <p>教官連絡先 canada1@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	英語ライティング	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時限	金曜日 1・2 時限
担当教官	吉留 文男				
<p>授業概要 これまで学んだ英語表現を機能的な視点から見直し、状況に相応しい表現を自由に、正確に運用できることを目指す。授業では基礎的な英作文練習をおこない、口頭練習による発話練習も取り入れる。応用として実際の場面を想定した対話を英訳し、コミュニケーションの場面にふさわしい自然な英語表現を習得とする。</p> <p>授業一般目標 『書く』から『話す』へ転化できる英作文演習</p> <p>成績評価方法(総合) 出席・授業への貢献・テストの総合評価。(4回以上欠席の場合、単位は認定しない。)</p> <p>教科書・参考書 教科書: The Road from Writing to Speaking, 山口、ミルトン、成美堂、2000年</p>					

開設科目	英語ライティング	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時限	金曜日 3・4 時限
担当教官	細木 孝雄				
<p>授業概要 「関心を持てるようなトピック」について、「自分の体験や自分の正直な意見」を盛り込みながら、「英語エッセイの基本的な書き方」を学んでいく。</p> <p>授業一般目標 「むずかしい」「めんどくさい」と敬遠することなく、また誤りを気にしないで、どんどん英文で自己表現をする。</p> <p>成績評価方法(総合) 授業への積極的参加状況、課題提出、試験により総合的に評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: WRITE from YOUR HEART, Megumi Uesugi & Chiharu Nakanishi, SANSHUSHA, 2005年</p> <p>メッセージ 興味のあることについて英語で自由に表現してみよう。和英辞典必携。</p>					

開設科目	英語特別演習	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時限	月曜日 5・6 時限
担当教官	高橋 博美				
<p>授業概要 英字新聞や映画を教材にして、英文読解とリスニングの演習を行う。</p> <p>授業一般目標 新聞や映画で使われている英語を読んだり、聞いたりすることを目標とする。また、内容を理解することによって、様々な事柄についての理解を深め、思考力や想像力を高める。</p> <p>成績評価方法 (総合) 期末試験、小テスト、課題、授業態度、出席状況等で総合評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：プリント配布 / 参考書：プリント配布</p> <p>メッセージ 「Japan Times を短時間に訳をせずに読む」ことを目安にして受講して下さい。たくさんの量を扱いますので、予習は必ずして下さい。</p> <p>教官連絡先 hiromi.t@c-able.ne.jp</p>					

開設科目	英語特別演習	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時限	月曜日 7・8 時限
担当教官	皆尾 麻弥				
<p>授業概要 TOEIC 対策の「速読」「わからないものはとばしてしまえ」流の読み方に飽き足りない人のための演習です。イギリスの児童小説(9-11 歳向け)を、丹念に辞書を使って翻訳していきます。単なる訳読ではなく、出版発表に耐えうるレベルの翻訳文作りを目指します。そうする中で、現代イギリスの社会風俗にも触れていきます。英文は、10 歳くらいの女の子が自分の体験談をしゃべるといいうスタイルで、きびきびと活きのいい文章です。ジョークも一杯詰まっています(英語のジョークを日本語のジョークに翻訳する作業もやりましょう) かなりきつい境遇にへこたれず、ジョークとユーモアでたくましく生きていく少女の姿は、きっと共感を呼ぶでしょう。</p> <p>授業一般目標 大意把握的な速読では培えない、正確な英語読解力を養成する。異文化社会の風俗に関する調査方法を知る。</p> <p>成績評価方法 (総合) 授業区分は名目上「講義」とされているが、実態としてこれは「演習」です。発表順番があたったときの発表内容の出来不出来、それから順番にあたっていないときの積極的な討論や質疑の態度により評価します。前者が70%、後者が30%。無断欠課が5回以上になったら無条件で「不可」評定とします。発表担当にあたっている回の欠課や遅刻は致命的です。</p> <p>教科書・参考書 教科書：Bed and Breakfast Star, Jacqueline Wilson, Corgi Yearling Books, 2006 年</p> <p>メッセージ 英和辞典必携。</p> <p>教官連絡先 初回授業の時に知らせます。</p>					

開設科目	英語特別演習	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時間	火曜日 5・6 時限
担当教官	池園 宏				
<p>授業概要 世界的に有名な私立探偵 Sherlock Holmes を主人公とする映画オリジナル作品 The Woman in Green のシナリオを読む。洗練され、臨場感溢れる台詞を味読したい。作品中に用いられた日常的な会話表現は、受講者の英語コミュニケーション能力を高めるのに役立つであろう。</p> <p>授業一般目標 (1) 作品を丹念に音読、解釈することにより、英語のリーディング力を身につける。(2) 作品中に用いられた日常的な会話表現を学ぶことにより、英語のコミュニケーション能力を身につける。(3) 英文法力や英文解釈力を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) (1) 試験は学期末に 1 回実施する。(2) 出席が所定の回数に満たない者には単位を与えない。</p> <p>教科書・参考書 教科書: The Woman in Green, Heather & Brett Holliday, 開文社, 1993 年 / 参考書: 授業の中で紹介する。</p> <p>メッセージ 辞書を必ず持参すること。毎回出欠確認をするので、欠席や遅刻をしないこと。</p>					

開設科目	英語特別演習	区分	演習	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時間	火曜日 7・8 時限
担当教官	矢野 紀子				
<p>授業概要 新 TOEIC テストへの試験対策を主とする。</p> <p>授業一般目標 リスニングパートとリーディングパートでの、攻略法を会得してゆく。音声と文法をバランスよく学習することで、英語の基礎力を培ってゆく。</p> <p>成績評価方法 (総合) 総合評価とする。出席状況、小テストの合計点、中間テスト、期末テスト、レポート点を対象とする。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Let's Get Started for the TOEIC Test 解法テクニックでわかる新 TOEIC Test 基本 Part 得点術, 足立和美、Rebekah Hamner、Matthew Eng, 松柏社</p> <p>メッセージ 最初の授業から、テキストの内容に入ってゆくの、前もってテキストに目を通し、購入した上で、受講すること。</p>					

系列 外国語教育

分野 英語

科目類型 展開1

開設科目	英語特別演習	区分	演習	開設期	後期
対象学生	医・工2年	単位	2単位	曜時限	火曜日 11・12時限
担当教官	JOHNSONJUDITHANN				
<p>授業概要 This course is for students who have a TOEIC score of 450 or higher.</p> <p>授業一般目標 Students will make academic presentations in English that are informative, organized, and clear.</p> <p>成績評価方法(総合) In-class participation; Individual and group assignments; Oral presentations</p> <p>教科書・参考書 教科書: Materials will be prepared by the teacher.</p> <p>メッセージ Bring your dictionary to EVERY CLASS. Anyone with more than 3 absences WILL NOT pass this course.</p>					

系列 外国語教育

分野 英語

科目類型 展開1

開設科目	英語特別演習	区分	演習	開設期	後期
対象学生		単位	2単位	曜時限	水曜日 3・4時限
担当教官	正宗 聡				
<p>授業概要 まんがを教材にして、英文読解とリスニングの演習を行う。</p> <p>授業一般目標 日常生活で実際に使われている英語を聞いたり、読んだりすることを目指す。また、内容を理解することによって、英語圏の文化の理解を深める。</p> <p>成績評価方法(総合) 期末試験、出席状況等で総合評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: プリント配布 / 参考書: プリント配布</p> <p>メッセージ 予習を必ずして下さい。辞書がなければ作業ができません。</p>					

開設科目	英語特別演習	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時限	水曜日 5・6 時限
担当教官	高橋 博美				
<p>授業概要 Lewis Carroll の Alice's Adventures in Wonderland を英語で読む。なじみのある文学作品をじっくり丁寧に原文で読むことが、総合的な英語使用能力を高めるのに有効であることを実感していただけたと思います。</p> <p>授業一般目標 比較的容易な英語で書かれた文学作品を丁寧に読み、理解することによって、読解力を高める。本講義で扱うテキストの朗読テープを聴くことによって、正しい発音に慣れ、聴き取りの力も高める。</p> <p>成績評価方法 (総合) 授業内でのテキストの音読、日本語訳 = 40 % 試験 = 60 %</p> <p>教科書・参考書 教科書： Alice's Adventures in Wonderland and Through the Looking Glass, Lewis Carroll, Signet Classic; Reissue 版</p>					

開設科目	Comprehensive English Fundamental	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	2 単位	曜時限	月曜日 5・6 時限
担当教官	STEVEN T.GARDNER				
<p>授業概要 This course is for students with a TOEIC score of more than 400. Students with a TOEIC score of more than 450 are allowed to take Comprehensive English Pre-Intermediate courses, but are free to take this course if they wish. 1) Students will increase their English vocabulary through high-interest readings that are grouped thematically. The readings will provide the grammatical basis for improving their listening, speaking, and writing skills. 2) Students will broaden their understanding of the world and their responsibility to society. 3) Students will consider and propose changes that need to be made to eliminate local, national and global problems. 4) Students will also work on and improve their pronunciation through working with a special text designed specifically for Japanese university students.</p> <p>成績評価方法 (総合) Final Evaluation (50 % of total grade): Speaking: 40 %; Listening: 20 %; Writing: 20 %; Content: 10 %; Pronunciation (Sound Approach): 10 %. Internal/External Criteria (50 % of total grade): Group/class work (classroom assignment, on-line quizzes, or activity scores): 35 %; Class Participation: 20 %; Homework (essays/outlines/grammar exercises): 35 %; Attendance: 10 %.</p> <p>教科書・参考書 教科書： Comprehensive English Fundamental B, Johnson & Higgins, MacMillan Language House, 2004 年； The Sound Approach Pronunciation Workbook, Higgins & Shima, International Educational Initiatives, Inc., 2005 年； Comprehensive English Fundamental Course Book A, by Johnson & Higgins Sound Approach Revised Pronunciation Book, by Higgins</p> <p>メッセージ This course also requires students to be on-line for some of their homework and for 4 on-line quizzes.</p> <p>教官連絡先 canada1@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	Comprehensive English Fundamental	区分		講義		開設期		後期	
対象学生		単位	2 単位	曜時限	月曜日 5・6 時限				
担当教官	HIGGINS, MICHAEL								
<p>授業概要 This course is for students with a TOEIC score of more than 400. Students with a TOEIC score of more than 450 are allowed to take Comprehensive English Pre-Intermediate courses, but are free to take this course if they wish.</p> <p>授業一般目標 Students will improve their English communication skills. We will work in small groups and also do individual work. There will always be homework. Some of the homework will be online work, so students are required to sign on to a special class web page. There will also be on-line quizzes that the students must take.</p> <p>成績評価方法 (総合) Final Evaluation (50 % of total grade): Speaking: 40 %; Listening: 20 %; Writing: 20 %; Content: 10 %; Pronunciation (Sound Approach): 10 %. Internal/External Criteria (50 % of total grade): Group/class work (classroom assignment, on-line quizzes, or activity scores): 35 %; Class Participation: 20 %; Homework (essays/outlines/grammar exercises): 35 %; Attendance: 10 %.</p> <p>教科書・参考書 教科書: Sound Approach Revised Pronunciation Book, Higgins, Higgins, Shima, IEI, Inc., 2005 年; Comprehensive English for Global Understanding - Intermediate Book 2, Johnson and Higgins, IEI, Inc., 2007 年 / 参考書: Please try to use an English-English dictionary if you can, but always have a dictionary with you.</p> <p>メッセージ This course also requires students to be on-line for some of their homework and for on-line quizzes.</p> <p>教官連絡先 My office hours are Monday from 2:30 to 4:00.</p>									

開設科目	Comprehensive English Fundamental	区分		講義		開設期		後期	
対象学生		単位	2 単位	曜時限	月曜日 7・8 時限				
担当教官	STEVEN T.GARDNER								
<p>授業概要 This course is for students with a TOEIC score of more than 400. Students with a TOEIC score of more than 450 are allowed to take Comprehensive English Pre-Intermediate courses, but are free to take this course if they wish.</p> <p>授業一般目標 Students will improve their English communication skills and thinking skills. We will work in small groups and also do individual work. There will always be homework. Some of the homework will be online work, so students are required to sign on to a special class web page. There will also be on-line quizzes that the students must take.</p> <p>成績評価方法 (総合) Final Evaluation (50 % of total grade): Speaking: 40 %; Listening: 20 %; Writing: 20 %; Content: 10 %; Pronunciation (Sound Approach): 10 %. Internal/External Criteria (50 % of total grade): Group/class work (classroom assignment, on-line quizzes, or activity scores): 35 %; Class Participation: 20 %; Homework (essays/outlines/grammar exercises): 35 %; Attendance: 10 %.</p> <p>教科書・参考書 教科書: The Sound Approach Pronunciation Workbook, Higgins, Higgins, Shima, I.E.I., Inc., 2005 年; Comprehensive English For Global Understanding-Intermediate Book 2, Johnson and Higgins, I.E.I., Inc., 2007 年 / 参考書: Try to use an English-English dictionary if you can, but always have a dictionary with you.</p> <p>メッセージ This course also requires students to be on-line for some of their homework and for on-line quizzes.</p> <p>教官連絡先 Gardners@mx5.tiki.ne.jp</p>									

開設科目	Comprehensive English Fundamental	区分		講義		開設期		後期	
対象学生	医・工2年	単位	2 単位	曜時限	火曜日 11・12 時限				
担当教官	STEVEN T.GARDNER								
<p>授業概要 This course is for students with a TOEIC score of more than 400. Students with a TOEIC score of more than 450 are allowed to take Comprehensive English Pre-Intermediate courses, but are free to take this course if they wish.</p> <p>成績評価方法 (総合) Final Evaluation (50 % of total grade): Speaking: 40 %; Listening: 20 %; Writing: 20 %; Content: 10 %; Pronunciation (Sound Approach): 10 %. Internal/External Criteria (50 % of total grade): Group/class work (classroom assignment, on-line quizzes, or activity scores): 35 %; Class Participation: 20 %; Homework (essays/outlines/grammar exercises): 35 %; Attendance: 10 %.</p> <p>教科書・参考書 教科書: Comprehensive English For Global Understanding-Intermediate Book 2, Johnson and Higgins, I.E.I., Inc., 2007 年; Sound Approach Pronunciation Workbook-Revised, Higgins, Higgins, Shima, I.E.I., Inc., 2005 年 / 参考書: Try to use an English-English dictionary if you can, but always have a dictionary with you.</p> <p>メッセージ This course also requires students to be on-line for some of their homework and for on-line quizzes.</p> <p>教官連絡先 Gardners@mx5.tiki.ne.jp</p>									

開設科目	Comprehensive English Fundamental	区分		講義		開設期		後期	
対象学生		単位	2 単位	曜時限	水曜日 5・6 時限				
担当教官	STEVEN T.GARDNER								
<p>授業概要 This course is for students with a TOEIC score of more than 400. Students with a TOEIC score of more than 450 are allowed to take Comprehensive English Pre-Intermediate courses, but are free to take this course if they wish.</p> <p>授業一般目標 Students will improve their English communication skills and thinking skills. We will work in small groups and also do individual work. There will always be homework. Some of the homework will be online work, so students are required to sign on to a special class web page. There will also be on-line quizzes that the students must take.</p> <p>成績評価方法 (総合) Final Evaluation (50 % of total grade): Speaking: 40 %; Listening: 20 %; Writing: 20 %; Content: 10 %; Pronunciation (Sound Approach): 10 %. Internal/External Criteria (50 % of total grade): Group/class work (classroom assignment, on-line quizzes, or activity scores): 35 %; Class Participation: 20 %; Homework (essays/outlines/grammar exercises): 35 %; Attendance: 10 %.</p> <p>教科書・参考書 教科書: Comprehensive English For Global Understanding-Intermediate Book 2, Johnson and Higgins, I.E.I., Inc., 2007 年; Sound Approach Pronunciation Workbook-Revised, Higgins, Higgins, Shima, I.E.I., Inc., 2005 年 / 参考書: Try to use an English-English dictionary if you can, but always have a dictionary with you.</p> <p>メッセージ This course also requires students to be on-line for some of their homework and for on-line quizzes.</p> <p>教官連絡先 Gardners@mx5.tiki.ne.jp</p>									

開設科目	Comprehensive English Fundamental	区分		講義		開設期		後期	
対象学生		単位	2 単位	曜時限				水曜日 7・8 時限	
担当教官	尊田望								
<p>授業概要 This course is for students with a TOEIC score of more than 400. Students with a TOEIC score of more than 450 are allowed to take Comprehensive English Pre-Intermediate courses, but are free to take this course if they wish.</p> <p>授業一般目標 Students will improve their English communication skills and thinking skills. We will work in small groups and also do individual work. There will always be homework. Some of the homework will be online work, so students are required to sign on to a special class web page. There will also be on-line quizzes that the students must take.</p> <p>成績評価方法 (総合) Final Evaluation (50 % of total grade): Speaking: 40 %; Listening: 20 %; Writing: 20 %; Content: 10 %; Pronunciation (Sound Approach): 10 %. Internal/External Criteria (50 % of total grade): Group/class work (classroom assignment, on-line quizzes, or activity scores): 35 %; Class Participation: 20 %; Homework (essays/outlines/grammar exercises): 35 %; Attendance: 10 %.</p> <p>教科書・参考書 教科書: Comprehensive English for Global Understanding-Intermediate Book 2, Johnson and Higgins, I.E.I., Inc., 2007 年; Sound Approach Pronunciation Workbook-Revised, Higgins, Higgins, Shima, I.E.I., Inc., 2005 年 / 参考書: Try to use an English-English dictionary if you can, but always have a dictionary with you.</p> <p>メッセージ This course also requires students to be on-line for some of their homework and for on-line quizzes.</p> <p>教官連絡先 TEL (083)932-0038 FAX (083)932-0089 携帯 (090) 4654-8264 個人メール: sonda_nozomu@ybb.ne.jp</p>									

開設科目	Comprehensive English Fundamental	区分		講義		開設期		後期	
対象学生		単位	2 単位	曜時限				木曜日 3・4 時限	
担当教官	HICKS CRAIG ROBERT								
<p>授業概要 This course is for students with a TOEIC score of more than 400. Students with a TOEIC score of more than 450 are allowed to take Comprehensive English Pre-Intermediate courses, but are free to take this course if they wish.</p> <p>授業一般目標 Students will improve their English communication skills and thinking skills. We will work in small groups and also do individual work. There will always be homework. Some of the homework will be online work, so students are required to sign on to a special class web page. There will also be on-line quizzes that the students must take.</p> <p>成績評価方法 (総合) Final Evaluation (50 % of total grade): Speaking: 40 %; Listening: 20 %; Writing: 20 %; Content: 10 %; Pronunciation (Sound Approach): 10 %. Internal/External Criteria (50 % of total grade): Group/class work (classroom assignment, on-line quizzes, or activity scores): 35 %; Class Participation: 20 %; Homework (essays/outlines/grammar exercises): 35 %; Attendance: 10 %.</p> <p>教科書・参考書 教科書: Comprehensive English for Global Understanding-Intermediate Book 2, Johnson and Higgins, I.E.I., Inc., 2007 年; Sound Approach Pronunciation Workbook-Revised, Higgins, Higgins, Shima, I.E.I., Inc., 2005 年 / 参考書: Try to use an English-English dictionary if you can, but always have a dictionary with you.</p> <p>メッセージ This course also requires students to be on-line for some of their homework and for on-line quizzes.</p> <p>教官連絡先 crohi@hotmail.com</p>									

開設科目	Comprehensive English Pre-Intermediate	区分		講義		開設期		後期	
対象学生	医・工2年	単位	2単位	曜時限	火曜日9・10時限				
担当教官	JOHNSONJUDITHANN								
<p>授業概要 This course is open to students with a TOEIC score of over 450 but is especially recommended for students who have a TOEIC score of 500 or higher or who have completed the Comprehensive English Fundamental Course.</p> <p>授業一般目標 Students will improve their English communication skills and thinking skills.</p> <p>教科書・参考書 教科書：Comprehensive English for Global Understanding - Intermediate Book 1, Johnson and Higgins, I.E.I., Inc., 2007年 Sound Approach Revised Pronunciation Book, Higgins, Higgins, Shima, I.E.I., Inc., 2005年 / 参考書：Please try to use an English-English dictionary if you can, but always have a dictionary with you in class.</p> <p>メッセージ This course also requires students to be on-line for some of their homework and for 4 on-line quizzes. You may not be absent more than 3 times.</p> <p>教官連絡先 My office hours are on Wednesday from 14:30 to 16:00.</p>									

開設科目	Comprehensive English Pre-Intermediate	区分		講義		開設期		後期	
対象学生		単位	2単位	曜時限	水曜日3・4時限				
担当教官	Higgins, Michael Leo								
<p>授業概要 This course is open to students with a TOEIC score of over 450 but is especially recommended for students who have a TOEIC score of 500 or higher or who have completed the Comprehensive English Fundamental Course.</p> <p>授業一般目標 To improve the student's English communication skills. We will work in small groups and also do individual work. There will always be homework. Some of the homework will be online work, so students are required to sign on to a special class web page. There will also be on-line quizzes that the students must take.</p> <p>成績評価方法 (総合) Final Evaluation (50 % of total grade): Speaking: 40 %; Listening: 20 %; Writing: 20 %; Content: 10 %; Pronunciation (Sound Approach): 10 %. Internal/External Criteria (50 % of total grade): Group/class work (classroom assignment, on-line quizzes, or activity scores): 35 %; Class Participation: 20 %; Homework (essays/outlines/grammar exercises): 35 %; Attendance: 10 %.</p> <p>教科書・参考書 教科書：Comprehensive English for Global Understanding - Advanced Book 2, Johnson and Higgins, IEI, Inc., 2007年 ; Sound Approach Revised Pronunciation Book, Higgins, Higgins, Shima, IEI, Inc., 2005年 / 参考書：Try to use an English-English dictionary if you can, but always have a dictionary with you</p> <p>メッセージ This course also requires students to be on-line for certain homework assignments and for on-line quizzes.</p> <p>教官連絡先 My office hours are Monday from 2:30 to 4:00</p>									

開設科目	Comprehensive English Pre-Intermediate	区分		講義		開設期		後期	
対象学生		単位	2 単位			曜時限		水曜日 7・8 時限	
担当教官	STEVEN T.GARDNER								
<p>授業概要 This course is open to students with a TOEIC score of over 450 but is especially recommended for students who have a TOEIC score of 500 or higher or who have completed the Comprehensive English Fundamental Course.</p> <p>授業一般目標 Students will improve their English communication skills and thinking skills. We will work in small groups and also do individual work. There will always be homework. Some of the homework will be online work, so students are required to sign on to a special class web page. There will also be on-line quizzes that the students must take.</p> <p>成績評価方法 (総合) Final Evaluation (50 % of total grade): Speaking: 40 %; Listening: 20 %; Writing: 20 %; Content: 10 %; Pronunciation (Sound Approach): 10 %. Internal/External Criteria (50 % of total grade): Group/class work (classroom assignment, on-line quizzes, or activity scores): 35 %; Class Participation: 20 %; Homework (essays/outlines/grammar exercises): 35 %; Attendance: 10 %.</p> <p>教科書・参考書 教科書: Comprehensive English For Global Understanding-Advanced Book 2, Johnson and Higgins, I.E.I., Inc., 2007 年; Sound Approach Pronunciation Workbook-Revised, Higgins, Higgins, Shima, I.E.I., Inc., 2005 年 / 参考書: Try to use and English-English dictionary if you can, but always have a dictionary with you</p> <p>メッセージ This course also requires students to be on-line for certain homework assignments and for on-line quizzes.</p> <p>教官連絡先 Gardners@mx5.tiki.ne.jp</p>									

開設科目	Comprehensive English(By Native Speakers[1])	区分		講義		開設期		後期	
対象学生	全 (平成 14・15 年度入学者)	単位	2 単位			曜時限		月曜日 3・4 時限	
担当教官	Higgins, Michael Leo								
<p>授業概要 This course is for students with a TOEIC score of between 300-395.</p> <p>授業一般目標 To improve the student's English communication skills.</p> <p>成績評価方法 (総合) Final Evaluation (50 % of total grade): Speaking: 40 %; Listening: 20 %; Writing: 20 %; Content: 10 %; Pronunciation (Sound Approach): 10 %. Internal/External Criteria (50 % of total grade): Group/class work (classroom assignment, quizzes, or activity scores): 35 %; Class Participation: 20 %; Homework (essays/outlines/grammar exercises): 35 %; Attendance: 10 %.</p> <p>教科書・参考書 教科書: Comprehensive English For Global Understanding-Fundamental Book 2, Johnson and Higgins, IEI, Inc., 2007 年; Sound Approach Pronunciation Book, Higgins, Higgins, Shima, IEI, Inc., 2005 年 / 参考書: Please try to use and English-English dictionary if you can, but always have a dictionary with you.</p> <p>メッセージ This course also requires students to be on-line for some homework and for on-line quizzes.</p> <p>教官連絡先 My office hours are Monday from 2:30 to 4:00.</p>									

系列 外国語教育

分野 英語

科目類型 包括

開設科目	海外語学研修(英語)	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	4 単位	曜時限	
担当教官	事前研修担当者				
<p>授業概要 約4週間の英語圏(リジャイナ[カナダ]、あるいはニュー・カッスル[オーストラリア])での語学研修プログラム(研修費等は受講者が負担)に参加して、英語コミュニケーション能力の向上を目指す。また同時に、滞在先の人々との交流を通じて、異文化理解を深める。この科目の単位を取得するためには、海外研修出発前に学内での事前研修(7コマ分)を受講しなければならない。(注意!事前研修を受講しなければ、語学研修プログラムに参加しても、単位は認められません。)海外語学研修プログラムは、リジャイナ、ニュー・カッスル共に夏と春に実施される。それぞれ5月頃、10月頃に国際センター主催の説明会が開かれるので、プログラムの詳細はそちらを参照すること。事前研修は語学研修プログラムに合わせて8月上旬、2月上旬に集中講義形式で開講される。詳しい開講時期等の情報は、掲示にて連絡する。</p> <p>授業一般目標 海外(英語圏)での語学研修プログラムで学習することにより、また現地での生活の中で、実践的英語コミュニケーション能力を身に付ける。滞在先の地域文化に触れ、現地の人々との交流を通じて、国際的な視野を広げる。</p> <p>成績評価方法(総合) 事前研修での出席状況、授業態度、英語習熟度と、海外語学研修プログラムでの成績評価を合わせて、総合的に評価する。</p> <p>メッセージ 海外短期語学研修プログラム説明会の案内や、事前研修の開講案内は、掲示等にて行います。履修希望者は注意しておいて下さい。</p> <p>教官連絡先 海外短期語学研修プログラムについては国際センターに問い合わせる。事前研修については共通教育係に問い合わせる。</p> <p>備考 集中授業</p>					

系列 外国語教育

分野 英語

科目類型 包括

開設科目	海外語学研修(英語)	区分	講義	開設期	後期
対象学生	医・工2年	単位	4 単位	曜時限	
担当教官	事前研修担当者				
<p>授業概要 約4週間の英語圏(リジャイナ[カナダ]、あるいはニュー・カッスル[オーストラリア])での語学研修プログラム(研修費等は受講者が負担)に参加して、英語コミュニケーション能力の向上を目指す。また同時に、滞在先の人々との交流を通じて、異文化理解を深める。この科目の単位を取得するためには、海外研修出発前に学内での事前研修(7コマ分)を受講しなければならない。(注意!事前研修を受講しなければ、語学研修プログラムに参加しても、単位は認められません。)海外語学研修プログラムは、リジャイナ、ニュー・カッスル共に夏と春に実施される。それぞれ5月頃、10月頃に国際センター主催の説明会が開かれるので、プログラムの詳細はそちらを参照すること。事前研修は語学研修プログラムに合わせて8月上旬、2月上旬に集中講義形式で開講される。詳しい開講時期等の情報は、掲示にて連絡する。</p> <p>授業一般目標 海外(英語圏)での語学研修プログラムで学習することにより、また現地での生活の中で、実践的英語コミュニケーション能力を身に付ける。滞在先の地域文化に触れ、現地の人々との交流を通じて、国際的な視野を広げる。</p> <p>成績評価方法(総合) 事前研修での出席状況、授業態度、英語習熟度と、海外語学研修プログラムでの成績評価を合わせて、総合的に評価する。</p> <p>メッセージ 海外短期語学研修プログラム説明会の案内や、事前研修の開講案内は、掲示等にて行います。履修希望者は注意しておいて下さい。</p> <p>教官連絡先 海外短期語学研修プログラムについては国際センターに問い合わせる。事前研修については共通教育係に問い合わせる。</p> <p>備考 集中授業</p>					

系列 外国語教育

分野 英語

科目類型 展開2

開設科目	医学英語 1 a	区分	講義	開設期	後期
対象学生	医学 2 年	単位	2 単位	曜時限	月曜日 5・6 時限
担当教官	原田規章				
<p>授業概要 医学・生命科学に関する英文の著書や論文などを読解し、討論して医学の基礎知識を習得し、英語力を高めるとともに最新の医学研究成果を学ぶ。</p> <p>授業一般目標 英文の著書や論文などから基本的な医学用語や生命科学用語を学び医学英語の語彙数、読解力、作文力を高めるとともに、最新の医学情報を得て医学・生命科学に対する知識及び理解を深め、それらの学習した知識を基盤として、さらには会話能力の向上にも繋がり国際感覚を身につけられるような指導を目標とする。</p> <p>成績評価方法 (総合) 小テスト・授業内レポート = 20～40 % 授業態度や授業への参加度 = 20～40 % 受講生の発表 (プレゼン) や授業内での製作用業 (作品) = 20～40 % 出席 = 20～40 % 観点別成績評価法は主な視点を示し、評価割合は上記のそれぞれから適宜合計して成績とする。なお、出席は欠格条件である。</p> <p>教科書・参考書 参考書：医学英和大辞典, 加藤 勝治, 南山堂, 2000 年; Words of Science, ,</p> <p>メッセージ 原則、全回出席のこと。英和辞典・医学英語辞典を持参のこと。継続は力なり、頑張りましょう。英語で話すことを恐れずに、積極的に参加しよう。</p>					

系列 外国語教育

分野 英語

科目類型 展開2

開設科目	医学英語 2	区分	講義	開設期	後期
対象学生	医学 5 年	単位	2 単位	曜時限	月曜日 9・10 時限
担当教官	日野田裕治				

開設科目	基礎医療英会話	区分	講義	開設期	後期
対象学生	看護 (1-40, 編入学者 1-5) 3年	単位	2 単位	曜時限	金曜日 5・6 時限
担当教官	Sue Turale				
<p>授業概要 Professional nurses are expected to be able to respond to the needs of all their patients, and this includes English speaking patients who may enter the Japanese health care system. This class prepares nurses to communicate in simple terms with such people so that care needs are attended to as to reduce confusion and distress for foreigners.</p> <p>授業一般目標 Students will learn to communicate in English, simply and effectively, with English speaking patients, their family members or significant others.</p> <p>成績評価方法 (総合) The Responsibilities of Students: 1. This is an English conversation course, so all students are expected to actively converse in English. 2. Every student is expected to study the weekly lesson reading(s) from the required text and from the CD before each class (see schedule over page). 3. Progressive learning in this course is important, so an emphasis will be placed on weekly quizzes of the previous week 's work to aid student learning. 4. Students are expected to attend all classes: Absences of five (5) or more days will result in automatic Fail Grade (D); Absences of four (4) days or less require emergency or medical reasoning. Grading: A: 80-100 %, B: 70-79 %, C: 60-69 %, and D: Fail Grade Below 60 % If you fail this course the decision to give one compensatory examination rests with the Professor teaching the course. It is not automatic that a compensatory examination is given. Students will be Assessed by: Verbal and written quizzes x 10 40 % Role plays x 2 20 % Final Exam 40 %</p> <p>教科書・参考書 教科書: Christine 's Easy English Conversation for Nurses by Christine Lee Chinen (2004 Edition) which has 12 Units of study, and an accompanying CD. / 参考書: English-Japanese /Japanese-English dictionary, either book or electronic translator.</p> <p>教官連絡先 E-mail address: sturale@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

開設科目	基礎医療英会話	区分	講義	開設期	後期
対象学生	看護 (41-, 編入学者 6-) 3年	単位	2 単位	曜時限	金曜日 5・6 時限
担当教官	Amy Azuma				
<p>授業概要 Students will develop skills to communicate simply and effectively with non-Japanese speaking patients and family members.</p> <p>授業一般目標 At the end of the course, the student will be able to: I. Carry on a simple conversation in English, in pairs or small groups, about a health care/nursing practice issue II. Correctly define, spell and pronounce English terms relating to nursing and health care practice. III. Understand and translate verbal English words and phrases.</p> <p>成績評価方法 (総合) Written assignments 25 % Role Play performance 25 % Participation in class exercises/activities 30 % Final exam 20 %</p> <p>教科書・参考書 教科書: クリスティーンのやさしい看護英会話, 知念クリスティーン他, 医学書院 / 参考書: Any good, comprehensive, portable English-Japanese-English dictionary 辞書, paper or electronic.</p> <p>メッセージ Student responsibilities: 1- Since this is a course in English conversation, it is expected that students will converse, in English. Active verbal participation in the classroom is essential. 2- Brief written assignments are to be turned in by the end of class the following week. They must be legible and use correct grammar and spelling. 3- Students are expected to read the weekly lesson prior to the beginning of class each week. 抜き打ち テスト may be given at any time.</p> <p>教官連絡先 tana@yic.ac.jp</p>					

開設科目	医療英会話	区分	講義	開設期	後期
対象学生	看護・検査3, 4年	単位	2単位	曜時限	木曜日 1・2時限
担当教官	Amy Azuma				
<p>授業概要 Students will learn to communicate in English simply and affectively with non-Japanese patients and their family members</p> <p>授業一般目標 The student will be able to: 1. Converse in English, in pairs or groups, about a health care/nursing practice issue. 2. Correctly define, spell, and pronounce English terms relating to nursing and health care issue. 3. Understand and translate English words and phrases.</p> <p>成績評価方法 (総合) 1. Ask question right away when you don't understand something, maybe a good half of your classmates don't understand it also. 2. This is an English conversation class, students must converse in English actively. 3. Students are required to turn in their original written assignments at the beginning of each class. All assignments must be legible and use correct grammar and spelling. Late works result in zero point Weekly Homework and Do It Yourself. 4. Students are required to read the weekly unit and do the weekly homework before each sessions. 5. 5 absences result in an automatic Fail (D) grade, 4 absences required medical / emergency excuses. Weekly Homework and Do It Yourself (5 points x 10 = 50 points) 25 % Translations of medical history forms(10 points x 2 = 20 points) 10 % Role play (10 points) 5 % midterm (40 points) 20 % Final exam (80 points) 40 % (観点別) Method for evaluating results (classified by specific points)</p> <p>教科書・参考書 教科書: Christine's Level-Up English Conversation for Nurses text and CD, Christine's Level-Up English Conversation for Nurses text and CD by Christine Lee Chinen,</p>					

後期 - 外国語教育系列（初習外国語）

開設科目	ドイツ語入門2	区分	講義	開設期	後期
対象学生	教・理・医・工・農	単位	2 単位	曜時限	月曜日 5・6 時限
担当教官	重竹 芳江				
<p>授業概要 前期に引き続き、ドイツ語の学習を行う。詳細は前期のシラバスを参照。</p> <p>授業一般目標 基本的な文法項目と日常表現に習熟することが第一の目標である。またドイツ社会一般に関する理解を深め、旅行、留学など実際にドイツに触れる意欲を高めることも目標とする。</p> <p>教科書・参考書 教科書：新・問いかけるドイツ語, 大谷 弘道, 三修社, 2006 年 / 参考書：新アポロン独和辞典, 根本、恒吉他, 同学社, 2000 年</p> <p>メッセージ 前期受講者を受講資格とします。</p>					

開設科目	ドイツ語入門2	区分	講義	開設期	後期
対象学生	教・理・医・工・農	単位	2 単位	曜時限	月曜日 5・6 時限
担当教官	坂本貴志				
<p>授業概要 前期のドイツ語入門1から継続して、ドイツ語の最も基本的な文法と語彙を学び、併せてごく初歩的なドイツ語実用能力の訓練を行う。</p> <p>授業一般目標 ドイツ語の最も基本的な文法と語彙を身につけ、そしてそれらの基礎の上に、ごく初歩的なドイツ語を聞き、話し、読み、書けるようにする。</p> <p>成績評価方法(総合) 小テスト、課題(宿題)、期末テストの点数により評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：授業開始時に指示する。 / 参考書：独和辞典は必ず一冊購入してください。(出版社は指定しません。電子辞書は不可。)</p> <p>メッセージ 教育テレビや教育ラジオのドイツ語講座も録画、録音して利用することをお勧めします。(語学学習は反復して聞くことが大変重要です。)</p>					

開設科目	ドイツ語入門2	区分	講義	開設期	後期
対象学生	教・理・医・工・農	単位	2 単位	曜時限	月曜日 7・8 時限
担当教官	重竹 芳江				
<p>授業概要 前期に引き続き、ドイツ語の学習を行う。詳細は前期のシラバスを参照。</p> <p>授業一般目標 基本的な文法項目と日常表現に習熟することが第一の目標である。またドイツ社会一般に関する理解を深め、旅行、留学など実際にドイツに触れる意欲を高めることも目標とする。</p> <p>成績評価方法 (総合) 授業毎の小テスト (80%)、期末試験 (20%)</p> <p>教科書・参考書 教科書：新・問いかけるドイツ語, 大谷 弘道, 三修社, 2006 年 / 参考書：新アポロン独和辞典, 根本、恒吉他, 同学社, 2000 年</p> <p>メッセージ 前期受講者を受講資格とします。</p>					

開設科目	ドイツ語入門2	区分	講義	開設期	後期
対象学生	教・理・医・工・農	単位	2 単位	曜時限	月曜日 7・8 時限
担当教官	坂本貴志				
<p>授業概要 前期のドイツ語入門1から継続して、ドイツ語の最も基本的な文法と語彙を学び、併せてごく初歩的なドイツ語実用能力の訓練を行う。</p> <p>授業一般目標 ドイツ語の最も基本的な文法と語彙を身につけ、そしてそれらの基礎の上に、ごく初歩的なドイツ語を聞き、話し、読み、書けるようにする。</p> <p>成績評価方法 (総合) 小テスト、課題 (宿題)、期末テストの点数により評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：授業開始時に指示する。 / 参考書：独和辞典は必ず一冊購入してください。(出版社は指定しません。電子辞書は不可。)</p> <p>メッセージ 教育テレビや教育ラジオのドイツ語講座も録画、録音して利用することをお勧めします。(語学学習は反復して聞くことが大変重要です。)</p>					

開設科目	ドイツ語入門2	区分	講義	開設期	後期
対象学生	教・理・医・工・農	単位	2 単位	曜時限	火曜日 5・6 時限
担当教官	Dobra Felicitas				
<p>授業概要 本授業は、まず第一に基礎的なコミュニケーション能力を身につけさせることを目的とする。文型が提示される。これらの文型は、学生によって練習され、学生の生活に関連する 文例によって補強される。教科書の文章は、ドイツ事情を伝える内容である。各課の終わりに、日本語による文法の説明がある。</p> <p>授業一般目標 学生は提示された文型に従って、簡単な会話を行える程度の知識を習得することができる。話すことと発音練習がこの授業の重点である。文法は授業の目的ではないが、目標に到達するために通らねばならぬ道である。したがって、各課の文法も教授され、習得されたかどうか吟味される。文法は、コミュニケーションに有意義な練習を通じて伝えられる。学生は教科書の中に描写されたいくつかのシチュエーションによって、文化間の相違を確認することができる。</p> <p>教科書・参考書 教科書： Szenen integriert 1, Shuko Sato/ Kyoko Shimoda/Heike Papenthin/Gesa Oldehaver, Sanshusha, 2006 年; CD 付き スェネン 1 場面で学ぶドイツ語 Szenen integriert 1 佐藤修子 / 伊藤佑紀子 東京: 三修社, 2006 年. ISBN4-384-12244-6 C1084 2.900 円 ISBN4-384-12223-3 C1084 ¥2900E / 参考書: 授業中に紹介します。</p> <p>教官連絡先 授業のあといつでもいいです / dobra@yamaguchi-u.ac.jp 山口吉田研究室: 金曜日 12:30 ~ 14:00</p>					

開設科目	ドイツ語入門2	区分	講義	開設期	後期
対象学生	教・理・医・工・農	単位	2 単位	曜時限	火曜日 5・6 時限
担当教官	能木敬次				
<p>授業概要 前期概要の記述内容を参照してもらいたい。「読み」「書き」の練習を繰り返すことによって会話力・読解力の自然な獲得につなげる。また、テキスト・資料プリントを通してドイツのみならずヨーロッパの文化・思想・文学を紹介する。小テストを四・五回行って 知識の定着を確認する。</p> <p>授業一般目標 近年、ドイツの世界経済・政治における役割の増大には目をみはるものがある。工業技術 や医療技術、また福祉政策や環境政策においてドイツは世界をリードしている。近代日本 の政治・教育文化・科学技術の発展におけるドイツの貢献度の大きさは言うまでもない。本講義はドイツ語文を「読む」ための第一段階の知識を提供する。将来、英語とともに第二の情報収集手段として、また研究の為にドイツ語文献の読解に役立ててほしい。</p> <p>成績評価方法 (総合) 1) 受講態度 2) 出席 3) 小テスト 4) 定期テスト 全てを考慮する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 『ドイツ語 ブラウヴォ!』(Deutsch Bravo!), 小野寿美子 [ほか], 朝日出版社, 2007 年 / 参考書: 新アポロン独和辞典 (第 4 版), 根本道也 [ほか] 編集執筆, 同学社, 2003 年; 辞書は他のものでも構わないが必携のこと。</p>					

開設科目	ドイツ語入門2	区分	講義	開設期	後期
対象学生	教・理・医・工・農	単位	2 単位	曜時限	火曜日 7・8 時限
担当教官	能木敬次				
<p>授業概要 前期概要の記述内容を参照してもらいたい。「読み」「書き」の練習を繰り返すことによって会話力・読解力の自然な獲得につなげる。また、テキスト・資料プリントを通してドイツのみならずヨーロッパの文化・思想・文学を紹介する。小テストを四・五回行って知識の定着を確認する。</p> <p>授業一般目標 近年、ドイツの世界経済・政治における役割の増大には目をみはるものがある。工業技術や医療技術、また福祉政策や環境政策においてドイツは世界をリードしている。近代日本の政治・教育文化・科学技術の発展におけるドイツの貢献度の大きさは言うまでもない。本講義はドイツ語文を「読む」ための第一段階の知識を提供する。将来、英語とともに第二の情報収集手段として、また研究の為にドイツ語文献の読解に役立ててほしい。</p> <p>成績評価方法(総合) 受講態度・出席率・小テスト・定期テスト等全てを考慮に入れる。</p> <p>教科書・参考書 教科書：『ようこそベルリンへ!』(Herzlich willkommen in Berlin!), 入谷幸江[ほか], 同学社, 2007年 / 参考書：新アポロン独和辞典(第4版), 根本道也[ほか] 編集執筆, 同学社, 2003年; 辞書は他のものでも構わないが必携のこと。</p>					

開設科目	ドイツ語入門2	区分	講義	開設期	後期
対象学生	教・理・医・工・農	単位	2 単位	曜時限	水曜日 5・6 時限
担当教官	野口達人				
<p>授業概要 本授業では、ドイツ語を話し、聴き、読み、書く技能の育成を通じ、基礎的なコミュニケーション力を養成する。そのために、基本的な文法事項を説明し、実際の会話の練習、パートナー練習、聴き取り練習、学習した文法事項についての練習、読解練習などを課す。</p> <p>授業一般目標 分離動詞、話法の助動詞、現在完了、受動文などを習得することにより、ドイツ語の文構造の基本を理解する。さらに基本単語・表現を覚えて、簡単なドイツ語を話したり、聴いたりすることができ、簡単な文を読み、書くことができるようになる。</p> <p>成績評価方法(総合) (1)各課の練習問題を口頭または板書にて行い、これを演習として評価。(2)授業の中で各課ごとの小テストを行う。(3)筆記試験を定期試験期間中に行う。以上を下記の観点・割合で評価する。なお、総授業数の80%以上の出席を必須要件とする。</p> <p>教科書・参考書 教科書：アプファールト スキットで学ぶドイツ語, 飯田道子、江口直光, 三修社, 2007年 メッセージ 授業への積極的な参加と自主的な反復練習が要求される。授業には必ず独和辞典を携行すること。</p>					

開設科目	ドイツ語入門2	区分	講義	開設期	後期
対象学生	教・理・医・工・農	単位	2 単位	曜時間	水曜日 5・6 時限
担当教官	Dobra Felicitas				
<p>授業概要 ドイツ語の初級文法の習得をめざす。文法を中心とした練習問題をこなすとともに、発音、聞き取り、話すこと、語彙力、作文力、読解力をつける。CD を活用し、パートナー練習を加えて、簡単な会話に挑戦する。</p> <p>授業一般目標 ドイツ語の初級文法を学習する。初歩的なドイツ語読解力を身につける。ドイツ語圏の文化についても知識を深める。</p> <p>成績評価方法 (総合) 出席、中間試験、定期試験によって、評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: Ich werd' dir helfen! 初級ドイツ語ギンタ - と仲間たち, Yasuo Takenaga; Christian Boldt; Gisela Doi, Ikubundo, 2007 年; CD 初級ドイツ語ギンタ - と仲間たち 竹中康雄 / 土井ギ - ゼラ / 東京: 郁文堂、2 0 0 7 ISBN 978-4-261-01222-4 C1084 円 2.500</p> <p>メッセージ ドイツ語勉強を楽しんで。</p> <p>教官連絡先 メール: dobra@yamaguchi-u.ac.jp 山口吉田研究室 OFFICE HOUR: 金曜日 1 0 : 2 0 ~ 1 1 : 5 0</p>					

開設科目	ドイツ語入門2	区分	講義	開設期	後期
対象学生	教・理・医・工・農	単位	2 単位	曜時間	水曜日 7・8 時限
担当教官	野口達人				
<p>授業概要 本授業では、ドイツ語を話し、聴き、読み、書く技能の育成を通じ、基礎的なコミュニケーション力を養成する。そのために、基本的な文法事項を説明し、実際の会話の練習、パートナー練習、聞き取り練習、学習した文法事項についての練習、読解練習などを課す。</p> <p>授業一般目標 分離動詞、話法の助動詞、現在完了、受動文などを習得することにより、ドイツ語の文構造の基本を理解する。さらに基本単語・表現を覚えて、簡単なドイツ語を話したり、聴いたりすることができ、簡単な文を読み、書くことができるようになる。</p> <p>成績評価方法 (総合) (1) 各課の練習問題を口頭または板書にて行い、これを演習として評価。(2) 授業の中で各課ごとの小テストを行う。(3) 筆記試験を定期試験期間中に行う。以上を下記の観点・割合で評価する。なお、総授業数の 8 0 % 以上の出席を必須要件とする。</p> <p>教科書・参考書 教科書: アプファールト スキットで学ぶドイツ語, 飯田道子、江口直光, 三修社, 2007 年</p> <p>メッセージ 授業への積極的な参加と自主的な反復練習が要求される。授業には必ず独和辞典を携行すること。</p>					

開設科目	ドイツ語入門2	区分	講義	開設期	後期
対象学生	工2年	単位	2単位	曜時間	木曜日 5・6時限
担当教官	江波 昌子				
<p>授業概要 前期に引き続き、この授業では、基礎的なドイツ語を読み、書き、話し、聞く力を養う。そのために、基礎的な文法事項を説明する。また、くり返しドイツ語を聞いて、発音やイントネーション、言葉のリズムを身につけ、基本的な表現を覚えて実際に使えるように、練習問題や暗唱など様々な課題を与える。</p> <p>授業一般目標 前期に引き続き、ドイツ語の発音の基本を習得する。分離動詞、助動詞等の品詞の理解を通して、ドイツ語文法の基礎構造を認識する。また、いろいろなフレーズを覚えて、簡単な日常会話が表現できると同時に、平易なドイツ語を聞き取れるようになる。</p> <p>成績評価方法 (総合) 1.出席と小テストを含めた平常点を50%とし、定期試験の50%と合わせて評価する。2.宿題は授業中に成果を発表することで、平常点として評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：ドイツ語インフォメーション, 秋田静男ほか, 朝日出版社, 2005年 / 参考書：「自分にとって使いやすいぞうだ」と思う独和辞典を用意すること。出版社は特に指定しない。</p> <p>メッセージ 語学を学ぶということは、新しい世界を知ることです。楽しく学習しましょう。辞書は毎回、必ず持参して下さい。</p>					

開設科目	ドイツ語入門2	区分	講義	開設期	後期
対象学生	教・理・医・工・農	単位	2単位	曜時間	金曜日 1・2時限
担当教官	Watanabe-Berger Angelika				
<p>授業概要 英語を話せて当たり前の時代になりました。この授業ではヨーロッパで2番目に大きい国ドイツの言葉や文化をABCから学び、日本以外の国に関心を持って、色々なメディアを通じて”ドイツ”を体験し、身近に感じてもらうのが狙いです。</p> <p>授業一般目標 ドイツ語の基礎文法を理解し、簡単な日常会話を練習して、外国語で話すことへの抵抗を減らし、最終的にドイツ語初級の読み書き、聞き取り、話すことができるようになります。</p> <p>教科書・参考書 教科書：Keikos praktikum in M・nchen, 矢羽々崇著, 朝日出版社, 2003年; ドイツ語一年生・ケイコのミュンヘン(2500円+税) / 参考書：色々な問題や分王説明をプリント等で配布</p> <p>メッセージ 毎回ドイツへ行った気分で、恥ずかしがらずに会話や歌、ロールプレイ etc. に挑戦しましょう。</p> <p>教官連絡先 E-mail: palette@c-able.ne.jp</p>					

開設科目	ドイツ語入門2	区分	講義	開設期	後期
対象学生	教・理・医・工・農	単位	2 単位	曜時間	金曜日 3・4 時限
担当教官	Watanabe-Berger Angelika				
<p>授業概要 英語を話せて当たり前の時代になりました。この授業ではヨーロッパで2番目に大きい国ドイツの言葉や文化をABCから学び、日本以外の国に関心を持って、色々なメディアを通じて”ドイツ”を体験し、身近に感じてもらうのが狙いです。</p> <p>授業一般目標 ドイツ語の基礎文法を理解し、簡単な日常会話を練習して、外国語で話すことへの抵抗を減らし、最終的にドイツ語初級の読み書き、聞き取り、話すことができるようになります。</p> <p>教科書・参考書 教科書：Keikos praktikum in M・nchen, 矢羽々崇著, 朝日出版社, 2003年；ドイツ語一年生・ケイコのミュンヘン(2500円+税) / 参考書：色々な問題や文法説明をプリント等で配布</p> <p>メッセージ 毎回ドイツへ行った気分で、恥ずかしがらずに会話や歌、ロールプレイ etc. に挑戦しましょう。</p> <p>教官連絡先 E-mail: palette@c-able.ne.jp</p>					

開設科目	フランス語入門2	区分	講義	開設期	後期
対象学生	教・理・医・工・農	単位	2 単位	曜時間	火曜日 1・2 時限
担当教官	Emde Angelika				
<p>授業概要 このコースではフランス語の根本的な構造を理解し、自力で簡単な文書を作り、日常的な会話をこなせることがねらいです。入門2のコースは、入門1に基づいていることに注意してください。</p> <p>授業一般目標 様々なコミュニケーションの場面に応じて、基本的なパターンを練習します。必要な文法を説明し、多くの例を応用しながら、身に付けます。語彙はそれぞれの分野に合わせて導入し、段階的に増やします。聞く力や発音を特に鍛えます。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験(中間・期末試験) 50%、小テスト・授業内レポート 20%、宿題・授業外レポート 20%、授業態度・授業への参加態度 10%</p> <p>教科書・参考書 教科書：教材のプリントを授業で配付します。</p>					

系列 外国語教育

分野 初習外国語入門

科目類型 総説

開設科目	フランス語入門2	区分	講義	開設期	後期
対象学生	教・理・医・工・農	単位	2 単位	曜時限	木曜日 7・8 時限
担当教官	ボシィール ジャン・クロード				
<p>授業概要 この授業では、会話を取り入れながらフランス語の基本的な文法事項を学習します。毎回授業の終わりには「フランス雑学コーナー」を設けてシャンソン、漫画、フランス映画等を紹介します。授業は主に日本語で行います。</p> <p>授業一般目標 簡単な挨拶から徐々に基礎フランス語を習得し会話を中心に総合的なレベルアップを目指します。</p> <p>成績評価方法 (総合) 授業の出席状況、授業態度、試験の成績で総合的に評価します。</p> <p>教科書・参考書 教科書：SALUT, YASUKO TANABE その他, SURUGADAI</p>					

系列 外国語教育

分野 初習外国語入門

科目類型 総説

開設科目	中国語入門2	区分	講義	開設期	後期
対象学生	教・理・医・工・農	単位	2 単位	曜時限	月曜日 7・8 時限
担当教官	苞山武義				
<p>授業概要 前期の同名称、同曜日時限、同一担当教員の授業の続きである。前期に引き続き同じテキストを用いて、表現、文型の学習を積み重ね、中国語の運用能力を高めていく。</p> <p>授業一般目標 中国語の基本的な表現を理解し、簡単な日常生活会話を習得する。あわせて中国に関する基本的知識の理解を進める。</p> <p>成績評価方法 (総合) 定期試験の成績：70 % 小テスト・授業内レポート：20 % 授業態度・授業への参加度：10 % 出席が 2/3 に満たない者は、定期試験を受けられない</p> <p>教科書・参考書 教科書：スリム版 表現する中国語、楊凱栄・張麗群、白帝社、2005 年</p>					

開設科目	中国語入門2	区分	講義	開設期	後期
対象学生	教・理・医・工・農	単位	2 単位	曜時限	月曜日 7・8 時限
担当教官	李海英				
<p>授業概要 前期の同名称、同曜日時限、同一担当教員の授業の続きである。前期に引き続き同じテキストを用いて、表現、文型の学習を積み重ね、中国語の運用能力を高めていく。</p> <p>授業一般目標 中国語の基本的な表現を理解し、簡単な日常生活会話を習得する。あわせて中国に関する基本的知識の理解を進める。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験の成績：70% 小テスト・授業内レポート：20% 授業態度・授業への参加度：10% 出席が2/3に満たない者は、定期試験を受けられない</p> <p>教科書・参考書 教科書：スリム版 表現する中国語、楊凱栄・張麗群、白帝社、2005年</p>					

開設科目	中国語入門2	区分	講義	開設期	後期
対象学生	教・理・医・工・農	単位	2 単位	曜時限	月曜日 9・10 時限
担当教官	苞山武義				
<p>授業概要 前期の同名称、同曜日時限、同一担当教員の授業の続きである。前期に引き続き同じテキストを用いて、表現、文型の学習を積み重ね、中国語の運用能力を高めていく。</p> <p>授業一般目標 中国語の基本的な表現を理解し、簡単な日常生活会話を習得する。あわせて中国に関する基本的知識の理解を進める。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験の成績：70% 小テスト・授業内レポート：20% 授業態度・授業への参加度：10% 出席が2/3に満たない者は、定期試験を受けられない</p> <p>教科書・参考書 教科書：スリム版 表現する中国語、楊凱栄・張麗群、白帝社、2005年</p>					

開設科目	中国語入門2	区分	講義	開設期	後期
対象学生	教・理・医・工・農	単位	2 単位	曜時限	火曜日 3・4 時限
担当教官	梁蕾				
<p>授業概要 前期の同名称、同曜日時限、同一担当教員の授業の続きである。前期に引き続き同じテキストを用いて、表現、文型の学習を積み重ね、中国語の運用能力を高めていく。</p> <p>授業一般目標 中国語の基本的な表現を理解し、簡単な日常生活会話を習得する。あわせて中国に関する基本的知識の理解を進める。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験の成績:70% 小テスト・授業内レポート:20% 授業態度・授業への参加度:10% 出席が2/3に満たない者は、定期試験を受けられない</p> <p>教科書・参考書 教科書: スリム版 表現する中国語, 楊凱栄・張麗群, 白帝社, 2005 年</p>					

開設科目	中国語入門2	区分	講義	開設期	後期
対象学生	教・理・医・工・農	単位	2 単位	曜時限	水曜日 3・4 時限
担当教官	宇芳				
<p>授業概要 前期の同名称、同曜日時限、同一担当教員の授業の続きである。前期に引き続き同じテキストを用いて、表現、文型の学習を積み重ね、中国語の運用能力を高めていく。</p> <p>授業一般目標 中国語の基本的な表現を理解し、簡単な日常生活会話を習得する。あわせて中国に関する基本的知識の理解を進める。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験の成績:70% 小テスト・授業内レポート:20% 授業態度・授業への参加度:10% 出席が2/3に満たない者は、定期試験を受けられない</p> <p>教科書・参考書 教科書: スリム版 表現する中国語, 楊凱栄・張麗群, 白帝社, 2005 年</p>					

開設科目	中国語入門2	区分	講義	開設期	後期
対象学生	教・理・医・工・農	単位	2 単位	曜時限	水曜日 5・6 時限
担当教官	宇芳				
<p>授業概要 前期の同名称、同曜日時限、同一担当教員の授業の続きである。前期に引き続き同じテキストを用いて、表現、文型の学習を積み重ね、中国語の運用能力を高めていく。</p> <p>授業一般目標 中国語の基本的な表現を理解し、簡単な日常生活会話を習得する。あわせて中国に関する基本的知識の理解を進める。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験の成績：70% 小テスト・授業内レポート：20% 授業態度・授業への参加度：10% 出席が2/3に満たない者は、定期試験を受けられない</p> <p>教科書・参考書 教科書：スリム版 表現する中国語、楊凱栄・張麗群、白帝社、2005年</p>					

開設科目	中国語入門2	区分	講義	開設期	後期
対象学生	数・理・医・工・農	単位	2 単位	曜時限	水曜日 5・6 時限
担当教官	呉菲				
<p>授業概要 前期の同名称、同曜日時限、同一担当教員の授業の続きである。前期に引き続き同じテキストを用いて、表現、文型の学習を積み重ね、中国語の運用能力を高めていく。</p> <p>授業一般目標 中国語の基本的な表現を理解し、簡単な日常生活会話を習得する。あわせて中国に関する基本的知識の理解を進める。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験の成績：70% 小テスト・授業内レポート：20% 授業態度・授業への参加度：10% 出席が2/3に満たない者は、定期試験を受けられない</p> <p>教科書・参考書 教科書：スリム版 表現する中国語、楊凱栄・張麗群、白帝社、2005年</p>					

開設科目	中国語入門2	区分	講義	開設期	後期
対象学生	教・理・医・工・農	単位	2 単位	曜時限	水曜日 7・8 時限
担当教官	李海英				
<p>授業概要 前期の同名称、同曜日時限、同一担当教員の授業の続きである。前期に引き続き同じテキストを用いて、表現、文型の学習を積み重ね、中国語の運用能力を高めていく。</p> <p>授業一般目標 中国語の基本的な表現を理解し、簡単な日常生活会話を習得する。あわせて中国に関する基本的知識の理解を進める。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験の成績：70% 小テスト・授業内レポート：20% 授業態度・授業への参加度：10% 出席が2/3に満たない者は、定期試験を受けられない</p> <p>教科書・参考書 教科書：スリム版 表現する中国語、楊凱栄・張麗群、白帝社、2005年</p>					

開設科目	中国語入門2	区分	講義	開設期	後期
対象学生	教・理・医・工・農	単位	2 単位	曜時限	水曜日 9・10 時限
担当教官	永富健史				
<p>授業概要 前期の同名称、同曜日時限、同一担当教員の授業の続きである。前期に引き続き同じテキストを用いて、表現、文型の学習を積み重ね、中国語の運用能力を高めていく。</p> <p>授業一般目標 中国語の基本的な表現を理解し、簡単な日常生活会話を習得する。あわせて中国に関する基本的知識の理解を進める。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験の成績：70% 小テスト・授業内レポート：20% 授業態度・授業への参加度：10% 出席が2/3に満たない者は、定期試験を受けられない</p> <p>教科書・参考書 教科書：スリム版 表現する中国語、楊凱栄・張麗群、白帝社、2005年</p>					

開設科目	中国語入門2	区分	講義	開設期	後期
対象学生	医・工2年	単位	2単位	曜時限	木曜日5・6時限
担当教官	李海英				
<p>授業概要 前期の同名称、同曜日時限、同一担当教員の授業の続きである。前期に引き続き同じテキストを用いて、表現、文型の学習を積み重ね、中国語の運用能力を高めていく。</p> <p>授業一般目標 中国語の基本的な表現を理解し、簡単な日常生活会話を習得する。あわせて中国に関する基本的知識の理解を進める。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験の成績:70% 小テスト・授業内レポート:20% 授業態度・授業への参加度:10% 出席が2/3に満たない者は、定期試験を受けられない</p> <p>教科書・参考書 教科書: スリム版 表現する中国語, 楊凱栄・張麗群, 白帝社, 2005年</p>					

開設科目	中国語入門2	区分	講義	開設期	後期
対象学生	教・理・医・工・農	単位	2単位	曜時限	木曜日7・8時限
担当教官	杉本知栄子				
<p>授業概要 前期の同名称、同曜日時限、同一担当教員の授業の続きである。前期に引き続き同じテキストを用いて、表現、文型の学習を積み重ね、中国語の運用能力を高めていく。</p> <p>授業一般目標 中国語の基本的な表現を理解し、簡単な日常生活会話を習得する。あわせて中国に関する基本的知識の理解を進める。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験の成績:70% 小テスト・授業内レポート:20% 授業態度・授業への参加度:10% 出席が2/3に満たない者は、定期試験を受けられない</p> <p>教科書・参考書 教科書: スリム版 表現する中国語, 楊凱栄・張麗群, 白帝社, 2005年</p>					

開設科目	中国語入門2	区分	講義	開設期	後期
対象学生	教・理・医・工・農	単位	2 単位	曜時限	木曜日 9・10 時限
担当教官	秋山淳				
<p>授業概要 前期の同名称、同曜日時限、同一担当教員の授業の続きである。前期に引き続き同じテキストを用いて、表現、文型の学習を積み重ね、中国語の運用能力を高めていく。</p> <p>授業一般目標 中国語の基本的な表現を理解し、簡単な日常生活会話を習得する。あわせて中国に関する基本的知識の理解を進める。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験の成績：70% 小テスト・授業内レポート：20% 授業態度・授業への参加度：10% 出席が2/3に満たない者は、定期試験を受けられない</p> <p>教科書・参考書 教科書：スリム版 表現する中国語、楊凱栄・張麗群、白帝社、2005年</p>					

開設科目	中国語入門2	区分	講義	開設期	後期
対象学生	教・理・医・工・農	単位	2 単位	曜時限	金曜日 9・10 時限
担当教官	苞山武義				
<p>授業概要 前期の同名称、同曜日時限、同一担当教員の授業の続きである。前期に引き続き同じテキストを用いて、表現、文型の学習を積み重ね、中国語の運用能力を高めていく。</p> <p>授業一般目標 中国語の基本的な表現を理解し、簡単な日常生活会話を習得する。あわせて中国に関する基本的知識の理解を進める。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験の成績：70% 小テスト・授業内レポート：20% 授業態度・授業への参加度：10% 出席が2/3に満たない者は、定期試験を受けられない</p> <p>教科書・参考書 教科書：スリム版 表現する中国語、楊凱栄・張麗群、白帝社、2005年</p>					

開設科目	中国語入門2	区分	講義	開設期	後期
対象学生	教・理・医・工・農	単位	2 単位	曜時限	金曜日 9・10 時限
担当教官	張玲				
<p>授業概要 前期の同名称、同曜日時限、同一担当教員の授業の続きである。前期に引き続き同じテキストを用いて、表現、文型の学習を積み重ね、中国語の運用能力を高めていく。</p> <p>授業一般目標 中国語の基本的な表現を理解し、簡単な日常生活会話を習得する。あわせて中国に関する基本的知識の理解を進める。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験の成績:70% 小テスト・授業内レポート:20% 授業態度・授業への参加度:10% 出席が2/3に満たない者は、定期試験を受けられない</p> <p>教科書・参考書 教科書: スリム版 表現する中国語, 楊凱米・張麗群, 白帝社, 2005 年</p>					

開設科目	ハングル入門2	区分	講義	開設期	後期
対象学生	教・理・医・工・農	単位	2 単位	曜時限	水曜日 1・2 時限
担当教官	和田学				
<p>授業概要 前期の内容に基づき、多様な表現を学び、簡単な文章の読み書き、簡単な会話ができるようにします。毎回、授業の内外での課題を課します。</p> <p>授業一般目標 基本的な文法事項を理解し、正確に使用できるようにします。簡単な会話程度ができるようにします。</p> <p>成績評価方法(総合) (1) 定期試験と(2) 不定期の小テストで成績を評価します。(3) 欠席、宿題未提出が所定の回数を超えた場合には、単位は与えません。</p> <p>教科書・参考書 教科書: コスモス朝和辞典, 菅野裕臣他, 白水社, 1988 年; 「聞いて覚える初級朝鮮語」, 河村光雅・田星姫, 白水社, 2002 年</p> <p>教官連絡先 連絡先: wadagaku@yamaguchi-u.ac.jp、研究室: 人文棟2階、オフィスアワー: 木曜日 10:00-17:00</p>					

開設科目	ハンゲル入門2	区分	講義	開設期	後期
対象学生	教・理・医・工・農	単位	2 単位	曜時限	木曜日 1・2 時限
担当教官	和田学				
<p>授業概要 前期の内容に基づき、多様な表現を学び、簡単な文章の読み書き、簡単な会話ができるようにします。毎回、授業の内外での課題を課します。</p> <p>授業一般目標 基本的な文法事項を理解し、正確に使用できるようにします。簡単な会話程度ができるようにします。</p> <p>成績評価方法(総合) (1) 定期試験と(2) 不定期の小テストで成績を評価します。(3) 欠席、宿題未提出が所定の回数を超えた場合には、単位は与えません。</p> <p>教科書・参考書 教科書: コスモス朝和辞典、菅野裕臣他, 白水社, 1988年; 「聞いて覚える初級朝鮮語」, 河村光雅・田星姫, 白水社, 2002年</p> <p>教官連絡先 連絡先: wadagaku@yamaguchi-u.ac.jp、研究室: 人文棟2階、オフィスアワー: 木曜日 10:00-17:00</p>					

開設科目	ドイツ語初級2	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教・経・工	単位	4 単位	曜時限	月曜日 3・4 時限 木曜日 1・2 時限
担当教官	Hintereder-Emde Franz				
<p>授業概要 後期は、前期に基づいて進める。語彙目標は650語である。週2回コースですので、必ず月曜日3・4時限、木曜日1・2時限の両方を受講して下さい。受講者数は上限30名とします。</p> <p>授業一般目標 ドイツ語の基本的な初級レベルを目標にする。簡単な会話や文章理解に必要な文法や語彙を習得します。</p> <p>教科書・参考書 教科書: ギュンターと仲間たち, 竹中康雄, Christian Boldt, 土井ギーゼラ, 郁文堂, 2007年 / 参考書: 授業で紹介する。</p> <p>メッセージ Wortschatz はドイツ語で「言葉の宝」という意味です。外国語は一言一言自分の身に付ければつけるほど宝が増えてきます。</p> <p>教官連絡先 mail: emde@yamaguchi-u.ac.jp, tel/fax: 933-5287, office hour: 月曜日 7・8時限(14:30~16:00)</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	ドイツ語初級2	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教・経・工	単位	4 単位	曜時限	月曜日 7・8 時限 水曜日 3・4 時限
担当教官	小粥良				
<p>授業概要 ドイツ語の初歩を丁寧に学ぶ。文法を体系的に学ぶ。ビデオ等を用いて、ドイツの文化についても紹介する。</p> <p>授業一般目標 ドイツ語の初級文法を一通り学習するとともに基礎語彙を習得し、そしてそれらの基礎の上に初歩的なドイツ語読解力を身につける。またドイツ語圏の国々の文化等について知識を深める。</p> <p>成績評価方法(総合) レポート、期末テストの点数により評価する。出席は欠格事項としてのみ扱い、全授業の3分の2以上の出席を必要とする。</p> <p>教科書・参考書 教科書：エールスター・シュリット, 中川 浩 他, 白水社, 2007年; 後期から初めてこの授業を取る学生は、上記の教科書を自分で書店にて注文し購入しておいてください。/ 参考書：独和辞典は、どの出版社のものでも可ですが、必ず授業に持ってきてください。電子辞書でも可。</p> <p>メッセージ 予習・復習をしっかりと行ってください。教科書付属のCDを家でもよく聞くようにしてください。できれば、NHK ラジオ第二放送のドイツ語講座をタイマー録音して聞くようにしてください。</p> <p>教官連絡先 小粥研究室(教育学部2階200-4号室)木曜日 16:00-17:00</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	ドイツ語初級2	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教・経・工	単位	4 単位	曜時限	火曜日 1・2 時限 金曜日 5・6 時限
担当教官	本田義昭				
<p>授業概要 本授業では、現代ドイツ語を読み、書き、話すことができるための基礎的な能力を養います。そのために、発音を身につけ、骨組みとなる文法を学びながら、語彙をつけて、実際に運用できるよう様々な練習を行ないます。EU(ヨーロッパ連合)の牽引車の一つであるドイツの言語を学んで、国際的な視野を拓けましょう。</p> <p>授業一般目標 現代ドイツ語の発音の基本を習得する。名詞の変化・動詞の現在形などの文法項目を学習することで、ドイツ語の基礎構造を認識する。さらに、平易な表現を憶えて、簡単な日常会話ができるようになる。</p> <p>成績評価方法(総合) 中間試験(35%) + 期末試験(35%) + 授業への積極的な参加度(30%)で評価します。出席率が8割未満の場合は失格とします。</p> <p>教科書・参考書 教科書：CD付き 自己表現のためのドイツ語1, 板山真由美, 三修社, 2004年</p> <p>メッセージ こつこつ頑張れば、誰でもかなりのレベルに到達します。継続は力なり! 将来はドイツ留学も夢ではありません。</p> <p>教官連絡先 honda@yamaguchi-u.ac.jp</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 外国語教育

分野 ドイツ語

科目類型 総説

開設科目	ドイツ語初級2	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教・経・工	単位	4 単位	曜時限	火曜日 7・8 時限 木曜日 5・6 時限
担当教官	下寄正利				
<p>授業概要 ドイツ語文法の初歩を勉強します。</p> <p>授業一般目標 ドイツ語の初歩を身につけている。</p> <p>成績評価方法 (総合) 授業中の演習、中間テスト、期末テストを総合して成績をつけます。</p> <p>教科書・参考書 教科書：親切なドイツ文法, 橋本郁夫, 和田達宜, 伊藤真, 第三書房</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 外国語教育

分野 ドイツ語

科目類型 総説

開設科目	ドイツ語初級2	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教・経・工	単位	4 単位	曜時限	水曜日 1・2 時限 金曜日 7・8 時限
担当教官	河中正彦				
<p>授業概要 ドイツ語初級2は、ドイツ語初級1を受講した人が受講できます。前期の成果を踏まえてさらに力をつけていきます。受講者は必ず、火曜日 7・8 時限 金曜日 7・8 時限 の両方を受講してください。各課の終わりに練習問題・読章がついているからそれをレポートで提出してもらい、レポート点を 100 点のなかの 20 点に換算して評価します。試験は中間と期末の 2 回で、40 点ずつです。受講者は上限 60 名とします。</p> <p>授業一般目標 ドイツ語の発音を習得する。各品詞の活用に習熟し、ドイツ語の基礎構造を認識する。簡単な文章を読み書き、話せるようになる。</p> <p>成績評価方法 (総合) 課の終わりに練習問題をレポートで提出してもらい、レポート点を 100 点のなか 20 点に換算して評価します。試験は中間と期末の 2 回で、40 点ずつです。</p> <p>教科書・参考書 教科書：ドイツ語自遊自在, JTB 編集部, JTB, 2002 年; ドイツ語とのランデヴー, 河中正彦, 郁文堂, 2001 年; 教科書は文栄堂で販売。/ 参考書：ゼロから始めるドイツ語, 在間 進, 三修社, 2002 年; 参考書は希望者のみ購入。</p> <p>メッセージ 初習外国語は一度でも欠席するとダメージは大きいので、全出席のつもりで始めてください。週 2 回課題をレポートで出してもらいます。これはかなりきついので、覚悟しておいてください。</p> <p>教官連絡先 研究室：研究 1 号館 3 階。オフィスアワー：金曜日 9・10 時限 kawanaka@yamaguchi-u.ac.jp</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	ドイツ語会話2	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教	単位	2 単位	曜時限	水曜日 3・4 時限
担当教官	DobraFelicitas				
<p>授業概要 本授業は、まず第一に基礎的なコミュニケーション能力を身につけさせることを目的とする。文型が提示される。これらの文型は、学生によって練習され、学生の生活に関連する 文例によって補強される。教科書の文章は、ドイツ事情を伝える内容である。各課の終わりに、日本語による文法の説明がある。</p> <p>授業一般目標 学生は提示された文型に従って、簡単な会話を行える程度の知識を習得することができる。話すことと発音練習がこの授業の重点である。文法は授業の目的ではないが、目標に到達するために通らねばならぬ道である。したがって、各課の文法も教授され、習得されたかどうか吟味される。文法は、コミュニカティブに有意義な練習を通じて伝えられる。教科書では、文法事項は「Bausteine」という見出しの下に現れる。学生は教科書の中に描写されたいくつかのシチュエーションによって、文化間の相違を確認することができる。次年度にも更にドイツ語を継続して学習することを希望している学生のために、次年度には同じ教科書の第二部を使用することを指摘しておく。</p> <p>教科書・参考書 教科書：Farbkasten neu1. Situationen Informationen. CD 付き / 自己表現のためのドイツ語 1, 板山真由美 / 潮路ウルスラ / 三修社, 2005 年; 『自己表現のためのドイツ語 2』CD 付き: 板山真由美 / 潮路ウルスラ / 本河裕子 / 吉みつたか子三修社, 2005 年 ISBN4-384-12227-6 C1084, 2.700 円 / 参考書: CD 付き / 自己表現のためのドイツ語 1 / 板山真由美 / 潮路ウルスラ / 本河裕子 / 吉みつたか子 / 東京: 三修社, 2005 / 2.700 円 / ISBN4-384-12227-6 C1084 円 2 7 0 0</p> <p>教官連絡先 e-mail:dobra@yamaguchi-u.ac.jp 金曜日: 1 2 : 3 0 ~ 1 4 : 0 0 吉田研究室</p>					

開設科目	ドイツ語中級2	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教2年	単位	2 単位	曜時限	火曜日 3・4 時限
担当教官	Dobra Felicitas				
<p>授業概要 本授業は、まず第一に基礎的なコミュニケーション能力を身につけさせる、言い換えれば、一年目に学んだことを復習し、確かなものにするを目的とする。文型は、より意識的に応用されなければならない。これらの文型は、学生によってパートナー練習やグループ練習の中で練習され、学生の生活やさまざまなコミュニケーションの状況に関連する 文例によって補強される。教科書の文章は、ドイツ事情を伝える内容である。各課の終わりに、日本語による文法の説明がある。</p> <p>授業一般目標 学生は提示された文型に従って、簡単な会話を行える程度の知識を習得することができる。話すことと発音練習がこの授業の重点である。文法は授業の目的ではないが、目標に到達するために通らねばならぬ道である。したがって、各課の文法も教授され、習得されたかどうか吟味される。文法は、コミュニカティブに有意義な練習を通じて伝えられる。学生は教科書の中に描写されたいくつかのシチュエーションによって、文化間の相違を確認することができる。授業の重点は、教科書の題名に示唆されている「問題発見」にある。学生は、これまでに学んできたことを思い出しながら、世界についての自己の知識を活用して、比較的最近に学んだ新しい言語で言い表すことができる。</p> <p>成績評価方法 (総合) 定期試験: 筆記試験 (45 分) 会話試験 (Lektion 6-10) (定期試験期間中に実施)</p> <p>教科書・参考書 教科書: Szenen: 場面で学ぶドイツ語, "佐藤修子, 伊藤祐紀子著", 三修社, 2004 年; シェネン 2 場面で学ぶドイツ語 ニュバ - ション - CD 付き 佐藤修子 / 下田恭子 / ハイケパベンチン / ゲザオルデハ - ベル ISBN4-384-13078-3 C1084 2 9 0 0 円 / 参考書: Szenen: 場面で学ぶドイツ語; 1-2 (改訂版), "佐藤修子, 伊藤祐紀子著", 三修社, 2002 年; 佐藤修子 / 下田恭子 / ハイケパベンチン / ゲザオルデハベル / シェネン 2 場面で学ぶドイツ語. CD 付き. Sanshusha: 2004 ISBN4-384-13078-3 C1084.2900 円</p> <p>教官連絡先 授業の後いつでもいいです / dobra@yamaguchi-u.ac.jp 山口吉田研究室: 金曜日 1 2 : 3 0 ~ 1 3 : 3 0</p>					

系列 外国語教育

分野 フランス語

科目類型 総説

開設科目	フランス語初級2	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教・経・工	単位	4 単位	曜時限	月曜日 5・6 時限 木曜日 5・6 時限
担当教官	武本雅嗣				
<p>授業概要 後期は、週2回、ビデオ教材を使って「読み・書き・聴き・話す」能力を高めていきます。1年間勉強すれば、フランスの文化やフランス人の習慣がかなり把握できているはず。フランス語と英語はいわばいとこ同士の間柄ですが、両言語の間には実に多くの共通点があります。ですから、英語の知識を活用して、英語との異同に注意しながらフランス語を勉強していくのが効率的です。英語以外の外国語を学ぶと、言語や文化の多様性と共通性が少しずつ見えてきます。様々な発見の喜びが得られるような授業を行いたいと思っています。</p> <p>授業一般目標 フランス語の文法体系を習得し、基本的なフランス語運用能力を身につけることを目標とします。</p> <p>成績評価方法(総合) 期末試験:60% 小テスト:20% 出席:20%</p> <p>教科書・参考書 教科書:『ボンジュール・パリ』, 中山真彦, 白水社; 大学会館の生協にて販売。</p> <p>メッセージ ほぼ毎回宿題を課すので、休まず出席すること。</p> <p>教官連絡先 研究室:人文 612, オフィスアワー:木曜日 3:00-4:30</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 外国語教育

分野 フランス語

科目類型 総説

開設科目	フランス語初級2	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教・経・工	単位	4 単位	曜時限	月曜日 9・10 時限 木曜日 3・4 時限
担当教官	井上三朗				
<p>授業概要 フランス語初級1に同じ。</p> <p>授業一般目標 フランス語初級1に同じ。</p> <p>成績評価方法(総合) 試験は定期試験をふくめて、2度おこないたいと思っている。その試験の点数と平常点との総合で、成績評価をおこなう。</p> <p>教科書・参考書 教科書:ミニ・ボンジュール・パリ, 中山真彦・杉山利恵子, 白水社, 2005年; 初級フランス語文法(改訂2007年度版), 天羽均、佐々木康之他, 朝日出版社, 2007年</p> <p>メッセージ 授業への積極的な参加を望む</p> <p>教官連絡先 月曜日14:30-16:00. 人文学部613研究室。</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	フランス語初級2	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教・経・工	単位	4 単位	曜時限	火曜日 7・8 時限 金曜日 7・8 時限
担当教官	平山豊				
<p>授業概要 現代フランス語を読み、書き、話すことができるようになるための基礎的な能力を養います。そのために文法の諸規則を説明し、発音やイントネーションを身につけ、基本単語の語彙や語形変化を憶えて実際に運用できるよう様々な練習を課します。</p> <p>授業一般目標 動詞の現在形を用いた挨拶などの決まった表現や日常の簡単な会話ができる基礎固めをします。</p> <p>成績評価方法 (総合) 定期試験 70%、宿題 10%、授業参加 20%</p> <p>教科書・参考書 教科書：新・東京ーバリ、初飛行、藤田、駿河台、2007年；補助教材をプリント配布</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	フランス語会話2	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教	単位	2 単位	曜時限	火曜日 3・4 時限
担当教官	エムデ・アンゲリカ				
<p>授業概要 この授業では会話が中心です。日常的な場面を簡単な言い方や文法のパターンで訓練します。授業に定期的に参加することが必要です。フランスの音楽、映画や生活文化も紹介します。</p> <p>授業一般目標 様々なコミュニケーションの場面に応じて、基本的なパターンを練習します。必要な文法を説明し、多くの例を応用しながら、身に付けます。語彙はそれぞれの分野に合わせて導入し、段階的に増やします。聞く力や発音を特に鍛えます。</p> <p>成績評価方法 (総合) 試験やテストは行いませんが、定期的な出席と積極的な参加により評価します。出席：50%、参加や授業への貢献：20%、宿題・授業外レポート：30%。</p> <p>教科書・参考書 教科書：教材のプリントを授業で配布します。</p> <p>メッセージ 出席は非常に大事で、積極的な参加は、成功へのカギです。</p>					

系列 外国語教育

分野 フランス語

科目類型 展開1

開設科目	フランス語中級2	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教2年	単位	2単位	曜時限	水曜日7・8時限
担当教官	末松 壽				
<p>授業概要 フランス語中級Iをうけて、文法を復習しさらに理解をふかめつつ、フランス語文の読みにむけての「橋渡し」をおこなう。</p> <p>授業一般目標 初学者のために書かれた痛快な読み物を読みつつ、フランス語の文法や文章法を学ぶ。主な事項としては 1. 命令法、2. 代名動詞、3. 強調構文、4. 単純過去、5. 時制の構造、6. 条件法、7. 接続法など。</p> <p>成績評価方法 (総合) 平素の成績、暗記、期末筆記試験など。</p> <p>教科書・参考書 教科書：Le hollandais sans peine, Marie-Aude Murail, l'école des loisirs, 1989年；Le petit Nicolas, Sempé - Goscinny, Denoel, 1960年；上記(1)(2)はいずれもプリントを使用する。</p>					

系列 外国語教育

分野 中国語

科目類型 総説

開設科目	中国語初級2 a	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教・経・工	単位	2単位	曜時限	月曜日5・6時限
担当教官	苞山武義				
<p>授業概要 前期に引き続き、テキストに沿って入門期に必要な学習を進め、同時にさらに中国理解を深める。</p> <p>授業一般目標 ・中国語の基本文型を学習し、中国語運用能力を高める。 ・中国事情を理解し、単なることばの習得だけに終わらないようにする。</p> <p>成績評価方法 (総合) 定期試験と小テスト、受講態度などによる総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(文型・表現編), 斉藤匡史、何曉毅、田梅, 白帝社, 2003年</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 外国語教育

分野 中国語

科目類型 総説

開設科目	中国語初級 2 a	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教・経・工	単位	2 単位	曜時限	月曜日 7・8 時限
担当教官	齊藤匡史				
<p>授業概要 前期に引き続き、テキストに沿って入門期に必要な学習を進め、同時にさらに中国理解を深める。</p> <p>授業一般目標 ・中国語の基本文型を学習し、中国語運用能力を高める。 ・中国事情を理解し、単なることばの習得だけに終わらないようにする。</p> <p>成績評価方法 (総合) 定期試験と小テスト、受講態度などによる総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(文型・表現編), 齊藤匡史、何曉毅、田梅, 白帝社, 2003 年</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 外国語教育

分野 中国語

科目類型 総説

開設科目	中国語初級 2 a	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教・経・工	単位	2 単位	曜時限	月曜日 9・10 時限
担当教官	富平美波				
<p>授業概要 前期に引き続き、テキストに沿って入門期に必要な学習を進め、同時にさらに中国理解を深める。</p> <p>授業一般目標 ・中国語の基本文型を学習し、中国語運用能力を高める。 ・中国事情を理解し、単なることばの習得だけに終わらないようにする。</p> <p>成績評価方法 (総合) 定期試験と小テスト、受講態度などによる総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(文型・表現編), 齊藤匡史、何曉毅、田梅, 白帝社, 2003 年</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 外国語教育

分野 中国語

科目類型 総説

開設科目	中国語初級 2 a	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教・経・工	単位	2 単位	曜時限	火曜日 5・6 時限
担当教官	富平美波				
<p>授業概要 前期に引き続き、テキストに沿って入門期に必要な学習を進め、同時にさらに中国理解を深める。</p> <p>授業一般目標 ・中国語の基本文型を学習し、中国語運用能力を高める。 ・中国事情を理解し、単なることばの習得だけに終わらないようにする。</p> <p>成績評価方法 (総合) 定期試験と小テスト、受講態度などによる総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(文型・表現編), 斉藤匡史、何曉毅、田梅, 白帝社, 2003 年</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 外国語教育

分野 中国語

科目類型 総説

開設科目	中国語初級 2 a	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教・経・工	単位	2 単位	曜時限	火曜日 9・10 時限
担当教官	更科慎一				
<p>授業概要 前期に引き続き、テキストに沿って入門期に必要な学習を進め、同時にさらに中国理解を深める。</p> <p>授業一般目標 ・中国語の基本文型を学習し、中国語運用能力を高める。 ・中国事情を理解し、単なることばの習得だけに終わらないようにする。</p> <p>成績評価方法 (総合) 定期試験と小テスト、受講態度などによる総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(文型・表現編), 斉藤匡史、何曉毅、田梅, 白帝社, 2003 年</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	中国語初級 2 a	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教・経・工	単位	2 単位	曜時限	水曜日 5・6 時限
担当教官	一木達彦				
<p>授業概要 前期に引き続き、テキストに沿って入門期に必要な学習を進め、同時にさらに中国理解を深める。</p> <p>授業一般目標 ・中国語の基本文型を学習し、中国語運用能力を高める。 ・中国事情を理解し、単なることばの習得だけに終わらないようにする。</p> <p>成績評価方法 (総合) 定期試験と小テスト、受講態度などによる総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(文型・表現編), 斉藤匡史、何曉毅、田梅, 白帝社, 2003 年</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	中国語初級 2 a	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教・経・工	単位	2 単位	曜時限	水曜日 7・8 時限
担当教官	一木達彦				
<p>授業概要 前期に引き続き、テキストに沿って入門期に必要な学習を進め、同時にさらに中国理解を深める。</p> <p>授業一般目標 ・中国語の基本文型を学習し、中国語運用能力を高める。 ・中国事情を理解し、単なることばの習得だけに終わらないようにする。</p> <p>成績評価方法 (総合) 定期試験と小テスト、受講態度などによる総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(文型・表現編), 斉藤匡史、何曉毅、田梅, 白帝社, 2003 年</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	中国語初級 2 a	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教・経・工	単位	2 単位	曜時限	水曜日 7・8 時限
担当教官	永富健史				
<p>授業概要 前期に引き続き、テキストに沿って入門期に必要な学習を進め、同時にさらに中国理解を深める。</p> <p>授業一般目標 ・中国語の基本文型を学習し、中国語運用能力を高める。 ・中国事情を理解し、単なることばの習得だけに終わらないようにする。</p> <p>成績評価方法 (総合) 定期試験と小テスト、受講態度などによる総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(文型・表現編), 斉藤匡史、何曉毅、田梅, 白帝社, 2003 年</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	中国語初級 2 a	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教・経・工	単位	2 単位	曜時限	水曜日 9・10 時限
担当教官	一木達彦				
<p>授業概要 前期に引き続き、テキストに沿って入門期に必要な学習を進め、同時にさらに中国理解を深める。</p> <p>授業一般目標 ・中国語の基本文型を学習し、中国語運用能力を高める。 ・中国事情を理解し、単なることばの習得だけに終わらないようにする。</p> <p>成績評価方法 (総合) 定期試験と小テスト、受講態度などによる総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(文型・表現編), 斉藤匡史、何曉毅、田梅, 白帝社, 2003 年</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	中国語初級 2 a	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教・経・工	単位	2 単位	曜時間	木曜日 3・4 時限
担当教官	杉本知栄子				
<p>授業概要 前期に引き続き、テキストに沿って入門期に必要な学習を進め、同時にさらに中国理解を深める。</p> <p>授業一般目標 ・中国語の基本文型を学習し、中国語運用能力を高める。 ・中国事情を理解し、単なることばの習得だけに終わらないようにする。</p> <p>成績評価方法 (総合) 定期試験と小テスト、受講態度などによる総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(文型・表現編), 斉藤匡史、何曉毅、田梅, 白帝社, 2003 年</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	中国語初級 2 a	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教・経・工	単位	2 単位	曜時間	木曜日 5・6 時限
担当教官	秋山淳				
<p>授業概要 前期に引き続き、テキストに沿って入門期に必要な学習を進め、同時にさらに中国理解を深める。</p> <p>授業一般目標 ・中国語の基本文型を学習し、中国語運用能力を高める。 ・中国事情を理解し、単なることばの習得だけに終わらないようにする。</p> <p>成績評価方法 (総合) 定期試験と小テスト、受講態度などによる総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(文型・表現編), 斉藤匡史、何曉毅、田梅, 白帝社, 2003 年</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	中国語初級 2 a	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教・経・工	単位	2 単位	曜時限	木曜日 5・6 時限
担当教官	根ヶ山徹				
<p>授業概要 前期に引き続いて、現代中国語の基礎を習得する。</p> <p>授業一般目標 前期の学習を踏まえ、より高度な表現を学ぶ。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験の成績を 100 %として評価を行う。出席は欠格条件。</p> <p>教科書・参考書 教科書：北京の風(改訂版), 木村英樹・小野秀樹・陳蓉, 白帝社, 2002 年</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	中国語初級 2 a	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教・経・工	単位	2 単位	曜時限	木曜日 5・6 時限
担当教官	杉本知栄子				
<p>授業概要 前期に引き続き、テキストに沿って入門期に必要な学習を進め、同時にさらに中国理解を深める。</p> <p>授業一般目標 ・中国語の基本文型を学習し、中国語運用能力を高める。 ・中国事情を理解し、単なることばの習得だけに終わらないようにする。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験と小テスト、受講態度などによる総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(文型・表現編), 斉藤匡史、何曉毅、田梅, 白帝社, 2003 年</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 外国語教育

分野 中国語

科目類型 総説

開設科目	中国語初級 2 a	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教・経・工	単位	2 単位	曜時限	木曜日 7・8 時限
担当教官	秋山淳				
<p>授業概要 前期に引き続き、テキストに沿って入門期に必要な学習を進め、同時にさらに中国理解を深める。</p> <p>授業一般目標 ・中国語の基本文型を学習し、中国語運用能力を高める。 ・中国事情を理解し、単なることばの習得だけに終わらないようにする。</p> <p>成績評価方法 (総合) 定期試験と小テスト、受講態度などによる総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(文型・表現編), 斉藤匡史、何曉毅、田梅, 白帝社, 2003 年</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 外国語教育

分野 中国語

科目類型 総説

開設科目	中国語初級 2 a	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教・経・工	単位	2 単位	曜時限	木曜日 7・8 時限
担当教官	更科慎一				
<p>授業概要 前期に引き続き、テキストに沿って入門期に必要な学習を進め、同時にさらに中国理解を深める。</p> <p>授業一般目標 ・中国語の基本文型を学習し、中国語運用能力を高める。 ・中国事情を理解し、単なることばの習得だけに終わらないようにする。</p> <p>成績評価方法 (総合) 定期試験と小テスト、受講態度などによる総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(文型・表現編), 斉藤匡史、何曉毅、田梅, 白帝社, 2003 年</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	中国語初級 2 a	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教・経・工	単位	2 単位	曜時限	金曜日 7・8 時限
担当教官	苞山武義				
<p>授業概要 前期に引き続き、テキストに沿って入門期に必要な学習を進め、同時にさらに中国理解を深める。</p> <p>授業一般目標 ・中国語の基本文型を学習し、中国語運用能力を高める。 ・中国事情を理解し、単なることばの習得だけに終わらないようにする。</p> <p>成績評価方法 (総合) 定期試験と小テスト、受講態度などによる総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(文型・表現編), 斉藤匡史、何曉毅、田梅, 白帝社, 2003 年</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	中国語初級 2 b	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教・経・工	単位	2 単位	曜時限	月曜日 3・4 時限
担当教官	呉靱				
<p>授業概要 前期に引き続き、テキストの沿って中国語の基本的な表現に習熟し、あわせて中国文化、中国事情の理解に努める。</p> <p>授業一般目標 初級段階で必要な表現を学習し、ことばの運用能力の向上を図る。</p> <p>成績評価方法 (総合) 定期試験、授業内小テスト、受講態度による総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(コミュニケーション編), 何曉毅 ほか, 白帝社, 2005 年 / 参考書：辞書</p> <p>メッセージ 毎回出席すること。声を出して発声すること。授業外の復習予習は大事。繰り返し練習は上達の秘訣。なお、このシラバスはあくまで予定であり、受講者の修得度などを考慮して進度を調整することがある</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	中国語初級 2 b	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教・経・工	単位	2 単位	曜時限	月曜日 5・6 時限
担当教官	呉 毅				
<p>授業概要 前期に引き続き、テキストの沿って中国語の基本的な表現に習熟し、あわせて中国文化、中国事情の理解に努める。</p> <p>授業一般目標 初級段階で必要な表現を学習し、ことばの運用能力の向上を図る。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験、授業内小テスト、受講態度による総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(コミュニケーション編), 何曉毅 ほか, 白帝社, 2005 年 / 参考書：辞書</p> <p>メッセージ 毎回出席すること。声を出して発声すること。授業外の復習予習は大事。繰り返し練習は上達の秘訣。なお、このシラバスはあくまで予定であり、受講者の修得度などを考慮して進度を調整することがある</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	中国語初級 2 b	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教・経・工	単位	2 単位	曜時限	月曜日 5・6 時限
担当教官	李海英				
<p>授業概要 前期に引き続き、テキストの沿って中国語の基本的な表現に習熟し、あわせて中国文化、中国事情の理解に努める。</p> <p>授業一般目標 初級段階で必要な表現を学習し、ことばの運用能力の向上を図る。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験、授業内小テスト、受講態度による総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(コミュニケーション編), 何曉毅 ほか, 白帝社, 2005 年 / 参考書：辞書</p> <p>メッセージ 毎回出席すること。声を出して発声すること。授業外の復習予習は大事。繰り返し練習は上達の秘訣。なお、このシラバスはあくまで予定であり、受講者の修得度などを考慮して進度を調整することがある</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	中国語初級 2 b	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教・経・工	単位	2 単位	曜時限	月曜日 7・8 時限
担当教官	呉勲				
<p>授業概要 前期に引き続き、テキストの沿って中国語の基本的な表現に習熟し、あわせて中国文化、中国事情の理解に努める。</p> <p>授業一般目標 初級段階で必要な表現を学習し、ことばの運用能力の向上を図る。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験、授業内小テスト、受講態度による総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(コミュニケーション編), 何曉毅 ほか, 白帝社, 2005 年 / 参考書：辞書</p> <p>メッセージ 毎回出席すること。声を出して発声すること。授業外の復習予習は大事。繰り返し練習は上達の秘訣。なお、このシラバスはあくまで予定であり、受講者の修得度などを考慮して進度を調整することがある</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	中国語初級 2 b	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教・経・工	単位	2 単位	曜時限	火曜日 7・8 時限
担当教官	何曉毅				
<p>授業概要 前期に引き続き、テキストの沿って中国語の基本的な表現に習熟し、あわせて中国文化、中国事情の理解に努める。</p> <p>授業一般目標 初級段階で必要な表現を学習し、ことばの運用能力の向上を図る。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験、授業内小テスト、受講態度による総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(コミュニケーション編), 何曉毅 ほか, 白帝社, 2005 年 / 参考書：辞書</p> <p>メッセージ 毎回出席すること。声を出して発声すること。授業外の復習予習は大事。繰り返し練習は上達の秘訣。なお、このシラバスはあくまで予定であり、受講者の修得度などを考慮して進度を調整することがある</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	中国語初級 2 b	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教・経・工	単位	2 単位	曜時限	水曜日 3・4 時限
担当教官	張玲				
<p>授業概要 前期に引き続き、テキストの沿って中国語の基本的な表現に習熟し、あわせて中国文化、中国事情の理解に努める。</p> <p>授業一般目標 初級段階で必要な表現を学習し、ことばの運用能力の向上を図る。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験、授業内小テスト、受講態度による総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(コミュニケーション編), 何曉毅 ほか, 白帝社, 2005 年 / 参考書：辞書</p> <p>メッセージ 毎回出席すること。声を出して発声すること。授業外の復習予習は大事。繰り返し練習は上達の秘訣。なお、このシラバスはあくまで予定であり、受講者の修得度などを考慮して進度を調整することがある</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	中国語初級 2 b	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教・経・工	単位	2 単位	曜時限	水曜日 5・6 時限
担当教官	張玲				
<p>授業概要 前期に引き続き、テキストの沿って中国語の基本的な表現に習熟し、あわせて中国文化、中国事情の理解に努める。</p> <p>授業一般目標 初級段階で必要な表現を学習し、ことばの運用能力の向上を図る。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験、授業内小テスト、受講態度による総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(コミュニケーション編), 何曉毅 ほか, 白帝社, 2005 年 / 参考書：辞書</p> <p>メッセージ 毎回出席すること。声を出して発声すること。授業外の復習予習は大事。繰り返し練習は上達の秘訣。なお、このシラバスはあくまで予定であり、受講者の修得度などを考慮して進度を調整することがある</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	中国語初級 2 b	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教・経・工	単位	2 単位	曜時限	水曜日 5・6 時限
担当教官	李海英				
<p>授業概要 前期に引き続き、テキストの沿って中国語の基本的な表現に習熟し、あわせて中国文化、中国事情の理解に努める。</p> <p>授業一般目標 初級段階で必要な表現を学習し、ことばの運用能力の向上を図る。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験、授業内小テスト、受講態度による総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(コミュニケーション編), 何曉毅 ほか, 白帝社, 2005 年 / 参考書：辞書</p> <p>メッセージ 毎回出席すること。声を出して発声すること。授業外の復習予習は大事。繰り返し練習は上達の秘訣。なお、このシラバスはあくまで予定であり、受講者の修得度などを考慮して進度を調整することがある</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	中国語初級 2 b	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教・経・工	単位	2 単位	曜時限	水曜日 7・8 時限
担当教官	呉菲				
<p>授業概要 前期に引き続き、テキストの沿って中国語の基本的な表現に習熟し、あわせて中国文化、中国事情の理解に努める。</p> <p>授業一般目標 初級段階で必要な表現を学習し、ことばの運用能力の向上を図る。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験、授業内小テスト、受講態度による総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(コミュニケーション編), 何曉毅 ほか, 白帝社, 2005 年 / 参考書：辞書</p> <p>メッセージ 毎回出席すること。声を出して発声すること。授業外の復習予習は大事。繰り返し練習は上達の秘訣。なお、このシラバスはあくまで予定であり、受講者の修得度などを考慮して進度を調整することがある</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	中国語初級 2 b	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教・経・工	単位	2 単位	曜時限	水曜日 7・8 時限
担当教官	田梅				
<p>授業概要 前期に引き続き、テキストの沿って中国語の基本的な表現に習熟し、あわせて中国文化、中国事情の理解に努める。</p> <p>授業一般目標 初級段階で必要な表現を学習し、ことばの運用能力の向上を図る。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験、授業内小テスト、受講態度による総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(コミュニケーション編), 何曉毅 ほか, 白帝社, 2005 年 / 参考書：辞書</p> <p>メッセージ 毎回出席すること。声を出して発声すること。授業外の復習予習は大事。繰り返し練習は上達の秘訣。なお、このシラバスはあくまで予定であり、受講者の修得度などを考慮して進度を調整することがある</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	中国語初級 2 b	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教・経・工	単位	2 単位	曜時限	水曜日 9・10 時限
担当教官	田梅				
<p>授業概要 前期に引き続き、テキストの沿って中国語の基本的な表現に習熟し、あわせて中国文化、中国事情の理解に努める。</p> <p>授業一般目標 初級段階で必要な表現を学習し、ことばの運用能力の向上を図る。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験、授業内小テスト、受講態度による総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(コミュニケーション編), 何曉毅 ほか, 白帝社, 2005 年 / 参考書：辞書</p> <p>メッセージ 毎回出席すること。声を出して発声すること。授業外の復習予習は大事。繰り返し練習は上達の秘訣。なお、このシラバスはあくまで予定であり、受講者の修得度などを考慮して進度を調整することがある</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	中国語初級 2 b	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教・経・工	単位	2 単位	曜時限	木曜日 3・4 時限
担当教官	梁蕾				
<p>授業概要 前期に引き続き、テキストの沿って中国語の基本的な表現に習熟し、あわせて中国文化、中国事情の理解に努める。</p> <p>授業一般目標 初級段階で必要な表現を学習し、ことばの運用能力の向上を図る。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験、授業内小テスト、受講態度による総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(コミュニケーション編), 何曉毅 ほか, 白帝社, 2005 年 / 参考書：辞書</p> <p>メッセージ 毎回出席すること。声を出して発声すること。授業外の復習予習は大事。繰り返し練習は上達の秘訣。なお、このシラバスはあくまで予定であり、受講者の修得度などを考慮して進度を調整することがある</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	中国語初級 2 b	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教・経・工	単位	2 単位	曜時限	木曜日 5・6 時限
担当教官	梁蕾				
<p>授業概要 前期に引き続き、テキストの沿って中国語の基本的な表現に習熟し、あわせて中国文化、中国事情の理解に努める。</p> <p>授業一般目標 初級段階で必要な表現を学習し、ことばの運用能力の向上を図る。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験、授業内小テスト、受講態度による総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(コミュニケーション編), 何曉毅 ほか, 白帝社, 2005 年 / 参考書：辞書</p> <p>メッセージ 毎回出席すること。声を出して発声すること。授業外の復習予習は大事。繰り返し練習は上達の秘訣。なお、このシラバスはあくまで予定であり、受講者の修得度などを考慮して進度を調整することがある</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	中国語初級 2 b	区分	講義	開設期	後期
対象学生	医・工 2 年	単位	2 単位	曜時限	木曜日 7・8 時限
担当教官	李海英				
<p>授業概要 前期に引き続き、テキストの沿って中国語の基本的な表現に習熟し、あわせて中国文化、中国事情の理解に努める。</p> <p>授業一般目標 初級段階で必要な表現を学習し、ことばの運用能力の向上を図る。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験、授業内小テスト、受講態度による総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(コミュニケーション編), 何曉毅 ほか, 白帝社, 2005 年 / 参考書：辞書</p> <p>メッセージ 毎回出席すること。声を出して発声すること。授業外の復習予習は大事。繰り返し練習は上達の秘訣。なお、このシラバスはあくまで予定であり、受講者の修得度などを考慮して進度を調整することがある</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	中国語初級 2 b	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教・経・工	単位	2 単位	曜時限	金曜日 7・8 時限
担当教官	張玲				
<p>授業概要 前期に引き続き、テキストの沿って中国語の基本的な表現に習熟し、あわせて中国文化、中国事情の理解に努める。</p> <p>授業一般目標 初級段階で必要な表現を学習し、ことばの運用能力の向上を図る。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験、授業内小テスト、受講態度による総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：中国語スタンダード(コミュニケーション編), 何曉毅 ほか, 白帝社, 2005 年 / 参考書：辞書</p> <p>メッセージ 毎回出席すること。声を出して発声すること。授業外の復習予習は大事。繰り返し練習は上達の秘訣。なお、このシラバスはあくまで予定であり、受講者の修得度などを考慮して進度を調整することがある</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

開設科目	中国語初級会話2	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教	単位	2 単位	曜時限	水曜日 7・8 時限
担当教官	宇 芳				
<p>授業概要 1 中国語の発音とアクセント 2 基本的な文型パターン 3 簡単な日常会話</p> <p>授業一般目標 前期に習得した発音、基礎的な会話文型及び基本文法等に基づいて学習を進め、聞き取ることと話すことの訓練によって、より豊かな表現と初歩的なコミュニケーションができるようになることを目標とする。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験:70% 小テスト/授業内レポート:20% 授業態度や授業への参加度:10% 出席が2/3に満たない者は、定期試験を受けられない。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 一年生のコミュニケーション中国語, 塚本 慶一 監修 劉 穎 著, 白水社, 2006 年</p>					

開設科目	中国語中級2	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教2年	単位	2 単位	曜時限	水曜日 3・4 時限
担当教官	一木達彦				
<p>授業概要 中級レベルの中国語を学習する。</p> <p>授業一般目標 中級レベルの中国語の総合的な習得を目指す。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験の成績を80%、小テストの成績を20%として成績評価を行う。小テストによる評価は、教員の裁量により、宿題や授業への参加度(与えられた課題に対する解答など)による評価によって替えることができる。出席は欠格事項とする</p> <p>教科書・参考書 教科書: 場面別・機能別 実用中国語会話, 呉川・文光茹, 郁文堂 / 参考書: 中日辞典</p> <p>メッセージ この授業を受講するためには、中日辞典を準備する必要があります。</p> <p>教官連絡先 yimu@yahoo.co.jp</p>					

系列 外国語教育

分野 中国語

科目類型 展開 1

開設科目	中国語中級会話 2	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教 2 年	単位	2 単位	曜時限	水曜日 1・2 時限
担当教官	張玲				
<p>授業概要 前期に引き続き、中国語の理解能力を高める。中国語で表現する能力を身につける。日常会話から、様々な文化事象まで教える。</p> <p>授業一般目標 話す能力と聞く能力を向上させる。</p> <p>成績評価方法 (総合) 定期試験及び小テスト、受講態度により総合評価</p> <p>教科書・参考書 教科書：新版 中国語さらなる一歩, 尹景春など, 白水社, 2002 年</p> <p>メッセージ 予習復習が必要です。単語と文型を覚え、そして繰り返し練習する。</p> <p>教官連絡先 zhangling414@ybb.ne.jp</p>					

系列 外国語教育

分野 中国語

科目類型 展開 1

開設科目	中国語閲読 2	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教 2 年	単位	2 単位	曜時限	月曜日 9・10 時限
担当教官	高木智見				
<p>授業概要 前期と同じ</p> <p>授業一般目標 前期と同じ</p> <p>成績評価方法 (総合) 前期と同じ</p> <p>教科書・参考書 教科書：前期と同じ / 参考書：前期と同じ</p> <p>メッセージ 前期と同じ</p> <p>教官連絡先 前期と同じ</p>					

系列 外国語教育

分野 ハングル

科目類型 総説

開設科目	ハングル初級2	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教・経・工	単位	4 単位	曜時限	火曜日 1・2 時限 金曜日 1・2 時限
担当教官	和田学				
<p>授業概要 本授業では、前期で習得した基礎知識を更に発展させ、より多様な構文を習得します。様々な状況に対応した会話能力や基礎語彙(約 200)を身に付けます。そのために、授業の内外での練習を毎回課します。</p> <p>授業一般目標 この言語を使って、基本的な会話、読解、作文ができるようになる。</p> <p>成績評価方法(総合) 1) 定期試験、2) 不定期の小テスト。欠席、宿題の不提出は欠格条件。</p> <p>教科書・参考書 教科書:「聞いて覚える初級朝鮮語」,河村光雅・田星姫,白水社,2002年</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 外国語教育

分野 ハングル

科目類型 総説

開設科目	ハングル初級2	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教・経・工	単位	4 単位	曜時限	水曜日 3・4 時限 木曜日 1・2 時限
担当教官	山田寛人				
<p>授業概要 本授業では、前期で習得した基礎知識を更に発展させ、より多様な構文を習得します。様々な状況に対応した会話能力や基礎語彙(約 200)を身に付けます。そのために、授業の内外での練習を毎回課します。</p> <p>授業一般目標 この言語を使って、基本的な会話、読解、作文ができるようになる。</p> <p>成績評価方法(総合) 1) 定期試験、2) 不定期の小テスト。欠席、宿題の不提出は欠格条件。</p> <p>教科書・参考書 教科書:「聞いて覚える初級朝鮮語」,河村光雅・田星姫,白水社,2002年</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 外国語教育

分野 ハングル

科目類型 総説

開設科目	ハングル初級2	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教・経・工	単位	4 単位	曜時限	水曜日 5・6 時限 木曜日 3・4 時限
担当教官	山田寛人				
<p>授業概要 本授業では、前期で習得した基礎知識を更に発展させ、より多様な構文を習得します。様々な状況に対応した会話能力や基礎語彙(約 200)を身に付けます。そのために、授業の内外での練習を毎回課します。</p> <p>授業一般目標 この言語を使って、基本的な会話、読解、作文ができるようになる。</p> <p>成績評価方法(総合) 1) 定期試験、2) 不定期の小テスト。欠席、宿題の不提出は欠格条件。</p> <p>教科書・参考書 教科書:「聞いて覚える初級朝鮮語」,河村光雅・田星姫,白水社,2002年</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 外国語教育

分野 ハングル

科目類型 総説

開設科目	ハングル初級2	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教・経・工	単位	4 単位	曜時限	水曜日 5・6 時限 木曜日 5・6 時限
担当教官	桂文姫				
<p>授業概要 本授業では、前期で習得した基礎知識を更に発展させ、より多様な構文を習得します。様々な状況に対応した会話能力や基礎語彙(約 200)を身に付けます。そのために、授業の内外での練習を毎回課します。</p> <p>授業一般目標 この言語を使って、基本的な会話、読解、作文ができるようになる。</p> <p>成績評価方法(総合) 1) 定期試験、2) 不定期の小テスト。欠席、宿題の不提出は欠格条件。</p> <p>教科書・参考書 教科書:「聞いて覚える初級朝鮮語」,河村光雅・田星姫,白水社,2002年</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 外国語教育

分野 ハングル

科目類型 展開 2

開設科目	ハングル初級会話 2	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教	単位	2 単位	曜時限	水曜日 7・8 時限
担当教官	桂文姫				
<p>授業概要 本授業では、日常生活用語を用いた基礎会話を学習（発音に重点）していきます。</p> <p>授業一般目標 'ハングル'の学習と韓国語でのコミュニケーション能力を身に付けること、そして、それらを通じて近隣国、韓国に関する知識を修得することが目的です。</p> <p>成績評価方法（総合） 期末試験・小テスト・出席による総合評価。</p> <p>教科書・参考書 教科書：教科書は只今準備中です。第一回目の授業時間にご紹介及び自主販売の予定です。/ 参考書：授業中紹介。</p> <p>メッセージ 真の国際人、隣国の言葉位は必需?! かも！</p>					

系列 外国語教育

分野 ハングル

科目類型 展開 1

開設科目	ハングル中級 2	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教 2 年	単位	2 単位	曜時限	木曜日 7・8 時限
担当教官	和田学				
<p>授業概要 前期の内容を基に、多様な構文を習得し、語彙を身に付ける。毎回、授業の内外で課題を課します。</p> <p>授業一般目標 更に多様な構文、語彙を習得し、辞書なしで、多様な文章の読解、作文ができることを目指すと共に、様々な状況で会話ができるようになります。</p> <p>成績評価方法（総合） 定期試験と小テスト。欠席、宿題の不提出は欠格条件。</p> <p>教科書・参考書 教科書：韓国語中級, 李昌圭, 白帝社, 2000 年</p> <p>教官連絡先 wadagaku@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

系列 外国語教育

分野 ハングル

科目類型 包括

開設科目	海外語学研修(ハングル)	区分	講義	開設期	後期
対象学生		単位	4 単位	曜時限	
担当教官	和田学				
<p>授業概要 この授業は、春休み(3月始めごろ)から韓国外国語大学で開かれる韓国語研修と、それに先立つ事前研修とで構成されています。単位を取得しようとする人は、事前研修(後期の第二セメスターに7回開講されます)を受講しなければなりません。</p> <p>授業一般目標 事前研修では、韓国に関する基礎的な知識、最低限知っておかなければならない韓国語を学びます。語学研修では、レベルに合わせた授業で、韓国語を集中的に学ぶとともに、見学、文化体験、生活などを通じ、韓国を実体験します。</p> <p>成績評価方法(総合) 事前研修の出席と、韓国外国語大学語学研修院での授業の成績で評価されます。</p> <p>メッセージ 事前研修に関しては、受講者が出席できる時間帯に変更が可能です。早めに相談してください。</p> <p>教官連絡先 wadagaku@yamaguchi-u.ac.jp</p> <p>備考 集中授業</p>					

系列 外国語教育

分野 日本語

科目類型 総説

開設科目	日本語中級B	区分	講義	開設期	後期
対象学生	外国人留学生	単位	2 単位	曜時限	月曜日 3・4 時限
担当教官	門脇薫				
<p>授業概要 本授業では、日本語の中級前半レベルの総合的な能力を養う。特に読解練習を中心にを行い、中級前半レベルの語彙・文法事項を習得し、運用できるような様々な4技能の練習も行う。</p> <p>授業一般目標 日本語の中級前半レベルの語彙・文法事項を習得し、日常生活・大学生活において運用できる。様々なテーマの文章を読み、内容や書き言葉について理解ができる。それぞれのテーマについて考え、自分の考えを日本語で表現できるようになる。</p> <p>成績評価方法(総合) 小テスト、定期テストで習ったことを習得しているかを評価する。「書く」タスクは宿題として提出する。4技能に関する様々な練習やタスクを課し、演習として評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：ニューアプローチ中級日本語, 日本語研究者教材開発室, 日本語研究者, 2005年</p> <p>教官連絡先 kkaoru@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

系列 外国語教育

分野 日本語

科目類型 総説

開設科目	日本語初級 B	区分	講義	開設期	後期
対象学生	外国人留学生	単位	2 単位	曜時限	月曜日 5・6 時限
担当教官	門脇薫				
<p>授業概要 日本語の初級レベルの人を対象に、日本語の初級レベルの基本的な語彙、文法の指導をします。できる限り視聴覚教材も効果的に使って習った日本語を使って話せるようなコミュニカティブな授業をします。</p> <p>授業一般目標 日本語の初級レベルの語彙・文法事項を習得し、日常生活における基本的な会話ができるようになる。</p> <p>成績評価方法 (総合) 小テスト、定期テストで習ったことを習得しているかを評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：みんなの日本語初級 I、II、, スリーエーネットワーク, 1998 年；聞き取りのタスクシート、補助教材等は授業で適宜使用する。</p> <p>教官連絡先 kkaoru@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

系列 外国語教育

分野 日本語

科目類型 総説

開設科目	日本語中級 1 B	区分	講義	開設期	後期
対象学生	外国人留学生	単位	2 単位	曜時限	火曜日 1・2 時限
担当教官	今井新悟				
<p>授業概要 作文の授業です。論理的な文章の書き方の基本的なルールを学び、課題作文を通して、論理的な文章の書き方を身に着けます。前期と内容は同じですが、課題が異なりますので、積み上げ可です。</p> <p>授業一般目標 段落や論理性などの文章作成のルールについて学びます。文章を読み、論理性を検証します。自分でたくさんの文章を書きます。他の人の文章を批判的に検証します。文章を推敲します。</p> <p>成績評価方法 (総合) 課題提出、授業への意欲・貢献度を総合的に判断します。欠席は 4 回以上で欠格条件となります。遅刻は 3 回で欠席 1 回とみなします。</p> <p>教科書・参考書 教科書：プリント教材を配布します。教科書は使いません。 / 参考書：授業で指示します。</p> <p>教官連絡先 メールアドレスとオフィスアワーは授業で示します。</p>					

開設科目	日本語上級 1 B	区分	講義	開設期	後期
対象学生	外国人留学生	単位	2 単位	曜時限	水曜日 1・2 時限
担当教官	中溝 朋子				
<p>授業概要 日本語上級レベルの学習者を対象に、現代人や現代社会が抱える問題について書かれた文章を読んでテーマについて理解を深め、そこで使用される語彙・表現・漢字などの運用力を高める。</p> <p>授業一般目標 日本語上級レベルの学習者を対象に書かれた文章を理解できる。文章に出てきた語彙・表現・漢字を習得し、運用できる。扱ったテーマについて、日本語で自分の考えを表現できる。</p> <p>成績評価方法 (総合) 出席および授業参加度、小テスト、宿題、中間試験、期末試験の結果を総合して評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：『テーマ別上級で学ぶ日本語(改訂版)』, 阿部祐子他, 研究社, 2006 年</p> <p>教官連絡先 電話番号：083-933-5984 オフィスアワー：金曜日 10:30-13:00</p>					

開設科目	日本語中級 2 B	区分	講義	開設期	後期
対象学生	外国人留学生	単位	2 単位	曜時限	水曜日 3・4 時限
担当教官	杉原道子				
<p>授業概要 日本語を 300 時間ぐらい勉強し、すでに初級の学習が終わった留学生のためのクラスです。書き言葉の文法、語彙、漢字について説明します。簡単な説明文や論説文を読みます。日本文化や時事問題にも触れ、それらについてクラス討論をします。</p> <p>授業一般目標 日本語中級レベルの文法、語彙、漢字を学習し、レポートが書けるようになる。</p> <p>成績評価方法 (総合) 期末試験、漢字テスト、レポート、出席等を総合的に判断して成績評価をする。</p> <p>教科書・参考書 教科書：中級日本語, 東京外国語大学 留学生日本語教育センター, 凡人社, 1994 年</p> <p>メッセージ 日本語を短時間でマスターするための学習方法を説明します。</p> <p>教官連絡先 メールアドレス：michikos@yamaguchi-u.ac.jp オフィスアワー:月曜日、15:00~ 電話番号：933-5985</p>					

開設科目	日本語上級 2 B	区分	講義	開設期	後期
対象学生	外国人留学生	単位	2 単位	曜時限	木曜日 3・4 時限
担当教官	赤木弥生				
<p>授業概要 初めにテーマ別にさまざまな問題について話し合い、問題意識を持ち意見を出し合う。その後、本文のテープを聞いた後で、内容を推測し、理解を深める。テーマごとの語彙表現や文法について学ぶ。また段落ごとに読み進めるリーディング・ストラテジーを使っの読解練習および段落を構成して書くパラグラフ・ライティングの練習をする。また、会話表現について学び、場面や状況に応じた表現方法の違いを知り、日本語での判断能力を養成する。</p> <p>成績評価方法 (総合) 出席 筆記試験 面接試験</p> <p>教科書・参考書 参考書：留学生の日本語 (3) 論文読解編, アカデミックジャパニーズ研究会編, アルク, 2001 年</p> <p>メッセージ 講義を理解するための日本語を「聞く、話す、読む、書く」のすべて総合的に伸ばすため、課題や要求が高くなるが、講義を理解するための日本語学習の最終段階なのでがんばりましょう。</p> <p>教官連絡先 赤木弥生 オフィスアワー：火曜日午後 15 時～16 時 電話 083 - 933 - 5986 E-mail: yayoia@yamaguchi-u.ac.jp 赤木弥生</p>					

開設科目	日本語中級 3 B	区分	講義	開設期	後期
対象学生	外国人留学生	単位	2 単位	曜時限	木曜日 5・6 時限
担当教官	中溝 朋子				
<p>授業概要 日本語中級レベルの中～後半の学習者を対象に書かれた日本の社会や日本人の考え方に関する文章を読んで理解を深め、そこで使用される語彙・表現・漢字などの運用力を高める。</p> <p>授業一般目標 日本語中級レベルの中～後半の学習者を対象に書かれた文章を理解できる。文章に出てきた語彙・表現・漢字を習得し、運用できる。</p> <p>成績評価方法 (総合) 出席および授業参加度、小テスト、宿題、中間試験、期末試験の結果を総合して評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：『テーマ別中級から学ぶ日本語 (改訂版)』, 荒井礼子他, 研究社, 2003 年</p> <p>教官連絡先 電話番号：083-933-5984 オフィスアワー：金曜日 10:30-13:00</p>					

開設科目	日本語上級B	区分	講義	開設期	後期
対象学生	外国人留学生	単位	2 単位	曜時限	木曜日 3・4 時限
担当教官	門脇薫				
<p>授業概要 本授業では大学で求められる基礎的な書く(レポート、論文を書く)力を養う。書き言葉や説明的な文章の構成について、読解練習と組み合わせで説明を行なう。練習問題及び「書く」課題を課し、それについてのフィードバックを与える。</p> <p>授業一般目標 説明的な文章を読み、内容や文章の構成について考察する。文章の展開方法を理解し、構成に気をつけて自分の考えが日本語で書ける。</p> <p>成績評価方法(総合) 各課の課題、最終レポート</p> <p>教科書・参考書 教科書: 改訂版 留学生のための論理的な文章の書き方, 二通信子, スリーエーネットワーク, 2003年; 日本語を書くためのトレーニング, 野田尚史, ひつじ書房, 2001年</p> <p>教官連絡先 kkaoru@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

後期 - 一般系列

系列 一般

分野 一般総合

科目類型 包括

開設科目	パソコンSOS2	区分	その他	開設期	後期
対象学生	人・教2年，経・理3年	単位	2単位	曜時限	月曜日 11・12時限
担当教官	糸長雅弘，西口毅				
<p>授業概要 大学教育の問題点の一つは、学生自らが「発見し、はぐくみ、かたちにする」機会の乏しさである。受身の授業だけでは、問題探求・解決能力を育てることができない。本授業では、学生がパソコンSOSセンターにおけるパソコンユーザ支援に主体的に取り組み、その活動を通して「発見し、はぐくみ、かたちにする」ことを実体験する。</p> <p>授業一般目標 パソコンSOSセンターの学生スタッフとしての活動・体験を通して、パソコンのスキルを向上させ、問題解決能力、文書作成能力、自己表現力を身に付ける。また「パソコンSOS1」の既修得者はSA(スチューデントアシスタント)として、履修者の指導を行い、指導能力を身に付ける。</p> <p>成績評価方法(総合) 出席率80%未満を欠格条件とし、毎回のレポート作成と学期末の報告書作成を総合的に評価する。</p> <p>メッセージ パソコン相談員として活動するので、誰でも受講できるというわけではありません。受講希望者に対して、初回に能力診断テストを行い、パソコンに関するスキルが一定の水準以上の学生に履修を認めます。「パソコンSOS1」の既修得者については、無条件に履修を認めます。パソコンのトラブルなどで悩んでいる人の役に立ちたいという意欲を持つ学生を歓迎します。なお、授業の性格から、パソコン相談を行うことが授業への出席となります(曜日は希望に応じて決定)</p> <p>教官連絡先 E-mail: itonaga@yamaguchi-u.ac.jp, 電話: 083-933-5350, 研究室: 教育学部 224号室, オフィスアワー: 水曜 10:20 - 11:50</p>					

系列 一般

分野 一般総合

科目類型 包括

開設科目	やまぐち学	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教2年，経・理・農3年	単位	2単位	曜時限	火曜日 3・4時限
担当教官	五島淑子				
<p>授業概要 教育学部の教官を中心にしたオムニバス形式の授業です。各教官の取り上げるトピックスは異なりますが「やまぐち」という共通したテーマを設定します。</p> <p>授業一般目標 私たちの暮らす「やまぐち」をキーワードに様々の方向・学問領域からのアプローチを試みます。</p> <p>成績評価方法(総合) 各教官がそれぞれの担当の範囲で評点したものを合算して評価する。</p> <p>教官連絡先 教育学部 生活健康科学コース 五島淑子</p>					

系列 一般

分野 一般総合

科目類型 包括

開設科目	生命と倫理	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教2年, 経・理・農3年	単位	2単位	曜時限	火曜日3・4時限
担当教官	利部 聡ほか12名				
<p>授業概要 人は、たった1匹の精子と、数百万個のうちの1個の卵子が会って長い人生を開始する。せっかくこの世に生を受けた命も、光を見ることなく闇から闇に葬り去られたり、生まれてこなかったほうがよかったと、治療停止をされたりする新生障害児もいる。成長しても、いじめに会って命を奪われ、戦争でも殺される。人の命を支えるために殺される家畜や実験動物の命はどうか。私達は、こういった問題をどのように考えたらよいのだろうか。命を取りまく問題をいろいろな角度から取りあげ、「命」と「倫理(人の道)」をともに考え、講義する。</p> <p>授業一般目標 皆さんの知的欲求を刺激し、大学で身に付けなければならない自己学習能力(理解能力・計画能力・情報能力)を養うことも目的とします。</p> <p>成績評価方法(総合) 授業に出席し、4000字程度の感想文を提出してください。おもにこの2点で評価いたします。</p> <p>メッセージ 山口で考えられる最高の講師に依頼しました。「いのち」をさまざまな切り口から論じ、みんなで考えてみませんか。毎回講師が変わり、「いのち」というテーマがこれほどまでに奥深いと実感させられます。後期は就職活動・教育実習等で受講できないことがあると思います。相談に応じます。順番は講師の都合で変わることがあります。</p> <p>教官連絡先 利部 聡(かがぶ さとし) 電話: 083-933-5910 居室: 農学部北ウイング 211号室 オフィスアワー: 金曜日11時から12時。在室時は随時</p>					

系列 一般

分野 一般総合

科目類型 包括

開設科目	日本経済・社会概観	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教2年, 経・理・農3年	単位	2単位	曜時限	火曜日3・4時限
担当教官	仲間瑞樹ほか6名				
<p>授業概要 この講義では、現在の日本経済・社会が抱える問題点・その原因・今後の解決・展望について、数名の教員が、自身の専門の分野の見地から講義をします。日本の経済政策、労働・福祉問題・高齢化社会問題・税財政・地方財政・日本のマクロ経済などの分野からの講義を予定しています。</p> <p>授業一般目標 現在の日本が抱える問題点を自身で把握し、自身でその問題を考える癖をつけること。</p> <p>成績評価方法(総合) 各トピック終了後、レポートを作成、提出し、提出していただいたレポートから評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 教科書・参考書はあらかじめ指定していません。教員からの紹介があるかもしれません。/ 参考書: 教科書・参考書はあらかじめ指定していません。教員からの紹介があるかもしれません。</p> <p>メッセージ 自身の身の回りで起こっている経済・社会問題と自身の距離感を把握できるようにして下さい。</p> <p>教官連絡先 何かご質問がありましたら、件名(タイトル)を必ずつけて、電子メールをお願いします。nakama73@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

系列 一般

分野 一般総合

科目類型 包括

開設科目	クローズアップ・ドイツ	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教2年, 経・理・農3年	単位	2単位	曜時限	水曜日 3・4時限
担当教官	Hintereder-Emde Franz 他				
<p>授業概要 山口大学やその他の機関でドイツにかかわる研究をしているいろいろな人々が、ドイツでの生活体験や自分の研究分野に基づいて、「ドイツの映画」「ドイツの絵画」「ドイツの経済や日常生活」「ドイツの社会保障制度」「ドイツの映画」「ドイツの飲食文化」「ドイツと環境」といった視点から、ドイツについての情報を提供する。基本的には一人の講師が2回にわたって講義する。</p> <p>授業一般目標 2004年5月1日に10カ国が新たに加入し、現在25カ国からなっている「EU」が現代の世界で果たしている役割は計り知れないし、中東情勢が依然として不安定な現在その存在意義が今後一層高まることは確実である。この授業の目標は、ドイツ語の履修を問わずに、学生に、「EU」の中で中心的な役割を果たしているドイツの真の姿を様々な角度から伝えることで、ドイツをより身近に感じるようになってもらいたいということにある。対象学生は、2年生以降となっているが、1年生も奮って聞いていただきたい。異文化理解や外国語へのオリエンテーションにもつながると思われる。</p> <p>成績評価方法(総合) 授業内レポート=30%未満。各担当教官ごとに課題を出し、100点満点で成績をつける。マネージャーがそれを取りまとめ、計算し最終成績とする。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 各担当者が適宜教材を配布する。</p> <p>メッセージ 各担当教官の講義一週目に「質問の時間」をもうけるので、「二週目に聞きたいこと」があれば、口頭ないしは文書で申し入れるべく準備しておくこと。講義で紹介されるのはドイツの一面にすぎない。その他の事柄についても出来るだけ自分で興味を持って調べるようにして欲しい。</p> <p>教官連絡先 mail: emde@yamaguchi-u.ac.jp, tel/fax: 933-5287, office hour: 月曜日 7・8時限(14:30~16:00)</p>					

系列 一般

分野 一般総合

科目類型 包括

開設科目	現代経営学事情	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教2年, 経・理・農3年	単位	2単位	曜時限	水曜日 3・4時限
担当教官	有村貞則				
<p>授業概要 この授業では、経営学に関するオムニバス方式の講義をおこなう。経済学部経営学科の各教員が専門領域の基礎知識と最新のトピック・研究内容について、学生にわかりやすく説明する。</p> <p>授業一般目標 経営学で議論されている問題に関心を持ち、問題の所在や内容を知る。</p> <p>成績評価方法(総合) 1. 学期末レポート(60%): 各教員がそれぞれ担当した領域から課題を出す。受講者はその課題の中から一つの課題を選択し、レポートを作成して提出する。2. 小レポート(40%): 各トピックの関心事・感想等を出席カードに記入し、提出する。3. 出席(欠格条件): 8割以上の出席を必須とする。出席回数が開講回数の8割に満たない場合、単位を認めない。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 経営学をやさしく学ぶ, 山口大学経済学部経営学科, 中央経済社, 2005年</p> <p>メッセージ 授業の順番・内容は変更になることがあります。</p>					

系列 一般

分野 一般総合

科目類型 包括

開設科目	山口県の地域政策	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教2年，経・理・農3年	単位	2単位	曜時限	水曜日3・4時限
担当教官	辻田昌次				
<p>授業概要 我々の生活している山口県について、皆さんはどれだけ知っているでしょうか。この授業は、県知事や教育長をはじめとする県の各部局の政策責任者や経験者から直接、山口県の産業や教育・福祉・環境・健康などの各分野の現状・問題点さらには今後進むべき方向などについての講義を受け、山口県行政についての概要を知るとともに、関心を深め、山口県のイメージや自分の意見・考え方を形成することを目指す。また、授業を通じて、市町村合併や行政改革など激変する地方自治・地方行政のあり方を考える契機となることを目指す。このため、県・市町職員、教員等の公務員志望の学生の受講を歓迎する。</p> <p>授業一般目標 山口県について関心を深める。山口県の概況を知る。山口県が何をどのように取り組んでいるかを知る。山口県についてのイメージを形成する。山口県についての自分の意見・考えを形成する。地方自治・地方行政の現状・問題点・あり方を認識する。</p> <p>成績評価方法 (総合) 小テスト・授業内レポートおよび出席点で評価する。</p>					

系列 一般

分野 一般総合

科目類型 包括

開設科目	観光と経済	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教2年，経・理・農3年	単位	2単位	曜時限	水曜日5・6時限
担当教官	油納健一ほか				
<p>授業概要 平成17年4月、全国の国立大学に先駆けて、本学経済学部にて観光政策学科が設立されました。この新学科は山口県、ひいては日本の観光政策をリードする研究・教育拠点になっていく存在として、全国から注目を浴びています。本講義は「経済学によって観光を科学する」とはどのようなことなのかを初心者・一般向けに解説する授業です。リレー講義の中で、観光が世界経済に及ぼす影響、観光産業の現状や展望、観光が地域経済や自然環境に及ぼす影響、等々を考察していきます。観光経済を初めて勉強する人のためのテキスト『観光経済学入門』を使って講義を行います。</p> <p>授業一般目標 「経済学によって観光を科学する」ことの意義を学び、わが国や山口県における観光産業の現状や将来を考察するための基礎知識を身につけます。</p> <p>成績評価方法 (総合) 毎回、講義終了時に課題が通知される。受講生はその課題に対して800字以上のレポートを作成し、A4用紙にプリントアウトした上で、これを次回の講義に持参する。TAが講義の開始と同時に回収を始める。手書きのレポートは、提出できない(手書きのレポートは読みにくいという教員がおられます)。このレポートの合計点により成績評価を行なう。なお、TAがすでにレポートを回収し終わっている場合、学生はレポートを提出することができない。それにもかかわらず、レポートの受領をしつこく求める学生は不正行為として不合格とする。また、他の授業・就職活動・病気を理由として本講義に出席できない場合であっても、レポートの提出は認めないし、他の救済措置もとらない。遅刻者・欠席者を減少させるためである。なお、雑談・筆談して講義を妨害するなど、教員の指示に従わない者は不合格とする。</p> <p>教科書・参考書 教科書：『観光経済学入門』、J・マック、日本評論社、2005年 / 参考書：必要に応じて授業中に指示する。</p>					

系列 一般

分野 一般総合

科目類型 包括

開設科目	キャリアと就職	区分	講義	開設期	後期
対象学生	工3年	単位	2単位	曜時限	水曜日5・6時限
担当教官	平尾元彦				
<p>授業概要 キャリアとは、職業経験、働く力。仕事にかかわる人生経路を意味する言葉である。学生は皆、大学を卒業(あるいは大学院を修了)して新たな活躍のステージへと移行するが、自分自身の将来のキャリアを考えて進路選択をすることが望ましい。その最初の活動が大学生の就職活動であり、大学院への進学を含む進路選択活動である。本講義は、「自分のキャリアは自分で考える」ための考え方を理解するとともに、働くための基礎知識を得ることを目的とするものであり、経済・社会、会社、そして自己理解のための理論および現実を学ぶことで、将来のキャリア選択や、現実問題として直面する就職活動に役立つ知識と方法論の習得をめざす。技術者としてのキャリア形成の考え方や大学院で学ぶことの意義、工学部学生の就職活動の進め方など工学部独自のメニューを盛り込みながら講義を進める。授業は講義形式で行うが、一人一人が自分の問題としてキャリアを考えることができるように、宿題レポートを多数とり入れた実践的な講義をめざしている。学んだことは自分の就職活動にいかしてほしい。</p> <p>授業一般目標 自分のキャリアを考えることの重要性を理解し、その方法論習得する 働く前に知っておくべき経済・社会・企業に関する基礎知識を習得する キャリア意識を高め、学業ならびに就職活動への意欲を増す</p> <p>成績評価方法(総合) 毎回提出を求めるミニレポートのほか、課題レポート(宿題)にて評価する。レポートは「キャリアインタビュー」「キャリアシート」「キャリアモデル」「企業研究きり発見」「技術人材インタビュー」「キャリアプラン」の6回を予定している</p> <p>教科書・参考書 教科書：講義中に資料を配布する / 参考書：講義中に紹介する</p> <p>メッセージ 総合科目「キャリアと就職」は、前期火曜日3・4限(農学部優先) 水曜日1・2限(人文・教育・経済学部優先) 水曜日5・6限(人文・教育・経済学部優先)、水曜日7・8限(理学部優先)の4コマを吉田キャンパスで開講、後期は常盤キャンパスで水曜日5・6限の1コマ開講する。基本的には同じ内容であり、履修できるのはいずれか一つである。第一回目の講義で希望をとるの必ず出席すること。なお、受講者多数の場合は上学年を優先する。</p> <p>教官連絡先 e-mail:hirao@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

系列 一般

分野 一般総合

科目類型 包括

開設科目	科学・技術と人間社会	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教2年, 経・理・農3年	単位	2単位	曜時限	水曜日5・6時限
担当教官	内藤博夫				
<p>授業概要 (副題: 数理学と社会) 数学は、古代ギリシャの時代から社会生活と関わりを持ちながら発展してきた。この講義では、このような数学の歴史を概観するとともに、一見すると見えない身の周りに潜む数学的な背景や現象を発見し、それらをどのように説明あるいは表現するかを学ぶ。講義は、オムニバス形式で、いくつかの数学のトピックを動機付けとして提示する。その後、それに関連する背景や現象をおのおので調査し、文章を用いて論理的に表現するという手順で進行する。</p> <p>授業一般目標 社会の中に潜む数理的現象を発見する能力を身に付ける。</p> <p>成績評価方法(総合) 隔週のレポート提出及び取り組み姿勢により総合的に判断する。</p> <p>教科書・参考書 参考書：参考書備考：適宜プリント等を配布する</p> <p>メッセージ 講義の順番は変更する事がありますが、意欲的に取り組んでください。</p> <p>教官連絡先 理学部1号館 内藤博夫(理学部137号室)</p>					

系列 一般

分野 一般総合

科目類型 包括

開設科目	知的財産権論	区分	講義	開設期	後期
対象学生	工(夜)2年, 工(昼)3年	単位	2単位	曜時限	水曜日1・2時限(夜間)
担当教官	木村友久, 望月信介, 山本豪紀, 高海克彦, 原田直幸, 中村秀明, 福代和宏, 堤 宏守				
<p>授業概要 特許、実用新案、意匠、商標、著作権など知的財産権についての知識を実例を交えて講義する。また、特許調査などは、特許電子図書館などを用いて実際に検索を行う。さらに、各自の専門分野を基礎とした実践的な演習を行う。</p> <p>授業一般目標 (1)特許、実用新案、意匠、商標、著作権など知的財産権についての基本的な知識を習得する。(2)特許調査などの演習を通じて、特許活用の実践的なスキルを習得する。</p> <p>成績評価方法(総合) 特許調査、活用プランニングなどの演習で作成したレポートを、(1)知的財産権の基礎知識、(2)思考力、(3)特許調査のスキルの3つの観点から評価する。また、必要に応じて試験などで、基礎知識の理解度を評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：知的財産教本, 山口大学知的財産本部, EME パブリッシング, 2004年</p> <p>メッセージ 現在、社会のあらゆる場所で、知的創造活動の成果を守り、活用することが要求されています。本講義を通して知的財産権についての知識を深めてください。なお、受講人数によっては特許情報検索演習の都合から受講制限する場合があります。また、詳細な授業計画は、講義開始時に指示しますので受講希望者は、初回に必ず出席して下さい。</p>					

系列 一般

分野 一般総合

科目類型 包括

開設科目	世界の文学	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教2年, 経・理・農3年	単位	2単位	曜時限	木曜日3・4時限
担当教官	平山、阿部、根ヶ山、井上、平野芳信、尾崎、森野、宮原、池園、皆尾、ヒンターエーダー=エムデ、坂本				
<p>授業概要 日本、中国、イギリス、アメリカ、ドイツ、フランス各国の文学をめぐって、様々な観点からアプローチするオムニバス講義を行う。</p> <p>授業一般目標 優れた文学作品の読み方、味わい方を学びながら、世界や人間存在への理解を深める。</p> <p>成績評価方法(総合) 1週ごとに担当の先生から講義の内容に関する課題が出されます。その課題を短いレポートに纏めて、次週の授業の際に提出していただきます。成績は、各レポートの評定の総計となります。欠席が多いと当然不利となります。</p> <p>教科書・参考書 参考書：参考書は講義の際適宜紹介されます。</p>					

系列 一般

分野 一般総合

科目類型 包括

開設科目	メディア情報処理	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教2年, 経・理・農3年	単位	2単位	曜時限	木曜日 3・4時限
担当教官	熊谷武洋				
<p>授業概要 本講義は Adobe 社の Illustrator というソフトを利用し、コンピュータを用いたグラフィック デザインを行う。初心者を対象としているが、単に操作方法だけにとどまらず画像情報処理の基本原理やデザイン理論についても言及する。テキストは以下を用いる。 http://mis.edu.yamaguchi-u.ac.jp/kaisetu/note_text_2003/13/index.html</p> <p>授業一般目標 本講義は、簡単なグリーンカードやサークル勧誘ポスター、CD ジャケットなどを制作できる程度の操作方法を修得し画像情報処理における基本的な概念を理解することを目標としている。</p> <p>成績評価方法 (総合) 提出された課題制作について、その制作過程、完成度についてそれぞれ総合的に評価する</p> <p>教官連絡先 E-mail:kumagai@yamaguchi-u.ac.jp 電話:083-933-5403</p>					

系列 一般

分野 一般総合

科目類型 包括

開設科目	平川地域研究入門	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教2年, 経・理・農3年	単位	2単位	曜時限	木曜日 7・8時限
担当教官	外山英昭				
<p>授業概要 平川の自然・文化・暮らしについてまず地域の方の話を聞き、つづいて各担当教員が説明をする。その上でグループを結成し、グループごとに現地調査をした上で、報告をまとめ、全体場で発表する。また、調査結果をレポートとしてまとめ提出する。</p> <p>授業一般目標 平川の自然・文化・暮らしについて講義を受け、平川の歴史および現状を知ることができる。自然・文化・暮らしの中からテーマを選び、地域調査をし発表することができる。</p> <p>教科書・参考書 参考書：平川文化散歩(増補版), 石川卓美著, 山口市平川公民館, 1990年; 石川卓美『増補 平川文化散歩』(山口市平川公民館発行)</p> <p>メッセージ 外山以外の担当教官については開講時に紹介します。受講生は40人以下とします。</p> <p>教官連絡先 教育学部社会科教育教室 外山(内線 5323)</p>					

系列 一般

分野 一般総合

科目類型 包括

開設科目	歴史の真髄－歴史学への招待	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教2年、経・理・農3年	単位	2単位	曜時限	金曜日3・4時限
担当教官	中村・瀧澤・尼川・藤永・村田・橋本・真木・田中・瀧澤・馬・滝野				
<p>授業概要 歴史学の誕生は、紀元前にさかのぼるけれども、歴史学は今なお多くの人の関心を引き付けてやまない。その理由はどこにあるのであろうか。この授業では、西洋史、日本史、東洋史、考古学とそれぞれ専門を異にする12名の教員が、日頃研究していることに基づき、いかにして独自の解釈を行い、自らの主張を形作っているのか、その手の内をすべて公開して、人文的学問のありかたを提示する。</p> <p>授業一般目標 物事を秩序だてて考えるとき、そのうちの一つである歴史的な考え方について学ぶ。</p> <p>成績評価方法(総合) 最大の評価は期末試験によるけれども、ミニ・テストや出席も考慮する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：それぞれの教員が必要に応じて指示する / 参考書：歴史学概論、増田四郎、講談社学術文庫、1994年；それぞれの教員が必要に応じて指示するが、もっと深く歴史学について知ろうと思う方には上の本をお勧めします。</p> <p>メッセージ 毎回テーマが異なるので、全体を受講すること</p> <p>教官連絡先 tomo@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

系列 一般

分野 一般総合

科目類型 包括

開設科目	時間学	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教2年、経・理・農3年	単位	2単位	曜時限	金曜日3・4時限
担当教官	青山 拓央				
<p>授業概要 時間学研究所のスタッフによる授業(8名程度の講師が交代で行なう)体内時計の機構、時とは何か、生命の発生と絶滅、社会的時間など、時間学の研究成果を分かりやすく学び、その面白さを知るとともに、自分にとっての時間の問題を考える。</p> <p>授業一般目標 多岐にわたる専門分野の講義から、時間学の成果と、時間をあつかうための幅広い知識とを習得し、時間と人間社会に対する理解を深める。</p> <p>成績評価方法(総合) 各講師により、授業内レポートあるいは小テストを実施し、その結果で評価を行なう。そのため、各講義への出席はもちろん、講義内容を意欲的に理解する姿勢が重要となる。</p> <p>教科書・参考書 教科書：時間学入門(仮題・2007年刊行予定)、辻 正二ほか、恒星社厚生閣、2007年；本教科書は、授業を担当する各講師により、講義内容に沿うかたちで執筆されている。そのため、受講者は所持することが望ましい。 / 参考書：『やわらかな生命の時間』、井上慎一、秀和システム、2006年</p>					

系列 一般

分野 一般総合

科目類型 包括

開設科目	実践的現代芸術・文化論	区分	講義	開設期	後期
対象学生	人・教2年，経・理・農3年	単位	2単位	曜時限	金曜日 9・10時限
担当教官	奥津・貞方・藤川・中野・菊屋・堀家・H.E. フランツ				
<p>授業概要 山口という場で行われている現代芸術およびその支援活動の姿を体験的に学習する。実際の芸術実践者をお招きしての作品紹介・意見交換、スコットランドなどとの芸術・文化交流活動の実践例、グローバルな芸術・文化史についての研究者の報告、さらには芸術イベント探訪をも織り込んで、知られざる地域の文化活動を学ぶ。</p> <p>授業一般目標 長い活動の歴史とグローバルな規模を持って展開する山口の現代芸術・文化活動を学び、地域に根ざしつつ、世界と結びつく人間活動のあり方を考えることを目標とする。</p> <p>成績評価方法（総合） 毎回の授業の内容について、その関心や理解の度合いを問う課題回答を求め、出席状況と合わせて総合評価する（欠席3回以上は原則として欠格）。</p> <p>教科書・参考書 教科書：多くの授業実施者からなるので、その都度配付するプリント類によって授業を行う。 / 参考書：授業の報告者・話題提供者によって、その都度、適切な文献等が指示される。</p> <p>メッセージ 山口の芸術・文化振興 NPO 活動に関心のある人も来てください。</p> <p>教官連絡先 kokutsu@mac.com sadakata@yamaguchi-u.ac.jp</p>					

前期 - 夜間主コース

開設科目	物理学入門1	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	工(昼)2年	単位	1単位	曜時限	火曜日9・10時限
担当教官	末岡 修				
<p>授業概要 高校での物理学の学習やその理解が不十分であることを考慮して、高校物理の要点と大学での物理はどのように理解すればよいのかを中心に講義を進める。身近にある現象や器物から物理を考えることに努め、できるだけ例に挙げて取り上げていく。毎時間、理解に必要な所について小テストを行う。また、簡単な宿題も課す。微分と積分の簡単なものは出来るものとする。毎時間、理解できたことと理解できなかったことを1人1人に具体的に把握さす。</p> <p>授業一般目標 位置・速度・加速度の関係を式で表し、簡単な例題が解けるようになる。放物運動が解けるようになる。これらの過程で、ベクトルとその成分の関係を理解し、各成分の運動が独立であることを理解する。正規の講義「物理学」が理解できるようになる。</p> <p>成績評価方法(総合) 小テストなど(50%程度)と試験との総合評価</p> <p>教科書・参考書 参考書: 基礎物理学(改訂版), 原康夫著, 学術図書出版, 1996年; 「新物理学」, シップマン著, 学術図書出版社, 2002年</p> <p>メッセージ 基本的に出席しないと単位は取れない。出席できない人への対応は特別に指示するので、学期の初めに相談すること</p> <p>教官連絡先 非常勤のため E-mail mqpbm353@yahoo.co.jp にて対応する</p>					

開設科目	物理学入門2	区分	講義	開設期	前期後半期
対象学生	工(昼)2年	単位	1単位	曜時限	火曜日9・10時限
担当教官	末岡 修				
<p>授業概要 高校での物理学の学習やその理解が不十分であることを考慮して、高校物理の要点と大学での物理はどのように理解すればよいのかを中心に講義を進める。身近にある現象や器物から物理を考えることに努め、できるだけ例に挙げて取り上げていく。毎時間、理解に必要な所について小テストを行う。また、簡単な宿題も課す。微分と積分の簡単なものは出来るものとする。毎時間、理解できたことと理解できなかったことを1人1人に具体的に把握さす。</p> <p>授業一般目標 電気力・電場・電位・電気的エネルギーの関係を学ぶ。オームの法則が自由に使えるようになる。</p> <p>成績評価方法(総合) 小テストなど(50%程度)と試験との総合評価</p> <p>教科書・参考書 参考書: 基礎物理学(改訂版), 原康夫著, 学術図書出版, 1996年; 「新物理学」, シップマン著, 学術図書出版社, 2002年</p> <p>教官連絡先 非常勤のため E-mail mqpbm353@yahoo.co.jp にて対応する</p>					

系列 自然科学

分野 化学

科目類型 基礎

開設科目	化学入門1	区分	講義	開設期	前期前半期
対象学生	工(夜)2年,工(昼)2年	単位	1単位	曜時間	月曜日9・10時限
担当教官	松崎浩司				
<p>授業概要 工学を学ぶ学生を対象として、化学に関する理解が不十分な学生に対して、工学を学ぶ学生にその専門にかかわらず化学の基礎知識の重要性を認識させるとともに将来的に化学について関係しなければならなくなった時に勉強するための初歩の知識について、身のまわりの現象などと関連付けながらやさしく解説する。</p> <p>授業一般目標 大学で工学を学ぶ者にとって、化学の基礎知識の重要性を認識すること。化学を勉強するに当たって特に化学Iを学ぶ前提としての導入的な初歩の知識を理解すること。</p> <p>成績評価方法(総合) 定期試験および講義中の演習レポートにより総合的に評価する。演習を重視するので、必然的に出席が非常に重要になる。</p> <p>教科書・参考書 教科書：化学入門, 大野幸一、妹尾 学、今任稔彦、高木 誠、福田 豊、池田 功、共立出版, 1997年 / 参考書：やりなおし高校の化学, 斎藤勝裕, ナツメ社, 2005年</p> <p>メッセージ よく復習をすること。</p> <p>教官連絡先 ko-matsu@c-able.ne.jp</p>					

系列 応用科学

分野 応用科学

科目類型 総説

開設科目	技術概論	区分	講義	開設期	前期
対象学生	工(昼・夜)4年	単位	2単位	曜時間	月曜日1・2時限(夜間)
担当教官	古川浩平, 田村洋一, 濱田純夫				
<p>授業概要 本講義は、建設技術の基礎を英語で習得するためのものである。</p> <p>授業一般目標 この講義は土木工学の概観ばかりでなく、社会・環境との連繋の有り方を学ぶことを目標とする。</p> <p>(C) 実務への応用力と倫理観のある技術者を目指して以下の能力を身につける。・C-1 実務上の問題点や課題を理解し、適切に対応する能力・C-2 土木技術者の関与するプロジェクトが社会や自然環境に及ぼす影響を理解する能力(技術者倫理・環境倫理)(D) 豊かな教養と多面的な視点を持つ技術者を目指して以下の能力を身につける。・D-1 技術、人類、文明、地域、自然の相互の係わりを理解する能力・D-2 基礎的な国際コミュニケーション能力</p> <p>成績評価方法(総合) 全回出席を条件とする。ただし、やむを得ない事情があった場合には、次回の講義までに必ず担当教官に届け出る。毎回レポートを課すので、必ず全て提出すること。評価は、最終的に課したレポートの内容により判定する。</p> <p>教科書・参考書 教科書：プリント配布 / 参考書：プリント配布</p> <p>メッセージ 18年度は濱田・関根が講義を行う。テキストはプリントとする。また、文章は英語で記述されている。</p> <p>教官連絡先 濱田純夫：E-mail shamada@yamaguchi-u.ac.jp, 電話 0836-85-9347, 研究室 施設材料工学</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 応用科学

分野 応用科学

科目類型 総説

開設科目	生命科学概論	区分	講義	開設期	前期
対象学生	工(昼)2年	単位	2単位	曜時限	木曜日1・2時限(夜間)
担当教官	石原得博、乾誠、河野道生、木村佳弘、河野裕夫				
<p>授業概要 クローン人間や遺伝子工学など生命科学の知識はよく耳にするようになりました。21世紀は生命科学の時代といわれ、社会生活を行う上で必須の常識となりつつあります。そこで、生命の誕生から病気や死に至るまでの種々の生命現象を取り上げ、様々な角度から科学的に検討し、学生諸君の新しい視点の構築の助けとなることを目指します。</p> <p>授業一般目標 複雑な生命現象や医学的問題のうちトピックスをとりあげ、科学的にどのようにして解析され、どこまで解明されているかについて理解する。</p> <p>成績評価方法(総合) 出席40%、授業態度や授業への参加度10~20%、小テスト10~20%、課題レポート20~40%程度で、総合評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 必要に応じて資料の配付を行う。/ 参考書: 生きもののからくり(改訂版), 中村和行 他, 培風館, 2006年</p> <p>メッセージ 授業中は携帯電話の電源を切る(又はマナーモード)。自分の頭で考えよう。関連ホームページ: http://web.cc.yamaguchi-u.ac.jp/legal/</p> <p>教官連絡先 大学院医学系研究科情報解析医学系学域、病理形態学分野 石原得博 (e-mail: tishiha@yamaguchi-u.ac.jp)</p> <p>備考 工学部 JABEE 対応科目</p>					

系列 応用科学

分野 応用科学

科目類型 展開2

開設科目	環境学	区分	講義	開設期	前期
対象学生	工(夜)3年	単位	2単位	曜時限	月曜日3・4時限(夜間)
担当教官	三好, 羽野, 只友, 小柳				
<p>授業概要 1)電磁波の人体への影響について述べる。2)ビジネスにおける環境学について考える。3)エネルギーと環境の関係について説明する。</p> <p>授業一般目標 1)電磁波が人体に及ぼす影響を知る。2)ビジネスと環境問題の現状を認識する。3)各種エネルギー利用と環境の関係を認識する。</p> <p>成績評価方法(総合) 1)レポート(小テスト形式を含む)を3回提出する。2)レポートと出席が所定の回数に満たない者には単位を与えない。</p> <p>教科書・参考書 参考書: 現代エネルギー・環境論, 新田義孝編, 電力新報社, 1999年; 物理・化学から考える環境問題, 白鳥紀一編, 藤原書店, 2004年; 電気の暮らしと健康不安, 電気学会電磁界生体影響問題調査特別委員会編, 電気学会, 2001年; 身の周りの電磁界と人の健康への影響, 電気学会電磁界生体影響問題調査特別委員会編, 電気学会, 2003年</p> <p>メッセージ 授業担当者は、第1週~第2週 三好、第3週~第6週 羽野、第7週~第10週 只友、第11週~第14週 小柳</p> <p>教官連絡先 三好 E-mail tmiyoshi@yamaguchi-u.ac.jp 電話番号 0836-85-9450 研究室 電気電子棟 A708 オフィスアワー 研究室入口に表示</p>					

開設科目	English Speaking	区分	講義	開設期	前期
対象学生	医・工2年	単位	2単位	曜時限	月曜日7・8時限
担当教官	Jim Rebstock				
<p>授業概要 この授業の目的は、英語をコミュニケーションの道具として使う能力を身に付けることです。この授業は知識より英語で対話するスキルを重視しながら、身近な話題を表す単語や表現を学びます。授業中では、学校で頭の中に注ぎ込まれた英語の「知識」を「歩くこと」や「日本語で話すこと」のような技能に変えていきます。授業中90分間の多くを、学生はひたすら英語で対話します。頭を英語らしい考え方に組み替え、自分の恥ずかしさを乗り越えるには、相当の苦勞を伴うこともありますが、できるだけ身近な話題を題材にします。授業中の活動を支援し英語能力の向上を保証するためには、授業外のインターネット予習と復習を行ってまいります。このようにして、TOEIC 得点アップや総合的な英語能力向上につながることをもう一つの目標とします。</p> <p>授業一般目標 (1) 身近なことからについて流暢に話せる力を身につける。(2) WBT を利用した自習課題を通して、基本的な語彙・文法的知識を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含フクむ)欠席した学生の成績は不可となる。 ・WBTによる自宅学習課題を期限内に提出すること。期限内に課題を提出しなかった場合は未提出1回につき、1回の欠席として扱われる(2回課題を提出しなかった場合は不可となる) ・以下の(A)と(B)の総合計により評価を行う。(A) 授業内の発言、コミュニケーション活動への参加度により、それに応じた評価ポイントを受け取る。(B) WBTを利用した自宅学習課題の成績に基づき評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 武本ティモシー著、仮題『English Speaking ー山大生が自分を英語で表現するためのテキスト』という統一教科書。</p> <p>メッセージ 英語はそう難しいものではありません。しかし、自分にとって無意味な音声を出し、日本語と比較すればあべこべな順序で、英語で文章を発することは知識というより勇気とします。英語を話すのは、人前で発表することと高飛び込みを足したような頭を真っ白にするほどのことです。しかし渡しのない無意味の海を向こう側へ移動するには、飛び込むしかありません。教科書にある身近な表現をうまく使いこなしながら、ともかく話すことによって、その海の中に飛び込み次第に自由に泳ぎまわり、いつの間にか自分が語で話しているのを忘れた時の喜びは、大変大きなものです。そして、それが力となって、他の場面でも自分を表現できるようになります。間違いを恐れず、まず、英語を話し言葉で使いましょう。英語の知識があるからそれを眠らせておかず自分の可能性に挑戦してみてください。</p> <p>教官連絡先 HP:http://www.eigodaigaku.com でのウェブカムを見てチャットルームを訪問してください。</p>					

開設科目	English Speaking	区分	講義	開設期	前期
対象学生	医・工2年	単位	2単位	曜時限	月曜日7・8時限
担当教官	尊田望				
<p>授業概要 この授業の目的は、英語をコミュニケーションの道具として使う能力を身に付けることです。この授業は知識より英語で対話するスキルを重視しながら、身近な話題を表す単語や表現を学びます。授業中では、学校で頭の中に注ぎ込まれた英語の「知識」を「歩くこと」や「日本語で話すこと」のような技能に変えていきます。授業中90分間の多くを、学生はひたすら英語で対話します。頭を英語らしい考え方に組み替え、自分の恥ずかしさを乗り越えるには、相当の苦勞を伴うこともありますが、できるだけ身近な話題を題材にします。授業中の活動を支援し英語能力の向上を保証するためには、授業外のインターネット予習と復習を行ってまいります。このようにして、TOEIC 得点アップや総合的な英語能力向上につながることをもう一つの目標とします。</p> <p>授業一般目標 (1) 身近なことからについて流暢に話せる力を身につける。(2) WBT を利用した自習課題を通して、基本的な語彙・文法的知識を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含フクむ)欠席した学生の成績は不可となる。 ・WBTによる自宅学習課題を期限内に提出すること。期限内に課題を提出しなかった場合は未提出1回につき、1回の欠席として扱われる(2回課題を提出しなかった場合は不可となる) ・以下の(A)と(B)の総合計により評価を行う。(A) 授業内の発言、コミュニケーション活動への参加度により、それに応じた評価ポイントを受け取る。(B) WBTを利用した自宅学習課題の成績に基づき評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 武本ティモシー著、仮題『English Speaking ー山大生が自分を英語で表現するためのテキスト』という統一教科書。</p> <p>メッセージ 英語はそう難しいものではありません。しかし、自分にとって無意味な音声を出し、日本語と比較すればあべこべな順序で、英語で文章を発することは知識というより勇気とします。英語を話すのは、人前で発表することと高飛び込みを足したような頭を真っ白にするほどのことです。しかし渡しのない無意味の海を向こう側へ移動するには、飛び込むしかありません。教科書にある身近な表現をうまく使いこなしながら、ともかく話すことによって、その海の中に飛び込み次第に自由に泳ぎまわり、いつの間にか自分が語で話しているのを忘れた時の喜びは、大変大きなものです。そして、それが力となって、他の場面でも自分を表現できるようになります。間違いを恐れず、まず、英語を話し言葉で使いましょう。英語の知識があるからそれを眠らせておかず自分の可能性に挑戦してみてください。</p> <p>教官連絡先 HP:http://www.eigodaigaku.com でのウェブカムを見てチャットルームを訪問してください。</p>					

後期 - 夜間主コース

開設科目	English Speaking	区分	講義	開設期	後期
対象学生	医・工2年	単位	2単位	曜時限	月曜日 9・10時限
担当教官	尊田望				
<p>授業概要 この授業の目的は、英語をコミュニケーションの道具として使う能力を身に付けることです。この授業は知識より英語で対話するスキルを重視しながら、身近な話題を表す単語や表現を学びます。授業中では、学校で頭の中に注ぎ込まれた英語の「知識」を「歩くこと」や「日本語で話すこと」のような技能に変えていきます。授業中90分間の多くを、学生はひたすら英語で対話します。頭を英語らしい考え方に組み替え、自分の恥ずかしさを乗り越えるには、相当の苦勞を伴うこともあるでしょうが、できるだけ身近な話題を題材にします。授業中の活動を支援し英語能力の向上を保証するためには、授業外のインターネット予習と復習を行ってまいります。このようにして、TOEIC 得点アップや総合的な英語能力向上につながることをもう一つの目標とします。</p> <p>授業一般目標 (1) 身近なことからついて流暢に話せる力を身につける。(2) WBT を利用した自習課題を通して、基本的な語彙・文法的知識を身につける。</p> <p>成績評価方法 (総合) ・2回以上(欠席届による公欠を含フクむ)欠席した学生の成績は不可となる。 ・WBTによる自宅学習課題を期限内に提出すること。期限内に課題を提出しなかった場合は未提出1回につき、1回の欠席として扱われる(2回課題を提出しなかった場合は不可となる) ・以下の(A)と(B)の総合計により評価を行う。(A) 授業内の発言、コミュニケーション活動への参加度により、それに応じた評価ポイントを受け取る。(B) WBTを利用した自宅学習課題の成績に基づき評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 武本ティモシー著、仮題『English Speaking ー山大学生が自分を英語で表現するためのテキスト』という統一教科書。</p> <p>メッセージ 英語はそう難しいものではありません。しかし、自分にとって無意味な音声を出し、日本語と比較すればあべこべな順序で、英語で文章を発することは知識というより勇気が必要です。英語を話すのは、人前で発表することと高飛び込みを足したような頭を真っ白にするほどのことです。しかし渡しのない無意味の海を向こう側へ移動するには、飛び込むしかありません。教科書にある身近な表現をうまく使いこなしながら、とまどく話すことによって、その海の中に飛び込み次第に自由に泳ぎまわり、いつの間にか自分が語で話しているのを忘れた時の喜びは、大変大きなものです。そして、それが力となって、他の場面でも自分を表現できるようになります。間違いを恐れず、まず、英語を話し言葉で使いましょう。英語の知識があるからそれを眠らせておかず自分の可能性に挑戦してみてください。</p> <p>教官連絡先 HP:http://www.eigodaigaku.com でのウェブカムを見てチャットルームを訪問してください。</p>					

開設科目	知的財産権論	区分	講義	開設期	後期
対象学生	工(夜)2年, 工(昼)3年	単位	2単位	曜時限	水曜日 1・2時限(夜間)
担当教官	木村友久, 望月信介, 山本豪紀, 高海克彦, 原田直幸, 中村秀明, 福代和宏, 堤 宏守				
<p>授業概要 特許、実用新案、意匠、商標、著作権など知的財産権についての知識を実例を交えて講義する。また、特許調査などは、特許電子図書館などを用いて実際に検索を行う。さらに、各自の専門分野を基礎とした実践的な演習を行う。</p> <p>授業一般目標 (1) 特許、実用新案、意匠、商標、著作権など知的財産権についての基本的な知識を習得する。(2) 特許調査などの演習を通じて、特許活用の実践的なスキルを習得する。</p> <p>成績評価方法 (総合) 特許調査、活用プランニングなどの演習で作成したレポートを、(1) 知的財産権の基礎知識、(2) 思考力、(3) 特許調査のスキルの3つの観点から評価する。また、必要に応じて試験などで、基礎知識の理解度を評価する。</p> <p>教科書・参考書 教科書: 知的財産教本, 山口大学知的財産本部, EME パブリッシング, 2004年</p> <p>メッセージ 現在、社会のあらゆる場所で、知的創造活動の成果を守り、活用することが要求されています。本講義を通して知的財産権についての知識を深めてください。なお、受講人数によっては特許情報検索演習の都合から受講制限する場合があります。また、詳細な授業計画は、講義開始時に指示しますので受講希望者は、初回に必ず出席して下さい。</p>					

フレッシュマンセミナー（新入生合宿）